L-06A

ISSUE DATE: '09.6

NAME:

PHONE NUMBER:

MAIL ADDRESS:

取扱説明書

docomo NTT

ドコモ W-CDMA・GSM／GPRS方式

このたびは、「docomo PRIME series L-06A」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書およびその他のオプション機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
L-06Aは、お客様の有能なパートナーです。大切にお取り扱いの上、末永くご愛用ください。

FOMA端末のご使用にあたって

- FOMA端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが3本表示されている場合で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方のご迷惑にならないようにご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA・GSM／GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA端末は音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。また、パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalinkを利用して電話帳やメール、スケジュールなどの情報をパソコンに転送・保管できます。
- お客様はSSLをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。お客様によるSSLのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSLの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、サイバートラスト株式会社、グローバルサイン株式会社、RSAセキュリティ株式会社、セコムトラストシステムズ株式会社
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワークおよびドコモのローミングサービスエリア以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DOCOMO and DOCOMO's roaming area.
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容（電話帳、スケジュール、テキストメモ、伝言メモ、音声メモ、動画メモなど）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。FOMA端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

本書のご使用にあたって

本FOMA端末は、きせかえツール（P111）に対応しております。きせかえツールを利用してメニュー画面のデザインを変更した場合、メニューの種類によっては、使用頻度に合わせてメニュー構成が変わるものがあります。

本書について、最新の情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。
■「取扱説明書（PDFファイル）」ダウンロード
　http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html
※URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた／引きかた

本書では、知りたい機能やサービスがすぐ探せるように、次の検索方法を用意しています。

- この『L-06A取扱説明書』の本文中においては、「L-06A」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書では、「ICカード機能に対応したおサイフケータイ対応 i アプリ」を「おサイフケータイ対応 i アプリ」と記載しております。
- 本書の中ではmicroSDカードを使用した機能の説明をしていますが、その機能のご利用にあたっては、別途microSDカードが必要となります。microSDカード→P317
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

「着信音選択」の検索方法を例にして説明します。

索引から ▶P484

機能名やサービス名などを次の例のように探します。

P100の「着信音選択」の説明ページへ進む

かんたん検索から ▶P4

よく使う機能や知っていると便利な機能を次の例のように探します。

メロディやイルミネーションを変えたい

P100の「着信音選択」の説明ページへ進む

表紙インデックスから ▶表紙

次の例のように、表紙インデックス→章の最初のページ→目的のページの順に探します。

音の設定

画面／照明の設定

P100の「着信音選択」の説明ページへ進む

- 本書に掲載している画面やイラストはイメージです。実際とは異なる場合があります。
- 本書の操作説明では、キーを押す操作をイラストで表現していますが、次のように省略して表記しています。

実際のキー	本書のキー表記
1 あ .,/@	1

- 本書では、主にお買い上げ時の状態（きせかえツールの「L06A_black」設定時）で説明しています。設定の変更などによっては、表示や動作が本書の記載と異なる場合があります。

かんたん検索

知りたい機能をわかりやすい言葉から調べたいときにご活用ください。

通話に便利な機能を知りたい

出られない電話にこうしたい

メロディやイルミネーションを変えたい

画面表示を変えたい／知りたい

安心して電話を使いたい

メールを使いこなしたい

カメラを使いこなしたい

ワンセグを使いこなしたい

こんなこともできます

その他の操作の引きかたについては、「本書の見かた／引きかた」を参照してください。→P1
また、よく使う機能などの操作手順を「クイックマニュアル」としてご案内しています。→P494

目　次

L-06Aの主な機能

FOMAハイスピード（送受信ともに高速対応）→P425

FOMAハイスピード受信時最大7.2Mbpsに加え、送信時最大5.7Mbpsの高速パケット通信に対応しています。

※ 最大7.2Mbps／最大5.7Mbpsとは、技術規格上の最大値であり、実際の通信速度は、ネットワークの混み具合や、通信環境により異なります。FOMA ハイスピードエリア外やHIGH-SPEEDに対応していないアクセスポイントに接続するときは、通信速度が遅くなる場合があります。

Google™ サービスメニュー→P334

ｉモード検索やGoogleモバイルサービスの各メニュー（検索、YouTube、Picasa、Gmail、地図、乗換案内、ニュース）および設定メニューがアイコンで一覧表示されており、簡単に各メニューにアクセスすることができます。

国際ローミング→P407

日本国内でお使いのFOMA端末・電話番号・メールアドレスが海外でもそのまま使えます（3G・GSMエリアに対応）。
音声電話、テレビ電話、ｉモード、ｉモードメール、SMS、ネットワークサービスを利用できます。

多彩な機能

■ タッチパネル→P36

ディスプレイはタッチパネルになっています。画面に直接触れることでさまざまな操作を行うことができます。

■ クイックダイヤル→P97

待受画面でメモリ番号（2桁以内）を入力するだけの少ない操作で、電話帳に登録されている電話番号を呼び出すことができます。

■ ダイヤル音3か国語対応→P103

電話をかけるときなどに押したダイヤルキーの数字を音声で読み上げます。
日本語、英語、韓国語の3種類の中から、読み上げる言語を選択できます。

■ デュアルクロック表示→P106

待受画面に任意の2つの都市の時刻を同時に表示することができます。
例えば滞在先の都市を設定しておくことで、滞在先との時差を確認できます。

■ 画面の言語変更→P115

画面の言語を日本語、英語、韓国語から選択し、切り替えることができます。

■ SMSの韓国語対応→P136

韓国語に対応している端末どうしで、韓国語が入力されたSMSの送受信ができます。

■ フルブラウザ→P206

ｉモードに対応していないインターネットホームページをパソコンと同じようにFOMA端末で表示することができます。
マルチウィンドウを使用して、複数のインターネットホームページを同時に開くこともできます。

■ カメラ機能→P218

有効画素数約510万画素のアウトカメラ（記録画素数約500万画素）と有効画素数約31万画素のインカメラ（記録画素数約30万画素）の2つのカメラを使って、静止画（オートフォーカス対応）や動画を撮影できます。

■ バーコードリーダー→P234

バーコードやQR コードをカメラから読み取った情報で、サイトにアクセスしたり、メールを送ったりできます。

■ ワンセグ→P240
ワンセグ（移動体向け地上デジタルテレビ放送）をご覧いただけます。字幕を表示したり、データ放送が楽しめます。見のがせない番組の視聴予約もできます。

■ おサイフケータイ→P290
おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードすることで、通信を利用してFOMA端末内のICカードに電子マネーを入金したり、残高や利用履歴を確認したりできます。さらにドコモのクレジットサービス「DCMX」のｉアプリをプリインストール。また機種変更等のFOMA端末お取り替え時でもICカード内データを簡単に移行できる「iCお引っこしサービス」にも対応しています。

■ 赤外線通信、赤外線リモコン→P327、P330
赤外線通信対応の機器とデータの送受信をしたり、赤外線リモコン対応のテレビなどを操作したりできます。

■ ライブキャラパーク→P335
通話履歴やメールの送受信履歴を、視覚的に表示します。電話やメールをやり取りした相手はキャラクターとして待受画面に表示され、電話やメールの回数に応じてキャラクターの周りに動物が集まってきたりします。

■ Muvee Studio→P339
あらかじめ用意されているムービースタイル（表示切替効果）や音楽を利用して、お好みの静止画や動画から手軽にスライドショーを作成できます。

■ モーションお絵かき™→P341
静止画の上に絵を描いたり、スタンプを貼ったり、文字を書いたりできます。また、描いた絵などに動きをつけることができます。メールで送ることもできます。

■ タッチゲーム→P344
タッチパネルを使って遊ぶことのできるゲームが搭載されています。

■ マルチアクセス／マルチタスク→P348、P349
音声電話中にｉモードまたはメールなどが使えるマルチアクセス機能に対応しています。
また、複数の機能を同時に使えるマルチタスクにも対応しています。

■ アラーム機能→P351、P353、P357
指定した時刻を知らせてくれる目覚まし時計としてのアラームはもちろん、会議や約束などの開始日時や登録したTo Doの期限も知らせてくれます。

■ 記念日マネージャ→P359
日付カウンターを利用すると、大事な予定（イベント）までの日数を簡単に調べることができます。また、日付サーチを利用すると、ある日付から指定した日数が過ぎたときの日付（年月日）を調べることができます。

■ 世界時計→P364
世界の各国、各都市や標準時などの日時を確認することができます。画面には世界地図が表示され、日時と共に都市や地域の位置も確認できます。
旅行中に次の目的地の日時と位置を確認するなどの使いかたができます。

■ 単位変換ツール→P365
通貨、面積、長さ、重量、温度、容積、速度の単位を、別の単位に変換して数値を表示することができます。
海外で買い物をするときに、商品の値段を円に換算して確認するなどの使いかたができます。

- テレビ電話→P56
- 着もじ→P64
- きせかえツール→P111
- あんしん設定→P117
- デコメール®／デコメ®絵文字→P141
- ｉチャネル→P201
- Music＆Videoチャネル／着うたフル®→P254、P261
- ミュージックプレーヤー→P260
- ｉアプリ／ｉアプリDX→P274
- 各種ネットワークサービス→P391

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠ 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠ 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は下記の6項目に分けて説明しています。

FOMA端末、電池パック、アダプタ、FOMAカードの取り扱いについて（共通）

危険

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、保管、放置しないでください。
機器の変形、故障や、電池パックの漏液、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

分解、改造をしないでください。また、ハンダ付けしないでください。
火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

濡らさないでください。
水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタは、NTTドコモが指定したものを使用してください。
指定品以外のものを使用した場合は、FOMA端末および電池パックやその他の機器を漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。

警告

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、FOMA端末やアダプタ、FOMAカードを入れないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、FOMA端末、アダプタの発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。
ショートによる火災や故障の原因となります。

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に携帯電話の電源をお切りください。また充電もしないでください。ガスに引火する恐れがあります。
ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご利用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください。(ICカードロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください)

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

1. **電源プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜く。**
2. **FOMA端末の電源を切る。**
3. **電池パックをFOMA端末から取り外す。**

そのまま使用すると発熱、破裂、発火または電池パックの漏液の原因となります。

注意

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがや故障の原因となります。

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
故障の原因となります。

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。
けがなどの原因となります。

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

FOMA端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグの視聴などを長時間行うとFOMA端末や電池パック・アダプタの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となる恐れがあります。

FOMA端末の取り扱いについて

警告

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。
目に影響を与える可能性があります。また、他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与える場合があります。

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。
視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

エアバッグの近くのダッシュボードなど、エアバッグの展開による影響が予想される場所にFOMA端末を置かないでください。
エアバッグが展開した場合、FOMA端末が本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。
FOMA端末を医用電気機器などの近くで使用すると、医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。

FOMA端末内のFOMAカードやmicroSDカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、感電、故障の原因となります。

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。
運転の妨げとなり、事故の原因となります。

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

ハンズフリーに設定して通話する際は、必ずFOMA端末を耳から離してください。また、イヤホンマイクをFOMA端末に装着し、ゲームや音楽再生をする場合は、適度なボリュームに調節してください。
音量が大きすぎると難聴の原因となります。また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に影響を与える可能性があります。

屋外で使用中に、雷が鳴り出したら、アンテナを収納し、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。
落雷、感電の原因となります。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。
※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出したFOMA端末の内部にご注意ください。
ディスプレイ部の表面には保護フィルム、カメラのレンズの表面にはプラスチックパネルを使用し、ガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

注意

アンテナ、ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。
本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

人の多い場所では、使用しないでください。
アンテナが他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

禁止

アンテナが破損したまま使用しないでください。
肌に触れるとやけどや、けがなどの事故の原因となります。

「M-Toy」ご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、FOMA端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
「M-Toy」は、FOMA端末を傾けたり振ったりして操作をするゲームです。振りすぎなどが原因で、人や物などに当たり、重大な事故や破損などにつながる可能性があります。

FOMA端末に金属製などのストラップを付けている場合は、「M-Toy」ご利用の際、ストラップが人や物などに当たらないようご注意ください。
けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけたりしないでください。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。

着信音が鳴っているときや、FOMA端末でメロディを再生しているときなどは、スピーカーに耳を近づけないでください。
難聴になる可能性があります。

ディスプレイの表面には、落下や衝撃等により破損した場合の安全性確保（プラスチックパネルの飛散防止）を目的とする保護フィルムがあります。このフィルムは無理にはがしたり、傷つけたりしないでください。
フィルムをはがして使用した場合、ディスプレイが破損したときに、けがの原因となることがあります。

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。
安全走行を損なう恐れがありますので、その場合は使用しないでください。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

下記の箇所に金属を使用しています。

使用箇所	素　材	表面処理
上部ケース	アルミシート	アルマイト、電着塗装
アウトカメラ周囲	ニッケル	6価Crメッキ

FOMA端末を開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。
けがなどの事故や破損の原因となります。

ワンセグを視聴するときは、十分明るい場所で、画面からある程度の距離を空けてご使用ください。
視力低下につながる可能性があります。

電池パックの取り扱いについて

■電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表　示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

⚠ 危険

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

電池パックをFOMA端末に取り付けるときに、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。
また、電池パックの向きを確かめてから取り付けてください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

火の中に投下しないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示

電池パック内部の液体が目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

警告

禁止

落下による変形や傷など外部からの衝撃により電池パックに異常が見られた場合は、直ちに使用をやめてください。
電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

指示

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。
電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

禁止

濡れた電池パックを充電しないでください。
電池パックを発熱、発火、破裂させる原因となります。

指示

電池パック内部の液体が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で十分に洗い流してください。
皮膚に傷害を起こす原因となります。

アダプタの取り扱いについて

⚠ 警告

アダプタのコードや電源コードが傷んだら使用しないでください。
感電、発熱、火災の原因となります。

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
感電の原因となります。

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災の原因となります。

雷が鳴り出したら、FOMA端末、アダプタには触れないでください。
落雷、感電の原因となります。

コンセントやシガーライタソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、故障、感電、傷害の原因となります。

充電中は、アダプタおよび卓上ホルダを安定した場所に置いてください。また、アダプタおよび卓上ホルダを布や布団で覆ったり、包んだりしないでください。
FOMA端末が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。

アダプタのコードや電源コードの上に重いものをのせたりしないでください。
感電、火災の原因となります。

濡れた手でアダプタのコード、コンセントに触れないでください。
感電の原因となります。

指定の電源、電圧で使用してください。
誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。海外で使用する場合は、海外で利用可能なACアダプタを使用してください。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）
海外で利用可能なACアダプタ：
AC100～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
指定外のヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災の原因となります。

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。
感電、ショート、火災の原因となります。

アダプタをコンセントやシガーライタソケットから抜く場合は、アダプタのコードや電源コードを無理に引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。
コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電、火災、故障の原因となります。

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライタソケットから電源プラグを抜いてください。
感電、発煙、火災の原因となります。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜いて行ってください。
感電の原因となります。

FOMAカードの取り扱いについて

注意

FOMAカード（IC部分）を取り外す際は切断面にご注意ください。
手や指を傷つける可能性があります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

■本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

警告

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- ●手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- ●病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ●ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- ●医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- ●自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから、電源を切ってください。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切るようにしてください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

取り扱い上の注意

共通のお願い

■水をかけないでください。

FOMA端末、電池パック、アダプタ、FOMAカードは防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

■お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

- FOMA端末のディスプレイは、カラー液晶画面を見やすくするため、特殊コーティングを施してある場合があります。お手入れの際に、乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。取り扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。また、ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになったり、コーティングがはがれることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

■端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。

端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

■エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。

急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■FOMA端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。

多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。
また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。

■FOMA端末、アダプタ、卓上ホルダに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

■ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。

傷つくことがあり故障、破損の原因となります。

FOMA端末についてのお願い

■タッチパネルの表面を爪やボールペン、ピンなど先の尖ったものや、指で強く押さないでください。

■極端な高温、低温は避けてください。

温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。

■一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

■お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■FOMA端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障、破損の原因となります。

■外部接続端子（イヤホンマイク端子）に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
故障、破損の原因となります。

■ストラップなどを挟んだまま、FOMA端末を折り畳まないでください。
故障、破損の原因となります。

■使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

■カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

■通常は外部接続端子カバー、microSDカード差し込み口カバーをはめた状態でご使用ください。
ほこり、水などが入り故障の原因となります。

■リアカバーを外したまま使用しないでください。
電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。

■ディスプレイやキーまたはキーのある面に、極端に厚みのあるシールなどを貼らないでください。
故障の原因となります。

■FOMA端末を閉じた状態でディスプレイを回転させないでください。
ディスプレイやキー周辺に傷がつく恐れがあり、故障、破損の原因となることがあります。

■microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、FOMA端末の電源を切ったりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

■磁気カードなどをFOMA端末に近づけないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

■FOMA端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。
強い磁気を近づけると誤作動を引き起こす可能性があります。

電池パックについてのお願い

■電池パックは消耗品です。
使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

■充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。

■初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。

■電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。

■電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。

■電池パックを長期保管される場合は、次の点にご注意ください。

- 満充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
- 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管

電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
長期保管に適した電池残量は、目安として電池アイコン表示が2本の状態をお勧めします。

アダプタについてのお願い

■充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。

■次のような場所では、充電しないでください。

- 湿気、ほこり、振動の多い場所
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く

■充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

■DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。

■抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。

■強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
故障の原因となります。

FOMAカードについてのお願い

■FOMAカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。

■使用中、FOMAカードが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

■他のICカードリーダー／ライターなどにFOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。

■IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。

■お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

■お客様ご自身で、FOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。

■極端な高温、低温は避けてください。

■ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

■FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。

次のページへ続く

■**FOMAカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。**
故障の原因となります。

■**FOMAカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けないでください。**
故障の原因となります。

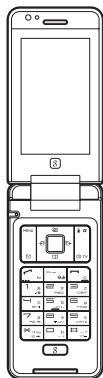
注意

■**改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。**
FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等を受けており、その証として「技適マーク〒」がFOMA端末の銘版シールに表示されております。
FOMA端末のネジを外して内部の改造を行なった場合、技術基準適合証明等が無効となります。
技術基準適合証明等が無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

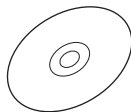
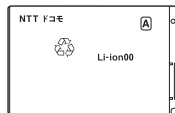
■**自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**
運転中は、携帯電話を保持して使用すると罰則の対象となります。
やむを得ず電話を受ける場合は、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してから発信してください。

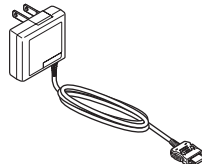
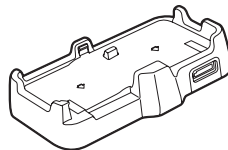
本体付属品および主なオプション品

本体付属品

L-06A
（保証書、リアカバー L12を含む）

電池パック L05

取扱説明書（本書）
※ P494にクイックマニュアルを記載しています。

L-06A用CD-ROM
※ PDF版「パソコン接続マニュアル」「区点コード一覧」を収録しています。

主なオプション品

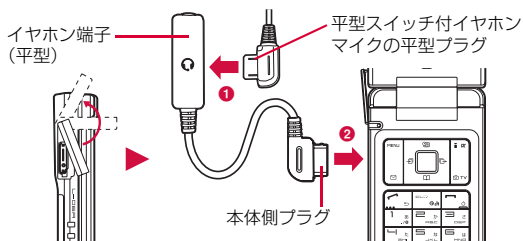
FOMA ACアダプタ 01／02
（保証書、取扱説明書付き）

卓上ホルダ L04
（取扱説明書付き）

その他オプション品→P447

ご使用前の確認

各部の名称と機能

※ FOMAアンテナは本体に内蔵されています。より良い条件で通話をするために、アンテナ部を手で覆わないようにしてお使いください。

イヤホンのご利用について

別売の外部接続端子対応のイヤホンを接続してください。
なお、外部接続端子に非対応のイヤホンをご利用になる場合には、別売の変換アダプタを接続してご利用ください。

例：平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）の接続

❶ 赤外線ポート
・ 赤外線通信を行うときは、ここを通信相手の機器に向けます。
→P328

❷ インカメラ
・ カメラで自分の静止画や動画を撮影します。→P222、P227
・ テレビ電話で自分を映します。

❸ 照度センサー
・ まわりの明るさをセンサーが感知して、ディスプレイの明るさを自動的に調整します。→P110
・ 照度センサー部分を手で覆ったり、シールなどを貼らないでください。明るさを検知できないことがあります。

❹ 受話口／スピーカー
・ 相手からの声がここから聞こえます。
・ 着信音やアラーム音、メロディの再生音などが聞こえます。
・ ハンズフリー通話中は相手の声が聞こえます。

❺ ディスプレイ→P33

❻ 8／8 GoogleTM サービスキー
・ GoogleTM サービスメニュー（P334）を表示します。（使用中の機能がある場合は、表示できないこともあります。）
・ 1秒以上押すと各機能を終了して待受画面に戻します。

❼ 送話口
・ 通話中は自分の声をここから相手に伝えます。
・ カメラで動画を撮影するときはマイクになります。

❽ ナビゲーションキー
カーソルを上下に移動するときや、画面をスクロールするとき、操作を決定するときなどに使います。

■
・ 操作を決定します。
・ 待受画面で1秒以上押すと、ICカードロックを設定／解除します。
→P292

▲
・ カーソルを上に移動します。
・ 待受画面で押すとスケジュールを表示します。
・ ミュージックプレーヤーなどの起動中に押すと音量を上げます。

▼
・ カーソルを下に移動します。
・ 待受画面で押すと電話帳一覧画面（P91）、1秒以上押すと電話帳登録画面（P84）が表示されます。
・ ミュージックプレーヤーなどの起動中に押すと音量を下げます。

◀
・ カーソルを左に移動します。また、前の画面に戻ります。
・ 待受画面で押すと着信履歴一覧画面（P62）、1秒以上押すと受信履歴一覧画面（P167）が表示されます。

▶
・ カーソルを右に移動します。また、次の画面に進みます。
・ 待受画面で押すとリダイヤル一覧画面（P60）、1秒以上押すと送信履歴一覧画面（P167）が表示されます。

❾ MENU メニューキー／左上ソフトキー
・ 待受画面で押すとメインメニュー（P37）が表示されます。
・ 左上ソフトキーに表示されている操作を実行します。→P32

⑩ [✉]メールキー／左下ソフトキー
・ 待受画面で押すとメールメニュー画面（P137）、1秒以上押すとｉモード問い合わせを行います。→P150、P173
・ 左下ソフトキーに表示されている操作を実行します。→P32

⑪ [↗]開始キー
・ 音声電話／テレビ電話をかけます／受けます。→P56、P72
・ 待受画面で押すと電話番号入力画面（P56）が表示されます。

⑫ ダイヤルキー
・ 電話番号や文字を入力します。→P443
・ 待受画面で[0]を1秒以上押すと、「+」を入力します。→P68

⑬ [*]公共モード（ドライブモード）キー
・ 「*」／「＊」を入力します。
・ 待受画面で1秒以上押すと公共モード（ドライブモード）を設定／解除します。→P76

⑭ [iα]ｉモード／ｉアプリキー／右上ソフトキー
・ 待受画面で押すとｉモードメニュー画面（P182）、1秒以上押すとｉアプリのソフト一覧画面（P275）が表示されます。
・ 右上ソフトキーに表示されている操作を実行します。→P32
・ 文字入力中は入力モード（ひらがな／カタカナ／英字／数字）の切り替えなどに使います。→P376

⑮ [TV]カメラ／TVキー
・ 待受画面で押すと静止画撮影画面（P222）、1秒以上押すとワンセグ視聴画面（P245）が表示されます。
・ 文字入力中は入力モード（絵文字／記号／顔文字）の切り替えに使います。→P381

⑯ [CLR]クリア／ｉチャネルキー
・ 操作を1つ前の状態、または待受画面に戻します。
・ 待受画面で押すとチャネル一覧画面（P203）が表示されます。

⑰ [⏻]電源／終了キー
・ 電源を入れる／切るときに2秒以上押します。→P51
・ 通話を終了するときや各機能を終了するときに使います。

⑱ [#]マナーモードキー
・ 「#」を入力します。
・ 待受画面で1秒以上押すとマナーモードを設定／解除します。→P105

⑲ ストラップ取り付け穴

⑳ イルミネーション
・ FOMA端末を閉じた状態で時刻が確認できます。また、電話の着信やメールの受信、FOMA端末の状態などをイルミネーションのパターンでお知らせします。→P36

㉑ 外部接続端子
・ 充電時およびイヤホン接続時などに使用する統合端子です。
・ ACアダプタ（別売）、DCアダプタ（別売）、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）、外部接続端子用イヤホン変換アダプタ（別売）などを接続します。

㉒ 充電端子
卓上ホルダで充電するための端子です。

㉓ [ ]マルチタスクキー
・ 1秒以上押すと新規タスク画面が表示されます。→P349
・ タスク一覧画面が表示されます。→P350

㉔ [ ]ロックキー
・ タッチパネルとキーのロックを設定／解除します。→P125

㉕ アウトカメラ
・ カメラで景色などの静止画や動画を撮影します。→P222、P227
・ テレビ電話で景色などを映します。

㉖ フォトライト／ライト
・ 静止画／動画撮影時に点灯します。
・ カメラ撮影時に点灯できます。

㉗ リアカバー
・ FOMAカードや電池パックを取り付ける／取り外すときにFOMA端末から取り外します。→P43、P46
・ リアカバー裏側のシールは、はがさないでください。シールをはがすと、ICカードを読み書きできない場合があります。

㉘ マーク
・ ICカードが搭載されています（取り外しはできません）。読み取り機にかざしておサイフケータイとして使用します。→P291

㉙ microSDカード差し込み口
・ microSDカードを差し込みます。→P318

㉚ ▲▼音量キー
音量の調節などに使います。
・ 通話中に押すと受話音量を調節します。
・ 待受画面で▼を1秒以上押すと伝言メモ一覧画面（P79）が表示されます。
・ ミュージックプレーヤーなどの再生画面で押すと再生音量を調節します。
・ 一覧画面で押すとカーソルを移動、または画面単位で次の画面にスクロールします。

㉛ カメラ／TVキー
・ 待受画面で押すと静止画撮影画面（P222）、1秒以上押すとワンセグ視聴画面（P245）が表示されます。
・ 静止画／動画撮影画面で押すとシャッターになり、画像を撮影できます。→P223、P228

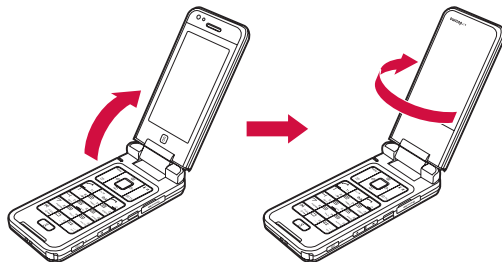
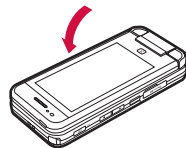
㉜ ワンセグアンテナ
・ ワンセグ放送を受信します。→P240
※FOMAアンテナではありません。

FOMA端末の開きかた

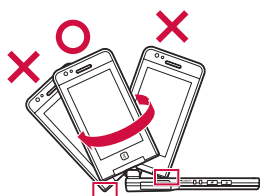
本FOMA端末は、閉じた状態と開いた状態のほかに、ターンビュースタイルで利用できます。

- 携帯するときは、FOMA端末を閉じた状態にしておくことをおすすめします。

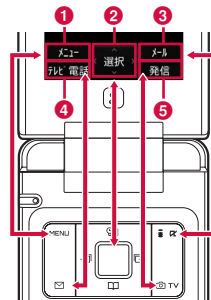
ターンビュースタイル

1 FOMA端末を図の角度まで開いて、ディスプレイを右回りに180度回転させる

2 ディスプレイを手前に倒す

お知らせ

- ターンビュースタイルにするときに、ディスプレイの左回りの回転や180度以上の回転をしないでください。また、回転時にディスプレイの角が本体やキーに当たらないようにしてください。傷ついたり、破損するおそれがあります。
- ターンビュースタイルにするときに、指をはさまないようにしてください。

ディスプレイ回転時のご注意

ソフトキーの表示について

画面下部には、表示中の画面でできる操作がソフトキーとして表示されます。ソフトキーの内容を実行するには、対応する次のキーを押すか、ソフトキー表示を直接タッチします。

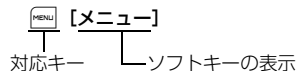
- ソフトキーの表示は、機能や表示状況によって異なります。

❶ **MENUで行う操作が表示されます。**
❷ **■で行う操作が表示されます。**
- スクロールや項目の選択が可能な方向を示すマーク（‹⌃⌄›）も表示されます。

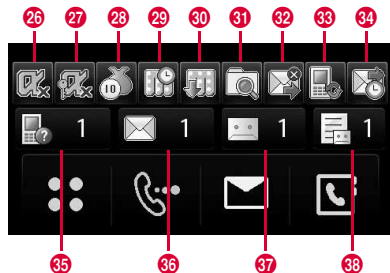
❸ **iαで行う操作が表示されます。**
❹ **✉で行う操作が表示されます。**
❺ **📷TVで行う操作が表示されます。**

お知らせ

- ターンビュースタイルでは、一部のソフトキーが表示されなかったり、開いた状態とは表示が変わることがあります。

ソフトキー操作の表記について

本書では、ソフトキーの操作を次のように表記しています。

ディスプレイの見かた

ディスプレイの画面に表示されるマーク（アイコン）の意味は次のとおりです。

❶ 強 ⇔ 弱
電波の受信レベル→P51
セルフモードを設定中→P124
サービスエリア外または電波が届かない状態→P51

❷ 音声電話通話中→P57
テレビ電話通話中→P57
全着信拒否を設定中→P128
赤外線リモコン操作中→P330

❸ （点滅） ｉモード接続中→P183
（点滅） ｉモード通信中／ｉチャネルメッセージ取得中→P183
（点滅） フルブラウザ接続中
（点滅） フルブラウザ通信中
フルブラウザ接続中（一定時間通信がない状態）
（点滅） パソコンなどと接続してパケット接続中／終了中
パソコンなどと接続してパケット通信中
パソコンなどと接続してパケット受信中
パソコンなどと接続してパケット送信中
パソコンなどと接続してパケット送受信中

次のページへ続く

❹
(白) ｉモードセンターにｉモードメールあり→P149
(ピンク) ｉモードセンターのｉモードメールが満杯
(白) ｉモードセンターにメッセージRあり→P173
(ピンク) ｉモードセンターのメッセージRが満杯
(白) ｉモードセンターにメッセージFあり→P173
(ピンク) ｉモードセンターのメッセージFが満杯
(白) ｉモードセンターにｉモードメールとメッセージR/Fあり
(ピンク) ｉモードセンターのｉモードメールとメッセージR/Fが満杯

❺
(白) 未読のｉモードメールあり→P147
(白) 未読のSMSあり→P177
(白) 未読のｉモードメールとSMSあり
(ピンク) FOMA端末内の受信メールが未読メール・保護メールで満杯
FOMAカードのSMSが満杯
FOMA端末内の受信メールが未読メール・保護メールで満杯。また、FOMAカード内のSMSが満杯

❻
(白) 未読のメッセージRあり→P174
(ピンク) FOMA端末内のメッセージRが満杯
(白) 未読のメッセージFあり→P174
(ピンク) FOMA端末内のメッセージFが満杯

❼
SSL対応ページを表示または取得中→P185

❽
ｉアプリを起動中→P275
ｉアプリDXを起動中→P275
(グレー) ｉアプリ待受画面を表示中→P285
(グレー) ｉアプリDX待受画面を表示中→P285

❾
1つの機能（タスク）を実行中→P349
複数の機能（タスク）を実行中
1つの機能（タスク）とバックグラウンド再生を実行中
複数の機能（タスク）とバックグラウンド再生を実行中
(点滅) 他の機能（タスク）を実行中のために音が鳴らないときにアラームが起動

❿
～ 電池残量表示→P50

⓫
ALL オールロック設定中→P121

⓬
(ピンク) マナーモードを設定中→P105
(白) オリジナルマナーモードを設定中→P105

⓭
音声電話／テレビ電話の着信音が鳴らず、バイブレータが動作する状態に設定中→P101、P102
音声電話／テレビ電話の着信音が鳴り、バイブレータが動作する状態に設定中→P101、P102
音声電話／テレビ電話の着信音が鳴らず、バイブレータが動作しない状態に設定中→P101、P102

⓮
メール／メッセージR/Fの着信音が鳴らず、バイブレータが動作する状態に設定中→P101、P102
メール／メッセージR/Fの着信音が鳴り、バイブレータが動作する状態に設定中→P101、P102
メール／メッセージR/Fの着信音が鳴らず、バイブレータが動作しない状態に設定中→P101、P102

⓯
公共モード（ドライブモード）を設定中→P76

⓰
伝言メモ設定中→P78

⓱
設定中のアラームあり→P351

⑱ 当日のスケジュール／To Doあり→P353、P357
アラームが設定された当日のスケジュール／To Doあり→P353、P357

⑲ microSDカード装着中→P318

⑳ 音声電話／テレビ電話の発信制限を設定中→P123
音声電話／テレビ電話の着信制限を設定中→P123
音声電話／テレビ電話の発着信制限を設定中→P123

㉑ メールの送信制限を設定中→P123
メールの受信制限を設定中→P123
メールの送受信制限を設定中→P123

㉒
- 「プライバシーモード設定」を「ON」に設定中→P124
- 「シークレットモード」を「ON」に設定中→P127
- 「シークレットモード」を「シークレット専用モード」に設定中→P127

㉓ 通信モード設定中で、USBケーブル接続中

㉔ FOMAカード未装着／FOMAカードにエラーが発生→P43
FOMAカード以外が挿入されている場合に表示（ターミナルリンク中）

㉕ ICカードロックを設定中

㉖ ｉアプリ自動起動失敗→P286

㉗ セキュリティエラーが発生してｉアプリ待受画面設定が解除→P286

㉘ 通話料金が上限を超過→P363

㉙ Music&Videoチャネル番組ダウンロード予約中→P254

㉚ Music&Videoチャネル番組ダウンロード完了→P254
Music&Videoチャネル番組ダウンロード失敗→P254
Music&Videoチャネル番組ダウンロード中→P254

㉛ パターンデータ更新完了→P464
パターンデータ更新推奨
パターンデータ更新失敗

㉜ メールの送信失敗

㉝ 更新お知らせアイコン→P462
更新結果アイコン
書換え予告アイコン→P461

㉞ メールの自動送信を予約中→P139

㉟ 1 不在着信あり（数字は件数）

㊱ 1 未読メールあり（数字は件数）

㊲ 1 留守番電話の伝言メッセージあり（数字は件数）→P392

㊳ 1 伝言メモあり（数字は件数）

次のページへ続く

お知らせ

- ディスプレイに表示する文字や記号は、一部変形もしくは省略しているものがあります。
- ディスプレイに表示されるマークは、お買い上げ時の設定をもとにしています。お買い上げ後の設定変更により、FOMA端末の表示が取扱説明書と異なる場合があります。
- FOMA端末のディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られておりますが、ディスプレイの特性により、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

イルミネーションについて

FOMA端末を閉じたときや、閉じた状態で▲／▼を押すと、約5秒間時計が表示されます。
また、電話の着信やメールの受信、FOMA端末の状態などをイルミネーションのパターンでお知らせします。（以下はイルミネーションの一例です。）

時計表示

音声電話／テレビ電話着信中

未読メール／メッセージR/Fあり

音楽再生中

アラーム鳴動中

不在着信あり

充電中

お知らせ

- 不在着信や未読メール／メッセージなど他のイルミネーションが点灯、点滅している間は、時計は表示できません。
- イルミネーションのパターンは、項目によっては変更できます。→P113
- イルミネーションはFOMA端末を閉じた状態でのみ点灯、点滅します。
- 不在着信や未読メール／メッセージのイルミネーションは約10秒間隔で最大約1時間点灯、点滅します。

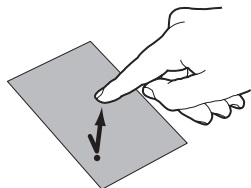
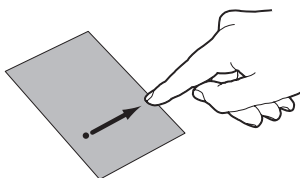
タッチパネルの使いかた

本FOMA端末のディスプレイはタッチパネルになっています。画面に直接触れることでさまざまな操作を行うことができます。

- FOMA端末を開いているときは、タッチ操作とキー操作のどちらでも行うことができます。ただし、機能によってはどちらかの操作のみ可能な場合があります。
- 本書では、主にキー操作で説明しています。
- タッチパネルが消灯すると、タッチ操作ができなくなります。次の方法で再度点灯させてから操作してください。
  - いずれかのキーを押す
  - FOMA端末を開く／閉じる

タッチパネル利用上のご注意

- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作
- 爪やボールペン、ピンなど先の尖ったものや、指で強く押さないでください。

タッチパネルに軽く触れて離す
操作例：項目を選択したり、選択した項目を実行したりする

タッチパネルに触れたまま、なぞって動かす
操作例：音量調節

- 本文中では「**タッチ**」と表記しています。
- 本文中では「**スライド**」と表記しています。

タッチパネルに軽く触れて、上または下にはらう
操作例：画面の上下に表示しきれない項目などがあるときに、高速スクロール（画面によっては動作しないことがあります。）

お知らせ

- タッチパネル操作を音や振動でお知らせできます。→P104
- Flashを使用したサイトやｉチャネル、ｉアプリでは、タッチ操作ができません。

メニューの選択方法

FOMA端末では、メインメニューやサブメニューなどのメニューから、機能の実行や設定、登録などの操作をします。

- 本FOMA端末は、きせかえツール（P111）に対応しております。きせかえツールを利用してメニュー画面のデザインを変更した場合、メニューの種類によっては、使用頻度に合わせてメニュー構成が変わるものがあります。

メインメニューから機能を選択する

本FOMA端末では、次の3通りの方法で機能を選択できます。

- ナビゲーションキーを利用する
- ダイヤルキーを利用する
- タッチパネルを利用する

待受画面からメインメニューを呼び出し、「カラーテーマ設定」の設定画面を表示するまでの操作を例に、それぞれの場合の操作方法を説明します。

- 本書では、ナビゲーションキーで機能を選択する操作で説明しています。

メインメニュー

■ メインメニューに表示される機能と対応するキー操作

機能	操作	機能	操作
Mail（メール）	1	i mode（i モード）	2
i -αppli（i アプリ）	3	Phonebook（電話帳）	4
Data Box（データBOX）	5	MUSIC（MUSIC）	6
LifeKit（LifeKit）	7	Media（Media）	8
1Seg（ワンセグ）	9	Settings（設定）	*
Own Number（自局番号）	0	Osaifu-Keitai（おサイフケータイ）	#

※ 使用するメインメニューのデザインによって、メニュー名の表記は異なります。

ナビゲーションキーを利用する

1 待受画面でMENUを押す

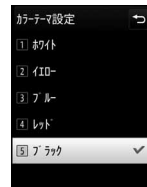
メインメニューが表示されます。

2 メインメニューでで「Settings」にカーソルを移動し、■［選択］を押す

設定画面

3 設定画面ででで「表示」にカーソルを移動し、■［選択］を押す

表示画面

4 表示画面ででで「カラーテーマ設定」にカーソルを移動し、■［選択］を押す

カラーテーマ設定画面

ダイヤルキーを利用する

1 待受画面でMENUを押す

2 メインメニュー画面で「Settings」に対応する を押す

3 設定画面で「表示」に対応する を押す

4 表示画面で「カラーテーマ設定」に対応する を押す

タッチパネルを利用する

1 待受画面で をタッチする

- MENUを押してもメインメニューが表示されます。

2 メインメニュー画面で「Settings」のアイコンをタッチする

カーソルが「Settings」に移動します。

3 もう一度「Settings」のアイコンをタッチする

4 設定画面で「表示」をタッチする

カーソルが「表示」に移動します。

5 もう一度「表示」をタッチする

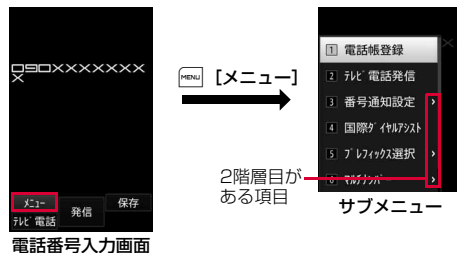
6 表示画面で「カラーテーマ設定」をタッチする

カーソルが「カラーテーマ設定」に移動します。

7 もう一度「カラーテーマ設定」をタッチする

サブメニューから機能を選択する

ソフトキーに「メニュー」が表示された場合は、サブメニューを呼び出して各種操作ができます。

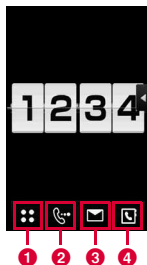
- サブメニューの表示は、機能やFOMA端末の設定状況／登録状況などによって異なります。

■一覧画面でのサブメニューについて

一覧画面のサブメニューには、「1件削除」のようにカーソルがあたっている項目が対象となる項目や、「全件削除」のようにすべての項目が対象となる項目があります。1件の項目が対象となる操作を行う場合は、あらかじめ該当する項目にカーソルを移動してからMENU［メニュー］を押してください。

お知らせ

- サブメニュー表示中は でカーソルを移動できます。また、メニュー番号のダイヤルキーなどを押して、項目を選択することもできます。
- 2階層目がある項目はカーソルを移動して ［選択］／ を押すと2階層目を表示できます。
- サブメニューを閉じるには、MENU［閉じる］を押します。

ホットキーから機能を呼び出す

待受画面に表示されている4つのホットキーをタッチして、各機能を利用することができます。

❶ メインメニューを表示します。
❷ 電話番号入力画面を表示します。1秒以上タッチし続けると、最近の通話一覧画面を表示します。
❸ メールメニュー画面（P137）を表示します。1秒以上タッチし続けるとｉモード問い合わせ（P150、P173）を行うことができます。
❹ 電話帳一覧画面（P91）を表示します。1秒以上タッチし続けると電話帳登録画面（P84）が表示されます。

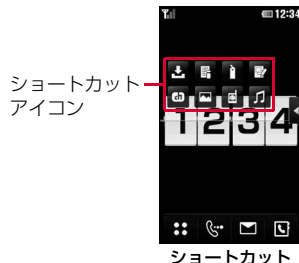
お知らせ

- ホットキーの機能は、直接タッチパネルをタッチすることでのみ操作できます。

ショートカットから機能を呼び出す

待受画面にショートカットを設定すると、ショートカットアイコンを選択して、各機能をすばやく呼び出すことができます。

- ショートカットの設定方法→P106

1 待受画面▶[■]▶ショートカットアイコンを選択

ショートカット

お知らせ

- 直接ショートカットアイコンを2回タッチしても操作できます。
- ショートカットアイコンを1秒以上タッチし続けると、設定を変更できます。「×」印のついたアイコンを選択すると、ショートカットからその機能を削除し、「ショートカット編集」を選択すると、待受画面設定画面が表示されます。→P106

各種画面の基本操作

1つ前の画面／待受画面に戻るには

メニュー項目の選択を間違えて1つ前の画面に戻るときや、操作を中断／終了して待受画面に戻るときは、次のように操作します。

- [CLR]：1つ前の画面に戻ります。（タッチパネル操作では[戻る]をタッチします。）
- [8]（1秒以上）／[8]（1秒以上）／[終話]：待受画面に戻ります。終了の確認画面が表示された場合は、「はい」を選択すると操作を中断します。

お知らせ

- FOMA端末の操作状況によっては、[終話]／[8]／[8]／[CLR]を押しても待受画面／前の画面に戻らない場合があります。

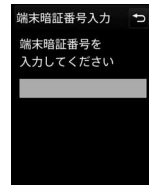
設定項目の操作について

設定画面の各設定欄には、現在の設定内容が表示されています。設定を変更するには、次のいずれかの操作を行ってください。

変更する設定欄を選択し、表示される一覧から項目を選択する	変更する設定欄にカーソルを移動し、[左右キー]で設定を変更する	変更する設定欄にカーソルを移動し、[■]で設定を切り替える
[上下キー]▶[■]▶[上下キー]▶[■]	[上下キー]▶[左右キー]	[上下キー]▶[■]

認証操作について

利用する機能やサービスによっては、認証のために各種暗証番号（P118）の入力画面が表示されます。入力画面が表示された場合は、ダイヤルキーで暗証番号を入力して[■]［OK］を押します。正しく入力されると、操作を完了させたり、操作を次に進めたりできます。

- 入力した暗証番号は「＊」で表示されます。

暗証番号入力画面（例：端末暗証番号入力画面）

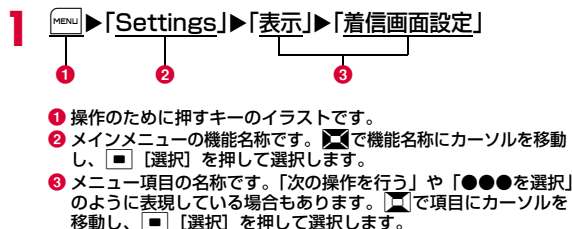
お知らせ

- 暗証番号の入力を中止して入力画面を閉じるには、[戻る]をタッチします。

メニュー操作の表記について

本書では、主に待受画面からの操作で説明しています。また、原則として操作手順を次のように簡略化しています。

操作の記載例

❶ 操作のために押すキーのイラストです。
❷ メインメニューの機能名称です。[十字キー]で機能名称にカーソルを移動し、[■]［選択］を押して選択します。
❸ メニュー項目の名称です。「次の操作を行う」や「●●●を選択」のように表現している場合もあります。[十字キー]で項目にカーソルを移動し、[■]［選択］を押して選択します。

サブメニューの記載例

サブメニューに表示される項目は、FOMA端末の設定状況や登録状況などの条件により異なる場合があります。

［ソート］ ❶
条件を設定してファイルを並べ替えます。 ❷

［メモリ情報］
本体メモリー：「データBOX」内の保存領域の状態などを表示します。
外部メモリー：microSDカードの保存領域の状態などを表示します。 ❸

❶ 項目の名称です。[十字キー]／[▲]／[▼]を押して項目にカーソルを移動し、[■]［選択］を押して選択します。
❷ 項目の機能説明です。
❸ 項目の選択後に表示される項目の名称、機能説明、操作説明です。

お知らせ

- リダイヤル一覧画面とリダイヤル詳細画面など複数のサブメニューをまとめて説明している場合は、設定内容や画面によって表示されないサブメニューが含まれている場合があります。

表記ルール

■ 待受画面以外から開始する操作文の表記について

操作文の最初に「着信中」や「一覧画面」など、FOMA端末の状態や表示される画面を記載しています。

■「選択」操作における■［選択］の省略について

「操作の記載例」（P42）❷❸のようにアイコンや一覧から目的の機能を選択するときは■［選択］などの確定操作を省略して記載しています。

同様に暗証番号の入力や文字の確定などの操作説明でも、■［OK］などの確定操作を省略しています。

■ □を☑にする操作における■の省略について

□の付いた項目を選択し、■を押して☑にする操作を、■の操作を省略して「チェックを付ける」と記載しています。

FOMAカードを使う

FOMAカードは、お客様の電話番号などの契約情報が記録されているICカードです。FOMA端末に取り付けることで、電話やメール、ｉモードなどの通信機能を利用できます。FOMAカードを他のFOMA端末に取り付けることで、用途に合わせてFOMA端末を使い分けることもできます。

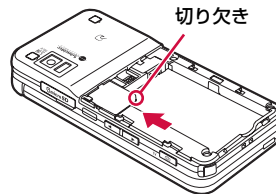
取り扱いの詳細については、FOMAカードの取扱説明書をご覧ください。

取り付けかた／取り外しかた

- 「電源を切る」（P51）の操作を行った後、背面を上にして電池パックを取り外してから、FOMAカードの取り付け、または取り外しを行ってください。→P47

取り付けかた

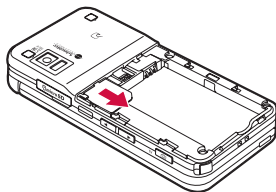
FOMAカードを取り付けるときは、FOMA端末を閉じた状態で、両手で持って行ってください。

1 FOMAカードの金色のIC面を下にして､カードの表面を押しながら､ゆっくりと奥まで差し込む

お知らせ

- 無理に取り付けようとすると、FOMAカードが壊れることがあります。

取り外しかた

FOMAカードを取り外すときは、FOMA端末を閉じた状態で、両手で持って行ってください。

1 FOMAカードをスライドさせながら、ゆっくりと引き抜く

お知らせ

- 取り外したFOMAカードはなくさないようにご注意ください。

暗証番号

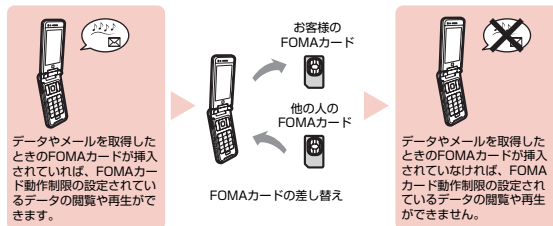
FOMAカードには、「PIN1コード」と「PIN2コード」という2つの暗証番号を設定できます。→P119

FOMAカードのセキュリティ機能

FOMA端末には、お客様のデータやファイルを保護するためのセキュリティ機能として、FOMAカードセキュリティ機能（FOMAカード動作制限機能）が搭載されています。

- FOMA端末にFOMAカードを挿入した状態で、サイトなどからデータやファイルをダウンロードしたり、メールに添付されたデータを取得したりすると、取得したデータやファイルにはFOMAカード動作制限機能が自動的に設定されます。
- FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルは、取得時と同じFOMAカードが挿入されているときのみ操作できます。
- 制限の対象となるデータ／ファイルは次のとおりです。
  - ｉモードメールに添付されているファイル
  - ファイル（メロディ／画像）が添付されているメッセージR/F
  - 画面メモ
  - デコメール®や署名に挿入されている画像
  - ｉモーション
  - ｉアプリ（ｉアプリ待受画面を含む）
  - 画像（アニメーション、Flash画像を含む）
  - 着うた®・着うたフル®
  - メロディ
  - きせかえツール
  - 動作制限となるデータが含まれたメールテンプレート
  - Music&Videoチャネルの番組

  ※「着うた」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

- ここでは、データやファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを「お客様のFOMAカード」、それ以外のFOMAカードを「他の人のFOMAカード」として説明しています。

お知らせ

- 本機能で制限されているデータ／ファイルを待受画面などに設定すると、他の人のFOMAカードが取り付けられた場合やFOMAカードが取り付けられていない場合は、設定がお買い上げ時の状態になります。お客様のFOMAカードを挿入し直すと、お客様が設定した状態に戻ります。
- お買い上げ時に登録されているｉアプリは本機能の制限の対象になりません。ただし、一度削除するなどしてサイトからダウンロードした場合は制限の対象になります。
- 次のデータ／ファイルは、本機能の制限の対象になりません。
  - 赤外線通信、microSDカード、データ通信を利用して入手したデータ／ファイル
  - 本FOMA端末で撮影／編集した画像
- データ／ファイルの入手時とは異なるFOMAカードが取り付けられている場合でも、本機能で制限されているデータ／ファイルの削除はできます。
- FOMAカードに保存される設定は次のとおりです。
  - 電話番号表示
  - PIN1コード、PIN2コード
  - SMS有効期間設定
  - SMSセンター設定
  - Select language

- 他のｉチャネル対応端末にFOMAカードを差し替えた場合、テロップが表示されなくなります。待受画面でCLRを押してチャネル一覧を表示すると、最新の情報を受信してテロップが表示されるようになります。

FOMAカードの種類

FOMA端末で「FOMAカード（青色）」をご使用になる場合、「FOMAカード（緑色／白色）」とは次のような違いがありますので、ご注意ください。

機　能	FOMAカード（青色）	FOMAカード（緑色／白色）	参照先
FOMAカード電話帳に登録できる電話番号の桁数	最大20桁まで	最大26桁まで	P87
WORLD WINGの利用	利用不可	利用可	P408
サービスダイヤルの利用	利用不可	利用可	P399

WORLD WINGについて

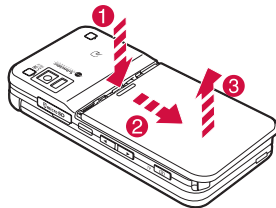
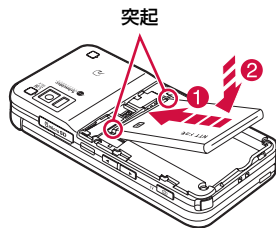
WORLD WINGとは、FOMAカード（緑色／白色）とサービス対応端末で、海外でも同じ携帯電話番号で発信や着信ができる、ドコモのFOMA国際ローミングサービスです。

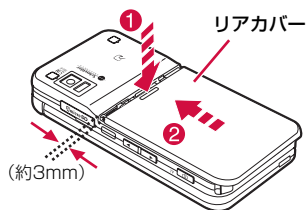
- 2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約いただいた方は、お申し込み不要です。ただし、FOMAサービスご契約時に不要である旨お申し出いただいた方や途中でご解約された方は、再度お申し込みが必要です。
- 2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約で「WORLD WING」をお申し込みいただいていない方はお申し込みが必要です。
- 一部ご利用できない料金プランがあります。
- 万一、FOMAカード（緑色／白色）を海外で紛失・盗難された場合には、速やかにドコモへご連絡いただき、利用中断の手続きをとってください。お問い合わせ先については、取扱説明書裏面の総合お問い合わせ先をご覧ください。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。

電池パックの取り付けかた／取り外しかた

- FOMA端末の電源を切り、閉じた状態で、手に持って行ってください。

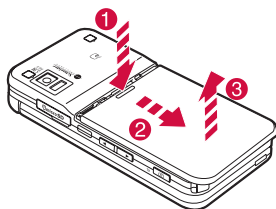
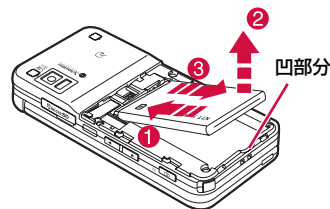
取り付けかた

1 リアカバーを❶の方向に押し付けながら❷の方向へスライドさせ、❸の方向に持ち上げて取り外す

2 電池パックの「Ⓐ」と記載されている面を上にして、電池パックとFOMA端末の金属端子が合うように❶の方向に取り付けてから、❷の方向へはめ込む

- 電池パックをはめ込むときは、突起の下に押し付けるようにしてからはめ込んでください。

3 リアカバーを約3mm開けた状態でFOMA端末の溝に合わせ、❶の方向へ押し付けながら❷の方向へスライドさせ、「カチッ」と音がするまで押し込む

お知らせ

- FOMAカードが正しく取り付けられていない状態で電池パックを無理に取り付けようとすると、FOMAカードが壊れる場合があります。
- 電池パックを無理に取り付けようとすると、FOMA端末の端子が壊れることがあります。

取り外しかた

1 リアカバーを❶の方向に押し付けながら❷の方向へスライドさせ、❸の方向に持ち上げて取り外す

2 FOMA端末の凹部分から電池パックに指などをかけ、電池パックを❶の方向に押し付けながら、❷の方向へ持ち上げ、❸の方向に取り外す

充電する

FOMA端末は、専用のACアダプタ（別売）またはDCアダプタ（別売）で充電してください。また、FOMA端末専用の電池パック L05をご利用ください。

■ 電池パックの寿命

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグ視聴などを長時間行うと電池パックの寿命が短くなることがあります。

環境保全のため、不要になった電池パックはNTT ドコモまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

■充電について

- 詳しくはFOMA ACアダプタ 01／02（別売）、FOMA海外兼用ACアダプタ 01（別売）、FOMA DCアダプタ 01／02（別売）の取扱説明書をご覧ください。
- FOMA ACアダプタ 01はAC100Vのみに対応しています。また、FOMA ACアダプタ 02／FOMA海外兼用ACアダプタ01は、AC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- ACアダプタまたはDCアダプタで充電するには、電池パックをFOMA端末に取り付けた状態でないと充電できません。
- コネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないようにゆっくり確実に行ってください。
- 電池パックが空の状態で充電を開始すると、しばらくの間FOMA端末の電源が入らない場合があります。
- 充電中に電話をかけたりパケット通信などを行ったときに、FOMA端末内部の温度が上昇し、充電が停止する場合があります。この場合、使用している機能があるときは終了し、FOMA端末の温度が下がるのを待ってから充電を行ってください。

■電源を入れたままでの長時間（数日間）充電はおやめください

- 充電時にFOMA端末の電源を入れたままで長時間おくと、充電が終わった後、FOMA端末は電池パックから電源が供給されるようになるため、実際に使うと短い時間しか使えず、すぐにバッテリー警告音が鳴ってしまうことがあります。このようなときは、再度正しい方法で充電を行ってください。再充電の際は、FOMA端末を一度ACアダプタ、DCアダプタから外して再度接続し直してください。

■電池パックの使用時間の目安

使用時間は使用環境、電池の劣化度によって異なります。

連続待受時間	**FOMA／3G**	**3G／GSM切替：3G**	移動時：約280時間
		3G／GSM切替：自動	静止時：約320時間 移動時：約210時間
	GSM	**3G／GSM切替：自動**	静止時：約220時間
連続通話時間	**FOMA／3G**		音声電話時：約220分 テレビ電話時：約80分
	GSM		音声電話時：約180分
ワンセグ視聴時間			約140分

- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態で移動したときの時間の目安です。なお、電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか、弱い場所など）により、待受時間は約半分程度になることがあります。ｉモード通信を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。また、通話やｉモード通信をしなくてもｉモードメールを作成、ダウンロードしたｉアプリやｉアプリ待受画面の起動、データ通信、マルチアクセスの実行、カメラの使用、動画や音楽再生、ワンセグの視聴などを行うと、通話（通信）・待受時間は短くなります。
- 滞在国のネットワーク状況によっては記載値より短くなることがあります。
- 静止時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じ、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 移動時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じ、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。
- ワンセグ視聴時間とは、電波を正常に受信できる状態で、平型ステレオイヤホンセット P01（別売）を使用して視聴できる時間の目安です。

- 電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、通話や通信、待受の時間が約半分程度になったり、ワンセグ視聴時間が短くなる場合があります。

■ 電池パックの充電時間の目安

FOMA ACアダプタ 01／02	約180分
FOMA DCアダプタ 01／02	約180分

- 充電時間の目安は、FOMA端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの時間です。
  FOMA端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

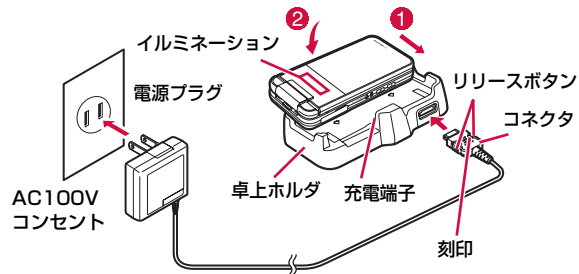
ACアダプタと卓上ホルダで充電する

ACアダプタのコネクタを矢印の刻印されている面を上にして、卓上ホルダへ水平に差し込みます。

ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込みます。

卓上ホルダとFOMA端末の充電端子が合うように取り付け（❶）、矢印❷の方向へはめ込みます。

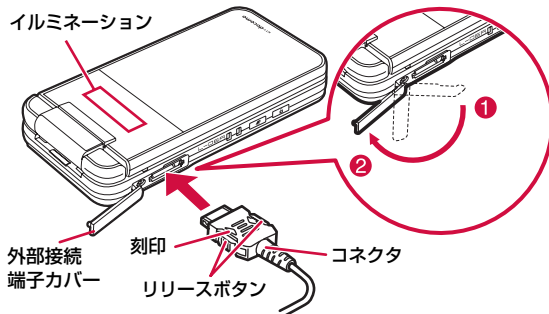
- イルミネーションが点灯し、充電が開始されます。充電が完了すると、イルミネーションが消灯します。（未読メールや不在着信などがある場合は、「イルミネーション設定」に従って点灯します。）

充電が終わったら、卓上ホルダを指で押さえながらFOMA端末の右側から持ち上げて取り外します。

ACアダプタのみで充電する

FOMA端末の外部接続端子のカバーを開き（❶）、回転させます（❷）。ACアダプタのコネクタを矢印の刻印されている面を上にして、FOMA端末の外部接続端子へ水平に差し込みます。

ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込みます。

- イルミネーションが点灯し、充電が開始されます。充電が完了すると、イルミネーションが消灯します。（未読メールや不在着信などがある場合は、「イルミネーション設定」に従って点灯します。）

充電が終わったら、ACアダプタのコネクタのリリースボタンを押しながら水平に引き抜きます。

- ACアダプタのコネクタの抜き差しは、向き（表裏）を確かめ水平に行ってください。無理に取り外そうとすると故障の原因となります。

■ DCアダプタ（別売）

DCアダプタは、FOMA端末に電池パックを付けたまま自動車のシガーライタソケット（12V／24V）から充電するための電源を供給するアダプタです。

詳しくはFOMA DCアダプタ 01／02の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- 電源が入っている場合に、充電開始音や充電完了音が鳴るようにできます。「ポップアップ表示音」の設定に従います。→P101
- 充電中にディスプレイの照明をつけたままにするように設定できます。→P110
- 充電中は電池残量表示のアイコンが□→□→□→□の順にアニメーション表示され、充電が完了すると□が点灯します。

<DCアダプタ>

- ヒューズ（2A）は消耗品です。ヒューズが切れて交換する場合は、お近くのカー用品店などでお買い求めください。

電池残量

電池残量の確認のしかた

画面上部に電池残量（目安）を示すアイコンが表示されます。

□：電池残量は十分です。

□：電池残量が少なくなっています。

□：電池残量がほとんどありません。充電してください。

□：電池残量がほとんどありません。しばらくすると自動的に電源が切れます。充電してください。

お知らせ

- 電池残量を示すアイコンが□、□のときは、カメラ機能（バーコードリーダー含む）と赤外線通信機能が使えなくなります。
- 電池残量を示すアイコンが□以外のときは、ワンセグ／ミュージックプレーヤーを起動するときに、電池残量が少ない旨をお知らせする画面が表示されます（□のときは、表示されない場合があります）。

電池残量を音と表示で確認する

電池残量（目安）を音と表示で確認できます。

1 MENU▶「Settings」▶「その他」▶「電池残量」

確認画面が表示され、電池残量に合わせて音が鳴ります。約3秒経つと電池残量の表示画面が消えます。

「ピッピッピッ」：電池残量は十分です。
「ピッピッ」　：電池残量が少なくなっています。
「ピッ」　　　：電池残量がほとんどありません。充電してください。

お知らせ

- 「ダイヤル音」を（ミュート）に設定している場合や「マナーモード」設定中は音が鳴りません。

電池が切れそうになると

「電池がなくなりました 充電するかバッテリーを交換して下さい」のメッセージが表示されバッテリー警告音が鳴ります（設定によっては、鳴らない場合があります）。画面上部の□が点滅し、しばらくすると自動的に電源が切れます。

電源ON／OFF

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 電源が切れている状態で[電源キー]（2秒以上）

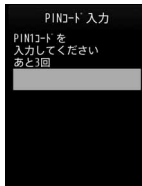
ウェイクアップ画面が表示された後、待受画面が表示されます。

待受画面

お知らせ

- FOMAカードが取り付けられていない場合は、「FOMAカード（UIM）を挿入してください」と表示されます。
- FOMAカードを差し替えたときは、電源を入れたあと4～8桁の端末暗証番号を入力します。端末暗証番号を正しく入力すると待受画面が表示されます。5回誤った端末暗証番号を入力した場合は、電源が切れます。（ただし再度電源を入れることは可能です。）

「PIN1コードリクエスト」を「ON」に設定しているときは

PIN1コード入力画面が表示されます。
PIN1コード（P119）を入力すると、ウェイクアップ画面が表示された後、待受画面が表示されます。

「オールロック」を設定しているときは

端末暗証番号の入力が必要になります。

画面上部に「圏外」が表示されるときは

サービスエリア外または電波の届かない場所にいます。電波の受信レベルを示すアイコンが表示される場所まで移動してください。アイコンは次のように4段階で表示されます。

強　弱

Welcomeメールを確認する

お買い上げ時は、「♪Welcome Mail♪」「Welcome ドコモ動画」のメールが保存されています。
[■]を繰り返し押すと、メールが表示されます。または、「受信メールを表示する」（P154）の操作を行ってメールを表示することができます。

電源を切る

1 電源が入っている状態で待受画面表示中に[電源キー]（2秒以上）

終了画面が表示され、電源が切れます。

初期設定を行う

はじめて電源を入れた後は、初期設定として「日付／時刻」「端末暗証番号変更」「キー確認音」「タッチパネル調整」の設定を行います。

1 電源を入れる▶「はい」

2 日付･時刻の設定を行う(P52)

3 端末暗証番号の設定を行う(P120)

4 キー確認音の設定を行う(「ON」または「OFF」を選択)

- 「OFF」を選択すると、キー確認音の音量が (ミュート)に設定されます。→P101

5 タッチパネルの調整を行う(P115)

- 初期設定が完了するとソフトウェア更新確認画面が表示される場合があります。画面に従って操作してください。

お知らせ

- オールロック設定中などは、初期設定は起動されません。
- 初期設定を中止するときは ／ を押します。次回電源を入れたときに続きから再開されます。

日付／時刻設定

日付・時刻を合わせる

時刻を自動で補正するように設定できます。また、タイムゾーンやサマータイム、日付／時刻の設定ができます。

1 MENU▶「Settings」▶「日付／時刻」▶「日付／時刻設定」

日付／時刻設定画面

2 次の操作を行う

[自動時刻時差補正]

ネットワークからの時刻情報をもとに、FOMA端末の時刻を補正するかどうかを設定します。

ON ：日付・時刻を自動で補正します。

OFF ：自動時刻時差補正をしません。

[タイムゾーン設定] ※

日付時刻のタイムゾーンを設定します。

MENU［前］、 ［次］を押すと、ページ単位でリストが切り替わります。

[サマータイム設定] ※

サマータイムを設定します。

[日付／時刻設定] ※
手動で日付、時刻を設定します。
- 1980/01/01～2099/12/31の範囲で設定できます。

※「自動時刻時差補正」を「OFF」にすると設定できます。

3 [iα][完了]

お知らせ

<自動時刻時差補正>
- 電源を入れたときに時刻や時差の補正を行います。
- 電源を入れてもしばらく補正されない場合は、電源を入れなおしてください。
- 電波状況などによっては時刻を補正できない場合があります。
- 海外でFOMA端末を使用する場合、利用するネットワークによっては時刻やタイムゾーンを補正できない場合があります。また、正しく時刻を表示できない場合があります。世界時計で滞在先の時刻に設定してご利用ください。→P364
- 数秒程度の誤差が生じる場合があります。

発信者番号通知

相手に自分の電話番号を通知する

発信者番号の通知／非通知の設定を、あらかじめネットワークに設定できます。
- お客様の発信者番号（電話番号）は大切な情報です。通知する際は十分にご注意ください。
- 「圏外」が表示されているときは、発信者番号通知を設定できません。

1 [MENU]▶「Settings」▶「NWサービス」▶「発信者番号通知」▶次の操作を行う

[発信者番号通知設定]
発信者番号を通知／非通知に設定します。

[発信者番号通知設定確認]
現在の設定状態を確認します。

お知らせ
- 発信者番号は、相手の電話機が表示できる場合にのみ有効です。
- 電話をかけるごとに発信者番号通知を設定できます。→P66

自局番号

自分の電話番号を確認する

FOMAカードに登録されているお客様の電話番号（自局番号）を表示できます。

1 MENU▶「Own Number」

■登録されている詳細情報を表示する場合

自局番号画面で■［詳細］を押して端末暗証番号を入力すると、自局番号詳細画面が表示されます。自局番号以外の情報を登録できます。→P361

- 自局番号以外の電話番号やメールアドレス、URLが登録されている場合は、カーソルを移動して■を押すと電話の発信やｉモードメール作成、サイトへの接続ができます。

自局番号画面

電話／テレビ電話

テレビ電話

テレビ電話機能は、ドコモのテレビ電話に対応した端末どうしで利用できます。

- ドコモのテレビ電話は「国際基準の3GPP※1で標準化された、3G-324M※2」に準拠しています。ドコモのテレビ電話と異なる方式を利用しているテレビ電話対応端末とは接続できません。
  ※1　3GPP（3rd Generation Partnership Project）
  第3世代移動通信システム（IMT-2000）に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体です。
  ※2　3G-324M
  第3世代携帯テレビ電話の国際規格です。
- テレビ電話の通信速度には64K（64kbps）と32K（32kbps）の2種類がありますが、本FOMA端末では32Kによるテレビ電話は利用できません。
- 本FOMA端末は遠隔監視機能には対応しておりません。
- 充電しながらテレビ電話を長時間行うと電池パックの寿命が短くなることがあります。また、電池残量が少ないときに、充電アダプタを接続した状態でテレビ電話をしていても、テレビ電話中に電源がOFFになる場合があります。

テレビ電話中画面の見かた

❶ **親画面**
お買い上げ時は、相手の画像が表示されます。

❷ **子画面**
お買い上げ時は、自分の画像が表示されます。

❸ **通話時間**
分：秒の形式で表示されます。

❹ **設定状態アイコン**
／　ズーム調整→P59
／　ハンズフリー ON／OFF状態表示→P57
／　画像区分（カメラ画像／代替画像）→P59

電話／テレビ電話をかける

1 電話番号を入力

- 80桁まで入力、表示できます。
- 「0」～「99」を入力すると、該当するメモリ番号の電話帳を呼び出せます。→P97
- 同一市内へかけるときでも市外局番から入力してください。
- ［保存］：入力した電話番号を電話帳に新規／追加登録します。→P89

電話番号入力画面

2 音声電話をかける場合

[発信キー]または[■][発信]

テレビ電話をかける場合

[✉][テレビ電話]

受話口から呼出音が聞こえ、相手が電話に出るまで発信中画面が表示されます。

- [■]［Spk ON・Spk OFF］：ハンズフリー通話のON／OFFを切り替えます。
- 通話中にダイヤルキー、[＊]、[＃]を押すと、プッシュ信号が送信できます。

音声電話中画面

テレビ電話中画面

■**音声電話中の場合**

音声電話中画面には、設定状態がアイコンで表示されます。

- [アイコン]／[アイコン]　ハンズフリー ON／OFF状態表示
- [アイコン]／[アイコン]　ミュート／ミュート解除→P59
- [アイコン]／[アイコン]　受話音量→P74

■**テレビ電話中の場合**

- [i α]［代替画像・カメラ］：相手に送信する画像を代替画像／カメラ画像で切り替えます。

3 **通話が終了したら[終話キー]**

お知らせ

- 番号通知お願いのガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号を通知して電話をかけ直してください。
- 本FOMA端末では、通話中に音声電話／テレビ電話の切り替えはできません。
- 通話中にFOMA端末を閉じると、「通話中クローズ設定」が「通話切断」に設定されている場合は通話を終了し、「通話保留」に設定されている場合は保留します。ただし、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などと接続して通話している場合は、FOMA端末を閉じても通話は終了または保留されません。
- 通話中に電池残量が少なくなると、バッテリー警告音が受話口から聞こえます。そのまま通話を継続できますが、しばらくすると通話が切断され、自動的に電源が切れます。
- 本FOMA端末は、USB接続によるハンズフリー機器（車載ハンズフリーキット 01など）に対応しておりません。

<テレビ電話>

- テレビ電話に対応していない電話機にかけた場合や、相手がテレビ電話でも圏外や電源を切っている場合は接続できません。テレビ電話に対応していない電話機にかけた場合で、「音声自動再発信」を「ON」にしているときは、テレビ電話接続前に相手から切断され、音声電話として電話をかけ直します。ただし、ISDN同期64Kの接続先、3G-324Mに対応していないISDNのテレビ電話など（2009年6月現在）、間違い電話をした場合などは、このような動作にならない場合があります。通信料金が発生する場合もございますので、ご注意ください。
- FOMA端末から110番、119番、118番へテレビ電話で緊急通報した場合は、自動的に音声電話で発信します。
- テレビ電話中に送信されてきたｉモードメールやメッセージR/Fは、ｉモードセンターに保管されます。SMSはテレビ電話中でも受信できます。
- 相手に代替画像を送信している場合でも、デジタル通話料がかかります。

次のページへ続く

入力した電話番号を修正するには

入力した数字を削除する場合は、[←→]で削除する数字にカーソルを移動し、[CLR]を押します。

発信中画面の表示について

電話帳に登録されている相手に電話をかけると、登録した名前が表示されます。

テレビ電話がかからなかったときは

テレビ電話がかからなかったときは、画面に次のメッセージが表示されます（通話する相手の電話機種別やネットワークサービスのご契約の有無により、実際の相手の状況とメッセージの表示が異なる場合があります）。

メッセージ	説　明
番号をご確認の上おかけ直しください	使われていない電話番号です。
お話中です	相手が話し中です（相手の端末によっては、パケット通信中の場合にも表示されることがあります）。
パケット通信中です	相手がパケット通信中です。
電波の届かない所にいるか、電源が切れています	相手が圏外にいるか、電源が切れています。
発信者番号通知をONにしてください	発信者番号が非通知になっています（ビジュアルネットなどへの発信時）。
転送致しますのでお待ちください	転送中です。
音声電話でおかけ直しください	転送でんわサービスが設定されていて転送先がテレビ電話非対応端末です。
上限額を超過しているため接続できません	ご利用金額がリミット機能付プラン（タイプリミット、ファミリーワイドリミット）の上限額を超過しています。
ｉモードから接続してください	ｉモード公式サイトのIP（情報サービス提供者）のサイトからテレビ電話を発信していません（Vライブへの発信時）。
接続できませんでした	「発信者番号通知設定」を「通知する」に設定のうえ、おかけ直しください。 • 上記以外の場合にも表示されることがあります。

電話番号入力画面のサブメニュー

1 電話番号入力画面（P56）▶[MENU][メニュー]▶次の操作を行う

［電話帳登録］
電話帳に登録します。→P88

［テレビ電話発信］
テレビ電話をかけます。

［番号通知設定］
1回の通話のたびに発信者番号を通知するかどうかを設定して電話します。→P66

［国際ダイヤルアシスト］
通話先の国番号を選択すると、「009130010」（WORLD CALL）と国番号が電話番号の先頭に挿入されます。→P67

［プレフィックス選択］
入力した電話番号の先頭にプレフィックス番号を追加します。追加は1回のみ可能です。→P68

［マルチナンバー］
マルチナンバーを契約されている場合は、発信番号を選択して電話をかけます。→P401

[着もじ]
着もじを送信します。→P65

音声電話中画面のサブメニュー

1 音声電話中画面(P57)▶MENU[メニュー]▶次の操作を行う

[新規発信] ※1
通話中の電話を保留にして別の相手に電話をかけます。

[通話終了]
電話を切ります。

[保留]
通話を保留します。解除するには、 または■［解除］を押します。

[ミュート・ミュート解除]
相手に送信する音声の消音／消音解除を設定します。

[自局番号転送]
自分の電話番号（自局番号）が本文に入力されたｉモードメールを作成します。→P138

[電話帳検索] ※2
電話帳を検索します。→P92

※1　キャッチホンを契約されていない場合は使用できません。
※2　電話帳の起動中は使用できません。使用する場合は、タスク一覧画面から該当する機能を終了させてください。→P350

テレビ電話中画面のサブメニュー

1 テレビ電話中画面(P57)▶MENU[メニュー]▶次の操作を行う

[終話]
電話を切ります。

[保留]
通話を保留します。解除するには、 または■［解除］を押します。
iα［代替画像］を押して保留を解除すると、相手には代替画像が送信されます。

[代替画像・カメラ画像]
相手に送信する画像を代替画像またはカメラ画像に切り替えます。

[カメラ設定]
テレビ電話のカメラを設定します。 でアイコンを選択、 で項目を選択します。設定後はMENU［閉じる］を押します。

ズーム　：カメラ画像をズーム（×1／×2）します。
明るさ　：カメラ画像の明るさ（明るい／標準／暗い）を変更します。
ナイトモード：暗い場所などで利用するときに設定します。

[テレビ電話設定]
テレビ電話の表示方法と照明について設定します。設定後はCLRを押してテレビ電話中画面に戻ります。

テレビ電話画面設定
両方（相手画像）：親画面に相手画像、子画面に自画像を表示します。
両方（自画像）　：親画面に自画像、子画面に相手画像を表示します。
相手のみ　　　　：相手画像のみを表示します。
自分のみ　　　　：自画像のみを表示します。

照明設定
常時点灯　　　　：通話中は常に点灯します。
端末設定に従う　：「照明設定」の設定に従います。→P110

[画面サイズ設定]
親画面の表示サイズを設定します。

[送信画質設定]
相手に送信する画像の画質を設定します。

画質優先：画質を重視して送信します。動きが少ない場合に有効です。
標準：画質、動きともに標準で送信します。
動き優先：動きを重視して送信します。動きが多い場合に有効です。

[カメラ切替]
相手に画像を送信するカメラをインカメラとアウトカメラで切り替えます。

[電話帳検索]※
電話帳を検索します。→P92

[自局番号]
自分の電話番号（自局番号）を表示します。

※ 電話帳の起動中は使用できません。使用する場合は、タスク一覧画面から該当する機能を終了させてください。→P350

リダイヤル／着信履歴を利用する

リダイヤルや着信履歴を利用して電話をかけられます。また、最近の通話（発信／着信とも）からも電話をかけられます。

リダイヤル
前にかけた相手にかけ直す

リダイヤルには、音声電話やテレビ電話をかけた履歴が30件まで記録されます。履歴には、電話番号と発信日時が記録されます。

- 30件を超えた場合は、古い情報から順に削除されます。
- 同じ電話番号に繰り返し発信すると、最新の1件のみが記録されます。

1 待受画面▶

❶ **電話帳に登録されている名前**
電話帳に登録されていない場合は相手の電話番号が表示されます。
❷ **発信方法**
音声電話で発信
テレビ電話で発信
❸ **発信日時**
❹ **国際電話発信**
海外へ国際電話で発信
R 海外で国際ローミング中に発信
海外で国際ローミング中に国際電話で発信

リダイヤル一覧画面

2 電話をかけるリダイヤルにカーソルを移動▶[■][詳細]

❶ **発信方法**
❷ **電話帳に登録されている名前**
電話帳に登録されていない場合は「未登録」が表示されます。
❸ **相手の電話番号**
❹ **発信時の番号通知設定**
番号通知設定（P58）を設定して発信した場合に表示されます。
❺ **発信したマルチナンバー**※
発信したマルチナンバーが「電話番号設定」（P401）の登録名で表示されます。
※ マルチナンバーを契約されている場合に表示されます。
❻ **発信日時**
❼ **通話時間**
❽ **国際電話通信**
海外へ国際電話で発信
海外で国際ローミング中に発信
海外で国際ローミング中に国際電話で発信

リダ゛イヤル(1/3)
❶ テレビ電話発信
❷ ドコモ太郎
❸ +XXXXXXXXXX
❹ 通知
❺ 付加番号1
❻ 日付:2009/08/01(土) 時間:12:34
❼ 通話時間:00:00:34
❽

リダイヤル詳細画面

3 音声電話をかける場合

[発信キー]または[■][発信]

テレビ電話をかける場合

[✉][テレビ電話]

お知らせ

- リダイヤル一覧画面でリダイヤルを選択して[発信キー]を押すと音声電話、[✉]［テレビ電話］を押すとテレビ電話をかけられます。
- 電話帳に同じ電話番号が重複して登録されているときは、フリガナ検索で先に表示される名前が表示されます。
- 「184」「186」を付けて電話をかけた場合は、別のリダイヤルとして記録されます。
- リダイヤル一覧画面／詳細画面で[iα]［メール］を押すと、選択中のリダイヤルの電話番号が宛先に入力されたｉモードメールを作成します。

リダイヤル一覧画面／リダイヤル詳細画面のサブメニュー

1 リダイヤル一覧画面（P60）／リダイヤル詳細画面（P61）▶[MENU][メニュー]▶次の操作を行う

[発信]

音声通話：音声電話をかけます。
テレビ電話発信：テレビ電話をかけます。
カスタマイズ発信：リダイヤルの電話番号を変更して電話をかけます。

[メール]

メール作成：リダイヤルの電話番号を宛先にしたｉモードメールを作成します。→P138
- 電話帳にメールアドレスが登録されている場合は、登録されたメールアドレスを宛先にします。

SMS作成：リダイヤルの電話番号を宛先にしたSMSを作成します。

[電話帳登録]

リダイヤルの電話番号を電話帳に登録します。→P88

[履歴切替]※

表示する履歴を切り替えます。

送受信全履歴：最近のメール一覧画面が表示されます。→P166
最新履歴：最近の通話一覧画面が表示されます。→P64
メール受信履歴：受信履歴一覧画面が表示されます。→P166
着信履歴：着信履歴一覧画面が表示されます。→P62
メール送信履歴：送信履歴一覧画面が表示されます。→P166

［削除］

選択中のリダイヤルを削除します。

- 一覧画面では複数のリダイヤルを選択して削除できます。

1件削除※：選択中のリダイヤルを削除します。

選択※：複数の履歴を選択して削除します。
▶削除したい履歴にチェックを付ける▶［i α］［削除］
- ［MENU］［全件選択・全解除］を押して全選択／全解除できます。

全件削除※：すべてのリダイヤルを削除します。

※ 詳細画面では表示されません。

着信履歴

着信履歴を利用する

着信履歴には、かかってきた音声電話やテレビ電話の履歴が30件まで記録されます。履歴には、電話番号と着信日時が記録されます。

- 30件を超えた場合は、古い情報から順に削除されます。

1 待受画面▶［ ］

着信履歴一覧画面

❶ **電話帳に登録されている相手の名前**
登録されていない場合は相手の電話番号が表示されます。相手から発信者番号が通知されなかった場合は、発信者番号の非通知理由が表示されます。

❷ **着信方法**
／ 音声電話で着信／不在着信（着信拒否含む）
／ テレビ電話で着信／不在着信（着信拒否含む）

❸ **着信日時**

❹ **国際電話着信**
海外から国際電話で着信
海外で国際ローミング中に着信
海外で国際ローミング中に国際電話から着信

❺ **着もじの受信**

2 履歴にカーソルを移動▶［■］［詳細］

❶ **着信方法**

❷ **電話帳に登録されている名前**
電話帳に登録されていない場合は「未登録」、電話番号の情報が受信されなかった場合は「非通知設定」が表示されます。

❸ **相手の電話番号**

❹ **着信したマルチナンバー**※
着信したマルチナンバーが「電話番号設定」（P401）の登録名で表示されます。
※ マルチナンバーを契約されている場合に表示されます。

❺ **着信日時**

❻ **通話時間／呼出時間（不在着信の場合）**

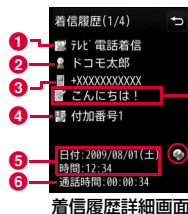
❼ **着もじで受信したメッセージ**

❽ **国際電話着信**
海外から国際電話で着信
海外で国際ローミング中に着信
海外で国際ローミング中に国際電話から着信

着信履歴(1/4)
テレビ電話着信
ドコモ太郎
+XXXXXXXXXX
こんにちは！
付加番号1
日付:2009/08/01(土)
時間:12:34
通話時間:00:00:34

着信履歴詳細画面

3 音声電話をかける場合

[発信キー]または[■][発信]

テレビ電話をかける場合

[メールキー][テレビ電話]

お知らせ

- 着信履歴一覧画面で履歴を選択して[発信キー]を押すと音声電話、[メールキー]［テレビ電話］を押すとテレビ電話をかけられます。
- 発信者番号の通知がない着信の履歴には、発信者番号非通知理由が表示されます。→P129
- 電話帳に同じ電話番号が重複して登録されているときは、フリガナ検索で先に表示される名前が表示されます。
- ダイヤルインを利用した着信の履歴は、実際の番号とは異なる番号が表示される場合があります。
- 着信履歴一覧画面／詳細画面で[iモードキー]［メール］を押すと、選択中の着信履歴の電話番号が宛先に入力されたｉモードメールを作成します。

着信履歴一覧画面／着信履歴詳細画面のサブメニュー

1 **着信履歴一覧画面(P62)／着信履歴詳細画面(P62)▶[MENU][メニュー]▶次の操作を行う**

[発信]

音声通話：音声電話をかけます。

テレビ電話発信：テレビ電話をかけます。

カスタマイズ発信：着信履歴の電話番号を変更して電話をかけます。

[メール]

メール作成：着信履歴の電話番号を宛先にしたｉモードメールを作成します。→P138

- 電話帳にメールアドレスが登録されている場合は、登録されたメールアドレスを宛先にします。

SMS作成：着信履歴の電話番号を宛先にしたSMSを作成します。

[電話帳登録]

着信履歴の電話番号を電話帳に登録します。→P88

[履歴切替] ※

表示する履歴を切り替えます。

送受信全履歴：最近のメール一覧画面が表示されます。→P166

最新履歴：最近の通話一覧画面が表示されます。→P64

メール受信履歴：受信履歴一覧画面が表示されます。→P166

リダイヤル：リダイヤル一覧画面が表示されます。→P60

メール送信履歴：送信履歴一覧画面が表示されます。→P166

[削除]
選択中の着信履歴を削除します。
- 一覧画面では複数の着信履歴を選択して削除できます。

1件削除※：選択中の着信履歴を削除します。
選択※：複数の履歴を選択して削除します。
▶削除したい履歴にチェックを付ける▶[iα][削除]
- [MENU][全件選択・全解除]を押して全選択／全解除できます。

全件削除※：すべての着信履歴を削除します。

※ 詳細画面では表示されません。

最新履歴

最新履歴を利用する

「最新履歴」には、発信／着信の履歴が合わせて60件まで記録されます。
- 60件を超えた場合は、古い情報から順に削除されます。

1 待受画面▶[✉]で「最新履歴」を表示

以降の操作、および画面の説明については、リダイヤル（P60）、着信履歴（P62）を参照してください。

お知らせ
- 最新履歴一覧画面／詳細画面からのサブメニュー操作は、リダイヤルと着信履歴の一覧画面／詳細画面と同じです。→P61、P63

着もじ

着もじを使う

音声電話やテレビ電話をかけるときに同時にメッセージを送信して、呼び出し中に用件を伝えることができます。
- 全角・半角・絵文字・記号問わず10文字まで送信できます。
- 送信側は料金がかかります。受信側は料金がかかりません。
- 着もじの詳細や対応機種については、ドコモのホームページまたは『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

- オールロック中やプライバシーモード設定で電話帳機能をロック中は、着もじを受信しても表示されません。ロックを解除すると、着信履歴詳細画面でメッセージを確認できます。

メッセージの編集や設定をする

メッセージを登録する

- 10件まで登録できます。

1 MENU▶「Settings」▶「NWサービス」▶「着もじ」▶「メッセージ作成」

2 登録・編集する番号にカーソルを移動▶ iα [編集]▶メッセージを入力・編集

- 登録した着もじを削除するには、削除したい着もじにカーソルを移動▶ MENU ［メニュー］▶「削除」／「全件削除」▶「はい」を選択します。

着もじを受信したときに表示するかどうかを設定する

1 MENU▶「Settings」▶「NWサービス」▶「着もじ」▶「メッセージ表示設定」▶項目を選択

すべて表示：すべての相手からの着もじを表示します。

電話帳登録番号のみ：電話帳に登録されている相手からの着もじのみを表示します。

番号通知ありのみ：発信者番号を通知してきた相手からの着もじのみを表示します。

表示しない：着もじを表示しません。

メッセージをつけてダイヤルする

1 電話番号を入力する▶ MENU [メニュー]▶「着もじ」▶次の操作を行う

- クイックダイヤル（P97）でメモリ番号を入力▶ MENU ［メニュー］▶「着もじ」で電話帳の相手に着もじを送れます。

[メッセージ作成]
メッセージを入力します。

[メッセージ選択]
登録済みのメッセージから選択します。

[送信メッセージ履歴]
過去に送信したメッセージから選択します。最新の10件までが記録されています。

2 ⌒または ■ [発信]

■ **テレビ電話をかける場合**
✉ ［テレビ電話］を押します。

お知らせ

- 着もじが相手に届くと「送信しました」と表示され、送信料金がかかります。
- 着信側が次のような場合などは「送信できませんでした」と表示され、送信料金はかかりません。
  - 着もじ対応端末でない
  - メッセージ表示設定で許容していない送信のとき
  - 海外にいる※
  - 公共モード（ドライブモード）設定中※
  - 伝言メモの応答時間を0秒に設定している※
  - 圏外または電源が入っていない※

  ※ 送信結果は表示されません
- 電波状態によっては、相手側の端末に着もじが届いても送信結果が表示されない場合があります。このとき送信料金はかかります。
- 海外での利用時には、着もじを送受信できません。

184／186

1回の通話ごとに発信者番号を通知／非通知にする

相手の電話番号の先頭に「184」／「186」を付ける方法と、電話番号入力画面でサブメニューを利用する方法があります。

184／186を付けて通知／非通知にする

1 **「184」(非通知)／「186」(通知)を入力▶電話番号を入力**

2 音声電話をかける場合

[発信キー]

テレビ電話をかける場合

[メールキー] **[テレビ電話]**

サブメニューを利用して通知／非通知にする

例：電話番号入力画面のサブメニューを利用した場合

1 **電話番号を入力▶MENU[メニュー]▶「番号通知設定」▶「通知しない」／「通知する」／「キャンセル」**

2 音声電話をかける場合

[発信キー]**または**[■]**[発信]**

テレビ電話をかける場合

[メールキー] **[テレビ電話]**

お知らせ

- 通知／非通知の設定を、あらかじめネットワークに設定できます。→P53

ポーズ機能

プッシュ信号を送る

電話番号の後ろに「P」と番号を入力して音声電話をかけると、「P」の後ろの番号をプッシュ信号（DTMF）として送信できます。チケットの予約や銀行の残高照会などのサービスにご利用できます。

- 受信側の機器によっては、信号を受信できない場合があります。

1 電話番号を入力▶[＊]を3回押し「P」を入力▶送信する番号を入力▶[発信]

電話がつながると「P」以降の番号が画面に表示され、[発信]を押すと表示された番号が送信されます。

WORLD CALL

国際電話を利用する

WORLD CALLはドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。
FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時にあわせて「WORLD CALL」もご契約いただいています（ただし、不要のお申し込みをされた方を除きます）。

- 通話先は世界約240の国と地域です。
- 「WORLD CALL」の料金は毎月のFOMAサービスの通話料金と合わせてご請求いたします。
- 申込手数料・月額使用料は無料です。
- 一部ご利用できない料金プランがあります。
- 通信事業者によっては、発信者番号通知を設定していても、通信者番号が通知されなかったり、正しく番号表示されないことがあります。この場合、着信履歴画面から電話をかけることはできません。
- WORLD CALLの詳細については、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用になる場合は、各国際電話サービス会社に直接お問い合わせください。

海外のFOMAのテレビ電話に対応した通信事業者のテレビ電話対応端末をご利用のお客様に対し、次のダイヤル方法の後に[MENU]［メニュー］▶「テレビ電話発信」を選択して発信すれば「国際テレビ電話」がご利用いただけます。
- 接続可能な国および通信事業者などの情報についてはドコモの国際サービスホームページをご覧ください。
- 国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できなかったりする場合があります。

電話番号を入力して国際電話をかける

次の順番で電話番号を入力してください。

1 「010－国番号－地域番号（市外局番）－相手の番号」を入力

- 地域番号（市外局番）の先頭が「0」の場合は、「0」を除いて入力してください（イタリアなど一部の国・地域は「0」が必要な場合があります）。
- 009130－010－国番号－地域番号（市外局番）－相手の番号でもかけられます。

2 [発信]

■ 国際テレビ電話をかける場合
[✉]［テレビ電話］を押します。

「＋」を利用して国際電話をかける

電話番号の先頭に「＋」を入力して電話をかけると、「＋」の代わりに国際アクセス番号が自動的に付加され、国際電話をかけられます。

- お買い上げ時は、WORLD CALL（009130010）が自動的に付加されるように設定されています。→P69

1 □（1秒以上）を押して「＋」を入力▶「国番号－地域番号（市外局番）－相手の電話番号」を入力

- ＊を2回押しても「＋」を入力できます。
- 地域番号（市外局番）の先頭が「0」の場合は、「0」を除いて入力してください（イタリアなど一部の国・地域は「0」が必要な場合があります）。

2 ↗

発信	：「＋」を国際アクセス番号に変換して発信され、国際電話がかかります。
元の番号で発信	：端末に入力した番号のままで発信され、国際電話がかかります。
発信中止	：発信を中止します。

009130010****
****
[WORLDCALL]
1 発信
2 元の番号で発信
3 発信中止

発信確認画面

■ **国際テレビ電話をかける場合**
✉［テレビ電話］を押します。

3 **発信方法を選択**

お知らせ
- FOMAネットワークのサービスエリア内でのみ利用できます。
- 電話番号の先頭に「＋81」が入力されている場合、「＋」は国際アクセス番号に変換されません。

国際アクセス番号を付けて国際電話をかける

サブメニューから、国際アクセス番号を選択して入力した電話番号に付加できます。

1 「国番号－地域番号（市外局番）－相手の電話番号」を入力

- 地域番号（市外局番）の先頭が「0」の場合は、「0」を除いて入力してください（イタリアなど一部の国・地域は「0」が必要な場合があります）。

2 MENU［メニュー］▶「プレフィックス選択」▶国際アクセス番号を選択

入力した電話番号の先頭に、選択した国際アクセス番号が挿入されます。

3 ↗

■ **国際テレビ電話をかける場合**
✉［テレビ電話］を押します。

お知らせ
- お買い上げ時には、「プレフィックス1」にWORLD CALL（009130010）が登録されています。→P70

簡単な操作で国際電話をかけられるようにする

国際電話をかけるときの設定を変更できます。

- 通信事業者によっては、発信者番号通知を設定していても、発信者番号が通知されなかったり、正しく番号表示されないことがあります。この場合、着信履歴から電話をかけることはできません。

国際アクセス番号の自動付加を設定する<自動国際プレフィックス変換>

電話番号の先頭に「+」を入力して電話をかけたとき、「+」の代わりに国際アクセス番号を自動的に付加するかどうかを設定できます。

1 MENU▶「Settings」▶「国際ダイヤルアシスト設定」▶「自動国際プレフィックス変換」▶「自動」/「なし」

自動：自動的に国際プレフィックスで設定した番号に変換します。

なし：変換しません。

国際アクセス番号を設定する<国際プレフィックス>

「自動国際プレフィックス変換」を「自動」に設定したときに、自動的に付加する国際アクセス番号を設定します。国際電話をかけるときに必要な国番号を1件登録できます。

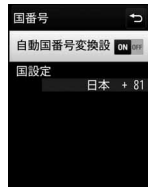
1 MENU▶「Settings」▶「国際ダイヤルアシスト設定」▶「国際プレフィックス」▶次の操作を行う

[名称]
自動国際プレフィックス変換で使用する国際ダイヤルアシストの名称を入力します。

[番号]
自動国際プレフィックス変換で使用する国際ダイヤルアシストの番号を入力します。

国番号の自動付加を設定する<国番号>

国際ローミング中に「0」から始まる電話番号を入力して電話をかけたとき、「0」の代わりに「+国番号」を自動的に付加するかどうかを設定します。また、自動で付加する国番号を指定できます。

1 MENU▶「Settings」▶「国際ダイヤルアシスト設定」▶「国番号」▶次の操作を行う

国番号画面

[自動国番号変換設定]
国番号を自動的に付加するかどうかを設定します。

[国設定]
付加する国番号を設定します。

お知らせ

- 以下の場合、国番号は自動付加されません。
  - 電話番号の先頭に「+」を入力した場合
  - メール本文やサイトのページなどから電話番号を選択して発信する場合
  - ｉアプリから発信する場合

国番号を登録する<国番号一覧>

海外から国際電話をかけるときに必要な国番号を最大50件登録できます。

1 MENU▶「Settings」▶「国際ダイヤルアシスト設定」▶「国番号一覧」

国番号一覧画面

2 空いている項目を選択▶次の操作を行う

[国名]
国番号の名前を登録します。全角で7文字、半角で14文字まで入力できます。

[国番号]
5桁まで登録できます。

3 [完了]

- 新規に登録した国番号は一番目に表示され、すでに登録されていた国番号は二番目以降に表示されています。

国番号を修正するには
国番号一覧画面で編集したい国番号を選択▶「編集」▶ ［完了］で編集します。

国番号を削除するには
国番号一覧画面で削除したい国番号を選択▶「削除」▶「はい」を選択します。

お知らせ

- お買い上げ時に登録されている国番号も編集できます。
- 「国番号」（P69）で「自動国番号変換設定」を設定した場合に、「国設定」で指定した国番号は削除できません。

プレフィックス設定

電話番号の先頭に付加する番号を設定する

国際アクセス番号や「184」「186」など、電話番号の先頭に付与する番号（プレフィックス）をあらかじめ3件まで登録しておくことができます。

1 MENU▶「Settings」▶「発着信／通話機能」▶「プレフィックス設定」

2 設定するプレフィックス入力欄を選択▶番号を入力▶ ■ [設定]

- プレフィックスする番号は、10桁まで入力できます。

お知らせ

- 番号（プレフィックス）には、ポーズなどを含めないでください。含めた場合、プレフィックスを付加して電話をかけることはできません。

サブアドレス設定

サブアドレスを指定して電話をかける

電話番号に「⁎」を入力したとき、「⁎」以降をサブアドレスとして識別させるかどうかを設定できます。サブアドレスは、ISDN回線に接続されている特定の機器を呼び出すときや、「Vライブ」でコンテンツを選択するときなどに利用します。

1 MENU▶「Settings」▶「発着信／通話機能」▶「サブアドレス設定」にカーソルを移動▶■［ON・OFF］

ON ：「⁎」以降をサブアドレスとして識別させます。

OFF：「⁎」以降をサブアドレスとして識別させません。

お知らせ

- 次の場合は、「⁎」はサブアドレスの区切りとして識別されません。
  - 電話番号の先頭に「⁎」が入力されている
  - 電話番号の先頭に「184」「186」など特定の番号が入力され、その直後に「⁎」が入力されている

再接続アラーム

再接続されるまでのアラームを設定する

電波の状態が悪くなり音声電話やテレビ電話が途切れたときに、再接続するまで鳴るアラームを設定します。

1 MENU▶「Settings」▶「発着信／通話機能」▶「通話機能」▶「再接続アラーム」▶アラームを選択

アラームなし：アラームが鳴らないようにします。

アラーム低音：低音のアラームに設定します。

アラーム高音：高音のアラームに設定します。

お知らせ

- ご利用の状態や電波の状態により、再接続が可能な時間は異なります。
- 急に電波の状態が悪くなった場合は、アラームが鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。
- 再接続されるまでの間も通話料がかかります。
- 電波が途切れている間、相手は無音状態となります。

ノイズキャンセラ

周囲の騒音を抑えて通話を明瞭にする

ノイズキャンセラとは、周囲の騒音を抑える機能です。周囲に騒音がある場所でも、相手に音声電話やテレビ電話の通話を聞きやすくできます。

1 MENU▶「Settings」▶「発着信／通話機能」▶「通話機能」▶「ノイズキャンセラ」にカーソルを移動▶ ■[ON･OFF]

ON ：ノイズキャンセラを有効にします。

OFF：ノイズキャンセラを無効にします。

電話／テレビ電話を受ける

1 電話がかかってくる

着信音が鳴ります。

- ：応答を保留します。→P75

■テレビ電話着信中の場合

- ■［代替画像］：代替画像で電話に出ます。

音声電話着信中画面

テレビ電話着信中画面

2

電話に出ます。

- ■［Spk ON・Spk OFF］：ハンズフリー通話のON／OFFを切り替えます。
- 通話中にダイヤルキー、＊、＃を押すと、プッシュ信号が送信できます。

■テレビ電話中の場合

- ［代替画像・カメラ］：相手に送信する画像を代替画像／カメラ画像で切り替えます。

3 通話が終了したら

相手が発信者番号を通知した場合

電話帳に相手が登録されている場合は、相手の電話番号と登録名が表示されます。

相手が発信者番号を通知しない場合

電話番号の代わりに発信者番号非通知理由が表示されます。→P129

お知らせ

- 着信音や振動の設定や電話帳の登録状態により、着信音や振動などの着信動作が異なります。→P84、P100、P102
- 「マナーモード」が設定されている場合は着信音が鳴りません。ただし、「オリジナルマナーモード」に設定されている場合は、設定内容に従って着信を通知します。→P105
- 通話中にFOMA端末を閉じると、「通話中クローズ設定」が「通話切断」に設定されている場合は通話を終了し、「通話保留」に設定されている場合は保留します。ただし、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などと接続して通話している場合は、FOMA端末を閉じても通話は終了または保留されません。

- 留守番電話サービス、キャッチホン、または転送でんわサービスをご契約いただいていて、「通話中着信動作選択」を「通常着信」、「通話中着信設定」を「通話中着信設定開始」に設定している場合は、通話中に電話がかかってくると、「プププ･･･プププ･･･」という通話中着信音が聞こえます。通話中着信音が聞こえた場合は、各ネットワークサービスを利用できます。→P400
ただし、応答保留中や伝言メモ録音中（P78）は、電話がかかってきても着信できないため、通話中着信は鳴りません。
- 公共モード（ドライブモード）が設定されている場合は、着信は通知されません（着信音も鳴りません）。また、ディスプレイの表示が消えているときに着信しても、ディスプレイのバックライトは点灯しません。
- マルチナンバーを契約されている場合は、着信した電話番号に応じて「電話番号設定」（P401）の登録名が表示されます。
- 「呼出動作開始時間設定」を設定して、電話帳に未登録の相手や発信者番号が非通知の相手からの着信動作をすぐに開始しないようにできます。→P130
- 次の機能を利用して、電話帳に未登録の相手／特定の相手からの着信を拒否するようにできます。
  - メモリ登録外着信拒否→P130
  - リスト指定着信拒否→P127
- 本FOMA端末では、通話中にテレビ電話／音声電話の切り替えはできません。
- 通話中に電池残量が少なくなると、バッテリー警告音が受話口から聞こえます。そのまま通話を継続できますが、しばらくすると通話が切断され、自動的に電源が切れます。
- 本FOMA端末は、USB接続によるハンズフリー機器（車載ハンズフリーキット 01など）に対応しておりません。
- 「応答設定」が「オープンアンサー」に設定されている場合は、FOMA端末を開いても音声電話に出られます。また、「エニーキーアンサー」に設定されている場合は、ダイヤルキー、[＊]、[＃]を押しても電話に出られます。→P74

<テレビ電話>
- テレビ電話で留守番電話サービスを開始に設定している場合は、伝言メッセージが録音されるとSMSで録音されたことをお知らせします。
- テレビ電話で転送でんわサービスを開始に設定している場合でも、転送先が3G-324Mに準拠したテレビ電話対応機器に設定されていない場合は、かかってきたテレビ電話は転送されません。転送先の機器をあらかじめご確認の上、転送設定を行ってください。
- テレビ電話中に送信されてきたｉモードメールやメッセージR/Fは、ｉモードセンターに保管されます。SMSはテレビ電話中でも受信できます。
- 通信速度が32K（32kbps）によるテレビ電話の着信はできません。

着信中画面のサブメニュー

1 着信中画面（P72）で[MENU][メニュー]▶次の操作を行う

[留守番電話] ※1
着信中の電話を留守番電話サービスセンターに接続します。

[着信拒否]
着信を拒否して電話を切ります。

[転送でんわ] ※2
着信中の電話を指定した電話番号へ転送します。

[ミュート]
着信音や振動を停止します。
[通話キー]を押すと、電話に出ます。

※1 留守番電話サービスをご契約いただいていない場合は使用できません。
※2 転送でんわサービスをご契約いただいていない場合や、転送先電話番号を指定していない場合は使用できません。

応答設定

かかってきた音声電話の応答方法を設定する

音声電話がかかってきたときに、FOMA端末を開いて電話に出たり（オープンアンサー）、[通話キー]、[■]［応答］以外にダイヤルキーなどを押して電話に出たり（エニーキーアンサー）できるように設定できます。

1 [MENU]▶「Settings」▶「発着信／通話機能」▶「着信機能」▶「応答設定」▶次の操作を行う

［オープンアンサー］
FOMA端末を開いて、電話に出られます。

［エニーキーアンサー］
[通話キー]、[■]［応答］以外に、ダイヤルキー、[＊]、[＃]を押しても電話に出られます。

［通話ボタンアンサー］
[通話キー]、[■]［応答］を押して、電話に出られます。

通話中クローズ設定

FOMA端末を閉じて通話を終了／保留する

1 [MENU]▶「Settings」▶「発着信／通話機能」▶「通話機能」▶「通話中クローズ設定」▶閉じたときの状態を選択

通話切断：通話を終了します。
通話保留：通話を保留します。
ミュート設定：通話を継続しますが、こちらの音声は相手に聞こえません。

受話音量

相手の声の音量を調節する

受話音量は、1～7の7段階で調節できます。

1 通話中画面（P57）▶[▲]／[▼]

- [▲]：音量を上げます。
- [▼]：音量を下げます。

お知らせ

- 調節した受話音量は、通話が終了しても保持されます。
- 「音量設定」（P102）の「受話音量」も合わせて変更されます。

応答保留

すぐに電話に出られないときに保留にする

1 着信中画面(P72)▶[⏻]

相手に「応答保留音」(P75)で設定した保留音が流れます。テレビ電話の場合は「応答保留画像」(P80)で設定した画像が表示されます。

音声電話応答保留中画面

テレビ電話応答保留中画面

2 電話に出られるようになったら[📞]

- テレビ電話を保留している場合は、[■]［応答］でも保留を解除できます。[i α]［代替画像］を押して保留を解除すると、相手には代替画像が送信されます。

■ 音声電話／テレビ電話を切る場合

[⏻]を押します。

お知らせ

- 応答保留中でも、相手には通話料金がかかります。
- 留守番電話サービス／転送でんわサービスをご契約の場合は、着信中の電話を留守番電話サービスセンターに接続したり、指定した電話番号に転送したりできます。→P392、P396

応答保留音

応答保留音を設定する

着信中に応答保留したときに相手に流す応答保留音（ガイダンス）を、3つの中から選択して設定できます。

1 [MENU]▶「Settings」▶「発着信／通話機能」▶「着信機能」▶「応答保留音」▶「保留音1」／「保留音2」／「保留音3」

- [i α]［再生］：保留音を確認できます。

通話中保留音

通話保留音を設定する

通話中に保留したときに相手に流す通話保留音を、3つの中から選択して設定できます。

1 [MENU]▶「Settings」▶「発着信／通話機能」▶「通話機能」▶「通話中保留音」▶「保留音1」／「保留音2」／「保留音3」

- [i α]［再生］：保留音を確認できます。

公共モードを利用する

公共モードは、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。

- 公共モードには次の2種類があります。
  - ドライブモード
  - 電源OFF
- 留守番電話サービス（※1）、転送でんわサービス（※1）、番号通知お願いサービス（※2）は、公共モードに優先して動作します。
  ※1　呼出時間が「0秒」以外での音声電話に対しては、公共モードのガイダンスの後にサービスが動作します。
  ※2　相手が電話番号を通知している場合は、公共モードが動作します。
- 迷惑電話ストップサービスで着信拒否した相手からの電話に対しては、公共モードは動作しません。

公共モード（ドライブモード）

公共モード（ドライブモード）を利用する

電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控える必要のあるような場所（電車、バス、映画館など）にいるため電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

- 公共モード（ドライブモード）の設定／解除は、待受中のみできます（「圏外」が表示されているときでも可能です）。
- 本機能は、データ通信中はご利用できません。

1 **[＊]（1秒以上）**

着信時に「ただいま運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいるため、電話に出られません。後ほどおかけ直しください」というガイダンスが流れます。

公共モード（ドライブモード）を設定すると

お客様のFOMA端末に電話がかかってきても、着信音は鳴りません。
待受画面には[1]が表示され、着信履歴に記録されます。
電話をかけてきた相手には運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

公共モード（ドライブモード）を解除するには

待受画面を表示中に[＊]（1秒以上）を押します。

お知らせ

- 公共モード（ドライブモード）が設定されると、画面上部に[車]が表示されます。
- 公共モード（ドライブモード）設定中でも、通常どおり電話をかけることができます。
- マナーモードを同時に設定しているときは、公共モード（ドライブモード）の設定が優先されます。
- 公共モード（ドライブモード）設定中は、お客様が操作したとき以外の音（着信音やアラーム音など）は鳴りません。
- 公共モード（ドライブモード）設定中にメールを受信しても、着信音の鳴動、FOMA端末の振動などの着信動作は行われません。

公共モード（電源OFF）

公共モード（電源OFF）を利用する

電源をOFFにしている場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所（病院、飛行機、電車の優先席付近など）にいるため電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

1 「＊25251」を入力▶[発信]

公共モード（電源OFF）が設定されます（待受画面上の変化はありません）。
公共モード（電源OFF）を設定後、電源を切った際の着信時に「ただいま携帯電話の電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られません。後ほどおかけ直しください」というガイダンスが流れます。

公共モード（電源OFF）を設定すると

「＊25250」をダイヤルして公共モード（電源OFF）を解除するまで設定は継続されます。電源をONにするだけでは設定は解除されません。
サービスエリア外または電波が届かないところにいる場合も、公共モード（電源OFF）ガイダンスが流れます。電話をかけてきた相手には電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

公共モード（電源OFF）を解除するには

「＊25250」を入力して[発信]を押します。

公共モード（電源OFF）の設定を確認するには

「＊25259」を入力して[発信]を押します。

不在着信

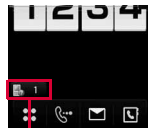
不在着信を確認する

かかってきた電話に出られなかったとき、待受画面に不在着信があったことをお知らせするアイコンが表示されます。アイコンから着信履歴一覧画面を表示させ、電話をかけてきた相手を確認できます。

1 かかってきた電話が切れる

待受画面に不在着信アイコンが表示されます。
アイコンの数字は件数を表します。

不在着信アイコン
（数字は件数）

2 [■]▶[✉]で[不在着信 1]を選択

着信履歴一覧画面（P62）が表示されます。

お知らせ

- 着信履歴一覧画面を表示させると、[不在着信 1]は消えます。また、[不在着信 1]を選択して[CLR]を約1秒以上押しても、消すことができます。

伝言メモ

電話に出られないときに用件を録音する

伝言メモを設定しておくと、音声電話に出られないときに応答ガイダンスが再生され、相手の用件が録音されます。

- 伝言メモは5件まで、1件あたり約15秒まで録音できます。
- テレビ電話がかかってきた場合は、伝言メモが起動しません。通常の着信動作を行います。

伝言メモを設定する

1 MENU ▶「Media」▶「伝言メモ」▶「伝言メモ設定」▶次の操作を行う

[設定]
伝言メモを設定する場合に「ON」にします。

[応答時間] ※
電話を着信してから、伝言メモを起動するまでの時間を0～120秒の間で入力します。

[応答メッセージ言語選択] ※
応答メッセージを選択します。
- [再生]：応答メッセージを確認できます。

※「設定」を「ON」にすると設定できます。

2 [完了]

お知らせ
- 伝言メモを設定すると、画面上部にが表示されます。

<応答時間>
- 留守番電話サービス／転送でんわサービスの呼出時間よりも長く設定した場合は、各ネットワークサービスが優先して動作します。
- 「呼出動作開始時間設定」（P130）で設定した時間よりも短く設定した場合は、呼出動作を行わずに伝言メモが起動します。

伝言メモを設定したときには

音声電話がかかってきた場合は、相手の音声が録音されます。

■ **応答メッセージ再生／伝言メモ録音中に相手と話す場合**
または［解除］を押します。

■ **伝言メモを再生する場合**
待受画面で▶でを選択するか、またはを1秒以上押すと、伝言メモ一覧画面（P79）が表示されます。
- ［再生］で伝言を再生します。
- 記録されている伝言メモを削除すると、は消えます。

お知らせ

- 「圏外」が表示されているときや電源が切れているとき、公共モード（ドライブモード）を設定しているときは、伝言メモを録音できません。
- 応答メッセージの再生中や伝言メモの録音中に電話がかかってきた場合、着信は拒否されます。

クイック伝言メモ

着信中に電話に出られないときに用件を録音する

伝言メモが設定されていないときにかかってきた電話を、簡単な操作で伝言メモに録音できます。

1 着信中画面(P72)▶▾(1秒以上)

応答メッセージが再生された後、伝言メモに録音されます。

お知らせ

- 既に伝言メモが5件録音されている場合は、伝言メモが起動できないため録音できません。

伝言メモの再生／削除

伝言メモを再生／削除する

1 MENU▶「Media」▶「伝言メモ」▶「伝言メモ一覧」

- iα［削除］：選択中の伝言メモを削除します。

■ **伝言メモをすべて削除する場合**

伝言メモ一覧画面でMENU［メニュー］▶「全件削除」を選択します。

伝言メモ一覧画面

2 伝言メモにカーソルを移動▶■［再生］

伝言メモが再生されます。

- ■［ストップ］：停止します。
- CLR：伝言メモ一覧画面に戻ります。
- ✥／▴／▾で音量を調節できます。

送信する映像について設定する

代替画像

代替画像を設定する

1 MENU▶「Settings」▶「発着信／通話機能」▶「テレビ電話」▶「代替画像」▶「デフォルト」／「画像選択」

- 「画像選択」を選択した場合は「データBOX」の「マイピクチャ」内に保存されている画像から選択します。→P296

応答保留画像

応答保留画像を設定する

1 MENU▶「Settings」▶「発着信／通話機能」▶「テレビ電話」▶「応答保留画像」▶「デフォルト」／「画像選択」

- 「画像選択」を選択した場合は「データBOX」の「マイピクチャ」内に保存されている画像から選択します。→P296

通話中保留画像

通話中保留画像を設定する

1 MENU▶「Settings」▶「発着信／通話機能」▶「テレビ電話」▶「通話中保留画像」▶「デフォルト」／「画像選択」

- 「画像選択」を選択した場合は「データBOX」の「マイピクチャ」内に保存されている画像から選択します。→P296

テレビ電話設定

テレビ電話の設定を変更する

1 MENU▶「Settings」▶「発着信／通話機能」▶「テレビ電話」▶「テレビ電話設定」▶次の操作を行う

[テレビ電話画面設定]
テレビ電話の親画面と子画面にどの画面を表示するかを設定します。

両方（相手画像）：親画面に相手画像を子画面に自画像を表示します。
両方（自画像）：親画面に自画像を子画面に相手画像を表示します。
相手のみ：相手画像のみを表示します。
自分のみ：自画像のみを表示します。

[発信時自画像送信]
相手に自分の映像を送信するかどうかを設定します。「OFF」に設定すると、相手には代替画像が送信されます。

[画面サイズ設定]
親画面の表示サイズを設定します。

[送信画質設定]
相手に送信する画像の画質を設定します。

画質優先：画質を重視して送信します。動きが少ない場合に有効です。
標準　　：画質、動きともに標準で送信します。
動き優先：動きを重視して送信します。動きが多い場合に有効です。

[照明設定]
通話中画面の照明の点灯方法を設定します。

常時点灯　　　：通話中は常に点灯します。
端末設定に従う：「照明設定」の設定に従います。→P110

[音声自動再発信]
相手がテレビ電話を受けられない場合、自動的に音声電話に切り替えて電話をかけ直すかどうかを設定します。

[ハンズフリー設定]
テレビ電話時にハンズフリー通話にするかどうかを設定します。

[パケット通信中着信設定]
ｉモード中にテレビ電話がかかってきたときの応答方法を設定します。
→P81

パケット通信中着信設定

ｉモード中にテレビ電話がかかってきたときの応答方法を設定する

ｉモード通信中やメールの送受信中にテレビ電話がかかってきた場合、本機能の設定に従って動作します。

1 MENU▶「Settings」▶「発着信／通話機能」▶「テレビ電話」▶「テレビ電話設定」▶「パケット通信中着信設定」▶項目を選択

テレビ電話優先　：テレビ電話の着信画面が表示されます。テレビ電話に応答すると、ｉモード通信が切断されます。
パケット通信優先：テレビ電話の着信を拒否します。
留守番電話　　　：自動的に留守番電話サービスに接続します。
転送でんわ　　　：自動的に転送でんわサービスに接続します。

お知らせ

- 留守番電話サービスや転送でんわサービス未契約時は、「留守番電話」「転送でんわ」に設定しても「パケット通信優先」設定時の動作となります。

電話帳

FOMA端末で使用できる電話帳

電話帳には、FOMA端末に保存するFOMA端末（本体）電話帳と、FOMAカードに保存するFOMAカード電話帳の2種類があります。それぞれの電話帳に登録／設定できる内容は次のとおりです。

項　目		FOMA端末（本体）電話帳	FOMAカード電話帳
登録件数		最大1000件※	最大50件
登録内容	名前（フリガナ）	1件	1件
	電話番号	5件	1件
	メールアドレス	3件	1件
	グループ	31グループ	11グループ
	画像	1件	登録不可
	その他の設定項目	シークレットコード、電話着信音、メール着信音など	登録不可

※ 登録内容の状況によって1000件登録できない場合があります。

お知らせ

- お客様のFOMAカードを他のFOMA端末に挿入しても、FOMAカード内の電話帳データを利用できます。

FOMA端末（本体）電話帳に登録する

- ドコモショップなどの窓口で機種変更時など新機種へ登録内容をコピーする際は、仕様によってはFOMA端末にコピーできない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

1 待受画面▶[カメラキー]（1秒以上）

電話帳登録画面（FOMA端末（本体））

2 次の操作を行う

[（登録先選択）]
電話帳の登録先を選択します。ここでは、登録先に「本体」が選択されている場合について説明します。登録先に「FOMAカード（UIM）」を選択した場合は、FOMAカード電話帳の登録画面が表示されます。→P87

[No（メモリ番号入力）]
最も小さい空きメモリ番号が自動的に割り当てられますが、000～999の範囲でお好みの番号に変更もできます。

[名前]
全角で16文字、半角で32文字まで入力できます。漢字、ひらがな、絵文字、記号、英数字、カタカナなどが入力できます。

[フリガナ]
必要な場合に入力／修正します。半角で32文字まで入力できます。カタカナ、英数字、記号が入力できます。

[電話番号]
26桁まで入力できます。

▶電話番号を入力▶アイコンを選択

- 電話番号の入力画面で［メニュー］を押して「国際ダイヤルアシスト」「プレフィックス選択」「キャンセル」を選択できます。［キャンセル］を押すと入力をキャンセルできます。

[メールアドレス]
半角で50文字まで入力できます。英数字、記号が入力できます。

▶メールアドレスを入力▶アイコンを選択

[シークレットコード] ※1
シークレットコードを設定します。

▶端末暗証番号を入力▶電話番号／メールアドレスのアイコンを選択▶シークレットコードを入力

- シークレットコード画面で［解除］を押すと、設定を解除します。

[(グループ選択)]
「グループなし」および「グループ1」～「グループ30」までの31種類が選択できます。グループ検索（P92）などに利用されます。

[画像] ※3
発着信時や電話帳データ確認時に表示する画像やｉモーションなどを設定します。

マイピクチャ：「データBOX」の「マイピクチャ」内に保存されている画像から選択します。→P296

ｉモーション：「データBOX」の「ｉモーション」内に保存されている動画／ｉモーションから選択します。→P307

静止画像撮影：カメラを起動して、撮影した静止画を設定します。→P222

端末設定※2：「着信画面設定」の設定に従います。→P109

[電話着信音] ※3
登録した相手から音声電話／テレビ電話を着信したときの着信音を設定します。

ミュージック：「データBOX」の「ミュージック」内に保存されている着うたフル®から選択します。→P270
「着うたフル®を着信音に設定する」の操作3（P266）へ進みます。

メロディ：「データBOX」の「メロディ」内に保存されているメロディから選択します。→P314

ｉモーション：「データBOX」の「ｉモーション」内に保存されている動画／ｉモーションから選択します。→P307

端末設定※2：「着信音選択」の設定に従います。→P100

[メール画像] ※3
メール受信時に表示する画像やｉモーションなどを設定します。

- 設定項目は「画像」と同じです。

[メール着信音] ※3
登録した相手からメールを受信したときの着信音を設定します。

- 設定項目は「電話着信音」と同じです。

[URL]
半角で256文字まで入力できます。

[郵便番号]
半角で7文字まで入力できます。

[自宅住所]
全角で100文字、半角で200文字まで入力できます。漢字、ひらがな、絵文字、記号、英数字、カタカナなどが入力できます。

[会社名]
全角で50文字、半角で100文字まで入力できます。漢字、ひらがな、絵文字、記号、英数字、カタカナなどが入力できます。

次のページへ続く

[役職名]

全角で50文字、半角で100文字まで入力できます。漢字、ひらがな、絵文字、記号、英数字、カタカナなどが入力できます。

[会社郵便番号]

半角で7文字まで入力できます。

[会社住所]

全角で100文字、半角で200文字まで入力できます。漢字、ひらがな、絵文字、記号、英数字、カタカナなどが入力できます。

[メモ]

全角で100文字、半角で200文字まで入力できます。漢字、ひらがな、絵文字、記号、英数字、カタカナなどが入力できます。

[誕生日]

誕生日を入力できます。

[テレビ電話代替画像]

テレビ電話の代替画像を設定します。

データBOX：「データBOX」の「マイピクチャ」内に保存されている画像から選択します。→P296

端末設定　：「代替画像」の設定に従います。→P80

[シークレット]

「シークレットモード」（P127）が「ON」に設定されている場合に表示されます。作成する電話帳をシークレットデータにする場合は「設定」を選択します。

[(ライブキャラ設定)]

ライブキャラパークで使用するライブキャラを選択します。→P86

※1　シークレットコードについては『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。

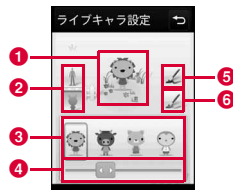
※2　「着信音選択」（P100）「着信画面設定」（P109）に映像／音声が含まれる動画／iモーションが設定されているときに電話帳の「画像」または「電話着信音」、「メール画像」または「メール着信音」のいずれかを変更すると、設定を変更しなかった「画像」または「着信音」はお買い上げ時の音声や画像が再生されます。

※3　画像と着信音のどちらかを映像／音声が含まれる動画／iモーションに設定した場合は、もう片方にも自動的に同じ動画／iモーションが設定されます。

3 [完了]

電話帳の相手のライブキャラを変更する

- ライブキャラパークに表示するキャラクタータイプの選択は「ライブキャラパークテーマを設定する」で設定します。→P338
- タッチ操作のみ可能です。

※ 画面は、キャラクタータイプを「アニマル」に設定した場合で説明しています。

1. **選択中のライブキャラ**
2. **キャラクタータイプ**
   設定するキャラクタータイプを変更します。
3. **ライブキャラ一覧**
4. **スクロールバー**
   スライドするとライブキャラ一覧の表示をスクロールします。
5. **ライブキャラ一覧に表示されている色に設定**
   変更したライブキャラの色を元に戻します。
6. **色変更**
   タッチするたびに選択しているライブキャラの服（や髪）の色をランダムに変更します。

お知らせ

<シークレットコード>

- メールアドレスを「電話番号+シークレットコード@docomo.ne.jp」として電話帳に登録している場合は、その相手にメール送信や返信ができなくなります。「電話番号@docomo.ne.jp」に変更してから、シークレットコードの登録を行ってください。

<シークレット>

- 「シークレットモード」（P127）を「シークレット専用モード」に設定して電話帳を登録した場合もシークレットデータになります。
- シークレットデータの電話帳は、「シークレットモード」が「ON」または「シークレット専用モード」に設定されている場合に表示されます。
- FOMAカード電話帳は、シークレットデータとして登録できません。
- シークレットデータの電話帳に登録されている名前は、「シークレットモード」を「ON」または「シークレット専用モード」に設定中のみ、リダイヤルや履歴、およびメール一覧／詳細などの画面に表示されます。「シークレットモード」が「OFF」に設定されている場合は、電話番号やメールアドレスが表示されます。
- 「シークレットモード」が「OFF」に設定されているときに、シークレットデータの電話帳の相手から電話がかかってきたり、メールを受信したりした場合は、登録されている名前や画像は表示されず、設定されている着信音も鳴りません。

FOMAカード電話帳に登録する

1 電話帳登録画面(P84)▶ (登録先選択)欄▶「FOMAカード(UIM)」

電話帳登録画面（FOMAカード）

2 次の操作を行う

[(登録先選択)]

電話帳の登録先を選択します。登録先に「本体」を選択した場合は、FOMA端末（本体）電話帳の登録画面が表示されます。→P87

[名前]

全角で10文字、半角で21文字まで入力できます。漢字、ひらがな、絵文字、記号、英数字、カタカナなどが入力できます。

[フリガナ]

必要な場合に入力／修正します。全角で12文字、半角で25文字まで入力できます。全角カタカナ、半角英数字、半角記号が入力できます。

【☎電話番号】
FOMAカード（緑色／白色）の場合は26桁、FOMAカード（青色）の場合は20桁まで入力できます。
- 電話番号の入力画面でMENU［メニュー］を押して「国際ダイヤルアシスト」「プレフィックス選択」「キャンセル」を選択できます。iα［キャンセル］を押すと入力をキャンセルできます。

【メールアドレス】
半角で50文字まで入力できます。英数字、記号が入力できます。

【（グループ選択）】
「グループなし」および「グループ1」～「グループ10」までの11種類が選択できます。グループ検索（P92）などに利用されます。

3 iα［完了］

リダイヤルや着信履歴などから電話帳に登録する

履歴やメール、メッセージの一覧画面や詳細画面など、電話番号やメールアドレスの情報が記録されている画面から電話帳登録ができます。また、電話番号入力画面やサイトなど、入力中／表示中の電話番号なども登録できます。

1 登録する内容が表示されている画面を表示

■リダイヤル一覧画面（P60）／リダイヤル詳細画面（P61）／着信履歴一覧画面（P62）／着信履歴詳細画面（P62）から登録する場合
MENU［メニュー］▶「電話帳登録」を選択します。
- リダイヤル一覧画面／着信履歴一覧画面から登録する場合は、登録する履歴を選択してから操作してください。
- 電話番号が電話帳に登録済みの場合、「電話帳登録」は選択できません。

■電話番号入力画面から登録する場合
iα［保存］を押します。

■メールの送信元や送信先のメールアドレスを登録する場合
メール詳細画面でMENU［メニュー］▶「保存」▶「アドレス」を選択します。
- メールアドレスが複数ある場合は登録するメールアドレスを選択してから操作します。

■メール本文中のアドレス／電話番号を登録する場合
電話帳に登録したいアドレス／電話番号にカーソルを移動▶MENU［メニュー］▶「保存」▶「選択項目」を選択します。

■サイト／画面メモに表示されたアドレス／電話番号を登録する場合

電話帳に登録したいアドレス／電話番号にカーソルを移動▶MENU［メニュー］▶「電話帳登録」▶「はい」を選択します。

2 次の操作を行う

［新規登録］

新しく電話帳を登録します。操作3へ進みます。

- 登録内容が入力された電話帳登録画面が表示されます。

［追加登録］

登録済みの電話帳の項目に追加登録します。電話帳の選択画面で［検索方法］を押すと、電話帳の検索方法を変更できます。→P92

▶追加登録する電話帳を選択

- 登録内容が追加された電話帳登録画面が表示されます。
- FOMAカード電話帳に追加登録する場合は、上記操作を行うと登録内容が上書きされた電話帳登録画面が表示されます。

3 電話帳を登録／修正▶［完了］

- 登録の操作については、「FOMA端末（本体）電話帳に登録する」の操作2（P84）を参照してください。
- 追加登録した場合は、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。上書きする場合は「はい」を選択します。

お知らせ

- バーコードリーダーの読み取りデータ画面やライブキャラパーク画面からも、情報を電話帳に登録できます。→P235、P337
- 登録可能文字数を超える内容を登録しようとすると、一部登録できない旨をお知らせする画面が表示され、超えた分の内容が削除された状態で電話帳登録画面が表示されます。

グループ名を変更する

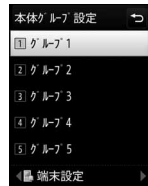
FOMA端末（本体）電話帳とFOMAカード電話帳をグループに分けることができます。FOMA端末（本体）電話帳には31件まで、FOMAカード電話帳には11件までグループを登録できます（件数は「グループなし」を含む）。

- 「グループなし」は変更できません。
- FOMAカード電話帳の場合は、名前の変更のみできます。

1 MENU▶「Phonebook」▶「グループ設定」

- ［本体・UIM］：FOMA端末本体とFOMAカードのグループ設定一覧画面を切り替えます。
- ：選択しているグループの設定内容を確認できます。

グループ設定一覧画面

次のページへ続く

2 変更するグループにカーソルを移動▶[■][設定]

グループ設定画面

3 次の操作を行う

[(グループ名)]
全角で10文字、半角で21文字まで入力できます。漢字、ひらがな、絵文字、記号、カタカナなどが入力できます。

[電話着信音]※2
電話の着信音を設定します。

ミュージック：「データBOX」の「ミュージック」内に保存されている着うたフル®から選択します。→P270
「着うたフル®を着信音に設定する」の操作3（P266）へ進みます。

メロディ：「データBOX」の「メロディ」内に保存されているメロディから選択します。→P314

ｉモーション：「データBOX」の「ｉモーション」内に保存されている動画／ｉモーションから選択します。→P307

端末設定※1：「着信音選択」の設定に従います。→P100

[メール着信音]
メール受信時の着信音を設定します。
- 設定項目は「電話着信音」と同じです。

[画像]※2
グループに画像を設定します。発着信時や電話帳データを確認するときに表示されます。

マイピクチャ：「データBOX」の「マイピクチャ」内に保存されている画像から選択します。→P296

ｉモーション：「データBOX」の「ｉモーション」内に保存されている動画／ｉモーションから選択します。→P307

静止画像撮影：カメラを起動して、撮影した静止画を設定します。→P222

端末設定※1：「着信画面設定」の設定に従います。→P109

[メール画像]
メール受信時に表示する画像やｉモーションなどを設定します。
- 設定項目は「画像」と同じです。

[着信許可／拒否]
グループに着信を許可するかどうかを設定できます。
▶端末暗証番号を入力▶「設定なし」／「着信拒否」／「着信許可」

※1 「着信音選択」（P100）「着信画面設定」（P109）に映像／音声が含まれる動画／ｉモーションが設定されているときに電話帳の「画像」または「電話着信音」、「メール画像」または「メール着信音」のいずれかを変更すると、設定を変更しなかった「画像」または「着信音」はお買い上げ時の音声や画像が再生されます。

※2 画像と着信音のどちらかを映像／音声が含まれる動画／ｉモーションに設定した場合は、もう片方にも自動的に同じ動画／ｉモーションが設定されます。

4 [iα][完了]

お知らせ

<着信許可／拒否>
- 電話帳の「電話帳指定着信許可／拒否」（P95）の設定が優先されます。

グループ設定一覧画面のサブメニュー

1 グループ設定一覧画面(P89)▶[MENU][メニュー]▶次の操作を行う

[設定]
選択中のグループの設定内容を変更します。→P90

[移動]
選択中のグループの表示位置を変更します。
▶表示位置を選択▶[■]［OK］

[リセット]
選択中のグループの設定内容をリセットします。グループ名はお買い上げ時の表示に戻ります。

[オールリセット]
すべてのグループ設定や並び順をリセットします。

電話帳検索

電話帳から電話をかける

- シークレットに設定されている電話帳を検索する場合は、あらかじめ「シークレットモード」を「ON」に設定してください。→P127

電話帳を呼び出して電話をかける

電話帳を呼び出して簡単に電話をかけることができます。

1 待受画面▶[□]

通常設定された検索方法で検索された電話帳一覧画面が表示されます。→P97

電話帳一覧画面
（例：全件検索の場合）

2 電話する相手にカーソルを移動▶[⌐]

■ **テレビ電話をかける場合**
[✉]［テレビ電話］を押します。

電話帳詳細画面での操作

電話帳一覧画面から相手を選択すると電話帳詳細画面が表示されます。
電話番号を選択し、■［発信］を押して電話をかけます。

- 電話番号を選択し、📷TV［表示］で電話番号を表示してからも発信できます。

■ **複数の電話番号が登録されている場合**

- で電話をかける電話番号を選択し、■［発信］を押します。
- を押すと、登録されている電話番号が発信電話番号選択画面に一覧表示されます。で電話番号を選択し、■［発信］でも電話をかけられます。

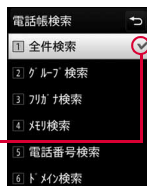
お知らせ

- 「シークレットモード」を「シークレット専用モード」（P127）に設定している場合は、シークレットデータの電話帳（P86）以外は検索／表示できません。

電話帳の検索方法

電話帳をいろいろな方法で検索できます。

1 MENU▶「Phonebook」▶「電話帳検索」

- ［通常設定］：カーソルがあたっている検索方法を、待受画面でを押したときなどに表示される電話帳一覧画面の検索方法に設定します。

電話帳検索画面

2 次の操作を行う

［全件検索］
フリガナの行（あ行〜わ行、A〜Z）と「他」（50音以外のフリガナ）に分かれて、すべての電話帳が表示されます。

- でフリガナの行を切り替えます。
- 1〜0（あ行〜わ行）のキーを押すと「フリガナ検索」の画面に切り替わります。操作方法は「フリガナ検索」と同様です。

［グループ検索］
電話帳がグループ別に検索／表示されます（グループ一覧画面）。またはFOMAカード・本体］でFOMA端末（本体）電話帳／FOMAカード電話帳を切り替えます。▶■［選択］でグループを選択すると、グループに登録されている電話帳が表示されます。

［フリガナ検索］
「フリガナ」に含まれる文字の一部を入力してすべての電話帳を検索します。フリガナは半角で32文字まで入力できます。

- フリガナ未入力時は、すべての電話帳が表示されます。
- フリガナは、先頭以外の文字でも検索できます。
- 入力モードを切り替えるときは［文字］を押します。

［メモリ検索］
メモリ番号順にFOMA端末（本体）に登録されている電話帳が「0」から50件ごとに分かれて表示されます。

- でメモリ番号の表示を切り替えます。
- FOMAカード電話帳は表示できません。
- ダイヤルキーでメモリ番号を入力しても、電話帳を表示できます。

［電話番号検索］
登録されている電話番号に含まれる数字の一部を入力してすべての電話帳を検索します。電話番号は26桁まで入力できます。

- 電話番号未入力時は、すべての電話帳が表示されます。
- 電話番号は、先頭以外の数字でも検索できます。

［ドメイン検索］

メールアドレスが登録されている電話帳をドメイン別に表示します。

- でドメインを切り替えます。
- 検索するドメインは、あらかじめ登録しておきます。→P97

電話帳の登録内容を確認する

1 待受画面▶

❶ **電話帳の保存先**

- FOMA端末（本体）電話帳に保存されている場合「電話番号1」に設定されているアイコンが表示されます。
- FOMAカード電話帳に保存されている場合、が表示されます。

電話帳一覧画面

2 電話帳を選択

- 電話帳に画像が設定されている場合は、設定されている画像が表示されます。
- 各項目に表示されるアイコンは、電話帳登録画面と同様です。→P84

電話帳詳細画面

お知らせ

- バックグラウンド再生中は、電話帳に登録されている動画／ｉモーションは再生されません。

電話帳一覧画面での操作

電話番号とメールアドレスが登録されている電話帳を選択してを押すと電話の発信、［メール］を押すとメールを作成します。複数の電話番号やメールアドレスが登録されている場合は、電話番号またはメールアドレスの選択画面が表示されます。

電話帳詳細画面での操作

登録されている電話番号、メールアドレスなどを選択すると、次の操作ができます。

- ［発信］：選択中の電話番号に音声電話をかけます。
- ［メール］：選択中のメールアドレスを宛先にしたｉモードメールを作成します。→P138
- ［接続］：選択中のURLのサイトに接続します。
- ［再生］：選択中の着信音を再生します。
- ［表示］：選択中のテレビ電話代替画像を表示します。

電話帳一覧画面のサブメニュー

1 **電話帳一覧画面(P93)▶MENU[メニュー]▶次の操作を行う**

[メール/URL接続]

メール作成やURL接続をします。

メール作成：選択中の電話帳に登録されているメールアドレスまたは電話番号を宛先にしたｉモードメールを作成します。→P138

メール添付：選択中の電話帳を添付してｉモードメールを作成します。→P138

SMS作成：選択中の電話帳に登録されている電話番号を宛先にしたSMSを作成します。→P176

URL接続：選択中の電話帳に登録されているURLのサイトに接続します。

[発信]

発信方法を選択します。複数の電話番号が登録されている場合は、発信方法を選択後、発信電話番号選択画面で発信先を選択します。

テレビ電話発信：テレビ電話をかけます。

カスタマイズ発信：登録されている電話番号を変更して電話をかけます。

国際電話（日本）：登録されている日本国内の電話番号に海外から電話をかける場合に、電話番号の先頭に日本の国番号「+81」を自動的に付けて発信します。

- 電話番号の先頭が「0」の場合は、自動的に削除されます。

[新規作成]

電話帳を新規作成します。→P84

[編集]

選択中の電話帳を編集します。→P96

[コピー]

選択中の電話帳をコピーやバックアップをします。

FOMAカードへ※1：選択中の電話帳をFOMAカードへコピーします。

本体へ※2：選択中の電話帳をFOMA端末本体にコピーします。

microSDへ：選択中の電話帳をmicroSDカードにコピーします。

複数選択：本体またはFOMAカードから電話帳を複数選択し、他の場所（本体/FOMAカード/microSD）へコピーします。
▶コピー元を選択▶コピーしたい電話帳にチェックを付ける▶iα［コピー］▶コピー先を選択

バックアップ：FOMA端末本体に登録されている電話帳の全データをmicroSDカードにバックアップします。

- 電話帳に登録されている画像は含まれません。

お預かりセンターに接続
：FOMA端末本体に登録されている電話帳をお預かりセンターに保存します。→P131

[検索方法選択]

他の検索方法で電話帳を検索し直します。→P92

[赤外線送信]

赤外線通信を利用して電話帳を外部機器に転送します。→P328

送信：選択中の電話帳を送信します。

本体全件：FOMA端末本体に登録されている電話帳の全データを送信します。

FOMAカード全件：FOMAカードに登録されている電話帳の全データを送信します。

[削除]
電話帳に登録されているデータを削除します。→P96

[ドメインリスト作成] ※3
ドメイン検索で検索するドメインを作成します。→P97

※1　FOMA端末（本体）電話帳で表示されます。
※2　FOMAカード電話帳で表示されます。
※3　ドメイン検索の場合のみ、表示されます。

電話帳詳細画面のサブメニュー

1 電話帳詳細画面（P93）▶MENU［メニュー］▶次の操作を行う

[メール／URL接続]
メール作成やURL接続をします。

メール作成：表示中の電話帳に登録されているメールアドレスまたは電話番号を宛先にしたｉモードメールを作成します。→P138
メール添付：表示中の電話帳を添付してｉモードメールを作成します。→P138
SMS作成：表示中の電話帳に登録されている電話番号を宛先にしたSMSを作成します。→P176
URL接続：表示中の電話帳に登録されているURLのサイトに接続します。

[発信]
発信方法を選択します。

テレビ電話発信：テレビ電話をかけます。
カスタマイズ発信：登録されている電話番号を変更して電話をかけます。
国際電話（日本）：登録されている日本国内の電話番号に海外から電話をかける場合に、電話番号の先頭に日本の国番号「+81」を自動的に付けて発信します。
- 電話番号の先頭が「0」の場合は、自動的に削除されます。

[編集]
表示中の電話帳を編集します。→P96

[コピー]
表示中の電話帳をコピーします。

項目コピー：表示中の電話帳の登録内容から項目を選択してコピーします。
FOMAカードへ※1：表示中の電話帳をFOMAカードにコピーします。
本体へ※2：表示中の電話帳をFOMA端末本体にコピーします。
microSDへ：表示中の電話帳をmicroSDカードにコピーします。

[赤外線送信]
赤外線通信を利用して、表示中の電話帳を送信します。→P328

[電話帳指定着信許可／拒否]
FOMA端末（本体）電話帳に登録されている電話番号ごとに着信許可／拒否を設定します。
あらかじめ電話番号にカーソルを移動している場合に、選択できます。
- 「リスト指定着信拒否」（P128）に登録されている電話番号は、「着信許可」に設定できません。

▶端末暗証番号を入力▶「設定なし」／「着信拒否」／「着信許可」

[削除]
表示中の電話帳を削除します。

※1　FOMA端末本体の電話帳で表示されます。
※2　FOMAカードの電話帳で表示されます。

電話帳を修正する

1 電話帳詳細画面(P93)▶MENU[メニュー]▶「編集」▶それぞれの項目を修正

「FOMA端末（本体）電話帳に登録する」（P84）または「FOMAカード電話帳に登録する」（P87）と同じ操作で、必要な項目を修正します。

■ メモリ番号を変更して登録する場合
メモリ番号を変更して登録すると、修正前の内容は元のメモリ番号にそのまま残り、修正した電話帳の内容が別のメモリ番号で新しく登録されます。
No（メモリ番号入力）▶電話帳が登録されていないメモリ番号（000〜999）を入力します。

2 修正が終わったらi α[完了]▶「はい」

電話帳を削除する

例：電話帳一覧画面から削除する場合

1 電話帳一覧画面(P93)で削除する電話帳にカーソルを移動▶MENU[メニュー]▶次の操作を行う

［削除］

1件：選択中の電話帳を削除します。

選択：本体またはFOMAカードから電話帳を複数選択し、削除します。
▶「本体」／「FOMAカード（UIM）」▶削除したい電話帳にチェックを付ける▶i α［削除］▶「はい」

本体全件：FOMA端末本体に登録されている電話帳をすべて削除します。削除には端末暗証番号の入力が必要となります。

FOMAカード全件
：FOMAカードに登録されている電話帳をすべて削除します。削除には端末暗証番号の入力が必要となります。

2 「はい」

選択中／表示中の電話帳が削除されます。

■ 電話帳詳細画面から削除する場合
電話帳詳細画面からは1件ずつのみ削除できます。電話帳詳細画面でMENU［メニュー］▶「削除」▶「はい」を選択します。

電話帳登録件数

電話帳の登録状況を確認する

FOMA端末とFOMAカードのメモリの登録状況を確認できます。

1 MENU▶「Phonebook」▶「電話帳登録件数」

- 「シークレットモード」が「ON」または「シークレット専用モード」に設定されている場合は、「シークレット登録件数」が表示されます。

電話帳を設定する

待受画面から呼び出せる電話帳や画像などを設定できます。

1 MENU▶「Phonebook」▶「電話帳設定」▶次の操作を行う

[通常検索モード設定]
待受画面で□を押したときなどに表示される電話帳一覧画面の検索方法を設定します。

[ドメインリスト作成]
ドメイン検索で検索するドメインを作成します。
▶空いている項目にカーソルを移動▶■［追加］▶ドメイン名を入力

[着信許可／拒否リスト]
「電話帳指定着信許可／拒否」で着信許可／拒否リストに登録されている電話番号の一覧が表示できます。
▶端末暗証番号を入力▶「着信許可リスト」／「着信拒否リスト」
- MENU［メニュー］を押して「追加」「削除」「全件削除」を行えます。

設定したドメイン名を修正するには
ドメインリスト上から修正するドメインにカーソルを移動▶■［編集］▶ドメイン名を修正します。
ドメインリスト上の「@docomo.ne.jp」は修正できません。

設定したドメイン名を削除するには
ドメインリスト上から削除するドメインにカーソルを移動▶✉［削除］▶「はい」を選択します。

クイックダイヤル

少ないキー操作で電話をかける

待受画面でダイヤルキーを押して1桁から2桁の数字を入力するだけで、FOMA端末（本体）電話帳のメモリ番号「0」～「99」の電話番号に簡単に電話をかけることができます。

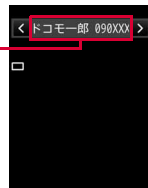
1 1桁から2桁の数字を入力

- ◀▶でクイックダイヤルの番号を順次表示します。

入力した数字に該当するメモリ番号の電話帳の内容が表示されます。

2 ☎

■ テレビ電話をかける場合
✉［テレビ電話］を押します。

次のページへ続く

お知らせ

- 「クイックダイヤル」が「OFF」に設定されている場合は、本機能は動作しません。→P109
- 「001」や「011」など、1桁目や2桁目が「0」の3桁のメモリ番号の場合は、「0」を入力する必要はありません。
- FOMAカード電話帳には、本機能は動作しません。

通話やメールの履歴を表示する

1 MENU▶「Phonebook」▶「通話／メール履歴」▶表示する履歴を選択

着信履歴　：電話／テレビ電話の着信履歴を表示します。→P62
リダイヤル：電話／テレビ電話のリダイヤルを表示します。→P60
受信履歴　：受信履歴を表示します。→P166
送信履歴　：送信履歴を表示します。→P166

お知らせ

- 着信履歴は、待受画面で▶□を押しても表示されます。
- リダイヤルは、待受画面で□◀を押しても表示されます。

音／画面／照明設定

音の設定

画面／照明の設定

着信音選択

着信音を変える

音声電話やテレビ電話、メールなどの着信音を設定します。

- お買い上げ時に登録されている着信音やメロディ以外にも、ｉモードのサイトやインターネットのホームページから取得したｉモーションやメロディ、着うた®、着うたフル®を着信音に設定できます。

1 MENU▶「Settings」▶「音／バイブレータ」▶「着信音選択」▶次の操作を行う

[音声電話着信音]

音声電話の着信音を選択します。

ミュージック：「データBOX」の「ミュージック」内に保存されている着うたフル®から選択します。→P270
「着うたフル®を着信音に設定する」の操作3（P266）へ進みます。

ｉモーション：「データBOX」の「ｉモーション」内に保存されている動画／ｉモーションから選択します。→P307

メロディ：「データBOX」の「メロディ」内に保存されているメロディから選択します。→P314

[テレビ電話着信音]

テレビ電話の着信音を選択します。
- 設定項目は「音声電話着信音」と同じです。

[メール着信音]

ｉモードメールの着信音を選択します。
- 設定項目は「音声電話着信音」と同じです。

[メッセージR着信音]

メッセージRの着信音を選択します。
- 設定項目は「音声電話着信音」と同じです。

[メッセージF着信音]

メッセージFの着信音を選択します。
- 設定項目は「音声電話着信音」と同じです。

[SMS着信音]

SMSの着信音を選択します。
- 設定項目は「音声電話着信音」と同じです。
- 待受ｉアプリ設定時は、SMSの受信結果画面は表示されず、SMS着信音およびバイブレータは動作しません。

2 iα[完了]

お知らせ

- 着信音に設定できるファイル形式は次のとおりです（設定が制限されているファイルや、映像または音声のみが含まれるファイルなど、ファイルによっては設定できない場合があります）。
  SMF、MFi、MP4（Mobile MP4）
- 動画／ｉモーションを着信音に設定（着モーション）すると、「着信画面設定」（P109）も同様に変更されます。
- 「メール着信音」「メッセージR着信音」「メッセージF着信音」「SMS着信音」に、映像が含まれる動画／ｉモーションを設定する場合は、これらすべての項目が同じ動画／ｉモーションに設定されます。個別には設定できません。
- 映像が含まれる動画／ｉモーションが着信音に設定されている場合、着信音をミュージックやメロディ、映像が含まれない動画／ｉモーションに変更すると自動的に着信画面はお買い上げ時の状態に戻ります。
- 映像のみの動画／ｉモーションは、着信音に設定できません。

着信音一覧（プリインストール）

iモーション		
Alarm 01-04	映画「ATOM」予告編第一弾	Message 01-08
Ring 20-25		
メロディ		
Alarm 05	Message 09-10	Power off 01-02
Power on 01-02	Ring 01-19	

音量設定

着信音やアラーム音などの各種の音量を設定する

1 MENU▶「Settings」▶「音／バイブレータ」▶「音量設定」

2 次の操作を行う

- ：選択されている項目の音量を調節します。音量を最低にすると、（ミュート）が表示され、音が鳴らなくなります。音量を調節するたびに、変更した音量で調節した項目の音が鳴ります（「受話音量」を除く）。
- 「音声／テレビ電話着信音」では「音声電話着信音」、「メール／メッセージ着信音」では、「メール着信音」、「電源ON／OFF」では「電源ON」で設定した着信音／効果音でそれぞれ再生されます。
  ※「アラーム／スケジュール音」では、お買い上げ時の音が鳴ります。

［音声／テレビ電話着信音］※
音声電話／テレビ電話の着信音量を調節します。

［メール／メッセージ着信音］※
メール／メッセージR/Fの着信音量を調節します。

［アラーム／スケジュール音］※
アラーム／スケジュールアラーム音を調節します。

［キー確認音］
ダイヤル音以外のキー操作の音量を調節します。

［端末開閉音］
FOMA端末を開閉したときの音量を調節します。

［ダイヤル音］
ダイヤル音の音量を調節します。

次のページへ続く

[電源ON／OFF]
FOMA端末の電源をONまたはOFFにしたときの音量を調節します。

[ポップアップ表示音]
ポップアップ画面が表示されたときの音量を調節します。

[受話音量]
受話音量を調節します。音を消すことはできません。

※ 音量を最大にすると、→（ステップ）が表示され、次第に音量を大きくすることができます。

3 [完了]

お知らせ
- 通話中の受話音量調節→P74

バイブレータ設定
着信やアラームを振動で知らせる

電話の着信時やメールの受信時、スケジュールアラームの起動時などに、振動で知らせるように設定できます。

1 MENU▶「Settings」▶「音／バイブレータ」▶「バイブレータ設定」▶次の操作を行う

[音声／テレビ電話]
音声電話／テレビ電話着信時の振動パターンを設定します。

[メール／メッセージ着信]
メール／メッセージR/F受信時の振動パターンを設定します。

[アラーム／スケジュール]
アラーム／スケジュールアラームの振動パターンを設定します。

[ポップアップ表示]
ポップアップ画面が表示されたときに振動させるかどうかを設定します。

[電源ON／OFF]
FOMA端末の電源をONまたはOFFにしたときの振動パターンを設定します。

2 [完了]

メロディコール設定
呼出音を変える

音声電話をかけてきた相手に、「プルル…」という呼出音の代わりにメロディを流すことができるサービスです。

- TV電話の場合はメロディコールは流れません。
- メロディコールはお申し込みが必要な有料サービスです。
- メロディコールの詳細については『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

1 MENU▶「Settings」▶「発着信／通話機能」▶「着信機能」▶「メロディコール設定」▶「はい」

メロディコール設定サイトに接続されます。
- 設定サイトはパケット通信料がかかりませんが、その他のサイトに接続した場合はパケット通信料がかかります。

効果音選択

キーを押したときに鳴る音を設定する

キーを押したときなど、各種操作を行ったときの効果音を設定します。

1 MENU▶「Settings」▶「音／バイブレータ」▶「効果音選択」

効果音選択画面

2 次の操作を行う

[キー確認音] ※

ダイヤル音以外のキーを押したときの効果音を選択します。

[端末開閉音] ※

FOMA端末を開閉したときの効果音を選択します。

[ダイヤル音] ※

待受画面や電話番号入力画面（P56）でダイヤルキー、*、#を押したときの効果音を選択します。「日本語」「英語」「韓国語」に設定すると、ダイヤルキーで入力した数字を読み上げます。

[電源ON]

電源をONにしたときの効果音を選択します。

ミュージック：「データBOX」の「ミュージック」内に保存されている着うたフル®から選択します。→P270
「着うたフル®を着信音に設定する」の操作3（P266）へ進みます。

メロディ：「データBOX」の「メロディ」内に保存されているメロディから選択します。→P314

[電源OFF]

電源をOFFにしたときの効果音を選択します。

- 設定項目は「電源ON」と同じです。

[バッテリー警告音]

電池残量がなくなってきたときの警告音を鳴らすかどうかを設定します。

※ 設定項目の選択画面で📷TV［再生］を押すと、効果音を選択するたびに音を鳴らして確認できます。音が鳴らないようにするには、📷TV［ミュート設定］を押します。ただし、「音量設定」で「ミュート」に設定している場合は、効果音を確認できません。

3 iα［完了］

タッチ設定

タッチパネル操作を音や振動で知らせる

1 MENU▶「Settings」▶「音／バイブレータ」▶「タッチ設定」▶次の操作を行う

[タッチ種類]
タッチパネルにタッチした時の動作を選択します。

OFF　：動作しません。
サウンド　：「タッチ音」で選択した音が鳴ります。
バイブレータ：「タッチ振動」で選択した振動パターンで振動します。
音＋バイブ　：「タッチ音」で設定した音と「タッチ振動」で選択した振動パターンで振動します。

[タッチ音]
タッチパネルにタッチした時の効果音を選択します。

[タッチ振動]
タッチパネルにタッチした時の振動パターンを選択します。

[タッチ音レベル]
音量を調節します。

[タッチ振動レベル]
タッチパネルにタッチした時の振動の強さを調節します。

2 iα[完了]

通話品質アラーム

通話が切れそうなときはアラームで知らせる

通話状態が悪くなり途中で通話が切れそうな場合、直前にアラームを鳴らしてお知らせします。

- 急に通話状態が悪くなると、アラームが鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。

1 MENU▶「Settings」▶「発着信／通話機能」▶「通話機能」▶「通話品質アラーム」▶「アラームなし」／「アラーム低音」／「アラーム高音」

メール鳴動設定

メールの着信音を鳴らす時間を設定する

メール受信時に着信音の鳴動回数や鳴動時間を設定します。

1 MENU▶「Settings」▶「音／バイブレータ」▶「メール鳴動設定」▶次の操作を行う

[鳴動設定]

OFF　：着信音が鳴らないようにします。
1回のみ　：ミュージックやメロディなど設定した着信音の長さに応じて最大約30秒まで、着信音を1回鳴らします。
時間設定：着信音の鳴動時間を設定します。
▶□▶■▶鳴動時間を入力

2 iα[完了]

イヤホン切替設定

イヤホンだけから着信音を鳴らす

イヤホンマイク（別売）などを接続しているとき、着信音やアラームなどをイヤホンからだけ鳴るように設定できます。

1 MENU▶「Settings」▶「音／バイブレータ」▶「イヤホン切替設定」

2 ■[選択]▶「イヤホンのみ」／「イヤホン＋スピーカー」

3 iα[完了]

お知らせ

- マナーモード設定中は、イヤホンからのみ着信音などが鳴ります。

マナーモード

電話から鳴る音を消す

FOMA端末から聞こえる音を鳴らさないようにして、周囲の迷惑にならないようにします。

1 #（1秒以上）

マナーモードを解除するには

待受画面を表示中に#（1秒以上）を押します。

お知らせ

- マナーモードには、「マナーモード」「オリジナルマナーモード」の2種類のモードがあります。→P105
- マナーモードが設定されると、画面上部にが表示されます。
- マナーモードを設定中にメロディや動画／iモーションなどを再生しようとすると、再生の確認画面が表示されます。
- マナーモードを設定中でも、カメラのシャッター音は鳴ります。
- 「マナーモード」設定時の振動パターンは、「バイブレータ設定」に従います。「バイブレータ設定」が「OFF」に設定されていた場合、「音声／テレビ電話着信」は「パターン1」、「メール／メッセージ着信」は「メッセージ1」、「アラーム／スケジュール」は「アラーム1」の振動でお知らせします。

マナーモード設定

マナーモードを変更する

マナーモードの動作を「マナーモード」「オリジナルマナーモード」から選択します。オリジナルマナーモードではマナーモード設定時の設定内容を変更できます。

例：オリジナルマナーモードの設定内容を変更する場合

1 MENU▶「Settings」▶「音／バイブレータ」▶「マナーモード設定」▶「オリジナルマナーモード」にカーソルを移動▶iα[編集]

■マナーモードの種類を設定する場合

「マナーモード」／「オリジナルマナーモード」にカーソルを移動▶■［選択］を押します。
マナーモード設定が終了します。

2 次の操作を行う

- ⊠：選択されている項目の振動パターンや音量を設定します。音量の項目を最低にすると、🔇（ミュート）が表示され、音が鳴らなくなります。

［バイブレータ］

■［ON・OFF］で設定します。

ON ：「マナーモード」と同様に「バイブレータ設定」に従い、音声やテレビ電話着信、メールやメッセージの受信などの着信を振動で知らせます。「バイブレータ設定」が「OFF」の場合、振動パターンは、「音声／テレビ電話着信」は「パターン1」、「メール／メッセージ着信」は「メッセージ1」、「アラーム／スケジュール」は「アラーム1」の振動でお知らせします。

OFF：振動しません。

［電話着信音量］※

音声電話／テレビ電話の着信音量を調節します。

［メール着信音量］※

メール／メッセージR/Fの着信音量を調節します。

［アラーム音量］※

アラーム／スケジュールアラーム音を調節します。

［効果音］

効果音やポップアップが表示されたときの音量を調節します。

［バッテリー警告音］

電池残量がなくなってきたときの警告音を鳴らすかどうかを設定します。

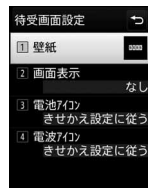
※ 音量を最大にすると、➞（ステップ）が表示され、次第に音量を大きくすることができます。

3 ［i α］［完了］

待受画面設定

待受画面の表示を変える

待受画面に表示する内容（壁紙、時計、カレンダー、スケジュール、ショートカットなど）を設定します。

1 MENU▶「Settings」▶「表示」▶「待受画面設定」

待受画面設定画面

2 次の操作を行う

- MENU［表示］：選択された内容のプレビュー画面が表示されます。CLRで待受画面設定画面へ戻ります。

[壁紙]
壁紙を設定します。

タッチ　：待受画面をタッチすると変化する画像を選択します。
- [背景]を押すと背景にスライドショーを設定できます。→P107

画像　：「データBOX」の「マイピクチャ」内に保存されている画像から選択します。→P296
- マイピクチャから作成したスライドショーは、本操作では選択できません。スライドショー一覧画面(P305)から待受画面設定を行ってください。

iモーション：「データBOX」の「iモーション」内に保存されている動画/iモーションから選択します。→P307

iアプリ　：FOMA端末に保存されている待受iアプリから選択します。→P285

[画面表示]
待受画面の時計やカレンダー、ショートカットなどの表示を設定します。
- 「壁紙」として「タッチ」を選択した場合、選択できなくなります。

なし　：時計やカレンダーなどを表示しません。
アナログ時計　：アナログ時計から選択します。
デジタル時計　：デジタル時計から選択します。
カレンダー　：「カレンダー」のみ、または「カレンダー+スケジュール」を選択して表示します。
ショートカット：ショートカットを表示します。
▶ショートカット登録欄を選択▶[追加]▶機能を選択▶[完了]
- ショートカットには8つまでの機能を登録できます。
- [メニュー]を押すと、登録された機能を削除したり初期化したりできます。

[電池アイコン]
電池アイコンを選択します。

[電波アイコン]
電波アイコンを選択します。

3 [完了]

お知らせ
- 「電池アイコン」「電波アイコン」で「きせかえ設定に従う」以外に変更したあとは、「きせかえツール」(P111)で一括設定することで「きせかえ設定に従う」に戻ります。

タッチ画像のスライドショーを設定する

「壁紙」で「タッチ」を選択すると、タッチ画像の背景に別の画像を最大10枚までスライドショーとして表示できます。
- タッチ画像で「スプラッシュクロック」「ゲーム」を選択した場合は、スライドショーは設定できません。

1 待受画面設定画面(P106)▶「壁紙」▶「タッチ」▶[背景設定]▶次の操作を行う

[スライドショー画像]
背景の画像を選択します。
▶リスト番号にカーソルを移動▶[追加]▶フォルダにカーソルを移動▶[開く]▶画像を選択▶操作を繰り返して画像を追加▶[完了]
- [削除]：選択中の画像を削除します。
- [変更]：選択中の画像を変更します。

[スライドショー速度]
スライドショーの速度を選びます。

[ランダムスライドショー]
スライドショーの画像をランダムに表示するかどうかを設定します。

2 [完了]

「デュアルクロック」を設定する

「デジタル時計」で「デュアルクロック」を選択すると、待受画面に2つの国や地域、および都市の日付と時刻を表示します。
デュアルクロックの下側に表示される時計の国や地域、および都市を選択します。

▶で目的の地域に移動▶［拡大］▶で目的の都市に移動▶［設定］

- ［検索］を押すと、都市名のリストを表示して選択できます。ダイヤルキーで都市名を入力して検索することもできます。
- ［メニュー］を押すと、都市検索を行ったりサマータイムのON・OFFを設定したりできます。

お知らせ

- データによっては待受画面に設定できない場合があります。
- 待受画面に設定した動画／iモーションやFlash画像は、FOMA端末を開くと再生され、閉じると動画／iモーションは停止します。また、により再生／停止できます。
- 待受画面に設定した動画／iモーションからWeb To機能は利用できません。
- 待受画面を表示すると、時計などのFlash画像やGIFアニメーションは、一定時間再生した後に停止します。

＜「タッチ」設定時＞

- 「四季」では、月によって「さくら」「サマービーチ」「モミジ」「ゆき」を自動で切り替えて表示します。
- 「四季」「さくら」「サマービーチ」「モミジ」「ゆき」では、1回タッチすると一部のタッチ画像が消えて時計が表示され、もう1回タッチするとすべてのタッチ画像と時計が非表示になり、背景画像のみが表示されます。
- 背景画像と時計の文字色が重なると、時計が見えなくなります。その場合は、背景画像の設定を変更するか、タッチ画像を変更してください。
- 「スプラッシュクロック」では、タッチした箇所に時計が移動します。
- 「ゲーム」では、待受画面に表示される神経衰弱や間違い探しなどのゲームをタッチして遊ぶことができます。

＜「アナログ時計」「デジタル時計」設定時＞

- 「自動時刻時差補正」（P52）や「タイムゾーン設定」（P52）でタイムゾーンが日本と異なる時間帯（GMT+9 以外）に設定された場合は、自動的に「デュアルクロック」に変更されます。
- 設定後、待受画面で▶時計表示にカーソルを移動▶を押すと、次の画面を表示できます。
  - 「デュアルクロック」
    ホームの時計（上側）を選択すると日付／時刻設定画面（P52）、サブ時計（下側）を選択すると待受画面設定画面を表示できます。
  - その他の時計
    アラーム一覧画面（P351）を表示できます（日付を選択した場合は、スケジュールのカレンダー画面（P354）を表示できます）。

＜「カレンダー」設定時＞

- 設定後、待受画面で▶カレンダー表示にカーソルを移動▶を押すと、スケジュールのカレンダー画面（P354）を表示できます。
- 「カレンダー＋スケジュール」設定後、待受画面で▶スケジュール表示にカーソルを移動▶を押すと、スケジュール一覧画面（P355）を表示できます。

着信画面設定
着信時の画像を設定する

電話の着信時などに表示される画像を設定します。

1 MENU▶「Settings」▶「表示」▶「着信画面設定」

2 次の操作を行う

- MENU［表示］：選択された画像のプレビュー画面が表示され、CLR で停止します。

［音声着信］
音声着信時に表示する画像を設定します。

画像　　　：「データBOX」の「マイピクチャ」内に保存されている画像から選択します。→P296

ｉモーション：「データBOX」の「ｉモーション」内に保存されている動画／ｉモーションから選択します。→P307

［テレビ電話着信］
テレビ電話着信時に表示する画像を設定します。
- 設定項目は「音声着信」と同じです。

［メール送信］
メール送信時に表示する画像を、「データBOX」の「マイピクチャ」内に保存されている画像から選択します。→P296

［メール受信］
メール／メッセージR/F受信時に表示する画像を、「データBOX」の「マイピクチャ」内に保存されている画像から選択します。→P296

［メール受信完了］
メール／メッセージR/F受信完了時に表示する画像を設定します。
- 設定項目は「音声着信」と同じです。

［ｉモード問い合わせ］
ｉモード問い合わせ完了時に表示する画像を、「データBOX」の「マイピクチャ」内に保存されている画像から選択します。→P296

3 iα［完了］

お知らせ
- 音声のみの動画／ｉモーションは着信画面に設定できません。
- 音声が含まれる動画／ｉモーションを着信画面に設定すると、「着信音選択」（P100）も同様に変更されます。
- 音声が含まれる動画／ｉモーションが着信画像に設定されている場合、着信画像を静止画や音声が含まれない動画／ｉモーションに変更すると自動的に着信音はお買い上げ時の状態に戻ります。

クイックダイヤル
電話番号入力画面の表示を設定する

待受画面で1桁から2桁の数字を入力したときに、該当するメモリ番号の電話帳を検索して表示するかどうかを設定します。

1 MENU▶「Settings」▶「表示」▶「クイックダイヤル」にカーソルを移動▶■［ON・OFF］

ウェイクアップ設定

起動時の画像を設定する

起動時に表示される画像を設定します。

1 MENU▶「Settings」▶「表示」▶「ウェイクアップ設定」

- MENU［表示］：選択された画像のプレビューが表示され、CLRで停止します。

2 ■［選択］▶画像を選択

- 他のフォルダを選択する場合は、CLRを押してから選択してください。

3 iα［完了］

お知らせ

- Flash画像はウェイクアップ画面に設定できません。

電話帳画像表示

着信時に電話帳に設定した画像を表示する

電話帳に登録されている相手が発信者番号を通知して電話をかけてきた場合に、電話帳に設定されている画像を表示します。

1 MENU▶「Settings」▶「発着信／通話機能」▶「着信機能」▶「電話帳画像表示」にカーソルを移動▶■［ON・OFF］

お知らせ

- 電話がかかってきたときの画像表示の優先順位は以下のとおりです。
  ①電話帳の設定画像
  ②電話帳のグループの設定画像
  ③着信画面設定の設定画像

照明設定

ディスプレイの照明を設定する

ディスプレイの照明（バックライト）を設定します。

1 MENU▶「Settings」▶「表示」▶「照明設定」▶次の操作を行う

［照明時間］
ディスプレイのバックライトの照明時間を10秒〜10分の間、または時間無制限点灯から設定します。
- 最後の操作から設定した時間が経過すると画面が暗くなり、さらに約5秒経過すると完全に消灯します（ｉチャネルのテロップ表示中は、最後の操作から最低約1分経過するまでは完全に消灯しません）。

［照明明るさ］
ディスプレイのバックライトの明るさを設定します。
- 「自動設定」を設定すると、まわりの明るさを照度センサーが感知して、ディスプレイの明るさを自動的に調整します。

[充電器接続時]
充電器接続時の照明を設定します。
端末設定に従う：「照明時間」「照明明るさ」の設定に従います。
常時点灯：常時点灯します。

2 [i α][完了]

お知らせ
- 音声電話中は「照明時間」の設定に関わらず約5秒後に消灯します。

省電力モード
ディスプレイを省電力で表示する

ディスプレイの照明（バックライト）の明るさを最小レベルの省電力状態に設定します。

1 [MENU]▶「Settings」▶「その他」▶「省電力モード」▶「ON」／「OFF」

カラーテーマ設定
画面の色の組み合わせを設定する

画面の配色を設定します。

1 [MENU]▶「Settings」▶「表示」▶「カラーテーマ設定」

2 設定したいカラーを選択
- [MENU]［表示］：プレビュー画面が表示されます。

きせかえツール
きせかえツールを利用する

「きせかえツール」を利用すると、着信音や待受画面、アイコンメニューなどをまとめて設定できます。
- きせかえツールのダウンロードについて→P195
- きせかえツールによって設定できる項目は異なります。
  - 待受画面設定
  - カスタムメニュー
  - 音声着信（画像）
  - テレビ電話着信（画像）
  - メール送信（画像）
  - メール受信（画像）
  - メール受信完了（画像）
  - ｉモード問い合わせ（画像）
  - アンテナアイコン
  - 電池アイコン
  - カラーテーマ
  - 音声電話着信音
  - テレビ電話着信音
  - メール着信音
  - メッセージR着信音
  - メッセージF着信音
  - SMS着信音
  - アラーム音
- きせかえツールを利用してメニュー画面のデザインを変更した場合、メニューの種類によっては、使用頻度に合わせてメニュー構成が変わるものがあります。また、メニュー項目に割り当てられている番号（項目番号）が適用されないものがあります。
- プリインストールされているきせかえツールは、メニューなどの日本語・英語・韓国語表示に対応しています。（「L-06A-direct」を除く）サイトからダウンロードしたきせかえツールでは、英語や韓国語に対応していない場合があります。

1 [MENU]▶「Data Box」▶「きせかえツール」

次のページへ続く

2 「ｉモード」/「プリインストール」

ｉモード：サイトからダウンロードしたきせかえツールから選択します。

プリインストール
：プリインストールされているきせかえツールから選択します。

- 「ｉモードで探す」を選択すると、ｉモードサイトに接続してきせかえツールを探すことができます。

きせかえツール一覧画面

3 きせかえツールを選択▶[i α][一括設定]▶「はい」

- [■][表示]：選択したきせかえツールの内容を各項目ごとに確認できます。

設定をリセットするには

きせかえツール一覧画面で[MENU][メニュー]▶「画面/音設定の初期化」▶端末暗証番号を入力します。

きせかえツール一覧画面のサブメニュー

1 きせかえツール一覧画面(P112)▶きせかえツールにカーソルを移動▶[MENU][メニュー]

- きせかえツール一覧画面のサブメニューは、「一括設定」「画面/音設定の初期化」以外は「静止画ファイル一覧画面のサブメニュー」(P298)と同じです。ただし、「送信」「設定」「お預かりセンターに保存」は表示されません。

メニュー画面設定

メインメニューのデザインを変更する

メインメニューには次の2種類があり、切り替えて使用することができます。

- カスタムメニュー：メニュー項目を変更できます。
- 基本メニュー：メニュー項目は変更できませんが、アイコンや背景画像を変更できます。

カスタムメニューのメニュー項目を変更する

きせかえツールによっては、カスタムメニューのメニュー項目を変更することができます。
よく利用する機能などに変更しておくと、少ない操作手順で機能を呼び出せて便利です。

- お買い上げ時のカスタムメニューでは、メニュー項目を変更できません。

1 [MENU]▶変更する機能にカーソルを移動▶[MENU][メニュー]▶「メニュー入れ替え設定」▶機能を選択▶「はい」

カスタムメニューを元の状態に戻すには

[MENU]▶[MENU][メニュー]▶「入れ替えメニューのリセット」▶「はい」

メニューの操作履歴を消去するには

きせかえツールによっては、メニューの操作履歴に従ってカスタムメニューの項目を自動的に並べ替えるものがあります。次の操作を行うと、メニューの操作履歴を消去することができます。

[MENU]▶[MENU][メニュー]▶「メニュー操作履歴のリセット」▶「はい」

基本メニューのアイコンや背景画像を変更する

1 MENU▶[カメラ/TV][基本]

2 変更するアイコンにカーソルを移動▶MENU[メニュー]▶「アイコン設定」▶新しいアイコンを選択

- 他のフォルダを選択する場合は、[CLR]を押してから選択してください。

■ **背景画像を変更する場合**

MENU［メニュー］▶「背景設定」▶画像を選択します。

お知らせ

- 使用できるアイコンは、画素数が130×130ドット以下のJPEG形式またはGIF形式の画像です。それより大きい画像は、自動的にサイズが縮小されます。アニメーションGIF形式の画像の場合は、1コマ目の画像のみ表示されます。

優先的に表示するメニューを設定する

待受画面でMENUを押したとき、最初に表示されるメニューを設定します。

1 MENU▶MENU[メニュー]▶「メニュー設定切り替え」▶「カスタムメニュー」／「基本メニュー」▶「はい」

メニューを切り替えるには

メニュー表示中に[カメラ/TV]［基本・カスタム］を押します。

イルミネーション設定

着信時などのイルミネーションのパターンを設定する

着信やアラームをお知らせするイルミネーションのON／OFF、および各項目のイルミネーションのパターンなどを設定します。

1 MENU▶「Settings」▶「表示」▶「イルミネーション設定」▶次の操作を行う

- MENU［表示］：選択中の項目に設定されているイルミネーションが表示されます。

［イルミネーション設定］
イルミネーションを点灯、点滅させるかどうかを設定します。

［音声着信］※
音声電話着信時のイルミネーションパターンを設定します。

［テレビ電話着信］※
テレビ電話着信時のイルミネーションパターンを設定します。

［メール受信］※
メール／メッセージR/F受信時のイルミネーションパターンを設定します。

次のページへ続く

[留守番電話]※
留守番電話に新しい伝言メッセージが録音されたときのイルミネーションパターンを設定します。
- 「件数増加時鳴動設定」が「はい」になっている場合のみ有効になります。→P393

[伝言メモ]※
新しい伝言メモが録音されたときのイルミネーションパターンを設定します。

[アラーム]※
アラーム時のイルミネーションパターンを設定します。

[ICカード]※
ICカード利用時にイルミネーションを点灯、点滅させるかどうかを設定します。

[不在着信]※
不在着信時にイルミネーションを点灯、点滅させるかどうかを設定します。

[未読メール／メッセージ]※
未読のメールやSMS、メッセージがある場合にイルミネーションを点灯、点滅させるかどうかを設定します。

[電池残量不足]※
電池残量がほとんどないときにイルミネーションを点灯、点滅させるかどうかを設定します。

※「イルミネーション設定」を「ON」にすると設定できます。

2 [完了]

お知らせ

- 「不在着信」、「未読メール／メッセージ」のイルミネーションは約10秒間隔で最大約1時間、その他のイルミネーションは最大約30秒間点灯、点滅します。

日付／時刻表示設定

時計の表示を設定する

日付や時刻の表示形式を設定できます。

1 MENU▶「Settings」▶「日付／時刻」▶「日付／時刻表示設定」▶次の操作を行う

[日付表示形式]
日付の表示形式を設定します。

[時刻表示形式]
時刻の表示形式を設定します。

2 i α［完了］

お知らせ

- YYYYは年、MMは月、DDは日付を表しています。

Select language

画面を英語や韓国語表示に切り替える

FOMA端末の表示言語を日本語、英語または韓国語に切り替えることができます。

1 MENU▶「Settings」▶「Select language」▶「日本語」／「English」／「한국어（韓国語）」

お知らせ

- 英語や韓国語表示に切り替えている場合は、「Select language」は「マルチリンガル」と表示されます。
- 本設定内容はFOMA端末と挿入されているFOMAカードに記憶されます。別のFOMAカードを挿入した場合は、挿入したFOMAカードの設定が優先されます。また、韓国語に設定したFOMAカードを韓国語非対応のFOMA端末に挿入した場合は、日本語または英語になります。

タッチパネル調整

タッチパネルを補正する

1 MENU▶「Settings」▶「その他」▶「タッチパネル調整」

2 左上、右上、左下、右下、中央の「＋」の中心を順番にタッチ

3 「はい」▶操作2と同様の操作で調整を確認▶「OK」

- 「いいえ」を選択した場合、確認なしで操作4へ進みます。

4 「はい」

あんしん設定

FOMA端末で利用する暗証番号

FOMA端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。各種端末操作用の端末暗証番号のほか、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、ｉモードパスワードなどがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

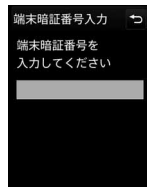
- 入力した端末暗証番号やネットワーク暗証番号、ｉモードパスワードなどは「＊」で表示されます。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気を付けください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、FOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

端末暗証番号

端末暗証番号は、お買い上げ時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P120

端末暗証番号入力画面が表示された場合は、4～8桁の端末暗証番号を入力し、■［OK］を押します。

端末暗証番号入力画面

ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や、各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字４桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」の「docomo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。なお、ｉモードからは、お客様サポート内の「各種設定（確認・変更・利用）」からお客様ご自身で変更できます。

- 「My docomo」「お客様サポート」については、取扱説明書裏面の裏側をご覧ください。

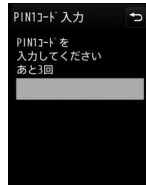
ｉモードパスワード

マイメニューの登録／削除、メッセージサービス、ｉモードの有料サービスのお申し込み／解約などを行う際には4桁の「ｉモードパスワード」が必要になります（この他にも各情報サービス提供者が独自にパスワードを設定していることがあります）。
ｉモードパスワードは、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。ｉモードから変更される場合は、「ｉMenu」▶「お客様サポート」▶「各種設定（確認・変更・利用）」▶「ｉモードパスワード変更」から変更できます。

PIN1コード／PIN2コード

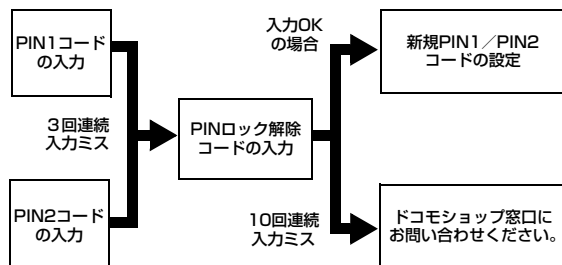
FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。これらの暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P120
PIN1コードは、第三者による無断使用を防ぐため、FOMAカードをFOMA端末に差し込むたびに、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の番号（コード）です。PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。PIN2コードは、積算通話料金のリセットなどに使用する4～8桁の番号です。

PIN1コード／PIN2コード入力画面が表示された場合は、4～8桁のPIN1コード／PIN2コードを入力し、■［OK］を押します。

- 新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN1コード、PIN2コードをご利用ください。

PINコード入力画面（例：PIN1コードの場合）

PINロック解除コード

PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。→P121
なお、お客様ご自身では変更することができません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続で失敗すると、FOMAカードがロックされます。

端末暗証番号変更

端末暗証番号を変更する

端末暗証番号を変更できます。

1 MENU▶「Settings」▶「ロック／セキュリティ」▶「端末暗証番号変更」

2 現在の端末暗証番号を入力

端末暗証番号変更画面が表示されます。

3 新しい端末暗証番号を入力

4 操作3で入力した端末暗証番号を再入力

PINコード

PINコードを設定する

PIN1コードリクエスト

電源を入れたときにPIN1コードを入力させる

FOMA端末の電源を入れたときに、PIN1コード入力画面を表示させ、PIN1コードを入力しなければ使用できないように設定します。

1 MENU▶「Settings」▶「ロック／セキュリティ」▶「PINコード」▶端末暗証番号を入力▶「PIN1コードリクエスト」▶「ON」／「OFF」▶PIN1コードを入力

お知らせ

- 日本国内では、PIN1コード入力画面表示中に、i α［緊急呼］を押下しても、緊急通報（110番、119番、118番）ができません。

PIN1／PIN2コード変更

PIN1コード／PIN2コードを変更する

- PIN1コードを変更する場合は、あらかじめ「PIN1コードリクエスト」を「ON」に設定してください。

1 MENU▶「Settings」▶「ロック／セキュリティ」▶「PINコード」▶端末暗証番号を入力

2 「PIN1コード変更」／「PIN2コード変更」▶現在のPIN1コード／PIN2コードを入力

新規PIN1コード／PIN2コード入力画面が表示されます。

3 新しいPIN1コード／PIN2コード（4～8桁）を入力

新規PIN1コード／PIN2コード再入力画面が表示されます。

4 操作3で入力したPIN1コード／PIN2コードを再入力

PINロックを解除する

PIN1コード／PIN2コードの入力を3回連続で間違えてPINロック画面が表示された場合は、PINロック解除コードを入力してロックを解除します。

- PINコードのロックを解除した場合は、新しいPIN1コード／PIN2コードを設定する必要があります。

1 **PINロック画面▶PINロック解除コード(8桁)を入力**

新PIN1コード／PIN2コード入力画面が表示されます。

2 **新しいPIN1コード／PIN2コード(4～8桁)を入力**

確認用の再入力画面が表示されます。

3 **操作2で入力したPIN1コード／PIN2コードを再入力**

各種ロック機能

ロック機能	説　明	参照先
オールロック	他の人にFOMA端末を操作されないように、FOMA端末をロックします。	P121
おまかせロック	FOMA端末を紛失した際などに、遠隔操作でロックをかけられます。	P122
発着信／メールロック設定	他の人のFOMA端末の操作を制限するために、ダイヤルキー操作による電話発信やアドレス入力、電話着信やメール表示ができないようにします。	P123
セルフモード	電話の発着信、iモードの利用やメールの送受信など、通信を必要とするすべての機能を使えないようにします。	P124
プライバシーモード設定	他の人に無断で操作されたくない機能を指定してロックします。	P124
ライブキャラパークロック設定	ライブキャラパークを表示できないようにします。	P125
自動タッチロック	ターンビュースタイルで一定時間FOMA端末の動作がないと、自動的にタッチ操作やキーをロックして使用できないように設定できます。	P126
履歴表示設定	リダイヤル、着信履歴、送信履歴、受信履歴が表示されないようにします。	P126
シークレットモード	シークレットデータの電話帳やスケジュールを表示できないようにします。	P127

オールロック

他の人が使用できないようにする

FOMA端末をロックし、使用できないようにします。

- オールロックを設定中は、電源ON／OFF、緊急通報、音声電話／テレビ電話着信、オールロック解除以外の操作はできません。

1 **MENU▶「Settings」▶「ロック／セキュリティ」▶「ロック」▶「オールロック」▶端末暗証番号を入力▶「はい」／「いいえ」**

次のページへ続く

お知らせ

- オールロック中は、メールやメッセージR/Fを受信しても受信結果画面やアイコンは表示されません。
- オールロック中は、ｉチャネルのテロップは表示されません。

オールロック中に緊急通報（110番、119番、118番）するには

オールロック中でも緊急通報（110番、119番、118番）ができます。（FOMAカード未挿入時を除く）

▶ ［緊急呼］▶緊急通報の番号を選択▶ ［OK］

オールロックを解除するには

▶「ロック解除」をタッチ／いずれかのダイヤルキーを押す▶端末暗証番号を入力

端末暗証番号の入力を5回連続して失敗すると、自動的に電源が切れます。

おまかせロック

おまかせロックを利用する

FOMA端末を紛失した際などに、ドコモにお電話でご連絡いただくだけで、電話帳などの個人データやおサイフケータイのICカード機能にロックをかけることができます。お客様の大切なプライバシーとおサイフケータイを守ります。また、お申込み時におまかせロックがかからない場合で、1年以内に通信が可能になった場合、自動的にロックがかかります。ただし、回線解約・休止・改番・紛失時などで新しいFOMAカードの発行（番号を指定してロックした場合のみ）を行った場合は1年以内であっても自動的にロックはかかりません。お客様からのお電話などによりロックを解除することができます。

※ ドコモプレミアクラブ会員の場合、手数料無料で何回でもご利用いただけます。ドコモプレミアクラブ未入会の場合、有料のサービスとなります。（ただしご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合は無料になります。）また、ケータイあんしんパックご契約の場合、ケータイあんしんパック定額料金内でご利用いただけます。

おまかせロックの設定／解除
0120−524−360　受付時間　24時間
※パソコンなどでMy docomoのサイトからも設定／解除ができます。

※ おまかせロックの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

おまかせロックを設定すると「おまかせロック中です」と表示されます。

- おまかせロック中は、音声／テレビ電話の着信に対する応答と電源ON／OFFの操作を除いて、すべてのキー操作がロックされ、各機能（ICカード機能を含む）を使用することができなくなります。
- 音声／テレビ電話の着信は可能ですが、電話帳に登録されている氏名、画像などは画面に表示されず、電話番号だけが表示されます。
- おまかせロック中に受信したメールは、ｉモードセンターに保存されます。
- 電源ON／OFFは可能ですが、電源OFFを行ってもロックは解除されません。
- FOMAカードやmicroSDカードにはロックがかかりませんので、あらかじめご了承ください。

お知らせ

- 他の機能が起動中の場合でも、当該機能を終了してロックをかけます。
- 他のロック機能の設定中でも、おまかせロックを使用することができます。ただし、公共モード（ドライブモード）を設定中におまかせロックを設定した場合、音声／テレビ電話の着信もできなくなります。
- FOMA端末の圏外・電源OFF時・海外での使用時はロックおよびロック解除はできません。その他お客様の利用方法などにより、ロックがかからない場合があります。
- デュアルネットワークサービスをご契約のお客様が、movaサービスをご利用中の場合は、ロックはかかりません。
- ご契約者の方とFOMA端末を使用している方が異なる場合でも、ご契約者の方からのお申し出があればロックがかかります。
- おまかせロックの解除は、おまかせロックをかけたときと同じ電話番号のFOMAカードをFOMA端末に挿入している場合のみ行うことができます。解除できない場合は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

発信や着信ができないようにする

発着信／メールロック設定

機能を選んで発信や着信などができないようにする

ダイヤルキー操作による電話発信やアドレス入力、電話着信やメール表示などができないようにします。

1 MENU▶「Settings」▶「ロック／セキュリティ」▶「ロック」▶「発着信／メールロック設定」▶端末暗証番号を入力▶次の操作を行う

[発着信／メールロック設定]
発着信／メールロック設定を有効にするかどうかを設定します。

[ダイヤル発信制限] ※
次の操作をできないようにします。
- ダイヤルキー入力による発信
- 着信履歴や受信履歴の電話番号からの発信
- リダイヤルの電話番号への発信（電話帳に登録されている電話番号や110番、119番、118番の緊急通報は発信可能）
- 電話帳の登録、編集、削除（赤外線通信による送受信、microSDカードとのコピー／移動含む）

[メール送信制限] ※
次の操作をできないようにします。
- ダイヤルキーによるメールの宛先入力
- リダイヤルや履歴のアドレスへのメール送信（電話帳に登録されているアドレスには送信可能）
- パソコンなどとの接続によるデータ通信
- 電話帳の登録、編集、削除（赤外線通信による送受信、microSDカードとのコピー／移動含む）

[ダイヤル着信制限] ※
電話の着信をできないようにします。設定中は不在着信を示すアイコンが表示されず、着信履歴も表示できなくなります。

[メール受信表示制限] ※
送受信したメール／メッセージR/Fを表示できないようにします。設定中はメールの受信を示すアイコンは表示されず、FOMA端末内のメールや受信履歴も表示できなくなります。

※「発着信／メールロック設定」を「ON」にすると設定できます。

2 i α [完了]

セルフモード

すべての発信や着信ができないようにする

電話の発着信、iモードの利用やメールの送受信など、通信を必要とするすべての機能を使えないようにします。また、赤外線通信によるデータ送受信も利用できません。

1 MENU▶「Settings」▶「発着信／通話機能」▶「セルフモード」▶「はい」／「いいえ」

お知らせ

- セルフモード中に緊急通報（110番、119番、118番）を行うと、セルフモードは解除されます。
- セルフモード中に電話がかかってきた場合、相手には電波が届かないか電源が入っていない旨のガイダンスが流れます。
- セルフモード中でも留守番電話サービス、転送でんわサービスは利用できます。
- セルフモード中に送られてきたメールやメッセージR/Fは、iモードセンターで、SMSはSMSセンターでお預かりします。受信する場合は、セルフモードを解除してからiモード問い合わせ／SMS問い合わせをしてください。
- セルフモード中に電話がかかってきた場合、セルフモード解除後に待受画面に不在着信アイコンは表示されません。

プライバシーモード設定

電話帳やスケジュールなどを表示できないようにする

指定した機能をロックし、端末暗証番号を入力しないと利用できないようにしたり、利用を制限したりできます。

1 MENU▶「Settings」▶「ロック／セキュリティ」▶「ロック」▶「プライバシーモード設定」▶端末暗証番号を入力▶次の操作を行う

［プライバシーモード設定］
プライバシーモード設定を有効にするかどうかを設定します。

［電話帳］※
端末暗証番号を入力しないと、電話帳が使用できなくなります。
- リダイヤルや履歴には電話帳の登録名が表示されず、相手から通知された電話番号やアドレスが表示されます。
- 赤外線通信などを利用した電話帳の受信ができなくなります。

［データBOX］※
端末暗証番号を入力しないと、データBOXのデータが使用できなくなります。
- 赤外線通信などを利用した画像やメロディなどデータBOXに保存されるデータの受信ができなくなります。

［伝言メモ］※
端末暗証番号を入力しないと、伝言メモが使用できなくなります。
- 伝言メモを「ON」に設定してロックした場合、伝言メモが録音されても待受画面に[アイコン]1は表示されません。

［スケジュール］※
端末暗証番号を入力しないと、スケジュール機能が使用できなくなります。
- スケジュールに設定されたアラームは、通知されなくなります。
- 赤外線通信などを利用したスケジュールの受信ができなくなります。

［ｉモード］※
端末暗証番号を入力しないと、ｉモード機能が使用できなくなります。
- Web Toなどｉモードメニュー画面以外からのｉモード接続ができなくなります。
- ｉチャネルのテロップは表示されなくなります。
- スキャン機能のパターンデータ更新ができなくなります。
- 赤外線通信などを利用したブックマークの受信ができなくなります。
- ｉアプリからの通信は行えます。
- ｉアプリのメニューからｉアプリのバージョンアップは行えます。

［ｉアプリ］※
端末暗証番号を入力しないと、ｉアプリが使用できなくなります。
- 赤外線通信などを利用したｉアプリのデータなどが受信できなくなります。
- ｉアプリを待受画面に設定している場合は、待受画面に表示されなくなります。

※「プライバシーモード設定」を「ON」にすると設定できます。

2 ［完了］

お知らせ
- 次の場合に端末暗証番号を入力して機能を呼び出すことができます。
  - メインメニューやカスタムメニューから機能を呼び出す場合
  - 待受画面表示時に機能呼び出しに割り当てられているキーを押した場合
  - 新規タスク画面（P349）やタスク一覧画面（P350）から機能を呼び出す場合

ライブキャラパークロック設定

ライブキャラパークを表示できないようにする

端末暗証番号を入力しないと、ライブキャラパークを表示できないようにできます。
- 待受画面からライブキャラパーク画面を表示する場合のみ有効です。ライブキャラパーク画面から操作を行った場合はそのままライブキャラパーク画面に戻ります。

1 ▶「Settings」▶「ロック／セキュリティ」▶「ロック」▶「ライブキャラパークロック設定」▶端末暗証番号を入力
操作を行うたびにONとOFFが切り替わります。

タッチロック

タッチパネルやキーの誤操作を防止する

FOMA端末をターンビュースタイルにしているときに、タッチパネルとキーをロックして使用できなくします。

タッチロックを設定する

1 FOMA端末をターンビュースタイルにした状態▶

タッチロックを解除する

1 FOMA端末をターンビュースタイルにした状態▶（1秒以上）／ ロック解除 をタッチ（1秒以上）
- FOMA端末を開いてもタッチロックは解除されます。

お知らせ

- ワンセグ、カメラ、音楽再生機能（BGM再生を除く）などを利用中は、タッチロックはかかりません。
- タッチロック中に電話の着信などがあった場合は、ディスプレイに着信中画面などが表示され、一時的に操作できます。
- バックグラウンド再生中はタッチロックをかけていても、▲／▼を押して音量調節できます。
- 自動タッチロック（P126）が設定されている場合、一定時間を過ぎると自動的にタッチロックされます。
- 通話中、発信中や通信中などタッチロックを設定できない場面があります。

自動タッチロック

自動的にタッチロックを設定する

FOMA端末をターンビュースタイルにした状態で一定時間FOMA端末の動作がないと、自動的にタッチ操作やキーをロックして使用できないように設定できます。

1 MENU▶「Settings」▶「ロック／セキュリティ」▶「自動タッチロック」▶ロック方法を選択

OFF　：自動タッチロックしません。
15秒後　：ターンビュースタイルで最後の動作から15秒が経つと、タッチロックします。
30秒後　：ターンビュースタイルで最後の動作から30秒が経つと、タッチロックします。
60秒後　：ターンビュースタイルで最後の動作から60秒が経つと、タッチロックします。
画面消灯時：ターンビュースタイルでディスプレイ消灯時にタッチロックします。

履歴表示設定

リダイヤルや着信履歴の表示を設定する

リダイヤル、着信履歴、送信履歴、受信履歴を表示しないように設定できます。

1 MENU▶「Settings」▶「ロック／セキュリティ」▶「履歴表示設定」▶端末暗証番号を入力

2 設定する項目にカーソルを移動▶■［ON･OFF］

「OFF」に設定した項目は表示できなくなります。

リダイヤル：リダイヤルを表示させるかどうかを設定します。
着信履歴　：着信履歴を表示させるかどうかを設定します。
送信メール履歴
　：送信履歴を表示させるかどうかを設定します。
受信メール履歴
　：受信履歴を表示させるかどうかを設定します。

お知らせ

- 「着信履歴」を「OFF」に設定した場合は、伝言メモ一覧は表示されません。

シークレットモード

シークレット設定されている情報を表示する

電話帳とスケジュールのシークレットデータを表示するかどうかを設定できます。

1 MENU▶「Settings」▶「ロック／セキュリティ」▶「シークレットモード」▶端末暗証番号を入力▶シークレットモードの設定方法を選択

OFF ：シークレットデータ以外の一般データのみ表示されます。

ON ：シークレットデータと一般データをすべて表示します。

シークレット専用モード

：シークレットデータのみ表示します。

リスト指定着信拒否

指定した電話番号からの電話を受けない

リストに登録した特定の相手からの電話を拒否するように設定できます。

- 本機能は、相手が発信者番号を通知して電話をかけてきた場合のみ有効です。
- 番号通知お願いサービスを同時に設定することをおすすめします。

着信拒否する電話番号を登録する

着信拒否する電話番号を20件まで登録、編集します。

1 MENU▶「Settings」▶「発着信／通話機能」▶「着信機能」▶「着信許可／拒否」▶端末暗証暗号を入力▶「着信拒否リスト編集」

着信拒否リスト画面

次のページへ続く

2 空いているリスト番号を選択▶拒否する電話番号を入力▶「ミュート」／「非接続」

ミュート：着信音を消音して着信します。

非接続　：着信動作を行いません。

- MENU［検索］：電話帳から着信拒否する電話番号を呼び出します。

登録した電話番号を削除するには

着信拒否リスト画面で削除する電話番号を選択▶「1件削除」を選択します。

登録した電話番号を編集するには

着信拒否リスト画面で編集する電話番号を選択▶「編集」を選択します。

リスト指定着信拒否を設定する

1 MENU▶「Settings」▶「発着信／通話機能」▶「着信機能」▶「着信許可／拒否」▶端末暗証番号を入力▶「着信許可／拒否設定」▶「リスト指定着信拒否」

■解除する場合

「着信許可／拒否設定」選択後の画面で「許可」を選択します。

お知らせ

- リスト指定着信拒否の設定中に、「非接続」に登録されている相手から着信した場合は、着信は通知されず、待受画面に 1 が表示され、不在着信として着信履歴に記録されます。相手には「プー･･･」という話中音が流れます。
- ｉモードメールやSMSは、本機能の設定に関わらず受信されます。

全着信拒否

すべての着信を拒否する

かかってきたすべての電話の着信音を消音したり、着信動作を行わずに切断したりできます。

1 MENU▶「Settings」▶「発着信／通話機能」▶「着信機能」▶「着信許可／拒否」▶端末暗証番号を入力▶「着信許可／拒否設定」▶「全着信拒否」▶「ミュート」／「非接続」

ミュート　：かかってきたすべての電話の着信音を消音して着信します。

非接続　　：かかってきたすべての電話の着信動作を行いません。

■解除する場合

「着信許可／拒否設定」選択後の画面で「許可」を選択します。

お知らせ

- 「非接続」に設定中に着信した場合は、着信は通知されず、待受画面に 1 が表示され、不在着信として着信履歴が記録されます。相手には「プー･･･」という話中音が流れます。
- ｉモードメールやSMSは、本機能の設定に関わらず受信されます。

非通知着信

電話番号が通知されない着信があったときの動作を設定する

電話番号が通知されない電話の着信を、非通知理由ごとに拒否できます。

1 MENU▶「Settings」▶「発着信／通話機能」▶「着信機能」▶「非通知着信」▶端末暗証番号を入力▶次の操作を行う

［非通知設定］

発信者の意思により発信者番号を通知しないで発信された電話について設定します。

応答　：非通知着信時の応答方法を設定します。

設定解除　　　：設定を解除します。

着信拒否　　　：着信を拒否します。

着信音なし　　：着信音を消音して着信します。着信画像を「データBOX」の「マイピクチャ」内に保存されている画像から選択できます。→P296

端末設定に従う：着信時の着信画像と着信音を「データBOX」内のデータから選択できます。

着信画像：非通知着信時の画像を設定します。
▶「端末設定に従う」／「画像」／「iモーション」▶画像を選択

着信音　：非通知着信時の着信音を設定します。
▶「端末設定に従う」／「ミュージック」／「iモーション」／「メロディ」▶着信音を選択

- 「ミュージック」内に保存されている着うたフル®を選択した場合は、「着うたフル®を着信音に設定する」の操作3（P266）へ進みます。

［公衆電話］

公衆電話などから発信された電話について設定します。

- 設定項目と操作方法は「非通知設定」と同じです。

［通知不可能］

海外からの着信や一般電話から各種転送サービスを経由しての着信など、発信者番号を通知できない相手から発信された電話について設定します（経由する電話会社などによっては、発信者番号が通知されることがあります）。

- 設定項目と操作方法は「非通知設定」と同じです。

お知らせ

- 非通知着信の設定中に、「着信拒否」に設定した非通知着信があった場合は、着信は通知されず、待受画面に［アイコン］が表示され、不在着信として着信履歴に記録されます。相手には「プー…」という話中音が流れます。また、留守番電話サービス／転送でんわサービスを開始に設定している場合も着信を拒否します。ただし、呼出時間を0秒に設定しているときや、サービスエリア外、FOMA端末の電源を切っているときは各ネットワークサービスが起動します。
- ｉモードメールやSMSは、本機能の設定に関わらず受信されます。
- 「着信音選択」（P100）「着信画面設定」（P109）に映像／音声が含まれる動画／ｉモーションが設定されているときにどちらか一方を変更すると、応答方法を「端末設定に従う」に設定していても、変更しなかった「着信音」または「着信画像」はお買い上げ時の音声や画像が再生されます。
- 「着信画像」または「着信音」のどちらかを映像／音声が含まれる動画／ｉモーションに設定した場合は、もう片方にも自動的に同じ動画／ｉモーションが設定されます。

<非通知設定>

- 番号通知お願いサービスを開始に設定している場合は、「非通知着信」の設定より優先して動作します。相手には番号通知お願いガイダンスが流れます。

呼出動作開始時間設定

電話帳未登録の相手の着信音を無音にする

電話帳に登録されていない相手や、発信者番号が非通知の相手から電話がかかってきたとき、着信音などの呼出動作をすぐに開始しないように設定できます。呼出時間が短い「ワン切り」などの迷惑電話対策として有効です。

1 MENU▶「Settings」▶「音／バイブレータ」▶「呼出動作開始時間設定」▶次の操作を行う

[呼出動作開始時間設定]
呼出動作開始時間設定を有効にするかどうかを設定します。

[呼出開始時間] ※
着信してから呼出動作を開始するまでの時間を1秒～99秒の間で設定します。

[着信履歴] ※
「呼出動作開始時間」で設定した時間内に切れた電話の着信履歴を表示するかどうかを設定します。

※「呼出動作開始時間設定」を「ON」にすると設定できます。

2 i α[完了]

お知らせ

- 本機能を設定中に該当する相手から電話がかかってきた場合、設定した時間内は着信音などの呼出動作は行われませんが、着信中画面は表示されます。
- 「シークレットモード」を「OFF」に設定しているとき、電話帳をシークレットに設定している相手から電話がかかった場合でも本機能が動作します。

<呼出動作開始時間設定>

- 留守番電話サービス／転送でんわサービスの呼出時間よりも長く設定した場合は、呼出動作を行う前に各ネットワークサービスが起動します。
- 「伝言メモ」の「応答時間」よりも長く設定した場合は、呼出動作を行わずに伝言メモが起動します。
- 「メモリ登録外着信拒否」が「ON」に設定されている場合は、「呼出動作開始時間設定」は設定できません。

メモリ登録外着信拒否

電話帳未登録の相手からの電話を受けない

電話帳に登録されていない相手や、発信者番号が非通知の相手からかかってきた電話を拒否するように設定できます。

- 番号通知お願いサービスを同時に設定することをおすすめします。

1 MENU▶「Settings」▶「発着信／通話機能」▶「着信機能」▶「着信許可／拒否」▶端末暗証番号を入力▶「メモリ登録外着信拒否」にカーソルを移動▶■[ON・OFF]

お知らせ

- 拒否設定に該当する相手から電話がかかってきた場合、着信動作は行われずに着信履歴が記録されます。相手には「プー…」という話中音が流れます。
- 留守番電話サービス／転送でんわサービスを開始に設定中でも着信を拒否します。ただし、呼出時間を0秒に設定している場合は各ネットワークサービスが起動します。
- ｉモードメールやSMSは、本機能の設定に関わらず受信されます。
- 「呼出動作開始時間設定」を「ON」に設定している場合、または「プライバシーモード設定」を「ON」に設定して「電話帳」にチェックを付けている場合は、「メモリ登録外着信拒否」は設定できません。

電話帳お預かりサービス

電話帳お預かりサービスを利用する

FOMA端末に保存されている電話帳・画像・メール（以下「保存データ」といいます）を、ドコモのお預かりセンターに預けることができ、万が一の紛失時や機種変更時などに保存データを復元できるサービスです。また、メールアドレスを変更したことを一斉通知できます。一斉通知メール送信時パケット通信料はかかりません。パソコン（My docomo）があれば、さらに便利にご利用いただけます。

- 電話帳お預かりサービスの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- 電話帳お預かりサービスはお申し込みが必要な有料のサービスです（お申し込みにはｉモード契約が必要です）。

FOMA端末（本体）電話帳をお預かりセンターに保存する

1 **MENU▶「LifeKit」▶「電話帳お預かりサービス」▶「お預かりセンターに接続」▶端末暗証番号を入力▶「はい」**

お知らせ

- FOMAカードの電話帳は保存できません。
- すでに電話帳を保存しているときは、最新の内容に更新されます。
- FOMA端末の電話帳を削除した後に本機能を利用すると、お預かりセンターの電話帳も同様に削除されますのでご注意ください。
- 電話帳の復元や自動更新設定などは、ｉモードの電話帳お預かりサイトからご利用いただけます。「ｉMenu」▶「マイメニュー」▶「電話帳お預かり」を選択します。

通信履歴を表示する

お預かりセンターとの通信履歴を表示します。

1 **MENU▶「LifeKit」▶「電話帳お預かりサービス」▶「通信履歴表示」▶通信履歴を選択**

- 通信履歴にカーソルを移動してMENU［メニュー］を押すと、「1件削除」「全件削除」を選択できます。

電話帳の画像を送信するかどうかを設定する

電話帳に登録されている画像もお預かりセンターに保存するかどうかを設定します。

1 **MENU▶「LifeKit」▶「電話帳お預かりサービス」▶「電話帳内画像送信設定」にカーソルを移動▶■［ON・OFF］**

画像・メールをお預かりセンターに保存する

例：「マイピクチャ」内の画像を保存する場合

1 MENU▶「Data Box」▶「マイピクチャ」▶フォルダにカーソルを移動▶■[開く]

2 MENU[メニュー]▶「お預かりセンターに保存」▶保存する画像にチェックを付ける▶i α[完了]▶端末暗証番号を入力▶「はい」

お知らせ

- FOMA端末内に保存されている画像・メールのみ保存できます。
- SMS送達通知は保存できません。
- 1件あたりのファイルサイズが100Kバイトを超える画像は保存できません。
- ｉモードメールに添付されているファイルは保存されません。
- 韓国語が含まれたSMSは保存されません。

設定リセット

各種機能の設定を初期状態に戻す

各機能で変更した設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

- お買い上げ時の設定に戻る機能については、「メニュー一覧」(P430)を参照してください。

1 MENU▶「Settings」▶「その他」▶「リセット／削除」▶「設定リセット」▶「はい」▶端末暗証番号を入力

お知らせ

- 電池残量が十分な状態で「設定リセット」を実行してください。
- 「設定リセット」中は、各種機能／通信を利用できません。

メモリ削除

登録データを一括して削除する

登録してあるデータを削除します。

1 MENU▶「Settings」▶「その他」▶「リセット／削除」▶「メモリ削除」

2 削除したい項目にチェックを付ける▶i α[完了]▶「はい」▶端末暗証番号を入力

■ 削除されるデータ

項目	データ
プリインストールデータ	「データBOX」のお買い上げ時のデータ※1
ユーザデータ	お買い上げ時のデータ以外の「データBOX」内のすべてのデータ
PIMデータ	「電話帳」※2／「スケジュール」／「テキストメモ」／「スケッチメモ」／「To Do リスト」／「記念日マネージャー」／「ワンセグ」に登録されているデータ、受信／送信メール内のデータ※3、Bookmark内のデータ、画面メモ、URL履歴、ネットワークサービスの追加サービスと応答メッセージの設定

※1　きせかえツールのデータは削除されません。
※2　積算通話料金は削除されません。
※3　受信／送信BOXフォルダ、メッセージR/Fフォルダ、メール連動型ｉアプリ用フォルダは削除されません。

microSDカード内に保存されているデータを削除するには

microSDカード内に保存されているすべてのデータを削除できます。

MENU▶「Settings」▶「その他」▶「リセット／削除」▶「microSD削除」▶「はい」▶端末暗証番号を入力

お知らせ

- FOMAカードに保存されている各種データは削除されません。
- 「♪Welcome Mail♪」「Welcome ドコモ動画」のメールは削除されます。

<プリインストールデータ>

- お買い上げ時、初期設定などに使用されている一部のファイルは削除されません。
- WOW LGの利用方法
  お買い上げ時に登録されているｉアプリやデコメ®ピクチャ、デコメ®絵文字、壁紙（待受画面）、フレーム、スタンプ、メロディ、ｉモーションを削除した場合、元に戻したいときはｉMenu内のサイト「WOW LG」からダウンロードできます。※
  「ｉMenu」▶「メニューリスト」▶「ケータイ電話メーカー」▶「WOW LG」
  ※ ダウンロードには別途パケット通信料がかかります。

その他の「あんしん設定」

本章でご紹介した以外にも、下記のようなあんしん設定に関する機能／サービスがありますのでご活用ください。

機能名／サービス名称	目　的	参照先
ICカードロック	ICカード機能の不正利用を防止したい	P292
迷惑電話ストップサービス	いたずら電話や悪質なセールス電話などの「迷惑電話」を着信したくない	P397
番号通知お願いサービス	発信者番号を通知してこない電話を着信したくない	P398
ソフトウェア更新	必要な場合にFOMA端末のソフトウェアを更新したい	P459
スキャン機能	障害を引き起こすデータからFOMA端末を守りたい	P464
メール選択受信	大量に届くメールの中から、必要なメールのみを受信したい	P149
「ｉモード災害用伝言板」サービス	『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。	
メールアドレス変更		
迷惑メール対策 （URL付きメール拒否設定） （受信／拒否設定） （かんたんメール設定） （ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限） （SMS拒否設定） （未承諾広告※メール拒否） （メール設定確認）		
メール機能停止／再開		
メールサイズ制限		
ケータイお探しサービス		
イマドコかんたんサーチ		

次のページへ続く

お知らせ

- 迷惑電話を防止する機能を同時に設定した場合の優先順位は以下のとおりです。
  ①「迷惑電話ストップサービス」
  ②「リスト指定着信拒否」
  ③「メモリ登録外着信拒否」
  ④「電話帳指定着信許可／拒否」
  ⑤「非通知着信」

メール

FOMA端末のメール機能について

FOMA端末では、ｉモードメール、SMSの2種類のメール機能を利用できます。

- ｉモードメールをご利用いただくには、ｉモードのご契約が必要です。
- SMSは、ｉモードをご契約されていなくてもご利用いただけます。
- 一部の記号（㌢、℡など）や絵文字を入力したｉモードメール、SMSを、ｉモード端末以外の携帯電話やパソコンなどに送信した場合、正しく表示されない場合があります。
- 韓国語のメール機能は、SMSのみ対応しております。韓国語が入力されたEメールをｉモードメールで受信した場合は、文字が正しく表示されません。

ｉモードメール

ｉモードを契約するだけで、ｉモード端末間はもちろん、インターネットを経由してe-mailのやりとりができます。
テキスト本文に加えて、合計2Mバイト以内のファイル（写真や動画ファイルなど）を10個まで添付することができます。また、デコメール®にも対応しており、メール本文の文字の色・大きさや背景色を変えられるほか、デコメ®絵文字も使えて、簡単に表現力豊かなメールを送ることができます。

- ｉモードメールの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

SMSについて

ｉモードを契約しなくても、携帯電話番号のみで文字メッセージを送受信できます。
送信方法→P176　受信方法→P177　問い合わせ方法→P177

SMSの宛先

SMSの宛先は「ご契約の携帯電話番号」です。

- ドコモ以外の海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。ご利用可能な国、海外通信事業者についてはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

送受信できる文字数

SMSで送受信できる文字数は次のとおりです。

宛先	21文字（「＋」を含む）
SMS本文	日本語（70文字）、韓国語（70文字）
	英語（160文字）

韓国語でのSMS送受信

韓国語に対応している端末どうしで、本文に韓国語が入力されたSMSの送受信ができます。

- L-06Aを利用して、韓国をはじめとした海外通信事業者の韓国語対応端末と、韓国語で国際SMSの送受信が可能です。国際SMSを利用可能な海外通信事業者についてはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。また、送信できる文字数は通信先事業者の状況により異なります。詳細は各送信先通信事業者へお問い合わせください。
- 韓国語を入力したSMSを、韓国語に対応していない端末に送信した場合は、相手に文字が正しく表示されません。
- SMS本文の入力モードを韓国語に切り替える→P178
- 韓国語の入力方法→P382

SMSを受信できないとき

SMSセンターに届いたSMSは、すぐにお客様のFOMA端末に送信されます。ただし、お客様のFOMA端末の電源が入っていないときや圏外などで受信できないときは、SMS センターに保管されます。

お知らせ

- SMSセンターでのSMSの最大保管期間は72時間です。「SMS有効期間」で保管期間を指定することもできます。→P178
- 保管期間が過ぎたSMSは自動的に削除されます。
- SMSセンターに保管されているSMSは、「SMS問い合わせ」により受信できます。→P177
- SMSを受信すると、SMSセンターに保管されていたSMSは削除されます。

メールメニュー

メールメニューを表示する

1 待受画面▶✉

メールメニュー画面

2 次の操作を行う

[受信メール]
受信メールフォルダ一覧画面を表示します。→P154

[新規メール作成]
iモードメールを新規に作成します。→P138

[未送信メール]
未送信メール一覧画面を表示します。→P155

[送信メール]
送信メールフォルダ一覧画面を表示します。→P155

[iモード問い合わせ]
iモード問い合わせを行って、iモードセンターに保管されているiモードメールを受信します。→P150

[メール選択受信]
iモードセンターに保管されているiモードメールの題名などを確認し、受信するiモードメールを選択したり、受信前にiモードセンターでiモードメールを削除したりできます。→P149

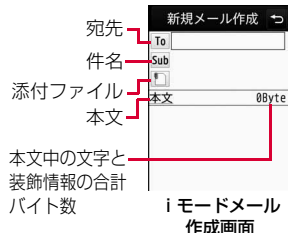
[SMS]
SMSを新規に作成したり、SMS問い合わせを行って、SMSセンターに保管されているSMSを受信したりします。→P176、P177

[テンプレート]
保存されているテンプレートの一覧を表示します。→P145

[メール設定]
メール機能を設定します。→P168

ｉモードメールを作成して送信する

1 メールメニュー画面（P137）▶「新規メール作成」

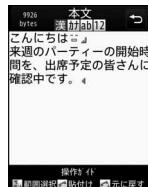
ｉモードメール作成画面

2 To欄を選択▶「直接入力」▶宛先を入力

- 半角で50文字まで入力できます。
- 送信履歴や受信履歴、電話帳、メールグループから宛先を選択できます。→P139
- [電話帳]を押しても電話帳から選択できます。

3 Sub欄を選択▶件名を入力

- 全角で15文字、半角で30文字まで入力できます。

4 [本文]欄を選択▶本文を入力

- 全角で最大5000文字、半角で最大10000文字まで入力できます。

メール本文入力画面

5 [送信]

- [保存]：未送信メールとして保存します。

お知らせ

- 本文をデコレーションしたい場合→P141
- ファイルを添付して送信したい場合→P146
- 本文編集中に改行ができます。改行は全角1文字分としてカウントされます。
- を押してスペースを挿入した場合、半角1文字分としてカウントされます。
- 電波状況により、相手に文字が正しく表示されない場合があります。
- ｉモード端末どうしのメールのやりとり以外では、半角カタカナ、絵文字を使用すると、正しく表示されない場合があります。
- シークレットコードが設定されている宛先を入力した場合は、送信するときに自動的にシークレットコードが追加されます。ただし、送信したメールの宛先には追加されたシークレットコードは表示されません。
- ｉモードメールを正常に送信できていても、電波状況によっては送信できなかった旨のエラーメッセージが表示される場合があります。

- デコメ®絵文字（絵文字D）を使用すると、デコメール®として送信されます。
- 題名や本文に絵文字を使用して他の携帯電話会社に送信すると、自動的に送信先の類似絵文字に変換されます。ただし、送信先の携帯電話の機種、機能により、正しく表示されない場合があります。
- 送信が正常に終了したときは、iモードメールは送信メールBOXに保存されます。最大保存件数または最大保存容量を超えるときは、古い送信メールから順に削除されます。残しておきたい送信メールは保護してください。

iモードメール作成画面のサブメニュー

1 **iモードメール作成画面(P138)▶MENU[メニュー]▶次の操作を行う**

[送信]
メールを送信します。

[自動送信]
圏外で作成したiモードメールを、電波の届く場所に移動した時点で自動的に送信できます。

[保存]
作成中、編集中のメールを未送信メールに保存します。

[アドレス]
宛先追加：複数の宛先に送信（同報送信）します。宛先は5件まで追加できます。
送信履歴：送信メールの履歴から宛先を選択します。
受信履歴：受信メールの履歴から宛先を選択します。
電話帳参照：電話帳から宛先を選択します。
メールグループ：メールグループから宛先を選択します。
直接入力：宛先を直接入力します。
宛先削除：選択中の宛先を削除します。
宛先操作：選択中の宛先の種類を変更します。
Toに変更：選択中の宛先をToに変更します。通常の宛先で、入力したメールアドレスは送信相手に表示されます。
Ccに変更：選択中の宛先をCcに変更します。直接の送信相手以外にメール内容を知らせたいときに指定します。Ccに入力したメールアドレスは、他の送信相手に表示されます。
- 受信側の端末や機器、メールソフトによっては、メールアドレスが表示されない場合があります。

Bccに変更：選択中の宛先をBccに変更します。他の送信相手に知られたくないときに指定します。Bccに入力したメールアドレスは、他の送信相手には表示されません。

[添付ファイル操作]
添付ファイルを追加したり再生／表示、削除したりします。→P146

[テンプレート]
読み込み：テンプレートを読み込んでデコメール®を作成します。→P144
保存：作成中のデコメール®をテンプレートとして保存します。

[冒頭文／署名]
冒頭文添付：設定されている冒頭文を貼り付けます。
署名添付：設定されている署名を貼り付けます。

[本文削除]
本文を削除します。

お知らせ

<宛先追加>
- 複数のメールアドレスが登録されている電話帳を選択した場合は、どのメールアドレスを宛先に追加するかを、さらに選択します。

<テンプレート>
- 既に本文が入力されている場合は、本文を削除するかどうかを確認する画面が表示されます。テンプレートを読み込む場合は「はい」を選択します。

メール本文入力画面のサブメニュー

1 メール本文入力画面(P138)▶MENU[メニュー]▶次の操作を行う

[デコレーション]
デコメール®の装飾（デコレーション）を選択するパレットを表示します。→P142

[定型文]
定型文を入力、編集します。→P381

[文字編集]
本文中の文字やデコレーションを選択してコピー、切り取り、貼り付けします。また、文字の入力や貼り付けを1つ前の状態に戻します。→P385

[ユーザ辞書編集]
FOMA端末の辞書を編集します。→P387

[引用]
電話帳の登録内容などを引用します。→P380

[入力設定]
文字入力の設定を行います。→P380

[特殊入力]
スペースや改行を入力したり、区点コードで文字を入力します。→P380

[冒頭文／署名]
冒頭文 ：設定されている冒頭文を貼り付けます。
署名 ：設定されている署名を貼り付けます。

[ジャンプ]
文頭：表示中のメール本文の文頭へ移動します。
文末：表示中のメール本文の文末へ移動します。

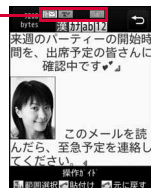
[画像情報表示]
カーソルの後ろにある画像の情報を表示します。

[プレビュー]
本文のプレビューを表示します。

デコメール®を作成して送信する

ｉモードメールの本文編集では、文字の大きさや色、背景色を変更したり、画像を挿入するなどの装飾（デコレーション）を行ったりして、オリジナルメールを作成できます。

- 送信できるデコメール®のサイズは100Kバイト以内です。
- 最大20件、合計90Kバイト以内の画像が挿入できます。
- 送信先のｉモード端末によっては、10000バイトを超えるデコメール®を送信した場合は、受信側では閲覧用URLが記載されたメールを受信します。

カーソルがあたっている箇所に設定されているデコレーションが表示されます。

本文入力画面

1 メールメニュー画面（P137）▶「新規メール作成」

2 宛先、件名を入力

- 宛先、件名の入力方法→P138

3 ［本文］欄を選択▶ ✉ ［デコレーション］

パレット表示画面

4 パレットを操作して本文をデコレーションする

- デコレーションの操作→P142

■ デコレーションを指定してから文字を入力する場合

操作方法については「デコレーションを指定してから文字を入力する」（P143）を参照してください。

■ 文字を入力してからデコレーションを指定する場合

操作方法については「文字を入力してからデコレーションを指定する」（P144）を参照してください。

5 MENU ［閉じる］

■ デコメール®の内容を確認する場合

MENU ［メニュー］▶「プレビュー」を選択します。

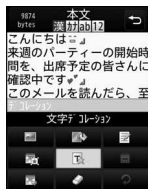
6 ■ ［確定］▶ ｉα ［送信］

お知らせ

- デコメール®対応ｉモード端末以外とデコメール®を送受信すると、デコレーションが正しく表示されない場合があります。
- デコレーションを設定した文字を削除しても、デコレーションデータのみが残り、入力文字数が少なくなる場合があります。デコレーションの解除を行ってから文字を削除してください。CLRを1秒以上押しして文字を削除した場合は、デコレーションデータも含めて文字が削除されます。
- メール送信できない画像が含まれたテンプレートを利用すると、画像が削除される場合があります。

デコレーションの操作

1 メール本文入力画面(P138)▶✉[デコレーション]

- MENU［閉じる］：パレットの操作から本文入力の操作に切り替えます。

2 次の操作を行う

［(画像挿入)］

データBOX：「マイピクチャ」に保存されている画像をメール本文に挿入します。
▶フォルダにカーソルを移動▶■［開く］▶画像を選択

静止画撮影：静止画を撮影して挿入します。
▶静止画を撮影▶■［保存］（ターンビュースタイルで撮影する場合は💾）

［(背景色)］

メール本文の背景色を設定します。

［(ライン挿入)］

メール本文にラインを挿入します。

［(デコレーション変更)］

デコレーションを設定する文字の範囲を選択します。→P144
- 本文に文字が入力されていない場合は選択できません。

［(文字デコレーション)］

文字に設定するデコレーションを選択します。→P143

［(デコレーションなし)］

カーソルがある行のデコレーションを解除します。

［(マイデコレーション)］

マイデコレーション適用：事前に設定を保存した文字デコレーションを適用します。

マイデコレーション編集：お好みの文字デコレーション設定を保存します。→P143

［(元に戻す)］

設定したデコレーションを1つ前の設定に戻します。

［(全解除)］

設定したデコレーションをすべて解除します。

お知らせ

- 「テロップ」「スウィング」が設定されている文字を選択してコピー／切り取りをしても、「テロップ」「スウィング」の設定は反映されません。

<画像挿入>

- 挿入できる画像は最大20件で90Kバイト以内です。ただし、ファイルのサイズによっては添付可能な件数が少なくなることがあります。挿入できる画像の数やサイズを超えたときは、メッセージが表示されます。
- お買い上げ時は「デコメピクチャ」「デコメ絵文字」フォルダに画像が保存されています。
- 同じ画像を複数挿入した場合は、挿入件数を1件として扱います。

デコレーションを指定してから文字を入力する

1 メール本文入力画面(P138)▶[デコレーション]▶（文字デコレーション）を選択▶次の操作を行う

[（文字色）]

文字の色を設定します。

- ［パレット］を押してパレットからも色を選択できます。

[（文字サイズ）]

文字のサイズを設定します。

[（点滅）]

文字を点滅表示します。

- 点滅を解除するには、Reset（点滅）を選択します。

[（動き・位置）]

文字の表示方法を設定します。

- 設定を解除するには（動き・位置（指定なし））を選択します。

（テロップ）：文字を右から左へテロップ表示します。
- と間に入力した文字がテロップ表示します。

（スウィング）：文字を左右にスウィング表示します。
- と間に入力した文字がスウィング表示します。

（左寄せ）：入力する文字、挿入する画像を左寄せ表示します。

（センタリング）：入力する文字、挿入する画像をセンタリング表示します。

（右寄せ）：入力する文字、挿入する画像を右寄せ表示します。

2 [確定]▶文字を入力

お知らせ

<文字サイズ>

- デコメ®絵文字のサイズは設定できません。

<文字色>

- 絵文字の色も指定した文字色で表示されます。通常の色に戻したい場合は、文字色設定で（文字色（変更なし））右のを設定してください。

<点滅>

- 設定した点滅を、プレビュー画面やｉモードメール作成画面などで表示した場合、一定の時間が経過すると点滅表示は終了します。

文字を入力してからデコレーションを指定する

1 メール本文入力画面(P138)▶✉[デコレーション]▶ (デコレーション変更)を選択

2 ✥で始点にカーソルを移動▶■[選択]

- [全選択]：全文を選択します。
- ✉[文頭]：メール本文の文頭へ移動します。
- [文末]：メール本文の文末へ移動します。

3 ✥で終点にカーソルを移動▶■[選択]▶デコレーションを指定する

- 文字のデコレーションは次の操作でもできます。
  MENU［メニュー］（1秒以上）▶✥で開始位置にカーソルを移動▶■［選択］▶✥で終了位置にカーソルを移動▶■［選択］▶「デコレーション」▶デコレーションを指定する
  「デコレーションなし」を選択すると文字からデコレーションが削除されます。

テンプレート

テンプレートを利用してデコメール®を作成する

テンプレートとは、文字の大きさや画像挿入などのデコレーションが既に指定されているデコメール®用のひな形データです。お買い上げ時に保存されている以外に、サイトからダウンロードしたテンプレートなども設定できます。

1 iモードメール作成画面(P138)▶MENU[メニュー]▶「テンプレート」▶「読み込み」▶「はい」

- メール本文に文字が入力されている場合は、入力した文字を削除してテンプレートを読み込みます。

2 テンプレートを選択

選択したテンプレートが本文に挿入されます。

- テンプレートを表示させながら選択するには、［プレビュー］を押して✥で切り替えます。
- テンプレート挿入後も本文を編集できます。

テンプレートを新規に作成する

オリジナルのテンプレートを作成します。作成したテンプレートはメールメニューの「テンプレート」に保存されます。

1 メールメニュー画面(P137)▶「テンプレート」▶MENU[メニュー]▶「新規テンプレート作成」

2 テンプレートを作成する

- デコレーションの操作→P142

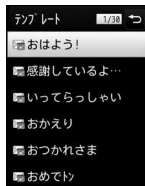
3 テンプレート作成▶■[確定]▶タイトルを編集▶■[確定]▶「はい」

お知らせ

- 本文がデコレーションされていない場合は、テンプレートとして保存できません。

テンプレートを編集する

オリジナルのテンプレートや作成したテンプレートを編集します。

1 メールメニュー画面(P137)▶「テンプレート」

テンプレート
一覧画面

2 テンプレートを選択▶■[編集]▶テンプレートを編集する

- デコレーションの操作→P142

3 ■[確定]▶「上書き保存」/「新規保存」

上書き保存：編集元のテンプレートに上書き保存します。

新規保存：編集したテンプレートを新規に保存します。

4 タイトルを編集▶■[確定]

5 「はい」

テンプレート一覧画面のサブメニュー

1 テンプレート一覧画面(P145)▶テンプレートにカーソルを移動▶MENU[メニュー]▶次の操作を行う

[メール作成]

選択中のテンプレートを利用してメールを新規に作成します。

[新規テンプレート作成]

テンプレートを新規に作成します。→P144

[削除]

1件削除：選択中のテンプレートを削除します。

選択削除：テンプレートを選択して削除します。
▶削除したいテンプレートにチェックを付ける▶iα［完了］
▶「はい」

- MENU［メニュー］を押して、「すべて選択」「すべて選択解除」を選択できます。

全件削除：テンプレートをすべて削除します。
▶端末暗証番号を入力▶「はい」

[タイトル編集]

選択中のテンプレートのタイトルを編集します。

[情報表示]

選択中のテンプレートの情報を表示します。

添付ファイル

ファイルを添付する

ｉモードメールに画像やメロディを添付して送信します。

- 最大10件、合計2Mバイトまで添付できます。ただし、ファイルのサイズによっては、添付可能な件数が少なくなることがあります。
- 添付可能なファイルは次のとおりです。
  - 画像（JPEG、GIF）
  - 動画／ｉモーション
  - モーションお絵かきTM画像
  - メロディ
  - 電話帳
  - スケジュール
  - To Do
  - ブックマーク
  - microSDカード内のその他ファイル
- メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルは添付できません。

1 ｉモードメール作成画面(P138)▶📎欄を選択▶次の操作を行う

［画像］

マイピクチャ：「データBOX」の「マイピクチャ」内に保存されている画像を選択します。→P296

カメラ起動：静止画を撮影して添付します。
▶静止画を撮影▶■［保存］（ターンビュースタイルで撮影する場合は💾）

［ムービー］

ｉモーション：「データBOX」の「ｉモーション」内に保存されている動画／ｉモーションを選択します。

カメラ起動：動画を撮影して添付します。
▶動画を撮影▶■［保存］（ターンビュースタイルで撮影する場合は✉）

［モーションお絵かき］

microSD：microSDカードの「OTHER」フォルダ内に保存されているモーションお絵かきTM画像またはFlash画像を選択します。

お絵かき：モーションお絵かきTMを起動し、作成した画像を添付します。

［メロディ］

「データBOX」の「メロディ」内に保存されているメロディを選択します。

▶フォルダにカーソルを移動▶■［開く］▶メロディを選択

［電話帳］

電話帳を選択します。

［カレンダー］

FOMA端末に登録されているスケジュールを選択します。

▶日付を選択▶スケジュールを選択

［To Do］

FOMA端末に登録されているTo Doを選択します。

［Bookmark］

ｉモード：「ｉモード」の「Bookmark」フォルダからブックマークを添付します。

フルブラウザ：「フルブラウザ」の「Bookmark」フォルダからブックマークを添付します。

[その他]
microSDカードの「OTHER」フォルダに保存しているファイルを添付します。

お知らせ

- GIF画像、添付されたメロディはmovaサービスのｉモード端末では受信できません。
- 2Mバイトを超える動画／ｉモーションは添付できません。「トリミング」でメールに添付できるサイズに変更してから添付してください。→P312
- 受信側の端末によっては、動画が粗くなったり、連続静止画に変換されて表示されたりする場合があります。500Kバイトを超える動画／ｉモーションを2Mバイト対応機種以外のｉモード端末に送信する場合は、以下の設定で撮影した動画がおすすめです。
サイズ制限：500Kバイト、サイズ選択：QCIF（176×144）、保存画質設定：スーパーファイン
- ｉモーションによっては、添付できない場合があります。

添付ファイルを再生／表示／削除する

1 ｉモードメール作成画面（P138）▶操作したい添付済み添付ファイル欄を選択▶次の操作を行う

[■]［選択］：選択中の添付ファイルを再生／表示します。
[✉]［削除］：選択中の添付ファイルを削除します。

お知らせ

- 添付ファイルを追加するには、ファイルが添付されていない欄を選択してください。

メール自動受信

ｉモードメールを受信したときは

FOMA端末が圏内にあるときは、ｉモードセンターから自動的にｉモードメールが送られてきます。

1 ｉモードメールを受信すると画面上部に[アイコン]が表示される

受信が完了すると、受信結果画面が表示されます。

- 何も操作しないで約30秒経過すると、受信する前の画面に戻ります。
- 「メール」を選択すると、受信メールフォルダ一覧画面が表示されます。
- 受信したｉモードメールの詳細画面を表示するまで、画面上部には[アイコン]、待受画面には[✉ 1]（数字は件数）が表示されます。

受信結果画面

お知らせ

- 新しいｉモードメールが届いたときは、ｉモードセンターに保管されている他のｉモードメールやメッセージR/Fも受信します。
- ｉモードメールを選択受信するように設定すると、送られてきたｉモードメールはｉモードセンターに保管されます。センターに保管されているｉモードメールのタイトルなどを確認してから選択して受信できます。→P149
- To、Cc、Bccを設定できる端末からメールを受信した場合、自分のアドレスがTo、Cc、BccのどれにあてはまるかFOMA端末で確認できます。→P156
- ｉモードメールではメロディや動画、静止画などを添付ファイルとして受信できます。対応していない添付ファイルはｉモードセンターで自動的に削除される場合があります。添付ファイルが削除された場合は、件名の下に「添付ファイル削除」のメッセージが追加されます。

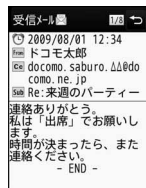
次のページへ続く

- FOMA端末が対応していない添付ファイルは、FOMA端末に保存できません。microSDカードに保存したり、転送したりはできます。→P151
- ｉモードメール1件につき、添付ファイルも含めて最大100Kバイトまで自動受信できます。100Kバイトを超える添付ファイルは、ｉモードセンターから手動で取得できます。→P152
- ｉモードメールに添付されているメロディや画像を受信するかどうかを「添付ファイル」設定で設定できます。→P168
- 受信したｉモードメールのデータ量が、「ｉMenu」▶「お客様サポート」▶「各種設定（確認・変更・利用）」▶「メール設定」▶「その他設定」▶「メールサイズ制限」で設定した文字数（データ量）を超えた場合、本文中に表示される添付ファイル、貼り付けデータのファイル名を選択して受信できます。→P152
- FOMA端末に保存されている受信メールが（ｉモードメールとSMSの合計）が最大保存件数または最大保存容量を超えるときは、古い既読の受信メールから順に削除されます。残しておきたい受信メールは保護してください。
- 次のような場合にメールを受信したときは、ｉモードセンターに保管されます。
  - 電源OFFのとき
  - テレビ電話中
  - セルフモード設定中
  - 圏外のとき
  - おまかせロック中
  - 「メール選択受信設定」を「ON」に設定しているとき
  - 受信メールが保護や未読メールで満杯のとき
- ｉモードセンターにｉモードメールが残っているときは、📨や✉が表示されます。ただし、電源OFFや圏外のときなど、ｉモードメールがあっても表示されない場合があります。
- 複数のｉモードメール、メッセージR/Fを同時に受信したときは、最後に受信したｉモードメール、メッセージR/Fに設定されている着信音が鳴ります。
- お買い上げ時は、受信メールの受信BOXに「♪Welcome Mail♪」「Welcome ドコモ動画」のメールが保存されています。このメールは、通信料はかかっておりません。
- 「♪Welcome Mail♪」「Welcome ドコモ動画」は、返信することができません。

新着ｉモードメールを表示する

1 受信結果画面（P147）▶「メール」▶フォルダを選択

2 表示したいメールを選択

- 添付ファイルの表示／再生／保存／削除方法 →P153

受信メール詳細画面

お知らせ

- 待受画面のメールアイコンを選択してもメールを表示できます。
- ｉモードメールに添付された画像ファイルは正しく表示できない場合があります。
- 本FOMA端末で対応していない添付ファイルは、データBOXへの保存はできませんが、microSDカードへの保存とメール転送は可能です（microSDカードに保存した場合、ファイル名は「OTHER001」～「OTHER999」に変更されます）。

メール選択受信

ｉモードメールを選択して受信する

ｉモードセンターに保管されているｉモードメールのタイトルなどを確認し、受信するメールを選択したり、受信前にｉモードセンターでメールを削除できます。メール選択受信を利用するためには、あらかじめ「メール選択受信設定」を「ON」に設定します。

メール選択受信を設定する

ｉモードメールを選択受信するために、「メール選択受信設定」を「ON」に設定します。

1 メールメニュー画面(P137)▶「メール選択受信」▶ ■［選択］▶「ON」

設定後、ｉモードメールは自動的に受信できなくなります。

お知らせ

- 「メール選択受信」を「OFF」に設定する場合は、「メール選択受信設定」（P168）で行います。

メールが届いたときは

1 受信通知画面が表示される

■［OK］または CLR ／ ⌒ を押すと、通知画面が消えます。

受信通知画面

お知らせ

- ｉモードメールの受信をお知らせする ✉ や ✉ 1 は表示されず、メール着信音も鳴りません。
- 受信通知画面表示中はｉチャネルのテロップが止まります。

メールを選択受信する

「メール選択受信設定」を「ON」に設定後は、次の操作でｉモードメールを選択受信します。

1 メールメニュー画面（P137）▶「メール選択受信」

以降、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』の手順に従って操作してください。

■ 添付ファイルがある場合にメール選択受信の画面に表示されるアイコン

アイコン	ファイルの種類
📷	画像が添付されています。
🎥	ｉモーションが添付されています。
♪	メロディが添付されています。
📄	その他のファイルが添付されています。

お知らせ

- 「メール選択受信設定」を「ON」に設定している場合でも、「ｉモード問い合わせ」を利用するとすべてのメールを受信します。受信したくない場合は、問い合わせたい項目から「メール」を外してご利用ください。→P168
- メール選択受信は「ｉMenu」からも行えます。「ｉMenu」▶「メニューリスト」▶「メール選択受信」を選択します。
- FOMA端末に保存されている受信メールが（ｉモードメールとSMSの合計）が最大保存件数または最大保存容量を超えるときは、古い既読の受信メールから順に削除されます。残しておきたい受信メールは保護してください。

ｉモード問い合わせ

ｉモードメールがあるかを問い合わせる

FOMA端末が圏外のときなど、受信できなかったｉモードメールはｉモードセンターに保管されます。ｉモードセンターに問い合わせると、保管されているｉモードメールを受信できます。

- ｉモードセンターにメールが保管されている場合は、画面に 📩 が表示されます。
- 問い合わせる項目（メール、メッセージR/F）は、「ｉモード問い合わせ」設定（P168）で選択できます。
- 圏外のときは、問い合わせできません。

1 メールメニュー画面（P137）▶「ｉモード問い合わせ」

問い合わせが完了すると、問い合わせ結果画面が表示されます。

お知らせ

- ｉモードセンターにｉモードメールが保管されている場合でも、FOMA端末の電源が入っていないときなどにセンターに届いた場合は、画面に 📩 が表示されない場合があります。

i モードメール返信

i モードメールに返事を出す

i モードメールの送信元に返信します。返信は新たに本文を入力する方法と受信した i モードメールの本文を引用する方法があります。

1 受信メール詳細画面(P154)▶MENU[メニュー]▶「返信/転送」▶「返信」/「引用付き返信」

- 受信メール詳細画面では、iα［返信］を押しても返信できます。
- 自分のアドレス以外に同報先がある場合は、「アドレス」(送信元のみに返信)または「すべて」(送信元と同報先全員に返信)を選択できます。

2 件名、本文を入力

- 件名には、「Re:」が追加されます。
- 引用付き返信の場合は、引用した本文の頭に「>」が付きます。
- 件名、本文の編集方法→P138

3 iα[送信]

お知らせ

- 送信メールが保存容量を超えた場合は、返信できません。保存されている送信メールを削除してから返信してください。
- 受信したデコメール®を引用付き返信した場合、デコレーションや画像はそのままの状態で本文に入力されます。ただし、FOMA端末外への出力が制限されている画像は入力されません。

i モードメール転送

i モードメールを他の宛先に転送する

受信した i モードメールを他の人に転送します。

1 受信メール詳細画面(P154)▶MENU[メニュー]▶「返信/転送」▶「転送」

2 宛先を入力

- 件名には「Fw:」が追加されます。
- 宛先、本文の編集方法→P138

3 iα[送信]

お知らせ

- 転送する i モードメールにメールへの添付や本FOMA端末外への出力が禁止されているファイルが添付または貼り付けられているときは、それらのファイルや情報は削除されます。
- 送信メールが保存容量を超えた場合は、転送できません。保存されている送信メールを削除してから転送してください。
- 受信したデコメール®を転送した場合、デコレーションや画像はそのままの状態で本文に入力されます。ただし、FOMA端末外への出力が制限されている画像は入力されません。

メールアドレス／電話番号を電話帳に登録する

受信したメールに含まれるアドレスや電話番号を登録します。

本文中のアドレス／電話番号を登録する場合

1 受信メール詳細画面(P154)▶電話帳に登録したいアドレス／電話番号にカーソルを移動▶MENU[メニュー]▶「保存」▶「選択項目」

「リダイヤルや着信履歴などから電話帳に登録する」の操作2（P89）へ進みます。

宛先／送信元のアドレス／電話番号を登録する場合

1 受信メール詳細画面(P154)▶MENU[メニュー]▶「保存」▶「アドレス」

宛先／送信元が複数ある場合は、さらに登録するアドレス／電話番号を選択します。
「リダイヤルや着信履歴などから電話帳に登録する」の操作2（P89）へ進みます。

iモードメールから添付ファイルを再生／保存する

iモードメールに添付または貼り付けられている画像やメロディ、動画／iモーションなどを再生、保存します。

選択受信添付ファイルを取得する

受信したメールのサイズが添付ファイルを含めて100Kバイトを超える場合、iモードセンターからファイルを取得する必要があります。

- 「メール設定」の「通信」の「添付ファイル」にて、チェックを外しているファイルも選択受信添付ファイルとして受信します。
- 保存期限を過ぎたファイルは取得できません。

1 受信メール詳細画面(P154)▶ファイル名を選択

お知らせ

- 受信メール用の空き容量が添付ファイルより少ないときは取得できません。

添付ファイルを表示／再生／保存／削除する

1 **受信メール詳細画面（P154）▶添付ファイルにカーソルを移動**

- ■［選択］：選択中の添付ファイルを表示／再生します。

2 **MENU［メニュー］▶「添付ファイル操作」▶次の操作を行う**

［保存］
選択中の添付ファイルを保存します。
- microSDカードを取り付けている場合は、保存先を選択します。

［削除］
選択中の添付ファイルを削除します。

■ 保存できるファイルの種類と保存先

ファイルの種類	保存先
画像※1	「データBOX」内「マイピクチャ」の「ｉモード」フォルダ
デコメ®絵文字として利用できる画像	「データBOX」内「マイピクチャ」の「デコメ絵文字」フォルダ
動画／ｉモーション	「データBOX」内「ｉモーション」の「ｉモード」フォルダ
メロディ	「データBOX」内「メロディ」の「ｉモード」フォルダ
電話帳	電話帳
スケジュール	スケジュール
To Do	To Do リスト
ブックマーク	「ｉモード」「フルブラウザ」それぞれの「Bookmark」
上記以外のファイル※2	—

※1　デコメ®絵文字として利用できる画像およびFlash画像を除く画像
※2　Flash画像など上記以外のファイルは、microSDカードにのみ保存できます。ただし、添付ファイルによっては、保存できない場合があります。

お知らせ

- 容量の大きいｉモードメールは、ｉモードセンターで受け付けずにエラーメッセージとともに送信元に返信される場合があります。
- ｉモードメール1件につき、添付ファイルも含めて最大100Kバイトまで自動受信できます。100Kバイトを超える添付ファイルは、ｉモードセンターから手動で取得できます。
- あらかじめ受信するｉモードメールのサイズを制限できます。
- 画像のサイズがディスプレイより大きいときは縮小して表示されます。
- 画像、動画／ｉモーションによっては表示・再生できない場合があります。
- 「メロディ自動再生」設定を「ON」に設定している場合は、ｉモードメール表示時に自動的にメロディが再生します。
- ｉモーションメールをパソコンなどで再生する場合は、対応のソフトが必要となります。

貼り付けられた画像を保存する

1 **受信メール詳細画面（P154）▶ MENU［メニュー］▶「保存」▶「画像」**

2 **画像を選択▶「はい」**

- 待受画面に設定する場合は、「はい」を選択します。

受信メールBOX／送信メールBOX／未送信メール

受信／送信メールBOXのメールや未送信メールを表示する

- セキュリティが設定されたフォルダ内を表示するときは、端末暗証番号を入力します。

受信メールを表示する

- 受信メールは、ｉモードメールとSMSを合わせて最大1000件まで保存できます。ただし、データ量により保存できる件数は異なります。
- お買い上げ時は、「♪Welcome Mail♪」「Welcome ドコモ動画」のメールが保存されています。このメールは、通信料はかかっておりません。
- 「♪Welcome Mail♪」「Welcome ドコモ動画」は、返信することができません。

1 **メールメニュー画面（P137）▶「受信メール」**

- ［全件表示］：すべての受信メールを一覧表示します。
- ［送信メール］：送信メールフォルダ一覧画面を表示します。→P155

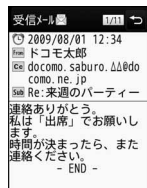
受信メール
フォルダ一覧画面

2 **フォルダを選択**

- ［返信］：送信元、同報先に返信します。→P151
- ［削除］：選択中のメールを削除します。
- ［検索］：電話帳、スケジューラ、アドレス（送信履歴／受信履歴／電話帳参照／直接入力）、題名から検索します。

受信メール一覧画面

3 **メールを選択**

- ：前後のメールを表示します。
- ［返信］：送信元、同報先に返信します。→P151

受信メール詳細画面

送信メールを表示する

- 送信メールは、ｉモードメールとSMS、未送信メールを合わせて最大500件まで保存できます。ただし、データ量により保存できる件数は異なります。

1 メールメニュー画面(P137)▶「送信メール」

- [iα]［全件表示］：すべての送信メールを一覧表示します。
- [📷TV]［受信メール］：受信メールフォルダ一覧画面を表示します。→P154

送信メール
フォルダ一覧画面

2 フォルダを選択

- [iα]［編集］：ｉモードメール作成画面、SMS作成画面を表示します。→P138、P176
- [📷TV]［削除］：選択中のメールを削除します。
- [✉]［検索］：電話帳、スケジューラ、アドレス（送信履歴／受信履歴／電話帳参照／直接入力）、題名から検索します。

送信メール一覧画面

3 メールを選択

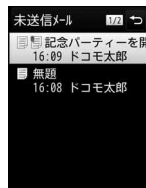
- [✉]：前後のメールを表示します。
- [iα]［編集］：ｉモードメール作成画面、SMS作成画面を表示します。→P138、P176

送信メール詳細画面

未送信メールを表示する

- 未送信メールの件数は、送信メールの最大保存件数に含まれます。

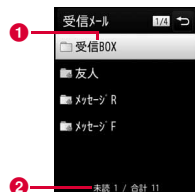
1 メールメニュー画面(P137)▶「未送信メール」

- [iα]［送信］：選択中のメールを送信します。
- [📷TV]［削除］：ｉモードメール、SMSを削除します。

未送信メール
一覧画面

2 メールを選択

選択したメールの種類に応じてｉモードメール／SMS作成画面が表示され、未送信メールが編集できます。

受信／送信／未送信メール画面の見かた

受信／送信メールフォルダ一覧画面

例：受信メール
フォルダ一覧画面

❶ **フォルダ名**

❷ **未読メール数／フォルダ内全件数**
受信メールフォルダ一覧画面に表示されます。送信メールフォルダではフォルダ内全件数のみ表示されます。

■ 受信／送信メールフォルダ画面に表示されるアイコン

アイコン	説　明
	「受信BOX」／「メッセージR」／「メッセージF」／「送信BOX」（お買い上げ時に登録されているフォルダ）
	メールなし
	セキュリティ設定中
	未読メールなし
※	通常のｉアプリ
※	ｉアプリＤＸ

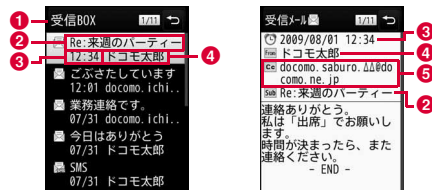
※ メール連動型ｉアプリを受信したときに自動的に作成されます。

受信メール一覧画面／受信メール詳細画面

受信メール
一覧画面

受信メール
詳細画面

❶ **表示中のフォルダ名**

❷ **件名**
SMSでは「SMS」と表示されます。

❸ **受信した日時**
受信メール一覧画面では、前日までに受信したメールは日付が表示され、当日受信したメールは時刻が表示されます。

❹ **送信元の電話番号／メールアドレス**
電話番号またはメールアドレスが電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が表示されます。

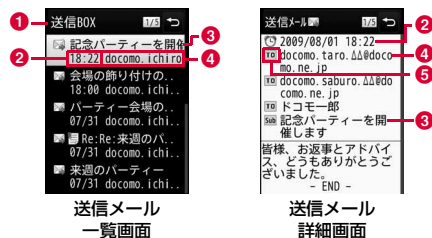
❺ **宛先の種類と同報先のアドレス**
メールが複数の宛先に同報送信された場合、宛先の種類（To、Cc）とアドレスが表示されます。メールアドレスが電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が表示されます。

■ 受信メール一覧画面／受信メール詳細画面に表示されるアイコン

アイコン	説　明
／／	未読のｉモードメール／SMS／SMS送達通知
／／	既読のｉモードメール／SMS／SMS送達通知
	返信済み
	転送済み
	保護されています。
	FOMAカードに保存されています。
	メール連動型ｉアプリ（通常のｉアプリ）
	メール連動型ｉアプリ（ｉアプリＤＸ）
	受信日時
（）	SMSの受信日時が日本標準時以外の場合
	メロディが貼り付けられています。
	メールの本文からｉアプリを起動できます。
（／／／／／／／）	メロディ（SMF）／メロディ（MFi）／静止画／動画／電話帳／スケジュール／ブックマーク／その他のファイルが添付されています。
	複数種類の添付ファイル
	破損した添付ファイル（例：静止画のファイルの場合）
（グレー）	削除された添付ファイル（例：静止画のファイルの場合）
	未取得の添付ファイル
	未取得のまま削除された添付ファイル
	取得途中で中断された添付ファイル
	取得に失敗しました。
	FOMAカードセキュリティ機能が設定されている添付ファイルあり
	件名
／／	送信元がTo／Cc／Bccで送信
／	自分以外の同報先の宛先の種類（To／Cc）
／／	返信できない送信元のメールアドレス
／	返信できない同報先のアドレス

※ 詳細画面での表示が異なる場合は（　）内に示しています。

送信メール一覧画面／送信メール詳細画面

送信メール一覧画面　　送信メール詳細画面

❶ **表示中のフォルダ名**

❷ **送信した日時**
送信メール一覧画面では、前日までに送信したメールは日付が表示され、当日送信したメールは時刻が表示されます。

❸ **件名**
SMSでは「SMS」と表示されます。

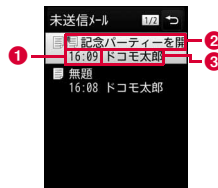
❹ **送信先の電話番号／メールアドレス**
電話番号またはメールアドレスが電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が表示されます。

❺ **宛先の種類**
送信した宛先の種類（To、Cc、Bcc）を表示します。

■ 送信メール一覧画面／送信メール詳細画面に表示されるアイコン

アイコン	説　明
／	送信済みのｉモードメール／SMS
	複数の宛先に送信済みのｉモードメール
	送信失敗
	保護されています。
	FOMAカードに保存されているSMS
	メール連動型ｉアプリ（通常のｉアプリ）
	メール連動型ｉアプリ（ｉアプリＤＸ）
	送信日時
	メロディが貼り付けられています。
	メールの本文からｉアプリを起動できます。
（／／／／／／／）	メロディ（SMF）／メロディ（MFi）／静止画／動画／電話帳／スケジュール／ブックマーク／その他のファイルが添付されています。
	複数種類の添付ファイル
	FOMAカードセキュリティ機能が設定されているファイルが添付されています。
Sub	件名
TO／Cc／Bcc	To／Cc／Bccで送信
TO／Cc／Bcc	To／Cc／Bccで送信失敗

※ 詳細画面での表示が異なる場合は（　）内に示しています。

未送信メール一覧画面

未送信メール
一覧画面

❶ **保存した日時**
前日までに保存したメールは日付が表示され、当日保存したメールは時刻が表示されます。

❷ **件名**
SMSでは「SMS」と表示されます。

❸ **送信先の電話番号／メールアドレス**
電話番号またはメールアドレスが電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が表示されます。

■ 未送信メール一覧画面に表示されるアイコン

アイコン	説　明
／	未送信のｉモードメール／SMS
	自動送信を予約しているｉモードメール
	自動送信失敗

※ 上記以外は、送信メールと同様です。

受信メールフォルダ／送信メールフォルダ一覧画面のサブメニュー

1 受信メールフォルダ一覧画面(P154)／送信メールフォルダ一覧画面(P155)▶MENU[メニュー]▶次の操作を行う

[フォルダ管理]

フォルダ新規	：フォルダを追加します。
フォルダ削除	：選択中のフォルダを削除します。 ▶端末暗証番号を入力▶「はい」
フォルダ名編集	：選択中のフォルダの名前を変更します
フォルダ並び替え	：選択中のフォルダの表示位置を選択して並べ替えます。
フォルダセキュリティ	：選択中のフォルダにセキュリティを設定／解除します。 ▶端末暗証番号を入力

[削除]

既読全削除※	：受信メールフォルダ内の既読メールをすべて削除します。 ▶端末暗証番号を入力▶「はい」
全削除（保護以外）	：受信メールフォルダ／送信メールフォルダ内のメールをすべて削除します。（保護メールを含まない） ▶端末暗証番号を入力▶「はい」
全削除（保護含む）	：受信メールフォルダ内のメールをすべて削除します。（保護メールを含む） ▶端末暗証番号を入力▶「はい」

[赤外線全送信]

受信メールフォルダ／送信メールフォルダ内のメールをすべて赤外線送信します。→P329

▶端末暗証番号を入力▶認証パスワードを入力▶「はい」

[microSD全件コピー]

受信メールフォルダ／送信メールフォルダ内のメールをすべてmicroSDカードにコピーします。

▶端末暗証番号を入力▶「はい」

[件数確認]

受信メールフォルダ／送信メールフォルダと未送信メールフォルダ内のメール件数を表示します。

[受信BOXクリア]※

ユーザ作成フォルダと「受信BOX」「ユーザ作成フォルダ」内のメールを削除します。（保護メールと保護メールのあるフォルダは含まない）

▶端末暗証番号を入力▶「はい」

※ 送信メール一覧画面では表示されません。

お知らせ

<フォルダ削除／フォルダ名編集／フォルダ並び替え>

- お買い上げ時に登録されている「受信BOX」「送信BOX」「メッセージR」「メッセージF」フォルダでは利用できません。ただし、「メッセージR」「メッセージF」フォルダは「フォルダ並び替え」が利用できます。

<削除>

- フォルダ内に保護されたメールが含まれている場合は、フォルダを削除できません。
- 保護されているメール、FOMAカード内に保存されているSMSは削除されません。
- 未読メールがある場合、または「フォルダ削除」でフォルダ内にメールがある場合、削除するかどうかを確認する画面が表示されます。削除する場合は「はい」を選択します。

<赤外線全送信>

- 100Kバイトを超えるFlashファイル（モーションお絵かき™ファイルも含む拡張子がswfのファイル）が添付されたメールを送信した場合、添付ファイルは削除されます。

<microSD全体コピー>
- 100Kバイトを超えるFlashファイル（モーションお絵かきTM ファイルも含む拡張子がswfのファイル）が添付されたメールをコピーした場合、添付ファイルは削除されます。

受信メール一覧画面のサブメニュー

1 受信メール一覧画面（P154）▶メールにカーソルを移動▶MENU［メニュー］▶次の操作を行う

［返信／転送］

返信：選択中のメールに返信します。→P151

引用付き返信：選択中のメールに、本文を引用して返信します。→P151

転送：受信したメールを他の人に転送します。

［削除］

1件削除：選択中のメールを削除します。

選択削除：メールを選択して削除します。
▶削除したいメールにチェックを付ける▶iα［完了］▶「はい」
- MENU［メニュー］を押して、「すべて選択」「すべて選択解除」を選択できます。

既読全削除：フォルダ内の既読メールをすべて削除します。
▶端末暗証番号を入力▶「はい」

全件削除：フォルダ内のメールをすべて削除します。
▶端末暗証番号を入力▶「はい」

［フォルダ移動］

1件移動：選択中のメールを他のフォルダに移動します。

選択移動：メールを選択して他のフォルダに移動します。
▶移動したいメールにチェックを付ける▶iα［完了］▶移動先のフォルダを選択
- MENU［メニュー］を押して、「すべて選択」「すべて選択解除」を選択できます。

全件移動：フォルダ内のメールをすべて他のフォルダに移動します。

［保護／保護解除］

保護：

1件保護設定：選択中のメールを保護します。

選択保護設定：メールを選択して保護します。
▶保護したいメールにチェックを付ける▶iα［完了］
- MENU［メニュー］を押して、「すべて選択」「すべて選択解除」を選択できます。

全件保護設定：フォルダ内のメールをすべて保護します。

保護解除：

1件保護解除：選択中のメールを保護解除します。

選択保護解除：メールを選択して保護解除します。
▶保護解除したいメールにチェックを付ける▶iα［完了］
- MENU［メニュー］を押して、「すべて選択」「すべて選択解除」を選択できます。

全件保護解除：フォルダ内のメールをすべて保護解除します。

[お預かりセンターに保存]

お預かりセンターにメールを保存します。

1件保存：選択中のメールを保存します。
▶端末暗証番号を入力▶「はい」

選択保存：メールを選択して保存します。
▶保存したいメールにチェックを付ける▶[完了]
- 保存件数が10件以下の場合は、[全件選択・全解除]を押して全選択／全解除できます。

▶端末暗証番号を入力▶「はい」

[ソート]

条件を設定してメールを並べ替えます。

[フィルタ]

条件に合うメールのみを表示します。

未読のみ：未読メールのみ表示します。

既読のみ：既読メールのみ表示します。

保護のみ：保護されているメールのみ表示します。

添付ファイルのあるメール
：ファイルが添付されているメールのみ表示します。

メール：ｉモードメールのみ表示します。

SMS：SMS、SMS送達通知のみ表示します。

全て：フォルダ内のメールをすべて表示します。

[赤外線／コピー]

赤外線送信：選択中のメールまたはフォルダ内のメールを赤外線送信します。→P328

microSDへコピー
：選択中のメールまたはフォルダ内のメールをmicroSDカードへコピーします。フォルダ内のメールを全件コピーするには端末暗証番号の入力が必要になります。

FOMAカード（UIM）
：選択中のSMSをFOMA端末本体やFOMAカードへコピー、または移動します。

[検索]

電話帳：電話帳のグループ検索でメールを検索します。

スケジューラ：スケジューラから日付を選択することで、選択した日に受信したメールを検索します。

アドレス：
- 送信履歴：送信履歴の送信先アドレスからメールを検索します。
- 受信履歴：受信履歴の送信元アドレスからメールを検索します。
- 電話帳参照：電話帳の全件検索でメールを検索します。
- 直接入力：アドレスを直接入力してメールを検索します。

題名：題名を入力してメールを検索します。

お知らせ

<削除>
- 未読メールがある場合は、削除するかどうかを確認する画面が表示されます。削除する場合は「はい」を選択します。
- 保護されているメールは削除できません。

<保護>
- 最大1000件まで保護できます。

<お預かりセンターに保存>
- 韓国語を含むSMSはお預かりセンターに保存できません。

<赤外線／コピー>
- 100Kバイトを超えるFlashファイル（モーションお絵かき™ファイルも含む拡張子がswfのファイル）が添付されたメールを「赤外線送信」または「microSDへコピー」した場合、添付ファイルは削除されます。

受信メール詳細画面のサブメニュー

1 受信メール詳細画面（P154）▶MENU［メニュー］▶次の操作を行う

［返信／転送］
表示中のメールを返信したり、他の人に転送したりします。→P151

［削除］
表示中のメールを削除します。

［フォルダ移動］
表示中のメールを他のフォルダに移動します。

［保護／保護解除］
表示中のメールを保護または保護を解除します。

［保存］
アドレス　：送信元や同報先のメールアドレスを電話帳に登録します。→P152
選択項目　：表示中のメールに含まれるアドレスや電話番号を電話帳に登録します。→P152
画像　：表示中のメールに含まれている画像を保存できます。→P154
テンプレート：デコメール®をテンプレートとして保存します。▶タイトルを編集▶「はい」

［コピー］
表示中のメールの内容をコピーします。
本文　：本文の内容を選択してコピーします。→P385
表題　：件名をコピーします。
アドレス：宛先をコピーします。同報先のアドレスがある場合は、メールアドレス一覧画面からコピーする宛先を選択します。

［添付ファイル操作］
表示中のｉモードメールに添付されているファイルを保存、削除します。→P153

［赤外線／コピー］
赤外線送信：表示中のメールを赤外線送信します。
microSDへコピー
：表示中のメールをmicroSDカードへコピーします。
FOMAカード（UIM）
：表示中のSMSをFOMA端末本体やFOMAカードへコピー、または移動します。

［お預かりセンターに保存］
お預かりセンターに表示中のメールを保存します。
▶端末暗証番号を入力▶「はい」

［文字サイズ］
メール表示画面の本文の文字サイズを設定します。

お知らせ
<削除>
- 保護されているメールは削除できません。

<保護／保護解除>
- 最大1000件まで保護できます。

<赤外線／コピー>
- 100Kバイトを超えるFlashファイル（モーションお絵かき™ファイルも含む拡張子がswfのファイル）が添付されたメールを「赤外線送信」または「microSDへコピー」した場合、添付ファイルは削除されます。

<お預かりセンターに保存>
- 韓国語を含むSMSはお預かりセンターに保存できません。

送信メール一覧画面のサブメニュー

1 送信メール一覧画面（P155）▶メールにカーソルを移動▶MENU［メニュー］▶次の操作を行う

［再編集］

送信したメールを編集して送信します。→P138、P176

［削除］

1件削除：選択中のメールを削除します。

選択削除：メールを選択して削除します。
▶削除したいメールにチェックを付ける▶iα［完了］▶「はい」
- MENU［メニュー］を押して、「すべて選択」「すべて選択解除」を選択できます。

全件削除：フォルダ内のメールをすべて削除します。
▶端末暗証番号を入力▶「はい」

［フォルダ移動］

1件移動：選択中のメールを他のフォルダに移動します。

選択移動：メールを選択して他のフォルダに移動します。
▶移動したいメールにチェックを付ける▶iα［完了］▶移動先のフォルダを選択
- MENU［メニュー］を押して、「すべて選択」「すべて選択解除」を選択できます。

全件移動：フォルダ内のメールをすべて他のフォルダに移動します。

［保護／保護解除］

保護

1件保護設定：選択中のメールを保護します。

選択保護設定：メールを選択して保護します。
▶保護したいメールにチェックを付ける▶iα［完了］
- MENU［メニュー］を押して、「すべて選択」「すべて選択解除」を選択できます。

全件保護設定：フォルダ内のメールをすべて保護します。

保護解除

1件保護解除：選択中のメールの保護を解除します。

選択保護解除：選択したメールの保護を解除します。
- 操作は「選択保護設定」と同じです。

全件保護解除：フォルダ内のメールをすべて保護解除します。

［お預かりセンターに保存］

お預かりセンターにメールを保存します。

1件保存：選択中のメールを保存します。
▶端末暗証番号を入力▶「はい」

選択保存：メールを選択して保存します。
▶保存したいメールにチェックを付ける▶iα［完了］
- 保存件数が10件以下の場合は、MENU［全件選択・全解除］を押して全選択／全解除できます。

▶端末暗証番号を入力▶「はい」

［ソート］

条件を設定してメールを並べ替えます。

[フィルタ]

条件に合うメールのみを表示します。

保護のみ：保護されているメールのみ表示します。

添付ファイルのあるメール

：ファイルが添付されているメールのみ表示します。

メール：ｉモードメールのみ表示します。

SMS：SMSのみ表示します。

全て：フォルダ内のメールをすべて表示します。

[赤外線／コピー]

赤外線送信：選択中のメールまたはフォルダ内のメールを赤外線送信します。→P328

microSDへコピー

：選択中のメールまたはフォルダ内のメールをmicroSDカードへコピーします。フォルダ内のメールを全件コピーするには端末暗証番号の入力が必要になります。

FOMAカード（UIM）

：選択中のSMSをFOMA端末本体やFOMAカードへコピー、または移動します。

[検索]

電話帳：電話帳のグループ検索でメールを検索します。

スケジューラ：スケジューラから日付を選択することで、選択した日に受信したメールを検索します。

アドレス：

送信履歴：送信履歴の送信先アドレスからメールを検索します。

受信履歴：受信履歴の送信元アドレスからメールを検索します。

電話帳参照：電話帳の全件検索でメールを検索します。

直接入力：アドレスを直接入力してメールを検索します。

題名：題名を入力してメールを検索します。

お知らせ

<削除>
- 保護されているメールは削除できません。

<保護>
- 最大500件まで保護できます。

<お預かりセンターに保存>
- 韓国語を含むSMSはお預かりセンターに保存できません。

<赤外線／コピー>
- 100KバイトをこえるFlashファイル（モーションお絵かきTMファイルも含む拡張子がswfのファイル）が添付されたメールを「赤外線送信」または「microSDへコピー」した場合、添付ファイルは削除されます。

送信メール詳細画面のサブメニュー

1 送信メール詳細画面（P155）▶MENU[メニュー]▶次の操作を行う

[編集]

送信したメールを編集して送信します。→P138、P176

[削除]

表示中のメールを削除します。

[フォルダ移動]

表示中のメールを他のフォルダに移動します。

[保護／保護解除]

表示中のメールを保護または保護を解除します。

[保存]

アドレス
：メールアドレスを電話帳に登録します。→P152

選択項目
：表示中のメールに含まれるアドレスや電話番号を電話帳に登録します。→P152

画像：表示中のメールに含まれている画像を保存できます。→P154

テンプレート
：デコメール®をテンプレートとして保存します。
▶タイトルを編集▶「はい」

[コピー]

表示中のメールの内容をコピーします。

本文：本文の内容を選択してコピーします。→P385

表題：件名をコピーします。

アドレス：宛先をコピーします。複数の宛先がある場合は、コピーする宛先を選択します。

[添付ファイル操作]

表示中のｉモードメールに添付されているファイルを保存、削除します。→P153

[赤外線／コピー]

赤外線送信：表示中のメールを赤外線送信します。

microSDへコピー
：表示中のメールをmicroSDカードへコピーします。

FOMAカード（UIM）
：表示中のSMSをFOMA端末本体やFOMAカードへコピー、または移動します。

[お預かりセンターに保存]

お預かりセンターに表示中のメールを保存します。

▶端末暗証番号を入力▶「はい」

[文字サイズ]

メール表示画面の本文の文字サイズを設定します。

お知らせ

<削除>
- 保護されているメールは削除できません。

<保護／保護解除>
- 最大500件まで保護できます。

<赤外線／コピー>
- 100Kバイトを超えるFlashファイル（モーションお絵かき™ファイルも含む拡張子がswfのファイル）が添付されたメールを「赤外線送信」または「microSDへコピー」した場合、添付ファイルは削除されます。

<お預かりセンターに保存>
- 韓国語を含むSMSはお預かりセンターに保存できません。

未送信メール一覧画面のサブメニュー

1 未送信メール一覧画面(P155)▶メールにカーソルを移動▶MENU[メニュー]▶次の操作を行う

[削除]

1件削除：選択中のメールを削除します。

選択削除：メールを選択して削除します。
▶削除したいメールにチェックを付ける▶iα［完了］▶「はい」
- MENU［メニュー］を押して、「すべて選択」「すべて選択解除」を選択できます。

全件削除：未送信メールをすべて削除します。
▶端末暗証番号を入力▶「はい」

[お預かりセンターに保存]
お預かりセンターにメールを保存します。

1件保存 ：選択中のメールを保存します。
▶端末暗証番号を入力▶「はい」

選択保存 ：メールを選択して保存します。
▶保存したいメールにチェックを付ける▶[iα][完了]
• 保存件数が10件以下の場合は、[MENU][全件選択・全解除]を押して全選択／全解除できます。
▶端末暗証番号を入力▶「はい」

[ソート]
条件を設定してメールを並べ替えます。

[フィルタ]
条件に合うメールのみを表示します。

メール：ｉモードメールのみ表示します。
SMS ：SMSのみ表示します。
全て ：未送信メールをすべて表示します。

[赤外線送信]
選択中のメールまたはすべての未送信メールを赤外線送信します。
→P328

[microSDへコピー]
選択中のメールまたはすべての未送信メールをmicroSDカードへコピーします。すべての未送信メールを全件コピーするには端末暗証番号の入力が必要になります。

[自動送信キャンセル]
自動送信をキャンセルします。

[自動送信失敗理由]
自動送信に失敗した理由を表示します。

お知らせ

<お預かりセンターに保存>
• 韓国語を含むSMSはお預かりセンターに保存できません。

<赤外線送信>
• 100Kバイトを超えるFlashファイル（モーションお絵かきTMファイルも含む拡張子がswfのファイル）が添付されたメールを送信した場合、添付ファイルは削除されます。

<microSDへコピー>
• 100Kバイトを超えるFlashファイル（モーションお絵かきTMファイルも含む拡張子がswfのファイル）が添付されたメールをコピーした場合、添付ファイルは削除されます。

受信履歴／送信履歴／最近履歴

メールの履歴を利用する

受信履歴／送信履歴には、メールを受信／送信した履歴がそれぞれ30件まで記録されます。また、「最近履歴」として受信／送信した履歴が合わせて60件まで記録されます。これらの履歴を利用してメールを作成したり、履歴に含まれているメールアドレスを電話帳に登録したりできます。

• 記録可能件数を超えた場合は、古い情報から順に削除されます。

例：受信履歴を表示させる場合

1 待受画面▶［左ソフトキー］（1秒以上）

■ **送信履歴を表示させる場合**

待受画面▶［右ソフトキー］（1秒以上）を押します。

■ **最近履歴を表示させる場合**

受信履歴一覧画面／送信履歴一覧画面で［方向キー］を押します。

- ［iα］［メール］：選択中の履歴の宛先／送信元にメールを作成します。
- ［✉］［テレビ電話］：選択中の履歴の電話番号へテレビ電話をかけます。
- ［📷TV］［発信］：選択中の履歴の電話番号へ音声電話をかけます。

例：受信履歴一覧画面

2 履歴を選択

- ［■］［発信］：選択中の履歴の電話番号へ音声電話をかけます。
- ［iα］［メール］：選択中の履歴の宛先／送信元にメールを作成します。
- ［✉］［テレビ電話］：選択中の履歴の電話番号へテレビ電話をかけます。
- ［📷TV］［登録］：選択中の履歴のメールアドレスを電話帳に登録します。「リダイヤルや着信履歴などから電話帳に登録する」の操作2（P89）へ進みます。未登録のメールアドレスのみ登録できます。

例：受信履歴詳細画面

1 電話帳に登録されている名前
2 相手のメールアドレス
3 受信／送信日時

■ 受信履歴／送信履歴／最近履歴に表示されるアイコン

アイコン	説　明
	受信したｉモードメール
	送信したｉモードメール
	受信したSMS
	送信したSMS
R	ローミング地域で受信／送信したメール／SMS※

※ 受信／送信日時は現地時間で表示されます。

受信履歴／送信履歴／最近履歴のサブメニュー

1 ［方向キー］で利用したい履歴にカーソルを移動▶［MENU］［メニュー］▶次の操作を行う

［発信］

音声通話　：選択中の履歴の電話番号へ音声電話をかけます。
テレビ電話発信　：選択中の履歴の電話番号へテレビ電話をかけます。
カスタマイズ発信：選択中の履歴の電話番号を変更して電話をかけます。

［メール］※1

メール作成：選択中の履歴の宛先／送信元にメールを作成します。「ｉモードメールを作成して送信する」の操作3（P138）へ進みます。
SMS作成　：選択中の履歴の宛先／送信元にSMSを作成します。「SMSを作成して送信する」の操作3（P176）へ進みます。

［電話帳登録］

選択中の履歴のメールアドレスを電話帳に登録します。「リダイヤルや着信履歴などから電話帳に登録する」の操作2（P89）へ進みます。
- 未登録のメールアドレスのみ登録できます。

次のページへ続く

[履歴切替] ※2

最新履歴　：最近の通話履歴を表示します。
送受信全履歴：最近のメール履歴を表示します。
着信履歴　：電話の着信履歴を表示します。
受信メール　：受信履歴を表示します。
リダイヤル　：電話のリダイヤルを表示します。
送信メール　：送信履歴を表示します。

- 表示中の履歴に当たる項目は表示されません。

[1件削除] ※3

選択中の履歴を削除します。

[削除] ※2

1件削除：選択中の履歴を削除します。
選択削除：履歴を選択して削除します。
▶削除したいメールにチェックを付ける▶[iα]［削除］
- [MENU]［全件選択・全解除］を押して全選択／全解除できます。

全件削除：すべての履歴を削除します。

※1　受信履歴／送信履歴／最近履歴の詳細画面では［メール作成］と表示されます。
※2　受信履歴／送信履歴／最近履歴の詳細画面では表示されません。
※3　受信履歴／送信履歴／最近履歴の詳細画面でのみ表示されます。

メール設定

FOMA端末のメール機能を設定する

通信

通信の設定を行う

1 **メールメニュー画面（P137）▶「メール設定」▶「通信」▶次の操作を行う**

[メール選択受信設定]

メール選択受信（P149）を有効／無効にするために、ｉモードメールの自動受信をするかどうかを設定します。

ON　：メールを自動受信しません。
OFF：メールを自動受信します。

[添付ファイル]

ｉモードメールを受信する際に、取得する添付ファイルを設定します。

▶取得したい項目にチェックを付ける▶[iα]［完了］

[ｉモード問い合わせ]

「ｉモード問い合わせ」をするときに、問い合わせる項目を設定します。

▶問い合わせたい項目にチェックを付ける▶[iα]［完了］

お知らせ

<メール選択受信設定>

- 「ON」に設定した場合は、自動的にｉモードメールを受信できません。送られてきたｉモードメールはｉモードセンターに保管され、受信通知画面（P149）が表示されます。

<添付ファイル>

- 受信しないように設定されている添付ファイルが送信された場合は、本文中にファイル名が表示され、選択して受信できます。→P152

表示

表示の設定を行う

1 **メールメニュー画面(P137)▶「メール設定」▶「表示」▶次の操作を行う**

[文字サイズ]

メール詳細画面の本文の文字サイズを設定します。

- 受信メール詳細画面で[1][2][3]を押しても文字サイズを変更できます。

[フォルダセキュリティ]

メールメニューの受信/送信メールBOX、および未送信メールにセキュリティを設定します。セキュリティを設定したメールを表示するには、端末暗証番号の入力が必要になります。

▶端末暗証番号を入力▶設定したい項目にチェックを付ける▶[iα][完了]

[メロディ自動再生]

メール表示画面で、添付または貼り付けられているメロディを自動再生するかどうかを設定します。

[受信表示]

FOMA端末操作中（待受画面以外を表示中）にｉモードメール、メッセージR/Fを受信したときに、着信音や受信結果画面を表示してお知らせするかどうかを設定します。

通知優先：着信音や受信結果画面を表示してお知らせします。
- 通話中やカメラ起動中など、操作中の機能によっては受信結果画面は表示されません。

操作優先：FOMA端末の操作を優先し、着信音や受信結果画面などでお知らせしません。
- ディスプレイ消灯時にｉモードメール、メッセージR/Fを受信したときは、ディスプレイも点灯しません。

メールグループ

メールグループを登録する

メールアドレスをグループに登録して、決まった複数の宛先の選択を簡単にします。
メールグループは20件まで登録できます。1つのメールグループに宛先を5件まで登録できます。

1 **メールメニュー画面(P137)▶「メール設定」▶「メールグループ」**

メールグループ一覧画面

2 **[iα][追加]▶メールグループ名を入力**

3 **登録したメールグループを選択▶宛先欄にカーソルを移動▶[■][追加]▶登録方法を選択▶[iα][完了]**

送信履歴：送信メールの履歴から宛先を選択します。
受信履歴：受信メールの履歴から宛先を選択します。
電話帳：電話帳から宛先を選択します。
直接入力：宛先を直接入力します。

メールグループ一覧画面のサブメニュー

1 メールグループ一覧画面(P169)▶MENU[メニュー]▶次の操作を行う

[削除]
選択中のメールグループを削除します。

[追加]
メールグループを新規作成します。

[グループ名編集]
選択中のメールグループの名前を編集します。

[メール]
選択中のメールグループを宛先にしてｉモードメールを作成します。
→P138

自動振り分け設定

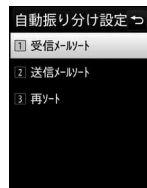
メールを自動的にフォルダに振り分ける

条件を設定して、メールを指定のフォルダに自動的に保存するように設定します。

自動振り分けルールを設定する

メールを自動的にフォルダに振り分ける条件を設定します。

- あらかじめメールを振り分けるためのフォルダを「受信メール」「送信メール」内に作成しておいてください。
- 振り分け条件は30件まで登録できます。

1 メールメニュー画面(P137)▶「メール設定」▶「自動振り分け設定」

自動振り分け設定画面

2 「受信メールソート」／「送信メールソート」▶自動振り分けルール設定欄を選択

3 ソート条件欄を選択▶次の操作を行う

[アドレス]
メールアドレスや電話番号を条件に設定して振り分けます。
▶「直接入力」▶メールアドレス／電話番号を入力
- 送受信履歴や発着信履歴、電話帳からアドレスを選択できます。
→P139

[電話帳グループ]
電話帳グループを条件に設定して振り分けます。

[題名]
メールの件名を条件に設定して振り分けます。

4 ソート対象欄を選択▶メールを振り分けるフォルダを選択▶i α[完了]

お知らせ

- 振り分け条件を編集するには、編集したい条件を選択し、再度ルールを設定します。
- 他のフォルダに設定されている振り分け条件と同じ条件は設定できません。
- メールアドレスを振り分け条件にする場合は、ドメイン名（@ 以降）も含めて設定してください。たとえば、送信アドレス一覧や受信アドレス一覧から設定する際に、電話番号だけでメールをやり取りしている場合は、ドメイン名が含まれません。この場合、振り分け条件として認識されません。
- SMSに振り分け条件を設定する場合は、「アドレス」で電話番号を指定します。「電話帳グループ」／「題名」では振り分けできません。

メールを再振り分けする

保存されているメールを、振り分け条件に従って再振り分けします。

1 **自動振り分け設定画面(P170)▶「再ソート」▶「受信メール」／「送信メール」**

2 **再振り分けするフォルダにチェックをつける▶[i α][完了]▶「はい」**

- [MENU]［全件選択］を押して全選択できます。

自動振り分けルールを削除する

1 **自動振り分け設定画面(P170)▶「受信メールソート」／「送信メールソート」▶自動振り分けルール設定欄にカーソルを移動▶[MENU][メニュー]▶次の操作を行う**

[削除]

1件削除：選択中のルールを削除します。

選択削除：ルールを選択して削除します。
▶削除したいルールにチェックを付ける▶[i α]［完了］
- [MENU]［全件選択］を押して全選択できます。

全件削除：すべてのルールを削除します。

自動振り分けルールを並べ替える

自動振り分けルールの実行優先順位は画面の表示順です。自動振り分けルールを並べ替えることで、優先順位を変更することができます。

1 **自動振り分け設定画面(P170)▶「受信メールソート」／「送信メールソート」**

2 **並べ替えたい自動振り分けルール設定欄にカーソルを移動▶[i α][並べ替え]▶[▲▼]で自動振り分けルールを移動▶[■][選択]**

編集

冒頭文／署名／引用符を編集する

1 メールメニュー画面(P137)▶「メール設定」▶「編集」▶次の操作を行う

[冒頭文編集]
iモードメール本文に挿入する冒頭文を設定します。
▶■［編集］▶冒頭文を入力

[署名編集]
iモードメール本文に挿入する署名を設定します。
▶■［編集］▶署名を入力

[引用符編集]
iモードメールを引用付き返信するときに、受信メールから引用したことを表す記号を設定します。
▶■［選択］▶引用符を入力▶iα［完了］

[自動貼付]
iモードメール作成時に冒頭文、署名を自動で貼り付けるかどうかを設定します。
▶貼り付けたい項目にチェックを付ける▶iα［完了］

その他

その他の設定を行う

1 メールメニュー画面(P137)▶「メール設定」▶「その他」▶次の操作を行う

[メール設定確認]
「メール設定」で設定した内容を確認します。

[メール設定リセット]
「メール設定」で設定した内容をお買い上げ時の状態に戻します。
▶端末暗証番号を入力▶「はい」

メッセージ受信

メッセージを受信したときは

FOMA端末が圏内にあるときは、メッセージR/Fがｉモードセンターから自動的に送られてきます。メッセージR/Fを受信すると画面表示や着信音、バイブレータなどでお知らせします。

- メッセージR/Fは、それぞれ最大100件まで保存できます。ただし、保存可能件数はデータ量により異なります。

新着メッセージを表示する

メッセージR/Fが届くと、最新の1件が自動的に表示されます。

- メッセージR/Fを受信した後に、詳細画面を自動表示するかどうかなどを「メッセージ自動表示設定」で変更できます。→P173

1 メッセージR/Fが届くと、自動的に受信する

- 受信完了後、メッセージR/Fの受信結果が表示されます。
- 何も操作しないで約30秒経過すると、受信する前の画面に戻ります。

メッセージ自動表示設定

メッセージを自動的に表示する

メッセージR/Fを受信したときの自動表示のしかたを設定します。

1 ｉモードメニュー画面(P182)▶「ｉモード設定」▶「表示・効果設定」▶「メッセージ自動表示設定」▶次の操作を行う

メッセージR優先	：	メッセージR/Fを同時に受信したときに、メッセージRを自動表示します。
メッセージRのみ	：	メッセージRのみ自動表示します。
メッセージF優先	：	メッセージR/Fを同時に受信したときに、メッセージFを自動表示します。
メッセージFのみ	：	メッセージFのみ自動表示します。
自動表示なし	：	自動表示しません。

メロディ自動再生

メッセージ表示時のメロディの自動再生を設定する

メッセージR/Fを表示したときにメロディを自動再生するかどうかを設定します。

1 ｉモードメニュー画面(P182)▶「ｉモード設定」▶「表示・効果設定」▶「メロディ自動再生」

「メロディ自動再生」を選択するたびにONとOFFが切り替わります。

ｉモード問い合わせ

メッセージがあるかどうか問い合わせる

FOMA端末が圏外などで受信できなかったメッセージR/Fは、ｉモードセンターに保管され、画面上部に、、が表示されます。
ｉモードセンターに問い合わせると、保管されているメッセージR/Fを受信できます。

- FOMA端末が圏外のときは、問い合わせできません。
- ｉモードセンターに問い合わせる項目（ｉモードメール、メッセージR/F）は、「ｉモード問い合わせ」設定（P168）で設定できます。

1 ｉモードメニュー画面(P182)▶「ｉモード問い合わせ」

問い合わせが完了すると、問い合わせ結果画面が表示されます。

2 「メッセージR」／「メッセージF」

お知らせ

- 次のような場合にメッセージR/Fを受信したときは、ｉモードセンターに保管されます。
  - 電源OFFのとき
  - テレビ電話中
  - セルフモード設定中
  - 圏外のとき
  - おまかせロック中
  - FOMA端末のメッセージR/Fが満杯のとき

メッセージR／メッセージF

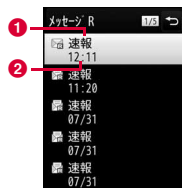
メッセージを表示する

ｉモードセンターからメッセージR/Fが届くと、画面の上部に、が表示されます。

1 ｉモードメニュー画面(P182)▶「メッセージR／F」▶「メッセージR」／「メッセージF」

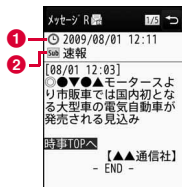
- ［削除］：選択中のメッセージR/Fを削除します。

❶ **件名**

❷ **受信した日時**
メッセージR/F一覧画面では、前日までに受信したメッセージは日付が表示され、当日受信したメッセージは時刻が表示されます。

例：メッセージR一覧画面

2 メッセージR/Fを選択

❶ **受信した日時**

❷ **件名**

例：メッセージR詳細画面

■ メッセージR/F一覧画面／詳細画面に表示されるアイコン

アイコン	説　明
／	未読のメッセージR/F
／	既読のメッセージR/F

※ 上記以外は、受信メールと同様です。→P157

メッセージR/F一覧画面のサブメニュー

1 メッセージR/F一覧画面(P174)▶メッセージにカーソルを移動▶［メニュー］▶次の操作を行う

［削除］

1件削除　：選択中のメッセージR/Fを削除します。

選択削除　：メッセージR/Fを選択して削除します。
▶削除したいメッセージR/Fにチェックを付ける▶［完了］▶「はい」
- ［メニュー］を押して、「すべて選択」「すべて選択解除」を選択できます。

既読全削除：既読のメッセージR/Fをすべて削除します。
▶端末暗証番号を入力▶「はい」

全件削除　：メッセージR/Fをすべて削除します。
▶端末暗証番号を入力▶「はい」

[保護／保護解除]

保護　：
- 1件保護設定：選択中のメッセージR/Fを保護します。
- 選択保護設定：メッセージR/Fを選択して保護します。
  ▶保護したいメッセージR/Fにチェックを付ける▶[完了]
  - [メニュー]を押して、「すべて選択」「すべて選択解除」を選択できます。
- 全件保護設定：メッセージR/Fをすべて保護します。

保護解除：
- 1件保護解除：選択中のメッセージR/Fの保護を解除します。
- 選択保護解除：選択したメッセージR/Fの保護を解除します。
  - 操作は「選択保護設定」と同じです。
- 全件保護解除：メッセージR/Fの保護をすべて解除します。

[ソート]

条件を設定してメッセージR/Fを並べ替えます。

[フィルタ]

条件に合うメッセージR/Fのみを表示します。

未読のみ：未読のメッセージR/Fのみ表示します。

既読のみ：既読のメッセージR/Fのみ表示します。

保護のみ：保護されているメッセージR/Fのみ表示します。

全て　：メッセージR/Fをすべて表示します。

お知らせ

<削除>
- 未読のメッセージR/Fがある場合は、削除するかどうかを確認する画面が表示されます。削除する場合は「はい」を選択します。
- 保護されているメールは削除できません。

<保護>
- メッセージR/Fは、それぞれ最大100件まで保護できます。

メッセージR/F詳細画面のサブメニュー

1 メッセージR/F詳細画面(P174)▶MENU[メニュー]▶次の操作を行う

[削除]

表示中のメッセージR/Fを削除します。

[保護／保護解除]

表示中のメッセージR/Fを保護または保護を解除します。

[保存]

選択項目：表示中のメッセージR/Fに記載されているメールアドレス、電話番号を電話帳に登録します。→P152

画像　：表示中のメッセージR/Fに挿入されている画像を保存したり、情報を確認することができます。

背景画像：表示中のメッセージR/Fの背景画像を保存します。

[添付ファイル操作]

保存：表示中のメッセージR/Fの添付ファイルを保存します

削除：表示中のメッセージR/Fの添付ファイルを削除します。

お知らせ

<削除>
- 保護されているメッセージは削除できません。

<保護／保護解除>
- メッセージR/Fは、それぞれ最大100件まで保護できます。

SMS作成／送信

SMSを作成して送信する

- ドコモ以外の海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。ご利用可能な国、海外通信事業者についてはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。
- 韓国語に対応している端末どうしで、韓国語が入力されたSMSの送受信ができます。
- L-06Aを利用して、韓国をはじめとした海外通信事業者の韓国語対応端末と、韓国語で国際SMSの送受信が可能です。国際SMSを利用可能な海外通信事業者についてはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。また、送信できる文字数は通信先事業者の状況により異なります。詳細は各送信先通信事業者へお問い合わせください。
- SMS本文の入力モードを韓国語に切り替える→P178

1 メールメニュー画面(P137)▶「SMS」▶「SMS作成」

- ✉［電話帳］：電話帳から宛先を選択できます。

SMS作成画面

2 TO欄を選択▶「直接入力」▶電話番号を入力

- 21桁（「＋」含む）まで入力できます。
- 電話番号の入力画面でMENU［メニュー］を押して「国際ダイヤルアシスト」「プレフィックス選択」「キャンセル」を選択できます。
  iα［キャンセル］を押すと入力をキャンセルできます。
- 送信履歴や受信履歴、電話帳から宛先を選択できます。→P139

3 📝欄を選択▶本文を入力

- 入力できる文字数は、「SMS本文入力」の設定により異なります。→P178

4 iα[送信]

お知らせ

- 宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合、「＋」（□を1秒以上押す）、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。携帯電話番号が「0」で始まる番号は「0」を除いた電話番号を入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます（受信した海外からのSMSに返信する場合は、「010」を入力してください）。
- 電波状況などにより、受信側で文字が正しく送信されない場合があります。
- 海外通信事業者を利用している相手にSMSを送信したとき、本文中に相手側が対応していない文字が含まれる場合は、それらの文字が正しく表示されないことがあります。
- 「発信者番号通知設定」を「通知しない」に設定していても、送信相手には発信者番号が通知されます。
- 送信元が公衆電話、通知不可能のSMSには返信できません。
- SMS送信時の♥、☎以外の「絵文字」「絵文字熟語」は、受信側では半角スペースに置き換わって表示されます。
- 韓国語を入力したSMSを、韓国語に対応していない端末に送信した場合は、相手に文字が正しく表示されません。

SMS作成画面のサブメニュー

1 SMS作成画面(P176)▶MENU[メニュー]▶次の操作を行う

[送信]
SMSを送信します。

[保存]
作成中や編集中のSMSを未送信メールとして保存します。

[SMS送達通知]
SMSを送信したときにSMS送達通知を要求するかどうかを設定します。→P178

[SMS有効期間]
送信したSMSがSMSセンターに保管される期間を設定します。→P178

SMS受信

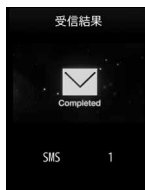
SMSを受信したときは

FOMA端末が圏内にあるときは、自動的にSMSが送られてきます。

- 受信したSMSは、ｉモードメールと合わせて最大1000件保存できます。ただし、データ量により保存できる件数は異なります。

1 SMSを受信すると、画面上部に✉が表示される

受信が完了すると、受信結果画面が表示されます。

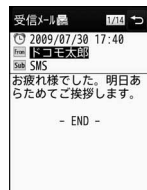
- 何も操作しないで約30秒経過すると、受信する前の画面に戻ります。
- 「SMS」を選択すると、受信メールフォルダ一覧画面が表示されます。
- 受信したSMSの詳細画面を表示するまで、画面上部には✉、待受画面には✉ 1（数字は件数）が表示されます。

受信結果画面

お知らせ

- 待受ｉアプリ設定時は、SMSの受信結果画面は表示されず、SMS着信音およびバイブレータは動作しません。

新着SMSを表示する

1 受信結果画面(P177)▶「SMS」▶フォルダを選択

2 表示したいSMSを選択

受信メール詳細画面

SMS問い合わせ

SMSがあるかどうかを問い合わせる

FOMA端末が圏外のときなど、受信できなかったSMSはSMSセンターに保管されます。SMSセンターに問い合わせると、保管されているSMSを受信できます。

- 圏外のときは、問い合わせできません。

1 メールメニュー画面(P137)▶「SMS」▶「SMS問い合わせ」

受信が完了すると、受信結果画面が表示されます。

SMS設定

SMSの設定を行う

SMS送達通知

SMSの送信時に、SMS送達通知を要求するかどうかを設定します。「ON」に設定すると、SMSが相手に届いたことをお知らせするSMS送達通知が届きます。

1 メールメニュー画面(P137)▶「メール設定」▶「SMS」▶「SMS送達通知」▶「ON」／「OFF」

お知らせ

- SMS送達通知には、送信時間と送信相手の番号が表示されます。

SMS有効期間

送信したSMSが圏外などで届かなかった場合にSMSセンターに保管される期間を設定します。

- 「0日」を設定すると一定時間経過後に再送し、SMSセンターから削除します。

1 メールメニュー画面(P137)▶「メール設定」▶「SMS」▶「SMS有効期間」▶有効期間を選択

SMS本文入力

SMS本文の入力モードを設定します。

1 メールメニュー画面(P137)▶「メール設定」▶「SMS」▶「SMS本文入力」▶設定したい項目を選択

日本語（70文字）：日本語を入力できます。最大文字数は70文字です。
日・韓（70文字）：日本語と韓国語を入力できます。最大文字数は70文字です。
英語（160文字）：英語を入力できます。最大文字数は160文字です。

SMSセンター

※通常は設定を変える必要はありません。

SMSセンターの設定をします。

1 MENU▶「Settings」▶「国際ローミング設定」▶「ネットワーク」▶「SMSセンター」▶次の操作を行う

［SMSセンター］

DOCOMO：SMSセンターをドコモに設定します。
その他：SMSセンターをドコモ以外に設定します。

［アドレス］

「SMSセンター」に「その他」を選択した場合、SMSセンターのアドレスを入力します。

[番号タイプ]
「SMSセンター」に「その他」を選択した場合に設定します。

International：SMSセンターの電話番号が国際番号の場合に設定します。

Unknown：SMSセンターの電話番号が国際番号かどうか不明な場合に設定します。

2 [i α] [完了]

ｉモード／ｉモーション／ｉチャネル

ｉモード

ｉモードでは、ｉモード対応FOMA端末（以下、ｉモード端末）のディスプレイを利用して、サイト接続、インターネット接続、ｉモードメールなどのオンラインサービスをご利用いただけます。

- ｉモードはお申し込みが必要な有料サービスです。
- ｉモードの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

ｉモードのご利用にあたって

- サイトやインターネット上のホームページ（インターネットホームページ）の内容は、一般に著作権法で保護されています。これらサイトやインターネットホームページからｉモード端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布できません。
- 別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源を入れたりした場合、機種によってサイトから取り込んだ静止画、動画、メロディやメールで送受信した添付ファイル（静止画、動画、メロディなど）、画面メモおよびメッセージR/Fなどは表示、再生できません。
- FOMAカードにより表示・再生が制限されているファイルを待受画面、着信音などに設定している場合、別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源を入れたりすると、設定内容は初期状態にリセットされます。

ｉモードメニュー

ｉモードメニューを表示する

ｉモードメニューからｉモードの各機能を利用できます。

1 待受画面▶ｉα

ｉモードメニュー画面

2 次の操作を行う

[ｉMenu]
ｉモードセンターに接続します。→P183

[Bookmark]
Bookmarkフォルダ一覧画面を表示します。→P190

[画面メモ]
画面メモ一覧画面を表示します。→P193

[ラストURL]
最後に表示したｉモードのサイトやインターネットホームページを表示します。→P185

[Internet]
URLを直接入力してインターネットに接続します。→P188

[ｉチャネル]
ｉチャネルメニュー画面を表示します。→P204

[メッセージR/F]
受信したメッセージR/Fの一覧を表示します。→P174

[ｉモード問い合わせ]
ｉモードセンターにｉモードメールやメッセージR/Fが保管されているかどうかを問い合わせます。→P173

[ｉモード設定]
ｉモードに関するFOMA端末の機能を設定します。→P197

[フルブラウザ]
フルブラウザメニュー画面を表示します。→P206

サイトを表示する

IP（情報サービス提供者）が提供する各種サービスを利用します。

- IP（情報サービス提供者）により、サービス内容が異なります。また、別途お申し込みが必要な場合があります。

1 ｉモードメニュー画面（P182）▶「ｉMenu」▶「メニューリスト」

ｉモード通信中は画面上部に が表示されます。

- ページ取得中に中止するときは [ストップ] を押します。

2 項目（リンク先）を選択

- [再読込み]：表示中のサイトが更新されていれば、サイトの内容を最新の情報に更新します。
- [∧]：上にスクロールします。
- [∨]：下にスクロールします。
- ：ｉモードを終了します。「はい」を選択します。

お知らせ

- リンク先を示す項目の前に番号が表示されている場合は、その番号と同じダイヤルキーを押して直接リンク先に接続できます。ただし、サイトによっては接続できない場合があります。
- 接続先のサイトによっては、ご利用になるために「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」の送信が必要な場合があります。
  送信される「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」は、IP（情報サービス提供者）がお客様を認識し、お客様にカスタマイズした情報を提供したり、IP（情報サービス提供者）の提供するコンテンツがお客様の携帯電話で使用できるかどうかを判定したりするために用いられます。送信される「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」は、インターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりお客様の住所や年齢、性別がIP（情報サービス提供者）などに通知されることはありません。
- 表示できる画像ファイルは、JPEG・GIF・SWF形式のものです。

サイト表示画面のサブメニュー

1 サイト表示中▶MENU［メニュー］▶次の操作を行う

［Bookmark］

登録：表示中のサイトのURLをブックマークに登録します。「ブックマークに登録する」の操作2（P190）へ進みます。

一覧：Bookmarkフォルダ一覧画面を表示します。→P190

［画面メモ］

保存：表示中のサイトを画面メモに保存します。→P192

一覧：画面メモ一覧画面を表示します。→P193

［画像保存］

表示中のサイトに含まれている画像や背景画像を保存します。→P194

［詳細表示］

URL表示：表示中のサイトのURLを表示します。

ページ情報：表示中のサイトのタイトルとURLを表示します。

証明書：表示中のサイトがSSLに対応している場合は、SSL証明書を表示します。

［Internet］

URL入力：URLを入力してインターネットホームページを表示します。「インターネットホームページを表示する」の操作2（P188）へ進みます。

ホーム：「ホーム」として設定しているURLのサイトに接続します。

URL履歴：URL履歴を選択してインターネットホームページを表示します。「URL履歴を使って表示する」の操作2（P189）へ進みます。

［再読込み］

表示中のサイトが更新されていれば、サイトの内容を最新の情報に更新します。

［メール作成］

表示中のサイトのURLを本文に貼り付けて、ｉモードメールを作成します。「ｉモードメールを作成して送信する」の操作2（P138）へ進みます。

項目（リンク先）選択中は次の項目のいずれかを選択してください。

このページ：表示中のサイトのURLを貼り付けます。

リンク先ページ：選択中の項目（リンク先）のURLを貼り付けます。

［電話帳登録］

サイトのページに表示されている電話番号やメールアドレスを電話帳に登録します。→P187

［表示］

文字コード変換：文字が正しく表示されていないときに、文字コードを変えて表示し直します。

リトライ：表示中のサイトに含まれているFlash画像やアニメーションを最初から再生します。

［設定］

画像表示：表示中のサイトに含まれている画像を表示するかどうかを設定します。

効果音設定：表示中のサイトに含まれているFlash画像の効果音を再生するかどうかを設定します。

ｉモーションタイプ
：取得するｉモーションのタイプを設定します。→P202

［フルブラウザ切替］

フルブラウザに切り替えます。→P213

お知らせ

<文字コード変換>

- 正しく表示されない場合は、操作を繰り返してください。ただし、4回操作を行うと元の文字コードで表示されます。
- 変換操作を繰り返しても正しく表示されない場合があります。
- 変換した文字コードは、表示中のサイトに対してのみ有効です。

<画像表示>

- 「表示する」に設定しても、正しく表示されない場合があります。その場合は☒が表示されます。

SSLページを取得するときは

SSLに対応したサイトを取得すると右の画面が表示されます。取得が完了するとSSLページが表示され、画面上部に🔒が表示されます。

通常のサイトに戻るには

SSLに対応していないサイトに戻る場合、右の画面が表示されます。「はい」を選択すると通常のサイトが表示され、🔒が消えます。

お知らせ

- SSL証明書が期限切れになっている場合、サポートしていない場合など、接続先の安全性を確認できないことを知らせるメッセージが表示される場合があります。接続するときは「はい」を選択してください。ただし、お客様の個人情報（クレジットカード番号、連絡先など）を安全に送信できない可能性がありますのでご注意ください。

ラストURL

最後に表示したページに再接続する

iモードを終了すると、最後に表示していたページのURLが「ラストURL」に記憶されます。ラストURLを使って最後に表示したページに再接続します。

1 iモードメニュー画面(P182)▶「ラストURL」▶[iα][接続]

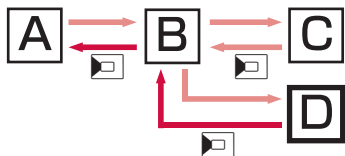
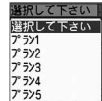
サイトの見かたと操作

サイト表示中の基本的な操作方法について説明します。

前のページに戻る／進む

FOMA端末は、表示したサイトなどの画面データをキャッシュという端末内の場所に記憶しています。
キャッシュに記憶された画面は、［クリアキー］で通信を行わずに表示できます。

- キャッシュサイズをオーバーしていたり、サイトによって必ず最新情報を読み込むように設定されたページを表示したりするときは通信を行います。
- サイトなどで入力した文字や設定は、キャッシュに記憶されません。
- ｉモードを終了すると、キャッシュは削除されます。

  例：画面「A」→「B」→「C」→「B」→「D」の順番でページを表示させた場合
  下図のように「A」→「B」→「C」の順にページを表示させてから「B」に戻り、次に「D」のページを表示させた場合は、「C」はキャッシュから削除されます。［クリアキー］を押すと「B」⇔「D」のページが表示されます。

お知らせ

- Flashを使用したサイトでは、タッチ操作ができません。
- Flash画像が表示されているときは、動作が通常のサイトと異なる場合があります。

リンク先や項目先を選択する

ｉモード接続中に、サイトによっては次の操作が必要となる場合があります。詳しくは『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

名　称	表示例	内　容
ラジオボタン	○（非選択状態） ◉（選択状態）	選択肢の中から1つだけ選択できます。
チェックボックス	□（非選択状態） ☑（選択状態）	選択肢の中から複数の項目を選択できます。
テキストボックス		文字を入力します。テキストボックスを選択すると文字入力画面が表示されます。
プルダウンメニュー	選択して下さい 選択して下さい ﾌﾟﾗﾝ1 ﾌﾟﾗﾝ2 ﾌﾟﾗﾝ3 ﾌﾟﾗﾝ4 ﾌﾟﾗﾝ5	選択肢の一覧から項目を選択します。プルダウンメニューを選択すると選択肢一覧が表示されます。

お知らせ

＜テキストボックス＞
- FOMA端末に登録されている電話帳の情報、自局番号やバーコードリーダーで読み取った情報を次の操作で引用して入力できます。
MENU［メニュー］▶「引用」▶「電話帳」／「自局番号」／「バーコードリーダー」

Flash画像の表示について

FOMA端末では、絵や音を利用したアニメーション技術を用いたFlash画像の表示に対応しており、多彩なアニメーションや表現力豊かなサイトを利用できます。また、Flash画像をダウンロードし、待受画面に設定することもできます。

お知らせ

- Flash画像が表示されていても、正しく動作しない場合があります。
- Flash画像によっては、お客様のFOMA端末の端末情報データを利用するものがあります。端末情報データを利用するには、「端末情報データ利用設定」を「ON」に設定してください。
- Flash画像に音声が含まれている場合は、「音声／テレビ電話着信音」で設定された音量で鳴ります。効果音を鳴らさない場合は「効果音設定」を「OFF」に設定してください。→P198
- バイブレータが設定されているFlash 画像を再生した場合、FOMA端末の「バイブレータ設定」（P102）などの設定に関わらず振動します。
- 「画像」設定を「OFF」に設定すると、Flash画像は表示されません。
- Flash画像をデータBOXやmicroSDカード、画面メモに保存して再生した場合、保存箇所により見えかたが異なる場合があります。
- 待受画面や着信画面などに設定されたFlash画像の効果音やバイブレータは動作しません。

電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する

サイトのページに表示されている電話番号やメールアドレスを電話帳に登録することができます。

1 サイト表示中▶電話番号／メールアドレスにカーソルを移動▶MENU［メニュー］▶「電話帳登録」▶「はい」

「リダイヤルや着信履歴などから電話帳に登録する」の操作2（P89）へ進みます。

マイメニュー

マイメニューに登録する

よく利用するサイトをマイメニューに登録することで、次回からそのサイトに簡単に接続できます。

- マイメニューは45件まで登録できます。
- マイメニューに登録できないサイトもあります。

1 登録したいサイトを表示▶「マイメニュー登録」

- サイトにより項目名が若干異なる場合があります。

2 iモードパスワードのテキストボックスを選択▶iモードパスワードを入力▶「決定」

- 入力したiモードパスワードは「＊」で表示されます。
- iモードパスワード→P188

お知らせ

- 「メニューリスト」内の有料サイトに申し込まれると、自動的にマイメニューに登録されます。

マイメニューからサイトを表示する

1 ｉモードメニュー画面(P182)▶「ｉMenu」▶「マイメニュー」▶接続したいサイトを選択

ｉモードパスワード変更

ｉモードパスワードを変更する

マイメニューの登録／解除、メッセージサービスやｉモード有料サイトの申し込み／解約、メール設定をするときは、「ｉモードパスワード」（4桁）が必要になります。ご契約時は「0000」に設定されていますが、安全のためお客様独自のｉモードパスワードに変更してください。なお、ｉモードパスワードは他人に知られないように十分ご注意ください。

1 ｉモードメニュー画面(P182)▶「ｉMenu」▶「お客様サポート」▶「各種設定(確認・変更・利用)」▶「ｉモードパスワード変更」

2 「現在のパスワード」のテキストボックスを選択▶ｉモードパスワード(4桁)を入力

3 「新パスワード」のテキストボックスを選択▶新しいｉモードパスワード(4桁)を入力

4 「新パスワード確認」のテキストボックスを選択▶新しいｉモードパスワード(4桁)を入力

5 「決定」

お知らせ

- ｉモードパスワードをお忘れの場合は、ご契約者本人であることを確認できるもの（運転免許証など）をドコモショップ窓口で確認させていただいた上で、ｉモードパスワードを「0000」にリセットさせていただきます。

Internet接続

インターネットホームページを表示する

URLを入力して、インターネットホームページを表示します。URLは半角の英数字や記号で入力します。

1 ｉモードメニュー画面(P182)▶「Internet」▶「URL入力」

2 URLを入力

- 半角で2033文字まで入力できます。

お知らせ

- ｉモード対応のインターネットホームページ以外は、正しく表示されない場合があります。
- 履歴に記録されているURLと同じURLを入力して接続した場合は、上書き保存され、最新のURL履歴として一番上に表示されます。

URL履歴を使って表示する

入力したURLは、URL履歴として10件まで記録されます。URL履歴を利用してインターネットホームページを表示します。

1 ｉモードメニュー画面(P182)▶「Internet」▶「URL履歴」

URL履歴一覧画面

2 表示したいURLを選択

お知らせ

- 履歴が10件を超えた場合、古いものから順に自動的に上書きされます。
- 利用した履歴は、最新のURL履歴として一番上に表示されます。

URL履歴一覧画面のサブメニュー

1 URL履歴一覧画面(P189)▶URL履歴にカーソルを移動▶MENU[メニュー]▶次の操作を行う

[接続]
選択中のURL履歴のサイトに接続します。

[URL編集]
選択中の履歴のURLを編集してサイトに接続します。
▶URLを編集▶■ [確定]

[削除]

1件削除：選択中のURL履歴を削除します。

選択削除：URL履歴を選択して削除します。
▶削除したいURL履歴にチェックを付ける▶iα［削除］▶「はい」
- MENU［全選択・全解除］を押して全選択／全解除できます。

全件削除：URL履歴をすべて削除します。
▶端末暗証番号を入力▶「はい」

[メール作成]
選択中の履歴のURLを本文に貼り付けて、ｉモードメールを作成します。「ｉモードメールを作成して送信する」の操作2（P138）へ進みます。

ブックマーク

ホームページやサイトを登録してすばやく表示する

よく見るサイトやインターネットホームページをブックマークに登録しておくと、見たいページをすぐに表示できます。

ブックマークに登録する

- ブックマークはフォルダ全体で最大100件登録できます。

1 サイト表示中▶MENU[メニュー]▶「Bookmark」▶「登録」

2 ■[選択]▶タイトルを編集▶■[確定]▶iα[追加]▶登録したいフォルダを選択

- 既に登録済みのURLを登録しようとした場合は、上書きするかどうかを確認する画面が表示されます。「はい」を選択します。

お知らせ

- ブックマークに登録できるURLの文字数は、半角で256文字までです。
- ブックマークのタイトルは全角12文字まで、半角24文字まで登録できます。
- ブックマークが最大保存件数まで保存されている場合は、削除するものを選択するかどうかを確認する画面が表示されます。選択する場合は「はい」▶フォルダを選択▶削除するブックマークを選択▶登録したいフォルダを選択します。

ブックマークからホームページやサイトを表示する

1 iモードメニュー画面(P182)▶「Bookmark」

- iα［追加］：フォルダを追加します。フォルダ名は全角で16文字、半角で32文字までで入力します。
- ✉［編集］：選択中のユーザ作成フォルダのフォルダ名を編集します。

Bookmark
フォルダ一覧画面

■Bookmarkフォルダ一覧画面に表示されるアイコン

アイコン	説　明
(グレー)	「Bookmark」(お買い上げ時に登録されているフォルダ)
(黄)	ユーザ作成フォルダ

2 フォルダを選択

- [URL表示]：URLを表示します。
- [編集]：タイトルを編集します。

Bookmark
一覧画面

3 表示したいブックマークを選択

Bookmarkフォルダ一覧画面のサブメニュー

1 Bookmarkフォルダ一覧画面（P190）▶フォルダにカーソルを移動▶MENU［メニュー］▶次の操作を行う

［フォルダ管理］

フォルダ追加	：フォルダを追加します。フォルダ名は全角で16文字、半角で32文字までで入力します。
フォルダ名編集	：選択中のフォルダの名前を編集します。
フォルダ並べ替え	：選択中のフォルダを並べ替えます。

［削除］

フォルダ1件削除	：選択中のフォルダを削除します。 ▶端末暗証番号を入力▶「はい」
全削除	：ブックマークをすべて削除します。 ▶端末暗証番号を入力▶「はい」

［赤外線全件送信］
ブックマークをすべて赤外線送信します。
▶端末暗証番号を入力▶認証パスワードを入力▶「はい」

［microSD全件コピー］
ブックマークをすべてmicroSDカードにコピーします。
▶端末暗証番号を入力▶「はい」

［件数確認］
フォルダ全体のブックマーク件数を表示します。

お知らせ

<フォルダ名編集／フォルダ並べ替え／フォルダ1件削除>
- お買い上げ時に登録されている「Bookmark」フォルダは、フォルダ名の変更や移動、削除はできません。

<フォルダ1件削除>
- フォルダ内にブックマークがある場合は、削除するかどうかを確認する画面が表示されます。削除する場合は「はい」を選択します。

Bookmark一覧画面のサブメニュー

1 Bookmark一覧画面（P191）▶ブックマークにカーソルを移動▶MENU［メニュー］▶次の操作を行う

［接続］
選択中のブックマークのサイトに接続します。

［タイトル編集］
選択中のブックマークのタイトルまたはURLを編集します。
▶タイトルまたはURLを編集▶■［確定］

[フォルダ移動]

1件移動：選択中のブックマークを他のフォルダに移動します。

選択移動：ブックマークを選択して移動します。
▶移動したいブックマークにチェックを付ける▶[i α]［移動］▶移動先のフォルダを選択
- [MENU]［全選択・全解除］を押して全選択／全解除できます。

全件移動：フォルダ内のブックマークをすべて他のフォルダに移動します。

[削除]

1件削除：選択中のブックマークを削除します。

選択削除：ブックマークを選択して削除します。
▶削除したいブックマークにチェックを付ける▶[i α]［削除］▶「はい」
- [MENU]［全選択・全解除］を押して全選択／全解除できます。

全件削除：ブックマークをすべて削除します。
▶端末暗証番号を入力▶「はい」

[URL表示]

選択中のブックマークのURLを表示します。

[URLコピー]

選択中のブックマークのURLをコピーします。

[メール作成]

選択中のブックマークを添付して、ｉモードメールを作成します。
「ｉモードメールを作成して送信する」の操作2（P138）へ進みます。

[赤外線送信]

送信：選択中のブックマークを赤外線送信します。

全件送信：フォルダ内のブックマークをすべて赤外線送信します。
▶端末暗証番号を入力▶認証パスワードを入力▶「はい」

[microSDへコピー]

1件コピー：選択中のブックマークをmicroSDカードへコピーします。

全件コピー：フォルダ内のブックマークをすべてmicroSDカードへコピーします。
▶端末暗証番号を入力▶「はい」

[件数確認]

フォルダ内のブックマーク件数を表示します。

画面メモ

サイトの内容を保存する

表示中のサイトの内容を画面メモとして保存できます。画面メモに保存したページは、ｉモードに接続せずに表示できます。

画面メモを保存する

- 画面メモは最大50件保存できます。ただし、データ量により実際に保存できる件数が少なくなることがあります。
- 1件あたり約100Kバイトまでのページを保存できます。

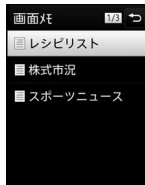
1 サイト表示中▶[MENU][メニュー]▶「画面メモ」▶「保存」▶「はい」

お知らせ

- 画面メモが最大保存件数まで保存されている場合は、削除するものを選択するかどうかを確認する画面が表示されます。選択する場合は「はい」▶削除する画面メモを選択します。

画面メモを表示する

1 **iモードメニュー画面(P182)▶「画面メモ」**

- [iα]［削除］：選択中の画面メモを削除します。
- [TV]［URL］：URLを表示します。

画面メモ一覧画面

2 **表示したい画面メモを選択**

画面メモ詳細画面が表示されます。

お知らせ

- 画面メモに保存されているページは保存したときの情報です。最新のページの情報と異なる場合があります。

画面メモ一覧画面のサブメニュー

1 **画面メモ一覧画面▶画面メモにカーソルを移動▶[MENU]［メニュー］▶次の操作を行う**

［表示］

選択中の画面メモを表示します。

［タイトル編集］

選択中の画面メモのタイトルを編集します。タイトルは全角で12文字、半角で24文字までで入力します。

［削除］

1件削除：選択中の画面メモを削除します。

選択削除：画面メモを選択して削除します。
▶削除したい画面メモにチェックを付ける▶[iα]［削除］▶「はい」
- [MENU]［全選択・全解除］を押して全選択／全解除できます。

全件削除：画面メモをすべて削除します。
▶端末暗証番号を入力▶「はい」

［URL表示］

選択中の画面メモのURLを表示します。

［保護／保護解除］

1件保護／解除：選択中の画面メモを保護または保護を解除します。

選択保護／解除：画面メモを選択して保護または保護を解除します。
▶保護したい画面メモにチェックを付ける▶[iα]［完了］
- [MENU]［全選択・全解除］を押して全選択／全解除できます。

全件保護解除：画面メモをすべて保護解除します。
▶端末暗証番号を入力

［件数確認］

画面メモ件数を表示します。

画面メモ詳細画面のサブメニュー

1 画面メモ詳細画面▶MENU[メニュー]▶次の操作を行う

[画像保存]
表示中の画面メモに含まれている画像や背景画像を保存します。「サイトや画面メモから画像を取得する」の操作2（P195）へ進みます。

[詳細表示]
URL表示 ：表示中の画面メモのURLを表示します。
ページ情報：表示中の画面メモのタイトルとURLを表示します。
証明書 ：表示中の画面メモがSSLに対応している場合は、SSL証明書を表示します。

[電話帳登録]
サイトのページに表示されている電話番号やメールアドレスを電話帳に登録します。→P187

[リトライ]
表示中の画面メモに含まれているFlash画像やアニメーションを最初から再生します。

[効果音設定]
表示中の画面メモに含まれているFlash画像の効果音を再生するかどうかを設定します。
ON ：Flash画像の効果音を再生します。
OFF ：Flash画像の効果音を再生しません。

[タイトル編集]
表示中の画面メモのタイトルを編集します。タイトルは全角で12文字、半角で24文字までで入力します。

[削除]
表示中の画面メモを削除します。

[保護／保護解除]
表示中の画面メモを保護または保護を解除します。

お知らせ

<削除>
- 保護されている画面メモは削除できません。保護を解除してから削除してください。

<保護／保護解除>
- 保護できる画面メモは最大10件です。保護できる件数は画面メモのデータ量によって異なります。

サイトからデータを取得する

サイトから画像やメロディなどのファイルやデータをダウンロードしてFOMA端末やmicroSDカードに保存できます。

- 保存可能なデータ（ファイル）と1件あたりの保存最大サイズは次のとおりです。
  - 画像ファイル（JPEG・GIF・SWF形式）、ｉメロディ、テンプレート：100Kバイト
  - きせかえツール：2Mバイト
  - 辞書：32Kバイト

画像保存
サイトや画面メモから画像を取得する

表示中のサイトや画面メモに含まれている画像をFOMA端末やmicroSDカードに保存します。

- 取得した画像は、「データBOX」内「マイピクチャ」の「ｉモード」フォルダまたはmicroSDカードに保存されます。

例：サイトに表示されている画像を保存する場合

1 サイト表示中▶MENU［メニュー］▶「画像保存」

2 「画像選択」▶取得する画像を選択

■ **サイトの背景画像を保存する場合**

「背景画像保存」を選択します。

取得できる画像は点線で囲まれます。

3 「はい」

- microSDカードを取り付けている場合は、さらに保存先を選択します。ただし、SWF形式の画像は自動的に本体に保存されます。
- FOMA端末に保存した場合は、保存した画像を待受画面に設定するかどうかの確認画面が表示されます。設定する場合は、「はい」を選択します。

お知らせ

- 「画像」設定を「OFF」に設定している場合は、保存できません。
- サイト上では表示されていても、FOMA端末に保存すると表示されない場合があります。
- 取得した画像は正しく表示されない場合があります。
- JPEG形式、GIF形式、プログレッシブJPEG形式※の画像ファイルが以下の表示サイズ（総画素数）を超える場合は、保存するとFOMA端末では表示できません。ただし、メール添付などによってFOMA端末外に出力することはできます。
  - 総画素数が2592×1944ドットを超えるJPEG形式、プログレッシブJPEG形式の画像ファイル
  - 総画素数が800×600ドットを超えるGIF形式の画像ファイル

※プログレッシブJPEG形式は、インターネットなどで利用されており、最初は画像全体が粗く表示され、ダウンロードが進むにつれて徐々に鮮明に表示される画像形式です。

サイトからデータをダウンロードする

ダウンロードできるデータと保存先は次のとおりです。

データ（ファイル）の種類	保存先
ｉメロディ	「データBOX」内「メロディ」の「ｉモード」フォルダまたはmicroSDカード
テンプレート	メールメニューの「テンプレート」（P144）
きせかえツール	「データBOX」内「きせかえツール」の「ｉモード」フォルダ
辞書	「ダウンロード辞書」（P389）

1 サイト表示中▶データを選択

ダウンロードが完了すると確認画面が表示されます。

2 「保存」

- 保存を中止する場合は、「戻る」を選択します。
- データの種類によっては、「表示」、「再生」、「プレビュー」を選択してデータを確認できます。

■ｉメロディを保存する場合
microSDカードを取り付けている場合は、さらに保存先を選択します。

■テンプレートを保存する場合
「保存」▶ファイル名を変更▶「はい」を選択します。

■辞書を保存する場合
保存先を選択します。

お知らせ

<ｉメロディ>
- 接続するサイトによっては、ダウンロードできない場合があります。
- ダウンロードしたメロディは正しく再生できない場合があります。
- ダウンロードしたメロディには、あらかじめ再生部分が指定されている場合があります。そのようなメロディは、再生するときはメロディのすべての部分が再生されますが、着信音などに設定したときは、指定部分だけが再生されます。

<テンプレート>
- テンプレートでは「メール作成」を選択し、ダウンロードしたテンプレートを利用してデコメール®を作成できます。

<辞書>
- ダウンロード辞書の使いかた→P389

Phone To／Mail To／Web To／Media To／ｉアプリTo機能を使う

サイトのページやメールなどに、電話番号、メールアドレス、URLが反転表示されている場合、これらを利用して簡単な操作で電話をかけたり、ｉモードメールの送信、インターネットホームページを表示したりできます。また、ワンセグ視聴情報が反転表示されている場合は、ワンセグ視聴や視聴予約ができます。

- パソコンなどから送信されたメールでは、Phone To、AV Phone To、Mail To、Web To、Media To機能を利用できない場合があります。

Phone To／AV Phone To機能

サイトやメールに反転表示されている電話番号へ音声電話（Phone To）／テレビ電話（AV Phone To）をかけます。

1 電話番号を選択▶次の操作を行う

音声発信：音声電話をかけます。

テレビ電話発信：テレビ電話をかけます。

SMS：選択中の電話番号を宛先にしたSMSを作成します。

電話帳登録：選択中の電話番号を電話帳に登録します。
「リダイヤルや着信履歴などから電話帳に登録する」の操作2（P88）へ進みます。

コピー：選択中の電話番号をコピーします。

お知らせ

- サイトによっては、Phone To／AV Phone To機能を利用できない場合があります。
- メールの場合は表示される順番が異なります。

Mail To機能

サイトやメールに反転表示されているメールアドレスへｉモードメールを送ります。

1 メールアドレスを選択

「ｉモードメールを作成して送信する」の操作3（P138）へ進みます。

お知らせ

- サイトによっては、Mail To機能を利用できない場合があります。

Web To機能

サイトやメールに反転表示されているURLのサイトに接続します。

1 URLを選択

- メールの場合は、さらに［■］［接続］を押してください。

お知らせ

- サイトによっては、Web To機能を利用できない場合があります。
- URLの表示はサイトによって異なります。
- URL以外の反転された情報を使ってWeb To機能を利用できる場合があります。

Media To機能

ワンセグ視聴や視聴予約ができます。

1 ワンセグ視聴情報を選択▶「はい」

お知らせ

- 他の機能が動作しているときは、Media To機能を利用できない場合があります。

ｉアプリTo機能

サイトやｉモードメールに反転表示されているURLからｉアプリを起動します。

- 「ｉアプリTo設定」（P285）で、「サイトからｉアプリTo」「メールからｉアプリTo」にチェックを付けていない場合は、ｉアプリは起動しません。

1 ｉアプリの情報を選択▶「はい」

お知らせ

- ｉアプリTo機能でサイトからすぐに起動するソフトには、保存できないものがあります。

ｉモード設定

ｉモードの設定を行う

ｉモードやメッセージR/Fの機能を設定します。

通信

通信の設定を行う

1 ｉモードメニュー画面（P182）▶「ｉモード設定」▶「通信」▶次の操作を行う

［接続待ち時間設定］

サイトが混み合っていて応答がなかったときなど、自動的に接続を中止するまでの時間を設定します。→P199

［ｉモード問い合わせ］

「ｉモード問い合わせ」をするときに、問い合わせる項目を設定します。

▶問い合わせたい項目にチェックを付ける▶［ｉα］［完了］

表示・効果設定

表示・効果の設定を行う

1　iモードメニュー画面(P182)▶「iモード設定」▶「表示・効果設定」▶次の操作を行う

[画像]
サイトや画面メモなどに含まれている画像やFlash画像を表示するかどうかを設定します。

[効果音設定]
サイトや画面メモに含まれているFlash画像の効果音を再生するかどうかを設定します。

[文字サイズ]
サイト、画面メモの文字サイズを設定します。

[スクロール]
サイト、画面メモでの操作をしたときにスクロールする行数を設定します。

[端末情報データ利用設定]
サイトや画面メモ表示中にFlash画像を表示する場合、FOMA端末の情報を利用することがあります。その際に、端末情報データを利用するかどうかを設定します。

[メッセージ自動表示設定]
メッセージR/Fの自動表示のしかたを設定します。→P173

[メロディ自動再生]
メッセージR/Fを表示したときにメロディを自動再生するかどうかを設定します。→P173

お知らせ

＜画像＞
- 「ON」に設定しても、正しく表示されない場合があります。その場合は☒が表示されます。

＜効果音設定＞
- 「ON」に設定しても、Flash画像によっては効果音が鳴らない場合があります。

＜端末情報データ利用設定＞
- 「ON」に設定すると、電池残量、受信レベル、時刻情報、着信音量設定、Select language、機種情報がインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得される可能性があります。

ホーム

ホームの設定を行う

サイト表示画面のサブメニューから「ホーム」を選択して表示されるページのURLを設定します。

1　iモードメニュー画面(P182)▶「iモード設定」▶「ホーム」

2　「有効」▶「http://」欄を選択▶URLを入力▶[完了]

お知らせ

- 「無効」に設定すると、「ホーム」を選択しても、設定したページを表示しません。「http://」欄に入力したURLはそのまま残ります。

その他

その他の設定を行う

1 ｉモードメニュー画面(P182)▶「ｉモード設定」▶「その他」▶次の操作を行う

［ｉモード設定確認］
「ｉモード設定」で設定した内容を確認します。

［ｉモード設定リセット］
「ｉモード設定」で設定した内容をお買い上げ時の状態に戻します。
▶端末暗証番号を入力▶「はい」

接続待ち時間設定

接続待ち時間設定を設定する

サイトが混み合っていて応答がなかったときなど、自動的に接続を中止するまでの時間を設定します。

1 ｉモードメニュー画面(P182)▶「ｉモード設定」▶「通信」▶「接続待ち時間設定」▶「60秒間」／「90秒間」／「無制限(設定なし)」

- 「無制限（設定なし）」に設定すると自動的には中止しません。

お知らせ

- 「無制限（設定なし）」に設定しても、電波状況などにより切断される場合があります。

接続先選択

ｉモードから接続先を変更する

※ドコモのｉモードサービスを利用する場合、設定を変更する必要はありません。

ｉモード（ドコモ）以外のサービスを受けるときに使う接続先（APN）の設定をします。登録した接続先に変更したときはｉモードやｉモードメールは利用できなくなります。

接続先を追加する

1 MENU▶「Settings」▶「国際ローミング設定」▶「ネットワーク」▶「接続先選択」

接続先選択画面

2 ｉα［追加］▶端末暗証番号を入力▶次の操作を行う

［接続先名称］
接続先の名称を、全角15文字、半角30文字以内で入力します。

［接続先番号］
接続先の番号を、半角英数字99文字以内で入力します。

［接続先アドレス］
接続先のアドレスを、半角英数字30文字以内で入力します。

[接続先アドレス2]
ｉチャネルの接続先アドレスを、半角英数字30文字以内で入力します。

3 [iα][完了]

接続先を変更する

1 接続先選択画面(P199)▶変更したい接続先を選択

接続先選択画面のサブメニュー

1 接続先選択画面(P199)▶接続先にカーソルを移動▶[MENU][メニュー]▶次の操作を行う

- 「ｉモード」選択中は操作できません。

[新規追加]
接続先を追加します。→P199

[編集]
接続先の設定を編集します。
▶端末暗証番号を入力▶接続先の設定を編集する▶[iα][完了]

[削除]
選択中の接続先を削除します。
▶「はい」▶端末暗証番号を入力

[表示]
選択中の接続先の設定を表示します。
- [■][編集]：接続先の設定を編集します。

お知らせ

- 接続先を変更した場合、ｉチャネルのテロップは表示されなくなります。情報が自動更新されるか、待受画面で[CLR]を押して最新の情報を受信すると、テロップも自動的に流れるようになります。
- 設定中の接続先を削除すると、「ｉモード」が接続先に設定されます。

SSL証明書操作

SSL証明書を操作する

SSL証明書の内容を確認したり、有効／無効を設定します。

1 ｉモードメニュー画面(P182)▶「ｉモード設定」▶「証明書」

- [■][選択]：選択中の証明書の内容を表示します。

2 証明書にカーソルを移動▶[iα][無効･有効]

- [MENU][メニュー]を押して「証明書参照」「有効／無効」を選択できます。

アイコン	説　明
(SSL)	有効な証明書
(SSL無効)	無効な証明書

SSL通信で使用する証明書について
認証会社が発行した証明書で、お買い上げ時のFOMA端末内に保存されています。

ｉモーションとは

ｉモーションとは映像と音が含まれる動画データです。ｉモーション対応サイトからFOMA端末に取り込み、再生したり、保存して待受画面や着信音などに設定できます。

ｉモーションのタイプ

ｉモーションには、大きく分けて次の2つのタイプがあります。

■標準タイプ

標準タイプには次の2つの形式があります。

①取得後に再生可能な形式（最大10Mバイトまで）

②取得しながら再生可能な形式（最大10Mバイトまで）

- ｉモーションによっては、標準タイプでも保存できない場合があります。

■ストリーミングタイプ

データを取得しながら同時に再生するタイプで、最大10Mバイトのｉモーションを再生できます。再生が終了したデータは破棄されるため、FOMA端末に保存できません。

お知らせ

- 取得、再生できるｉモーションはMP4（Mobile MP4）形式です。ASF形式のｉモーションの取得、再生はできません。

ｉモーション取り込み

サイトからｉモーションを取得する

ｉモーションは最大2000件まで保存できます。ただし、データ量により保存できる件数は異なります。

- 取得したｉモーションは、「データBOX」内「ｉモーション」の「ｉモード」フォルダまたはmicroSDカードに保存されます。

1 **サイト表示中▶ｉモーションを選択**

- 「自動再生設定」を「ON」に設定している場合は、取得した後に自動的にｉモーションが再生します。
  再生中の操作→P308

■ストリーミングタイプのｉモーションの場合

- 再生するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉモーションを取得しながら再生します。
- 「ｉモーションタイプ」が「標準タイプ」に設定されている場合は、再生できません。「標準・ストリーミングタイプ」に変更してから、再度ｉモーションを取得してください。→P202

2 **取得完了後に[CLR]▶「保存」**

再生　：取得したｉモーションを再生します。

情報表示：取得したｉモーションの情報を表示します。

戻る　：ｉモーションを保存せずにサイト表示画面に戻ります。

- microSDカードを取り付けている場合は、さらに保存先を選択します。

次のページへ続く

お知らせ

- 接続するサイトやｉモーションによっては、取得またはデータ取得中の再生ができない場合があります。
- データを取得しながら再生する場合、電波状況などにより再生が停止したり、画像が乱れたりすることがあります。
- ｉモーションによっては、取得したデータをFOMA端末に保存できない場合があります。
- ｉモーションには再生制限が設定されているものがあります。再生回数が制限されているｉモーションには、再生期間または再生期限のあるｉモーションにはが表示されます。再生できる期間が制限されているｉモーションは、期間前や期間後には再生できません。
- 取得したｉモーションによっては、正しく再生できない場合があります。

テロップ中にリンクが設定されていた場合

テロップが設定されているｉモーションの場合、再生中にテロップが表示されます。電話番号、メールアドレス、URLが設定されていたときは、再生終了時にPhone To、AV Phone To、Mail To、Web To機能を利用できます。

1 ｉモーション再生終了▶項目を選択

自動再生設定

ｉモーションを自動再生するかどうかを設定する

サイトやメールからｉモーションを取得したとき、ｉモーションを自動再生するかどうかを設定します。

1 ｉモードメニュー画面(P182)▶「ｉモード設定」▶「ｉモーション設定」▶「自動再生設定」

「自動再生設定」を選択するたびにONとOFFが切り替わります。

ｉモーションタイプ

取得するｉモーションのタイプを設定する

サイトから新しいｉモーションを取得するとき、取得するｉモーションのタイプを設定します。

1 ｉモードメニュー画面(P182)▶「ｉモード設定」▶「ｉモーション設定」▶「ｉモーションタイプ」▶タイプを選択

標準タイプ：標準タイプのｉモーションだけを取得します。

標準・ストリーミングタイプ
：標準タイプおよびストリーミングタイプのｉモーションを取得します。

お知らせ

- ストリーミングタイプのｉモーションを取得する場合は、「標準・ストリーミングタイプ」に設定する必要があります。

ｉチャネルとは

ニュースや天気などの情報がｉチャネル対応端末に配信するサービスです。自動的に受信した最新の情報が待受画面にテロップとして流れます。また、CLRを押すことで最新情報がチャネル一覧に表示されます。（チャネル一覧の表示方法は→P203）

- ｉチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモード契約が必要です）。

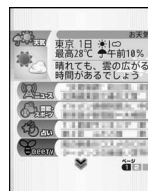
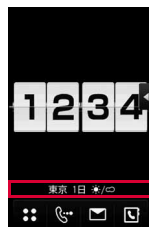
また、ｉチャネルにはドコモが提供する「ベーシックチャネル」とIP（情報サービス提供者）が提供する「おこのみチャネル」の2種類があります。「ベーシックチャネル」は、配信される情報の自動更新時にパケット通信料はかかりません。お好きなチャネルを登録し利用できる「おこのみチャネル」は、情報の自動更新時に別途パケット通信料がかかります。「ベーシックチャネル」「おこのみチャネル」ともに、詳細情報を閲覧する場合は別途パケット通信料がかかりますのでご注意ください。国際ローミングサービスご利用の際は、自動更新・詳細情報の閲覧共にパケット通信料がかかります。

- ｉチャネルの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

ｉチャネルを表示する

ｉチャネルを契約した場合、情報を受信したタイミングで待受画面のテロップに自動的に情報が流れます。

- テロップを自動的に表示するには「テロップ表示」を「ON」に設定してください。→P204
- 公共モード（ドライブモード）設定中は、テロップは表示されません。

1 待受画面▶CLR

テロップ

2 チャネル項目を選択

サイトに接続し、詳細情報が表示されます。

- □：チャネル一覧画面に戻ります。

お知らせ

- 情報受信中は が点滅します。
- 情報を受信しても、着信音、バイブレータは鳴動しません。また、イルミネーションも点灯／点滅しません。
- 端末の電源がOFF、もしくは圏外であった場合や、電波状況が良くないときは、情報を受信できない場合があります。待受画面で を押して情報を受信すると、待受画面のテロップに自動的に情報が流れます。また、お買い上げ時の状態のままでは情報を受信できない場合があります。その場合は、待受画面で を押すと情報を受信し、待受画面のテロップに自動的に情報が流れます。
- ご利用の状況により、チャネル一覧を表示したタイミングで情報を受信する場合があります。
- 「接続先選択」で接続先を変更した場合は、ｉチャネルの接続先も変更されます（通常は設定を変更する必要はありません）。
- ｉチャネル解約後などは、自動的に表示されなくなります。
- 待受画面にｉモーションを設定している場合、ｉモーション再生中はテロップが表示されません。
- 次の場合、チャネル情報が取得できなかったというメッセージが表示されることがあります。
  - ｉチャネルの接続先を変更した場合
  - FOMAカードを差し替えた場合
- ｉチャネルでは、タッチ操作ができません。

ｉチャネル設定

ｉチャネルの設定を行う

待受画面にテロップを表示するかどうかや、テロップの流れる速度を設定します。また、FOMA端末に記録されたｉチャネルの情報をすべて削除できます。

1 待受画面▶ ▶「ｉチャネル」▶次の操作を行う

［ｉチャネルリスト］
チャネル一覧画面を表示します。→P203

［テロップ設定］

テロップ表示：待受画面にテロップを表示するかどうかを設定します。
テロップ速度：テロップの流れる速度を設定します。
テロップ文字サイズ：テロップの文字サイズを設定します。
テロップ文字色：テロップの文字色を設定します。

［ｉチャネル初期化］
FOMA端末にダウンロードされたｉチャネルデータを削除し、テロップ設定をお買い上げ時の状態に戻します。

お知らせ

<テロップ表示>

- ｉチャネル解約前にｉモードサービス解約を行った場合、「テロップ表示」の設定はそのままになります。

フルブラウザ

フルブラウザ

パソコン向けのインターネットホームページを表示する

フルブラウザを利用すると、パソコン向けに作成されたインターネットホームページをFOMA端末で表示できます。

- ページによっては、正しく表示されないことがあります。
- 1ページあたり約500Kバイトまで表示できます。
- 画像を多く含むインターネットホームページの閲覧、データのダウンロードなどのデータ量の多い通信を行うと、通信料金が高額になりますので、ご注意ください。パケット通信料および料金プランについては、『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。

フルブラウザメニューを表示する

1 iモードメニュー画面(P182)▶「フルブラウザ」

フルブラウザメニュー画面

2 次の操作を行う

[ホーム]
「ホーム」として設定しているURLのインターネットホームページを表示します。

[Bookmark]
ブックマークフォルダの一覧画面を表示します。

[ラストURL]
最後に表示したインターネットホームページを表示します。

[Internet]
URL入力：URLを入力してインターネットホームページを表示します。→P207
URL履歴：URL履歴を選択してインターネットホームページを表示します。「URL履歴を使って表示する」の操作2（P189）へ進みます。

[フルブラウザ設定]
フルブラウザに関する機能を設定します。→P214

お知らせ
- フルブラウザでは、SSL／TLS対応のページを表示できます。
- SSL／TLSとは、認証／暗号技術を使用してより安全にデータ通信を行なう方式のことです。SSL／TLSページではデータを暗号化して送受信することにより、通信途中での盗聴、なりすましや書き換えを防止し、クレジットカード番号や住所などお客様の個人情報をより安全にやり取りできるようにしています。

URLを入力して表示する

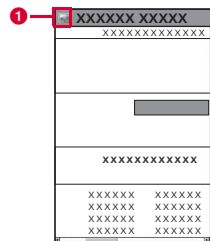
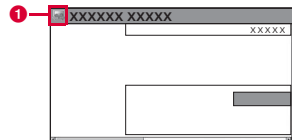
1 フルブラウザメニュー画面(P206)▶「Internet」

2 「URL入力」▶[■][選択]▶URLを入力▶[iα][接続]

- フルブラウザの「アクセス設定」(P214)が、「利用しない」に設定されている場合、フルブラウザ起動時にフルブラウザを利用するかどうかを確認するアクセス設定画面が表示されます。「利用する」を選択すると、アクセス設定が「利用する」に設定され、インターネットホームページが表示されます。フルブラウザを終了しても、この設定は有効です。ページによっては、表示に時間がかかる場合があります。
- 半角で2033文字まで入力できます。
- フルブラウザ通信中は画面上部にが表示されます。
- ページ取得中に中止するときは[iα][ストップ]を押します。
- 入力したURLは、フルブラウザメニュー画面(P206)▶「Internet」▶「URL履歴」を選択すると、URL履歴を利用してインターネットホームページを表示できます。操作方法は、iモードの「URL履歴を使って表示する」(P189)を参照してください。
- インターネットホームページを閉じるときは、[⌐]▶「はい」を選択します。

お知らせ

- ページによっては、自動的に通信するものがあります。通信を開始するときは、通信するかどうかの確認画面が表示されます。
確認画面で通信方法を選択します。
はい(今回のみ)
　：今回のみ通信します。
はい(以降確認しない)
　：以降は自動的に通信し、確認画面は表示されません。
いいえ：通信しません。

フルブラウザの表示について

ホームページ表示中画面(縦画面)　　ホームページ表示中画面(横画面)

❶ **表示モード**
: PCレイアウトモード時のみ表示→P215

■インターネットホームページ表示中のキー操作

操 作	説 明
(ケータイモード時)、(PCレイアウトモード時)、▲/▼	押した方向に画面をスクロール
[✉][∧]※	上にスクロール
[📷TV][∨]※	下にスクロール
[MENU][メニュー]※	サブメニューの表示
[iα][アクション]※	アクションメニューの表示
[■]	リンクの選択
ダイヤルキー、[＊]、[＃]※	ショートカット操作→P208

※ 縦画面でのみ有効です。

ショートカット操作について

ホームページ表示中に、ダイヤルキーを直接押して操作することができます。お買い上げ時には、あらかじめ以下の操作が割り当てられています。割り当てられた操作は、変更することもできます。

■ ショートカット操作

操　作	説　明
1（ズームアウト）	表示を縮小
2（上ページスクロール）	画面を上にスクロール
3（ズームイン）	表示を拡大
4（左ページスクロール）	画面を左にスクロール
5（PagePilot）	ページ全体を表示→P210
6（右ページスクロール）	画面を右にスクロール
7（前のページに戻る）	前のページを表示
8（下ページスクロール）	画面を下にスクロール
9（次のページに進む）	次のページを表示
0（Bookmark一覧）	登録しているBookmarkの一覧を表示
*（左ウィンドウに切替）	マルチウィンドウで表示中に左のウィンドウを表示する
#（右ウィンドウに切替）	マルチウィンドウで表示中に右のウィンドウを表示する

ショートカットに割り当てられた操作を変更するには

① ホームページ表示中▶MENU［メニュー］▶「ショートカット一覧」
ショートカット一覧画面が表示されます。

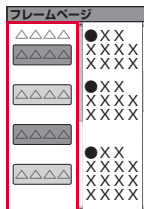
② 割り当てを変更したいショートカットにカーソルを移動▶■［編集］▶割り当てたい操作にカーソルを移動▶■［完了］

お知らせ

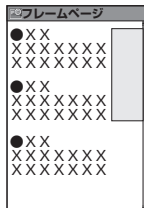
- 表示できる画像ファイルは、JPEG・GIF・BMP・PNG形式のものです。
- 次の機能には対応しておりません。
  - Flash画像の表示　- プラグイン　- 音の再生
  - 画面メモ保存　- Phone To（AV Phone To）
- SSL／TLS通信にFOMA端末に保存されているユーザ証明書が必要な場合、証明書の選択画面が表示されます。
- FOMA端末を左側に傾けると、自動的に横画面に切り替わります。

フレームページを表示する

複数のフレームで構成されたインターネットホームページを表示できます。

1 フレームで構成されたインターネットホームページを表示

フレーム
全体表示画面

2 拡大表示したいフレームを選択

- フレーム全体表示画面に戻るときは、[CLR]を押します。

フレーム
拡大表示画面

お知らせ

- フレームでの分割数が多いインターネットホームページの場合、すべてのフレームを表示できない場合がります。

マルチウィンドウで表示する

複数のウィンドウを同時に開いて、切り替えながら表示できます。

- ウィンドウは最大5つまで表示できます。フレーム数やページ内容によっては最大数まで表示できない場合があります。

1 インターネットホームページ表示中▶[MENU][メニュー]▶「ウィンドウ操作」▶「新ウィンドウで開く」▶次の操作を行う

[一覧]
ブックマークフォルダの一覧画面を表示します。

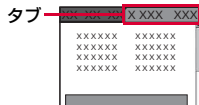
[Internet]
URL入力：URLを入力してインターネットホームページを表示します。→P207
URL履歴：URL履歴を選択してインターネットホームページを表示します。「URL履歴を使って表示する」の操作2（P189）へ進みます。

[ホーム]
「ホーム」として設定しているURLのインターネットホームページを表示します。

[リンク]
リンク先のページを表示します。

次のページへ続く

お知らせ

- 画面上部にタブが表示されます。ウィンドウを切り替えるには、MENU［メニュー］▶「ウィンドウ操作」▶「ウィンドウ切替」▶表示したいウィンドウ名を選択します。表示中のインターネットホームページのタブが前面に表示されます。

フルブラウザ表示中の操作について

フルブラウザでの表示中の操作は、ｉモードのInternetメニューからのサイト表示操作（P186）と基本的な部分は共通です。ここでは、異なる部分を中心に説明します。

フルブラウザ表示画面のサブメニュー

1 インターネットホームページ表示中▶MENU［メニュー］▶次の操作を行う

［ページ移動］

前のページへ：これまで表示してきたインターネットホームページをさかのぼって表示します。

次のページへ：インターネットホームページをさかのぼって表示したときに、表示中のインターネットホームページの次の画面を表示します。

表示履歴：これまで表示した履歴を利用してインターネットホームページを表示します。

ホーム：「ホーム」として設定しているURLのインターネットホームページを表示します。

［再読込み］

表示中のインターネットホームページを再度読み込みます。

［Bookmark］

インターネットホームページをブックマークに登録したり、ブックマークフォルダの一覧画面を表示したりします。

［Internet］

URL入力：URLを入力してインターネットホームページを表示します。→P207

ホーム：「ホーム」として設定しているURLのインターネットホームページを表示します。

URL履歴：URL履歴を選択してインターネットホームページを表示します。「URL履歴を使って表示する」の操作2（P189）へ進みます。

［表示］

インターネットホームページの表示関連の設定をします。

ズーム：
- ズームイン：インターネットホームページの表示を拡大します。
- ズームアウト：インターネットホームページの表示を縮小します。
- 画面倍率：インターネットホームページの表示倍率を設定します。

表示モード切替：インターネットホームページの表示モードを切り替えます。→P215

PagePilot：表示中のインターネットホームページの全体を縮小表示し、表示したい部分を選択することができます。
▶表示したい部分にカーソルを移動▶■［選択］

フレーム全体表示
：フレーム拡大表示画面を表示中に、フレーム全体表示画面を表示します。

ページ内移動：インターネットホームページの先頭や末尾を表示します。
- ページの先頭へ：表示中のインターネットホームページの先頭へ移動します。
- ページの末尾へ：表示中のインターネットホームページの末尾へ移動します。

ページ内検索：表示中のインターネットホームページ内の文字を検索します。検索した文字があるときは、一致した文字が強調表示されます。
▶検索文字入力欄を選択▶検索文字を入力▶[iα]［完了］
完全に一致する語句だけを検索するには、「完全一致」にチェックを付けます。
大文字と小文字を区別して検索するときには、「大文字小文字の区別」にチェックを付けます。
検索結果を順に表示するには[MENU]［前］／[iα]［次］を押します。
[CLR]を押すと、ページ内検索を終了します。

文字コード変換：表示中のインターネットホームページの文字コードを変更します。
文字コード変換をするたびに、Shift-JIS→EUC→JIS→UTF-8の順に切り替わります。

アニメーション再生
：表示中のGIFアニメーションを先頭のフレームから再生します。

タイトル表示：表示中のインターネットホームページのタイトルを表示します。

URL表示：
URL表示：表示中のインターネットホームページのURLを表示します。
- URLをコピーするには、[MENU]［メニュー］▶「コピー」を選択します。

リンク先URL表示
：選択しているリンク先のURLを表示します。
- URLをコピーするには、[MENU]［メニュー］▶「コピー」を選択します。

証明書表示：インターネットホームページの証明書を表示します。

［ウィンドウ操作］

新ウィンドウで開く：一覧／Internet／ホーム／リンクから呼び出した別のインターネットホームページを新しいウィンドウで表示します。→P209

裏ウィンドウで開く：一覧／Internet／ホーム／リンクから呼び出した別のインターネットホームページを裏ウィンドウで表示します。→P209

リンクを開く：選択中のリンクを新しいウィンドウで表示します。
- リンク先が動画ファイルの場合、新ウィンドウを閉じて動画アプリケーションが起動します。

ウィンドウを閉じる：表示中のインターネットホームページを閉じます。

ウィンドウ切替：マルチウィンドウを表示中に、開いているインターネットホームページを一覧から選択します。

［画像保存］

インターネットホームページ上の画像をFOMA端末またはmicroSDカードに保存します。

▶保存したい画像を選択▶「はい」
- microSDカードを取り付けている場合は、さらに保存先を選択します。

［テキスト］

テキストコピー：インターネットホームページ上の文字をコピーします。
コピーしたい文字が含まれる範囲の始点を選択▶終点を選択▶始点を選択▶終点を選択
- [iα]［全選択］を押すとすべての文字をコピーします。

テキスト貼付：コピーした文字を選択中のテキストボックスに貼り付けます。

[メール作成]
表示中のインターネットホームページのURLを本文に貼り付けて、ｉモードメールを作成します。「ｉモードメールを作成して送信する」の操作2（P138）へ進みます。
リンク先選択中は、次の項目のいずれかを選択してください。

このページ：表示中のインターネットホームページのURLを貼り付けます。
リンク先ページ：選択中のリンク先のURLを貼り付けます。

[設定]
画像表示：画像を表示するかどうかを設定します。
ホーム登録：表示中のインターネットホームページを「ホーム」に登録します。
TLS：TLSを使用するかどうかを設定します。通常は設定を変える必要はありません。

[ショートカット一覧]
ダイヤルキーに割り当てた操作を一覧で確認できます。割り当てたショートカットを変更することもできます。→P208

お知らせ
- インターネットホームページによっては、文字が正しく表示されなかったり、実際のインターネットホームページ画面と同じ表示ができない場合があります。文字が正しく表示されない場合は、「文字コード変換」（P211）を行うと正しく表示できる場合があります。
- インターネットホームページ表示時に、通信エラーなどで画面に表示できるデータが何も取得できなかった場合、画面に☒が表示されることがあります。この場合はインターネットホームページの再読込み（P210）を行うことで、正しく表示される場合があります。

<画像保存>
- 保存できる画像ファイルはJPEG・GIF・BMP・PNG形式で、100Kバイトまでのものです。
- BMP形式とPNG形式の場合は、自動的にmicroSDカードの「OTHER」フォルダに保存されます。FOMA端末には保存できません。
- サイトによっては、画像を保存できない場合があります。

<テキスト>
- ページによっては、テキストコピーができない場合があります。

フルブラウザ表示画面のアクションメニュー

1 インターネットホームページ表示中▶[iα][アクション]▶次の操作を行う

[リンクを開く]
リンク先のページを表示します。

[リンク先URL表示]
選択しているリンク先のURLを表示します。

[画像保存]
選択している画像をFOMA端末またはmicroSDカードに保存します。→P211

[テキスト貼付]
コピーした文字を選択中のテキストボックスに貼り付けます。

[ズームイン]
インターネットホームページの表示を拡大します。

[ズームアウト]
インターネットホームページの表示を縮小します。

[表示モード切替]
インターネットホームページの表示モードを切り替えます。→P215

[PagePilot]
表示中のインターネットホームページの全体を縮小表示し、表示したい部分を選択することができます。→P210

[ページの先頭へ]
表示中のインターネットホームページの先頭へ移動します。

[ページの末尾へ]
表示中のインターネットホームページの末尾へ移動します。

[テキストコピー]
インターネットホームページ上の文字をコピーします。→P211

お知らせ
- 操作の状況によって表示されない項目があります。

画像をアップロードする

FOMA端末に保存しているJPEG形式、GIF形式の画像をインターネットホームページにアップロードできます。
- 画像をアップロードする方法は、インターネットホームページによって異なります。表示される画面に従って操作してください。

お知らせ
- アップロードできる画像のサイズは、最大80Kバイトです。ただし、複数の画像や文字列を含む場合は、合計で最大100Kバイトです。
- インターネットホームページによっては、アップロードできない場合があります。
- FOMA端末外への出力が禁止されている画像はアップロードできません。

Bookmark
ブックマークに登録する

1 **インターネットホームページ表示中▶MENU[メニュー]▶「Bookmark」▶「登録」**

2 **タイトル欄を選択▶タイトルを編集▶iα[追加]▶登録したいフォルダを選択**

お知らせ
- ブックマークのフォルダ一覧やブックマーク一覧から行える操作は、iモードと同じです。→P190

iモードからフルブラウザに切り替える

iモードでインターネットホームページを表示中に、フルブラウザに切り替えて表示できます。
- ページによっては表示されない場合や、正しく表示されない場合があります。
- iモードとフルブラウザでは課金体系が異なり、画像を多く含むインターネットホームページの閲覧、データのダウンロードなどのデータ量の多い通信を行うと、通信料金が高額になりますので、ご注意ください。パケット通信料および料金プランについては、『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。

1 **iモードでサイト表示中▶MENU[メニュー]▶「フルブラウザ切替」▶「OK」**

フルブラウザ設定

フルブラウザの設定をする

ブラウザの機能を設定します。

通信

通信の設定を行う

1 フルブラウザメニュー画面(P206)▶「フルブラウザ設定」▶「通信」▶次の操作を行う

[アクセス設定]
フルブラウザ起動に関する注意事項を確認します。
- 設定を変更してフルブラウザ機能を利用する場合は、アクセス設定画面内の「注意事項の詳細」を必ずお読みください。

[Cookie設定]
Cookieを有効にするかどうかを設定します。Cookieとは、インターネットホームページに接続したときに、FOMA端末にユーザ名やアクセス日時、アクセス回数などのデータを一時的に保存しておき、次に同じページにアクセスしたときに送信して利用するしくみです。
- Cookieを有効にしたことで第三者にお客様の情報が知られても、当社としましては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 「有効（毎回確認）」を選択すると、「送信時のみ」「受信時のみ」「送受信時」を選択できます。

[Cookie削除]
Cookieを削除します。
▶端末暗証番号を入力▶「はい」

[Referer設定]
リンクを選択してインターネットホームページを表示したときに、Referer（どこからリンクしてきたかを示すリンク元情報）を送信するかどうかを設定します。
- Refererを送信したことで第三者にお客様の情報が知られても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

[TLS]
TLSは、認証や暗号技術を使用して、プライバシーを守ってより安全にデータ通信を行う方式です。TLSを使用するかどうかを設定します。通常は設定を変える必要はありません。

お知らせ

<アクセス設定>
- FOMAカードを別のFOMAカードに差し替えると、アクセス設定は無効になります。

<Cookie設定>
- FOMAカードを別のFOMAカードに差し替えると、Cookieは「無効」になります。
- 「無効」から「有効」／「有効（毎回確認）」に変更した場合、FOMAカード情報が一致しないときは、端末暗証番号の入力が必要になります。

表示・効果設定

表示・効果の設定を行う

1 フルブラウザメニュー画面(P206)▶「フルブラウザ設定」▶「表示・効果設定」▶次の操作を行う

[画面倍率]
インターネットホームページの表示倍率を設定します。

[表示モード設定]
インターネットホームページの表示方法を設定します。

PCレイアウトモード：パソコンで見るときと同じようにインターネットホームページを表示します。上下左右にスクロールできます。

ケータイモード：インターネットホームページをディスプレイの横幅に合わせて表示します。上下にスクロールできます。

[画像表示設定]
画像を表示するかどうかを設定します。

[Bookmark表示]
登録したブックマークフォルダの表示方法を設定できます。

[ウィンドウオープンガード設定]
インターネットホームページのJavaScriptから新規ウィンドウを開く指示があったときの動作を設定します。

有効：新規ウィンドウは開きません。

無効：新規ウィンドウが開くときに、確認画面が表示されます。

[Script設定]
JavaScriptを有効にするかどうかを設定します。JavaScriptとは、インターネットホームページで動作するプログラムです。

- ページによっては、「無効」に設定すると正しく表示できない場合があります。

ホーム設定

ホームの設定を行う

1 フルブラウザメニュー画面(P206)▶「フルブラウザ設定」▶「ホーム設定」

2 [■][選択]▶URLを入力▶[i α][完了]

- 半角で2033文字まで入力できます。

その他

その他の設定を行う

1 フルブラウザメニュー画面(P206)▶「フルブラウザ設定」▶「その他」▶次の操作を行う

[フルブラウザ設定確認]
フルブラウザの各種設定を一覧表示します。

[フルブラウザ設定リセット]
フルブラウザの設定をリセットします。

▶端末暗証番号を入力▶「はい」

カメラ

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

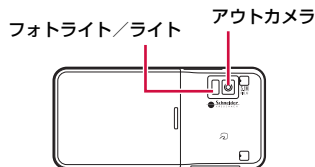
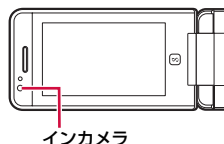
カメラをご利用になる前に

撮影するときのご注意

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見えたり暗く見えたりする画素や線がある場合があります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、白い線などのノイズが増えますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- 撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いておいてください。レンズに指紋や油脂などがつくと、ピントが合わなくなったり不鮮明な画像になったりすることがあります。
- FOMA端末を暖かい場所や直射日光が当たる場所に長時間放置したりすると、撮影する画像や映像が劣化することがあります。
- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で点滅している照明下で撮影すると、画面がちらついたり縞模様が現れたりするフリッカー現象が起きる場合があり、撮影のタイミングによっては静止画や動画の色合いが異なることがあります。
- レンズ部分に直射日光を長時間当てたり、太陽や明かりの強いランプなどを直接撮影したりしないでください。撮影した画像の色が変色したり、故障の原因となったりします。
- 撮影時は、レンズに指や髪、ストラップなどがかからないようにしてください。
- 速く動いている被写体を撮影すると、撮影したときに画面に表示されていた位置とは若干ずれた位置で撮影されたり、画像がぶれたりする場合があります。
- 電池残量が少ないときは、撮影した静止画や動画を保存できない場合があります。電池残量を確認してから撮影してください。
- 撮影した静止画や動画は、実際の被写体と明るさや色合いが異なる場合があります。
- シャッター音はマナーモード設定中でも一定の音量で鳴ります。また、FOMA端末に平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を取り付けている場合でも、スピーカーからシャッター音が鳴ります。

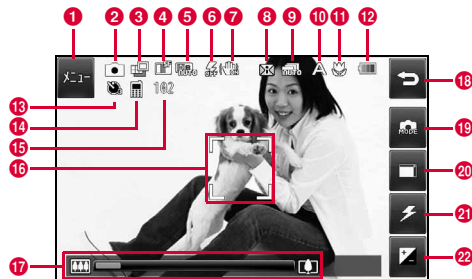
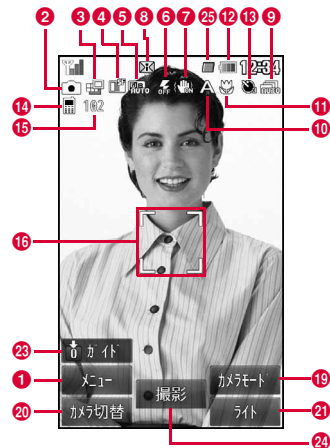
カメラの使いかた

開いた状態でもターンビュースタイルでも撮影できます。
本書の操作説明では横撮り（ターンビュースタイルでの撮影）を優先して記載しています。
また、撮影状況に合わせてインカメラとアウトカメラを切り替えて使います。

■アウトカメラ
他の人や風景などを撮影するときに使うと便利です。画面には自分の見たとおりに表示されます（正像表示）。アウトカメラでは、オートフォーカスを使って静止画を撮影できます。→P225

■インカメラ
自分を撮影するときに使うと便利です。画面は左右が反転した状態（鏡像）で表示されます。撮影結果は鏡像表示と正像表示（左右が反転しない状態）を選んで保存できます。→P224

お知らせ

- 静止画／動画撮影時にはフォトライトがオレンジ色に点灯、点滅します。
- ライトはアウトカメラで撮影するときだけ有効です。

撮影画面の見かた

静止画／動画撮影画面に表示されるマーク（アイコンなど）の意味は次のとおりです。

静止画撮影画面（横撮り）

静止画撮影画面（縦撮り）

動画撮影画面（横撮り）

次のページへ続く

動画撮影画面（縦撮り）

❶ **メニュー**

❷ **カメラモード→P223、P228**
- フォトモード
- ビデオモード
- おもしろフェイス撮影モード

❸ **画像サイズ→P232、P233**
- 5.1M（2560×1920）
- 3M（2048×1536）
- 2M（1600×1200）
- 1M（1280×960）
- VGA（640×480）（アウトカメラの場合）
- VGA（480×640）（インカメラの場合）
- CIF（352×288）
- QVGA（320×240）
- QCIF（176×144）
- Sub-QCIF（128×96）
- 壁紙（800×480）

※ 静止画ファイルのカッコ内の数字は横撮りの場合の表示です。縦撮りの場合は左右の数字が入れ替わって表示されます。

❹ **画質→P233、P234**
- スーパーファイン
- ファイン
- 標準

❺ **ホワイトバランス**
- 自動
- 電球
- 晴天
- 蛍光灯
- 曇り

❻ **ライト→P222、P227**
- OFF
- 撮影時
- 常時点灯
- 自動

❼ **手ぶれ補正**
- ON

❽ **メールの受信状況→P34**

❾ **連続撮影→P232**
- 自動　手動

❿ **場面モード→P232**
- 自動
- 夜景
  - 暗い場所などで利用するときに設定します。
- ポートレート
- 風景
- スポーツ
- サンセット

⓫ **接写→P233**
接写ON

⓬ **電池残量表示→P50**

⓭ **セルフタイマー→P232**
3秒　10秒　15秒

⓮ **保存先メモリー→P233、P234**
本体メモリー
外部メモリー（microSDカード）

⓯ **撮影可能枚数→P468、P469**

⓰ **フォーカス枠→P225**
オートフォーカス機能の動作時に色が変わって状態を示します。

⓱ **ズームバー→P230**

⓲ **終了キー**
一つ前の画面に戻ります。

⓳ **カメラモード切替**
フォトモード
ビデオモード
バーコードリーダー
おもしろフェイス撮影モード
アルバム

⓴ **カメラ切替→P223、P227**

㉑ **ライト切替**
OFF
撮影時
常時点灯
自動

㉒ **明るさ→P231**

㉓ **キー操作のガイド表示**

㉔ **撮影→P223**

㉕ **タスク状態表示→P34**

㉖ **サイズ制限→P234**
制限なし　メールサイズ大　メールサイズ小

㉗ **撮影種別→P234**
音声＋映像　映像のみ　音声のみ

㉘ **合計撮影可能時間**

㉙ **録画開始キー→P227**

㉚ **録画→P228**

お知らせ

- 横撮りの場合、項目❶、⓱〜㉒、㉘、㉙は静止画撮影画面／動画撮影画面が表示されてから約3秒経過すると消えます。画面をタッチすると表示されます。

静止画／動画の保存形式について

		静止画ファイル	動画ファイル
ファイル形式		JPEG	MP4（Mobile MP4）
解像度※	アウトカメラ	5.1M（2560×1920） 3M（2048×1536） 2M（1600×1200） 1M（1280×960） VGA（640×480） CIF（352×288） QVGA（320×240） QCIF（176×144） Sub-QCIF（128×96） 壁紙（800×480）	QVGA（320×240） QCIF（176×144） Sub-QCIF（128×96）
	インカメラ	VGA（480×640） CIF（352×288） QVGA（320×240） QCIF（176×144） Sub-QCIF（128×96）	QVGA（320×240） QCIF（176×144） Sub-QCIF（128×96）
符号化方式		–	映像：MPEG-4 音声：AMR
拡張子		.jpg	.3gp

※ 静止画ファイルのカッコ内の数字は横撮りの場合の表示です。縦撮りの場合は左右の数字が入れ替わって表示されます。

	静止画ファイル	動画ファイル
ファイルの表示名	撮影した年月日時分が自動的に付けられます。 例：2009年8月1日10時10分10秒に撮影した場合 フォトモード：「P2009_0801_101010」 ビデオモード：「V2009_0801_1010_X」（Xは連番） ※ 保存先メモリーが「外部メモリー」（microSDカード）の場合、撮影種別が「音声＋映像」または「映像のみ」の場合は、「MOLXXX」（XXXは連番）となります。 撮影種別が「音声」の場合は、「MMFXXXX」（XXXXは連番）となります。	
最大ファイルサイズ	約5.1Mバイト	QCIF：約58Mバイト

フォトモード

静止画撮影

- 撮影した静止画はFOMA端末本体の「データBOX」内「マイピクチャ」の「カメラ」フォルダに保存されます。保存先をmicroSDカードに変更する場合は「保存先メモリー」（P233）で設定します。

1 待受画面▶📷

静止画撮影画面

■静止画撮影画面のタッチ操作とキー操作（横撮りの場合）

操　作	説　明
◎	シャッター
ズームバー、▲／▼	ズーム
「メニュー」	設定メニューの表示
↩	フォトモード終了
(カメラモード)	カメラモードを変更
(カメラ切替)	インカメラとアウトカメラを切り替え
(ライト)	ライトの点灯条件を設定
(明るさ)	明るさ調整バーの表示

■静止画撮影画面のキー操作（縦撮りの場合）

操　作	説　明
■［撮影］、◎	シャッター
、▲／▼	ズーム
	明るさ調整
1、iα［カメラモード］	カメラモードを変更
MENU［メニュー］	設定メニューの表示
TV［ライト］	ライトの点灯条件を設定
CLR	フォトモード終了
✉［カメラ切替］	インカメラとアウトカメラを切り替え
0	キー操作のガイド表示
2	サイズ選択→P232
3	撮影モード→P232
4	場面モード→P232
5	効果→P232

操　作	説　明
6	ホワイトバランス→P232
7	おもしろフェイス撮影モード→P226
8	接写→P233
9	セルフタイマー→P233
＊	保存先メモリー→P233
＃	「データBOX」の「マイピクチャ」内にある撮影画像などを表示
↗	オートフォーカス→P233

2 **カメラを被写体に向ける▶◎**

シャッター音が鳴り、静止画が撮影されます。
保存確認画面が表示され、撮影した画像を保存するかどうかを選択できます。

保存確認画面
（例：アウトカメラの場合）

■ 静止画保存確認画面のタッチ操作（横撮りの場合）

操　作	説　明
✉	撮影した画像が添付されたｉモードメールを作成
↩、NEW※2	撮影した画像を保存せずに、静止画撮影画面に戻る
💾	撮影した画像を保存
Picasa	撮影した画像を保存しPicasaにアップロード
鏡像※1	撮影した画像を鏡像で保存
正像※1	撮影した画像を正像／鏡像に切り替えて確認
ALL※2	撮影した連続写真をすべて保存
🗑※2	選択中の静止画を削除

※1：インカメラの場合のみ表示されます。
※2：連続撮影を設定している場合のみ表示されます。

■ 静止画保存確認画面のキー操作（縦撮りの場合）

操　作	説　明
i α［Picasa］	撮影した画像を保存しPicasaにアップロード
📷TV［メール］	撮影した画像が添付されたｉモードメールを作成
■［保存］	撮影した画像を保存
CLR、i α［新規］※2	撮影した画像を保存せずに静止画撮影画面に戻る
MENU［メニュー］※1	<鏡像保存> 撮影した画像を鏡像で保存 <正像確認> 撮影した画像を正像に切り替えて確認
■［全保存］※2	撮影した連続写真をすべて保存
✉［削除］※2	選択中の静止画を削除

※1：インカメラの場合のみ表示されます。
※2：連続撮影を設定している場合のみ表示されます。

3 💾／📱

「保存先メモリー」（P233）で設定された保存先に自動的に保存され、保存完了画面が表示されます。

- インカメラを使用した場合、撮影画面と保存確認画面では左右反転した状態（鏡像）で表示されますが、撮影した画像は左右反転しない状態（正像）で保存されます。鏡像のまま保存するには、「自動保存」を「OFF」にして、保存確認画面で鏡像をタッチします。

保存完了画面
（例：アウトカメラの場合）

■ 静止画保存完了画面のタッチ操作とキー操作（横撮りの場合）

操　作	説　明
✉	撮影した画像が添付されたｉモードメールを作成
NEW／📱	静止画撮影画面に戻る
壁紙	撮影した静止画を待受画面の壁紙などに設定
編集	撮影した静止画を編集
🗑	撮影した静止画を削除
Picasa	撮影した静止画をPicasaにアップロード

■ 静止画保存完了画面のキー操作（縦撮りの場合）

操 作	説 明
[Picasa]	撮影した画像をPicasaにアップロード
[メール]	撮影した画像が添付されたｉモードメールを作成
、 [新規]	静止画撮影画面に戻る
[メニュー]	＜設定＞ 撮影した静止画を待受画面の壁紙などに設定 ＜編集＞ 撮影した静止画を編集 ＜削除＞ 撮影した静止画を削除 ＜アルバム＞ 「データBOX」の「マイピクチャ」内にある撮影画像などを表示

オートフォーカス機能について

アウトカメラで撮影する場合は、画面中央部の被写体に自動でピントを合わせるオートフォーカス機能が動作します。静止画撮影画面でを押すと自動調節が開始され、フォーカス枠が赤くなります。ピントが合うとフォーカス枠が緑色に変わり、シャッターが切られます。

「連続撮影」で撮影した画像の場合

- 左横に撮影した画像が表示され、タッチした画像が画面中心に表示されます。
- 撮影した画像をすべて保存する場合は、をタッチします。
- 画像を選択してメール送信する場合は、送信する画像をタッチ▶をタッチします。
- 画像を選択して削除する場合は、削除する画像をタッチ▶をタッチします。

「自動保存」（P233）を「ON」に設定したときは

を押すと静止画が撮影され、「保存先メモリー」（P233）で設定された保存先に自動的に保存されます。
保存完了画面が表示された後、静止画撮影画面に戻ります。ただし、連続撮影時は保存完了画面の代わりに、保存をお知らせする画面が表示されます。

お知らせ

- 撮影時にはマナーモード設定中でもシャッター音が鳴ります。
- 「サイズ選択」を「5.1M（2560×1920）」に設定して撮影する場合、またはインカメラで撮影する場合、ズームは利用できません。

＜Picasa＞

- Picasaのサイトに接続されますので、ログインしてメール添付によるアップロードを行ってください。撮影画像は、アップロード用メール作成画面まで保持されますので、送信先を確認してください。
- 2Mバイトを超過したファイルはアップロードすることができません。
- 詳しい操作方法は、PCなどからPicasaのサイト（http://picasa.google.co.jp/）をご覧ください。

パノラマ撮影

FOMA端末を右方向に動かしながら撮影した3枚の静止画から、1枚のパノラマ写真を作成します。

- 画像サイズが「VGA（640×480）」～「Sub-QCIF（128×96）」の場合に利用できます。
- インカメラでは利用できません。

1 待受画面▶

2 「メニュー」▶「プレビュー」▶「撮影モード」▶「パノラマ」

何枚目の撮影かを表示

パノラマ撮影画面

3

4 右方向にFOMA端末を動かす▶

5 右方向にFOMA端末を動かす▶

3枚の静止画をつなげたパノラマ写真が表示されます。

6 ／

お知らせ

- 撮影画面の左端に1つ前の撮影画像の右端が表示されますので、その画像を参考に位置合わせをして撮影してください。
- 撮影中に をタッチすると、撮影を始めからやり直すことができます。

おもしろフェイス撮影

カメラを被写体に向けると、人物の顔を検出して様々な加工がされたおもしろフェイスを撮影することができます。

- 画像サイズはインカメラの場合、「VGA（480×640）」～「QVGA（320×240）」、アウトカメラの場合、「壁紙（800×480）」～「QVGA（320×240）」から選択できます。

1 待受画面▶ ▶ （カメラモード）▶「おもしろフェイス撮影モード」

2 おもしろフェイスの種類を選択

■ おもしろフェイスの種類

種　類	説　明
(OFF)	おもしろフェイス撮影モードを解除します。
(頭デッカチ)	頭部が大きくなるように変形します。
(モザイク)	顔にモザイクをかけます。
(アニマルマスク)	選択するとアニマルマスクの種類が表示されます。マスクの種類を選択すると顔に選択したアニマルマスクをかぶせます。
(スノー)	画像全体に雪が降っているような効果をかけます。
(モノトーン)	白黒写真のような効果をかけます。
(美肌)	美肌に見えるような効果をかけます。
(外部フォーカス)	顔の外側をぼやかします。
(放射ぼかし)	顔の外側を放射状にぼかします。
(魚眼レンズ)	魚眼レンズで撮影したような効果をかけます。
(くぼみ効果)	顔やせしたような効果をかけます。

3 カメラを被写体に向ける▶

顔を認識すると効果が画面に表示されます。

4 ／

ビデオモード

動画撮影

- 撮影した動画は、FOMA端末本体の「データBOX」内「ｉモーション」の「カメラ」フォルダに保存されます。保存先をmicroSDカードに変更する場合は「保存先メモリー」（P234）で設定します。

1 待受画面▶▶(カメラモード)▶「ビデオモード」

動画撮影画面

■ 動画撮影画面のタッチ操作とキー操作（横撮りの場合）

操　作	説　明
／	撮影開始
ズームバー、／	ズーム（撮影中も操作できます）
「メニュー」	設定メニューの表示
	ビデオモード終了
(カメラモード)	カメラモードを変更
(カメラ切替)	インカメラとアウトカメラを切り替え
(明るさ)	明るさ調整バーの表示
(ライト)	ライトの点灯条件を設定

次のページへ続く

■動画撮影画面のキー操作（縦撮りの場合）

操　作	説　明
［録画］、	撮影開始
、／	ズーム（撮影中も操作できます）
	明るさ調整
1、［カメラモード］	カメラモードを変更
MENU［メニュー］	設定メニューの表示
［ライト］	ライトの点灯条件を設定
CLR	ビデオモード終了
［カメラ切替］	インカメラとアウトカメラを切り替え
0	キー操作のガイド表示
2	サイズ選択→P233
3	自動保存→P234
4	画質設定→P234
5	効果→P233
6	ホワイトバランス→P234
7	撮影種別→P234
8	共通再生モード→P234
9	ちらつき調整→P234
*	保存先メモリー→P234
#	「データBOX」の「ｉモーション」内にある撮影画像などを表示

2 カメラを被写体に向ける▶

撮影開始音が鳴り、動画の撮影を開始します。

動画撮影中画面

- ・：撮影を一時停止／再開します。
  ※「撮影種別」が「音声のみ」の場合は、一時停止できません。

■撮影中のキー操作（縦撮りの場合）

操　作	説　明
MENU［ポーズ］	撮影を一時停止／再開
［ストップ］	撮影を終了
CLR、［キャンセル］	撮影を中止

3 ／

撮影終了音が鳴って動画の撮影を終了し、フォトライトが消灯します。撮影後に保存確認画面が表示され、撮影した動画を保存するかどうかを選択できます。

保存確認画面

■ 動画保存確認画面のタッチ操作（横撮りの場合）

操　作	説　明
	撮影した動画が添付されたｉモードメールを作成
「新規」	撮影した動画を保存せずに、動画撮影画面に戻る
	撮影した動画を確認
	撮影した動画を保存
「YouTube」	撮影した動画を保存しYouTubeにアップロード

■ 動画保存確認画面のキー操作（縦撮りの場合）

操　作	説　明
［保存］	撮影した動画を保存
MENU［再生］	撮影した動画を確認
［YouTube］	撮影した動画を保存しYouTubeにアップロード
TV［メール］	撮影した動画が添付されたｉモードメールを作成
CLR	撮影した動画を保存せずに、動画撮影画面に戻る

4 ／

「保存先メモリー」（P234）で設定された保存先に自動的に保存され、保存完了画面が表示されます。

- インカメラを使用した場合、撮影画面では左右反転した状態（鏡像）で表示されますが、撮影した画像は左右反転しない状態（正像）で保存されます。

保存完了画面

■ 動画保存完了画面のタッチ操作とキー操作（横撮りの場合）

操　作	説　明
	撮影した画像が添付されたｉモードメールを作成
「新規」、	動画撮影画面に戻る
	撮影した動画を確認
	撮影した動画を待受画面の壁紙などに設定
	撮影した動画を削除
「YouTube」	撮影した動画をYouTubeにアップロード

■ 動画保存完了画面のキー操作（縦撮りの場合）

操　作	説　明
CLR、［新規］	動画撮影画面に戻る
MENU［設定］	撮影した動画を待受画面の壁紙などに設定
［削除］	撮影した動画を削除
［YouTube］	撮影した動画をYouTubeにアップロード
TV［メール］	撮影した動画が添付されたｉモードメールを作成

「自動保存」（P234）を「On」に設定したときは

／を押すと撮影が終了し、撮影した動画が「保存先メモリー」（P234）で設定された保存先に自動的に保存されます。
保存完了画面が表示された後、動画撮影画面に戻ります。

お知らせ

- 撮影開始時、終了時には、マナーモード設定中でもシャッター音が鳴ります。
- 動画撮影中に電話の着信など撮影を中断する動作があった場合、撮影を終了します。通話終了後は保存確認画面が表示され、中断するまでの動画を保存することができます。
- パソコンでの再生→P447

＜YouTube＞

- YouTubeのサイトに接続されますので、メール添付によるアップロードを行ってください。撮影した動画は、アップロード用メール作成画面まで保持されますので、送信先を確認してください。
- 2Mバイトを超過したファイルはアップロードすることができません。
- 詳しい操作方法は、PCなどからYouTubeのサイト（http://www.youtube.com/）をご覧ください。

撮影時の設定を変える

撮影状況に合わせてカメラを設定します。

ズームを使う

画像のズーム倍率を設定します。

- 静止画撮影時は、「サイズ選択」を「5.1M（2560×1920）」に設定して撮影する場合、またはインカメラで撮影する場合、ズームは利用できません。

1 静止画撮影画面（P222）／動画撮影画面（P227）▶ズームバーをスライドして倍率を変更

- ズームバーは、▲、▼を押すか、タッチパネルに触れたまま、なぞって動かします。
縦撮りの場合は◀▶でもスライドできます。

ズーム設定
（例：静止画撮影画面）

■ アウトカメラの最大倍率について

カメラモード	画像サイズ※	ズーム段階	最大倍率
フォトモード	5.1M（2560×1920）	–	–
	3M（2048×1536）	10段階	約1.2倍
	2M（1600×1200）		約1.6倍
	1M（1280×960）		約2.0倍
	VGA（640×480）		
	CIF（352×288）		
	QVGA（320×240）		
	QCIF（176×144）		
	Sub-QCIF（128×96）		
	壁紙（800×480）		約1.6倍
ビデオモード	QVGA（320×240）		約2.0倍
	QCIF（176×144）		約3.6倍
	Sub-QCIF（128×96）		約5.0倍

※ カッコ内の数字は横撮りの場合の表示です。縦撮りの場合は左右の数字が入れ替わって表示されます。

■ インカメラの最大倍率について

カメラモード	画像サイズ※	ズーム段階	最大倍率
ビデオモード	QVGA（320×240）	10段階	約2.0倍
	QCIF（176×144）		約3.3倍
	Sub-QCIF（128×96）		約5.0倍

※ カッコ内の数字は横撮りの場合の表示です。縦撮りの場合は左右の数字が入れ替わって表示されます。

明るさを調節する

画像の明るさ（露出）を調節します。明るさは9段階で調節できます。

1 静止画撮影画面（P222）／動画撮影画面（P227）

2 明るさ調整バーを表示

■ 横撮りの場合

をタッチします。

■ 縦撮りの場合

を押します。

3 明るさ調整バーをスライドして明るさを調節

- 明るさ調整バーは、タッチパネルに触れたまま、なぞって動かします。
  横撮りの場合は、、を押してもスライドできます。
  縦撮りの場合はでもスライドできます。

明るさ調整バー

明るさ設定
（例：静止画撮影画面）

セルフタイマーを設定する

シャッターを押してから撮影されるまでの秒数を設定します。

- 動画撮影では、セルフタイマーは設定できません。

1 **静止画撮影画面（P222）▶「メニュー」▶「プレビュー」▶「セルフタイマー」**

2 **「3秒」／「10秒」／「15秒」**

画面上部に（数字は秒数）が表示されます。

- セルフタイマーを解除するには、「OFF」を設定します。

3

セルフタイマーが作動します。設定した秒数経過後、自動的に撮影します。
シャッターを押した後、撮影されるまでの間はフォトライトがオレンジ色に点滅し、タイマー音が鳴ります。

カメラ設定

カメラの設定を変える

静止画撮影画面の設定メニュー

1 **静止画撮影画面（P222）▶「メニュー」▶「プレビュー」／「その他」▶次の操作を行う**

［サイズ選択］
撮影する画像サイズを設定します。

［撮影モード］

普通　：1枚の静止画を撮影します。

連続撮影　：シャッターを押して連続で撮影します。
- 画像サイズが「CIF（352×288）」より小さい場合は6枚まで、「CIF（352×288）」の場合は4枚まで撮影できます。
- 「自動」を選択すると1回のシャッターで連続して撮影します。「手動」を選択すると、シャッターを押すたびに連続して撮影します。

フレーム撮影：被写体にフレームを付けて撮影します。フレームは「マイピクチャ」から選択します。
▶フォルダにカーソルを移動▶［開く］▶フレームを選択

パノラマ※　：パノラマ撮影をします。→P226

［場面モード］※
撮影状況に適した静止画を撮影できます。

［効果］
画像に特殊な効果をかけて撮影するときに設定します。

［ホワイトバランス］
画像の色合いを補正します。撮影状況に合わせて設定すると自然な色合いとなります。

[接写] ※
近い距離で被写体を撮影する時に設定します。
- カメラと被写体の距離が、約10cmでピントが合います。

[セルフタイマー]
シャッターを押してから撮影されるまでの秒数を選択します。

[保存画質設定]
撮影した静止画を保存するときの画質を設定します。

[自動保存]
自動保存するかどうかを設定します。

[保存先メモリー]
静止画の保存先を設定します。

[手ぶれ補正] ※
手ぶれ補正を行うかどうかを設定します。

[オートフォーカス] ※
オートフォーカスを設定します。
- 「顔検出機能」に設定すると、自動的に顔の位置を認識しピントを合わせます。最大3人までの顔を検出します。

[シャッター音]
シャッター音を設定します。

[ちらつき調整]
蛍光灯などの影響による画面のちらつきを、設定により軽減できることがあります。

自動　：自動的にちらつきを抑制します。
50Hz：電源の周波数が50Hzの地域の場合に設定します。
60Hz：電源の周波数が60Hzの地域の場合に設定します。

[設定リセット]
静止画撮影の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

※ インカメラでは利用できません。

お知らせ

<連続撮影>
- 画像サイズが「CIF（352×288）」以下の場合に設定できます。
- 「自動」を設定すると、アウトカメラの場合は約0.7秒間隔、インカメラの場合は約0.2秒間隔で撮影します。
- 「連続撮影」を設定すると、「セルフタイマー」の設定は無効になります。
- 撮影中に(戻るキー)を押すと、撮影を終了して保存確認画面を表示できます。

<フレーム撮影>
- 画像サイズが「CIF（352×288）」～「Sub-QCIF（128×96）」と、「壁紙（800×480）」（アウトカメラのみ）の場合に設定できます。

<オートフォーカス>
- 「手動」設定時、横撮りの場合は静止画撮影画面にフォーカスの調整バーが表示されます。タッチパネルに触れたまま、なぞって動かします。縦撮りの場合は、(アイコン)でフォーカスの調整バーを表示／調節します。

動画撮影画面の設定メニュー

1 **動画撮影画面（P227）▶「メニュー」▶「プレビュー」／「その他」▶次の操作を行う**

[サイズ選択]
撮影する画像サイズを設定します。

[効果]
画像に特殊な効果をかけて撮影するときに設定します。

次のページへ続く

[ホワイトバランス]
画像の色合いを補正します。撮影状況に合わせて設定すると自然な色合いとなります。

[画質設定]
撮影した動画を保存するときの画質を設定します。

[サイズ制限]
撮影する動画のファイルサイズを制限します。

[保存先メモリー]
動画の保存先を設定します。

[自動保存]
自動保存するかどうかを設定します。

[撮影種別]
動画を撮影するときの映像や音声の有無を設定します。

[共通再生モード]
ｉモードメールへの添付に適したファイルサイズ（500Kバイトまで）に設定します。
- 「On」に設定した場合、画像サイズは「QCIF（176×144）」または「Sub-QCIF（128×96）」から選択可能で、画質は「スーパーファイン」、サイズ制限は「メールサイズ小」に設定されます。

[ちらつき調整]
蛍光灯などの影響による画面のちらつきを、設定により軽減できることがあります。

自動　：自動的にちらつきを抑制します。

50Hz：電源の周波数が50Hzの地域の場合に設定します。

60Hz：電源の周波数が60Hzの地域の場合に設定します。

[設定リセット]
動画撮影の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

お知らせ

＜ちらつき調整＞
- 50Hzの蛍光灯を使用する室内で「QVGA（320×240）」サイズの録画をする場合は、ちらつきが軽減できない可能性があります。

バーコードリーダー

バーコードリーダーを利用する

アウトカメラを使ってJANコードやQRコードに含まれている情報を読み取ります。読み取った情報からｉモードメールを作成したり、インターネットへ接続したりできます。また、読み取った情報、画像、メロディを保存、再生することもできます。

- 読み取った情報は5件まで保存できます。
- 読み取るとき、コードがすべて画面内に表示されるようにしてください。
- コードに対してカメラを平行にしてください。

■JANコードとは
太さや間隔の異なる縦の線（バー）で数字を表現しているバーコードです。8桁（JAN8）または13桁（JAN13）のバーコードを読み取ります。
- 次のJANコードをFOMA端末で読み取ると「4942857123456」と表示されます。

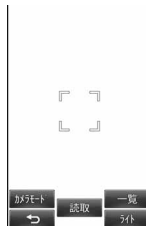
■ QRコードとは

縦、横方向の模様で英数字、漢字、カナ、絵文字などの文字列を表現している二次元コードの1つです。また、画像やメロディを扱っているQRコード、1つのデータが複数のQRコードに分かれているものもあります。

- 次のQRコードをFOMA端末で読み取ると「株式会社NTTドコモ」と表示されます。

コードを読み取る

- バーコードを読み取るときは、アウトカメラをバーコードから約10cm離してください。

1 MENU▶「LifeKit」▶「バーコードリーダー」

読み取り画面

■ 読み取り画面のキー操作

操　作	説　明
■［読取］	オートフォーカス開始
MENU［カメラモード］	カメラモードを変更
i α［一覧］	保存されている読み取りデーター覧を表示
📷TV［ライト］	ライトの点灯／消灯を切り替え
✉［↩］、CLR	バーコードリーダー終了

2 読み取るコードを画面内に表示▶■［読取］

ピントの自動調節後、コードを読み取ります。読み取りが完了すると完了音が鳴り、読み取ったデータが表示されます。

- バーコードリーダーは、起動後、自動的に読み取りを開始します。■［読取］を押さなくても、ピントが合えば、コードを読み取ります。
- ピントの自動調節を行ってもコードを読み取れなかった場合は、■［リトライ］を押して、コードを読み直すことができます。
- マナーモード設定中は、完了音が鳴りません。

読み取りデータ画面
（例：メロディの場合）

3 読み取ったデータの種類に応じて、次の操作を行う

- 読み取ったデータの種類によって、表示や操作が異なります。
- 読み取ったデータを後で利用する場合は、必ず保存してください。
- 分割されたQRコードを最大16個まで続けて読み取り、連結できます。→P237

次のページへ続く

■電話番号の場合

表示された電話番号を選択すると、読み取った電話番号が入力された電話番号入力画面が表示され、電話をかけられます。「電話帳登録」などが表示された場合は、選択すると電話帳に登録できます。

■メールアドレスの場合

表示されたメールアドレスを選択すると、読み取ったメールアドレスを宛先にしたｉモードメールを作成します。「メール作成」などが表示された場合は、選択すると読み取ったデータのメールアドレスや件名などが入力されたｉモードメールを作成します。「電話帳登録」などが表示された場合は、選択すると電話帳に登録できます。

■URLの場合

表示されたURLを選択すると、読み取ったデータのURLのサイトに接続します。「ブックマーク登録」などが表示された場合は、選択するとBookmarkに保存できます。

■文字の場合

読み取ったデータの文字が表示されます。

■画像の場合

読み取ったデータの画像が表示されます。

■メロディの場合

[■]［再生］を押すと、読み取ったデータのメロディを再生します。再生中に[■]［停止］を押すと、メロディの再生が止まります。

■ｉアプリの場合

「ｉアプリ起動」などが表示された場合は、選択すると起動できます。

お知らせ

<共通>

- JANコードとQRコード以外のバーコード、二次元コードは読み取れません。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射の具合によっては正しく読み取れない場合があります。
- バーコードの種類やサイズ、QRコードのバージョンによっては読み取れない場合があります。
- 読み取ったデータが既に5件保存されている場合は、古いデータを削除するかどうかを確認するメッセージが表示されます。新しいデータを保存するには、「はい」▶削除する読み取りデータを選択▶「はい」を選択してください。
- バーコードリーダー起動後、約30秒以内にコードを読み取れなかった場合は、読み取れなかった旨をお知らせする画面が表示されます。さらに一定時間、コードが読み取れなかった場合は、自動的にバーコードリーダーは終了します。

<メール作成>

- 宛先に入力できない文字が含まれている場合、宛先には何も入力されません。

<電話発信>

- 発信できる文字は数字と記号［#、*、+、－、P、(、)］です。これら以外の文字が含まれている場合は発信できません。

<ｉアプリ起動>

- 「ｉアプリTo設定」で設定していない場合は、読み取ったデータからｉアプリを起動できません。

読み取りデータ画面のサブメニュー

- 読み取ったデータの種類によって、表示される項目は異なります。

1 読み取りデータ画面(P235)▶MENU[メニュー]▶次の操作を行う

[コピー]
読み取ったデータで選択中のURL、電話番号、アドレスなどをコピーします。

[再生]
読み取ったデータを再生します。

[読み取りデータ保存]
読み取ったデータをバーコードリーダー保存リストに保存します。

[画像／メロディ保存]
読み取った画像やメロディを「データBOX」に保存します。

[電話帳登録]
読み取ったデータの名前や電話番号、URL、メールアドレスなどの情報を電話帳に登録します。

[ブックマーク登録]
読み取ったデータのURLを「Bookmark」に登録します。

[リトライ]
再度コードを読み取ります。

分割されたQRコードを読み取るには

①「コードを読み取る」(P235)の操作1～2を行う
②「次のデータを読み取ってください」のメッセージ表示後、次のQRコードを読み取る
③ 操作②を繰り返す

- 読み取りを中断する場合はCLR、オートフォーカスを再度調節する場合は■［リトライ］を押します。

読み取った情報のファイル名について

読み取った情報のファイル名は、年月日時分が自動的に付けられます。ファイル名は変更できません。
例：2009年8月1日10時10分に撮影した場合
JANコード：「P2009_0801_1010_X.JAN」(Xは連番)
QRコード：「P2009_0801_1010_X.QR」(Xは連番)

保存したデータを利用／削除する

1 読み取り画面(P235)▶iα[一覧]

■ 読み取り画面を起動する場合
MENU［メニュー］▶「読取」を選択します。

■ 保存した読み取りデータを1件削除する場合
削除する読み取りデータにカーソルを移動▶MENU［メニュー］▶「1件削除」▶「はい」を選択します。

■ 保存した読み取りデータを全件削除する場合
MENU［メニュー］▶「全件削除」▶端末暗証番号を入力▶「はい」を選択します。

2 利用する読み取りデータを選択

以降の操作は、選択したデータの種類に応じて「コードを読み取る」の操作3(P235)を参照してください。

ワンセグ

ワンセグ

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声と共にデータ放送を受信することができます。また、ｉモードを利用して、より詳細な番組情報の取得や、クイズ番組への参加、テレビショッピングなどを気軽に楽しめます。

- 「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページなどでご確認ください。
  社団法人　デジタル放送推進協会
  パソコン：http://www.dpa.or.jp/
  ｉモード：http://www.dpa.or.jp/1seg/k/

ワンセグのご利用にあたって

- ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
- データ放送領域に表示される情報は「データ放送」「データ放送サイト」の2種類があります。「データ放送」は映像・音声と共に放送波で表示され、「データ放送サイト」はデータ放送の情報から、テレビ放送事業者（放送局）などが用意したサイトに接続し表示します。また、「ｉモードサイト」などへ接続する場合もあります。なお、サイトへ接続する場合は、別途ｉモードのご契約が必要です。
- 「データ放送サイト」「ｉモードサイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なもの（ｉモード有料サイト）があります。

電波について

ワンセグは、放送サービスの1つであり、FOMAサービスとは異なる電波（放送波）を受信しています。そのため、FOMAサービスの圏外／圏内に関わらず、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。
また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

- 放送波が送信される電波塔から離れている場所
- 山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
- トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所

受信状態を良くするためには、ワンセグアンテナを十分伸ばしてください。また、アンテナの向きを変えたり、FOMA端末を体から離したり近づけたり、場所を移動することで受信状態が良くなることがあります。

初めてワンセグを利用する場合の画面表示

お買い上げ後、初めてワンセグを利用する場合、免責事項の確認画面が表示されます。
各事項を確認し、■［OK］を押すと、以後同様の確認画面は表示されません。

放送用保存領域とは

放送用保存領域とは、ワンセグ専用の端末内保存領域です。放送用保存領域には、データ放送の指示に従いお客様が入力された情報が、テレビ放送事業者（放送局）の設定に基づき保存されます。保存される情報には、クイズの回答結果や、会員番号、性別、年齢、職業など個人情報が含まれる場合があります。
保存された情報は、お客様が再度入力することなく、データ放送サイトの閲覧時に表示されたり、テレビ放送事業者（放送局）へ送信される場合があります。

- 放送用保存領域を消去するには→P252
- 別のFOMAカードに差し替えた場合やFOMAカードを取り外した場合は、放送用保存領域を初期化するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択し、放送用保存領域の初期化を行ってください。「いいえ」を選択すると、放送用保存領域を使用したサービスが利用できません。

■ 放送用保存領域の読み出し時の画面表示

番組を視聴中に放送用保存領域の保存情報を利用する場合、「放送用保存領域内の情報を利用しますか？同一系列放送局で利用した情報を含む場合があります」と表示されます。「はい」を選択すると、以降は同一番組の視聴中に行われる保存情報の読み出しについては、画面表示による確認が行われません。また、「はい（以後非表示）」を選択すると、以降、番組が変わっても確認は行われません。

ワンセグをご利用になる前に

ワンセグの視聴手順

例：初めてワンセグを視聴する場合

ステップ1：チャンネル設定→P243
ご利用になる地域に対応したチャンネルリストを登録します。

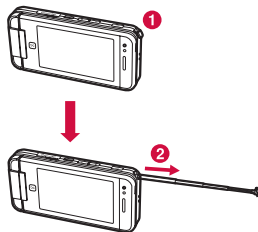
ステップ2：ワンセグの起動→P245
ワンセグ用のアンテナを伸ばして、ワンセグの視聴を開始します。

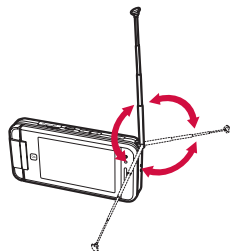
ワンセグアンテナについて

ワンセグを視聴するときは、ワンセグアンテナを完全に伸ばしてください。

■ ワンセグアンテナを伸ばす

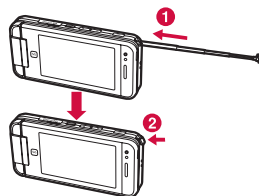
① ワンセグアンテナ❶の先端部分に指をかけて、矢印❷の方向に引き出す

② ワンセグアンテナが止まるまで完全に伸ばす

③ ワンセグアンテナの下のほうを持って方向を変える

- 無理にワンセグアンテナの方向を変えようとすると、変形や破損の原因となります。

■ ワンセグアンテナを収納する

① ワンセグアンテナの下のほうを持って、まっすぐ縮める

- 無理に力を加えてワンセグアンテナを収納しようとすると、変形や破損の原因となります。

② ワンセグアンテナの先端部分の向きを合わせ、完全に収納する

ワンセグ視聴中に着信などがあった場合

ワンセグ視聴中に以下の動作が発生した場合は、ワンセグ視聴が中断されます。機能終了後はワンセグが再開されます。

- 音声・映像ともに中断される動作は次のとおりです。
  - 音声電話／テレビ電話の着信
  - メール／SMSの受信（「受信表示」が「通知優先」に設定されている場合）
  - アラーム、アラームが設定されたスケジュール、To Do、視聴予約の通知

お知らせ

- 電池の寿命が短くなるので、充電しながらワンセグを長時間視聴しないようにしてください。
- ワンセグを視聴しないときは、ワンセグアンテナを収納してください。

チャンネル設定

チャンネルを設定する

ワンセグを視聴するには、あらかじめチャンネル設定を行い、チャンネルリストを登録する必要があります。

- チャンネルリストは最大10件登録できます。利用地域に応じてチャンネルリストを設定しておくと、移動先でもその地域の放送局を視聴できます。
- 1件のチャンネルリストに登録できるチャンネル数は最大62件です。

1 MENU▶「1Seg」▶「チャンネル設定」

2 チャンネルリストが1件も登録されていない場合

チャンネル設定の新規作成画面が表示されます。

すでにチャンネルリストが登録されている場合

「未登録」にカーソルを移動▶MENU[メニュー]▶「新規作成」

3 次の操作を行う

[地域選択]

FOMA端末に登録されている地域一覧から選択して設定します。

▶登録したい地域を選択▶都道府県を選択▶■［選択］▶「はい」

[自動チャンネル設定]

現在いる場所で受信できるチャンネルを自動的に設定します。

▶「はい」▶■［保存］▶「はい」

- 中止するときは、✉［キャンセル］▶「はい」を押します。
- 保存前に📷TV［リトライ］を押すと、設定をやり直します。

お知らせ

- 「地域選択」は地域により正しく設定できないことがあります。その場合は、「自動チャンネル設定」をご利用ください。
- 「自動チャンネル設定」は、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内で行ってください。

利用するチャンネルリストを設定する

複数のチャンネルリストを登録しているときに、使用するチャンネルリストを切り替えます。

1 MENU▶「1Seg」▶「チャンネル設定」

使用中のチャンネルリストにはチェックマークが付いています。

- i α［詳細］：選択中のチャンネルリストの詳細画面を表示します。

チャンネルリスト一覧画面

2 利用するチャンネルリストを選択

チャンネルリスト一覧画面のサブメニュー

1 チャンネルリスト一覧画面(P244)▶チャンネルリストにカーソルを移動▶MENU［メニュー］▶次の操作を行う

［新規作成］
選択中のチャンネルリストにチャンネルを登録します。→P243

［詳細］
選択中のチャンネルリストの詳細画面を表示します。

［名称変更］
選択中のチャンネルリストの名前を変更します。

［削除］
選択中のチャンネルリストを削除します。
- 利用中のチャンネルリストは削除できません。

［全件削除］
チャンネルリストをすべて削除します。
▶端末暗証番号を入力▶「はい」

チャンネルリスト詳細画面のサブメニュー

1 チャンネルリスト一覧画面(P244)▶チャンネルリストにカーソルを移動▶i α［詳細］▶MENU［メニュー］

- ■［視聴］：選択中のチャンネルを表示します。

2 次の操作を行う

［リモコン番号変更］
選択中のチャンネルのリモコン番号を変更します。
▶変更するチャンネルを選択▶移動先のリモコン番号を選択▶「はい」
- 移動先のリモコン番号にチャンネルが登録されていた場合は、リモコン番号が入れ替わります。

［削除］
選択中のチャンネルを削除します。

ワンセグを見る

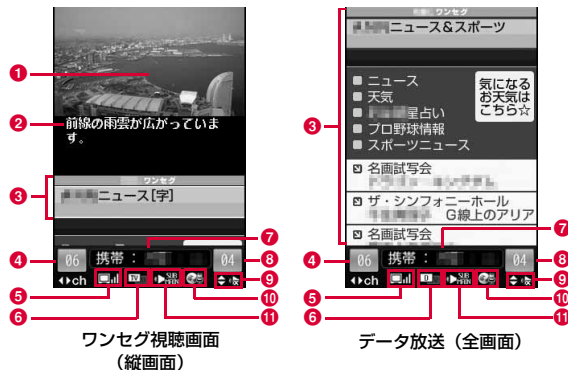
- ワンセグを視聴するには、あらかじめチャンネル設定を行ってください。→P243

1 **(1秒以上)**

- 初回のみ免責事項の確認画面が表示されます。内容を確認して［OK］を押してください。
- 視聴を終了するときは▶「はい」を選択します。

ワンセグ視聴画面の見かた

ワンセグ視聴画面（縦画面）

データ放送（全画面）

ワンセグ視聴画面（横画面（標準））

❶ **映像**
- タッチすると、音量調節・チャンネル選択アイコンが表示されます。

❷ **字幕**

❸ **データ放送**

❹ **リモコン番号**

❺ **放送波の受信レベル**

強 ⟷ 弱

❻ **操作モード**

：テレビ　：データ放送

❼ **チャンネル名・番組名**

❽ **音量**

❾ **：ミュート（消音）中**

❿ **マルチ音声放送中**

⓫ **主／副音声表示**

：主音声＋副音声　：主音声　：副音声

次のページへ続く

■ ワンセグ視聴画面のキー操作

操作			説明
テレビ（縦画面）	テレビ（横画面）	データ放送	
[キー]	[キー]	―	音量調節
[キー]／[キー]			
[キー]※（1秒以上）	[キー]（1秒以上）	[キー]※（1秒以上）	ミュート（消音）
[キー]	[キー]	―	チャンネル選択
ダイヤルキー、[＊]、[＃]			
[キー]（1秒以上）	[キー]（1秒以上）	―	受信可能なチャンネルを検索→P246
―	[キー]	―	番組名などを表示・非表示
[iα]［表示］			縦画面／横画面（標準）／横画面（全画面表示）を切り替え
[キー]	―	[キー]	テレビとデータ放送を切り替え
―	―	[キー]▶[キー]	データ放送の項目を選択
[iα]［表示］（1秒以上）	―	[iα]［表示］（1秒以上）	データ放送の半画面／全画面表示を切り替え
[キー]	―		番組表を表示
[キー]▶「はい」			ワンセグ終了

※ ターンビュースタイルでは[キー]になります。

お知らせ

- サイトやメールなどに表示されているワンセグ視聴情報のリンクからもワンセグを起動（Media To）できます。→P196
- 放送波の受信状況などにより、音声が途切れたり、映像が停止することがあります。また、映像にブロック状のノイズが入ったり、映像が表示されなかったりすることがあります。
- FOMA端末を左側に傾けると、自動的に横画面に切り替わります。
- データ放送が表示されているときにFOMA端末を横に向けると、映像のみ表示されます。

受信可能なチャンネルを検索する<チャンネルサーチ>

チャンネルを周波数順に検索して、受信可能なチャンネルを表示します。

1 ワンセグ視聴画面（P245）▶[キー]（縦画面で1秒以上）、[キー]（横画面で1秒以上）

受信可能なチャンネルがあった場合は、そのチャンネルを表示します。[MENU]［メニュー］▶「チャンネルリストへ追加」を選択すると、チャンネルリストに追加できます。

■ **チャンネルサーチを中止する場合**

[MENU]［キャンセル］／[CLR]▶「はい」を押します。

お知らせ

- 放送波が弱い場所などで「Tuning...」の表示が長く続く場合、チャンネルサーチを行うと、受信可能なチャンネルを探せます。
- 視聴場所を移動した場合などに、チャンネル設定で登録されなかったチャンネルが受信できることがあります。

ワンセグ視聴画面のサブメニュー

1 ワンセグ視聴画面(P245)▶MENU[メニュー]▶次の操作を行う

[チャンネル設定]
チャンネルリスト一覧画面を表示します。→ P244

[テレビリンク]
テレビリンクリストを表示します。

[データ放送]
データ放送の設定などを行います。

画像表示設定：画像表示のON／OFFを設定します。
効果音設定：利用できない項目です。
証明書：SSL通信時に、証明書を表示します。
再読み込み：再度表示し直します。
データ放送へ戻る：データ放送に戻ります。

[操作切替]
テレビとデータ放送を切り替えます。

[表示設定]
画面の表示を設定します。

テレビ表示モード：画面の表示を設定します。
データ放送表示モード
：データ放送の表示を設定します。
字幕設定：字幕のON／OFFを切り替えます。
- ONに設定しても、番組によって字幕は表示されません。

バックライト設定：ディスプレイのバックライトの明るさを設定します。

[音声設定]
音声を設定します。

ミュート・ミュート解除
：消音・消音解除します。
主／副音声設定：主音声／副音声を設定します。
音声切替：マルチ音声放送時に、音声を切り替えることができます。

[番組表]
番組表を表示します。→P248

[お勧めメール作成]
視聴中のチャンネル情報が入力されたメールを作成できます。受信側のFOMA端末がMedia to機能に対応していると、情報を選択してワンセグを起動できます。

[チャンネルリストへ追加]
視聴中のチャンネルをチャンネルリストに追加します。→P246

[サービス選択]
同じチャンネル内に別の番組がある場合に切り替えられます。

[番組情報]
視聴中の番組の情報を表示します。

番組表

番組表ｉアプリを利用する

番組表ｉアプリを利用して、番組表から番組を選択してワンセグを起動したり、視聴予約を行ったりできます。

1 MENU▶「1Seg」▶「番組表」

MENU［TV起動］を押すと、選択しているチャンネルで放送中の番組を視聴できます。
以降の操作は「Gガイド番組表リモコン」(P283) も参考にしてください。

お知らせ

- ワンセグ視聴画面（縦画面）で✉を押しても、番組表を表示できます。
- 番組表ｉアプリは、「ソフト設定」の「番組表ボタン設定」で設定できます。→P278

視聴予約リスト

ワンセグの視聴を予約する

視聴予約を登録する

視聴予約を「アナウンス有り」で登録しておくと、番組の開始1分前にアラームで通知されます。

- スケジュール（P353）からも登録･確認できます。
- 視聴予約は最大20件登録できます。

1 MENU▶「1Seg」▶「視聴予約リスト」

視聴予約リスト画面

2 iα［新規］▶次の操作を行う

- ✉［キャンセル］：視聴予約の作成を中止します。

［(日付設定)］
視聴予約を開始する日付を設定します。

［(時刻設定)］
視聴予約の開始時刻を設定します。

［(チャンネル)］
チャンネルを選択します。

［番組名］
全角で120文字、半角で240文字まで入力できます。

[(アナウンス設定)]
開始日時の1分前にアラームで通知するかどうかを設定します。
「アナウンス有り」に設定した場合は、次の操作でアラーム音を選択します。

▶▶欄で[一覧]▶アラーム音の種類を選択

ミュージック：「データBOX」の「ミュージック」内に保存されている音楽データから選択します。→P270
「着うたフル®を着信音に設定する」の操作3（P266）へ進みます。

iモーション：「データBOX」の「iモーション」内に保存されている動画／iモーションから選択します。→P307

メロディ：「データBOX」の「メロディ」内に保存されているメロディから選択します。→P314

[(繰り返し設定)]
定期的に発生する視聴予約を繰り返して設定できます。繰り返さない場合は、「なし」を選択します。
「曜日指定」を選択した場合は、次の操作で設定する曜日を指定します。

▶▶欄で[一覧]▶指定する曜日にチェックを付ける▶[完了]

「なし」以外を選択した場合、期限を設定できます。

▶▶欄で[一覧]▶「期限を設定」▶で日付設定欄を選択▶期限日を入力

3 [完了]

お知らせ

- 現在時刻または現在時刻から1分以内の視聴予約はできません。
- サイトやメールなどに表示されているワンセグ視聴情報のリンクからも視聴予約を登録（Media To）できます。→P196
- 「アナウンス設定」を「アナウンス無し」に設定した場合、アラーム通知はされません。また、ワンセグも起動しません。

視聴予約のアラームが通知時刻になると
視聴予約を「アナウンス有り」で登録した場合は、開始日時の1分前にアラームで通知されます。
アラーム画面が表示され、アラーム音が鳴り、イルミネーションが点灯します。
［視聴］を押すと、ワンセグの視聴を開始します。視聴開始後、終了するときは▶「はい」を選択します。

- ［OFF］：アラームを止めます（開始時刻になってもワンセグは起動しません）。

複数の視聴予約を同じ時刻に設定した場合
アラーム画面で［詳細］▶視聴する番組を選択してください。

視聴予約を確認する

1 視聴予約リスト画面（P248）▶確認する視聴予約を選択

視聴予約詳細画面が表示されます。

■視聴予約を編集する場合
［編集］を押します。→P248

■視聴予約を削除する場合
［削除］を押します。

■視聴予約を追加する場合
［新規］を押します。→P248

視聴予約リスト画面／詳細画面のサブメニュー

1 視聴予約リスト画面（P248）／詳細画面▶MENU［メニュー］▶次の操作を行う

［新規作成］
新規視聴予約を登録します。

［編集］
選択中の視聴予約を編集します。→P248

［削除］
選択中の視聴予約を削除します。
視聴予約一覧画面では、以下の項目から選択できます。

1件：選択中の視聴予約を削除します。

選択：視聴予約を選択して削除します。
▶削除する視聴予約にチェックを付ける▶✉［削除］▶「はい」
- MENU［全選択・全解除］を押して全選択／全解除できます。

全件：すべての視聴予約を削除します。
▶「はい」▶端末暗証番号を入力

データ放送

データ放送を利用する

ワンセグでは、映像・音声に加えてデータ放送を利用できます。番組と連動したサイトなど、静止画や動画を含むさまざまな情報を利用できます。

- 横画面ではデータ放送を表示できません。

1 ワンセグ視聴画面で［↖］

［D］が表示され、データ放送の項目を操作できます。
- ［↖］を押すごとに、テレビとデータ放送を切り替えます。
- 映像・データ放送表示部をタッチしても切り替えることができます。
- ［iα］［表示］を1秒以上押すごとに、データ放送の全画面表示と半画面表示を切り替えます。

2 項目を選択

- 項目によっては、データ放送サイトやｉモードサイトに接続します。
- ｉモード接続をするかどうかの確認画面が表示された場合は、「はい」または「はい（以後非表示）」を選択します。
「はい（以後非表示）」を選択すると、以降は同じ機能を利用する際に確認画面が表示されず、自動的にデータ放送、データ放送サイトの情報が更新される場合があります。このときにパケット通信料がかかることがありますので、ご注意ください。

お知らせ
- テレビからデータ放送に切り替えても、ワンセグの音声は流れます。

テレビリンク

テレビリンクを利用する

データ放送、データ放送サイトによっては、サイトやメモ情報をテレビリンクに登録できます。登録すると、テレビリンクリストから目的の情報を表示できます。

テレビリンクに登録する

1 **データ放送でテレビリンクに登録可能な項目を選択▶「はい」**

登録したテレビリンクを表示する

1 **MENU▶「1Seg」▶「テレビリンク」**

テレビリンクリスト画面が表示されます。

- ワンセグ視聴画面でMENU［メニュー］▶「テレビリンク」を押しても表示できます。

2 **テレビリンクを選択▶「はい」**

テレビリンクリスト画面のサブメニュー

1 **テレビリンクリスト画面▶MENU［メニュー］▶次の操作を行う**

［テレビリンク情報］
テレビリンクの詳細を表示します。

［1件削除］
選択中のテレビリンクを1件削除します。

［全件削除］
登録されているテレビリンクを全件削除します。

お知らせ

- テレビリンクに登録したサイトやメモ情報は、ワンセグからのみ利用できます。ｉモードやフルブラウザでは利用できません。

ワンセグ設定

ワンセグの設定を行う

1 [MENU]▶「1Seg」▶「ワンセグ設定」▶次の操作を行う

[字幕設定]
字幕のON／OFFを切り替えます。

[バックライト設定]
ディスプレイのバックライトの明るさを設定します。

[画像表示設定]
データ放送サイトの画像表示を設定します。

[効果音設定]
利用できない項目です。

[クローズ動作設定]
FOMA端末を閉じたときに音声の出力を継続するかどうかを設定します。

[主／副音声設定]
主音声／副音声を設定します。

[確認表示設定リセット]
非表示にした確認画面を再度表示するようにします。

[ワンセグ設定リセット]
「字幕設定」「バックライト設定」「画像表示設定」「効果音設定」「主／副音声設定」をお買い上げ時の状態に戻します。

▶端末暗証番号を入力▶「はい」

[放送用保存領域削除]
放送用保存領域を削除します。

▶放送用保存領域を削除したい放送局にカーソルを移動▶[MENU]［メニュー］▶「削除」／「全件削除」

- 全件削除には端末暗証番号の入力が必要になります。

[ワンセグ設定確認]
ワンセグ設定を確認できます。

Music

音楽データの取り扱いについて

- 本書では、着うたフル®とWMA（Windows Media Audio）ファイル、SD-Audioデータ（SD-Audio規格対応の音楽データ）を合わせて「音楽データ」と記載しています。
- 本FOMA端末では、著作権保護技術で保護されたWMAファイルや着うたフル®またはSD-Audioデータを再生できます。
- インターネット上のホームページなどから音楽データをダウンロードする際には、あらかじめ利用条件（許諾、禁止行為など）をよくご確認の上、ご利用ください。
- 著作権保護技術で保護されたWMAファイルは、FOMA端末固有の情報を利用して再生しています。故障や修理、機種変更などでFOMA端末固有の情報が変更された場合、変更前に保存したWMAファイルは再生できなくなることがあります。
- FOMA端末本体やmicroSDカード内に保存した音楽データは、個人使用の範囲内でのみ使用できます。ご利用にあたっては、著作権などの第三者の知的財産権その他の権利を侵害しないよう十分ご配慮ください。また、FOMA端末本体やmicroSDカード内に保存した音楽データは、パソコンなど他の媒体にコピーまたは移動しないでください。
- CCCD（コピーコントロールCD）の取り扱いや、音楽データをWMAファイルまたはSD-Audioデータに変換できない場合の対処については、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- microSDカードの取り扱いや使用時の注意事項→P317

Music&Videoチャネル

ミュージックプレーヤー

Music&Videoチャネル

Music&Videoチャネルとは、事前にお好みの音楽番組などを設定するだけで、夜間に最大1時間程度の番組が自動配信されるサービスです。また、最大30分程度の高画質な動画番組を楽しむこともできます。番組は定期的に更新され、配信された番組は通勤や通学中などお好きな時間に楽しむことができます。

Music&Videoチャネルのご利用にあたって

- Music&Videoチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモード契約およびパケ・ホーダイ／パケ・ホーダイフル／パケ・ホーダイ ダブルのいずれかのご契約が必要です。パケ・ホーダイ ダブルをご利用の場合、少数回のご利用でも上限額に達します）。
- Music&Videoチャネルのサービス利用料のほかに、番組によって別途情報料がかかる場合があります。
- Music&Videoチャネルにご契約いただいた後、Music&Videoチャネル非対応のFOMA端末にFOMAカードを差し替えた場合、Music&Videoチャネルはご利用いただけません。ただし、Music&Videoチャネルを解約されない限りサービス利用料が発生しますのでご注意ください。
- 国際ローミング中は番組の設定や取得は行えません※。海外へお出かけの際は、事前に番組の配信を停止してください。また、帰国された際は、番組の配信を再開してください。
  ※ 国際ローミング中に番組設定や取得を行おうとした場合、ｉモード接続を行うためパケット通信料がかかりますのでご注意ください。
- Music&Videoチャネルで番組を聴きながらメールやｉモードサイトの表示などができます(バックグラウンド再生)。
  マルチタスクの組み合わせ→P445
- Music&Videoチャネルの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

番組を設定する

番組を設定すると、夜間に番組が自動的に取得されます。

- 番組は2つまで設定できます。
- 設定するには、Music&Videoチャネル番組提供サイトへのマイメニュー登録が必要です。→P187

1 MENU▶「MUSIC」▶「Music&Videoチャネル」

Music&Video
チャネル画面

2 「番組設定」

- お買い上げ時には番組が設定されていません。
  番組の設定が行われると、番組タイトルが表示されます。

3 画面の指示に従って番組を設定する

- 詳しくは、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

お知らせ

- 異なるFOMAカードに差し替えて番組の設定を行う場合は、まず番組設定から番組設定情報の確認を行ってください。番組設定情報の確認を行うと、「配信番組」フォルダから移動していない番組は削除される場合があります。
- 本サービスはお申し込みが必要な有料サービスです。サービス未契約の場合は、設定しようとするとMusic&Videoチャネル未契約をお知らせする画面が表示されます。
- Music&Videoチャネル画面で「番組リスト」を選択すると、Music&Videoチャネルに提供されているすべての番組リストを表示します。
「サービスのご案内」を選択すると、サービスの利用方法や注意事項などを表示します。また、サービスへのお申し込みもできます。

番組設定を確認・解除する

1 Music&Videoチャネル画面(P254)▶「番組設定」

2 画面の指示に従って操作する

- 詳しくは、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編)』をご覧ください。

お知らせ

- 番組の設定を解除してもマイメニュー登録は削除されません。

番組を設定すると

- 番組配信の12時間前になると、待受画面にが表示されます。
- 番組配信時間になると自動的に取得を開始します。
- 番組の取得は夜間に自動的に行われ、取得に成功すると待受画面にが、失敗するとが表示されます。一度Music&Videoチャネル画面を表示するとアイコンは消えます。

お知らせ

- 取得の開始時間に圏外の場合や通信の切断などで取得が中断されたときは、3分後に自動的に取得を再開します。最大5回繰り返します。
- 番組配信時間になっても、FOMA端末の電源が入っていない、FOMA端末が圏外、電波状態が悪いなどの理由で取得できなかった場合は、翌日の夜間の同時間帯に再度取得を行います。
- 電池残量表示が以外の場合は、番組を取得できません（取得時に、電池残量が少ないために取得を開始できない旨のメッセージが表示されます)。
- 番組の取得には時間がかかる場合があります。電池残量が十分にあること、また電波状態が良いことを確認してください。
- 次の場合は、番組を自動的に取得できません。Music&Videoチャネル画面から再度番組を設定してください。
  - 番組を設定した後に他のFOMAカードに差し替えたとき
  - 番組を設定した後にFOMAカードを別のMusic&Videoチャネル対応FOMA端末に差し替えたとき
  - FOMA端末のメモリ削除を行ったとき
- 番組取得中に電波状況などにより取得を中断した場合は、次回配信日まで自動取得を行いません。手動で番組を取得してください。
- 取得された番組は、「データBOX」内「Music&Videoチャネル」の「配信番組」フォルダに一時的に保存されます。その番組のあるチャネルが更新されると、「配信番組」フォルダの番組は削除され、再生できなくなります。削除されたくない番組は、他のフォルダに移動してください。→P259
ただし、番組によっては移動できない場合があります。
- 新規設定、番組解除、またはマイメニュー、Music&Videoチャネル、ｉモードの解約を行った場合、「配信番組」フォルダから移動した番組以外は削除されます。
- 番組の取得を開始、完了したときでも着信音、バイブレータは鳴動しません。また、イルミネーションも点灯／点滅しません。

番組を手動で取得する

番組の取得に失敗した場合は、手動で残りを取得してください。

1 Music&Videoチャネル画面（P254）▶番組を選択▶「はい」

- 取得に失敗した番組には が表示されます。

お知らせ

- データBOXのMusic&Videoチャネル番組一覧から操作する場合は、取得に失敗した番組にカーソルを移動▶［再生］▶「はい」を選択します。
- 取得が中断されても、中断までに取得されたチャプターまでは部分的に再生できます。
- 再生回数、再生期間、再生期限が切れている番組は取得を再開できません。
- 時間帯によっては、手動での番組取得ができない場合があります。

番組を再生する

1 Music&Videoチャネル画面（P254）▶番組を選択

Music&Video
チャネルプレーヤー画面

❶ **チャプタータイトル／アーティスト名**

❷ **DOLBY設定**
動画番組では表示されません。

❸ **番組名**

❹ **再生経過バー／再生経過時間／全体の長さ**
再生経過をバーで表示します。

❺ **再生中のチャプター番号／全チャプター数**

❻ **リピート設定**
OFF
ON

❼ **チャプター画像／動画または番組画像**

❽ **音量**

❾ **コントロールキー**
操作可能なナビゲーションキーを表示します。

■ Music&Videoチャネルプレーヤー画面のキー操作

操　作	説　明
［ポーズ・再生］	一時停止／再生
（1秒以上）	再生されている番組の頭出しをして一時停止
、／	音量調節
	頭出しまたは前のチャプターを再生／次のチャプターを再生
（押し続ける）	押している間巻戻し／早送り
、	リピート設定を切り替え
	DOLBY設定を切り替え※
／	画像が複数登録されている場合、前の画像／次の画像を表示※
	チャプター／番組画像の表示／非表示を切り替え※（チャプター画像と番組画像の両方が登録されている場合は、チャプター画像と番組画像を切り替えます。）
［一覧］	チャプター一覧を表示
［Web to］	サイトに接続

操　作	説　明
[終話キー]	Music&Videoチャネルプレーヤーを終了

※ 動画番組では利用できません。

お知らせ

- 次の場合は再生が一時停止されます。動作終了後に自動的に再開されます。
  - 音声電話、テレビ電話の着信があったとき
  - ｉモードメール、SMSを受信したとき（「受信表示」が「通知優先」に設定されている場合）
  - アラームが鳴ったとき
- 番組に再生制限が設定されている場合は、定められた再生回数や再生期限、再生期間を過ぎると番組を再生できなくなります。再生回数や再生期限、再生期間は番組情報で確認できます。
- 番組によっては、決められた再生開始時間以外に再生できないものがあります。放送時間は、自動時刻補正されたFOMA端末の時間に従います。
- 部分的に取得した番組を再生しようとすると、残りのデータをダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとダウンロードを開始します。「再生」を選択すると、ダウンロードされているチャプターまで再生します。
- 日本以外の国で使用した場合、表示される期限より前または後に再生期限が切れることがあります。

Music&Videoチャネル画面のサブメニュー

1 Music&Videoチャネル画面（P254）▶番組にカーソルを移動▶[MENU][メニュー]▶次の操作を行う

[番組移動]
選択中の番組を「配信番組」フォルダから移動します。→P259

[番組削除]
選択中の番組を削除します。

[番組情報]
選択中の番組情報を表示します。

[チャプター一覧]
選択中の番組のチャプター一覧を表示します。→P258

[サイト接続]
選択中の番組にURL情報がある場合は、サイトに接続します。

お知らせ

<番組削除>
- 番組を削除しても番組設定は解除されません。Music&Videoチャネルサイトに接続して解除するまで自動的に番組が更新されます。

Music&Videoチャネルプレーヤー画面のサブメニュー

1 Music&Videoチャネルプレーヤー画面（P256）▶[MENU][メニュー]▶次の操作を行う

[BGM再生] ※1
バックグラウンド再生します。→P272

[拡大再生] ※2
動画を拡大表示します。

[チャプター一覧]
リストを表示します。

[チャプター情報]
再生中のチャプター情報を表示します。

[番組情報]
再生中の番組情報を表示します。

[リピート設定]

ON　：再生中の番組をリピート再生します。

OFF：リピート再生しません。

[DOLBY プリセット] ※1

番組を再生するときの音質を設定します。（Dolby Mobile対応）

- 「オリジナル」を選択すると、3つの項目ごとにON・OFFを設定することができます。ただし、「サウンドスペースヘッドフォン」設定はステレオイヤホン出力でのみ機能します。FOMA端末のスピーカー出力では機能しません。

[チャプター画像] ※1

チャプター／番組画像を表示します。→P267

[サイト接続]

再生中の番組にURL情報がある場合は、サイトに接続します。

※1　音楽番組でのみ表示されます。
※2　動画番組でのみ表示されます。

番組のチャプター一覧を表示する

チャプターを選択して再生したり、情報を表示したりします。

1 Music&Videoチャネルプレーヤー画面（P256）▶ [i α] [一覧]

- 再生中のチャプターには♫が表示されます。
- [■] ［再生］：選択中のチャプターを再生します。
- [i α] ［情報］：選択中のチャプターの情報を表示します。

Music&Videoチャネル画面の番組のアイコンについて

Music&Videoチャネル画面や番組の一覧画面には、番組の取得状況や種類などを示す次のアイコンが表示されます。

アイコン	説　明
[アイコン]／[アイコン]	取得した番組／部分的に取得した番組 • 再生済みの番組には「✓」が付きます。 • 決められた再生開始時間以外に再生できない番組には「🕒」が付きます。 • 再生回数／期限／期間が制限されている番組や再生のときに操作が制限されている番組には「⊘」が付きます。
[アイコン]／[アイコン]	取得したチャプター／取得できなかったチャプター
[アイコン]	更新できなかった番組
[アイコン]	取得設定済み（未取得）の番組
[アイコン]	番組取得中

保存番組フォルダへ移動する

取得した番組を上書きされないように「配信番組」フォルダから他のフォルダへ移動できます。移動した番組は「データBOX」の「Music&Videoチャネル」から再生できます。

- 番組を移動するために、あらかじめ「Music&Videoチャネル」フォルダ内に移動先のフォルダを作成してください。→P260
- 番組によっては移動できない場合があります。

1 Music&Videoチャネル画面(P254)▶番組にカーソルを移動▶MENU[メニュー]▶「番組移動」

2 フォルダを選択▶iα[移動]

- 「配信番組」フォルダ以外を選択してください。

お知らせ

- 取得した番組をコピーすることはできません。
- 部分的に取得した番組は、移動できません。
- 移動先はFOMA端末本体のみです。microSDカードには移動できません。

データBOXからMusic&Videoチャネルを操作する

「データBOX」の「Music&Videoチャネル」から配信された番組の再生、移動や番組タイトルの変更などができます。

データBOXから再生する

1 MENU▶「Data Box」▶「Music&Videoチャネル」

- iα［作成］：新規フォルダを作成します。

フォルダ一覧画面

2 フォルダにカーソルを移動▶■[開く]

番組一覧画面

3 番組にカーソルを移動▶■[再生]

フォルダ一覧画面のサブメニュー

1 フォルダ一覧画面（P259）▶フォルダにカーソルを移動▶MENU［メニュー］▶次の操作を行う

［新規フォルダ］
新規フォルダを作成します。
- 作成したフォルダの中にさらにフォルダを作成することはできません。

［名称変更］
選択中のフォルダ名を編集します。

［削除］
選択中のフォルダを削除します。

［メモリ情報］
本体メモリー：「データBOX」内の保存領域の状態などを表示します。
外部メモリー：microSDカードの保存領域の状態などを表示します。

お知らせ
- 「配信番組」フォルダは名称変更、削除できません。

番組一覧画面のサブメニュー

1 番組一覧画面（P259）▶番組にカーソルを移動▶MENU［メニュー］▶次の操作を行う

- ✉［削除］：選択中の番組を削除します。

［再生］
選択中の番組を再生します。

［番組移動］
選択中の番組を「配信番組」フォルダから移動します。

［名称変更］
選択中の番組タイトルを変更します。

［削除］
1件：選択中のファイルを削除します。
選択：ファイルを選択して削除します。
▶削除したいファイルにチェックを付ける▶iα［完了］▶「はい」
- MENU［全選択・全解除］を押して全選択／全解除できます。

全件：フォルダ内のすべてのファイルを削除します。
▶「はい」▶端末暗証番号を入力

［番組情報］
選択中の番組情報を表示します。

［チャプター一覧］
チャプター一覧を表示します。→P258

［新規フォルダ］
利用できない項目です。

音楽の再生方法について

FOMA端末で音楽を再生する方法は次の2種類です。
- ミュージックプレーヤーで再生
  サイトから取得した着うたフル®やパソコンなどを使ってmicroSDカードに保存したWMAファイル、SD-Audioデータを再生します。
- ｉモーションとして再生
  ｉモードで取得してデータBOXに保存した音声のみのｉモーションを再生します。→P307

音楽を聴きながらメールやｉモードサイトの表示などを利用することができます（バックグラウンド再生）。→P272

ミュージックプレーヤーについて

■ 再生可能な着うたフル®のファイル形式について

ファイル形式	MP4
ビットレート	8～128 kbps
保存可能容量（FOMA端末本体）	最大約150Mバイト
作成可能なプレイリスト件数	最大10件

■ 再生可能なSD-Audioデータのファイル形式について

ファイル形式	MPEG-2 AAC
ビットレート（ステレオ）	16～72 kbps
保存可能曲数	最大999曲
作成可能なプレイリスト件数	最大99件

■ 再生可能なWMAファイル形式について

ファイル形式	WMA（Windows Media Audio 9 Standard、Windows Media Audio 10 Professional）
ビットレート	8～192kbps
保存可能曲数	最大1000曲

音楽データを保存する

着うたフル®をダウンロードする

- 着うたフル®は最大約150Mバイト、1曲あたり最大5Mバイトまで保存できます。
- ダウンロードした着うたフル®は、「データBOX」内「ミュージック」の「ｉモード」フォルダまたはmicroSDカードに保存されます。

1 着うたフル®があるサイトを表示▶ダウンロードする着うたフル®を選択

ダウンロードが完了すると、確認画面が表示されます。

2 「保存」▶保存先を選択

再生　：ダウンロードした着うたフル®を再生します。
情報表示：ダウンロードした着うたフル®の情報を表示します。
戻る　：着うたフル®を保存せずにサイト画面に戻ります。

- microSDカードを取り付けている場合は、保存先を選択します。

microSDカードにWMAファイルを保存する

WMAファイルをFOMA端末で再生するには、次のものが必要です。

- L-06A本体
- FOMA充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）
- パソコン（Windows Vista、Windows XP Service Pack2以降）
- Windows Media Player 10/11
- microSDカード

※ Windows Vistaでは、Windows Media Player 11をご利用ください。

1 FOMA端末にmicroSDカードを挿入する

- microSDカードの挿入方法→P318

2 MENU▶「Settings」▶「その他」▶「USBモード設定」▶「MTPモード」

3 パソコンと接続する

- 詳しくは、「FOMA端末をmicroSDカードリーダー／ライターとして使う」の操作2・3をご覧ください。（P326）

4 Windows Media Player 10/11を起動して、音楽データをmicroSDカードに保存する

- Windows Media Player 10/11の操作方法については、Windows Media Player 10/11のヘルプをご覧ください。
- 保存完了後、FOMA端末とパソコンからFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02を取り外してください。

ナップスター®アプリについて

ナップスター®アプリを利用して音楽データを保存することもできます。

- ナップスター®アプリは下記のホームページよりダウンロードできます。
  http://www.napster.jp/
- ナップスター®アプリについてご不明な点がございましたら、下記のホームページをご覧ください。
  http://www.napster.jp/support/

お知らせ

- 他のFOMA端末でmicroSDカードに保存したWMAファイルは、L-06Aで表示・再生されない場合があります。
- 他のFOMA端末でWMAファイルを転送したmicroSDカードを使用すると、MTPモードに切り替えてもパソコンで認識されない場合があります。その場合は、パソコンなどでmicroSDカード内の「WM」フォルダと「WM_SYSTEM」フォルダを削除するか、microSDカードをL-06Aでフォーマットすることをおすすめします。なお、microSDカードをフォーマットすると、音楽データを含むすべてのデータが消去されますのでご注意ください。

microSDカードにSD-Audioデータを保存する

SD-AudioデータをFOMA端末で再生するには、次のものが必要です。

- L-06A本体
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）
- パソコン（Windows Vista、Windows XP、Windows 2000（各日本語版））
- SD-Jukebox
- 保存したい音楽が収録されたCD
- microSDカード

■ SD-Jukeboxについて

SD-Jukeboxは下記URLより購入できます。
http://club.panasonic.co.jp/mall/sense/open/
SD-Jukeboxの対応OSは、Windows Vista、Windows XP、Windows 2000（各日本語版）です。
動作環境の詳細など、詳しくは下記URLをご参照ください。
http://panasonic.jp/support/software/sdjb/

1 付属のL-06A用CD-ROMをパソコンにセットする

2「エンターテイメントツール」をクリックする

「SD-Jukebox」の記載内容に従うとSD-Jukeboxを購入できます。

3 SD-Jukeboxをパソコンにインストールする

インストール方法については、SD-Jukeboxの取扱説明書などをご覧ください。

4 FOMA端末にmicroSDカードを挿入し、パソコンと接続する

- microSDカードの挿入方法→P318
- パソコンとの接続方法→P326

5 SD-Jukeboxを起動して、音楽データをmicroSDカードに保存する

- SD-Jukeboxの操作方法については、SD-Jukeboxのヘルプをご覧ください。
- 保存完了後、FOMA端末とパソコンからFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02を取り外してください。

ミュージックプレーヤー

音楽データを再生する

FOMA端末本体とmicroSDカードに保存した全曲、またはアーティスト名、ジャンル、アルバム名を指定して連続再生できます。

例：「全曲」から再生する場合

1 MENU▶「MUSIC」▶「ミュージックプレーヤー」

ミュージック画面

2「全曲」

音楽データ一覧画面（ソングリスト）

プレイリスト：プレイリストを表示、作成、再生します。→P267
アーティスト：音楽データをアーティストごとに表示します。
ジャンル：音楽データをジャンルごとに表示します。
アルバム：音楽データをアルバムごとに表示します。
続きから再生：最後に再生した曲／プレイリストを再生します（現在再生中の曲がある場合は、「現在再生中」と表示され、選択すると再生画面を表示します）。

- ：FOMA端末に保存されている音楽データ

- [microSD icon]: microSDカードに保存されている音楽データ

3 音楽データにカーソルを移動▶[■][再生]

選択した音楽データから、音楽データ一覧の表示順に再生します。

ミュージックプレーヤー画面

❶ **曲名、アーティスト名**
❷ **DOLBY設定**
❸ **アルバム名**
❹ **再生経過バー／再生経過時間／全体の長さ**
再生経過をバーで表示します。
❺ **リピート設定**
- 無し
- 再生中楽曲
- 全曲再生

❻ **ジャケット画像／歌詞**
❼ **音量**
❽ **コントロールキー**
操作可能なナビゲーションキーを表示します。
❾ **シャッフル**
- シャッフルOFF
- シャッフルON

■ミュージックプレーヤー画面のキー操作

操　作	説　明
[■][ポーズ・再生]	一時停止／再生
[■]（1秒以上）	曲の頭出しをして一時停止
[上下]、[▲]／[▼]	音量調節
[左右]	頭出しまたは前の曲を再生／次の曲を再生
[左右]（押し続ける）	押している間巻戻し／早送り
[カメラTV]、[*]	シャッフル設定を切り替え
[メール]、[#]	リピート設定を切り替え
[□]	DOLBY設定を切り替え
[7]／[9]	前の画像／次の画像を表示
[8]	ジャケット画像／歌詞の表示／非表示を切り替え
[iα][一覧]	音楽データ一覧画面を表示 一覧画面表示中は再生している曲のタイトル右側に♫が表示されます。
[終話]	ミュージックプレーヤーを終了

お知らせ

- 次の場合は再生が一時停止されます。動作終了後に自動的に再開されます。
  - 音声電話、テレビ電話の着信があったとき
  - ｉモードメール、SMSを受信したとき（「受信表示」が「通知優先」に設定されている場合）
  - アラームが鳴ったとき
- 音楽データ再生中は、キー確認音などの効果音は出ません。
- アーティスト、ジャンル、アルバムの振り分けは、音楽データの詳細情報に従います。ただし、SD-Audioデータでは、「ジャンル」の情報が扱えないため、「不明」と表示されます。
- 日本以外の国で使用した場合、表示される期限より前または後に再生期限が切れることがあります。

音楽データ一覧画面のサブメニュー

1 音楽データ一覧画面（P263）▶音楽データにカーソルを移動▶MENU［メニュー］▶次の操作を行う

- ■［再生］：選択中の音楽データから再生します。
- i α［プレイリスト］：選択中の音楽データをプレイリストに追加します。→P270

［再生］
選択中の音楽データから再生します。

［プレイリストに追加］
選択中の音楽データをプレイリストに追加します。→P270

［複数選択］
音楽データを複数選択して再生します。再生中の操作はプレイリストと同様です。→P268

▶再生したい音楽データにチェックを付ける▶i α［再生］
- MENU［メニュー］を押して、「再生」「プレイリストに追加」「ソート」「全件選択」「全件解除」を選択できます。
「プレイリストに追加」を選択すると、チェックを付けた音楽データをプレイリストに追加できます。

［検索］※1
「タイトル」「アーティスト」「アルバム」「ジャンル」「年」※2の項目から指定して音楽データを検索します。

▶項目を選択▶項目を入力▶i α［検索］
- 指定されたすべての項目に一致する音楽データを表示します。

［ソート］
条件を設定して音楽データを並べ替えます。

［情報表示］
選択中の音楽データの情報を表示、編集します。

▶項目にカーソルを移動▶i α［編集］▶項目を編集
- 項目によっては編集できません。
- WMAファイル／SD-Audioデータの情報は、編集できません。

※1 アーティスト／ジャンル／アルバム内の音楽データ一覧画面では表示されません。
※2 SD-Audioデータでは「年」は検索できません。

ミュージックプレーヤー画面のサブメニュー

1 ミュージックプレーヤー画面▶MENU［メニュー］▶次の操作を行う

［MUSICへ］
音楽データを再生したままミュージック画面を表示します。→P263

［BGM再生］
バックグラウンド再生します。→P272

［リスト］
音楽データ一覧画面を表示します。→P263

［情報表示］
再生中の音楽データの情報を表示、編集します。

▶項目にカーソルを移動▶i α［編集］▶項目を編集
- 項目によっては編集できません。
- WMAファイル／SD-Audioデータの情報は、編集できません。

［シャッフル ON・シャッフル OFF］
シャッフル再生ON／OFFを切り替えます。

次のページへ続く

[リピート設定]

無し　：リピート再生しません。

再生中楽曲：再生中の音楽データをリピート再生します。

全曲再生　：音楽データ一覧画面のすべての音楽データをリピート再生します。

[DOLBY プリセット]

楽曲を再生するときの音質を設定します。(Dolby Mobile対応)

- 「DOLBYカスタム」を選択すると、3つの項目ごとにON・OFFを設定することができます。ただし、「サウンドスペースヘッドフォン」設定はステレオイヤホン出力でのみ機能します。FOMA端末のスピーカー出力では機能しません。

[ジャケット画像] ※

ジャケット画像を表示したり、データBOXに保存したりします。→P267

[歌詞] ※

歌詞を表示したり、データBOXに保存したりできます。→P267

[音設定] ※

再生中の音楽データを着信音などに設定します。→P266

[サイト接続] ※

再生中の音楽データにURL情報がある場合は、サイトに接続します。

※ WMAファイル／SD-Audioデータでは利用できません。

着うたフル®を着信音に設定する

1 **ミュージックプレーヤー画面(P264)▶MENU[メニュー]▶「音設定」**

2 **着信音の種類を選択**

3 **着信音に設定する範囲を選択**

- 着うたフル®によっては、選択できない項目があります。

[まるごと設定]

再生中の着うたフル®をそのまま着信音に設定します。

[オススメ設定]

再生中の着うたフル®にあらかじめオススメの範囲が登録されている場合に、選択できます。

[おこのみ設定]

おこのみの範囲を指定して、着信音に設定します。

▶◀▶で開始地点を探す▶MENU［開始］▶◀▶で完了地点を探す▶MENU［終了］

お知らせ

- 「アラーム音」を選択した場合は、さらに設定するアラームを選択します。(あらかじめ「ON」に設定されているアラームのみ選択できます。)
- 着うたフル®によっては着信音に設定できません。
- microSDカード内の音楽データは着信音に設定できません。

音楽データに含まれた画像や歌詞を表示する

音楽データに含まれたジャケット画像、歌詞、チャプター画像などを表示、保存します。

1 ミュージックプレーヤー画面(P264)▶MENU[メニュー]▶「ジャケット画像」/「歌詞」/「チャプター画像」▶次の操作を行う

[次の画像]
次の画像/歌詞を表示します。

[前の画像]
前の画像/歌詞を表示します。

[全画面表示]
画像/歌詞を全画面で表示します。

[表示 ON・表示 OFF]
ジャケット画像/チャプター画像や歌詞の表示/非表示を切り替えます。

[データBOXに保存] ※
表示中の画像/歌詞を「データBOX」内「マイピクチャ」の「iモード」フォルダに保存します。
- WMAファイル/SD-Audioデータでは利用できません。

※「チャプター画像」では表示されません。

プレイリストを利用する

プレイリストで音楽データの演奏順を指定できます。FOMA端末本体とmicroSDカードに保存した全曲からお好みの楽曲をお好みの順番で再生します。

プレイリストを作成する

全曲プレイリストは10件、SD-Audioプレイリストは99件まで、1件のプレイリストには99曲まで音楽データを登録できます。

1 MENU▶「MUSIC」▶「ミュージックプレーヤー」▶「プレイリスト」▶項目を選択

全曲プレイリスト：FOMA端末で作成したプレイリストを表示します。

WMAプレイリスト：WMAファイルのプレイリストを表示します。
- パソコンから転送されたプレイリストです。FOMA端末では作成・編集できません。

SDオーディオプレイリスト：SD-Audioデータのプレイリストを表示します。

全曲プレイリスト
クイックプレイリスト (2)
☆お気に入り☆ (2)
恋うた♥ (2)

プレイリスト一覧画面

2 iα[新規]▶プレイリスト名を入力
- 全角/半角どちらも30文字まで入力できます。

3 プレイリストを選択▶iα[追加]▶フォルダを選択

4 プレイリストに登録したい音楽データにチェックを付ける▶[i α][完了]

- [MENU]［メニュー］を押して、「ソート」「情報表示」「全件選択」「全件解除」を選択できます。

プレイリストを再生する

1 プレイリスト一覧画面(P267)▶再生したいプレイリストを選択

☆お気に入り☆
ドコモの歌-ドコモ太郎
The theme of DOCOMO

プレイリスト登録済み音楽データ一覧画面

2 音楽データにカーソルを移動▶[■][再生]

選択した音楽データから、音楽データ一覧の表示順に再生します。

プレイリスト一覧画面のサブメニュー

1 プレイリスト一覧画面(P267)▶プレイリストにカーソルを移動▶[MENU][メニュー]▶次の操作を行う

[再生]
選択中のプレイリストを再生します。

[プレイリスト作成]
プレイリストを作成します。→P267

[名称変更]
プレイリスト名を変更します。

[プレイリスト複写] ※
選択中のプレイリストをコピーして、新しいプレイリストを作成します。
▶「はい」▶新しいプレイリスト名を入力

[プレイリスト削除]
選択中のプレイリストを削除します。

[複数選択]
プレイリストを選択して削除します。
▶削除したいプレイリストにチェックを付ける▶[i α]［削除］▶「はい」
- [MENU]［メニュー］を押して、「削除」「全件選択」「全件解除」を選択できます。

※ SDオーディオプレイリストでは利用できません。

お知らせ
- WMAプレイリスト一覧画面には、サブメニューはありません。

<名称変更／プレイリスト削除>
- 「クイックプレイリスト」では利用できません。

プレイリスト登録済み音楽データ一覧画面のサブメニュー

1 プレイリスト登録済み音楽データ一覧画面（P268）▶音楽データにカーソルを移動▶MENU［メニュー］▶次の操作を行う

- iα［追加］：表示中のプレイリストに音楽データを追加します。

［再生］

選択中の音楽データから再生します。

［楽曲追加］※1

表示中のプレイリストに音楽データを追加します。

フォルダを選択▶登録したい音楽データにチェックを付ける▶iα［完了］

- MENU［メニュー］を押して、「ソート」「情報表示」「全件選択」「全件解除」を選択できます。

［複数選択］

音楽データを複数選択して再生します。再生中の操作はプレイリストと同様です。

▶再生したい音楽データにチェックを付ける▶iα［再生］

- MENU［メニュー］を押して、「再生」「リストから削除」※1「ソート」「全件選択」「全件解除」を選択できます。

［移動］※1

選択中の音楽データの順番を移動します。

［リストから削除］※1

選択中の音楽データをプレイリストから削除します。

［検索］

「タイトル」「アーティスト」「アルバム」「ジャンル」「年」※2を指定して音楽データを検索します。

▶項目にカーソルを移動▶項目を入力▶iα［検索］

- すべての項目に一致する音楽データを表示します。
- 検索結果画面ではMENU［メニュー］を押して、「再生」「プレイリストに追加」※1「複数選択」「保存」※3「ソート」「情報表示」を選択できます。「保存」を選択すると、検索結果以外の音楽データをプレイリストから削除します。

［ソート］

音楽データの登録情報に基づいて並べ替えます。

［情報表示］

選択中の音楽データの情報を表示、編集します。

▶項目にカーソルを移動▶iα［編集］▶項目を編集

- 項目によっては編集できません。
- WMAファイル／SD-Audioデータの情報は、編集できません。

※1　WMAプレイリストでは利用できません。
※2　SD-Audioデータでは「年」は検索できません。
※3　WMAプレイリスト／SD-Audioプレイリストでは表示されません。

プレイリストに音楽データを追加する

1 MENU▶「MUSIC」▶「ミュージックプレーヤー」▶「全曲」

2 登録したい音楽データにカーソルを移動▶iα［プレイリスト］▶プレイリストを選択

選択したプレイリストに音楽データが追加登録されます。

- iα［新規］：選択中の音楽データを登録した新しいプレイリストを作成します。

■**複数の音楽データを登録する場合**
MENU［メニュー］▶「複数選択」▶登録したい音楽データにチェックを付ける▶MENU［メニュー］▶「プレイリストに追加」▶プレイリストを選択します。

音楽データをクイックプレイリストに登録する

よく聴く音楽データは、簡単な操作で「クイックプレイリスト」に登録できます。

- 登録した音楽データを再生するときは、プレイリスト一覧画面で「クイックプレイリスト」を選択します。

1 音楽データ一覧画面（P263）▶登録したい音楽データにカーソルを移動▶ ⌒（1秒以上）

- ターンビュースタイルでは、登録したい音楽データを1秒以上タッチし続けてください。

音楽データの管理

音楽データは「データBOX」の「ミュージック」内に保存されます。着うたフル®の削除、移動などはデータBOXから操作します。

- WMAファイルはFOMA端末では削除・編集できません。パソコンで操作してください。
- SD-AudioデータはFOMA端末では削除できません。SD-Jukeboxで操作してください。

1 MENU▶「Data Box」▶「ミュージック」

2 「iモード」／「移行可能コンテンツ」／作成したフォルダにカーソルを移動▶■［開く］▶着うたフル®にカーソルを移動▶MENU［メニュー］▶次の操作を行う

- TV［切替］：リスト表示／ピクチャ表示を切り替えます。
- ✉［削除］：選択中の着うたフル®を削除します。
- 「WMA」「SDオーディオ」フォルダを選択した場合は、音楽データ再生時の操作と同様です。→P263

［ファイル］

再生：選択中の着うたフル®を再生します。

名称変更：選択中の着うたフル®の表示名を変更します。

表示名初期化：選択中のファイルの表示名をファイルに設定されている「タイトル」-「アーティスト」に戻します。

情報表示：選択中の着うたフル®の情報を表示、編集します。
▶項目にカーソルを移動▶iα［編集］▶項目を編集
- 項目によっては編集できません。
- 編集した項目にカーソルを移動してMENU［初期化］▶「はい」を押すと、編集前の内容に戻ります。

ジャケット画像：着うたフル®に含まれた画像を保存します。→P267

歌詞：着うたフル®に含まれた歌詞を保存します。→P267

［削除］

一件：選択中の着うたフル®を削除します。

選択：着うたフル®を選択して削除します。
▶削除したい着うたフル®にチェックを付ける▶ⅰα［完了］▶「はい」

- MENU［全選択・全解除］を押して全選択／全解除できます。

全件：フォルダ内のすべての着うたフル®を削除します。
▶ⅰα［完了］▶「はい」▶端末暗証番号を入力

- MENU［全選択・全解除］を押して全選択／全解除できます。

［移動］

一件：選択中の着うたフル®を移動します。
▶移動先のフォルダを選択

選択：着うたフル®を選択して移動します。
▶移動先のフォルダを選択▶移動したい着うたフル®にチェックを付ける▶ⅰα［完了］

- MENU［全選択・全解除］を押して全選択／全解除できます。

全件：フォルダ内のすべての着うたフル®を移動します。
▶移動先のフォルダを選択▶ⅰα［完了］▶端末暗証番号を入力

- MENU［全選択・全解除］を押して全選択／全解除できます。

［コピー］

利用できない項目です。

［音設定］

選択中の着うたフル®を着信音に設定します。→P266

［ソート］

条件を設定して着うたフル®を並べ替えます。

［メモリ情報］

本体メモリー：「データBOX」内の保存領域の状態などを表示します。

外部メモリー：microSDカードの保存領域の状態などを表示します。

［新規フォルダ］

新規フォルダを作成します。

［リスト表示・ピクチャ表示］

リスト表示／ピクチャ表示を切り替えます。

お知らせ

- プレイリストに登録されている音楽データを削除したり、FOMA端末とmicroSDカード間で移動したりした場合、その音楽データはプレイリストから削除されます。
- フォルダ選択中のサブメニューは、「マイピクチャ画面のサブメニュー」（P297）と同じです。

<新規フォルダ>

- 作成したフォルダ内に、さらに新規フォルダを作成することはできません（「移行可能コンテンツ」フォルダ内のみ2階層まで作成できます）。

「データBOX」内の着うたフル®に表示されるアイコンについて

アイコン	説　明
／	再生回数が決められているファイル（再生可能）／再生回数を過ぎたファイル（再生不可能）
／	再生期限または再生期間内のファイル（再生可能）／再生期限を過ぎたまたは再生期間外のファイル（再生不可能）
	microSDカード内のファイル

バックグラウンド再生

音楽を聴きながら他の機能を利用する

1 音楽再生中にMENU［メニュー］▶「BGM再生」

再生を続けながら、待受画面を表示します。
画面上部に BGM または BGM が表示され、待受画面には、曲名やアーティスト名などの情報も表示されます。

お知らせ

- バックグラウンド再生中は、▲／▼を押して音量調節できます。
- バックグラウンド再生中にミュージックプレーヤー画面に戻るときは、▶♫（ミュージックプレーヤー）を選択します。
- バックグラウンド再生を停止するときは、▶「はい」を選択します。
- バックグラウンド再生中は、待受画面にｉモーションを設定していても再生されません。その場合、お買い上げ時の待受画面が表示されます。
- microSDカード内の音楽データをバックグラウンド再生中には、他の機能でmicroSDカードを利用できないことがあります。その場合は、バックグラウンド再生を停止してください。

ｉアプリ

ｉアプリ

「ｉアプリ」とは、ｉモード対応携帯電話用のソフトです。ｉモードサイトからさまざまなソフトをダウンロードすれば、自動的に株価や天気情報などを更新させたり、ネットワークに接続していない状態でもゲームを楽しんだり、FOMA端末をより便利にご利用いただけます。

- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 海外でご利用の場合は、国内でのパケット通信料と異なります。→P408
- ｉアプリの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

サイトからｉアプリをダウンロードする

サイトからソフトをダウンロードして、FOMA端末に保存します。

- ダウンロードできるソフトは最大1Mバイトです。
- ダウンロードしたソフトは最大100件登録できます。ただし、ソフトのデータ量によって保存可能件数は少なくなる場合があります。
- ｉアプリでは、タッチ操作はできません。

1 サイト表示中▶ソフトを選択▶「はい」

- [iα]［キャンセル］:ダウンロードを中止します。

■「ソフト情報表示設定」を「表示する」に設定している場合

ソフトの情報が表示されます。[■]［OK］▶「はい」でソフトがダウンロードされます。

2 ダウンロード完了▶「はい」

ダウンロードしたソフトが起動します。

- ソフトによってはダウンロード完了後に動作条件を設定する画面が表示されることがあります。設定は後で「ソフト設定」から変更できます。→P277

お知らせ

- ダウンロード時に、端末情報データ（登録データや携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号）を利用することを通知する画面が表示される場合があります。「はい」を選択するとダウンロードを開始します。利用する端末情報データの詳細を確認したい場合は[iα]［詳細］を押して確認してください。この場合、お客様の端末情報データはインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP（情報サービス提供者）などに通知されることはありません。
- 異なるFOMAカードでダウンロード済みのソフトを再ダウンロードする場合、上書きするかどうかを確認する画面が表示されます。上書きする場合は「はい」を選択します。
- ソフトが最大保存件数まで保存されている場合や、メモリの空き容量が不足している場合は、他のｉアプリを削除するかどうかを確認する画面が表示されます。
メモリの空き容量が不足している場合は、必要なメモリ容量を確認しながら削除するｉアプリを選択できます。
削除する場合は「はい」▶メモリ容量を確認しながら削除するソフトにチェックを付ける▶[iα]［削除］▶「はい」を選択すると、チェックを付けたソフトを削除してダウンロードを開始します。
- おサイフケータイ対応ｉアプリの場合、ICカード内のデータ容量によっては、ソフト保存領域に空きがあってもダウンロードできない場合があります。確認画面に従い、表示されるソフトを削除してから再度ダウンロードを行ってください（ダウンロードするソフトの種類によって、一部のソフトが削除対象とならない場合があります）。ソフトによっては、お客様がソフトを起動してICカード内のデータを削除してから、ソフト自体の削除を行うものがあります。

- ダウンロード時に電波状況などの理由により、ダウンロードに失敗した場合は、部分保存されることがあります。再度ダウンロード操作した場合や、ソフト一覧で部分保存されたｉアプリを選択した場合は、残りのファイルを続けてダウンロードします。
- ダウンロード時に、FOMA端末のメモリの空き容量が不足したため古いソフトを削除した後で、電波状況などによりダウンロードが失敗しても、古いソフトは復活できません。
- ダウンロード完了後すぐに起動するソフトによっては、保存できないソフトもあります。

メール連動型ｉアプリのダウンロードについて

メール連動型ｉアプリをダウンロードするときは、次の点にご注意ください。

- メール連動型ｉアプリをダウンロードしたとき、受信メール／送信メール内にメール連動型ｉアプリ用フォルダが自動的に作成されます。フォルダ名はダウンロードしたメール連動型ｉアプリ名となり、変更できません。
- メール連動型ｉアプリは17件（他のｉアプリとあわせて最大100件）まで保存可能です。
- 同じフォルダを利用するメール連動型ｉアプリがすでにFOMA端末に保存されている場合は、ダウンロードできません。
- メール連動型ｉアプリ用フォルダのみが残っており、そのフォルダを利用するメール連動型ｉアプリを再度ダウンロードしようとしたとき、フォルダを利用できます。フォルダを利用しないときは、フォルダを削除して新規フォルダを作成できます。新規フォルダを作成しないときは、メール連動型ｉアプリをダウンロードできません。
- メール連動型ｉアプリを残したままで、対応するメール連動型ｉアプリ用フォルダは削除できません。メール連動型ｉアプリがないときはフォルダを削除できますが、受信メール／送信メール内に作成されたフォルダがまとめて削除されます。
- メール連動型ｉアプリを削除するとき、自動的に作成されたフォルダを同時に削除するかどうかを選択できます。ただし、フォルダ内に保護されているメールがあるときはフォルダを削除できません。

ソフト情報表示設定

ダウンロード時にｉアプリの情報を見る

ダウンロード時に、ソフトの情報を表示するかどうかを設定します。

1 MENU▶「ｉ-αppli」▶「ｉアプリ設定」▶「ソフト情報表示設定」▶「表示する」／「表示しない」

ｉアプリを起動する

1 待受画面▶ｉα（1秒以上）

- ｉα［切替］：ソフト一覧画面の表示方法を切り替えます。
- ✉［▲］／📷TV［▼］：前／次の画面にスクロールします。

ソフト一覧画面

■ソフト一覧画面のアイコン

アイコン	説　明
[α]	通常のｉアプリ
[dx]	ｉアプリDX
[時計]	自動起動が設定されているｉアプリ
[SSL]	SSL通信でダウンロードしたｉアプリ
[待受]	待受画面に設定されているｉアプリ
[IC]	おサイフケータイ対応のｉアプリ

アイコン	説　明
[icon]	iCお引っこしサービスご利用後、iアプリのダウンロードを行っていないもの→P290
[icon]	部分保存されたｉアプリ

2 ソフトを選択

- 「ソフト設定」の「通信設定」が「起動ごとに確認」に設定されている場合は、通信を許可するかどうかを確認する画面が表示されます。「はい」／「いいえ」を選択します。

■ ｉアプリを終了する場合

[key]▶「はい」を選択します。

ソフトから他のソフトを起動するには

ソフトによっては、指定されたｉアプリを起動でき、ソフト一覧画面に戻ることなくソフトを楽しめます。

- 起動するソフトがFOMA端末に保存されていないときは、ダウンロードする必要があります。
- 起動するソフトが指定されていないときは、画面の指示に従ってソフトを選択してください。

セキュリティエラーが起こったときは

ソフトが許可されている機能以外の動作をしようとすると、セキュリティエラーが表示され、その内容が「セキュリティエラー履歴」に記録されます。→P286

ソフトに異常があったときは

ソフトに異常があった場合は、その内容をトレース情報で確認できます。→P286

ｉアプリ作成者の方へ
ソフトを作成中、正常に動作しないときはトレース情報が参考になる場合があります。

お知らせ

- ソフトによっては、起動中に通信を行う場合があります。自動的に通信を行わないようにするには「ソフト設定」の「通信設定」で設定できます。→P277
- ソフト起動中に音声電話、テレビ電話がかかってきた場合、ソフトを中断して応答することができます。通話を終了すると元の画面に戻ります。
- ソフト起動中でもメールやメッセージR/Fを受信できます。ソフトは継続され、画面上部に[icon]、[icon]、[icon]などが表示されます。受信したメールやメッセージR/Fを確認する場合はソフトを終了させてください。
- ｉアプリで利用する画像※やお客様が入力したデータなどは、自動的にインターネットを経由し、サーバに送信される可能性があります。

※ ｉアプリで利用する画像とは、カメラ連携（連動）アプリからカメラを起動して撮影した画像、ｉアプリの赤外線通信機能を利用して取得した画像、サイトやインターネットホームページからダウンロードした画像、ｉアプリがデータBOXから取得した画像などです。

- 異なるFOMAカードでダウンロードしたソフトは起動できません。
- ｉアプリによっては音の鳴らないものもあります。
- ソフトによっては、IP（情報サービス提供者）が携帯電話に保存されたソフトにアクセスし、直接使用停止状態にしたりすることがあります。その場合はそのソフトの起動、バージョンアップなどができなくなり、削除およびソフト情報の表示のみ可能になります。再度、ご利用いただくにはソフト停止解除の通信を受ける必要があるため、IP（情報サービス提供者）にお問い合わせください。
- ソフトによっては、IP（情報サービス提供者）が携帯電話に保存されたソフトにデータを送信する場合があります。
- IP（情報サービス提供者）がソフトに対し、停止・再開要求を行ったり、データを送信したりした場合、携帯電話は通信を行い、[icon]が点滅します。この際、通信料はかかりません。

ソフト一覧画面のサブメニュー

1 ソフト一覧画面(P275)▶ソフトにカーソルを移動▶MENU[メニュー]▶次の操作を行う

[ｉアプリTo設定]
選択中のソフトの起動条件を設定します。→P285

[自動起動時刻設定]
選択中のソフトを自動的に起動させるかどうかと、起動させる場合の日時などを設定します。→P284

[ソフト設定]
選択中のソフトの設定を行います。→P277

[ソフト情報]
ｉアプリのソフト名やバージョンなど選択中のソフトの情報を表示します。表示される項目はソフトによって異なります。

[バージョンアップ]
選択中のソフトをバージョンアップします。

[削除]
ソフトを削除します。→P287

お知らせ

<バージョンアップ>
- バージョンアップ時に、端末情報データ（登録データや携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号）を利用することを通知する画面が表示される場合があります。「はい」を選択するとダウンロードを開始します。利用する端末情報データの詳細を確認したい場合はｉα［詳細］を押して確認してください。この場合、お客様の端末情報データはインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP（情報サービス提供者）などに通知されることはありません。

ｉアプリの動作条件を設定する

ソフトごとに動作条件を設定します。ソフト起動中に自動的に通信するように設定したり、アイコン情報や電話帳などの参照を許可するかどうかを設定したりします。

- ソフトによって変更できない項目があります。

1 ソフト一覧画面(P275)▶ソフトにカーソルを移動▶MENU[メニュー]▶「ソフト設定」▶次の操作を行う

[待受画面設定]
選択中のソフトを待受画面に設定します。→P285

[通信設定]
ソフト起動中に通信するかどうかを設定します。

[待受画面通信]
ｉアプリ待受画面設定中に通信するかどうかを設定します。

[アイコン情報]
ソフトを起動したときにメール、メッセージR/F、圏内／圏外、電池残量、マナーモードのアイコン情報の利用を許可するかどうかを設定します。

[電話帳／履歴参照]
ソフトを起動したときに、電話帳、リダイヤル、着信履歴の参照を許可するかどうかを設定します。

[着信音／画像変更]
ソフトを起動したときに、着信音や待受画面などに設定されている画像やメロディを自動的に変更するかどうかを設定します。

[番組表ボタン設定]
ワンセグから起動する番組表ｉアプリにするかどうかを設定します。
- 設定できるｉアプリは1件のみです。

お知らせ

- 設定によっては、ソフトからのネットワーク接続やアイコン情報（未読メール、電池残量など）の利用ができなくなります。

<通信設定>
- 「通信しない」に設定すると、ソフトが起動しない場合やタイムリーな情報提供ができない場合がありますのでご注意ください。
- 「通信する」に設定すると、ソフトが自動的にネットワークに接続します。接続したときはパケット通信料がかかりますのでご注意ください。

<アイコン情報>
- 「利用する」に設定すると、未読のメール、メッセージ、電池残量、マナーモード、圏内、圏外のアイコンの有無がお客様の「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」と同じようにインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得されることがあります。アイコン情報が必要なソフトの場合、「利用しない」に設定するとソフトが動作しない場合があります。

お買い上げ時に登録されているｉアプリ

お買い上げ時に登録されているソフトを削除後にもう一度ご利用になるときは、ｉMenu内のサイト「WOW LG」からダウンロードできます。**→P133**
- ｉアプリでは、タッチ操作はできません。

Mingle Mangle

隣り合ったミングル（キャラクター）を入れ替えながら、縦・横方向に同じ種類のミングルを3つ以上並べるゲームです。

1 ソフト一覧画面（P275）▶「Mingle Mangle」

2 いずれかのキー（ダイヤルキー、[＊]、[#]、[✉]、[■]、[MENU]、[CLR]）を押す▶次の操作を行う

[オリジナル]
「7×7」「8×8」のマスどちらかを選んでゲームをします。

[探検]
探検コースごとに設定された指令をクリアしながらミングルを助け出します。クリアすると自動的にセーブされます。

[ランキング]
ランキングを表示します。

[セットアップ]
サウンドのオン／オフ、振動のオン／オフを設定します。

[ヘルプ]
ゲームの内容や操作方法を表示します。

[終了]
ｉアプリを終了します。

Sudoku Cafe

空いているマスに1～9のいずれかの数字を入れてください。ただし、縦・横の各列および、太線で囲まれた3×3のブロックに同じ数字が複数入ってはいけません。

1 **ソフト一覧画面(P275)▶「Sudoku Cafe」**

ゲームのタイトル画面が表示されます。

2 **いずれかのキー(ダイヤルキー、*、#、[メール]、[■]、[MENU]、[CLR])を押す**

メニュー画面が表示されます。

3 **次の操作を行う**

[チュートリアル]
練習しながらゲームのやり方を覚えます。

[レコードモード]
問題を解くまでの時間を競います。

[カスタムモード]
自分で新しい問題を作成し、ゲームすることができます。

[環境設定]
スキャン機能／ライン機能のどちらを使用するか、およびサウンドや振動のオン／オフ、背景などを設定します。

[ランキング確認]
ランキングを表示します。

[ヘルプ]
ゲームの内容や操作方法を表示します。

[ゲーム終了]
ｉアプリを終了します。

マクドナルド トクするアプリ

※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

マクドナルドで使える割引クーポン「かざすクーポン」をダウンロードして使うことができます。
「かざすクーポン」のご利用は「トクするケータイサイト」への会員登録後、アプリからお好みのクーポンを選択・設定し、マクドナルドの店頭に設置されている読み取り機にかざしてご利用ください。

- 「マクドナルド トクするアプリ」に関する情報は、マクドナルド公式サイト「トクするケータイサイト」をご覧ください。
  ｉモードサイト：「ｉMenu」▶「メニューリスト」▶「グルメ／レシピ」▶「マクドナルド トクする」
- 「かざすクーポン」はご利用いただけない店舗があります。「かざすクーポン」が使えない地域では、「見せるクーポン」をご利用いただけます。
- 「マクドナルド トクするアプリ」の機能やサービス内容は、変更になる場合があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。

次のページへ続く

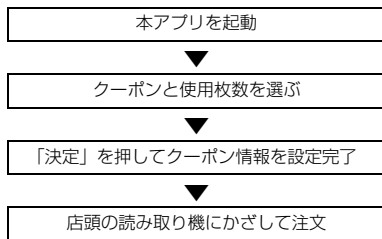
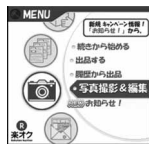
■かざすクーポンの利用方法

本アプリを起動

クーポンと使用枚数を選ぶ

「決定」を押してクーポン情報を設定完了

▼

店頭の読み取り機にかざして注文

楽オク出品アプリ2

※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

「楽オク出品アプリ2」は、楽オクにいつでもどこでもカンタンに出品できる便利なアプリです。
ガイド表示付きで、初めて出品する方にもわかりやすく使えます。また写真撮影や編集、履歴の保存など便利な機能もあり、サイトからの出品よりも短時間で出品することができます。

- 初めてご利用される際には、「利用規約」に同意いただく必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 楽オクの詳細については、『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA編>）』をご覧ください。
- 楽オクで出品をするには楽天会員登録と出品者登録が必要になります。
- 楽オクに関する情報については、iモードサイトをご覧ください。
  iモードサイト：「iMenu」▶「オークション」

サイトアクセス用QRコード

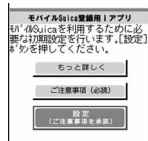
iアプリバンキング

※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

iアプリバンキングとは、FOMA端末からモバイルバンキング（ご自身の口座の残高照会や入出金明細の確認、振込・振替など）を、便利にご利用いただくためのiアプリです。iアプリを起動する際に、ご自身で設定したパスワードを入力するだけで、最大2つまでの金融機関のモバイルバンキングをご利用いただけます。ペイジーによる請求書・納付書のお支払いも可能です。

- iアプリバンキングでモバイルバンキングを利用するには、対応金融機関の口座と、各金融機関へのインターネットバンキングサービスの利用申し込みが必要です。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- iアプリバンキングの詳細については、『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- iアプリバンキングに関する情報については、iモードサイトをご覧ください。
  iモードサイト：「iMenu」▶「メニューリスト」▶「モバイルバンキング」▶「 iアプリバンキング」

サイトアクセス用QRコード

モバイルSuica登録用ｉアプリ

※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

「モバイルSuica登録用ｉアプリ」は、JR東日本が提供するおサイフケータイ対応サービス「モバイルSuica」をご利用いただく前に必要な初期設定を行う、NTTドコモが提供するｉアプリです。本アプリにて初期設定を行った後、画面の指示に従ってJR東日本サイトからモバイルSuicaアプリをダウンロードし、会員登録を行ってください。

- はじめてご利用される際には、「ご注意事項（必読）」に承諾いただく必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 本アプリは、初期設定が完了した後に削除できますが、設定したICカード内エリアは占有された状態となります。当該エリアを他のサービスにご利用いただくためには、ICカード内のデータをすべて初期化（以下、フルフォーマット）していただく必要があります。
- フルフォーマットを実施するには、ドコモショップへのご来店が必要です。
- フルフォーマットを実施すると、ICカード内のすべてのデータが削除されます。
- フルフォーマットを行った後にモバイルSuicaサービスを再度ご利用になる場合は、本ｉアプリにて再度初期設定をしていただく必要があります。
- モバイルSuicaに関する情報は、ｉモードサイトをご覧ください。
  ｉモードサイト：「ｉMenu」▶「メニューリスト」▶「おサイフケータイ」▶「モバイルSuica」
- 「モバイルSuica」は、東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。

モバイルGoogleマップ

地図を表示して、地域情報やお店情報、ユーザー作成コンテンツを簡単に探し出すことができます。また、航空写真モードに切り替えることや、ストリートビューを見ることができます。また、路線検索で目的地までの移動方法を調べ、目的地までのナビゲーションをすることもできます。

■地図画面について

©2009 Google - 地図データ ©2009 ZENRIN

■地図画面のキー操作

操　作	説　明
MENU	メニューの表示
iα	検索（地域のお店やサービスの情報、場所を検索して地図上に表示）

次のページへ続く

操　作	説　明
⊠	カーソルの移動
▣	コンテキストメニュー（現在地の住所、ここまでの経路、ここからの経路、ストリートビュー、お気に入りに保存、付近を検索）
1	ズームアウト
2	地図／航空写真の切り替え
3	ズームイン
0	現在地の表示
*	お気に入りに保存／表示

- 初めて利用するときは、利用規約に同意する必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。本ソフトはパケ・ホーダイ／パケ・ホーダイフル／パケ・ホーダイ ダブルのご利用をおすすめいたします。
- 詳細はメニューの「ヘルプ」をご覧ください。

DCMXクレジットアプリ

※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

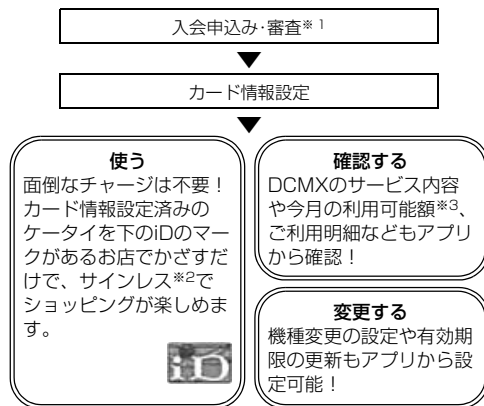
「DCMX」とは、「iD」に対応した、NTTドコモが提供するクレジットサービスです。DCMXには、月々 1万円まで利用できるDCMX miniと、DCMX miniよりたくさん使えてドコモポイントもたまるDCMX／DCMX GOLDの各サービスがあります。
DCMX miniなら、本アプリからの簡単なお申込みで今すぐケータイクレジットがご利用いただけます。

■アプリの機能

入会申込み･審査※1
▼
カード情報設定
▼

使う
面倒なチャージは不要！カード情報設定済みのケータイを下のiDのマークがあるお店でかざすだけで、サインレス※2でショッピングが楽しめます。

確認する
DCMXのサービス内容や今月の利用可能額※3、ご利用明細などもアプリから確認！

変更する
機種変更の設定や有効期限の更新もアプリから設定可能！

※1　DCMX miniはお申込時にオンラインで入会審査をさせていただきます。また、DCMX mini以外のお申し込みについては、ｉモードのお申し込みページに接続します。
※2　一定の条件で暗証番号の入力が必要な場合があります。
※3　DCMX miniのみ可能です。

- サービス内容やお申込み方法の詳細については、DCMXのｉモードサイトをご覧ください。
  ｉモードサイト：「ｉMenu」▶「DCMX iD」

サイトアクセス用QRコード

お知らせ

- 本アプリを初めて起動される際には、「ご利用上の注意」に同意の上、ご利用ください。
- 各種設定、操作時にはパケット通信料がかかります。

iD 設定アプリ

■iD 設定アプリ

※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

「iD」とは、クレジット決済のしくみを利用した便利な電子マネーです。クレジットカード情報を設定したおサイフケータイやiD対応のカードをお店の読み取り機にかざすだけで簡単・便利にショッピングができます。おサイフケータイには、クレジットカード情報を2種類まで登録できるので特典などに応じてお店によって使い分けることもできます。ご利用のカード発行会社によっては、キャッシングにも対応しています。

- おサイフケータイでiDをご利用の場合、iDに対応したカード発行会社へのお申し込みのほか、iD 設定アプリまたはカード発行会社が提供するカードアプリで設定を行う必要があります。なお、ご利用のカードによってはiD 設定アプリで設定の上、カードアプリの設定を行う必要があります。
- iDサービスのご利用にかかる費用（年会費など）は、カード発行会社により異なります。
- iDに関する情報については、iDのｉモードサイトをご覧ください。
  ｉモードサイト：「ｉMenu」▶「メニューリスト」▶「iD」

サイトアクセス用QRコード

おサイフケータイ対応ｉアプリに関するご注意
ICカードに設定された情報につきましては、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

Gガイド番組表リモコン

※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。お住まいの地域に応じたチャンネルが表示されます。

テレビ番組表とAVリモコン機能が1つになった月額利用料が無料の便利なｉアプリです。
知りたい時間の地上デジタル、地上アナログ、もしくはBSデジタルのテレビ番組情報をいつでもどこでも簡単に取得できます。テレビ番組のタイトル・番組内容・開始／終了時間などを知ることができます。また、番組表からワンセグを起動することができます。ワンセグから番組表を起動することもできます。
気になる番組があったら、インターネットを通じて番組をDVDレコーダーなどに録画予約をすることができます（リモート録画予約機能に対応しているDVDレコーダーなどが必要になります。ご利用の際には本アプリの初期設定が必要です）。

次のページへ続く

さらにテレビのジャンルや好きなタレントなどのキーワード、メイン画面上部のピックアップキーワードで番組情報の検索が可能です。また、テレビ・ビデオ・DVDプレーヤーのリモコン操作ができます(一部対応していない機種もあります)。

- はじめて利用するときは、初期設定を行って利用規約に同意する必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 海外でのご利用時は、FOMA端末の「日付/時刻設定」を日本時間に合わせてください。
- Gガイド番組リモコンの詳細については『ご利用ガイドブック(iモード<FOMA>編)』をご覧ください。

■ 視聴予約機能について

本アプリの番組表で視聴したい番組を選択し、ワンセグの視聴予約をすることができます。

視聴予約の方法:

本アプリを立ち上げ、視聴予約したい番組を選び、メニューの「視聴予約」から「予約実行」を選択すると予約スケジューラが起動されますので、画面に従って視聴予約を行ってください。

■ リモート録画予約機能について

リモート録画予約に対応しているDVDレコーダーなどをお持ちの場合には、インターネットを通じて、外出先などから本アプリの番組表より録画予約をすることができます。
リモート録画予約には本アプリにおいて初期設定が必要です。

初期設定方法:

① DVDレコーダーなどにインターネット接続の設定をしてください(ご利用のDVDレコーダーなどの取扱説明書をご確認ください)。
② 本アプリを立ち上げ、メニューの「リモート録画予約」を選択するとガイダンスが表示されますので、ガイダンスに沿って初期設定を進めてください。

番組予約の方法:

初期設定が完了した後、お好きな番組を指定してメニューから「リモート録画予約」を選択すると、インターネット経由で本アプリに設定したDVDレコーダーなどと接続し、録画予約をすることができます。

- ご利用には、別途パケット通信料がかかります。

iアプリを自動起動する

- iアプリを自動起動するには、日付・時刻の設定が必要です。→P52

自動起動設定

自動起動をする

ソフトを自動的に起動するかどうかを設定します。

1 MENU▶「i-αppli」▶「iアプリ設定」▶「自動起動設定」▶「許可する」/「許可しない」

自動起動時刻設定

起動日時を設定する

ソフトを自動的に起動する日時を設定します。最大3件のソフトに設定できます。

1 ソフト一覧画面(P275)▶ソフトにカーソルを移動▶MENU[メニュー]▶「自動起動時刻設定」▶次の操作を行う

[時間間隔設定]
ソフトにあらかじめ設定されている時間間隔で自動起動します。

[起動時刻設定]
iアプリが自動起動する時刻を設定する場合にチェックを付けます。

[時間]※
自動起動する日付と時刻を設定します。

[繰り返し] ※
自動起動の繰り返しパターンを選択します。
1回　：指定した日付と時刻に1回だけ自動起動します。
毎日　：毎日指定した時刻に自動起動します。
曜日指定：毎週指定した曜日の指定した時刻に自動起動します。
▶自動起動させる曜日にチェックを付ける▶[完了]

※「起動時刻設定」にチェックを付けると設定できます。

2 [完了]

お知らせ
- 次の場合、ソフトは自動起動しません。
  - FOMA端末の電源がOFFのとき
  - 通話中、通信中
  - 他の機能を起動しているとき
  - オールロックを設定中（端末暗証番号入力画面表示中も含む）
  - おまかせロック中
  - 「プライバシーモード設定」の「ｉアプリ」を「ON」に設定中（端末暗証番号入力画面表示中も含む）
  - ソフトウェア更新の予約時刻、アラーム・スケジュール・To Doのアラーム時刻と同じ場合
  - 他のFOMAカードでダウンロードしたｉアプリの場合
  - 「通信設定」が「起動ごとに確認」に設定されているｉアプリの場合
  - 同じｉアプリの起動時刻の間隔が10分以内に設定されている場合
- 自動起動時刻に他のソフトを起動していた場合、ソフトは起動しません。また、他の機能を使用していた場合も起動しないことがあります。
- 自動起動に失敗すると待受画面に が表示され、選択すると、自動起動情報（P286）が表示されます。自動起動情報を確認すると、 は表示されなくなります。

ｉアプリTo設定

サイトやメールからｉアプリを実行する

サイトやメール、赤外線通信、バーコードリーダー、ワンセグのデータ放送サイトからソフトを起動するかどうかをソフトごとに設定します。また、ICカード機能対応読み取り機にFOMA端末をかざしたときなどについても設定できます。

1 ソフト一覧画面(P275)▶ソフトにカーソルを移動▶[メニュー]▶「ｉアプリTo設定」▶ソフトの起動を許可する項目にチェックを付ける▶[完了]

ｉアプリ待受画面設定

ｉアプリ待受画面を設定する

選択したｉアプリのソフトを待受画面に設定します。

1 ソフト一覧画面(P275)▶ソフトにカーソルを移動▶[メニュー]▶「ソフト設定」▶「待受画面設定」▶「ON」

お知らせ

- 設定できるｉアプリは1件のみです。
- ｉアプリによっては、待受画面に設定できません。
- ｉアプリ待受画面表示中は、ディスプレイ上部に[icon]／[icon]が表示されます。
- ｉアプリ待受画面を設定中にFOMA端末の電源を入れると、ｉアプリ待受画面起動の確認画面が表示されます。「いいえ」を選択すると、ｉアプリ待受画面を解除します。
- 通信を行うｉアプリをｉアプリ待受画面に設定した場合、電波状況などにより正しく動作しないことがあります。
- オールロック設定中やプライバシーモード設定でｉアプリの利用を制限したときは、ｉアプリ待受画面は表示されません。
- 待受ｉアプリ設定時は、SMSの受信結果画面は表示されず、SMS着信音およびバイブレータは動作しません。

ｉアプリ待受画面のｉアプリを通常のｉアプリとして操作する

1 ｉアプリ待受画面で[CLR]

ｉアプリが起動して、操作できるようになります。

ｉアプリ待受画面解除

ｉアプリ待受画面を解除する

1 ｉアプリ起動中▶[ ]▶「解除する」▶「はい」

「終了する」を選択すると、ｉアプリ待受画面に戻ります。

お知らせ

- 待受画面で[MENU]▶「ｉ-αppli」▶「ｉアプリ設定」▶「待受画面表示終了」▶「解除する」▶「はい」を選択しても、解除できます。

ｉアプリ情報

さまざまな情報を見る

1 [MENU]▶「ｉ-αppli」▶「ｉアプリ情報」▶次の操作を行う

［セキュリティエラー履歴］

セキュリティエラーによって終了したソフトのエラー履歴を表示します。

- [ｉα]［削除］：選択中のエラー履歴を削除します。

［自動起動情報］

ソフトが自動起動できたかどうかを確認します。自動起動が設定された3件までのソフトの最新の起動日時と情報を確認できます。

起動○：正常に自動起動したソフト

起動×：自動起動に失敗したソフト

未起動：設定日時に達していない未起動のソフト

［トレース情報］

ソフトのトレース情報を表示します。

- [ｉα]［削除］：トレース情報を削除します。

［待受画面エラー情報］

ｉアプリ待受画面が解除されるようなエラーが発生したときに、エラー情報を表示します。

- [ｉα]［削除］：エラー情報を削除します。

お知らせ

- 記録されていない履歴や情報は、表示されません。

ｉアプリを削除する

1 ソフト一覧画面(P275)▶ソフトにカーソルを移動▶MENU［メニュー］▶次の操作を行う

［削除］

1件 ：選択中のソフトを削除します。

選択 ：ソフトを選択して削除します。
▶削除したいソフトにチェックを付ける▶ｉα［削除］▶「はい」

全件 ：ソフトをすべて削除します。
▶端末暗証番号を入力▶「はい」

お知らせ

- 自動起動や待受画面に設定している場合は、削除するかどうかを確認する画面が表示されます。削除する場合は「はい」を選択します。
- おサイフケータイ対応ｉアプリによっては、ICカード内のデータも削除されたり、削除する前にｉアプリを起動しICカード内のデータをあらかじめ削除しておく必要があります。
- おサイフケータイ対応ｉアプリによっては、削除できない場合があります。

ｉアプリのさまざまな機能を利用する

ｉアプリ起動中にサイトに接続したり、FOMA端末の機能を使ったりすることができます。

- 対応したｉアプリをあらかじめダウンロードしておく必要があります。
- ｉアプリによっては操作方法が異なったり、利用できなかったりする場合があります。

カメラ機能を利用する

- ｉアプリからカメラを起動した場合、撮影した画像は「データBOX」の「マイピクチャ」内には保存されず、ｉアプリの一部として保存、利用されます。

1 ｉアプリを操作してカメラ撮影を行う

バーコードリーダーを利用する

- ｉアプリからカメラを利用して、QRコード、JANコードを読み取ることができます。
- 読み取った結果はソフトで利用／保存されます。

1 ｉアプリを操作してコードを読み取る

赤外線通信を利用する

1 ｉアプリを操作して赤外線通信を行う

お知らせ

- 相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できない場合があります。
- 赤外線通信によってｉアプリ起動データを受信し、ｉアプリを起動することもできます。
- 赤外線通信を実行するときに、サイトに接続していたりメールを送受信していたりする場合は、サイト接続やメールの送受信は中止されます。

おサイフケータイ

おサイフケータイ

おサイフケータイは、ICカードが搭載されておりお店などの読み取り機にFOMA端末をかざすだけでお支払いなどができます。
さらに、通信を利用して電子マネーを入金したり、残高や利用履歴を確認できます。また、安心してご利用いただけるよう、セキュリティ※1も充実しています。
おサイフケータイの詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

- おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、おサイフケータイ対応サイト※2よりおサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードし、設定を行う必要があります。
  ※1　おまかせロック（P122）、ICカードロック（P292）を利用できます。
  ※2　「ｉMenu」▶「メニューリスト」▶「おサイフケータイ」
- FOMA端末の故障により、ICカード内データ（電子マネー、ポイントなど含む）が消失・変化してしまう場合があります（修理時など、FOMA端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、iCお引っこしサービスによる移し替えを除き、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては必ずバックアップサービスのあるサービスをご利用ください。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データが消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- FOMA端末の盗難、紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者に対応方法をお問い合わせください。

iCお引っこしサービス

iCお引っこしサービス※1は、機種変更や故障修理時など、おサイフケータイをお取り替えになる際、おサイフケータイのICカード内データを一括※2でお取り替え先のおサイフケータイに移し替える※3ことができるサービスです。
ICカード内データを移し替えた後は、おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロード※4するだけで、引き続きおサイフケータイ対応サービスがご利用になれます。iCお引っこしサービスはお近くのドコモショップなど窓口にてご利用いただけます。
iCお引っこしサービスの詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

※1　お取り替え元、お取り替え先ともに、iCお引っこしサービス対応のFOMA端末である必要があります。ご利用にあたってはお近くのドコモショップなど窓口にご来店ください。
※2　おサイフケータイ対応サービスによっては、一部iCお引っこしサービス対象外のサービスがあり、移行できるのはiCお引っこしサービス対象のおサイフケータイ対応サービスのICカード内データのみになります。
※3　このサービスは、「コピー」ではなく「移行」されるため、ICカード内データは、お取り替え元のFOMA端末に残りません。iCお引っこしサービスをご利用いただけない場合もございますので、各おサイフケータイ対応サービスのバックアップサービスなどをご利用ください。
※4　ｉアプリのダウンロード、各種設定にはパケット通信料がかかります。

おサイフケータイ対応ｉアプリを起動する

- おサイフケータイ対応ｉアプリを初めて起動またはダウンロードすると、使用中のFOMAカードがICカードのオーナーとして登録されます。それ以降はICオーナーとして登録されたFOMAカードを挿入していないとICカード機能は利用できません。
  なお、別のFOMAカードに差し替えてご利用になる場合は、対応付けされたFOMAカードを挿入し一度おサイフケータイ対応ｉアプリをすべて削除しないとICカード機能を利用することはできません。

1 MENU▶「Osaifu-Keitai」▶「ICカード一覧」

おサイフケータイ対応ｉアプリの一覧が表示されます。ｉアプリを選択すると起動します。

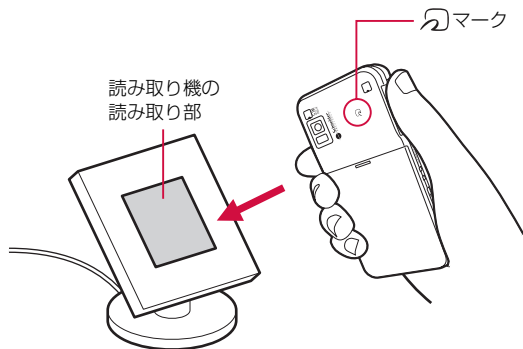
- ソフト一覧画面→P275

お知らせ

- MENU▶「Osaifu-Keitai」▶「ｉモードで探す」▶「はい」と操作すると、ｉモードに接続しておサイフケータイ対応ｉアプリを探すことができます。
- MENU▶「Osaifu-Keitai」▶「DCMX」と操作すると、DCMXクレジットアプリを起動できます。

おサイフケータイを利用する

FOMA端末のマークを読み取り機にかざして、電子マネーとして支払いに利用したり、乗車券の代わりなどとしてご利用いただけます。この機能は、ソフトを起動せずにご利用いただけます。

- リアカバーの裏側には、FeliCaの性能を保つためのシールが貼ってあります。このシールははがさないでください。
- マークは、読み取り部の中央にかざしてください。

お知らせ

- マークを読み取り機にかざすときに、FOMA端末に強い衝撃を与えないでください。
- うまく認識されない場合は、読み取り機の読み取り部にできるだけ近づけ、平行になるように前後左右にずらしてかざしてください。
- 通話中やｉモード接続中、電源が入っていないときでも、マークを読み取り機にかざしておサイフケータイの機能をご利用いただくことができます（おサイフケータイ対応ｉアプリを起動することはできません）。ただし、電池パックを取り付けていないとき、また取り付けていても、電池パックを長期間利用しなかったり、電池アラームが鳴った後で充電せずに放置した場合は、ご利用いただけなくなる場合がありますので、充電をしてください。
- マークを読み取り機にかざすと、おサイフケータイ対応ｉアプリが起動することがあります。
- FOMA端末が読み取り機に認識されると、イルミネーションを点灯、点滅するように設定できます。→P113

ICカードロック

ICカード機能をロックする

他人に無断でICカード機能を使用されるのを防ぎます。

1 待受画面▶■（1秒以上）

ICカードロックが設定されると、待受画面に が表示されます。

ロックを解除するには

待受画面▶■（1秒以上）▶端末暗証番号を入力します。

ICカードロック設定

電源を入れたとき／切ったときにICカード機能をロックする

1 MENU▶「Osaifu-Keitai」▶「ICカードロック設定」▶端末暗証番号を入力▶次の操作を行う

［電源ON時ICカードロック設定］
電源を入れたときにICカード機能をロックするかどうかを設定します。

［電源OFF時ICカードロック設定］
電源を切ったときにICカード機能をロックするかどうかを設定します。

お知らせ

- 電池パックを取り外すと、ICカードロックの設定に関わらずICカード機能が利用できなくなります。
- ICカードロック設定中は、おサイフケータイ対応ｉアプリによってはダウンロードやバージョンアップ、削除ができないことがあります。

データ管理

データBOXについて

データBOXには次のような項目とフォルダがあります。サイトやｉモードメールから取得したデータなどが、種類に合わせて各フォルダに保存されます。

- マイピクチャ、ミュージック、ｉモーション、メロディ、きせかえツールには、それぞれ18個までフォルダを追加することができます。Music&Videoチャネルには、10個までフォルダを追加できます。
- マイピクチャ、ミュージック、ｉモーション、メロディに保存されているデータ（「デコメ絵文字」フォルダのデータを除く）をその項目内の他のフォルダに移動できます。Music&Videoチャネルに保存されているデータは「配信番組」フォルダから項目内の他のフォルダへ、または「配信番組」以外のフォルダ間でデータを移動できます。
- サイトやメールから取得したデコメ®絵文字は「デコメ絵文字」フォルダへ直接保存されます。
- 「デコメ絵文字」フォルダにはデコメ®絵文字のみ保存できます。

マイピクチャ		
ｉモード	サイトやメールから取得した静止画など	
カメラ	カメラで撮影した静止画	
デコメピクチャ	お買い上げ時に登録されているデコメール®用画像など	
デコメ絵文字	お買い上げ時に登録されているか、またはサイトやメールから取得したデコメ®絵文字	
プリインストール	お買い上げ時に登録されている静止画	
アイテム	フレームやスタンプに使用できる静止画	
データ交換	赤外線通信で取得した静止画など	
スライドショー	作成したスライドショーなど	
microSD	microSDカードに保存されている静止画など	
	カメラ画像	カメラで撮影した静止画
	その他画像	静止画など
	デコメ絵文字	FOMA端末からコピーしたデコメ®絵文字
ｉモードで探す	ｉモードに接続	

ミュージック	
ｉモード	サイトから取得した着うたフル®
プレイリスト	FOMA端末で作成／Windows Media Playerで作成されパソコンから転送されたプレイリスト
移動可能コンテンツ	microSDカードに保存されている着うたフル®
続きから再生	最後に再生した曲／プレイリストを再生
WMA	microSDカードに保存されているWMAファイル
SDオーディオ	microSDカードに保存されているSDオーディオデータ
ｉモードで探す	ｉモードに接続

Music&Videoチャネル	
配信番組	Music&Videoチャネルで配信された音楽番組

ｉモーション	
ｉモード	サイトやメールから取得した動画／ｉモーションなど
カメラ	ビデオカメラで撮影した動画
プリインストール	お買い上げ時に登録されている動画
プレイリスト	FOMA端末で作成したプレイリスト

ｉモーション		
データ交換	赤外線通信で取得した動画など	
microSD	microSDカードに保存されている動画やｉモーションなど	
	移行可能コンテンツ	FOMA端末から移動した著作権のある動画やｉモーション
	音	音声のみのｉモーション
	動画	ビデオカメラで撮影した動画
ｉモードで探す	ｉモードに接続	
メロディ		
ｉモード	サイトやメールから取得したメロディなど	
プリインストール	お買い上げ時に登録されているメロディ	
データ交換	赤外線通信で取得したメロディなど	
microSD	メロディ	microSDカードに保存されているメロディなど
ｉモードで探す	ｉモードに接続	
きせかえツール		
ｉモード	サイトから取得したきせかえツール	
プリインストール	お買い上げ時に登録されているきせかえツール	
ｉモードで探す	ｉモードに接続	
モーションお絵かき		

表示名／ファイル名／タイトルの違いについて

FOMA端末の静止画、Flash画像、動画／ｉモーション、メロディの各ファイルには、複数の名称があります。

表示名	データBOX内の一覧画面や表示／再生画面で表示される名称
ファイル名	パソコンや他の携帯電話などで表示される名称
タイトル※	L-06Aの管理用の名称（変更できません）

※ 静止画、Flash画像のファイルにはありません。

ファイル一覧画面に表示されるアイコンについて

アイコン	説　明
／	送信・microSDカードへの移動が可能なファイル／不可能なファイル
	ファイル制限あり
	FOMAカードセキュリティ機能が設定されているファイル
	microSDカード内のファイル
	再配布が禁止されているファイル
※ ／／／／／／／	ファイルの種類（JPEG／GIF／Flash／MP4（拡張子mp4）／MP4（拡張子3gp）／SMF／MFi／その他（未対応ファイル））

※　一覧画面の種類によって、表示されるアイコンは異なります。

ピクチャビューア

画像を表示する

撮影した静止画、サイトやｉモードメールから取得した静止画などを表示します。

■表示可能なファイル形式について

ファイル形式※	JPEG、GIF
画素数	JPEG、プログレッシブJPEG：2592×1944ドット以下 GIF：800×600ドット以下
ファイルサイズ	5Mバイト以下
拡張子	jpg、gif

※ 対応しているファイル形式でも、ファイルによっては表示できない場合があります。

1 MENU▶「Data Box」▶「マイピクチャ」

- ［作成］：フォルダを作成します。

マイピクチャ画面

2 フォルダにカーソルを移動▶■［開く］

- ［メール］：選択中のファイルを添付したｉモードメール作成画面が表示されます。
- ［削除］：選択中のファイルを削除します。
- ［切替］：リスト表示とピクチャ表示を切り替えます。
- 一覧画面に表示されるアイコン→P295

静止画ファイル一覧画面

❶ **選択中のファイルの表示名**
❷ **選択中のファイルの種類**

3 ファイルにカーソルを移動▶■［表示］

静止画表示画面

❶ **通し番号／保存件数**
フォルダ内に保存されているファイルの通し番号／保存件数を表示します。
❷ **ファイルの表示名**

■ 静止画表示画面のキー操作

操 作	説 明
◀▶	前のファイル／次のファイルを表示
■［全画面］	ソフトキー表示などを消して画像全体を表示／元の表示サイズへ戻す
i α［メール］	表示中の画像をメールで送信→P138
▲／▼	画像を拡大表示／1つ前の倍率に戻す
📷TV［ズーム］	MENU［＋］で画像を拡大、i α［－］で1つ前の倍率に戻す
✥	画像拡大時に表示位置を移動 • 操作時に、画面端に画像全体と表示領域を示します。
✉［削除］	選択中のファイルを削除する

お知らせ

• L-06Aで撮影した静止画以外の画像では、静止画ファイル一覧画面に表示されない場合があります。

マイピクチャ画面のサブメニュー

1 **マイピクチャ画面(P296)▶フォルダにカーソルを移動▶MENU［メニュー］▶次の操作を行う**

［名称変更］
選択中のフォルダの名前を変更します。全角／半角どちらも30文字まで入力できます。

［新規フォルダ］
フォルダを作成します。
• 作成したフォルダの中にさらにフォルダを作成することはできません。

［削除］
一件：選択中のフォルダを削除します。
▶「はい」▶端末暗証番号を入力
選択：フォルダを選択して削除します。
▶削除したいフォルダにチェックを付ける▶i α［完了］▶「はい」▶端末暗証番号を入力
• MENU［全選択・全解除］を押して全選択／全解除できます。
全件：ユーザ作成フォルダをすべて削除します。
▶i α［完了］▶「はい」▶端末暗証番号を入力
• MENU［全選択・全解除］を押して全選択／全解除できます。

［ピクチャ表示］
利用できない項目です。

［ソート］
条件を設定してフォルダ内のファイルを並べ替えます。

［メモリ情報］
本体メモリー：「データBOX」内の保存領域の状態などを表示します。
外部メモリー：microSDカードの保存領域の状態などを表示します。

［フォルダ情報］
選択中のフォルダのサイズ、フォルダ内のファイル数などを表示します。

静止画ファイル一覧画面のサブメニュー

1 静止画ファイル一覧画面（P296）▶ファイルにカーソルを移動▶MENU［メニュー］▶次の操作を行う

［ファイル］

表示　：選択中のファイルを表示します。

編集　：選択中のファイルを編集します。→P302

名称変更：選択中のファイルの表示名を変更します。

情報表示：選択中のファイルのファイル名やサイズ、種別などの情報を表示します。→P301

［削除］

一件：選択中のファイルを削除します。

選択：ファイルを選択して削除します。
▶削除したいファイルにチェックを付ける▶iα［完了］▶「はい」
- MENU［全選択・全解除］を押して全選択／全解除できます。

全件：フォルダ内のすべてのファイルを削除します。
▶iα［完了］▶「はい」▶端末暗証番号を入力
- MENU［全選択・全解除］を押して全選択／全解除できます。

［移動］

一件：選択中のファイルを移動します。
▶移動先のフォルダを選択

選択：ファイルを選択して移動します。
▶移動先のフォルダを選択▶移動したいファイルにチェックを付ける▶iα［完了］
- MENU［全選択・全解除］を押して全選択／全解除できます。

全件：フォルダ内のすべてのファイルを移動します。
▶移動先のフォルダを選択▶iα［完了］▶端末暗証番号を入力
- MENU［全選択・全解除］を押して全選択／全解除できます。

［コピー］

一件：選択中のファイルをコピーします。
▶コピー先のフォルダを選択

選択：ファイルを選択してコピーします。
▶コピー先のフォルダを選択▶コピーしたいファイルにチェックを付ける▶iα［完了］
- MENU［全選択・全解除］を押して全選択／全解除できます。

全件：フォルダ内のすべてのファイルをコピーします。
▶コピー先のフォルダを選択▶iα［完了］▶端末暗証番号を入力
- MENU［全選択・全解除］を押して全選択／全解除できます。

［送信］※

メール　：選択中のファイルを添付してｉモードメールを作成します。「ｉモードメールを作成して送信する」の操作2（P138）へ進みます。

赤外線通信：赤外線通信で1件送信します。

Picasa　：選択中のファイルをPicasaにアップロードします。

［設定］
選択中のファイルを待受画面や着信画面などに設定します。

［ソート］
条件を設定してファイルを並べ替えます。

［メモリ情報］

本体メモリー：「データBOX」内の保存領域の状態などを表示します。

外部メモリー：microSDカードの保存領域の状態などを表示します。

［新規フォルダ］
利用できない項目です。

［リスト表示・ピクチャ表示］
ファイルの表示方法を切り替えます。

[お預かりセンターに保存]
ファイルをお預かりセンターに保存します。→P132

※ Flashファイルでは利用できません。

静止画表示画面のサブメニュー

1 静止画表示画面(P296)▶MENU[メニュー]▶次の操作を行う

[画像編集] ※
表示中のファイルを編集します。→P302

[1件削除]
表示中のファイルを削除します。

[タイトル編集]
表示中のファイルの表示名を編集します。

[情報表示]
表示中のファイルのファイル名やサイズ、種別などの情報を表示します。→P301

[送信] ※
メール：選択中のファイルを添付してｉモードメールを作成します。「ｉモードメールを作成して送信する」の操作2（P138）へ進みます。
赤外線通信：赤外線通信で1件送信します。
Picasa：表示中のファイルをPicasaにアップロードします。

[全画面表示]
画像を全画面で表示します。全画面表示中は、次の操作ができます。
- ■／CLR：全画面表示を元の表示へ戻します。
- ◀▶：前の画像／次の画像を表示します。

[ズーム] ※
画像を拡大表示します。拡大表示中は、次の操作ができます。
- MENU［＋］：拡大
- iα［－］：1つ前の倍率に戻す
- ✥：表示位置を移動
- ■／CLR：拡大表示を元の表示へ戻します。
- 操作時に、画面端に画像全体と表示領域を示します。

[設定]
表示中のファイルを待受画面や着信画面などに設定します。

[お預かりセンターに保存]
表示中のファイルをお預かりセンターに保存します。
▶端末暗証番号を入力▶「はい」

[モーションお絵かき]
表示中のファイルをモーションお絵かきTMで編集します。→P341

[表示設定]
画像の表示方法やズーム、アニメーションの表示間隔などを設定します。→P301

※ Flashファイルでは利用できません。

お知らせ

<Picasa>
- Picasaのサイトに接続されますので、ログインしてメール添付によるアップロードを行ってください。撮影画像は、アップロード用メール作成画面まで保持されますので、送信先を確認してください。
- 2Mバイトを超過したファイルはアップロードすることができません。
- 詳しい操作方法は、PCなどからPicasaのサイト（http://picasa.google.co.jp/）をご覧ください。

Flash画像を表示する

サイトなどから取得したFlash画像を表示します。

■ 表示可能なファイル形式について

ファイル形式※	Flash
ファイルサイズ	100Kバイト以下
拡張子	swf

※ 対応しているファイル形式でも、ファイルによっては再生できない場合があります。

1 MENU▶「Data Box」▶「マイピクチャ」

2 フォルダにカーソルを移動▶■［開く］

3 ファイルにカーソルを移動▶■［表示］

Flash再生画面

❶ **通し番号／保存件数**
フォルダ内に保存されているファイルの通し番号／保存件数を表示します。

❷ **ファイルの表示名**

■ Flash再生画面のキー操作

操　作	説　明
◀／▶	前のファイル／次のファイルを表示
■［全画面］	ソフトキー表示などを消して画像全体を表示／元の表示サイズへ戻す
［メール］	表示中の画像をメールで送信→P138
［リトライ］	Flashを最初から再生
▲／▼	画像を拡大表示／1つ前の倍率に戻す
✥	画像拡大時に表示位置を移動 • 操作時に、画面端に画像全体と表示領域を示します。
［削除］	選択中のファイルを削除する

Flash再生画面のサブメニュー

1 Flash再生画面（P300）▶MENU［メニュー］

- Flash再生画面のサブメニューは、「静止画表示画面のサブメニュー」（P299）と同じです。ただし、「画像編集」と「送信」、「ズーム」は利用できません。

画像の情報を表示する

1 **静止画表示画面(P296)/Flash再生画面(P300)▶MENU[メニュー]▶「情報表示」**

- iα[編集]:情報を編集します。

■ 情報表示画面に表示される情報

項　目	情報内容
ファイル名	ファイル名を表示
ファイルサイズ	ファイルサイズを表示
ファイル種別※1	ファイル形式を表示
保存日時	保存日時を表示
表示サイズ※1	解像度を表示
ファイル制限	ファイル制限が設定されているかどうかを表示
取得元	取得元を表示
microSDへの移動※2	microSDカードへの移動が可能かどうかを表示

※1　Flashファイルでは表示されません。
※2　microSDカード内のデータの場合は「本体へ移動」となり、本体への移動が可能かどうかを表示します。

静止画の表示方法を設定する

画像の表示方法やズーム、スライドショーの表示間隔などを設定します。

1 **静止画表示画面(P296)/Flash再生画面(P300)/スライドショー一覧画面(P305)▶MENU[メニュー]▶「表示設定」▶次の操作を行う**

[表示種類]
オリジナル表示:実際のサイズで表示します。
拡大表示:画面のサイズに拡大して表示します。

[ズーム種類]
オリジナル表示:画面のサイズに拡大して表示した画像をズームします。
等倍表示:実際のサイズで表示した画像をズームします。

[スライドショー間隔]
スライドショーの表示間隔を設定します。

[自動回転]
本FOMA端末で撮影したときの向きで画像を表示するかどうかを設定します。

2 **iα[完了]**

ファイル制限を設定する

ファイル制限を設定します。メールに添付して送信した場合、送信先のFOMA端末では送信、転送できなくなります。

1 ファイル制限を設定したいファイルを表示▶MENU［メニュー］▶「情報表示」

情報表示画面が表示されます。

2 「ファイル制限」欄にカーソルを移動▶iα［編集］▶「ファイル制限あり」

お知らせ

- サイトからダウンロードしたファイルなどでは、変更できません。

静止画編集

静止画を編集する

静止画を編集します。編集した静止画は、編集元のファイルが保存されているフォルダに保存されます。

- 編集できるファイルはJPEGファイルのみです。ただし、ファイルによっては編集できない場合があります。
- 静止画の編集を繰り返し行うと、画質が劣化したり、ファイルサイズが大きくなったりする場合があります。

1 静止画表示画面（P296）▶MENU［メニュー］▶「画像編集」

静止画編集画面

2 MENU［メニュー］▶次の操作を行う

［保存］
編集した静止画を保存します。操作5へ進みます。

［回転］
左　：画像を左に90度回転します。
右　：画像を右に90度回転します。
180：画像を180度回転します。

［鏡像］
左／右：画像を水平方向に反転します。
上／下：画像を垂直方向に反転します。

［サイズ変更］
画像のサイズを変更します。→P303

［切り出し］
画像の一部を切り出します。→P304

[スケッチ]
指などで線や文字を描きます。
- MENU［メニュー］を押して、「ペン／消しゴム幅」「ペン色」を変更できます。「ペン／消しゴム幅」で「消しゴム幅」を選択すると、指などでなぞった箇所を消すことができます。

[挿入]
フレームやスタンプ、文字などを貼り付けます。

フレーム：画像にフレームを設定します。
▶フォルダにカーソルを移動▶■［開く］▶フレームを選択
- フレーム選択後、MENU［メニュー］を押して、「フレーム変更」「回転」を選択できます。

スタンプ：スタンプを画像に貼り付けます。→P304

テキスト：画像に文字を貼り付けます。→P305

[補正]
画像の明るさやコントラスト、色調などを変更します。

▶で補正したい項目に切り替え▶■［選択］
- 項目をで調節します。
- 「自動レベル」「自動補正」を選択すると、自動的に画像が調整されます。
- 「カラー調整」「レベル調整」はで各色ごとに調整します。
- MENU［一覧］を押しても、補正したい項目を選択できます。

[エフェクト]
画像の効果を設定します。

▶で設定したい項目に切り替え▶■［選択］
- 項目によっては、で調整します。
- 「回転」「スポットライト」はで項目ごとに調整します。
- MENU［一覧］を押しても、設定したい効果を選択できます。

[メール作成]
編集中の画像が添付されたｉモードメールを作成します。

[取消]
実行した編集をキャンセルし、1つ前の状態に戻します。

3 ■[OK]
- ［キャンセル］を押すと、編集を中止できます。

4 ■[保存]
- ［取消］を押すと、編集前の内容に戻ります。

5 「新規ファイル」／「上書き」

新規ファイル：編集した画像を新規に保存します。

上書き：編集元の画像に上書き保存します。

お知らせ

<フレーム>
- 設定可能なフレームサイズはCIF（352×288）、壁紙（800×480）、壁紙（400×240）、QVGA（320×240）、QCIF（176×144）、Sub-QCIF（128×96）の6種類です。
- 編集元の画像サイズと同じフレームサイズのみ設定できます。

画像サイズを変更する

1 静止画編集画面（P302）▶MENU[メニュー]▶「サイズ変更」

2 画像サイズを選択

3 ■[OK]
「静止画を編集する」の操作4（P303）へ進みます。

次のページへ続く

お知らせ

- 編集元の画像サイズの縦または横が8ドット未満の場合は、サイズ変更できません。
- 編集元の画像と縦横比が異なるサイズを選択した場合は、元の縦横比を保ったままで拡大／縮小します。

画像の一部を切り出す

1 静止画編集画面（P302）▶MENU［メニュー］▶「切り出し」

2 切り出しサイズを選択▶✉で切り出す範囲に枠を移動▶■［選択］

■「ユーザ設定サイズ」を選択した場合
✉で始点にカーソルを移動▶■［選択］▶✉で終点にカーソルを移動▶■［選択］を押して、切り出す範囲を設定します。

3 ■［OK］

「静止画を編集する」の操作4（P303）へ進みます。

お知らせ

- 編集元の画像サイズの縦または横が8ドット未満の場合は、画像を切り出しできません。

スタンプを貼り付ける

1 静止画編集画面（P302）▶MENU［メニュー］▶「挿入」▶「スタンプ」

2 フォルダにカーソルを移動▶■［開く］▶スタンプを選択▶✉で貼り付ける位置にスタンプを移動▶■［OK］

■別のスタンプを貼り付ける場合
MENU［メニュー］▶「スタンプ変更」▶フォルダにカーソルを移動▶■［開く］▶スタンプを選択▶✉で貼り付ける位置にスタンプを移動▶■［OK］を押します。

■スタンプを回転させる場合
MENU［メニュー］▶「回転」▶「左」／「右」／「180」から選択します。

3 iα［完了］

「静止画を編集する」の操作4（P303）へ進みます。

お知らせ

- 編集元の画像サイズの縦または横が24ドット未満、または640×480ドットより大きい場合は、スタンプを貼り付けできません。

文字を貼り付ける

画像に文字を貼り付けます。文字サイズやカラーの変更、回転を行ったり、吹き出しを貼り付けたりすることもできます。

1 静止画編集画面(P302)▶MENU[メニュー]▶「挿入」▶「テキスト」

2 貼り付ける文字を入力する

3 MENU[メニュー]▶次の操作を行う

[テキスト編集]
貼り付けた文字を変更します。

[文字サイズ]
文字の大きさを設定します。

[文字色]
貼り付けた文字の色を設定します。

[回転]
貼り付けた文字を回転します。

[ふきだし]
吹き出しを設定します。
- 画像サイズによっては、設定できないふきだしがあります。

4 ✉で貼り付ける位置にカーソルを移動▶■[OK]

5 i α[完了]

「静止画を編集する」の操作4（P303）へ進みます。

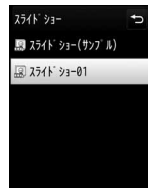
お知らせ
- 編集元の画像サイズの縦または横が24ドット未満、または640×480ドットより大きい場合は、テキストを貼り付けできません。

スライドショー

スライドショーを作成する

保存されている静止画を使って20コマまでのスライドショーを作成できます。

- 30件まで作成できます。
- スライドショーに登録できる静止画の画像サイズは480×800ドットまでです。

1 MENU▶「Data Box」▶「マイピクチャ」▶「スライドショー」にカーソルを移動▶■[開く]

スライドショー一覧画面

2 i α[新規]▶ファイルの表示名を入力

3 ■［追加］▶フォルダにカーソルを移動▶■［開く］▶画像にカーソル移動▶MENU［メニュー］▶次の操作を行う

- ［表示］：選択中の画像が表示されます。
- ［切替］：リスト表示とピクチャ表示を切り替えます。

［選択］
選択中のファイルをスライドショーの画像に追加します。

［表示］
選択中のファイルを表示します。

［情報表示］
選択中のファイルのファイル名やサイズ、種別などの情報を表示します。
→P301

［リスト表示・ピクチャ表示］
ファイルの表示方法を切り替えます。

［ソート］
条件を設定してファイルを並べ替えます。

［メモリ情報］
本体メモリー：「データBOX」内の保存領域の状態などを表示します。
外部メモリー：microSDカードの保存領域の状態などを表示します。

［新規フォルダ］
利用できない項目です。

4 操作3を繰り返して画像を登録▶［完了］

■登録した画像を削除する場合
削除したい画像にカーソルを移動してMENU［削除］▶「はい」を押します。

スライドショーを表示する

1 スライドショー一覧画面（P305）▶スライドショーにカーソルを移動▶■［表示］

スライドショー表示画面

■スライドショー表示中のキー操作

操　作	説　明
◀▶	前のスライドショー／次のスライドショーを再生
■［全画面］	ソフトキー表示などを消してスライドショー全体を表示／元の表示サイズへ戻す

スライドショー一覧画面のサブメニュー

1 スライドショー一覧画面（P305）▶スライドショーにカーソルを移動▶MENU［メニュー］▶次の操作を行う

［画像追加］
選択中のスライドショーに画像を追加します。

［1件削除］
選択中のスライドショーを削除します。

［タイトル編集］
選択中のスライドショーの表示名を変更します。全角／半角どちらも30文字まで入力できます。

［待受画面設定］
選択中のスライドショーを待受画面に設定します。

［表示設定］
画像の表示方法やズーム、スライドショーの表示間隔などを設定します。
→P301

スライドショー表示画面のサブメニュー

1 スライドショー表示画面（P306）▶MENU［メニュー］▶次の操作を行う

［1件削除］
表示中のスライドショーを削除します。

［タイトル編集］
表示中のスライドショーの表示名を変更します。全角／半角どちらも30文字まで入力できます。

［全画面表示］
スライドショーを全画面で表示します（全画面表示中は、次の操作ができます）。
- ■／CLR：全画面表示を元の表示に戻します。
- ◀▶：前のスライドショー／次のスライドショーを表示します。

［待受画面設定］
表示中のスライドショーを待受画面に設定します。

［表示設定］
画像の表示方法やズーム、スライドショーの表示間隔などを設定します。
→P301

動画／ｉモーションプレーヤー

動画／ｉモーションを再生する

撮影した動画、サイトやｉモードメールから取得したｉモーションなどを再生します。

■表示可能なファイル形式について

ファイル形式※	MP4（Mobile MP4）
符号方式	MP4ファイル 映像：MPEG-4、H.263、H.264 音声：AMR、AAC、HE-AAC、Enhanced aacPlus
拡張子	mp4、3gp

※ 対応しているファイル形式でも、ファイルによっては再生できない場合があります。

1 MENU▶「Data Box」▶「ｉモーション」

- ｉα［作成］：フォルダを作成します。

ｉモーション画面

2 フォルダにカーソルを移動▶■［開く］

- ｉα［メール］：選択中のファイルを添付したｉモードメール作成画面が表示されます。
- ✉［削除］：選択中のファイルを削除します。
- 📷TV［切替］：リスト表示とピクチャ表示を切り替えます。
- 一覧画面に表示されるアイコン→P295

ｉモーション
ファイル一覧画面

3 ファイルにカーソルを移動▶■［再生］

- 📷TV［メール］：再生中のファイルを添付したｉモードメール作成画面が表示されます。

ｉモーション再生画面

❶ **ファイルの表示名**

❷ **音量**

❸ **再生経過バー**

再生経過をバーで表示します。

❹ **再生経過時間／全体の長さ**

❺ **コントロールキー**

操作可能なナビゲーションキーを示します。

■ ｉモーション再生画面のキー操作

操　作	説　明
■［ポーズ・再生］	一時停止／再生
ｉα［ストップ］	停止
◀▶	前のファイル／次のファイルを再生
◀（押し続ける）	押している間映像／音声を巻戻し
▶（押し続ける）	押している間映像／音声を早送り
▲／▼、▲▼	音量調節

テロップ中にリンクが設定されていた場合

ｉモーション再生が終了すると、Phone To／AV Phone To／Web To／Mail To機能を利用するかどうかを確認する画面が表示されます。利用する場合は、項目を選択し操作してください。

お知らせ

- ファイルによっては、再生中に早送りや巻戻しができない場合があります。
- ｉモーション再生中に早送り／巻戻しをすると、ｉモーションは一時停止します。

ｉモーション画面のサブメニュー

1 ｉモーション画面（P308）▶フォルダにカーソルを移動▶MENU［メニュー］

- ｉモーション画面のサブメニューは、「マイピクチャ画面のサブメニュー」（P297）と同じです。

ｉモーションファイル一覧画面のサブメニュー

1 ｉモーションファイル一覧画面（P308）▶ファイルにカーソルを移動▶MENU［メニュー］▶次の操作を行う

［ファイル］

再生：選択中のファイルを再生します。

名称変更：選択中のファイルの表示名を変更します。

表示名初期化：選択中のファイルの表示名をファイルに設定されている初期タイトルに戻します。設定がない場合は、「タイトルなし」となります。

情報表示：選択中のファイルのファイル名やサイズ、種別などの情報を表示します。→P311

［削除］

一件：選択中のファイルを削除します。

選択：ファイルを選択して削除します。
▶削除したいファイルにチェックを付ける▶ｉα［完了］▶「はい」
- MENU［全選択・全解除］を押して全選択／全解除できます。

全件：フォルダ内のすべてのファイルを削除します。
▶ｉα［完了］▶「はい」▶端末暗証番号を入力
- MENU［全選択・全解除］を押して全選択／全解除できます。

［移動］

一件：選択中のファイルを移動します。
▶移動先のフォルダを選択

選択：ファイルを選択して移動します。
▶移動先のフォルダを選択▶移動したいファイルにチェックを付ける▶ｉα［完了］
- MENU［全選択・全解除］を押して全選択／全解除できます。

全件：フォルダ内のすべてのファイルを移動します。
▶移動先のフォルダを選択▶ｉα［完了］▶端末暗証番号を入力
- MENU［全選択・全解除］を押して全選択／全解除できます。

［コピー］

一件：選択中のファイルをコピーします。
▶コピー先のフォルダを選択

選択：ファイルを選択してコピーします。
▶コピー先のフォルダを選択▶コピーしたいファイルにチェックを付ける▶ｉα［完了］
- MENU［全選択・全解除］を押して全選択／全解除できます。

全件：フォルダ内のすべてのファイルをコピーします。
▶コピー先のフォルダを選択▶ｉα［完了］▶端末暗証番号を入力
- MENU［全選択・全解除］を押して全選択／全解除できます。

次のページへ続く

[送信]

メール　：選択中のファイルを添付してｉモードメールを作成します。「ｉモードメールを作成して送信する」の操作2（P138）へ進みます。

赤外線通信　：赤外線通信で1件送信します。

YouTube　：選択したファイルをYouTubeにアップロードします。

[音設定]

選択中のファイルを着信音などに設定します。

[画面設定]

選択中のファイルを待受画面や着信画面などに設定します。

[ソート]

条件を設定してファイルを並べ替えます。

[メモリ情報]

本体メモリー　：「データBOX」内の保存領域の状態などを表示します。

外部メモリー　：microSDカードの保存領域の状態などを表示します。

[新規フォルダ]

利用できない項目です。

[リスト表示・ピクチャ表示]

ファイルの表示方法を切り替えます。

お知らせ

<YouTube>

- YouTubeのサイトに接続されますので、メール添付によるアップロードを行ってください。撮影した動画は、アップロード用メール作成画面まで保持されますので、送信先を確認してください。
- 2Mバイトを超過したファイルはアップロードすることができません。
- 詳しい操作方法は、PCなどからYouTubeのサイト（http://www.youtube.com/）をご覧ください。

ｉモーション再生画面のサブメニュー

1 **ｉモーション再生画面(P308)▶MENU[メニュー]▶次の操作を行う**

[メール作成]

選択中のファイルを添付してｉモードメールを作成します。「ｉモードメールを作成して送信する」の操作2（P138）へ進みます。

[音設定]

再生中のファイルを着信音などに設定します。

[画面設定]

選択中のファイルを待受画面や着信画面などに設定します。

[拡大再生]※

動画／ｉモーションを横画面で拡大表示します。

- CLRを押すと元の表示サイズへ戻ります。

[再生画面設定]※

通常再生　：ファイルを縦画面で再生するように設定します。

全画面（横）再生：ファイルを横画面で拡大再生するように設定します。

[チャプター一覧]

チャプター一覧を表示します。

[編集]

再生中の動画／ｉモーションを編集します。→P312

[情報表示]

再生中のファイルのファイル名やサイズ、種別などの情報を表示します。→P311

※ 再生が終了すると選択できません。

お知らせ

- サブメニュー操作中は、動画／ｉモーションの再生は一時停止します。

<音設定／画面設定>

- 次の動画／ｉモーションは、着モーションや着信画面に設定できません。
  - 赤外線通信やドコモケータイdatalinkなどを使用して、パソコンや他のFOMA端末に転送してから、もう一度FOMA端末本体に戻した場合
  - コンテンツ移行対応のｉモーション以外でmicroSDカードから、FOMA端末本体にコピーまたは移動した場合（FOMA端末本体からmicroSDカードにコピーまたは移動してから、もう一度FOMA端末本体にコピーまたは移動した場合も含まれます）

動画／ｉモーションの情報を表示する

1 ｉモーションファイル一覧画面(P308)▶ファイルにカーソルを移動▶MENU［メニュー］▶「ファイル」▶「情報表示」

- iα［編集］：情報を編集します。

■ 情報表示詳細画面に表示される情報

項　目	情報内容
ファイル名	ファイル名を表示
ファイルサイズ	ファイルサイズを表示
ファイル種別	ファイル形式を表示
保存日時※1	保存日時を表示
再生時間	ファイルの再生時間を表示
表示サイズ	解像度を表示
画像	画像形式を表示
音	音声形式を表示 • HE-AAC、Enhanced aacPlusはAACと表示されます。
ファイル制限	ファイル制限が設定されているかどうかを表示 →P302
着信音設定	着信音に設定可能かどうかを表示
着信画面設定	待受画面や着信画面に設定可能かどうかを表示
タイトル	ファイルの初期タイトルを表示
作成者	作成者情報を表示
コピーライト	著作権情報を表示
説明	ファイルの説明を表示
取得元	取得元を表示
microSDへの移動※2	microSDカードへの移動が可能かどうかを表示

※1　本体メモリー内のデータの場合のみ表示されます。
※2　microSDカード内のデータの場合は「本体へ移動」となり、本体への移動が可能かどうかを表示します。

動画／ｉモーションを編集する

動画／ｉモーションを編集します。

- お買い上げ時に登録されているファイルは編集できません。
- ファイルによっては編集できない場合があります。
- ｉモーションに表示されるテロップ情報は編集できません。

動画の一部を静止画として切り出す（キャプチャ）

動画／ｉモーションを静止画として切り出します。
切り出した画像は「データBOX」内「マイピクチャ」の「カメラ」フォルダに保存されます。

1 ｉモーション再生画面（P308）▶静止画として切り出す画像を表示する

- ｉモーション再生中の操作方法→P308

2 MENU［メニュー］▶「編集」▶「キャプチャ」

動画の一部を切り出す（トリミング）

動画／ｉモーションの一部を切り出します。
切り出した動画／ｉモーションは、編集元のファイルが保存されているフォルダに保存されます。

1 ｉモーション再生画面（P308）▶MENU［メニュー］▶「編集」▶「トリミング」▶次の操作を行う

［メールサイズ小］
始点から後の映像を、500Kバイト以下に収まる範囲まで切り出して保存します。映像が500Kバイトを超える場合のみ選択できます。

［メールサイズ大］
始点から後の映像を、2Mバイト以下に収まる範囲まで切り出して保存します。映像が2Mバイトを超える場合のみ選択できます。

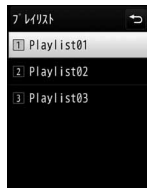
［範囲指定］
選択した始点から終点までの映像を切り出して保存します。
▶■［再生］を押して動画／ｉモーションを再生▶切り出したい箇所でiα［開始］▶切り出しを終了したい箇所でiα［終了］

プレイリストを利用する

プレイリストで動画／ｉモーションの再生順を指定できます。FOMA端末本体とmicroSDカードに保存した動画／ｉモーションからお好みの動画／ｉモーションをお好みの順番で再生します。

プレイリストを作成する

プレイリストは10件まで、1件のプレイリストには99件まで動画／ｉモーションを登録できます。

1 MENU▶「Data Box」▶「ｉモーション」▶「プレイリスト」にカーソルを移動▶■［開く］

プレイリスト一覧画面

2 ｉα［新規］▶プレイリスト名を入力

- 全角／半角どちらも255文字まで入力できます。

3 ■［追加］▶プレイリストに登録したい動画／ｉモーションにチェックを付ける▶ｉα［完了］

プレイリスト登録済み動画／ｉモーション一覧画面

4 ｉα［完了］

プレイリストを再生する

1 プレイリスト一覧画面（P313）▶再生したいプレイリストにカーソルを移動▶■［再生］

プレイリスト一覧画面のサブメニュー

1 プレイリスト一覧画面（P313）▶プレイリストにカーソルを移動▶MENU［メニュー］▶次の操作を行う

［プレイリストにｉモーションを追加］
選択中のプレイリストに動画／ｉモーションを追加します。
▶プレイリストに登録したい動画／ｉモーションにチェックを付ける▶ｉα［完了］▶ｉα［完了］

[削除]

一件：選択中のプレイリストを削除します。

選択：プレイリストを選択して削除します。
▶削除したいプレイリストにチェックを付ける▶ｉα［削除］▶「はい」

- MENU［メニュー］を押して、「全件選択」「全件解除」を選択できます。

全件：すべてのプレイリストを削除します。

[タイトル編集]

選択中のプレイリスト名を編集します。

プレイリスト登録済み動画／ｉモーション一覧画面のサブメニュー

1 プレイリスト一覧画面(P313)▶プレイリストにカーソルを移動▶MENU[メニュー]▶「プレイリストにｉモーションを追加」▶MENU[メニュー]▶次の操作を行う

[再生]

選択中の動画／ｉモーションから再生します。

[順番の変更]

選択中の動画／ｉモーションの順番を変更します。

▶移動したい動画／ｉモーションを選択▶移動先を選択▶「はい」

[削除]

一件：選択中の動画／ｉモーションを削除します。

選択：動画／ｉモーションを選択して削除します。
▶削除したい動画／ｉモーションにチェックを付ける▶ｉα［削除］▶「はい」

- MENU［メニュー］を押して、「全件選択」「全件解除」を選択できます。

全件：すべての動画／ｉモーションを削除します。

メロディプレーヤー

メロディを再生する

お買い上げ時に登録されているメロディや、サイトなどから取得したメロディを再生します。

■再生可能なファイル形式について

ファイル形式※	SMF、MFi
拡張子	mid、mld

※ 対応しているファイル形式でも、ファイルによっては再生できない場合があります。

1 MENU▶「Data Box」▶「メロディ」

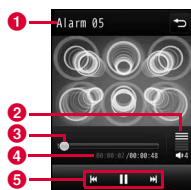
- ｉα［作成］：フォルダを作成します。

メロディ画面

2 フォルダにカーソルを移動▶[■][開く]

- [iα][メール]:選択中のファイルを添付したｉモードメール作成画面が表示されます。
- [✉][削除]:選択中のファイルを削除します。
- 一覧画面に表示されるアイコン→P295

メロディファイル一覧画面

3 ファイルにカーソルを移動▶[■][再生]

- [📷TV][メール]:再生中のファイルを添付したｉモードメール作成画面が表示されます。

メロディ再生画面

❶ **ファイルの表示名**
❷ **音量**
❸ **再生経過バー**
再生経過をバーで表示します。
❹ **再生経過時間/全体の長さ**
❺ **コントロールキー**
操作可能なナビゲーションキーを示します。

■ メロディ再生画面のキー操作

操　作	説　明
[■][ポーズ・再生]	一時停止/再生
[iα][ストップ]	停止
[◀▶]	前のファイル/次のファイルを再生
[▲]/[▼]、[▲▼]	音量調節

メロディ画面のサブメニュー

1 メロディ画面(P314)▶フォルダにカーソルを移動▶[MENU][メニュー]

- メロディ画面のサブメニューは、「マイピクチャ画面のサブメニュー」(P297)と同じです。ただし、「ピクチャ表示」は表示されません。

メロディファイル一覧画面のサブメニュー

1 メロディファイル一覧画面(P315)▶ファイルにカーソルを移動▶[MENU][メニュー]▶次の操作を行う

[ファイル]

再生　:選択中のファイルを再生します。
名称変更　:選択中のファイルの表示名を変更します。
表示名初期化:選択中のファイルの表示名をファイルに設定されている初期タイトルに戻します。
情報表示　:選択中のメロディのファイル名やサイズ、種別などの情報を表示します。→P317

[削除]

一件：選択中のファイルを削除します。

選択：ファイルを選択して削除します。
▶削除したいファイルにチェックを付ける▶iα［完了］▶「はい」
• MENU［全選択・全解除］を押して全選択／全解除できます。

全件：フォルダ内のすべてのファイルを削除します。
▶iα［完了］▶「はい」▶端末暗証番号を入力
• MENU［全選択・全解除］を押して全選択／全解除できます。

[移動]

一件：選択中のファイルを移動します。
▶移動先のフォルダを選択

選択：ファイルを選択して移動します。
▶移動先のフォルダを選択▶移動したいファイルにチェックを付ける▶iα［完了］
• MENU［全選択・全解除］を押して全選択／全解除できます。

全件：フォルダ内のすべてのファイルを移動します。
▶移動先のフォルダを選択▶iα［完了］▶端末暗証番号を入力
• MENU［全選択・全解除］を押して全選択／全解除できます。

[コピー]

一件：選択中のファイルをコピーします。
▶コピー先のフォルダを選択

選択：ファイルを選択してコピーします。
▶コピー先のフォルダを選択▶コピーしたいファイルにチェックを付ける▶iα［完了］
• MENU［全選択・全解除］を押して全選択／全解除できます。

全件：フォルダ内のすべてのファイルをコピーします。
▶コピー先のフォルダを選択▶iα［完了］▶端末暗証番号を入力
• MENU［全選択・全解除］を押して全選択／全解除できます。

[送信]

メール　：選択中のメロディを添付してｉモードメールを作成します。「ｉモードメールを作成して送信する」の操作2（P138）へ進みます。

赤外線通信：赤外線通信で1件送信します。

[設定]

選択中のメロディを着信音などに設定します。

[ソート]

条件を設定してファイルを並べ替えます。

[メモリ情報]

本体メモリー：「データBOX」内の保存領域の状態などを表示します。

外部メモリー：microSDカードの保存領域の状態などを表示します。

[新規フォルダ]

利用できない項目です。

メロディ再生画面のサブメニュー

1 メロディ再生画面（P315）▶MENU［メニュー］▶次の操作を行う

[メール作成]

再生中のメロディを添付してｉモードメールを作成します。「ｉモードメールを作成して送信する」の操作2（P138）へ進みます。

[音設定]

再生中のメロディを着信音などに設定します。

[情報表示]

再生中のメロディのファイル名やサイズ、種別などの情報を表示します。
→P317

お知らせ

- サブメニュー操作中は、メロディの再生は一時停止します。

メロディの情報を表示する

1 **メロディファイル一覧画面(P315)▶ファイルにカーソルを移動▶MENU[メニュー]▶「ファイル」▶「情報表示」**

- iα［編集］：情報を編集します。

■ **情報表示詳細画面に表示される情報**

項　目	情報内容
ファイル名	ファイル名を表示
ファイルサイズ	ファイルサイズを表示
ファイル種別	ファイル形式を表示
保存日時※1	保存日時を表示
再生時間	ファイルの再生時間を表示
ファイル制限	ファイル制限が設定されているかどうかを表示→P302
着信音設定	着信音に設定可能かどうかを表示
タイトル	ファイルの初期タイトルを表示
取得元	取得元を表示
microSDへの移動※2	microSDカードへの移動が可能かどうかを表示

※1　本体メモリー内のデータの場合のみ表示されます。
※2　microSDカード内のデータの場合は「本体へ移動」となり、本体への移動が可能かどうかを表示します。

microSDカード

FOMA端末内の電話帳やメール、ブックマークなどのデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータをFOMA端末内に取り込んだりすることができます。また、FOMA端末からmicroSDカード内のデータを閲覧することもできます。

- L-06Aでは市販の2GバイトまでのmicroSDカード、8GバイトまでのmicroSDHCカードに対応しています（2009年6月現在）。
  microSDカードの製造メーカや容量など、最新の動作確認情報については下記のサイトをご覧ください。また、掲載されているmicroSDカード以外については、動作しない場合がありますのでご注意ください。
  - iモードから　「i Menu」▶「メニューリスト」▶「ケータイ電話メーカー」▶「WOW LG」
  - パソコンから　http://jp.lgmobile.com/

  なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。
- microSDカードおよびmicroSDカードアダプタは、家電量販店などでお買い求めいただけます。

サイトアクセス用QRコード

microSDカード使用時のご注意

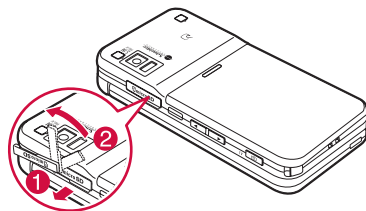
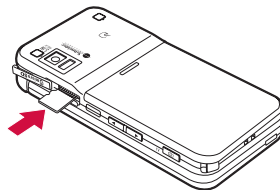
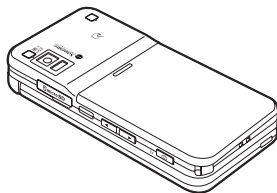
- パソコンなど他機器でフォーマットしたmicroSDカードは、使用できない場合があります。L-06Aでフォーマットしたものを使用してください。フォーマットを行うと、microSDカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。→P325
- microSDカードは、事故や故障によってデータを消失または変形してしまうことがあります。大切なデータは控えを取っておくことをおすすめします。なお、データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- 転送するデータ量によっては通信に時間がかかる場合があります。また、データをコピーできない場合があります。
- データの読み込みや書き込み中に、FOMA端末の電源を切らないでください。
- データの読み込みや書き込み中、microSDカードのフォーマット中に、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）を抜かないでください。データ消失などの原因となります。
- microSDカード内のデータを表示したり、保存容量を確認したりするときなど、microSDカード利用中は、絶対にmicroSDカードを抜かないでください。
- ラベルやシールなどを貼って使用しないでください。ラベルやシール程度の厚みでも接触不良やデータの破壊などの原因になることがあります。
- 端子部分には手や金属などで触れたりしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたり、水に濡らしたりしないでください。
- microSDカードを取り外した後は、乳幼児の手の届く場所には放置しないでください。誤って飲み込んでしまい、けがなどの原因となります。
- microSDカードを取り付け／取り外しを行うとき、指を急に離すとカードが飛び出すことがありますので、顔などを近づけないでください。また、特に小さなお子様には触らせないでください。けがの原因となります。
- FOMA端末⇔microSDカード間でコピー／移動できるファイルのサイズは、1件あたり以下の通りです。
画像※：4Mバイト、動画／ｉモーション：10Mバイト、メロディ：100Kバイト、着うたフル®：5Mバイト
※ Flash画像は対応していません。
- サイトから取得した、FOMA端末外への出力が禁止されているｉモーション、着うたフル®をmicroSDカードに移動できます。ただし、IP（情報サービス提供者）が許可していないときは保存できません。
- パソコンなど他の機器からmicroSDカードに保存したデータは、FOMA端末で表示、再生できない場合があります。また、FOMA端末からmicroSDカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できない場合があります。

microSDカードの取り付けかた／取り外しかた

microSDカードの取り付け／取り外しは、必ず電源を切った状態で行ってください。

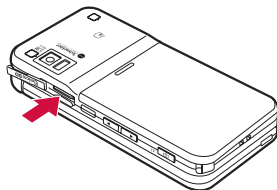
取り付けかた

1 microSDカード差し込み口のカバーを開き(❶)、矢印❷の方向へ回転する

2 microSDカードの金属端子面を上にして「カチッ」と音がするまでゆっくり差し込む

3 microSDカード差し込み口のカバーを閉じる

お知らせ

- microSDカードは正しく取り付けてください。正しく取り付けられていないとmicroSDカードを利用できません。

取り外しかた

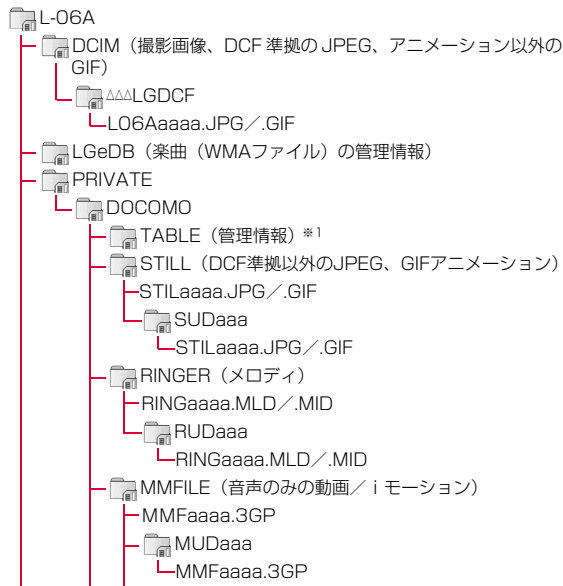
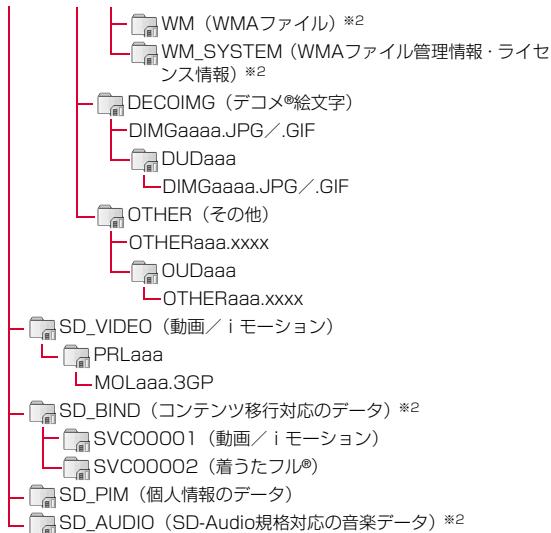
1 「取り付けかた」の手順1に従ってカバーを開け、microSDカードを矢印の方向へ軽く押し込む

microSDカードが少し飛び出します。

2 microSDカードを抜き取る

microSDカードのフォルダ構成

FOMA端末からmicroSDカードにファイルを移動／コピーしたときや、カメラで撮影した静止画や動画を直接microSDカードに保存したときなど、そのファイルに対応したフォルダがmicroSDカードに自動的に作成されます。

- パソコンなどからmicroSDカードにファイルを書き込む場合も、次のようなフォルダ構成とファイル名にする必要があります。

次のページへ続く

xxxx ：拡張子（3～4桁の半角英数字）

△△△ ：100～999の3桁の半角数字（フォルダ名に使用した数字とそのフォルダに保存するファイル名に使用する数字は同じにしてください。）

aaa ：001～999の3桁の半角数字

aaaa：0001～0999の4桁の半角数字

※1 TABLEフォルダの下には「DCIM」「STILL」「RINGER」「MMFILE」「DECOIMG」「SD_VIDEO」「OTHER」それぞれについて付加情報を格納するフォルダがあります。

※2 暗号化されているため、パソコンなどで直接参照できないデータがあります。また、フォルダ下のファイルを削除・変更・追加すると、L-06Aで正しく動作しなくなる場合があります。

■microSDカードに保存できる件数

- microSDカードに保存できる件数は、ご使用になるmicroSDカードの容量によって異なります。
- microSDカードに保存できる容量は、「メモリ情報」「メモリ状況」で確認できます。→P325、P374

ファイル	フォルダ	保存可能件数
静止画（DCF準拠のJPEG、アニメーション以外のGIF）	DCIM	900フォルダ／1フォルダ最大999件
静止画（DCF準拠以外のJPEG、GIFアニメーション）	STILL	999フォルダ／1フォルダ最大999件
メロディ	RINGER	999フォルダ／1フォルダ最大999件
音声のみの動画／ｉモーション	MMFILE	999フォルダ／1フォルダ最大999件
WMAファイル	WM	最大1000件
デコメ®絵文字	DECOIMG	999フォルダ／1フォルダ最大999件
動画／ｉモーション	SD_VIDEO	999フォルダ／1フォルダ最大999件
個人情報のデータ	SD_PIM	1フォルダ／65535件
その他のファイル	OTHER	999フォルダ／1フォルダ最大999件

お知らせ

- 本FOMA端末で使用したmicroSDカードは、そのまま他のmicroSDカード対応のFOMA端末に差し込んでも、フォルダ構成が異なるためご利用できないことがあります。
- 韓国語非対応の端末では、microSDカード内の韓国語を含んだメールは正しく表示されません。

- お使いのパソコンによっては、フォルダ名／ファイル名が小文字で表示される場合があります。また、拡張子や一部のフォルダ（隠しフォルダ）などが表示されない場合があります。
- microSDカード内のフォルダをパソコンで削除したり、移動したりしないでください。L-06Aで読み込めなくなる場合があります。

microSDカードを使う

FOMA端末に保存されている画像や動画／ｉモーションなど、データBOX内のファイルをmicroSDカードに保存したり、パソコンからmicroSDカードに保存したファイルをFOMA端末本体で表示したりすることができます。

microSDカード内のファイルを表示／再生する

「データBOX」で、FOMA端末内にあるファイルと同じように表示／再生ができます。

1 MENU▶「Data Box」▶「マイピクチャ」／「ミュージック」／「ｉモーション」／「メロディ」▶「microSD」にカーソルを移動▶■［開く］

- 「画像を表示する」→P296
- 「音楽データの管理」→P270
- 「動画／ｉモーションを再生する」→P307
- 「メロディを再生する」→P314

お知らせ

- ファイルによっては、表示／再生ができない場合があります。
- microSDカード内のフォルダ／ファイル一覧画面のサブメニューは、FOMA端末のフォルダ／ファイル一覧画面と同様です。ただし、待受画面や着信音などへの設定、赤外線での送信、お預かりセンターへの保存はできません。

FOMA端末⇔microSDカード間でファイルをコピー／移動する

データBOX内の「microSD」フォルダとその他のフォルダ間でファイルをコピー／移動することで、microSDカード⇔FOMA端末間でファイルをコピー／移動します。

例：FOMA端末内に保存されたカメラ画像を、microSDカードに移動する場合

1 MENU▶「Data Box」▶「マイピクチャ」

2 フォルダにカーソルを移動▶■［開く］

- 「microSD」以外のフォルダを選択します。

3 ファイルにカーソルを移動▶MENU［メニュー］▶「移動」▶「一件」

4 「外部メモリー」

5 移動先のフォルダにカーソルを移動▶iα［開く］▶■［選択］

お知らせ

- コピー／移動ができるファイルは、プリインストールデータ以外のJPEG形式、GIF形式の画像ファイル、QCIF以下の動画ファイル、メロディです。
- 着うたフル®、サイトからダウンロードしたｉモーションは、microSDカードにコピーできません。
- ファイルの種類やサイズによっては、コピー／移動できない場合があります。
- 本FOMA端末に保存されているFlashは、microSDカードにコピー／移動できません。
- FOMA端末内に保存された著作権のある移動可能なｉモーション・音楽データは、それぞれの「microSD」フォルダの「移行可能コンテンツ」フォルダ内に移動できます。

FOMA端末⇔microSDカード間で個人情報のデータをやりとりする

FOMA端末とmicroSDカード間で個人情報のデータをコピーしたり、FOMA端末のデータをmicroSDカードにバックアップしたりします。
個人情報のデータには、次のものがあります。

- 電話帳
- スケジュール
- テキストメモ
- To Do リスト
- 受信メール
- 送信メール
- 未送信メール
- Bookmark

個人情報のデータをFOMA端末からmicroSDカードにコピーする

FOMA端末に登録されている個人情報のデータを、microSDカードにコピーします。

データを1件ずつコピーする

例：電話帳データを1件コピーする場合

1 **待受画面▶[電話帳]▶コピーしたい電話帳を選択▶[MENU][メニュー]▶「コピー」▶「microSDへ」**

データの種類を選択して一括でコピーする（バックアップ）

1 **[MENU]▶「LifeKit」▶「microSD」▶「個人情報」**

2 **[iα][バックアップ]▶コピーしたいデータの種類を選択**

3 **端末暗証番号を入力▶「はい」**

■ **電話帳の場合**
「自局番号」の登録データをコピーするかどうかを確認するメッセージが表示されます。

個人情報のデータをmicroSDカードからFOMA端末にコピー／上書きする

microSDカードに登録されている個人情報のデータを、FOMA端末にコピー／上書きします。

データを1件ずつコピーする

1 MENU▶「LifeKit」▶「microSD」▶「個人情報」

2 データの種類を選択

microSDカードに保存されているデータが表示されます。

個人情報データ一覧画面（例：電話帳）

■個人情報データ一覧画面に表示されるアイコン

アイコン	説　明
／／／／／／／	個別データ（1件のデータ） 電話帳／スケジュール／メモ／To Do リスト／受信メール／送信メール／未送信メール／ブックマーク
／／／／／／／	バックアップデータ（複数のデータ） 電話帳／スケジュール／メモ／To Do リスト／受信メール／送信メール／未送信メール／ブックマーク

3 データにカーソルを移動▶MENU［メニュー］

- ■［選択］：データの詳細を表示します。

4 「本体へコピー」▶「はい」

■ **バックアップデータの場合**

「本体へコピー」▶端末暗証番号を入力▶「はい」を選択します。

お知らせ

- 操作3でバックアップデータを選択▶データにカーソルを移動▶MENU［メニュー］を押すと、「本体へコピー」「本体へ上書き」を選択できます。
「本体へコピー」を選択した場合は、「選択データ」／「全データ」のどちらかを選択できます。
- バックアップデータ内の個別データは、FOMA端末の最大保存件数分だけ表示可能です。

個人情報データ一覧画面のサブメニュー

1 **個人情報データ一覧画面（P323）▶データにカーソルを移動▶MENU［メニュー］▶次の操作を行う**

［名称変更］※
選択中のデータの名前を変更します。

［microSDへコピー］
表示中のデータ種類のデータを、FOMA端末からmicroSDカードへ一括でコピー（バックアップ）します。

▶端末暗証番号を入力▶「はい」
- 電話帳の場合は、「自局番号」の登録データをコピーするかどうかを確認するメッセージが表示されます。

［本体へコピー］※
選択中のデータをFOMA端末へコピーします。
- バックアップデータの場合は、「本体へコピー」▶端末暗証番号を入力▶「はい」を選択します。

［本体へ上書き］※
選択中のデータでFOMA端末のデータを上書きします。→P324

［複数選択］※
データを選択して削除します。

▶削除したいデータにチェックを付ける▶i α［削除］▶「はい」
- MENU［メニュー］を押して、「削除」や「本体へコピー」、「選択／解除」から「全件選択」「全件解除」を選択できます。

［削除］※
選択中のデータを削除します。

［メモリ情報］
microSDカードの保存領域の状態などを表示します。

※ microSDカードにデータがない場合は表示されません。

バックアップデータで上書きする

あらかじめバックアップしておいたデータで、FOMA端末のデータを上書きします。

- 「本体へ上書き」を選択すると、FOMA端末内の登録データは消去され、microSDカード内の選択したデータにまるごと入れ替わりますのでご注意ください。
  「本体へ上書き」を選択する前に、大切なデータが登録されていないことを確認してください。

1 **個人情報データ一覧画面（P323）▶バックアップデータにカーソルを移動▶MENU［メニュー］▶「本体へ上書き」**

2 **端末暗証番号を入力▶「はい」**

■ **電話帳の場合**
「自局番号」の登録データをコピーするかどうかを確認するメッセージが表示されます。

microSDカードの管理について

microSDカードをフォーマットする

microSDカードをフォーマット（初期化）してFOMA端末で使用できるようにします。

1 MENU▶「LifeKit」▶「microSD」▶「microSDフォーマット」

すべてのデータが削除されることを知らせるメッセージが表示され、フォーマットを実行するかどうかを選択します。

2 「はい」▶端末暗証番号を入力

お知らせ

- フォーマットは必ず本FOMA端末で行ってください。
- フォーマットを行うと、microSDカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

microSDカードの情報を更新する

他の機器でmicroSDカード内のデータを変更、追加、削除したことによってFOMA端末でデータを正しく表示できなくなったときに、microSDカードの情報を更新します。

1 MENU▶「LifeKit」▶「microSD」▶「データ更新」

2 更新したいデータの種類にチェックを付ける▶iα[完了]

お知らせ

- microSDカードに保存されているデータが多い場合は、情報の更新に時間がかかります。
- 他の機器でmicroSDカードにデータを保存した場合、FOMA端末で管理情報を作成するために必要な空き容量が不足し、microSDカードに保存したデータがFOMA端末で正しく表示できなくなることがあります。

microSDカードの使用状況を確認する

1 MENU▶「LifeKit」▶「microSD」▶「メモリ情報」

お知らせ

- データが1件も保存されていない状態でも使用済み領域が「0KB」にならない場合は、microSDカードを初期化してください。
- 実際に使用できるmicroSDカードの容量は、microSDカードに記載されている容量より少なくなります。
- microSDカードの空き容量が少ない場合、データを保存できないことがあります。不要なデータを削除するか、空き容量が十分なmicroSDカードを取り付けてからデータを保存してください。

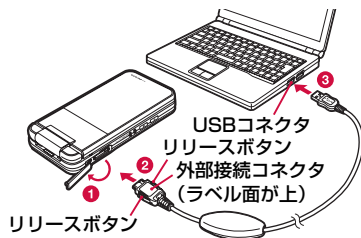
FOMA端末をmicroSDカードリーダー／ライターとして使う

microSDカードを本FOMA端末に挿入した状態でパソコンに接続し、microSDカード内のデータを読み込み／書き込みできます。

- microSDカードをご利用になるには、別途microSDカードが必要となります。
- リーダー／ライターとして利用できる対応OSは、Windows Vista、Windows XP、Windows 2000（各日本語版）のみです。それ以外のOSでの動作は保証しておりません。
- FOMA端末をmicroSDカードリーダー／ライターとして使うには、USBモードの設定が必要です。USBモードを設定するときは、FOMA充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）を外した状態で設定してください。

1 MENU▶「Settings」▶「その他」▶「USBモード設定」▶「microSDモード」

2 FOMA端末の外部接続端子カバーを開け（❶）、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02の外部接続コネクタを刻印やシールなどで示されたおもて面を上にしてまっすぐ「カチッ」と音がするまで差し込む（❷）

3 FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02のUSBコネクタをパソコンのUSB端子に接続する（❸）

お知らせ

- パソコンからmicroSDカードやFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02を抜くときは、パソコンのタスクトレイから「ハードウェアの安全な取り外し」の操作を必ず行ってください。操作をしないでmicroSDカードやFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02を抜くと、データ消失などの原因となります。
- USBモード設定を切り替える場合は、一度FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02を外してから切り替えてください。FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02が接続されている状態では、USBモードは切り替わりません。
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02を抜くと、USBモード設定は自動的に「通信モード」に戻ります。

■ お願い

本FOMA端末とパソコンが正しく接続されているか十分確認してください。正しく接続されていない場合、データの送受信ができないだけでなく、データが失われる場合があります。

赤外線通信

赤外線通信を利用する

赤外線通信機能を持つ機器との間で、電話帳やスケジュール、ブックマークなどを送受信できます。

■ データ転送で送受信できるデータ

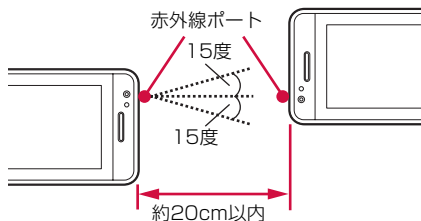
データの種類	受信の可否		送信の可否		保存件数
	1件	全件	1件	全件	
電話帳（個人データ）	○	○	○	○	P84を参照
スケジュール	○	○	○	○	200件まで
To Do※1	○	○	○	○	50件まで
受信メール	○	○	○	○	1000件まで
送信メール	○	○	○	○	500件まで
未送信メール	○	○	○	○	
画像ファイル※2	○	×	○	×	2000件まで
動画ファイル※3	○	×	○	×	1000件まで
メロディ※4	○	×	○	×	1000件まで
ブックマーク※5	○	○	○	○	200件まで※6
メモ	○	○	○	○	50件まで

※1　設定時刻以前にアラームが設定されているTo Doを受信した場合は、正しく登録されないことがあります。
※2　送受信できるデータの容量は、ファイル1件につき最大5Mバイトまでです。
※3　送受信できるデータの容量は、ファイル1件につき最大10Mバイトまでです。
※4　送受信できるデータの容量は、ファイル1件につき最大100Kバイトまでです。
※5　ブックマークを送受信した場合、相手の機種によっては、フォルダ分けの設定が反映されない場合があります。
※6　ｉモードで100件、フルブラウザで100件までです。

■ 赤外線通信で受信したデータの保存先

データの種類	保存先
電話帳	電話帳
スケジュール	スケジュール
To Do	To Do リスト
受信メール	受信BOX
送信メール	送信BOX
未送信メール	未送信メールBOX
静止画	「データBOX」内「マイピクチャ」の「データ交換」フォルダ
動画	「データBOX」内「ｉモーション」の「データ交換」フォルダ
メロディ	「データBOX」内「メロディ」の「データ交換」フォルダ
ブックマーク	「ｉモード」の「Bookmark」フォルダ
	「フルブラウザ」の「Bookmark」フォルダ
メモ	テキストメモ

赤外線通信を行うには

- 赤外線通信距離は約20cm以内でご利用ください。
- 赤外線通信中は、データ送受信が終わるまでFOMA端末を動かさないでください。
- FOMA端末を手に持って赤外線通信を行う場合は、ぶれないようにしっかりと固定させてください。

データ転送するときのご注意

- 赤外線通信中は、圏外と同じ状態になるため、通話、iモード、データ通信などはできません。
- 送信する相手のFOMA端末の状態によっては、データ転送できない場合があります。また、相手の機種によって、受信メールやブックマークのフォルダ分けの設定や電話帳のグループ設定などが反映されなかったり、デコメール®の内容などが正常に登録できなかったりする場合があります。
- L-06A以外の赤外線通信機器との通信では、データが正しく受信されないことや受信側でデータが正しく表示されない場合があります。
- 転送するデータ量によっては、通信に時間がかかる場合があります。また、受信できない場合があります。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、その影響により正常に通信できない場合があります。
- iモードメールにファイルが添付されている場合は、添付ファイルも転送されます。ただし、添付ファイルの種類によっては転送されない場合があります。
- メールの本文などに絵文字や記号を使用している場合、対応機種以外の携帯電話やパソコンなどに送信すると、受信側で絵文字や一部の記号が正しく表示されない場合があります。
- 送信する相手の端末によっては、メールの件名をすべて受信できないことがあります。
- オールロック、プライバシーモード設定、セルフモードを設定中は、赤外線通信は利用できません。
- 大きなサイズのメールは、相手に正しく送信できない場合があります。
- メールを転送する場合、取得済みの添付ファイルのみ転送されます。

赤外線送信／赤外線受信

データを1件ずつ送受信する

データを1件送信する

- あらかじめ、受信側の機器を赤外線受信状態にしてから送信してください。

例：電話帳データを1件送信する場合

1 待受画面▶[電話帳]▶送信したい電話帳にカーソルを移動▶[MENU][メニュー]▶「赤外線送信」▶「送信」▶「はい」

お知らせ

- 送信相手が見つからない場合は、メッセージが表示されます。相手との距離や角度などを再確認してください。

データを1件受信する

1 MENU▶「LifeKit」▶「赤外線受信」▶「受信」▶「はい」

2 送信側の機器で赤外線送信操作を行う

赤外線通信を開始します。

3 「はい」

赤外線全件送信／赤外線全件受信

データを全件送受信する

パソコンや他のFOMA端末との間でデータをまとめて転送します。

- 全件送受信では、送信側と受信側のFOMA端末を正確に認識するために、認証パスワードを使用します。認証パスワードは、送信／受信を始める前にお好きな4桁の番号を決めておき、送信側と受信側で同じ番号を入力します。

データを全件送信する

- あらかじめ、受信側の機器を赤外線受信状態にしてから送信してください。

例：FOMA端末の電話帳データを全件送信する場合

1 待受画面▶□▶MENU［メニュー］▶「赤外線送信」▶「本体全件」

- 電話帳に画像が設定されている場合は、送信に時間がかかる旨の警告画面が表示されます。送信する場合は「はい」を選択します。

2 端末暗証番号を入力▶認証パスワードを入力▶「はい」

赤外線通信を開始します。

お知らせ

- 送信相手が見つからない場合は、メッセージが表示されます。相手との距離や角度などを再確認してください。
- 「マイピクチャ」の全件送信はできません（1件送信はできます）。

データを全件受信する

- 全件受信をすると、受信したデータによりFOMA端末のデータは上書きされ、登録されていたデータは保護メールなども含めてすべて削除されます。全データの送受信を行う前に、大切なデータが登録されていないことを確認してください。

1 MENU▶「LifeKit」▶「赤外線受信」▶「全件受信」▶「はい」

2 端末暗証番号を入力▶認証パスワードを入力

3 送信側の機器で赤外線送信操作を行う

赤外線通信を開始します。

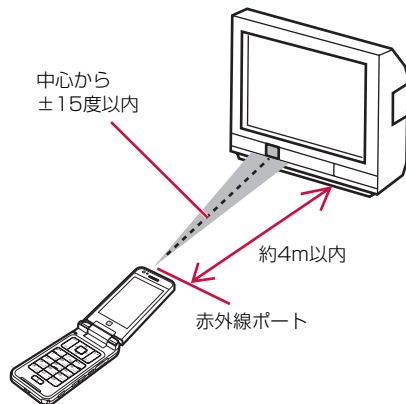
4 「はい」

赤外線リモコン機能を利用する

FOMA端末を赤外線リモコン対応機器のリモコンとして利用できます。iアプリが赤外線を利用してリモコン信号を送信します。

- リモコン機器を利用する場合は、機器に対応したソフトをダウンロードする必要があります。リモコンのキー操作はソフトにより異なります。
- 機器によっては操作できない場合もあります。
- 対応機器や周囲の明るさにより、通信に影響がある可能性があります。
- セルフモード設定中は、赤外線リモコンを利用できません。

赤外線リモコン操作について

FOMA端末の赤外線ポートをテレビなどのリモコン受信部の正面に向けて、約4m以内の距離から操作してください。ただし、対応機器や周囲の明るさによって通信に影響がある場合があります。

ドキュメントを表示する

microSDカードに保存されているドキュメントファイルを表示します。

- ドキュメントファイルは、microSDカードの「OTHER」フォルダ内「OUDxxx（xxxは0～9の半角数字）」フォルダに保存してください。→P319

■表示可能なファイル形式について

ファイルの種類※	Microsoft Word、Microsoft Excel、Microsoft PowerPoint、PDFデータ
拡張子	doc、xls、ppt、pdf

※ Word 2007、Excel 2007、PowerPoint 2007のファイルは表示できません。また、対応しているファイル形式でも、ファイルによっては再生できない場合があります。

1 MENU▶「Media」▶「ドキュメントビューア」▶ドキュメントを選択

❶ ページ番号／総ページ数
❷ 表示倍率

■ ドキュメント表示中の操作

操　作	説　明
MENU／iα／▲／▼／＋／－	拡大／1つ前の倍率に戻す
※1、＜／＞	前ページ／次ページを表示
※2、画像をスライド	表示位置を移動

※1　通常表示中のみ操作できます。
※2　拡大表示中のみ操作できます。

お知らせ

- FOMA端末を左側に傾けると、自動的に横画面に切り替わります。

便利な機能

GoogleTM サービスメニューを利用する

GoogleTM サービスメニューでは、ｉモード検索やGoogleモバイルサービスの各メニュー（検索、YouTube、Picasa、Gmail、地図、乗換案内、ニュース）および設定メニューがアイコンで一覧表示されており、簡単に各メニューにアクセスすることができます。

- ご利用には別途パケット通信料がかかります。大容量の通信が発生して通信料金が高額になる場合がありますので、ご注意ください。パケット通信料および料金プランについては、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

1 [8]／[8]を押す

- 初回のみご利用に際しての確認画面が表示されます。内容を確認して「確認し続行」を選択してください。
- 待受画面以外で[8]／[8]を押した場合は、使用中の機能によっては、GoogleTM サービスメニューを利用できないこともあります。

GoogleTM サービスメニュー

2 次の操作を行う

［検索］
検索語句を入力・確定すると結果を表示します。
- 検索方法はｉモード検索またはGoogle モバイル検索から選択できます。「設定」で変更可能です。

［YouTube］
YouTubeのサイトにアクセスします。

［写真］
Picasaのサイトにアクセスします。

［地図］
モバイルGoogleマップを起動します。→P281

［Gmail］
Gmailのサイトにアクセスします。

［ニュース］
Googleニュースのサイトにアクセスします。

［乗換案内］
Googleトランジット（乗換案内）のサイトにアクセスします。

［設定］

検索バー：検索バーを待受画面に表示するかどうかを設定します。
「検索バー」にカーソルを移動▶[■]［選択］▶[i α]［完了］
- [■]［選択］を押すたびにONとOFFが切り替わります。

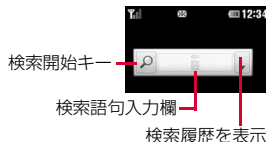
検索方法：検索方法を「ｉモード検索」「Google モバイル検索」から選択します。

検索履歴リセット
：検索履歴をすべて削除します。

GoogleTMご利用に際し
：初回起動時に表示される確認画面を表示します。

検索バーについて

検索語句入力欄をタッチして検索語句を入力・確定すると検索ができます。または、検索履歴表示をタッチして表示された履歴から検索語句を選択し、検索開始キーをタッチすることでも検索できます。

- 検索バーはタッチ操作のみ可能です。

お知らせ

- アクセス制限サービス（フィルタリングサービス）の契約・適用状況によっては、GoogleTM サービスメニューからの各機能にアクセスできないことがあります。
- 検索バーを待受画面に表示させると、待受画面設定で時計やカレンダーなどを設定していても表示されなくなります。

ライブキャラパーク

ライブキャラパークを利用する

通話履歴やメールの送受信履歴を、キャラクターで視覚的に表示します。電話やメールをやり取りした相手はキャラクター（ライブキャラ）として待受画面に表示され、電話やメールの回数に応じてライブキャラの周りに動物が集まってきたりします。また、「Me」ライブキャラが表示されたときはグリーティングメッセージが表示されたり、当日のスケジュールを確認したりできます。

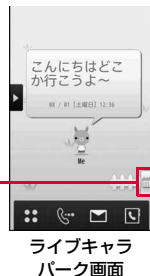
- ライブキャラパークの画面は、キャラクタータイプを「アニマル」に設定した場合で説明しています。
- 「Me」ライブキャラについて→P338

ライブキャラパーク画面を表示する

- ライブキャラパーク画面では、タッチ操作のみ可能です。

1 待受画面▶◀をタッチ

- ◀▶：ライブキャラパーク画面と待受画面の表示を切り替えます。

ログ画面を表示します。→P337

ライブキャラパーク画面

お知らせ

- 履歴表示設定（P126）の項目が1つでもOFFに設定されている場合、ライブキャラパーク画面は表示されません。
- ライブキャラパーク画面とライブキャラのキャラクタータイプは変更できます。→P338

ライブキャラについて

- ライブキャラは、相手ごとに設定できます。→P86
- 以下の場合、ライブキャラは毎回ランダムに表示されます。
  - FOMAカードの電話帳に登録している相手
  - 機種変更などで本FOMA端末にコピーされた電話帳
  FOMA端末（本体）の電話帳に登録し直す（または、電話帳を修正する）ことで、決まったライブキャラが表示されるようになります。
- 電話帳に登録されていない相手は、「？」で表されます。
- ライブキャラは最大9個まで表示されます。
- 毎日午前4時にライブキャラパーク画面はリセットされます。前日まで出ていたライブキャラはライブキャラパーク画面からいなくなります。

ライブキャラパークのお楽しみ機能！

- お正月や七夕、クリスマスなど季節のイベントに応じて、背景などが変わります。
- 一日の電話やメールの回数に応じてライブキャラの周りに動物が集まってきたりします。
- 相手からの不在着信／未読メールがあるときは吹き出しで表示します。（例：不在着信が1件ある場合 ）
- 時々、2匹の隠れキャラクターが登場します。

お知らせ

- 非通知着信の場合、ライブキャラが表示されません。
- ライブキャラの下には、電話帳に登録されている名前が表示されます。「プライバシーモード設定」で電話帳機能をロックすると、名前の代わりに電話番号が表示されるようになります。また、待受画面からライブキャラパーク画面を表示する際に、暗証番号の入力が必要になるように設定することもできます。→P125
- 迷惑メールの大量受信などにより、表示されるライブキャラが迷惑メールで占められる場合は、迷惑メール対策をとってください。詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- ライブキャラパーク画面で表示される不在着信／未読メールの合計は、画面上に表示されているライブキャラ分の合計です。待受画面で表示される合計とは異なることがあります。

ライブキャラを操作する

ライブキャラを操作することで、簡単に電話やメール、電話帳登録ができます。

- タッチ操作のみ可能です。

電話をかける

1 電話をかける相手のライブキャラをタッチ▶ をタッチ

- 一度タッチで選択したライブキャラを 上にスライドしても電話をかけることができます。
- 複数のライブキャラを選択すると電話をかけることはできません。

メールを送信する

ライブキャラを選び、メールを送信します。最大5人までの相手に同時にメールを送信できます。
ライブキャラを5つ以上選択するとメール送信できません。

1 メールを送信する相手のライブキャラをタッチ

■複数の相手を選択する場合
画面をスライドすると、範囲を選択するエリアが表示されます。エリアの範囲内に入ったライブキャラは選択された状態になります。（選択されたライブキャラ下部に色が付きます。）

- 背景をタッチすると、すべての選択を解除します。

2 ［メール］をタッチ

- 一度タッチで選択したライブキャラを［メール］上にスライドしてもメール送信できます。

電話帳に登録する

1 登録する相手のライブキャラをタッチ▶［電話帳］をタッチ

「リダイヤルや着信履歴などから電話帳に登録する」の操作2（P89）へ進みます。

- 一度タッチで選択したライブキャラを［電話帳］上にスライドしても電話帳登録できます。
- 登録済みの相手の場合は、電話帳の修正ができます。

ライブキャラの位置を変更する

好みの位置にライブキャラを移動します。

1 ライブキャラをスライド

ライブキャラを削除する

1 いずれかのライブキャラを1秒以上タッチし続ける

ライブキャラ編集モードになり、それぞれのライブキャラに［×］が表示されます。

2 削除するライブキャラの［×］をタッチ

- 背景をタッチ：編集モードを解除します。

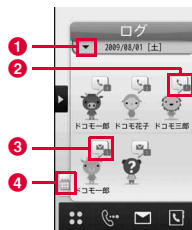
お知らせ

- ライブキャラを削除しても電話の発着信やメールの送受信を行うと、ライブキャラが再び表示されます。
- ライブキャラを削除してもログ画面（P337）の記録は残ります。

ログを表示する

- 電話／メールをやり取りした回数の多い順に、それぞれ3人まで記録します。

1 ライブキャラパーク画面（P335）で［ログ］をタッチ

❶ **以前の履歴を表示**
　日付一覧が表示されたら記録を見たい日付をタッチします。
❷ **電話の履歴と件数**
❸ **メールの履歴と件数**
❹ **ログ画面を閉じる**

ログ画面

お知らせ

- 過去30日分の記録が残ります。
- 午前0～4時の記録は、前日のログとして表示されます。
- 1日に20人以上の相手と電話／メールをやり取りした場合、古い順に記録が消去されます。そのため、正しい順番にならないことがあります。
- ログに表示されたライブキャラをホットキー上にスライドすると次の操作ができます。
  - ［電話］：電話をかける
  - ［メール］：メールを送信する
  - ［電話帳］：電話帳に登録する（未登録の電話やメールの相手を登録できます。）

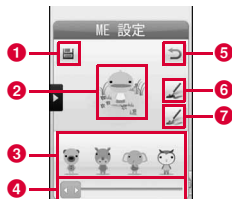
「Me」ライブキャラについて

以下の場合、自分のライブキャラ「Me」が表示されます。

- 本FOMA端末をお買い上げ後、誰とも電話やメールのやり取りがないままライブキャラパーク画面を表示したとき
- 表示されているライブキャラをすべて削除したとき
- ライブキャラパーク画面がリセットされるときからメールや電話のやり取りがあるまで

自分のライブキャラを変更する

「Me」ライブキャラを1秒以上タッチすると、自分のライブキャラを設定できます。

- キャラクタータイプの選択は「ライブキャラパークテーマを設定する」で設定します。→P338
- タッチ操作のみ可能です。
- 「Me」ライブキャラが表示されているときのみ変更できます。

❶ **ライブキャラの変更を保存**
❷ **選択中のライブキャラ**
❸ **ライブキャラ一覧**
❹ **スクロールバー**
スライドするとライブキャラ一覧の表示をスクロールします。
❺ **ライブキャラの変更をキャンセル**
❻ **ライブキャラ一覧に表示されている色に設定**
変更したライブキャラの色を元に戻します。
❼ **色変更**
タッチするたびに選択しているライブキャラの服（や髪）の色をランダムに変更します。

スケジュールを確認する

スケジュールが登録されていると「Me」ライブキャラが表示されたときに内容を確認できます。

1 メッセージと［スケジュールアイコン］が表示される

2 ［スケジュールアイコン］をタッチ

スケジュール内容が表示されます。

- ［▽］／［△］をタッチして、他のスケジュールも確認できます。

3 ［×］をタッチ

スケジュール表示を終了します。

ライブキャラパークテーマを設定する

ライブキャラパーク画面とライブキャラのキャラクタータイプを設定します。

1 MENU▶「Settings」▶「表示」▶「ライブキャラパークテーマ」▶次の操作を行う

［待受画面］
待受画面のテーマを「動物園」「公園」「イメージ」から選びます。
- 「イメージ」を選択した場合は、「データBOX」の「マイピクチャ」内に保存されている画像から選択します。この場合、季節のイベントに応じた背景などは表示されません。→P296

［ライブキャラ］
ライブキャラのキャラクタータイプを「アニマル」「ヒューマン」から選びます。設定を変更するとライブキャラパークで表示されるすべてのライブキャラの表示が切り替わります。

2 iα［完了］

Muvee Studio

Muvee Studioを利用する

あらかじめ用意されているムービースタイル（表示切替効果）や音楽を利用して、お好みの静止画や動画から手軽にスライドショーを作成できます。

- 作成したスライドショーは「データBOX」内「ｉモーション」の「カメラ」フォルダに動画／ｉモーション（.3gp形式）として保存されます。

1 MENU▶「Media」▶「Muvee Studio」

❶ **ファイル表示領域**
登録した画像やビデオ、設定したタイトルやクレジットが表示されます。

❷ **ムービースタイル**
選択したムービースタイルが表示されます。

❸ **タイトル**
「タイトル設定」で設定したタイトルが表示されます。→P340

❹ **クレジット**
「クレジット設定」で設定した文章が表示されます。→P340

Muvee Studio画面

2 MENU[メニュー]▶「ムービースタイル選択」▶ムービースタイルを選択

3 ■[登録]▶「画像」／「ビデオ」▶フォルダを選択

4 ✥で追加するファイルにカーソルを移動▶■[選択]▶本操作を繰り返してファイルを選択▶iα[完了]

- MENU［メニュー］▶「選択」を選択、MENU［全選択・全解除］で全選択／全解除できます（ムービースタイルに設定されている最大登録数まで選択します）。

5 iα[プレビュー]

6 ■[保存]

お知らせ

- ムービースタイルごとにBGMや登録できるファイルの数、表示切替方法があらかじめ設定されています。BGMは変更することもできます。
- ムービースタイルを選択・変更したとき、すでに登録されているファイルがムービースタイルのファイル数を超えている場合、メニューが表示されます。「スタイル変更」を選び、登録されているファイル数にあわせてムービースタイルを選びなおすか、「画像削除」を選び、選択しているムービースタイルにあわせてファイルを削除します。

追加したファイルを削除するには

で削除するファイルにカーソルを移動して［削除］を押します。

ファイルの順序を変更するには

ファイルを1秒以上タッチし続け、画像が拡大されたら好みの位置へスライドします。Muvee Studio画面のサブメニュー（P339）からも操作できます。

Muvee Studio画面のサブメニュー

1 Muvee Studio画面（P339）▶［メニュー］▶次の操作を行う

［再生順番］

ムービーの再生順として「通常」「ランダム」から選びます。

［再生順変更］

画像の並び順を変更します。

移動する画像を選択▶メニューから「再生順変更」▶で移動先を選択▶［チェンジ］

［保存先］

ムービーの保存先を「本体メモリー」「外部メモリー」（microSDカード）から選びます。

［再生時間］

再生時間の長さを「長い」「短い」から選びます。

［削除］

ファイルを選択して削除します。

削除するファイルを選択▶［確認］▶「はい」／「いいえ」

- ［全体選択・選択取消］を押して全選択／全解除できます。

［ムービースタイル選択］

ムービースタイルを選択します。

［ムービーミュージック選択］

BGMを変更します。

［タイトル設定］

オープニングに表示されるタイトルを設定します。

［クレジット設定］

エンディングに流れる文章を設定します。

モーションお絵かき™

静止画の上に絵を描いたり、スタンプを貼ったり、文字を書いたりできます。また、描いた絵にモーション（動き）をつけてFlash画像を作成できます。

- モーションお絵かき™をご利用になるには、microSDカードが必要となります。
- microSDカード内の「OTHER」フォルダにFlash画像（SWF形式）として保存されます。
  データを確認するには「データBOX」内の「モーションお絵かき」を選択します。
- 100Kバイト以上のファイルを作成（保存）することはできません。

1 MENU▶「Media」▶「モーションお絵かき」

キャンバス画面

2 次の操作で描く

- タッチ操作のみ可能です。

[キャンバス]

イメージキャンバス

：画像をキャンバスにして絵を描きます。
- 「データBOX」の「マイピクチャ」内に保存されている画像から選択します。
- 大きな画像は縦横の比率を保ったまま、自動的にサイズが変更されます。
- 480×800サイズの画像はサイズが変更されません。
- 横のサイズが480、または縦のサイズが800ピクセルを超える場合、いずれかのサイズが超えている幅を横480または縦800ピクセルにあわせてサイズが変更されます。

カラーキャンバス

：色のついたキャンバスに絵を描きます。

[ツール]

（ペン）：スライドして線や図形を描きます。図形は対角線を描くようにスライドします。
- 選択中のツールをタッチするとペンの種類を変更できます。
- 線や図形の移動はできません。

（自由線）：自由に線を描きます。
（曲線）：始点と終点の間に弧を描きます。
（直線）：直線を描きます。
（円）：円を描きます。
（四角形）：四角形を描きます。

（スタンプ）：スタンプをタッチして貼り付けます。
▶スタンプを選択▶キャンバスをタッチ
- 選択中のツールをタッチするとスタンプ一覧が表示され、別のスタンプを選択できます。
- キャンバスに貼り付けたスタンプをタッチして、枠が表示されたらスライドして移動できます。モーションがつくと移動できなくなります。
- 最大で20個のスタンプを貼り付けできます。

次のページへ続く

(テキスト)：文字を書きます。

新規：新しく文字を書きます。
▶「新規」▶文字を入力▶「OK」
- 全角で8文字まで、半角で16文字まで入力できます。
- 文字入力後、続けて編集もできます。

編集：文字を編集します。
▶「編集」▶編集する文字をタッチ▶編集する▶「OK」
「キーパッド」：文字を変更します。
「文字サイズ」：(小さく)／(大きく)をタッチ、またはサイズバーのをスライドします。
「文字色」：色を選びます。
- 文字をタッチして枠が表示されたらスライドして移動できます。

(サイズ)：文字のサイズを変更します。※
(小さく)／(大きく)をタッチ、またはサイズバーのをスライドします。

(カラー)：文字の色を変更します。※
▶色を選択
※ (テキスト)を選ぶと表示されます。

(太さ)：ペンの太さを変更します。
▶太さを選択

(カラー)：ペンや塗りつぶしの色を変更します。
▶「線色」／「塗りつぶし色」▶色を選択
- 選択中のツールが自由線、曲線、直線の場合、「塗りつぶし色」は選択できません。

(削除)：キャンバスに描いた文字や図形、線などを削除します。
▶文字やスタンプをタッチ／線や図形をスライドして囲む▶(削除)▶「OK」
- 対角線を描くようにスライドすると枠で囲まれた範囲の線や図形をすべて選択します。スライドして囲んだ範囲に文字やスタンプが含まれていても削除されません。
- 「全選択」で文字やスタンプをすべて選択します。モーションがついた線や図形を削除するときは「全選択」で選びます。
- で削除を中止し、キャンバスに戻ります。

[モーション]

描いた絵にモーション(動き)をつけます。

▶スタンプをタッチ／線や図形をスライドして囲む▶「OK」▶「プリセットモーション」／「ラインモーション」

プリセットモーション：用意されているモーションの種類を選択します。
▶プリセットモーションの種類を選択▶プレビューを確認▶「OK」
- モーションがついたスタンプや図形などを選択し、を選ぶと、モーションを「なし」にします。

ラインモーション：軌跡となる線を描きます。描いた線に沿って、選択したスタンプや図形などが動きます。
▶線を描く▶「プレビュー」▶プレビューを確認▶「OK」
- 線を描きなおすには「リトライ」をタッチします。
- モーションがついているスタンプや図形を選択し、「Off」を選ぶと、モーションを「なし」にします。

- 文字にモーションはつきません。
- キャンバス上のモーションは最大5個です。
- でモーションを中止し、キャンバスに戻ります。
- モーションがついたスタンプなどを選択すると、タグ(例：)が表示されます。タグはモーションの種類によって変わります。
- モーションがついているスタンプや図形にモーションをつけると、モーションの種類が入れ替わります。

3 「メニュー」▶「プレビュー」▶「OK」

モーション画像をプレビューして確認します。

- 「メール送信」：画像をメール添付します。
- 「保存」：画像を保存します。
  が表示されているときに保存すると、お絵かきの手順も保存されます。が表示されているときはお絵かきの手順は保存されません。ONとOFFはタッチで切り替えます。

4 「メニュー」▶「保存」▶「はい」

- microSDカード内の「OTHER」フォルダにFlash画像（SWF形式）として保存されます。

お知らせ

- モーションお絵かきTMで作成したファイルは、Flash画像として保存されます。Flash画像の受信に対応した端末に送信できます。（モーションお絵かきTM以外で作成したFlash画像は、メール添付できません。）
- メールで送った画像はデコメアニメ®対応機種、および905i以降の一部機種でのみ閲覧が可能です。
  対象機種は、LG Mobileホームページ（http://jp.lgmobile.com/）をパソコンからご確認ください。
- microSDに保存されたモーションお絵かきTMのファイルは、MENU▶「Data Box」▶「モーションお絵かき」と操作すると表示できます。サブメニューについては、静止画の場合などを参考にしてください。ただし、項目によっては利用できません。

<キャンバス>

- キャンバスに描いたものをリセットするには「メニュー」▶「リセット」▶「はい」を選択します。

FOMA通信環境確認

FOMAハイスピードエリアを利用できるかどうかを確認する

1 MENU▶「LifeKit」▶「FOMA通信環境確認」▶「はい」

お知らせ

- 通信環境確認時の通信環境（天候や電波状況、ネットワークの混雑状況など）によっては、同一の場所・時間帯であっても、異なる結果や圏外である旨の結果が表示される場合があります。

M-Toy

FOMA端末を傾けたり振ったりして遊ぶ5つのゲームが楽しめます。

- M-Toy画面では、タッチ操作のみ可能です。

1 MENU▶「Media」▶「M-Toy」▶ゲームを選択▶画面をタッチ▶画面の指示に従う

- ゲームを開始すると メニュー が表示されます。音や振動の環境を変えたり、ゲームを終了したりできます。

■ ゲームの種類と遊びかた

ゲーム名	遊びかた
釣り	釣り針を投げ入れ、魚がかかったら釣り上げます。
ダーツ	3本のダーツを投げてスコアを競います。
ホームランダービー	ピッチャーが投球したら、タイミングをあわせて、バットを振り、ホームランの数を競います。
タワー	キャラクターを風船から落とし、下にいるキャラクターに肩車をさせてタワーを作ります。タワーが崩れないようにバランスよく積み重ねます。
アップルツリー	リンゴの木からリンゴを落とすゲームです。何人かで順番にプレイし、腐ったリンゴ（青紫）を落とした人が負けです。

警告

これらのゲームは、FOMA端末を振ったりして遊びます。振りすぎなどが原因で、人や物などにあたって事故や破損などにつながる可能性があります。遊ぶ際は、FOMA端末をしっかりと握り、必要以上に振り過ぎず、周囲の安全を確認して遊びましょう。

タッチゲーム

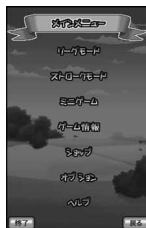
タッチパネルを使った2つのゲームが楽しめます。

タッチでゴルフ

リーグモード、ストロークモード、ミニゲームなどのゴルフゲームが楽しめます。

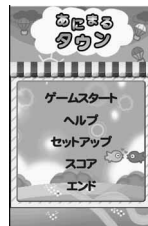
1 MENU▶「Media」▶「タッチゲーム」▶「タッチでゴルフ」

2 画面をタッチ▶「空きスロット」▶キャラクターを選択

- 「ヘルプ」に遊び方や画面説明があります。

あにまるタウン

タッチやスライド操作で楽しむゲームです。スコア次第でボーナスゲームにも挑戦できます。

1 MENU▶「Media」▶「タッチゲーム」▶「あにまるタウン」▶画面をタッチ

- 「ヘルプ」に遊び方の説明があります。

2 「ゲームスタート」▶ゲームを選択

辞典

辞典を利用する

国語、英和、和英辞典が利用できます。

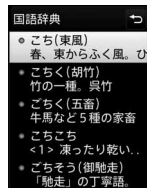
1 MENU▶「Media」▶「辞典」

辞典画面

2 「国語辞典」/「英和辞典」/「和英辞典」

- 「検索履歴」:検索履歴を表示します。
- 「辞書情報」:辞典を提供している会社情報を表示します。

3 調べたい単語を入力

- [入力]:別の単語を入力できます。
- [▲ページ]/[▼ページ]:ページ単位で一覧を表示します。

検索結果一覧画面
(例:国語辞典の場合)

4 で単語を選択

検索結果詳細画面が表示されます。

- 英和辞典の場合、[発音]を押すと発音が聞けます。
- 単語帳に登録する場合、[登録]を押します。

検索結果一覧／詳細画面のサブメニュー

1 **検索結果一覧画面(P345)／詳細画面▶MENU[メニュー]▶次の操作を行う**

[範囲選択] ※
検索結果の一部を選択して、コピーや別の辞典で検索できます。
▶範囲の始点を選択▶終点を選択▶「コピー」／「別の辞典で検索」

[別の辞典で検索]
別の辞典に切り替えて検索します。

[検索履歴]
検索履歴を表示します。

[ヘルプ]
辞典についての説明を表示します。

※ 検索結果一覧画面では表示されません。

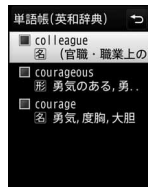
単語帳を利用する

検索した単語は、辞典ごとに200件まで単語帳に登録（P345）できます。単語帳を利用して暗記トレーニングもできます。

- 単語帳登録されていない場合、単語帳は選択できません。

単語帳を見る

1 **MENU▶「Media」▶「辞典」▶「単語帳」▶「国語辞典」／「英和辞典」／「和英辞典」**

■ 単語にマークを付ける
マークを付けた単語のみを、暗記トレーニングの出題対象とすることができます。
で単語にカーソルを移動▶ ［解除・選択］

単語帳一覧画面

2 **単語を選択**

単語帳詳細画面が表示されます。

- ■［マーク解除・マーク］を押してマークを解除したり、付けたりできます。

単語帳一覧画面のサブメニュー

1 単語帳一覧画面(P346)▶MENU[メニュー]▶次の操作を行う

[ソート]

登録順（昇順）：登録の新しい順に並べます。
登録順（降順）：登録の古い順に並べます。
単語順（昇順）：単語のアルファベット、あいうえお順に並べます。
単語順（降順）：単語のアルファベット、あいうえお順の後ろから並べます。

[削除]

一件：選択中の単語を削除します。
選択：複数の単語を選択して削除します。
▶削除する単語にチェックを付ける▶i α［削除］▶「はい」
- MENU［全選択・全解除］を押して全選択／全解除できます。

全件：すべての単語を削除します。

[マーク]

全件マーク：すべての単語にマークを付けます。
全件マーク解除：すべての単語のマークを解除します。

[別の辞典で検索]

別の辞典に切り替えて検索します。

[検索履歴]

検索履歴を表示します。

[ヘルプ]

辞典についての説明を表示します。

お知らせ

- 単語帳詳細画面のサブメニューは、「削除」以外は「検索結果一覧／詳細画面のサブメニュー」（P346）と同じです。

暗記トレーニングをする

単語帳を利用して、自己採点型の暗記トレーニングができます。

1 辞典画面(P345)▶「単語帳」▶「暗記トレーニング」▶「国語辞典」／「英和辞典」／「和英辞典」

- 「ヘルプ」：操作の説明を表示します。

■出題方法などを変更する場合
「設定」▶各項目を設定します。

2 ■[答え]

- i α［スキップ］：問題をスキップします。

3 答えを確認▶MENU[NG]／■[次へ]／i α[OK]

- トレーニング終了まで操作2～3を繰り返します。
- MENU［メニュー］を押すと、単語帳一覧画面（P346）の単語にマークが付きます。また、i α［OK］を押すと、単語帳一覧画面の単語のマークが解除されます。

マルチアクセス

マルチアクセスとは、音声電話、パケット通信、SMSの3回線を同時に使用できる機能です。

通信の種類	使用できる回線
音声電話	1回線
ｉモード、ｉアプリ、ｉモードメール、パソコンをつないだパケット通信	1回線
SMS	1回線

お知らせ

- マルチアクセスの組み合わせ→P444
- マルチアクセス中は、それぞれの通信に対して通信料金がかかります。
- テレビ電話を利用中は、SMSの受信以外はマルチアクセスを利用できません。

パケット通信中に音声電話をかける

ｉモードなどのパケット通信中に、新規タスク画面（P349）を呼び出して、音声電話をかけられます。

例：ｉモード中に音声電話をかける

1 ｉモード中の画面(P183)▶[キー](1秒以上)▶「通話」

電話番号入力画面が表示されます。

2 電話番号を入力▶[発信キー]

お知らせ

- ｉモード中の画面に戻るには、音声電話中画面で[キー]を押し、「ｉモード」を選択します。

パケット通信中に音声電話を受ける

ｉモードなどのパケット通信中に、音声電話を受けられます。

例：ｉモード中に音声電話を受ける

1 電話がかかってくる

着信中画面が表示されます。

2 [発信キー]

お知らせ

- ｉモード中の画面に戻るには、音声電話中画面で[キー]を押し、「ｉモード」を選択します。

音声電話中に他の通信を使用する

音声電話中にメールを送受信したり、ｉモードに接続したりできます。

メールを送信する

1 音声電話中画面▶[キー](1秒以上)▶「メール」

2 メールを作成して送信する

お知らせ

- メールの作成・送信→P138、P176

メールを受信する

画面上部にメールの受信をお知らせするアイコン（P34）が表示されます。

音声電話中画面

ｉモードに接続する

1 **音声電話中画面▶［ボタン］（1秒以上）▶「ｉモード」▶「ｉMenu」**

お知らせ

- 音声電話中画面に戻るには、［ボタン］▶「はい」を選択します。

マルチタスク

マルチタスク

本FOMA端末では、複数の機能を同時に起動して操作できるマルチタスク機能を利用できます。

タスクマネージャ

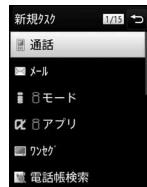
新しい機能を呼び出す

機能使用中に別の機能を新しく呼び出す場合は、新規タスク画面を表示させます（タスクマネージャ）。

1 **各機能を利用中▶［ボタン］（1秒以上）**

- 起動できない機能は、機能名がグレーで表示されます。

新規タスク画面

次のページへ続く

2 起動させる機能を選択する

- 起動できる項目は、利用中の機能や操作状況により異なります。

[通話]
電話番号入力画面が表示されます。→P56

[メール]
メールメニュー画面が表示されます。→P137

[ｉモード]
ｉモードメニュー画面が表示されます。→P182

[ｉアプリ]
ソフト一覧画面が表示されます。→P275

[ワンセグ]
ワンセグ視聴画面を表示します。→P245

[電話帳検索]
電話帳検索画面が表示されます。→P92

[ミュージック]
ミュージック画面を表示します。→P263

[Music&Videoチャネル]
Music&Videoチャネル画面が表示されます。→P254

[カメラ]
静止画撮影画面が表示されます。→P222

[きせかえツール]
きせかえツール画面が表示されます。

[スケジュール]
カレンダー画面が表示されます。→P353

[To Do リスト]
To Do リスト画面が表示されます。→P358

[テキストメモ]
テキストメモ一覧画面が表示されます。→P370

[電卓]
電卓画面が表示されます。→P367

[自局番号]
自局番号画面が表示されます。→P54

お知らせ

- 各機能利用中に待受画面でMENUを押しても、新規タスク画面が表示されます。
- マルチタスクの組み合わせ→P445

機能を切り替える／確認する

実行する機能の切り替えや確認をするには、タスク一覧画面を表示させます。

1 各機能を利用中▶

- タスク一覧画面から「新規タスク」を選択すると、新規タスク画面（P349）が表示され、別の機能を呼び出せます。また、「待受画面」を選択すると、待受画面が表示されます。

実行中の機能が表示されます。

タスク一覧画面

2 機能を選択

選択した機能の画面に切り替わります。

機能を終了する

表示中の機能を終了させて、切り替える前の機能の画面を表示します。

1 各機能を利用中▶[CLR]／[終話]

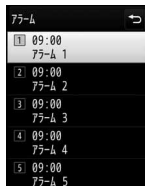
- 終了させる機能を表示してから操作してください。
- すべての機能を終了させるときは、この操作を繰り返します。

アラーム

指定した時刻にアラームで知らせる

FOMA端末を目覚まし時計として利用できます。アラームは10件まで登録できます。

1 [MENU]▶「LifeKit」▶「アラーム」

- [iα]を押して、選択中のアラームのON／OFFを設定できます。

アラーム一覧画面

■アラーム一覧画面で表示されるアイコン

アイコン	説　明
(アラームアイコン)	「ON」に設定されたアラーム
(繰り返しアイコン)	「繰り返し設定」が設定されたアラーム

2 編集するアラームにカーソルを移動▶[■]［編集］▶次の操作を行う

[(ON／OFF設定)]
アラームを有効にするかどうかを設定します。

[(時刻設定)]
アラームが起動する時刻を設定します。

[(繰り返し設定)]
繰り返しの種類を選択します。
- 「休日以外」に設定した場合は、日曜日と「休日設定」（P356）で設定した休日にはアラームを通知しません。

「曜日指定」を選択した場合は、次の操作でアラームが起動する曜日を指定します。

▶[□]▶欄で[■]［一覧］▶指定する曜日にチェックを付ける▶[iα]［完了］

[(アラーム音)]
アラーム音を選択します。

ミュージック：「データBOX」の「ミュージック」内に保存されている着うたフル®から選択します。→P270
「着うたフル®を着信音に設定する」の操作3（P266）へ進みます。

ｉモーション：「データBOX」の「ｉモーション」内に保存されている動画／ｉモーションから選択します。→P307

メロディ：「データBOX」の「メロディ」内に保存されているメロディから選択します。→P314

[T(メモ)]
全角で7文字、半角で15文字まで入力できます。入力内容は、起動後のアラーム画面にも表示されます。

[(ターボアラーム)]
アラーム音が段階的に最大音量まで大きくなり、バイブレータが振動するターボアラームを有効にするかどうかを設定します。

次のページへ続く

[(スヌーズ)]
スヌーズ通知する時間の間隔を選択します。スヌーズ通知を設定しない場合は「OFF」を選択します。

3 [完了]

アラーム一覧画面のサブメニュー

1 アラーム一覧画面(P351)▶[メニュー]▶次の操作を行う

[編集]
選択中のアラームを編集します。→P351

[ON・OFF]
選択中のアラームの「ON」／「OFF」を設定します。

[複数選択]
アラームを選択して有効にするかどうかを設定します。

▶アラームにチェックを付ける▶ [ON・OFF]

- [全選択・全解除]を押して全選択／全解除できます。

「アラーム」、および「スケジュール」「To Do」のアラームが通知時刻になると

機能ごとに次のように動作します。

アラーム
アラーム画面が表示され、アラーム音が鳴り、イルミネーションが点灯します。

- [OFF]：アラームを解除します。スヌーズを設定している場合は、スヌーズも解除されます。
- [スヌーズ]：一旦アラーム音を止めます。スヌーズの設定時間が経過すると再びアラーム音が鳴ります。
- ：アラームを解除します。スヌーズを設定している場合は、スヌーズ通知を継続します。
- 何も操作しなかった場合は、アラーム音は約1分後に止まります。スヌーズを設定している場合は、約5分間隔で12回繰り返しアラームが鳴ります（スヌーズの時間設定には関係なく5分となります）。

スケジュール
スケジュールのアラーム画面が表示され、アラーム音が鳴り、イルミネーションが点灯します。

- アラームを止めるには、[OFF]を押し、スケジュールの詳細画面で[OFF]を押します（スヌーズを設定している場合も同じです）。
- アラームを再び鳴らす場合は、[スヌーズ]▶スヌーズの通知間隔を選択します。
- 何も操作しなかった場合は、アラーム音は約1分後に止まります。その後は、約5分間隔で12回繰り返しアラームが鳴ります。
- またはFOMA端末を閉じると、一旦アラーム音を止めることができます。その後は、約5分間隔で繰り返しアラームが鳴ります。

To Do
To Doのアラーム画面が表示され、アラーム音が鳴り、イルミネーションが点灯します。

- アラームを止めるには、[OFF]を押し、To Doの詳細画面で[OFF]を押します。
- 何も操作しなかった場合は、アラーム音は約1分後に止まります。その後は、約5分間隔で12回繰り返しアラームが鳴ります。
- またはFOMA端末を閉じると、一旦アラーム音を止めることができます。その後は、約5分間隔で繰り返しアラームが鳴ります。

アラーム、スケジュールとTo Doのアラームを同じ時刻に設定した場合
アラーム→スケジュールのアラーム→To Doのアラームの優先順で通知されます。

スケジュールを管理する

スケジュールを登録する

会議や約束などの予定を登録できます。スケジュールは最大200件まで登録できます。

1 待受画面▶[メール]▶スケジュールを登録する日付にカーソルを移動▶[iα][新規]▶「一般スケジュール」※▶次の操作を行う

※ ワンセグのチャンネル設定を行っていない場合は、「一般スケジュール」を選択する操作はありません。

- 「ワンセグ視聴予約」を選択すると、ワンセグの視聴予約ができます。→P248
- 時刻設定の日時欄にカーソルがあるときは、[メール]［キャンセル］▶「はい」を選択して、スケジュールの作成を中止できます。

[件名]

全角で25文字、半角で50文字まで入力できます。カレンダー画面（月単位表示）画面の下部に2件まで表示されます。件名を入力しないとスケジュールを登録できません。アラーム通知時の画面（アラーム画面）に表示されます。

[(時刻設定)]

スケジュールの開始／終了日時を設定します。

終日：特定の時刻は設定せずに、一日中のスケジュールとして登録します。

時刻設定：設定後、[カーソル]で日時欄にカーソルを移動して、スケジュールの開始／終了日時を入力します。
- 終了日時を開始日時より前には設定できません。

[詳細]

全角で300文字、半角で600文字まで入力できます。

[場所]

全角で25文字、半角で50文字まで入力できます。

[(アラーム設定)]

設定されている開始日時をアラームで通知するかどうかを設定します。「アラームなし」以外に設定した場合は、次の操作でアラーム音を選択します。

▶[カーソル]▶欄で[■]［一覧］▶アラーム音の種類を選択

ミュージック：「データBOX」の「ミュージック」内に保存されている着うたフル®から選択します。→P270
「着うたフル®を着信音に設定する」の操作3（P266）へ進みます。

ｉモーション：「データBOX」の「ｉモーション」内に保存されている動画／ｉモーションから選択します。→P307

メロディ：「データBOX」の「メロディ」内に保存されているメロディから選択します。→P314

[(繰り返し設定)]

定期的に発生するスケジュールを繰り返して設定できます。次の操作で繰り返し期限を設定できます。

▶[カーソル]▶欄で[■]［一覧］▶「期限を設定」▶繰り返し期限欄にカーソルを移動して、繰り返し期限日を設定

「曜日指定」を選択した場合は、次の操作で設定する曜日を指定します。

▶[カーソル]▶欄で[■]［一覧］▶指定する曜日にチェックを付ける▶[iα]［完了］

[(カテゴリー)]

スケジュールの種類（カテゴリー）を選択します。選択したカテゴリーによって、表示されるアイコンが変わります。

次のページへ続く

[🔒(シークレット)]
「シークレットモード」(P127)が「ON」に設定されている場合に表示されます。作成するスケジュールをシークレットデータにする場合は「設定」を選択します。

2 [完了]

お知らせ

<アラーム設定>
- アラームの通知がされているときに表示されるイメージ画像は、アラームを設定した月日を表示しておりません。

<繰り返し設定>
- 「時刻設定」でスケジュールの開始/終了日時を日付をまたいで登録した場合、「毎日」の繰り返しは設定できません。

<シークレット>
- 「シークレットモード」(P127)を「シークレット専用モード」に設定してスケジュールを登録した場合もシークレットデータになります。
- シークレットデータのスケジュールは、「シークレットモード」が「ON」または「シークレット専用モード」に設定されている場合に表示されます。
- 「シークレットモード」が「OFF」に設定されているときに、アラームが設定されているシークレットデータのスケジュールの設定時刻になった場合は、アラームは通知されますが登録内容は表示されず、アラーム画面には「シークレット」と表示されます。

スケジュールを確認する

スケジュールの登録内容は、カレンダー画面から確認します。

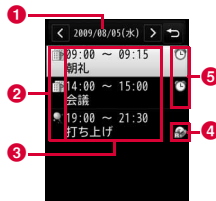
1 待受画面▶

カレンダー画面
(月単位表示)

❶ **カーソルがあたっている日付**
❷ **スケジュールが登録されている日付**
❸ **カーソルがあたっている日付に登録されているスケジュール**
2件まで表示されます。開始時刻が過ぎたスケジュールは表示されません。

- 1/3:表示を年単位で切り替えます。
- 7/9/▲/▼/✉[前月]/📷TV[翌月]:表示を月単位で切り替えます。
- 5:表示を現在の日付に戻します。
- 土曜日は青、日曜日や祝日、休日は赤い文字で表示されます。
- カレンダー画面は月単位表示と週単位表示に切り替えられます。→P355

2 確認する日を選択

- [◀]／[▶]：前／次の日に表示を切り替えます。

スケジュール一覧画面

❶ **日付**
❷ **「カテゴリー」のアイコン**
❸ **開始時刻～終了時刻、件名**
❹ **日本時間以外の地域で登録されたスケジュール**
「タイムゾーン設定」（P52）を日本と同じ「GMT+9：00」以外の地域に設定中に登録されたスケジュールに表示されます。
❺ **アラーム設定表示**
アラームが設定されている場合に表示されます。

3 確認するスケジュールを選択

スケジュール詳細画面が表示されます。

- [TV]［メール］：表示中のスケジュール内容をｉモードメールの添付ファイルで送信します。

お知らせ

- 祝日は「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律（平成17年法律第43号までのもの）」に基づいています。また、春分の日、秋分の日の日付は前年の2月1日の官報で発表されるため異なる場合があります（2009年6月現在）。

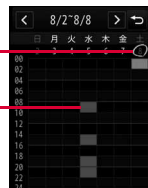
カレンダー画面の表示を切り替えるには

カレンダー画面は、1ヶ月単位で表示する月単位表示と1週間単位で表示する週単位表示の2種類があります。
一時的に表示を切り替えるには、次の操作を行います。

▶カレンダー画面で[MENU]［メニュー］▶「週単位表示」／「月単位表示」

デフォルト表示を切り替えるには、次の操作を行います。

▶カレンダー画面で[MENU]［メニュー］▶「設定」▶デフォルト表示欄で[■]［一覧］▶「月単位表示」／「週単位表示」▶[iα]［完了］

- [✉]［前週］／[TV]［翌週］：前週または翌週の予定を週単位で表示します。

週単位表示

カレンダー画面のサブメニュー

1 月単位表示(P354)／週単位表示(P355)▶MENU[メニュー]▶次の操作を行う

[新規作成]
新規スケジュールを登録します。→P353

[休日設定・休日設定削除]
カーソルのあたっている日付を休日に設定／設定削除します。祝日と合わせて最大100件まで設定できます。
休日に設定する場合は、「休日」欄にカーソルを移動▶■［編集］▶休日名を編集▶繰り返し設定欄にカーソルを移動して、次の項目を選択▶iα［完了］を押します。

設定日：カーソルのあたっている日付を休日に設定します。
毎週：カーソルのあたっている日付の曜日を毎週休日に設定します。
毎月：カーソルのあたっている日付を毎月休日に設定します。
毎年：カーソルのあたっている日付を毎年休日に設定します。
期間設定（2～31）
：カーソルのあたっている日付から2～31日の間の任意の期間を休日に設定します。設定する期間は「期間設定（2～31）」欄に入力します。

「毎週」「毎月」「毎年」を選択した場合は、次の操作で繰り返し期限を設定できます。
▶□▶欄で■［選択］▶「期限を設定」▶繰り返し期限欄にカーソルを移動して、繰り返し期限日を設定
休日設定を削除する場合は、「休日設定削除」▶「はい」を選択します。
「毎週」「毎月」「毎年」「期間指定（2～31）」に設定されている休日は、繰り返し削除の確認画面でさらに「はい」を選択します。

[週単位表示・月単位表示]
カレンダー画面の表示を週単位／月単位に切り替えます。→P355

[指定日へ移動]
指定した日のカレンダー画面を表示します。◀▶で「日付入力」欄の変更箇所にカーソルを移動して、ダイヤルキーで日時を入力します。

[削除]
前日まで削除：当日より前の日付に設定されているスケジュールをすべて削除します。
全件削除：すべてのスケジュールを削除します。

[赤外線全件送信]
スケジュール全件を赤外線通信で送信します。→P329

[メモリ情報]
スケジュールと休日の登録状況が表示されます。

[休日リセット]
「休日設定」で設定した休日を削除します。

[設定]
カレンダー画面の表示方法について設定します。設定後はiα［完了］を押します。
デフォルト表示
：スケジュール起動時のカレンダー画面の表示形式を設定します。
カレンダー表示設定
：週の開始の曜日を日曜日／月曜日から選択します。

スケジュール一覧／詳細画面のサブメニュー

1 スケジュール一覧画面(P355)／詳細画面▶MENU[メニュー]▶次の操作を行う

[新規作成]
新規スケジュールを登録します。→P353

[送信]※1
選択中のスケジュール内容をｉモードメールの添付ファイルまたは赤外線通信で送信します。

[編集]※2
選択中のスケジュールを編集します。→P353

[指定日へ移動]※3
指定した日のスケジュール一覧を表示します。✉で「日付入力」欄の変更箇所にカーソルを移動して、ダイヤルキーで日付を入力します。

[削除]
選択中のスケジュールと休日を削除します。
- スケジュール一覧画面では複数のスケジュールを選択して削除できます。

▶削除するスケジュールにチェックを付ける▶✉［削除］▶「はい」
- MENU［全選択・全解除］を押して全選択／全解除できます。

[microSDへコピー]※1
選択中のスケジュールをmicroSDカードへコピーします。

※1 「休日設定」の設定内容やお買い上げ時に登録されている休日を選択している場合は利用できません。
※2 お買い上げ時に登録されている休日を選択している場合は利用できません。
※3 スケジュール詳細画面では表示されません。

To Do リスト

To Doを管理する

To Doを登録する

実行しなければならない用件などTo Doとして50件まで登録できます。

1 MENU▶「LifeKit」▶「To Do リスト」▶iα[新規]▶次の操作を行う

- 日付／時刻設定欄にカーソルがあるときは、✉［キャンセル］▶「はい」を選択して、To Doの作成を中止できます。

[?(カテゴリー)]
To Doの種類（カテゴリー）を選択します。選択したカテゴリーによって、表示されるアイコンが変わります。

[件名]
全角で200文字、半角で400文字まで入力できます。To Do リスト画面に表示されます。件名を入力しないとTo Doを登録できません。アラーム通知時の画面（アラーム画面）に表示されます。

[詳細]
全角で20文字、半角で40文字まで入力できます。

[(日付／時刻設定)]
To Doの期日を設定します。

[(優先順位)]
To Doの優先度を選択します。選択した優先度によって、表示されるアイコンが変わります。

次のページへ続く

[(状態)]
To Doの状態を選択します。選択した状態によって、表示されるアイコンが変わります。
「完了」を選択した場合は、完了日時欄にカーソルを移動して、完了日時を編集できます。
- 「完了」を選択した場合は、To Doの期日と件名の上に線が引かれ、To Do リスト画面で「完了」以外のTo Doの下に表示されます。

[(アラーム設定)]
設定されている期日をアラームで通知するかどうかを設定します。
「アラームなし」以外に設定した場合は、次の操作でアラーム音を選択します。

▶▶欄で［選択］▶アラーム音の種類を選択

ミュージック：「データBOX」の「ミュージック」内に保存されている着うたフル®から選択します。→P270
「着うたフル®を着信音に設定する」の操作3（P266）へ進みます。

ｉモーション：「データBOX」の「ｉモーション」内に保存されている動画／ｉモーションから選択します。→P307

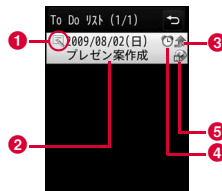
メロディ：「データBOX」の「メロディ」内に保存されているメロディから選択します。→P314

2 ［完了］

To Doを確認する

登録されているTo Doを一覧表示して確認できます。

1 ▶「LifeKit」▶「To Do リスト」

- 登録されているTo Doは、優先順位の高→低→なしの順に表示されます。優先順位が同じTo Doの場合は、期日の早いほうが上に表示されます。
  また、期日が同じ場合は、登録日時の早いほうが上に表示されます。
- 「状態」が「完了」に設定されたTo Doは、期日と件名の上に線が引かれ、「完了」以外のTo Doの下に表示されます。

To Do リスト画面

❶「状態」のアイコン
❷ 期日と件名
❸ 優先順位
／／　優先順位高／優先順位低／優先順位なし
❹ アラームが設定されているTo Do
❺ 日本時間以外の地域で登録したTo Do
「タイムゾーン設定」（P52）を「GMT＋9：00」以外の地域に設定中に登録されたTo Doに表示されます。

2 **確認するTo Doを選択**

To Do詳細画面が表示されます。
- ［メール］：表示中のTo Doをｉモードメールの添付ファイルで送信します。

To Do リスト画面／詳細画面のサブメニュー

1 To Do リスト画面(P358)／詳細画面▶MENU[メニュー]▶次の操作を行う

[新規作成]
新規To Doを作成します。→P357

[送信]
選択中のTo Doをｉモードメールの添付ファイルまたは赤外線通信で送信します。赤外線で全件送信もできます。

[編集]
選択中のTo Doを編集します。→P357

[状態変更]
選択中のTo Doの「状態」を変更します。→P358

[削除]
選択中のTo Doを削除します。
- To Do リスト画面では複数のTo Doを選択して削除できます。

▶削除するTo Doにチェックを付ける▶✉［削除］▶「はい」
- MENU［全選択・全解除］を押して全選択／全解除できます。

[microSDへコピー]
選択中のTo DoをmicroSDカードへコピーします。

[カレンダーを表示]
現在の日付のカレンダーを表示します。

記念日マネージャー

記念日を管理する

日付カウンターを利用すると、大事な予定（イベント）までの日数を簡単に調べることができます。また、日付サーチを利用すると、ある日付から指定した日数が過ぎたときの日付（年月日）を調べることができます。

日付カウンター

日付カウンターに登録する

当日までの日数を知りたい大事な予定（イベント）を30件まで登録できます。

1 MENU▶「LifeKit」▶「その他」▶「記念日マネージャー」▶「日付カウンター」▶iα[追加]▶次の操作を行う

[📅(日付設定)]
イベントがある日付を設定します。

[メモ]
全角で40文字、半角で80文字まで入力できます。日付カウンター一覧画面に表示されます。入力しないと日付カウンターに登録できません。

[?(カテゴリー)]
イベントの種類（カテゴリー）を選択します。選択したカテゴリーによって、表示されるアイコンが変わります。■［一覧］を押すと、アイコン一覧画面からカテゴリーとアイコンを選択できます。

2 iα[完了]

日付カウンターで確認する

登録されているイベント当日までの日数などを確認できます。

1 MENU▶「LifeKit」▶「その他」▶「記念日マネージャー」▶「日付カウンター」

日付カウンター一覧画面

❶ **カウンター表示**
－表示：登録されている日付から現在までに経過した日数を表示します。
＋表示：現在から登録されている日付までの残りの日数を表示します。

2 **確認するイベントを選択**

イベントの詳細画面が表示されます。

- ■［編集］：イベントを編集します。
- ✉［削除］：イベントを削除します。

日付カウンター一覧画面／詳細画面のサブメニュー

1 **日付カウンター一覧画面（P360）／詳細画面▶MENU［メニュー］▶次の操作を行う**

［新規作成］
新規イベントを登録します。→P359

［編集］
選択中のイベントを編集します。→P359

［削除］
選択中のイベントを削除します。
- 日付カウンター一覧画面では複数のイベントを選択して削除できます。

▶削除するイベントにチェックを付ける▶✉［削除］▶「はい」
- MENU［全選択・全解除］を押して全選択／全解除できます。

日付サーチを利用する

ある日付から指定した日数が過ぎたときの日付（年月日）を調べることができます。例えば当日から100日後の日付を知りたい場合などに利用すると便利です。9999日後まで調べることができます。

1 MENU▶「LifeKit」▶「その他」▶「記念日マネージャー」▶「日付サーチ」▶次の操作を行う

- iα［リセット］：設定値をリセットします。

［開始日］
サーチを開始する日付を設定します。

［日後］
調べたい日数をダイヤルキーで入力します。例えば「開始日」から100日後の日付を知りたい場合は「100」を入力します。

[結果]
指定した日数経過後の日付が表示されます。

自局番号

自分の名前や画像を登録する

FOMA端末にお客様の個人情報を登録できます。

1 MENU▶「Own Number」▶■[詳細]▶端末暗証番号を入力

自局番号詳細画面

2 MENU[メニュー]▶「編集」

自局番号編集画面が表示されます。

3 情報を登録▶ iα [完了]

登録の操作については、「FOMA端末（本体）電話帳に登録する」の操作2（P84）を参照してください。ただし、シークレットデータの設定はできません。

- あらかじめ登録されている自局番号の変更や削除はできません。

お知らせ

- ｉモードでメールアドレスを変更した場合、本機能に登録したメールアドレスは自動的に更新されません。

自局番号詳細画面のサブメニュー

1 自局番号詳細画面（P361）▶MENU[メニュー]▶次の操作を行う

[メール／URL接続]
登録されている宛先情報によるメールの作成、サイトへの接続などをします。

メール作成 ：自局番号以外のアドレスや電話番号を宛先に設定したｉモードメールを作成します。
メール添付 ：自局番号の登録内容を添付したｉモードメールを作成します。
SMS作成 ：自局番号以外の電話番号を宛先に設定したSMSを作成します。
URL接続 ：登録されているURLのサイトへ接続します。

[編集]
自局番号詳細画面を編集します。→P361

[赤外線送信]
自局番号詳細画面の情報を赤外線通信を利用して送信します。→P328

[コピー]
項目コピー ：自局番号詳細画面の登録内容から項目を選択してコピーします。
microSDへ ：自局番号詳細画面の情報をmicroSDカードへコピーします。

[カスタマイズ発信]
登録されている自局番号以外の電話番号を変更して電話をかけます。

[リセット]
個人データの登録情報をすべて削除します。

通話時間・料金を確認する

音声電話、テレビ電話などの前回および積算の通話時間と通話料金を確認できます。

- 通話時間は、音声電話通話時間とデジタル通信通話時間（テレビ電話通話時間）が表示され、かけた場合とかかってきた場合の両方がカウントされます。
- 通話料金は、かけた場合のみカウントされます。ただし、フリーダイヤルなどの無料通話先や番号案内（104）などに通話した場合は、「0円」もしくは「＊＊＊＊＊＊円」が表示されます。
- 通話料金はFOMAカードに蓄積されるため、FOMAカードを差し替えてご利用になる場合、蓄積されている積算料金（2004年12月から積算開始）が表示されます。
- 表示される通話時間および通話料金はリセットできます。
- 表示される通話時間および通話料金はあくまでも目安であり、実際の通話時間／料金とは異なる場合があります。また、通話料金に消費税は含まれておりません。

お知らせ

- ｉモード通信、パケット通信の通信時間・通信料金はカウントされません。ｉモード利用料などの確認方法については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- 着もじの送信料金はカウントされません。

通話時間表示

通話時間を確認する

音声電話、テレビ電話などの直前および積算の通話時間を確認できます。

1 MENU▶「Phonebook」▶「通話時間表示」

［直前通話時間：音声電話］
最新の通話時間を表示します。

［直前通話時間：テレビ電話］
最新のテレビ電話通話時間を表示します。

［積算通話時間：音声電話］
リセットしてから現在までの音声電話通話時間の合計を表示します。

［積算通話時間：テレビ電話］
リセットしてから現在までのテレビ電話通話時間の合計を表示します。

お知らせ

- 通話時間表示は、99時間59分59秒を超えると0秒に戻ってカウントされます。
- 着信中や発信中の時間はカウントされません。

「通話時間表示」を各項目ごとにリセットするには

リセットする項目にカーソルを移動▶iα［リセット］▶端末暗証番号を入力▶「はい」を選択します。

「通話時間表示」の全項目をリセットするには

全項目を一度にリセットできます。
▶MENU［メニュー］▶「オールリセット」▶端末暗証番号を入力▶「はい」

積算料金表示

通話料金を確認する

通話料金は、かけた場合のみカウントされます。

1 MENU▶「Phonebook」▶「通話料金表示」▶「積算料金表示」

[前回通話料金]
直前の通話料金を表示します。

[前回テレビ電話料金]
直前のテレビ電話通話料金を表示します。

[積算通話料金]
前回リセットしてから現在までの通話料金の合計を表示します。

[リセット日時]
前回リセットした日時を表示します。

お知らせ

- WORLD CALL利用時の国際通話料はカウントされます。その他の国際電話サービス利用時はカウントされません。

積算通話料金をリセットする

1 MENU▶「Phonebook」▶「通話料金表示」▶「積算料金表示」

2 iα[リセット]▶PIN2コードを入力▶「はい」

通話料金上限通知

通話料金の上限を設定して知らせる

積算通話料金の上限となる数値を設定して、上限を超えたときにお知らせします。

1 MENU▶「Phonebook」▶「通話料金表示」▶「通話料金上限通知」

2 端末暗証番号を入力▶次の操作を行う

[上限通知設定]
通話料金上限通知をするかどうかを設定します。

[通話料金上限] ※
通話料金の上限を設定します。

[上限通知方法] ※
通話料金が設定した上限に達した場合の通知方法を選択します。

OFF　：通知しません。
サウンド+アイコン　：上限通知アイコンと上限通知音で通知します。
アイコン　：上限通知アイコンのみで通知します。

※「上限通知設定」を「ON」にすると設定できます。

上限を超えると

待受画面に(上限通知アイコン)が表示されます。「上限通知方法」が「サウンド+アイコン」に設定されている場合は、設定料金の上限を超えた通話の終了後に上限通知音が鳴ります。

表示された上限通知アイコン表示を消すには

MENU▶「Phonebook」▶「通話料金表示」▶「上限通知アイコン消去」▶端末暗証番号を入力します。

世界時計

世界時計を使う

FOMA端末に登録されている世界の主要都市の日時を確認できます。

1 MENU▶「LifeKit」▶「その他」▶「世界時計」

- i [検索]：都市名のリストを表示して選択できます。ダイヤルキーで都市名を入力して検索することもできます。

2 で目的の地域に移動▶ ■ [拡大]

❶ ホーム（自国）の日時
❷ ホームとの時差
❸ サマータイム設定表示
サマータイムが設定されている場合に表示されます。
❹ 選択中の都市名と日時

世界時計設定画面

3 で目的の都市に移動▶ ■ [設定]

世界時計設定画面のサブメニュー

1 世界時計設定画面(P364)▶ MENU [メニュー]▶次の操作を行う

[都市検索]
都市名のリストを表示して選択します。ダイヤルキーで都市名を入力して検索することもできます。

[サマータイムON・サマータイムOFF]
サマータイムを設定・解除します。

お知らせ

- FOMA端末の表示言語を韓国語に切り替えている場合は、都市検索はできません。

ストップウォッチ

ストップウォッチを使う

FOMA端末をストップウォッチとして利用できます。

1 MENU▶「LifeKit」▶「その他」▶「ストップウォッチ」

- ■ [開始・停止・再開]：計測を開始／停止／再開します。
- TV [リセット]：計測結果を消去します。
- i [Lap]：計測中に表示されます。押すたびにその時点の計測結果（ラップタイム）を20番まで表示します。

単位変換ツールを使う

通貨、面積、長さ、重量、温度、容積、速度の単位を利用する単位に変換できます。

通貨の単位を変換する

手持ちの円をドルに変換するときなどに便利な機能です。

為替レートを設定する

変換操作をする前に、為替レートを設定します。

1 MENU▶「LifeKit」▶「その他」▶「単位変換ツール」▶「通貨」

通貨変換画面

2 通貨単位欄にカーソルを移動▶MENU［レート］

- あらかじめ通貨名として「円」「ドル」「ユーロ」「通貨1～3」が登録されています。

3 次の操作を行う

［(通貨名設定欄)］
■［選択］を押して通貨名を変更できます。全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。
- 最上段の「円」は変更できません。

［(為替レート設定欄)］
為替レートを設定します。10桁（小数点含む）まで入力できます。小数点以下は2桁まで入力できます。例えば米ドルと円で変換する場合（例：1ドル⇔120円）は、「円」に120を設定し、「米ドル」に1を設定します。
- MENU［.］／#：小数点を入力します。
- CLR：入力した数字を後ろから消去します。

4 i α［完了］

通貨を変換する

為替レートを設定した2種類の通貨の一方を他の通貨へ変換します。

1 通貨変換画面（P365）で通貨単位欄（2箇所）の通貨を選択する

- ■［一覧］：通貨の一覧画面が表示されます。

2 基準の通貨の数値入力欄に金額を入力する

もう一方の数値入力欄に変換後の金額が表示されます。どちらの数値入力欄でも入力／変換できます。
- 入力可能な最大桁数は次のとおりです。
  - 整数のみ：10桁
  - 小数のみ：10桁（小数点以下8桁）
  - 整数と小数が混じる場合：9桁（小数点を除く）

次のページへ続く

- 変換後の数値が次の桁数または数値を超える場合は、それ以上入力できなくなります。
  - 整数のみ：10桁
  - 小数のみ：8桁（小数点以下6桁）
  - 整数と小数が混じる場合：14桁（小数点を除く）
  - 2,147,483,647を超える場合
- 金額入力後に通貨単位欄の通貨を変更した場合は、上段の数値入力欄の金額を基準として、下段の数値入力欄に変更後の金額が表示されます。
- [#]：小数点を入力します。
- [CLR]：入力した数値を後ろから消去します。
- [iα]［リセット］：入力した数値をすべて消去します。

面積の単位を変換する

設定した2種類の面積の単位を変換します。

1 [MENU]▶「LifeKit」▶「その他」▶「単位変換ツール」▶「面積」

2 面積単位欄（2箇所）の単位を選択する

- [■]［単位］：単位の一覧画面が表示されます。

3 基準の面積の数値入力欄に数値を入力する

もう一方の数値入力欄に変換後の数値が表示されます。どちらの数値入力欄でも入力／変換できます。

- 数値入力の詳細は、「通貨を変換する」と同様です。→P365

温度の単位を変換する

温度の単位の摂氏（℃）と華氏（° F）を変換します。

1 [MENU]▶「LifeKit」▶「その他」▶「単位変換ツール」▶「温度」▶「摂氏（℃）」または「華氏（° F）」の数値入力欄に温度を入力する

もう一方の数値入力欄に変換後の温度が表示されます。どちらの数値入力欄でも入力／変換できます。

- −40～309まで、または10桁（−（マイナス）、小数点含む）まで入力できます。
- [MENU]［(−)］：数値の前に−（マイナス）を入力します。
- [#]：小数点を入力します。
- [CLR]：入力した数値を後ろから消去します。
- [iα]［リセット］：入力した数値をすべて消去します。

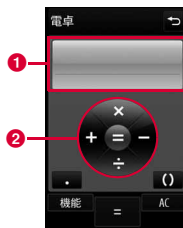
長さ、重量、容積、速度の単位を変換する

1 [MENU]▶「LifeKit」▶「その他」▶「単位変換ツール」▶「長さ」／「重量」／「容積」／「速度」

以降の操作は「面積の単位を変換する」（P366）と同様に操作してください。

電卓として使う

電卓機能を利用して、四則演算や関数を使った計算ができます。

1 MENU▶「LifeKit」▶「その他」▶「電卓」

電卓画面

❶ 計算表示部
❷ 四則演算（+、−、×、÷（／）、=）
を押して操作します。

2 計算する

- ✱ ：小数点を入力します。
- ＃ ：( )（カッコ）を入力します。
- CLR ：入力した数字を後ろから消去します。
- [AC]：数字、計算をすべて消去します。

電卓画面のサブメニュー

1 電卓画面（P367）▶MENU[機能]▶次の操作を行う

[+／−]
入力した数字の+／−を切り替えます。

[sin]
三角関数の計算に使用します。

[cos]
三角関数の計算に使用します。

[tan]
三角関数の計算に使用します。

[log]
対数関数の計算に使用します。

[ln]
自然対数の計算に使用します。
指定された正の数値の自然対数（底をeとする対数）を計算します。

[exp]
指数関数の計算に使用します。

[sqrt]
平方根（ルート）の計算に使用します。

[deg]
角度の単位を「度」に指定します。

[rad]
角度の単位を「ラジアン」に指定します。
ラジアンは、定数π（180°がπラジアン）で角度を表します。
1ラジアンは（360度/2π）=約57.29578度、1度は（2π/360度）=約0.01745ラジアン（π=3.141592653）になります。

スケッチメモ

スケッチメモを利用する

ディスプレイをキャンバスに見立てて、指などでイラストなどを描き、保存することができます。

スケッチメモを作成する

スケッチメモを作成して保存します。スケッチメモは10件まで登録できます。

1 MENU▶「LifeKit」▶「スケッチメモ」▶ [作成]

新規作成画面

2 次の操作を行う

- 以降は、タッチ操作のみ可能です。

[(入力)]
指などでなぞった箇所に線を描きます。

[(消しゴム)]
指などでなぞった箇所を消します。1秒以上タッチし続けると、すべての入力を消します。

[(設定)]
ペン幅やペン色などを設定します。設定後は「設定」をタッチします。

ペン幅　：ペン幅を設定します。
消しゴム幅：消しゴム幅を設定します。
ペン色　：ペン色を設定します。
背景色　：背景色を設定します。

[(保存)]
スケッチメモを保存します。

[(取り消し)]
作成中のスケッチメモを破棄します。

スケッチメモを確認する

登録してあるスケッチメモを一覧表示して確認できます。

1 MENU▶「LifeKit」▶「スケッチメモ」

スケッチメモ一覧画面

2 確認するスケッチメモにカーソルを移動▶ [表示]

スケッチメモ詳細画面が表示されます。

- ［編集］：選択中のスケッチメモを編集します。
- で前または次のスケッチメモを表示します。

スケッチメモ一覧画面／詳細画面のサブメニュー

1 スケッチメモ一覧画面（P368）／スケッチメモ詳細画面（P368）▶MENU［メニュー］▶次の操作を行う

［表示］※1
選択中のスケッチメモの詳細画面を表示します。

［新規作成］※1
新規スケッチメモを登録します。→P368

［設定］
選択中のスケッチメモを各画面に設定します。設定した画面は、「データBOX」内「マイピクチャ」の「カメラ」フォルダに保存されます。

待受画面：待受画面に設定します。
音声電話着信画面：音声電話着信中画面に設定します。
テレビ電話着信画面：テレビ電話着信中画面に設定します。
メール送信：メール送信中画面に設定します。
メール受信：メール受信中画面に設定します。
メール受信完了：メール受信結果画面に設定します。
ウェイクアップ画面：ウェイクアップ画面に設定します。

［画像保存］
選択中のスケッチメモをデータBOXに保存します。
- スケッチメモ一覧画面では複数のスケッチメモを選択して保存できます。

一件：選択中のスケッチメモを保存します。
選択：複数のスケッチメモを保存します。
▶保存するスケッチメモにチェックを付ける▶iα［保存］▶「はい」
- MENU［全選択・全解除］を押して全選択／全解除できます。

全件：スケッチメモをすべて保存します。

［編集］
選択中のスケッチメモを編集します。→P368

［名称変更］
選択中のスケッチメモのタイトルを編集します。全角で15文字、半角で30文字まで入力できます。

［削除］
選択中のスケッチメモを削除します。
- スケッチメモ一覧画面では複数のスケッチメモを選択して削除できます。

一件：選択中のスケッチメモを削除します。
選択：複数のスケッチメモを削除します。
▶削除するスケッチメモにチェックを付ける▶iα［削除］▶「はい」
- MENU［全選択・全解除］を押して全選択／全解除できます。

全件：スケッチメモをすべて削除します。

［タイムスタンプ表示・タイムスタンプ非表示］※2
日付や時刻の表示／非表示を切り替えます。

［メール作成］
選択中のスケッチメモが添付されたメールを作成します。

※1 詳細画面では表示されません。
※2 一覧画面では表示されません。

テキストトメモ

テキストメモを利用する

テキストメモを作成する

テキストメモを作成して保存します。テキストメモは50件まで登録できます。

1 MENU▶「LifeKit」▶「テキストメモ」▶ iα [新規]▶次の操作を行う

[?カテゴリー]
テキストメモの種類（カテゴリー）を選択します。選択したカテゴリーによって、表示されるアイコンが変わります。

[内容]
テキストメモの内容を入力します。全角で50文字、半角で100文字まで入力できます。内容を入力しないと登録できません。

2 iα [完了]

テキストメモを確認する

登録してあるテキストメモを一覧表示して確認できます。

1 MENU▶「LifeKit」▶「テキストメモ」

テキストメモ一覧画面

2 確認するテキストメモを選択

テキストメモ詳細画面が表示されます。

- ■ ［編集］：選択中のテキストメモを編集します。
- iα ［メール］：「カテゴリー」と「内容」の内容が本文に挿入されたｉモードメール作成画面が表示されます。

テキストメモ一覧画面／詳細画面のサブメニュー

1 テキストメモ一覧画面(P370)／詳細画面▶MENU[メニュー]▶次の操作を行う

[新規作成]
新規テキストメモを登録します。→P370

[送信]
選択中のテキストメモ内容をｉモードメールまたは赤外線通信で送信します。赤外線で全件送信もできます。

[編集]
選択中のテキストメモを編集します。→P370

[削除]
選択中のテキストメモを削除します。
- テキストメモ一覧画面では複数のテキストメモを選択して削除できます。

▶削除するテキストメモにチェックを付ける▶✉［削除］▶「はい」
- MENU［全選択・全解除］を押して全選択／全解除できます。

[microSDへコピー] ※
選択中のテキストメモ内容をmicroSDカードへコピーします。

※ 詳細画面では表示されません。

スイッチ付イヤホンマイク

スイッチ付イヤホンマイクの使いかた

FOMA端末に平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続して、電話の発着信操作ができます。
- 平型ステレオイヤホンセット（別売）や平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などをFOMA端末に接続するには、外部接続端子用イヤホン変換アダプタ（別売）を利用します。→P29

スイッチ動作を設定する

平型スイッチ付イヤホンマイクなどを接続して電話をかけるときの相手をFOMA端末電話帳のメモリ番号で設定します。
- FOMA端末電話帳の「電話番号1」に登録された電話番号が設定されます。

1 MENU▶「Settings」▶「発着信／通話機能」▶「イヤホン設定」▶次の操作を行う

[イヤホンスイッチ設定]
平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押して電話をかけるようにするには「ON」を選択します。

[発信メモリ番号] ※
電話帳の検索画面が表示されたら、相手を選択します。

※「イヤホンスイッチ設定」を「ON」にすると設定できます。

スイッチを使って電話をかける

平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押して、イヤホン設定（P371）で設定した電話帳のメモリ番号に記録された電話番号に音声電話をかけられます。

1 平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1回押す

2 通話が終了したら､平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチ(1秒以上)を押して電話を切る

スイッチを使って電話を受ける

1 電話がかかってくる▶平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押す

電話に出ます。

- テレビ電話がかかってきた場合は、相手にカメラ画像が送信されます。

2 通話が終了したら､平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチ(1秒以上)を押して電話を切る

通話中にかかってきた別の電話を受ける

キャッチホンをご契約いただいて開始に設定している場合は、音声電話中に別の音声電話がかかってきたとき、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押して電話に出られます。

1 電話がかかってくる▶平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押す

通話中の音声電話が保留され、かかってきた音声電話に出ます。マルチ接続中画面が表示されます。

■ **電話に出ないで着信を拒否する場合**
平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを2秒以上押します。

2 通話が終了したら､[終話キー]を押して電話を切る

- マルチ接続中画面が表示されているときは、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押して電話を切ることはできません。

■ **マルチ接続中に保留中の音声電話に切り替える場合**
平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを2秒以上押します。

お知らせ

- 平型スイッチ付イヤホンマイクを接続して通話している場合は、「通話中クローズ設定」（P74）の設定に関わらず通話中にFOMA端末を閉じても通話は終了または保留されません。

オート着信設定

スイッチ付イヤホンマイクをつないで自動で電話を受ける

FOMA端末に平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続中に電話がかかってきたとき、設定した呼出時間が経過すると自動で電話を受けるように設定できます。

1 MENU▶「Settings」▶「発着信／通話機能」▶「着信機能」▶「オート着信設定」▶次の操作を行う

［オート着信設定］
平型スイッチ付イヤホンマイクで自動的に電話を受けるには「ON」を選択します。

［自動応答時間］※
自動着信するまでの時間を入力します。

※「オート着信設定」を「ON」にすると設定できます。

お知らせ

- 留守番電話サービスや転送でんわサービスの呼出時間または伝言メモの応答時間より「自動応答時間」が短く設定されている場合は、本機能が優先して動作します。

時刻お知らせ

毎正時をお知らせする

毎正時（00分）に合わせてお知らせ音を鳴らすかどうかを設定します。

1 MENU▶「Settings」▶「日付／時刻」▶「時刻お知らせ」▶次の操作を行う

［セットサウンド］
お知らせ音を設定します。
- ■［リスト］でお知らせ音の一覧画面が表示されます。iα［再生］を押すと、選択したお知らせ音が鳴ります。

［時刻設定］※
お知らせ音を鳴らす時間帯を設定します。

※「セットサウンド」を「OFF」以外にすると設定できます。

2 iα［完了］

お知らせ

- 設定確認時のお知らせ音量は「ポップアップ表示音」に従い、毎正時のお知らせ音量は「アラーム／スケジュール音」に従います。→P101

メモリ状況

メモリの使用状況を確認する

FOMA端末のメモリの使用容量と空き容量を確認できます。
microSDカードを取り付けている場合は、microSDカードのメモリの使用状況も確認できます。

1 MENU▶「Settings」▶「その他」▶「メモリ状況」

2 確認したいメモリを選択

データBOX：「データBOX」に保存されているデータの容量を表示します。

個人情報：電話帳、スケジュール、休日、メモ、To Do、日付カウンターに登録されているデータの件数を表示します。

FOMAカード（UIM）メモリ
：FOMAカードに登録されているデータの容量と件数を表示します。

microSD：microSDカードに登録されているデータの容量を表示します。

文字入力

区点コード一覧の詳細については付属のCD-ROM内または、ドコモのホームページ上の「区点コード一覧」（PDF版）をご覧ください。
PDF版「区点コード一覧」をご覧になるためには、Adobe® Reader®が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROM内のAdobe® Reader®をインストールしてご覧ください。
ご使用方法などの詳細につきましては、「Adobe Readerヘルプ」をご覧ください。

文字を入力する

電話帳の登録やメールの作成など、さまざまな状況で文字の入力が必要になりますので、あらかじめ文字の入力方法を覚えてFOMA端末をご活用ください。

文字入力画面

文字入力画面では、そのときの入力モードや操作ガイド情報が表示されています。

文字入力画面

❶ **入力可能文字数**
入力可能な残りの文字数またはバイト数を表示します。

❷ **入力モード欄**
入力モードを表示します。

入力モードの切り替え

入力する文字の種類に合わせて、入力モードを切り替えます。入力モードによっては、全角／半角文字の切り替えもできます。

- 入力している画面によっては切り替えができない場合があります。

1 文字入力画面（P376）▶ [文字]

2 [切替]

[切替］を押すたびに入力モードが切り替わります。 ［全角・半角］を押すと、全角と半角が切り替わります（かな漢字入力モード、韓国語入力モードを除く）。

- ［文字］を押した後、を押して入力モードを、を押して全角／半角を切り替えることもできます。

漢：かな漢字入力モード

カ（ｶﾅ）：カタカナ入力モード

a／A※1（ab／AB※1）：英字入力モード

1（12）：数字入力モード

韓※2：韓国語入力モード

※1 ［大文字・小文字］を押すと、切り替わります。

※2 SMS本文の入力を「日・韓（70文字）」に設定しているときに表示されます。

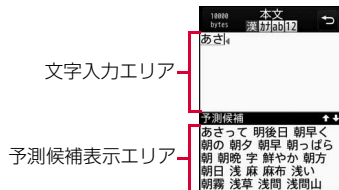
文字の入力方法

かな漢字入力モードでは、入力中の文字から変換候補を予測する予測入力機能や、次に入力される文節を予測する次文節予測機能の2つの予測機能を使用して文字入力できます。

- 予測機能は「入力設定」（P383）の「予測ON／OFF」で設定できます。
- 各キーで入力できる文字については、「ダイヤルキーの文字割当て一覧」（P443）を参照してください。

FOMA端末を開いて文字を入力する

例：かな漢字モードで文字を入力する場合

1 文字入力画面（P376）で文字を入力する

予測入力機能による変換候補（予測候補）が表示されます。

- 予測機能を「OFF」に設定している場合は、予測候補は表示されません。
- かな漢字入力モード、カタカナ入力モード、英字入力モードの場合は、文字入力後、一定時間が経過するとカーソルが自動的に右に移動します（自動カーソル移動機能）。自動カーソル移動機能は、確定時間を変更したり、無効にしたりできます。→P383
  [■]を押した場合もカーソルが移動します。

- [■]［確定］：入力文字を確定します。かな漢字入力モードでは、変換せずに文字を確定する場合に押します。
- [MENU]［カナ英数］：カタカナ、英数字の組み合わせによる変換候補を表示します。
- [iα]［変換］：予測入力機能を使用しない場合の変換候補を表示します。予測候補に入力したい変換候補が表示されない場合に押します。

■ **文字の入力例**

「ドコモ」を入力する

「どこも」を入力

「ど」：[4]を5回→[*]を1回

「こ」：[2]を5回

「も」：[7]を5回

▶[□]で予測候補にカーソルを移動▶[■]で「ドコモ」にカーソルを移動▶[■]［選択］※

※ iモードメールのメール本文入力画面以外の文字入力画面では、「確定」と表示されます。

■ **文字入力以外の操作**

操　作	説　明
[*]	大文字／小文字を切り替えたり、濁点／半濁点を付加します。 ※ 切り替え／付加できない文字、および数字入力モードでは使用できません。
[*]／[□]	変換／入力が確定した文字を改行します。数字入力モードでは[□]のみ有効です。
[⌐]	文字の入力確定前に押すと、キーに割り当てられている文字が逆順に表示されます。
[⌐]（1秒以上）	変換／入力が確定した文字を1つ前の状態に戻します。
[CLR]	カーソルの前の1文字を消去します。
[CLR]（1秒以上）	カーソル以降の変換／入力が確定した文字をすべて消去します。カーソルが文末にある場合は、文字をすべて消去します。

操　作	説　明
MENU（1秒以上）	デコレーションの設定やコピーや切り取りなどをする文字の範囲を選択します。
⌐	コピーや切り取りしたデータをカーソルの後へ貼り付けます。
コピー※	選択中の文字列をコピーします。
切取り※	選択中の文字列を切り取ります。
登録辞書※	選択中の文字列を辞書に登録します。以降の操作は「よく使う単語を登録する」（P387）の操作手順2を参照してください。
デコレーション※	<開始> 選択中の文字列をデコレーションします。以降の操作は「デコレーションを指定してから文字を入力する」（P143）を参照してください。 <キャンセル> 選択中の文字列のデコレーションを削除します。

※ メールの本文入力で範囲をドラッグして選択した場合に表示されます。

2 で予測候補表示エリアにカーソルを移動

- MENU［カナ英数］：カタカナ、英数字の組み合わせによる変換候補を表示します。
- iα［変換］：予測入力機能を使用しない場合の変換候補を表示します。予測候補に入力したい変換候補が表示されない場合に押します。

3 変換する文字を選択

入力した文字の変換が確定します。次文節予測の候補がある場合は、予測候補表示エリアに表示されます。入力したい文字が表示された場合は、操作2〜3と同様の操作で選択して入力できます。

- 変換を中止して文字入力に戻る場合はCLRを押します。

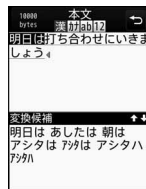
予測機能を使わずに文字を変換するには

変換したい文字が予測候補に表示されない場合や、予測入力を「OFF」に設定している場合は次の操作を行います。

① 文字入力画面（P376）で文字を入力する

② iα［変換］

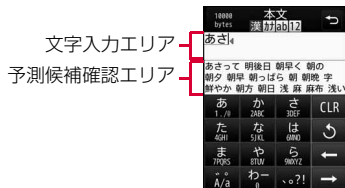
カーソルがあたっている部分（変換部分）の変換候補が表示されます。

- 変換部分が変換したい文字と異なる場合は、でカーソルの範囲を変更します。

③ で変換候補表示エリアにカーソルを移動

④ 変換する文字を選択

入力した文字の変換が確定します。文節単位で変換されている場合は、次の文節に変換部分が移動します。

ターンビュースタイルで文字を入力する

1 文字入力画面（P376）で文字を入力する

予測候補確認エリアをタッチすると予測入力機能による変換候補（予測候補）が表示されます。

- 予測機能を「OFF」に設定している場合は、予測候補は表示されません。
- かな漢字入力モード、カタカナ入力モード、英字入力モードの場合は、文字入力後、一定時間が経過するとカーソルが自動的に右に移動します（自動カーソル移動機能）。自動カーソル移動機能は、確定時間を変更したり、無効にしたりできます。→P383
  ←／→をタッチした場合もカーソルが移動します。
- 「確定」：入力文字を確定します。かな漢字入力モードでは、変換せずに文字を確定する場合にタッチします。
- ［カナ英数］：カタカナ、英数字の組み合わせによる変換候補を表示します。
- ［変換］：予測入力機能を使用しない場合の変換候補を表示します。予測候補に入力したい変換候補が表示されない場合に押します。

■ **文字の入力例**

「ドコモ」を入力する

「どこも」を入力
「ど」：「た」を5回→「A/a」を1回
「こ」：「か」を5回
「も」：「ま」を5回
▶予測候補確認エリアをタッチ▶「ドコモ」をタッチ▶「選択」※をタッチ

※ｉモードメールのメール本文入力画面以外の文字入力画面では、「確定」と表示されます。

■ **文字入力以外の操作**

「コピー」、「切取り」、「登録辞書」、「デコレーション　開始」、「デコレーション　キャンセル」については、「FOMA端末を開いて文字を入力する」の「文字入力以外の操作」（P377）を参照してください。

操　作	説　明
↺	文字の入力確定前にタッチすると、キーに割り当てられている文字が逆順に表示されます。
貼付け L:Undo	文字の入力確定後にタッチすると、コピーや切り取りしたデータをカーソルの後ろに貼り付けます。また貼り付けた直後に1秒以上タッチすると貼り付けを取り消します。
↵	変換／入力が確定した文字を改行します。
「CLR」	カーソルの後の1文字を消去します。
「CLR」（1秒以上）	カーソル以降の変換／入力が確定した文字をすべて消去します。カーソルが文末にある場合は、文字をすべて消去します。

2 予測候補確認エリアをタッチ

- ［カナ英数］：カタカナ、英数字の組み合わせによる変換候補を表示します。
- ［変換］：予測入力機能を使用しない場合の変換候補を表示します。予測候補に入力したい変換候補が表示されない場合に押します。

3 変換する文字を選択

入力した文字の変換が確定します。

- 変換を中止して文字入力に戻る場合は⮌をタッチします。

予測機能を使わずに文字を変換するには

変換したい文字が予測候補に表示されない場合や、予測入力を「OFF」に設定している場合は次の操作を行います。

① 文字入力画面（P376）で文字を入力する

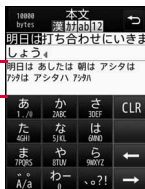
②「変換」

カーソルがあたっている部分（変換部分）が変換されます。

- 変換部分が変換したい文字と異なる場合は、[←]／[→]でカーソルの範囲を変更します。

変換候補表示エリア

③ 変換する文字にカーソルを移動▶「選択」

入力した文字の変換が確定します。文節単位で変換されている場合は、次の文節に変換部分が移動します。

文字入力画面のサブメニュー

- 文字入力画面を表示したときの機能や、文字の入力状態などにより、表示される項目が異なります。
- ｉモードメールのメール本文入力画面で表示される項目については、「メール本文入力画面のサブメニュー」（P140）を参照してください。

1 文字入力画面（P376）▶[MENU][メニュー]▶次の操作を行う

[定型文]

登録されている定型文を選択して入力します。

定型文入力：登録されている定型文を選択して入力します。

定型文編集：定型文を作成して登録したり、登録した定型文を編集したりします。→P384

[文字編集]

範囲を指定して文字をコピー／切り取りして貼り付けます。→P385

[ユーザ辞書編集]

単語を登録します。→P387

[引用]

電話帳：電話帳の登録内容を引用します。

自局番号：お客様の電話番号を引用します。引用には端末暗証番号の入力が必要になります。

バーコードリーダー：バーコードリーダーが起動し、読み取った情報を引用します。

[入力設定]

自動カーソル移動：入力した文字を自動的に確定してカーソルを移動させるかどうかを設定します。→P383

操作ガイド：操作ガイドを表示させるかどうかを設定します。

予測ON／OFF：予測入力機能を設定します。→P383

[特殊入力]

スペース：カーソルの前にスペースを入力します。

改行：カーソルの前に改行を入力します。

区点コード：区点コードで文字を入力します。→P386

[入力中止]

入力した内容をすべて破棄します。

定型文を入力する

FOMA端末に登録されている定型文を利用して入力できます。

- お買い上げ時は、「ユーザ作成」「パスワード」に定型文は登録されていません。

1 文字入力画面(P376)▶MENU[メニュー]▶「定型文」▶「定型文入力」

2 種別を選択▶定型文を選択

定型文が入力されます。

お知らせ

- 定型文は修正/登録できます。→P384
- メールアドレスやURLの直接入力時などに表示される✉[http://]を押すと定型文の「インターネット」に登録されている定型文を入力できます。✉[http://]を押すごとに、入力される定型文が切り替わります。
- パスワードの入力時は、端末暗証番号の入力が必要です。

絵文字/記号/顔文字を入力する

1 文字入力画面(P376)▶📷TV[絵/記]

絵文字一覧画面

2 ⓘα[切替]で入力モードを選択

絵：絵文字入力モード

記：記号入力モード

顔：顔文字入力モード

3 種類を切り替え

絵文字入力モード：MENU［絵文字・絵文字D］で絵文字／絵文字D（デコメ®絵文字）を切り替えます。

記号入力モード　：MENU［全角記号・半角記号］で全角記号／半角記号を切り替えます。

顔文字入力モード：MENU［カテゴリー］で表示されるカテゴリー一覧からカテゴリーを選択します。

- ✉［▲ページ］／▲：絵文字一覧画面／記号一覧画面を画面の番号順に切り替えて表示します。顔文字一覧画面ではカテゴリーを切り替えます。
- 📷TV［▼ページ］／▼：絵文字一覧画面／記号一覧画面を画面の番号の逆順に切り替えて表示します。顔文字一覧画面ではカテゴリーを切り替えます。

4 入力したい絵文字／記号／顔文字を選択

選択した文字が入力されます。

- 入力候補エリアで続けて■［選択］を押すと、選択した文字を連続入力できます。
- 絵文字一覧画面／記号一覧画面で絵文字／記号を直接タッチして選択した場合は、タッチした絵文字／記号の周辺の絵文字／記号が拡大表示されます。入力したい絵文字／記号を再度タッチして選択します。

お知らせ

- 入力している画面によっては、入力できない場合や入力モード／種類を切り替えられない場合があります。

顔文字を編集するには

① MENU▶「Settings」▶「その他」▶「文字入力」▶「顔文字編集」
　顔文字編集画面が表示されます。
② **顔文字の種類を選択▶編集したい顔文字にカーソルを移動▶i α［編集］**
　選択した顔文字が入力された文字入力画面が表示されます。
③ **顔文字を変更▶■［確定］**
　変更した顔文字が上書きされて保存されます。

顔文字編集中のサブメニューは定型文編集時と同様です。→P385

韓国語を入力する

本FOMA端末では、SMSでのみ韓国語入力ができます。

- 韓国語を入力するには、SMS本文の入力モードを「日・韓（70文字）」に設定してください。→P178

1 SMSの本文入力画面▶i α［文字］▶i α［切替］で「韓」にカーソルを移動

2 文字を入力

- 子音と母音を組み合わせて入力します。

■ 韓国語入力のキー操作

子音	操　作	子音	操　作
ㄱ	1	ㅍ	5▶*▶*
ㅋ	1▶*	ㅃ	5▶*▶#
ㄲ	1▶#	ㅅ	7
ㄴ	2	ㅈ	7▶*
ㄷ	2▶*	ㅊ	7▶*▶*
ㅌ	2▶*▶*	ㅆ	7▶#
ㄸ	2▶*▶#	ㅉ	7▶*▶#
ㄹ	4	ㅇ	8
ㅁ	5	ㅎ	8▶*
ㅂ	5▶*		

母音	操　作	母音	操　作
ㅏ	3	ㅐ	3▶9
ㅑ	3▶*	ㅒ	3▶*▶9
ㅓ	3▶3	ㅔ	3▶3▶9
ㅕ	3▶3▶*	ㅖ	3▶3▶*▶9
ㅗ	6	ㅙ	6▶3▶9
ㅛ	6▶*	ㅚ	6▶9
ㅜ	6▶6	ㅞ	6▶6▶3▶9
ㅠ	6▶6▶*	ㅟ	6▶6▶9
ㅡ	0	ㅢ	0▶9
ㅣ	9		

入力設定

文字の入力設定をする

文字入力に関する設定を行います。

予測入力機能を設定する

かな漢字入力モードで入力中の文字から前文一致する変換候補を表示する予測入力機能や、次に入力される文節を予測して表示する次文節予測機能を有効にするかどうかを設定します。

1 文字入力画面(P376)▶MENU[メニュー]▶「入力設定」▶「予測ON/OFF」▶「ON」/「OFF」

お知らせ

- 予測入力機能の設定は、次の操作でも可能です。
  MENU▶「Settings」▶「その他」▶「文字入力」▶「予測入力」▶「ON」/「OFF」

文字を自動で確定するように設定する

文字を入力したとき、設定した時間で文字が自動的に確定されてカーソルが進むように設定できます。

1 文字入力画面(P376)▶MENU[メニュー]▶「入力設定」▶「自動カーソル移動」▶「OFF」/「遅い」/「普通」/「速い」

- 「OFF」に設定すると、自動で文字を確定しません。

定型文編集

定型文を修正／登録する

頻繁に使用するあいさつやフレーズなどを定型文に登録すると、文字の入力時に呼び出してすばやく入力できます。

定型文を登録する

新しく登録する定型文は「ユーザ作成」に、インターネットで使うパスワードなどは 「パスワード」にそれぞれ10件まで登録できます。

1 文字入力画面(P376)▶MENU[メニュー]▶「定型文」▶「定型文編集」

定型文種別が一覧表示されます。

定型文編集一覧画面

2 「ユーザ作成」／「パスワード」▶登録する番号にカーソルを移動▶■[編集]

- 全角で64文字、半角で128文字まで入力できます。

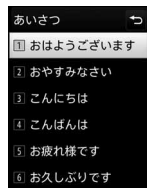
定型文編集画面

3 登録する文字を入力▶■[確定]

定型文が登録され、全文表示画面で確認できます。

お買い上げ時の定型文を変更する

お買い上げ時に登録されている定型文を変更できます。

1 文字入力画面(P376)▶MENU[メニュー]▶「定型文」▶「定型文編集」▶定型文種別を選択

「あいさつ」の定型文一覧画面

2 定型文にカーソルを移動▶■［編集］

選択した定型文が入力された定型文編集画面が表示されます。

3 定型文を変更▶■［確定］

定型文が変更され、全文表示画面で確認できます。

お知らせ

- 自分で登録したユーザ作成フォルダの定型文も変更できます。
- 定型文の登録／変更は、次の操作でもできます。
  MENU▶「Settings」▶「その他」▶「文字入力」▶「定型文編集」
- パスワードの登録／変更時は、端末暗証番号の入力が必要です。

定型文編集一覧画面のサブメニュー

1 定型文編集一覧画面（P384）▶MENU［メニュー］▶次の操作を行う

［全件リセット］
すべての定型文をお買い上げ時の状態に戻します。

［キャンセル］
定型文の編集を終了します。

定型文一覧画面／全文表示画面のサブメニュー

1 定型文一覧画面（P384）／全文表示画面▶MENU［メニュー］▶次の操作を行う

［1件削除］
選択中の定型文を削除します。

［1件リセット］※1
選択中の定型文をお買い上げ時の状態に戻します。

［カテゴリーリセット］※2
カテゴリー内のすべての定型文をお買い上げ時の状態に戻します。

［キャンセル］
定型文の編集を終了します。

※1　定型文の種別が「パスワード」の場合は選択できません。
※2　全文表示画面のサブメニューでは表示されません。

文字のコピー／切り取りと貼り付け

文字をコピー／切り取りして、他の位置や画面に貼り付けられます。コピー／切り取りした文字は、電源を切るか新たに文字をコピー／切り取りするまで何度でも貼り付けができます。

1 文字入力画面（P376）▶MENU［メニュー］▶「文字編集」▶「コピー」／「切取り」

2 ✥で開始位置にカーソルを移動▶■［選択］

- ［全選択］：全文を選択します。
- ✉［文頭］：カーソルが文頭へ移動します。
- 📷TV［文末］：カーソルが文末へ移動します。

3 ✥で終了位置にカーソルを移動▶■［選択］

4 貼り付け先の文字入力画面を表示▶✥で貼り付け先へカーソルを移動

5 MENU［メニュー］▶「文字編集」▶「貼付け」

- 切り取った文字や貼り付けた文字を元に戻すには、MENU［メニュー］▶「文字編集」▶「元に戻す」を選択します。

お知らせ

- 文字のコピー／切り取りと貼り付けは次の操作でもできます。
MENU［メニュー］（1秒以上）▶で開始位置にカーソルを移動▶■［選択］▶で終了位置にカーソルを移動▶■［選択］▶「コピー」／「切取り」▶貼り付け先の文字入力画面を表示▶で貼り付け先にカーソルを移動▶
- （1秒以上）押しても切り取った文字や貼り付けた文字を元に戻せます。
- コピーまたは切り取りした文章が、貼り付け先で入力可能な文字数を超えている場合は、入力可能な文字数以降が消去された文章が貼り付けられます。
- コピーまたは切り取った文字が、貼り付け先で入力可能な文字の場合のみ貼り付けられます。例えばメールアドレスの入力欄（半角英数字）に、ひらがなや漢字などの文字は貼り付けられません。
- 改行できない入力画面に改行を含んだ文字を貼り付けた場合は、改行部分は空白（半角スペース）に置き換えられます。
- デコメール®本文中にコピー・切り取りして貼り付けた場合、デコレーションの情報も貼り付けられます（一部のデコレーション情報を除く）。

区点コード入力

区点コードで入力する

4桁の区点コードを入力して文字、数字、記号などを呼び出せます。

- 区点コード一覧表については、付属のCD-ROM内のPDF版「区点コード一覧」をご覧ください。

1 **文字入力画面(P376)▶MENU[メニュー]▶「特殊入力」▶「区点コード」**

区点コード入力画面

2 **入力したい文字などの区点コード(数字4桁)を入力▶■[選択]**

対応する文字が入力されます。

- 続けて■［選択］を押すと、選択した文字などを連続して入力できます。

ユーザ辞書

よく使う単語を登録する

文字を入力しても変換候補に出てこない単語や、特殊な読み方をする単語などを、読みがな（読み）とともに最大100件まで登録できます。文字入力時に登録した読みを入力すると変換候補に表示されます。

1 文字入力画面(P376)▶MENU[メニュー]▶「ユーザ辞書編集」

- ■［選択］：登録済みの単語を編集します。

登録単語一覧画面

2 iα[作成]▶次の操作を行う

[読み]
登録する単語を呼び出すための読みがなを入力します。全角ひらがなのみ20文字まで入力できます。
- 空白（スペース）は登録できません。

[単語]
登録する単語を入力します。全角で20文字、半角で40文字まで入力できます。文字入力画面で「読み」に設定した文字を入力すると、変換候補として表示されます。
- 改行は登録できません。

3 iα[登録]

単語が辞書に登録されます。

お知らせ

- 単語の登録は、次の操作でもできます。
  MENU▶「Settings」▶「その他」▶「文字入力」▶「ユーザ辞書」
- 既に入力されている文字を辞書に登録できます。
  MENU［メニュー］（1秒以上）▶✉で開始位置にカーソルを移動▶■［選択］▶✉で終了位置にカーソルを移動▶■［選択］▶「辞書登録」▶以降の操作は「よく使う単語を登録する」（P387）の操作手順2を参照してください。
- 韓国語は辞書に登録できません。

単語を削除する

ユーザ辞書に登録した単語を1件または全件削除できます。

例：1件削除する場合

1 登録単語一覧画面(P387)で削除したい単語にカーソルを移動

2 MENU[メニュー]▶「1件削除」▶「はい」

選択した単語が削除されます。

■全件削除する場合
登録単語一覧画面でMENU［メニュー］▶「全件削除」▶「はい」を選択します。

デコメ®絵文字辞書

デコメ®絵文字のキーワードを登録する

デコメ®絵文字ごとにキーワードを登録しておくと、目的のデコメ®絵文字をすばやく入力できるようになります。
1つのデコメ®絵文字に対して、最大5個のキーワードを登録できます。

1 MENU▶「Settings」▶「その他」▶「文字入力」▶「デコメ絵文字辞書」▶デコメ®絵文字を選択

2 キーワード登録欄を選択▶キーワードを入力

- MENU［全削除］：登録されているキーワードをすべて削除します。
- iα［削除］：選択中のキーワードを削除します。

お知らせ

- メール本文作成時に、該当するキーワードが入力されると、ソフトキーに「絵文字D」が表示されます。✉［絵文字D］を押すと、キーワードに前方一致するデコメ®絵文字が一覧表示されるので、その中から目的のデコメ®絵文字を選択して入力することができます。
- ダウンロードやメール添付などで取得したデコメ®絵文字は「あたらしいでこめえもじ」として登録され、キーワードの編集・追加が可能です。

学習情報リセット

学習辞書を初期状態に戻す

FOMA端末に記録されている文字入力に関する学習データをリセットして、お買い上げ時の状態に戻します。

1 MENU▶「Settings」▶「その他」▶「文字入力」▶「学習情報リセット」▶「はい」／「いいえ」

学習データとは

変換候補から選択して入力した内容や、入力した文字を変換せずに■［確定］を押して確定した内容などの履歴を記録したデータです。次回に同じ内容の先頭文字を入力すると、変換候補の最初に表示されるようになります。

ダウンロード辞書

ダウンロードした辞書を使用する

iモードのサイトなどからダウンロードした辞書を有効にして、文字の変換時に使用するように設定できます。有効に設定できる辞書は5件までです。

- FOMA端末に保存できる辞書は最大10件です。

1 MENU▶「Settings」▶「その他」▶「文字入力」▶「ダウンロード辞書」

ダウンロード辞書画面

2 有効にする辞書にカーソルを移動▶■［有効］

辞書が有効になります。

■**辞書を無効にする場合**

有効な辞書にカーソルを移動して■［無効］を押します。

ダウンロード辞書画面のサブメニュー

1 ダウンロード辞書画面（P389）▶MENU［メニュー］▶次の操作を行う

- i α［表示］：辞書の詳細情報を表示します。

［1件削除］

選択中の辞書を削除します。

［全件削除］

リスト中の全辞書を削除します。

学習辞書

学習辞書を作成する

文字入力時に予測候補に表示される学習辞書を送信メールの内容から自動作成します。あらかじめ以前お使いの機種などから送信メールをコピーして実行してください。

1 MENU▶「Settings」▶「その他」▶「文字入力」▶「学習辞書作成」

ガイダンス画面が表示されます。

2 ■［OK］

ネットワークサービス

利用できるネットワークサービス

FOMA端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。

サービス名	お申し込み	月額使用料	サービス名	お申し込み	月額使用料
留守番電話サービス	必要	有料	デュアルネットワークサービス	必要	有料
キャッチホン	必要	有料	英語ガイダンス	不要	無料
転送でんわサービス	必要	無料	マルチナンバー	必要	有料
			OFFICEED	必要	有料
迷惑電話ストップサービス	不要	無料	公共モード（ドライブモード）※	不要	無料
発信者番号通知サービス※	不要	無料	公共モード（電源OFF）※	不要	無料
番号通知お願いサービス	不要	無料	メロディコール※	必要	有料

※ 発信者番号通知サービス→P53
公共モード→P76、P77
メロディコール→P102

- サービスエリア外や電波の届かない場所ではネットワークサービスはご利用できません。
- お申し込み、お問い合わせについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- 「OFFICEED」は申し込みが必要なサービスです。ご不明な点はドコモの法人向けホームページ（http://www.docomo.biz/d/212/）をご確認ください。
- 本書では、各ネットワークサービスの概要を、FOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

留守番電話サービス

電波の届かないところにいるとき、電源を切っているとき、電話に出られないときなどに、音声電話／テレビ電話でかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。

- 伝言メッセージの録音は1件あたり最長3分、音声電話とテレビ電話それぞれ最大20件で、最長72時間保存されます。
- 伝言メッセージが録音されると、待受画面に［1］（数字は件数）を表示してお知らせします。待受画面で［■］▶［✉］で［1］を選択すると、留守番電話サービスセンターに接続して録音された伝言メッセージを再生することができます。
- 伝言メモ（P77）を同時に設定しているとき、留守番電話サービスを優先させるためには、伝言メモの応答時間よりも留守番電話サービスの呼出時間を短く設定してください。
- 留守番電話サービスを開始にしているときに、かかってきた音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合には、着信履歴には不在着信として記録され、［1］（数字は件数）が表示されます。

留守番電話サービスの基本的な流れ

ステップ1：留守番電話サービスを開始に設定する
ステップ2：電話がかかってくる※
ステップ3：電話をかけてきた相手が伝言メッセージを録音／録画する
ステップ4：伝言メッセージを再生する

※ 急いでいるときなど、留守番電話の応答メッセージを省略して伝言メッセージを録音したい場合は、応答メッセージが流れているときに「#」を押すと、すぐに伝言メッセージの録音モードに切り替わります。

お知らせ

- ステップ2でサービスエリア内にいるときや電源を入れているときは、設定した呼出時間が経過するまで着信音が鳴ります。着信音が鳴っている間に電話に出ないと、留守番電話サービスセンターに接続されます。呼出時間は変更できます。
- ステップ3で伝言メッセージが録音されると、待受画面に［1］（数字は件数）が表示され、着信履歴には不在着信履歴が記録されます。ただし、呼出時間が0秒に設定されている場合は、着信履歴には記録されません。
- 留守番電話サービスを停止に設定中でも、着信した音声電話をサブメニューから手動で留守番電話サービスセンターに接続できます。→P73

留守番電話サービスを利用する

1 MENU▶「Settings」▶「NWサービス」▶「留守番電話」▶次の操作を行う

［留守番電話サービス開始］
留守番電話サービスを開始します。
▶「はい」▶「はい」▶ダイヤルキーで呼出時間を入力▶ ［完了］

［留守番呼出時間設定］
電話を着信してから留守番電話サービスセンターに接続するまでの時間を設定します。
▶「はい」▶ダイヤルキーで呼出時間を入力▶ ［完了］

［留守番サービス停止］
留守番電話サービスを停止します。

［留守番設定確認］
現在の留守番電話サービスの設定状況を確認します。
MENU［メニュー］を押すと、留守番電話サービスの開始や停止、留守番呼出時間などを設定できます。

［留守番メッセージ再生］
留守番電話サービスセンターに接続し、録音された伝言メッセージを再生します。
▶「再生（音声電話）」／「再生（テレビ電話）」▶「はい」

［留守番サービス設定］
留守番電話サービスセンターに接続し、音声ガイダンスに従って設定を変更します。
▶「設定（音声電話）」／「設定（テレビ電話）」▶「はい」

［メッセージ問合せ］
新しい伝言メッセージが録音されているかどうかを問い合わせます。

［着信通知］
FOMA端末の電源が入っていないときや圏外のときに着信があった場合、再び電源が入ったときや圏内になったときに着信があったことをSMSでお知らせするサービスです。

着信通知開始：着信通知サービスを開始します。
着信通知停止：着信通知サービスを停止します。
着信通知開始設定確認：着信通知サービスの設定状況を確認します。

［表示消去］
アイコン表示エリアに表示されているを消去します。

［件数増加時鳴動設定］
新しい伝言メッセージが録音されたときにイルミネーションの点灯と着信音を鳴らすかどうかを設定します。

［留守番テレビ電話設定］
テレビ電話の伝言メッセージに対応するかどうかを設定します。

お知らせ
- 「SMS一括拒否」を設定している場合でも、着信通知は受信されます。

キャッチホン

通話中に別の電話がかかってきたときに、通話中着信音でお知らせし、現在の通話を保留にして新しい電話に出ることができます。また、通話中の電話を保留にして、新たにお客様の方から別の相手へ電話をかけることもできます。

- キャッチホンを利用する場合は、あらかじめ「通話中着信動作選択」(P400)を「通常着信」に設定してください。他の設定になっている場合は、キャッチホンを開始しても音声電話中にかかってきた音声電話に応答することはできません。
- 次の場合キャッチホンは動作しません。
  - 発信中、相手を呼出中のとき
  - テレビ電話中に音声電話がかかってきたとき
  - 音声電話中にテレビ電話がかかってきたとき

キャッチホンを利用する

1 MENU▶「Settings」▶「NWサービス」▶「キャッチホン」▶次の操作を行う

[キャッチホンサービス開始]
キャッチホンを開始します。

[キャッチホンサービス停止]
キャッチホンを停止します。

[キャッチホンサービス設定確認]
キャッチホンが設定されているか、停止されているかを確認します。

通話を保留してかかってきた電話に出る

音声電話中に別の音声電話がかかってくると、受話口から「プププ…プププ…」という通話中着信音が流れ、着信中画面が表示されます。

1 電話がかかってくる▶[通話キー]

通話中の音声電話が保留され、かかってきた音声電話に出ます。画面には「マルチ接続中」と表示されます（マルチ接続中画面）。

- [iα]［切替］：押すたびに現在の通話と保留中の通話を切り替えます。
- [■]［Spk ON・Spk OFF］：ハンズフリー通話のON／OFFを切り替えます。
- [終話キー]／[メールキー]［終話］：現在の通話を終了します。

お知らせ

- 「通話中着信設定」を開始に設定している状態で、音声電話の通話中に「プププ…プププ…」という通話中着信音が聞こえても、キャッチホンサービスを停止している場合は電話に出られません。

通話を保留して電話をかける

通話中の音声電話を保留して、新たに音声電話をかけます。

1 音声電話中画面(P57)▶MENU［メニュー］▶「新規発信」▶電話番号を入力▶[通話キー]

新しく通話が始まり、以前の通話は自動的に保留され、マルチ接続中画面が表示されます。

- 保留中の電話に切り替える場合は[iα]［切替］を押します。
- 保留中の電話を切る場合は、上記操作で保留中の電話に切り替え、[終話キー]を押します。

通話を終了してかかってきた電話に出る

通話中の音声電話を切り、かかってきた音声電話に出ます。キャッチホンを利用中の場合でも操作できます。

1 電話がかかってくる▶MENU[メニュー]▶「通話中通話終了」

音声電話の終了画面が表示され、かかってきた電話の音声電話着信中画面が表示されます。

■**保留中の電話を終了して電話に出る場合**

MENU［メニュー］▶「通話終了」▶「保留中通話終了」を選択します。

- マルチ接続中の場合、通話中の電話が保留され、かかってきた電話の相手と通話できます。

2 [通話キー]または[■][応答]

通話中の着信中画面のサブメニュー

1 通話中の着信時にMENU[メニュー]▶次の操作を行う

[留守番電話] ※1
着信中の電話を留守番電話サービスセンターに接続します。

[着信拒否]
着信を拒否して電話を切ります。

[転送でんわ] ※2
着信中の電話を指定した電話番号へ転送します。

[通話中通話終了]
現在の通話を切って、着信中の状態になります。

[ミュート・ミュート解除]
現在の通話の消音／消音解除を設定します。

※1 留守番電話サービスをご契約いただいていない場合は使用できません。
※2 転送でんわサービスをご契約いただいていない場合や、転送先電話番号を指定していない場合は使用できません。

マルチ接続中画面のサブメニュー

1 マルチ接続中画面▶MENU[メニュー]▶次の操作を行う

[通話切替]
現在の通話と保留中の通話を切り替えます。

[通話終了]
相手を選択して通話を終了します。

通話中通話終了：現在の通話を終了します。保留中の通話がある場合は、自動的に切り替わります。

保留中通話終了：保留中の通話を終了します。

全通話終了：すべての通話を終了します。

[ミュート・ミュート解除]
現在の通話の消音／消音解除を設定します。

[自局番号転送]
自分の電話番号（自局番号）が本文に入力されたｉモードメールを作成します。→P138

[電話帳検索] ※
電話帳を検索します。→P92

※ 電話帳の起動中は使用できません。使用する場合は、タスク一覧画面から該当する機能を終了させてください。→P350

転送でんわサービス

電波が届かないところにいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答がなかったときなどに、音声電話／テレビ電話を転送するサービスです。

- テレビ電話がかかってきたときは、転送先が3G-324Mに準拠したテレビ電話対応端末のみ転送します。
- 転送先へ転送したときの通話料金は、転送でんわサービスのご契約者にかかります。
- 一部ご利用できない料金プランがあります。
- 伝言メモ（P77）を同時に設定しているとき、転送でんわサービスを優先させるためには、伝言メモの応答時間よりも転送でんわサービスの呼出時間を短く設定してください。
- 転送でんわサービスを開始にしているときに、かかってきた音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合には、着信履歴には不在着信として記録され、 1 (数字は件数）が表示されます。

転送でんわサービスの基本的な流れ

ステップ1：転送先の電話番号を登録する
ステップ2：転送でんわサービスを開始に設定する
ステップ3：電話がかかってくる
ステップ4：転送先へ電話を転送する

お知らせ

- ステップ3でサービスエリア内にいるときや電源を入れているときは、設定した呼出時間が経過するまで着信音が鳴ります。着信音が鳴っている間に電話に出ないと、転送先に転送されます。呼出時間は変更できます。
- ステップ4で電話が転送されると、着信履歴には不在着信履歴が記録されます。ただし、呼出時間が0秒に設定されている場合は、着信履歴には記録されません。
- 転送でんわサービスを停止に設定中でも、着信した電話をサブメニューから手動で転送先に転送できます。→P73

転送でんわサービスを利用する

1 MENU▶「Settings」▶「NWサービス」▶「転送でんわ」▶次の操作を行う

［転送サービス開始］
転送でんわサービスを開始します。

▶「はい」▶次の項目を設定▶ iα ［完了］

転送先変更	：転送先の電話番号を登録します。MENU［検索］を押すと、電話帳から検索できます。 ■［選択］▶転送先電話番号を入力▶ iα ［完了］
呼出時間設定	：電話を着信してから電話を転送するまでの時間を設定します。

［転送サービス停止］
転送でんわサービスを停止します。

[転送先変更]
転送先の電話番号を変更します。MENU［検索］を押すと、電話帳から検索できます。

▶■［選択］▶転送先電話番号を入力▶iα［完了］
• 確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、転送先の電話番号の変更と同時に転送でんわサービスを開始に設定します。

[転送先通話中時設定] ※
転送先が通話中だった場合に留守番電話サービスセンターに接続するように設定します。

[転送サービス設定確認]
現在の転送でんわサービスの設定状況を確認します。

※ 留守番電話サービスをご契約いただいていない場合は使用できません。

転送ガイダンスの有無を設定する

• メニューからは操作できません。
• 詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

1 「1429」を入力▶［発信］
以降は音声ガイダンスに従って操作してください。

迷惑電話ストップ

迷惑電話ストップサービス

いたずら電話などの「迷惑電話」を着信しないように拒否するサービスです。着信拒否登録すると、以後の着信を自動的に拒否し、相手にはガイダンスで応答します。

• 電話番号は30件まで登録できます。
• 着信拒否登録した電話番号から電話がかかってきても、着信音は鳴りません。また、着信履歴にも記録されません。

1 MENU▶「Settings」▶「NWサービス」▶「迷惑電話ストップ」▶次の操作を行う

[迷惑電話着信拒否登録]
最後に応答した相手の電話番号を登録し、着信を拒否するように設定します。

[電話番号指定拒否登録]
電話番号を指定して登録し、着信を拒否するように設定します。
電話帳　：電話帳から検索して登録します。
最近の通話履歴：最新履歴から選択して登録します。
直接入力　：電話番号を入力して登録します。

[迷惑電話全登録削除]
拒否登録した電話番号をすべて削除します。

[迷惑電話1登録削除]
最後に登録した電話番号を1件削除します。同様の操作を繰り返し行うことにより、最後に登録した順より1件ずつ削除することができます。

[拒否登録件数確認]
拒否登録した件数を確認します。

番号通知お願いサービス

電話番号を通知してこない音声電話／テレビ電話に対して、番号通知のお願いをガイダンスで応答し、自動的に電話を切るサービスです。

- 番号通知お願いサービスによって着信しなかった電話は、着信履歴に記録されず、不在着信通知画面も表示されません。

1 MENU▶「Settings」▶「NWサービス」▶「番号通知お願いサービス」▶次の操作を行う

［番号通知お願い開始］
番号通知お願いサービスを開始します。

［番号通知お願い停止］
番号通知お願いサービスを停止します。

［番号通知お願い確認］
現在の番号通知お願いサービスの設定状況を確認します。

お知らせ

- 本サービスは、非通知理由が「非通知設定」の電話のみ対象になります。

デュアルネットワークサービス

お使いになっているFOMA端末の電話番号でmova端末をご利用いただけるサービスです。FOMAとmovaのサービスエリアに応じた使い分けが可能です。

- FOMA端末とmova端末を同時に利用することはできません。
- デュアルネットワークサービスの切り替え操作は、利用不可状態の端末から行ってください。

1 MENU▶「Settings」▶「NWサービス」▶「その他」▶「デュアルネットワーク」▶次の操作を行う

［デュアルネットワーク切替］
movaからFOMAに切り替えてFOMA端末を利用できるようにします。

▶「はい」▶ネットワーク暗証番号を入力

［デュアルネットワーク状態確認］
現在の設定状態を確認します。

お知らせ

- FOMAからmovaに切り替える場合は、mova端末から操作してください。

<デュアルネットワーク切替>
- 通信中に切り替えを行うと、強制的に通信が切断されます。

英語ガイダンス

英語ガイダンス

留守番電話サービスなどの各種ネットワークサービス設定時のガイダンスや、圏外などの音声ガイダンスを英語に設定することができます。

■ 発信時（お客様ご自身へのガイダンス）

ガイダンス言語	説　明
日本語	日本語で音声ガイダンスが流れます。
英語	英語で音声ガイダンスが流れます。

■ 着信時（お客様に電話をかけてきた相手へのガイダンス）

ガイダンス言語	説　明
日本語	日本語で音声ガイダンスが流れます。
日本語＋英語	日本語で音声ガイダンスが流れた後に英語で音声ガイダンスが流れます。
英語＋日本語	英語で音声ガイダンスが流れた後に日本語で音声ガイダンスが流れます。

- 発信者が本サービスを利用している場合は、発信者側の発信時の設定が着信者側の着信時の設定より優先されますので、発信者側の発信時の設定と着信者側の着信時の設定を合わせておいてください。例えば、着信時側のガイダンス言語が日本語+英語の場合、発信者側のガイダンス言語を英語に設定していないと、英語のガイダンスは流れません。

1 MENU▶「Settings」▶「NWサービス」▶「その他」▶「英語ガイダンス」▶次の操作を行う

［ガイダンス設定］
ガイダンスを設定します。

発信時＋着信時：発信時と着信時の言語を設定します。「はい」を選択した後に言語を選択します。

発信時：発信時の言語のみを設定します。「はい」を選択した後に言語を選択します。

着信時：着信時の言語のみを設定します。「はい」を選択した後に言語を選択します。

［ガイダンス設定確認］
現在のガイダンス設定の設定状況を確認します。

サービスダイヤル

サービスダイヤル

ドコモの総合案内・受付や故障の問い合わせ先へ電話をかけることができます。

- お使いのFOMAカードによっては、表示される項目が異なる場合や表示されない場合があります。

1 MENU▶「Settings」▶「NWサービス」▶「その他」▶「サービスダイヤル」▶次の操作を行う

［ドコモ故障問合せ］
故障の問い合わせ先へ電話をかけます。

［ドコモ総合案内・受付］
総合案内・受付へ電話をかけます。

［海外紛失・盗難等］
海外から紛失、盗難などの問い合わせ先に電話をかけることができます。

［海外故障］
海外から故障問い合わせ先に電話をかけることができます。

通話中着信設定

「通話中着信動作選択」で設定した着信動作の使用を開始、停止します。現在の設定内容を確認することもできます。

1 MENU▶「Settings」▶「NWサービス」▶「通話中着信設定」▶次の操作を行う

［通話中着信設定開始］
「通話中着信動作選択」で設定した応答方法を開始します。

［通話中着信設定停止］
「通話中着信動作選択」で設定した応答方法を停止します。

［通話中着信設定確認］
現在の通話中着信設定の設定状況を確認します。

通話中に電話がかかってきたときの応対方法を選ぶ

留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスをご契約されているお客様の通話中にかかってきた音声電話／テレビ電話にどのように応対するかを設定できます。

- 留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスが未契約の場合は、通話中にかかってきた着信に応答できません。
- 「通話中着信動作選択」を利用するには、「通話中着信設定」を開始に設定してください。なお、キャッチホンを開始に設定している場合は、「通話中着信設定」を開始にする必要はございません。

1 MENU▶「Settings」▶「NWサービス」▶「通話中着信動作選択」▶着信動作を選択

通常着信：着信動作します。留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスが設定されている場合は、その設定に従います。

留守番電話：留守番電話サービスで応答します。キャッチホンを設定していても留守番電話サービスへ接続されます。

転送でんわ：あらかじめ登録している転送先へ転送します。キャッチホンや留守番電話サービスを設定していても転送されます。

着信拒否：着信を拒否します。

遠隔操作設定

遠隔操作を設定する

留守番電話サービスや転送でんわサービスなどを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。

- 海外で留守番電話サービスや転送でんわサービスを利用する場合は、あらかじめ遠隔操作設定を設定しておく必要があります。

1 MENU▶「Settings」▶「NWサービス」▶「その他」▶「遠隔操作設定」▶次の操作を行う

[遠隔操作開始]
遠隔操作を開始します。

[遠隔操作停止]
遠隔操作を停止します。

[遠隔操作設定確認]
遠隔操作の設定状態を確認します。

マルチナンバー

マルチナンバー

FOMA端末の電話番号として基本契約番号のほかに、付加番号1と付加番号2の最大2つの番号を追加してご利用いただけるサービスです。

- 発信中／着信中の画面には、マルチナンバー（基本契約番号／付加番号1／付加番号2）に対応した名称が表示されます。
- リダイヤルや着信履歴から発信する場合、以前の発信や着信したマルチナンバーが表示され、この番号で発信します。

電話番号設定

付加番号を登録する

付加番号の名前や番号、着信音を登録／設定できます。

1 MENU▶「Settings」▶「NWサービス」▶「その他」▶「マルチナンバー」▶「電話番号設定」▶次の操作を行う

[基本契約番号：名前]
基本契約番号の名前を登録します。

[電話番号]
ご契約の電話番号（基本契約番号）を表示します。

[付加番号1：名前]
付加番号1の名前を登録します。

[電話番号]
付加番号1の電話番号を登録します。

[付加番号2：名前]
付加番号2の名前を登録します。

次のページへ続く

［電話番号］
付加番号2の電話番号を登録します。

2 [i α]［完了］

通常発信番号を設定する

登録した付加番号を、電話をかけるときに通常使用する電話番号として設定できます。

1 [MENU]▶「Settings」▶「NWサービス」▶「その他」▶「マルチナンバー」▶「通常発信番号設定」▶「基本契約番号」／「付加番号1」／「付加番号2」▶「はい」

通常発信番号の設定を確認する

1 [MENU]▶「Settings」▶「NWサービス」▶「その他」▶「マルチナンバー」▶「通常発信番号設定確認」▶「はい」

1回の通話ごとに発信番号を設定する

1 電話番号を入力

2 [MENU]［メニュー］▶「マルチナンバー」▶付加番号の名前を選択

3 [発信]

着信音や画像を設定する

1 [MENU]▶「Settings」▶「NWサービス」▶「その他」▶「マルチナンバー」▶「着信音＆着信画面設定」▶設定する付加番号を選択▶次の操作を行う

［個別設定］
着信音や画像を設定するかどうかを選択します。

［着信音］※
着信音を設定します。

ミュージック：[□]で下の欄にカーソルを移動して、「データBOX」の「ミュージック」内に保存されている着うたフル®から選択します。→P270
「着うたフル®を着信音に設定する」の操作3（P266）へ進みます。

ｉモーション：[□]で下の欄にカーソルを移動して、「データBOX」の「ｉモーション」内に保存されている動画／ｉモーションから選択します。→P307

メロディ：[□]で下の欄にカーソルを移動して、「データBOX」の「メロディ」内に保存されているメロディから選択します。→P314

OFF：着信音を設定しません。

［着信画面］※
着信時に表示する画像を設定します。

画像：「データBOX」の「マイピクチャ」内に保存されている画像から選択します。→P296

ｉモーション：「データBOX」の「ｉモーション」内に保存されている動画／ｉモーションから選択します。→P307

※「個別設定」を「ON」にすると設定できます。

2 [iα][完了]

お知らせ

- 「着信音選択」（P100）「着信画面設定」（P109）に映像／音声が含まれる動画／ｉモーションが設定されているときに、「着信音」「着信画面」のいずれかを変更すると、設定を変更しなかった「着信音」または「着信画面」はお買い上げ時の音声や画像が再生されます。

OFFICEED

「OFFICEED」は指定されたIMCS（屋内基地局設備）で提供されるグループ内定額サービスです。ご利用には別途お申し込みが必要となります。詳細はドコモの法人向けホームページ（http://www.docomo.biz/d/212/）をご確認ください。

追加サービス（USSD登録）

サービスを登録して利用する

ドコモから新しいネットワークサービスが追加されたときに、そのサービスをメニューに登録して利用します。新しいネットワークサービスは10件まで登録できます。

サービスを追加する

サービス名称と、ドコモから通知された「サービスコード（USSD）」を登録します。

- サービスコード（USSD）とは、サービスセンターに通知するためのコード番号です。

1 [MENU]▶「Settings」▶「NWサービス」▶「その他」▶「追加サービス」

追加サービス一覧画面

2 「未登録」にカーソルを移動▶[iα][編集]

3 設定する項目にカーソルを移動▶[iα][編集]

サービスコード番号：サービスコード（USSD）を登録します。

サービス名：サービス名を登録します。

4 [■][完了]

追加サービス一覧画面のサブメニュー

1 追加サービス一覧画面(P403)▶MENU[メニュー]▶次の操作を行う

[編集]
選択中のサービスを修正します。

[選択] ※1
選択中のサービスを実行します。

[1件削除] ※1
選択中のサービスを削除します。

[全件削除] ※2
追加したすべてのサービスを削除します。

※1　登録済みの項目を選択中の場合のみ、表示されます。
※2　1件以上の項目が登録されている場合のみ、表示されます。

追加したサービスを実行する

1 追加サービス一覧画面(P403)▶サービスを選択

サービスセンターに接続します。

応答メッセージ

応答メッセージを登録する

追加したサービスがサービスコード（USSD）でサービスセンターに接続したとき、センターから返ってくるコード（USSD）に対応した応答メッセージを10件まで登録できます。

1 MENU▶「Settings」▶「NWサービス」▶「その他」▶「応答メッセージ」

応答メッセージ一覧画面

2 「未登録」にカーソルを移動▶iα[編集]

3 設定する項目にカーソルを移動▶iα[編集]

サービスコード番号：サービスコード（USSD）を登録します。

応答メッセージ名　：応答メッセージ名を登録します。

4 ■[完了]

応答メッセージ一覧画面のサブメニュー

1 **応答メッセージ一覧画面(P404)▶MENU[メニュー]▶次の操作を行う**

[編集]
選択中の応答メッセージを修正します。

[1件削除]※1
選択中の応答メッセージを削除します。

[全件削除]※2
すべての応答メッセージを削除します。

※1　登録済みの項目を選択中の場合のみ、表示されます。
※2　1件以上の項目が登録されている場合のみ、表示されます。

海外利用

国際ローミング（WORLD WING）の概要

国際ローミング（WORLD WING）とは、提携する海外の通信事業者のネットワークを利用して、国内で使用している電話番号のまま海外でも通話や通信ができるサービスです。

- 海外でFOMA端末をご利用いただく前に、以下を合わせてご覧ください。
  - 『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』
  - 『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』
  - ドコモの「国際サービスホームページ」

■ 海外で便利な機能やサービスについて

機能／サービス	説　明
ローミングガイダンス（海外）	国際ローミング中であることを相手に音声ガイダンスでお知らせします。
ローミング時着信規制	国際ローミング中の着信を拒否します。
デュアルクロック表示	待受画面に任意の2つの都市の時刻を同時に表示することができます。
単位変換ツール	為替レートを設定して通貨換算ができます。

■ 海外のネットワークについて

ネットワーク	説　明
W-CDMA（3G）	世界標準規格である3GPP※1に準拠した第3世代移動通信ネットワークです。
GSM※2	世界的に最も普及しているデジタル方式の第2世代移動通信ネットワークです。
GPRS※3	GSM通信方式を利用して高速パケット通信が可能な第2.5世代移動通信ネットワークです。

※1　3rd Generation Partnership Projectの略です。第3世代移動通信システム（IMT-2000）に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体です。
※2　Global System for Mobile Communicationsの略です。世界的に最も普及しているデジタル方式の第2世代移動体通信システムです。
※3　General Packet Radio Serviceの略です。GSMを高速化し、パケット通信などのデータ通信を容易にしています。

WORLD WINGのお申し込み

2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約の方は、お申し込み手続きなしでご利用いただけます。

- 2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約いただいた方は、お申し込み不要です。ただし、FOMAサービスご契約時に不要である旨お申し出いただいた方や途中でご解約された方は、再度お申し込みが必要です。
- 2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約で「WORLD WING」をお申し込みいただいていない方はお申し込みが必要です。

海外で利用できるサービス

接続している海外の通信事業者やネットワークによって、利用できる通信サービスが異なります。

利用できる通信サービス

通信サービス	3G	GSM	GPRS
音声電話	○	○	○
テレビ電話	○	×	×
SMS	○	○	○
iモード※1	○	×	○
iモードメール	○	×	○
iチャネル※1※2※3	○	×	○
パソコンと接続して行うパケット通信	○	×	○

○：利用できます。　×：利用できません。

※1　iモードの海外利用設定が必要となります。

※2　iチャネル設定が必要となります。iチャネルの受信ごとに（ベーシックチャネル含む）パケット通信料がかかります。

※3　自動更新は海外の通信事業者に接続されたとき、自動的に一時停止されます。海外でiチャネルの自動更新を再開するには、再度iチャネル設定を行う必要があります。ただし、月額料金のほかにパケット通信料が課金されます。

お知らせ

- 使用する通信事業者やネットワークにより利用できないサービスがあります。接続可能な国・地域および通信事業者などの情報については、「ご利用ガイドブック（国際サービス編）」またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。
- 海外でのパケット通信料は、国内のパケット通信料と異なります。

海外でご利用になる前の確認

ステップ1：出発前の準備について
ステップ2：滞在先での利用について
ステップ3：帰国後の設定について

出発前の準備について

■ご契約について

WORLD WING（P408）をお申し込みいただいていない場合は、お申し込みが必要です。

- WORLD WINGに対応しているFOMAカード（緑色／白色）をFOMA端末に取り付けてください。

■充電について

- ACアダプタの取り扱い上のご注意について→P23
- ACアダプタでの充電方法について→P47、P49

■ iモードの利用について

あらかじめ「海外利用設定」を設定する必要があります。海外利用設定は、「i Menu」▶「お客様サポート」▶「各種設定（確認・変更・利用）」▶「その他サービス設定・確認」▶「海外利用設定」▶「iモード利用設定」の順で選択すると設定画面を表示できます。この画面でiモードの利用について設定できます。

※ 詳しくは『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。

■ ネットワークサービスの設定について

ご契約いただいているネットワークサービスの設定／解除などの操作を海外から行うことができます。次のネットワークサービスの操作が可能です。

- 発信者番号通知サービス※1※2
- 留守番電話サービス※1※3
- 転送でんわサービス※1※3
- 番号通知お願いサービス※1※3
- キャッチホン※1
- 英語ガイダンス※1
- 迷惑電話ストップサービス※1
- ローミングガイダンス設定※1※3
- ローミング時着信規制

※1 一部のサービスエリアでは設定できない場合があります。

※2 発信者番号が正しく通知できなかったり、されなかったりする場合があります。

※3 海外から操作を行う場合は、あらかじめ「遠隔操作設定」（P401、P421）を開始に設定してください。

■ ご利用料金の請求について

海外でのご利用料金は毎月の利用料金と合わせて請求させていただきます。ただし、渡航先通信事業者などの事情により、翌月以降の請求書にてお支払いいただく場合があります。また、同一課金対象の期間の利用であっても、同一月に請求されない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

お知らせ

- 海外でFOMA端末をご利用いただく際には、操作の参照に便利なクイックマニュアル（海外利用編）をご活用ください。

滞在先での利用について

■ ネットワークの切り替えについて

お買い上げ時の設定では、「ネットワークサーチ設定」が「オート」に設定されております。海外に到着後、利用可能なネットワークに自動的に接続されます。

- ネットワークを手動で切り替えるには→P416

■ ディスプレイの表示について

国内のFOMAネットワークに接続中は、ネットワーク名は表示されません。

- ローミング中のネットワーク名を表示するには→P418

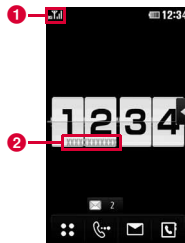
❶ **接続中のネットワークを示すアイコン**

国内のFOMAネットワークに接続中

海外の3Gネットワークに接続中

海外のGSMネットワークに接続中

海外のGPRSネットワークに接続中

❷ **接続中のネットワーク名**

お知らせ

- 自動時刻時差補正が「ON」の場合は、接続している海外の通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信すると、FOMA端末の時計の時刻や時差が補正されます。補正されるタイミングは海外の通信事業者によって異なります。
- 自動時刻時差補正機能は海外ではご利用いただけない場合があります。その際は手動で日付／時刻設定を行ってください。→P53

海外からのお問い合わせについて

万が一、海外でFOMAカード（緑色／白色）の紛失・盗難にあった場合などは、速やかにドコモへご連絡いただき、利用中断の手続きをお取りください。海外での紛失や盗難、精算、故障に関しては、取扱説明書裏面の「海外での紛失、盗難、精算などについて」または「海外での故障に関して」をご覧ください。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますので、ご注意ください。

- 各お問い合わせ先電話番号の前に、滞在先の「国際アクセス番号（表1）」または「ユニバーサル用国際電話識別番号（表2）」のダイヤルが必要です。

主要国の国番号

ご利用地域	番号
アメリカ合衆国	1
イギリス	44
イタリア	39
インド	91
インドネシア	62
エジプト	20
オーストラリア	61
オーストリア	43
オランダ	31
カナダ	1
韓国	82
ギリシャ	30
シンガポール	65

ご利用地域	番号
ドイツ	49
トルコ	90
日本	81
ニューカレドニア	687
ニュージーランド	64
ノルウェー	47
ハンガリー	36
フィジー	679
フィリピン	63
フィンランド	358
フランス	33
ブラジル	55
ベトナム	84

ご利用地域	番号
スイス	41
スウェーデン	46
スペイン	34
タイ	66
台湾	886
タヒチ	689
チェコ	420
中国	86

ご利用地域	番号
ペルー	51
ベルギー	32
香港	852
マカオ	853
マレーシア	60
モルディブ	960
ロシア	7

- 番号は変更になる場合があります。
- この他の国の番号および詳細については、「ご利用ガイドブック（国際サービス編）」またはドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。
- 日本向け通話料がかかります。

次のページへ続く

主要国の国際電話アクセス番号（表1）

主要国の国際電話アクセス番号は次のとおりです。

ご利用地域	番号
アイルランド	00
アメリカ合衆国	011
アラブ首長国連邦	00
イギリス	00
イタリア	00
インド	00
インドネシア	001
オーストラリア	0011
オランダ	00
カナダ	011
韓国	001
ギリシャ	00
シンガポール	001
スイス	00
スウェーデン	00
スペイン	00
タイ	001
台湾	002
チェコ	00
中国	00
デンマーク	00

ご利用地域	番号
ドイツ	00
トルコ	00
ニュージーランド	00
ノルウェー	00
ハンガリー	00
フィリピン	00
フィンランド	00
フランス	00
ブラジル	0021／0014
ベトナム	00
ベルギー	00
ポーランド	00
ポルトガル	00
香港	001
マカオ	00
マレーシア	00
モナコ	00
ルクセンブルク	00
ロシア	810

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）

各国のユニバーサルナンバー用国際電話識別番号は次のとおりです。

ご利用地域	番号
アイルランド	00
アメリカ合衆国	011
アルゼンチン	00
イギリス	00
イスラエル	014
イタリア	00
オーストラリア	0011
オーストリア	00
オランダ	00
カナダ	011
韓国	001
コロンビア	009
シンガポール	001
スイス	00
スウェーデン	00
スペイン	00
タイ	001
台湾	00

ご利用地域	番号
中国	00
デンマーク	00
ドイツ	00
ニュージーランド	00
ノルウェー	00
ハンガリー	00
フィリピン	00
フィンランド	990
フランス	00
ブラジル	0021
ブルガリア	00
ペルー	00
ベルギー	00
ポルトガル	00
香港	001
マレーシア	00
南アフリカ	09
ルクセンブルク	00

- 番号は変更になる場合があります。
- この他の国の番号および詳細については、「ご利用ガイドブック（国際サービス編）」またはドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。
- 滞在国内通話料などがかかる場合があります。

- ホテルから電話される場合、電話使用料を別途ホテルから請求される場合があります。その場合、お客様のご負担となります。
- 携帯電話からの場合、滞在国内通話料がかかります。
- ユニバーサルナンバーは「ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号」に記載のある国のみご利用可能です。

帰国後の設定について

お買い上げ時の設定では、帰国後に自動的にFOMAネットワークに接続され、画面上部に が表示されます。

- FOMAネットワークに切り替わらない場合は、「3G／GSM切替」が「自動」に、「ネットワークサーチ設定」が「オート」に設定されているか確認してください。→P416

滞在先で電話をかける

テレビ電話をかける相手とお客様が、FOMAのテレビ電話に対応した通信事業者を利用している場合は国際テレビ電話も利用できます。

- 国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れる場合や、接続できない場合がございます。
- 通信事業者によっては、発信者番号通知を設定していても、発信者番号が通知されなかったり、正しく番号表示されないことがあります。この場合、着信履歴から電話をかけることはできません。

滞在国外（日本を含む）に電話をかける

相手の電話番号の先頭に「＋」と国番号を入力して電話をかけます。

- 「＋」は を1秒以上押して入力できます。
- 電話をかける相手が海外での「WORLD WING」利用者の場合は、国番号に「81」を入力して日本への国際電話として電話をかけてください。

1 （1秒以上）▶「国番号－地域番号（市外局番）－相手の電話番号」を入力

- 海外から日本に電話をかける場合は、国番号に「81」を入力してください。
- 地域番号（市外局番）の先頭が「0」の場合は、「0」を除いて入力してください（イタリアなど一部の国・地域は「0」が必要な場合があります）。
- 日本の携帯電話・PHSにかける場合も、同様に先頭の「0」を除いて入力してください。
- 国番号は「主要国の国番号」で確認できます。→P411

2

■ **テレビ電話をかける場合**

［テレビ電話］を押します。

滞在国から日本へ簡単に電話をかける

リダイヤル／着信履歴や電話帳を利用して簡単に日本へ電話をかけられます。

- 電話番号が「0」で始まる場合のみ有効です。また、あらかじめ「国際ダイヤルアシスト設定」の「国番号」（P69）を「ON」および「日本（81）」に設定しておく必要があります。（お買い上げ時の設定）

1 利用する履歴／電話帳を表示

■ **リダイヤルを利用する場合**
リダイヤル一覧画面（P60）／リダイヤル詳細画面（P61）を表示します。

■ **着信履歴を利用する場合**
着信履歴一覧画面（P62）／着信履歴詳細画面（P62）を表示します。

■ **電話帳を利用する場合**
電話帳一覧画面（P93）／電話帳詳細画面（P93）を表示します。

2 履歴／電話帳を選択▶[発信]

■ **電話帳一覧画面の電話帳に複数の電話番号が登録されている場合**
[上下]で電話をかける電話番号を選択します。

■ **電話帳詳細画面の電話帳に複数の電話番号が登録されている場合**
[上下]で電話をかける電話番号を表示し、[■]［発信］を押します。

3 [発信]

- 発信確認画面には、「＋国番号」の付加された電話番号が表示されます。

■ **テレビ電話をかける場合**
[✉]［テレビ電話］を押します。

4 「発信」

元の番号で発信
：「0」を「＋国番号」に変換しないで電話をかけます。
発信中止：電話をかけるのを中止します。

お知らせ
- 国際ローミング中でのみ利用できます。

登録されている国番号を選択して滞在国外（日本を含む）に電話をかける

よくかける相手先の国名と国番号を「国際ダイヤルアシスト設定」の「国番号一覧」（P70）に登録しておけば、ダイヤル操作が簡単にできます。

1 「地域番号（市外局番）－相手の電話番号」を入力

2 [MENU][メニュー]▶「国際ダイヤルアシスト」

国番号選択画面が表示されます。

3 国番号を選択

入力した電話番号の先頭に「＋国番号」が追加されます。

- 入力した電話番号の先頭が「0」の場合は、「0」を除いて「＋国番号」が追加されます。

4 [発信]

■ **テレビ電話をかける場合**
[✉]［テレビ電話］を押します。

お知らせ
- お買い上げ時の国番号選択画面には、22ヶ国の国番号が登録されています。国番号は追加できます。→P70

滞在国内に電話をかける

相手の電話番号を地域番号（市外局番）から入力して電話をかけます。

- 海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける場合は、同じ国・地域でも「滞在国外（日本を含む）に電話をかける」（P413）と同じ方法で日本への国際電話として電話をかけてください。
- 「自動国番号変換設定」を「ON」に設定している場合、地域番号（市外局番）の先頭が「0」から始まる電話番号に電話帳またはリダイヤルから電話をかけると発信確認画面が表示されます。その場合は変換なしの「元の番号で発信」を選択して電話をかけてください。

テレビ電話をかける相手とお客様が、FOMAのテレビ電話に対応した通信事業者を利用している場合は、国際電話のダイヤル方法の後に[✉]［テレビ電話］を押して発信すれば「国際テレビ電話」がご利用いただけます。

- **国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できなかったりする場合がございます。**

滞在先で電話を受ける

1 電話がかかってくる

着信音が鳴ります。

- [終話]：応答を保留します。→P75

2 [通話]

電話に出ます。

■カメラ画像でテレビ電話を受ける場合

[通話]を押します。

■代替画像でテレビ電話を受ける場合

[■]［代替画像］を押します。

3 通話が終了したら[終話]

お知らせ

- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、日本からの国際転送となります。発信者には日本までの通話料がかかり、着信者には着信料がかかります。

日本からお客様のFOMA端末に電話をかけてもらうには

日本国内と同様に、お客様の電話番号に電話をかけてもらいます。

日本以外の国からお客様のFOMA端末に電話をかけてもらうには

お客様の滞在先に関わらず、日本経由で電話がかかってきます。海外から日本に国際電話をかけるのと同様で、次のように番号を入力してかけてもらいます。

「発信国の国際アクセス番号※1 - 81※2 - 先頭の「0」を除いたお客様の電話番号※3」を入力して電話をかける

※1　発信相手が携帯電話のときは、国際アクセス番号の代わりに「＋」を入力して発信できる場合もあります。

※2　日本の国番号を入力します。

※3　「090」で始まる場合は「90-XXXX-XXXX」、「080」で始まる場合は「80-XXXX-XXXX」を入力します。

ネットワークサーチ設定、3G／GSM切替

通信事業者の検索方法を設定する

海外で利用するときに、接続先のネットワークが切り替わった場合のネットワークの検索方法を選択します。

- お買い上げ時の設定では、「ネットワークサーチ設定」が「オート」に設定されております。日本国内、または3Gネットワークに接続中の場合は、電池消費を減らすために、「3G／GSM切替」を「3G」に設定することを推奨します。

1 MENU▶「Settings」▶「国際ローミング設定」▶「ネットワーク」▶次の操作を行う

［ネットワークサーチ設定］

オート：ネットワークを自動的に検索して設定します。

マニュアル：ネットワークの検索画面が表示され、検索後に一覧表示されるネットワークから選択して設定します。
▶「はい」▶ネットワークを選択
- ネットワーク名の後に「○」印のあるものが利用できます。

ネットワーク再検索
：前回と同じ方法（オート／マニュアル）で再検索します。

［3G／GSM切替］

検索するネットワークを指定します。

自動：3GネットワークとGSM／GPRSネットワークの両方を検索し、両方を検出したときは3Gネットワークが優先されます。

3G：3Gネットワークのみ検索します。

GSM／GPRS：GSM／GPRSネットワークのみ検索します。

- ご利用になる国の通信方式をご確認の上、設定してください。

［優先ネットワーク設定］

優先して検索・設定するネットワークを設定します。→P417

［オペレータ名表示設定］

接続中のネットワーク名を待受画面に表示するかどうかを設定します。→P418

［接続先選択］

ｉモード以外の接続先を設定します。→P199

［SMSセンター］

SMSセンターの接続先を設定します。→P178

お知らせ

- 帰国後にネットワークの状態を示すアイコンが圏外のままの場合は、「3G／GSM切替」を「自動」または「3G」に、「ネットワークサーチ設定」を「オート」に設定してください。

<ネットワークサーチ設定>

- ネットワークの検索には時間がかかる場合があります。
- 「オート」に設定した場合は、利用可能なネットワークに自動的に接続し直します。

優先ネットワーク設定

優先的に接続する通信事業者を設定する

FOMA端末がネットワークを検索するとき、優先して検索・設定するネットワークを20件まで登録できます。

1 MENU▶「Settings」▶「国際ローミング設定」▶「ネットワーク」▶「優先ネットワーク設定」

- 登録されている場合は、優先度の高い順にネットワーク名が表示されます。
- ■［変更］：選択中の設定内容を変更して上書きします。

優先ネットワーク一覧画面

2 iα［追加］▶次の操作を行う

［マニュアル登録］
「国番号（MCC）」と「ネットワーク番号（MNC）」を入力して、ネットワークを登録します。

▶国番号とネットワーク番号を入力▶iα［完了］▶「はい」

［リストから登録］
FOMA端末にあらかじめ登録されているネットワーク一覧から選択して登録します。

▶ネットワークを選択▶「はい」
- iα［国名］：国名を選択すると、その国で利用できるネットワークをリスト上で選択します。（国名は✉で選択します。）

［在圏ネットワーク登録］
現在接続中のネットワークを登録します。

お知らせ
- 電波状況によっては、登録したネットワーク以外に接続される場合があります。
- 本機能の設定は、FOMAカードに記録されます。

優先ネットワーク一覧画面のサブメニュー

1 優先ネットワーク一覧画面（P417）▶MENU［メニュー］▶次の操作を行う

［新規追加］
選択中のネットワークの上に、ネットワークを検索して登録します。「優先的に接続する通信事業者を設定する」の操作2（P417）へ進みます。

［変更］
選択中の設定内容を変更して上書きします。「優先的に接続する通信事業者を設定する」の操作2（P417）へ進みます。

［削除］
選択中のネットワークを削除します。

［優先順位変更］
上へ移動※：選択中のネットワークをリストの1つ上に移動します。
下へ移動※：選択中のネットワークをリストの1つ下に移動します。

※ 選択中のネットワークの位置によっては選択できません。

オペレータ名表示設定

ローミング中の通信事業者名の表示

接続中のネットワーク名を待受画面に表示するかどうかを設定します。

1 MENU▶「Settings」▶「国際ローミング設定」▶「ネットワーク」▶「オペレータ名表示設定」▶「はい」

操作を行うたびにONとOFFが切り替わります。

ローミングガイダンス設定

ローミングガイダンスを開始する

海外へ出発する前に、国際ローミング中に電話をかけてきた相手に、国際ローミング中であることをお知らせする音声ガイダンスを流すように設定できます。

- 日本国内で設定してください。
- 「圏外」が表示されている場合、ローミングガイダンス設定の操作はできません。

1 MENU▶「Settings」▶「NWサービス」▶「その他」▶「ローミングガイダンス設定」▶次の操作を行う

[ローミングガイダンス開始]
ローミングガイダンスを開始に設定します。

[ローミングガイダンス停止]
ローミングガイダンスを停止に設定します。

[ローミングガイダンス設定確認]
現在の設定状態を確認します。

お知らせ

- 停止に設定中の場合は、海外事業者で設定している呼び出し音が流れます。
- 海外通信事業者によっては設定できない場合があります。
- 開始に設定した場合でも、海外通信事業者の事情により、外国語の音声ガイダンスが流れる場合があります。

ローミング時着信規制

ローミング中は着信を受け付けないように設定する

ローミング中に電話の着信やメールの受信など、すべての着信を規制するように設定できます。テレビ電話の着信のみ規制するように設定することもできます。

1 MENU▶「Settings」▶「国際ローミング設定」▶「ローミング時着信規制」▶次の操作を行う

[ローミング時着信規制開始]
着信規制を開始します。
▶「はい」▶次の項目から選択▶ネットワーク暗証番号を入力

全着信規制：すべての着信を規制します。
テレビ電話着信規制：テレビ電話の着信のみを規制します。

[ローミング時着信規制停止]
着信規制を停止します。
▶「はい」▶ネットワーク暗証番号を入力

[ローミング時着信規制確認]
現在の設定状態を確認します。

お知らせ

- 海外の通信事業者によっては、設定できないことがあります。

ローミング着信通知設定

ローミング中に着信通知機能を利用する

国際ローミング中に、電波の届かないところにいるとき、電源を切っているとき、かかってきた電話に応答できなかったときに、その着信の情報（着信日時や発信者番号）をSMSにてお知らせします。

1 MENU▶「Settings」▶「NWサービス」▶「その他」▶「ローミング着信通知設定」▶次の操作を行う

[ローミング着信通知開始]
ローミング着信通知を開始します。

[ローミング着信通知停止]
ローミング着信通知を停止します。

[ローミング着信通知設定確認]
現在の設定状態を確認します。

ローミング中にネットワークサービスを利用する

海外から留守番電話サービス、転送でんわサービス、ローミングガイダンス設定などのネットワークサービスを利用できます。

- 留守番電話（海外）や転送でんわ（海外）をご利用になるには、留守番電話サービスや転送でんわサービスのご契約が必要です。
- 海外でネットワークサービスを利用するときは、あらかじめ遠隔操作設定を開始に設定してください。→P401
- 海外からの操作には、ご利用いただいた国から日本への国際通話料がかかります。
- 「圏外」が表示されている場合は、操作できません。
- ご利用いただく国によっては、操作できない場合があります。

留守番電話（海外）

滞在先で留守番電話サービスの操作をする

海外から留守番電話サービスの開始／停止を設定できます。録音された伝言メッセージを再生したり、音声ガイダンスで設定を変更することもできます。

1 MENU▶「Settings」▶「国際ローミング設定」▶「留守番電話（海外）」▶次の操作を行う

[留守番サービス開始]
留守番電話サービスを開始に設定します。

[留守番サービス停止]
留守番電話サービスを停止に設定します。

[留守番メッセージ再生]
伝言メッセージを再生します。

[留守番サービス設定]
音声ガイダンスに従って設定を変更します。

[留守番呼出時間設定]
電話を着信してから、留守番電話サービスセンターに接続するまでの時間を設定します。

2 「はい」

3 音声ガイダンスの指示に従って操作する

お知らせ
- 渡航先で電源を「ON」のまま移動した結果、「圏外」となった場合は、留守番電話サービスが起動されない場合があります。そのため、「圏外」となった際に確実に留守番電話サービスを利用されたい場合は、「圏外」になりうるエリアに移動される前に電波の届くところで電源を「OFF」にすることをおすすめします。

転送でんわ（海外）

滞在先で転送でんわサービスの操作をする

海外から転送でんわサービスの開始／停止を設定できます。

1 MENU▶「Settings」▶「国際ローミング設定」▶「転送でんわ(海外)」▶次の操作を行う

[転送サービス開始]
転送でんわサービスを開始に設定します。

[転送サービス停止]
転送でんわを停止に設定します。

[転送サービス設定]
現在の設定状態を確認します。

2 「はい」

3 音声ガイダンスの指示に従って操作する

お知らせ
- 渡航先で電源を「ON」のまま移動した結果、「圏外」となった場合は、転送でんわサービスが起動されない場合があります。そのため、「圏外」となった際に確実に転送でんわサービスを利用されたい場合は、「圏外」になりうるエリアに移動される前に電波の届くところで電源を「OFF」にすることをおすすめします。

ローミングガイダンス設定（海外）

滞在先でローミングガイダンスの操作をする

海外からローミングガイダンスの開始／停止を設定できます。

1 MENU▶「Settings」▶「国際ローミング設定」▶「ローミングガイダンス設定(海外)」

2 「はい」

3 音声ガイダンスの指示に従って操作する

遠隔操作設定（海外）

滞在先で遠隔操作を設定する

海外から遠隔操作設定の開始／停止を設定できます。

1 MENU▶「Settings」▶「国際ローミング設定」▶「遠隔操作設定（海外）」

2 「はい」

3 音声ガイダンスの指示に従って操作する

番号通知お願いサービス設定（海外）

滞在先で番号通知お願いサービスの操作をする

海外から番号通知お願いサービスの開始／停止を設定できます。

- 渡航先では、お客様が「番号通知お願いサービス」をご利用の場合でも「通知不可能」と表示され着信する場合があります。

1 MENU▶「Settings」▶「国際ローミング設定」▶「番号通知お願いサービス設定（海外）」

2 「はい」

3 音声ガイダンスの指示に従って操作する

ローミング着信通知設定（海外）

滞在先で着信通知機能を設定する

海外から着信通知機能の開始／停止を設定できます。

1 MENU▶「Settings」▶「国際ローミング設定」▶「ローミング着信通知設定（海外）」

2 「はい」

3 音声ガイダンスの指示に従って操作する

パソコン接続

データ通信の詳細については、付属のCD-ROM内または、ドコモのホームページ上の「パソコン接続マニュアル」（PDF版）をご覧ください。
PDF版「パソコン接続マニュアル」をご覧になるには、Adobe® Reader®が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROM内のAdobe® Reader®をインストールしてご覧ください。
ご使用方法などの詳細につきましては、「Adobe Readerヘルプ」をご覧ください。

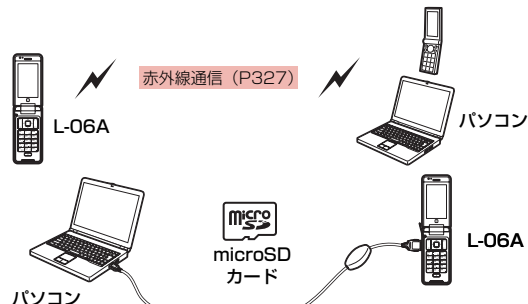
データ通信

FOMA端末から利用できるデータ通信

FOMA端末をパソコンと接続して、パケット通信とデータ転送（OBEX™通信）によるデータ通信をご利用いただけます。

- 64Kデータ通信には対応していません。
- Remote Wakeupには対応していません。
- FAX通信はサポートしていません。
- ドコモのPDA「musea」や「sigmarionⅢ」には対応していません。

データ転送（OBEX™通信）

画像や音楽、電話帳、メールなどのデータを、他のFOMA端末やパソコンなどとの間で送受信します。

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）
- microSDカード（P317）
- ドコモケータイdatalink（P428）

お知らせ

- ドコモケータイdatalinkでは、本FOMA端末からパソコンへの画像送信は行えません。

パケット通信

送受信したデータ量に応じて通信料金がかかる※1通信方式です。ネットワークに接続したままの状態で必要なときにのみデータを送受信する使いかたに適しています。通信環境やネットワークの混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォート方式による提供です。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」など、FOMAパケット通信に対応した接続先を利用して、受信時最大7.2Mbps／送信時最大5.7Mbps（ベストエフォート方式）※2の高速通信を行うことができます。

※1 多量のデータ通信を行うと、通信料金が高額になりますのでご注意ください。
※2 ・最大7.2Mbps・最大5.7Mbpsとは、技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。実際の通信速度は、ネットワークの混み具合や、通信環境により異なります。
・FOMAハイスピードエリア外やHIGH-SPEEDに対応していないアクセスポイントに接続するときは、通信速度が遅くなる場合があります。

L-06Aは、海外でも3GまたはGPRSのパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、データ通信ができます。

ご利用にあたっての留意点

インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットを利用する場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダ（以降プロバイダ）に対する利用料が必要になります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接プロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳細については、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」をご利用いただけます。「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。

接続先（プロバイダなど）の設定について

パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先をご利用ください。

- DoPaのアクセスポイントには接続できません。
- 「mopera」のサービス内容および接続設定方法については「mopera」のホームページをご確認ください。
http://www.mopera.net/mopera/index.html

パケット通信の条件

FOMA端末とパソコンなどを接続して通信を行うには、次の条件※が必要になります。ただし、条件が整っていても基地局の混雑状況や電波状態によって通信できないことがあります。

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）が利用できるパソコンであること
- FOMAサービスエリア内であること
- アクセスポイントがFOMAのパケット通信に対応していること

※ 日本国内の場合です。

ご使用になる前に

動作環境

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は次のとおりです。

項　目	必要環境
パソコン本体	• PC-AT互換機でCD-ROMドライブが使用できる機器 • USBポート（Universal Serial Bus Specification Rev1.1/2.0準拠） • ディスプレイ解像度800×600ドット、High Color（65,536色）以上を推奨
OS※1※2	• Windows Vista、Windows XP、Windows 2000（各日本語版）
必要メモリ※3	• Windows Vista：512Mバイト以上 • Windows XP：128Mバイト以上 • Windows 2000：64Mバイト以上
ハードディスク容量※3※4	• 5Mバイト以上の空き容量

※1　OSアップグレードからの動作は保証いたしかねます。
※2　ドコモ コネクションマネージャの動作環境は、Windows 2000 SP4以上、Windows XP SP2以上です。動作環境の詳細はドコモホームページをご確認ください。
※3　必要メモリ、ハードディスク容量は、パソコンのシステム構成によって異なる場合があります。
※4　ドコモ コネクションマネージャは、15Mバイト以上の空き容量が必要です。

付属のCD-ROMをパソコンにセットすると、警告画面が表示される場合があります。この警告は、Microsoft Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。［はい］をクリックしてください。

必要な機器

データ通信を利用するには、FOMA端末とパソコン以外に次の機器、およびソフトウェアが必要です。

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）
- L-06A用CD-ROM（付属品）

お知らせ

- USBケーブルは、専用のFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02、またはFOMA USB接続ケーブルをお買い求めください。パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。
- USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

データ転送（OBEXTM通信）の準備の流れ

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）をご利用になる場合には、L-06A通信設定ファイルをインストールしてください。

L-06A通信設定ファイルをダウンロード、インストールする

- 付属のCD-ROMからインストール

または

- ドコモのホームページからダウンロードし、インストール

データ転送

データ通信の準備の流れ

FOMA端末とパソコンを接続してパケット通信を利用する場合の準備の流れは次のとおりです。詳細については「パソコン接続マニュアル」（PDF版）をご覧ください。

FOMA端末の「USBモード設定」が「通信モード」に設定されていることを確認する

FOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02で接続する

L-06A通信設定ファイルをダウンロード、インストールする

- 付属のCD-ROMからインストール

または

- ドコモのホームページからダウンロードし、インストール

インストール後の確認をする

ドコモ コネクションマネージャをインストールして設定する

ドコモ コネクションマネージャを使わずに設定する

接続する

次のページへ続く

お知らせ

- 「L-06A用CD-ROM」に収録されているデータ通信用ソフトの「L-06A通信設定ファイル（ドライバ）」や「ドコモ コネクションマネージャ」は、ドコモのホームページからもダウンロードできます。
  http://www.nttdocomo.co.jp/support/download/

「L-06A用CD-ROM」に収録されているデータ通信用ソフト

L-06A通信設定ファイル（ドライバ）

FOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）で接続して、通信やファイル転送をするためにパソコンにインストールするファイルです。

ドコモ コネクションマネージャ

データ通信に必要なダイヤルアップなどの設定を簡単に行うために、パソコンにインストールするソフトウェアです。

ATコマンドについて

ATコマンドとは、パソコンからFOMA端末の機能設定や状態確認などを行うためのコマンド（命令）です。詳細については、付属のCD-ROM内の「パソコン接続マニュアル」（PDF版）をご覧ください。

CD-ROMを利用する

付属のCD-ROMには、FOMA端末でデータ通信をご利用になる際のソフトウェアや、「パソコン接続マニュアル」「区点コード一覧」取扱説明書（PDF）が収録されております。詳細は、付属のCD-ROMをご覧ください。

ドコモケータイdatalinkのご紹介

「ドコモケータイdatalink」は、お客様の携帯電話の「電話帳」や「メール」などをパソコンにバックアップして、編集などを行うソフトです。ドコモのホームページで提供しております。詳細およびダウンロードは下記ホームページをご覧ください。
http://datalink.nttdocomo.co.jp/

お知らせ

- ダウンロード方法、転送可能なデータ、対応OSなど動作環境、インストール方法、操作方法、制限事項などの詳細については、上記ホームページをご覧ください。また、インストール後の操作方法については、ソフト内のヘルプをご覧ください。なお、ドコモケータイdatalinkをご利用になるには、別途USB接続ケーブル（別売）が必要になります。

付録／困ったときには

メニュー一覧

「お買い上げ時」欄が　の設定は、「設定リセット」でお買い上げ時の状態に戻る機能です。→P132

機能名			お買い上げ時	参照先
Mail	受信メール	受信BOX	「♪Welcome Mail♪」「Welcome ドコモ動画」のメール	P154
		メッセージR	メッセージなし	P174
		メッセージF	メッセージなし	P174
	新規メール作成		－	P138
	未送信メール		未登録	P155
	送信メール		未登録	P155
	ｉモード問い合わせ		－	P150
	メール選択受信		－	P149
	SMS	SMS作成	－	P176
		SMS問い合わせ	－	P177
	テンプレート		プリインストールデータのみ	P144
	メール設定	通信	メール選択受信設定：OFF 添付ファイル：すべてチェックあり ｉモード問い合わせ：すべてチェックあり	P168

機能名			お買い上げ時	参照先
Mail	メール設定	表示	文字サイズ：中 フォルダセキュリティ：すべてチェックなし メロディ自動再生：ON 受信表示：通知優先	P169
		メールグループ	未登録	P169
		自動振り分け設定	未登録	P170
		SMS	SMS送達通知：OFF SMS有効期間：3日 SMS本文入力：日・韓（70文字）	P178
		編集	冒頭文編集：なし 署名編集：なし 引用符編集：> 自動貼付：「署名」にチェックあり	P172
		その他	メール設定確認：－ メール設定リセット：－	P172
ｉmode	ｉMenu		－	P183
	Bookmark		未登録	P190
	画面メモ		未登録	P192
	ラストURL		－	P185
	Internet	URL入力	－	P188
		URL履歴	履歴なし	P189

機能名			お買い上げ時	参照先
i mode	i チャネル	i チャネルリスト	ベーシックチャネル	P204
		テロップ設定	テロップ表示：ON テロップ速度：標準 テロップ文字サイズ：小 テロップ文字色：ホワイト	P204
		i チャネル初期化	−	P204
	メッセージR/F	受信BOX	「♪Welcome Mail♪」「Welcome ドコモ動画」のメール	P154
		メッセージR	メッセージなし	P174
		メッセージF	メッセージなし	P174
	i モード問い合わせ		−	P173
	i モード設定	通信	接続待ち時間設定：60秒間 i モード問い合わせ：すべてチェックあり	P197
		表示・効果設定	画像：ON 効果音設定：ON 文字サイズ：中 スクロール：1行 端末情報データ利用設定：ON メッセージ自動表示設定：メッセージR優先 メロディ自動再生：ON	P198

機能名			お買い上げ時	参照先
i mode	i モード設定	i モーション設定	自動再生設定：ON i モーションタイプ：標準・ストリーミングタイプ	P202 P202
		ホーム	無効、URLなし	P198
		証明書	すべて有効	P200
		その他	i モード設定確認：− i モード設定リセット：−	P199
	フルブラウザ	ホーム	−	P206
		Bookmark	未登録	P206
		ラストURL	−	P206
		Internet	URL入力：− URL履歴：履歴なし	P207 P207
		フルブラウザ設定	通信： -アクセス設定：利用しない -Cookie設定：有効 -Cookie削除：− -Referer設定：送信する -TLS：ON	P214

機能名			お買い上げ時	参照先
i mode	フルブラウザ	フルブラウザ設定	表示・効果設定： -画面倍率：100% -表示モード設定：ケータイモード -画像表示設定：ON -Bookmark表示：サムネイル -ウィンドウオープンガード設定：無効 -Script設定：有効(毎回確認)	P215
			ホーム設定：http://www.google.co.jp/	P215
			その他： -フルブラウザ設定確認：－ -フルブラウザ設定リセット：－	P215
i -αppli	ソフト一覧		プリインストールｉアプリのみ	P275
	ｉアプリ情報	セキュリティエラー履歴	履歴なし	P286
		自動起動情報	情報なし	P286
		トレース情報	情報なし	P286
		待受画面エラー情報	情報なし	P286

機能名			お買い上げ時	参照先
i -αppli	ｉアプリ設定	ソフト情報表示設定	表示しない	P275
		自動起動設定	許可する	P284
		待受画面表示終了	－	P286
Phonebook	電話帳登録		未登録	P84
	電話帳検索		全件検索	P92
	電話帳登録件数		－	P97
	電話帳設定	通常検索モード設定	全件検索	P97
		ドメインリスト作成	@docomo.ne.jp	P97
		着信許可／拒否リスト	着信許可リスト：未登録 着信拒否リスト：未登録	P97
	グループ設定		なし	P89
	通話／メール履歴	着信履歴	未登録	P62
		リダイヤル	未登録	P60
		受信履歴	未登録	P166
		送信履歴	未登録	P166
	通話時間表示		－	P362

機能名			お買い上げ時	参照先
Phonebook	通話料金表示	積算料金表示	―	P363
		通話料金上限通知	上限通知設定：OFF	P363
		上限通知アイコン消去	―	P363
Data Box	マイピクチャ	ｉモード	なし	P296
		カメラ	なし	P296
		デコメピクチャ	プリインストールファイルのみ	P296
		デコメ絵文字	プリインストールファイルのみ	P296
		プリインストール	プリインストールファイルのみ	P296
		アイテム	プリインストールファイルのみ	P296
		データ交換	なし	P296
		スライドショー	スライドショー（サンプル）	P305
		microSD	―	P296
		ｉモードで探す	―	P294
	ミュージック	ｉモード	なし	P270
		プレイリスト	なし	P270
		移行可能コンテンツ	―	P270

機能名			お買い上げ時	参照先
Data Box	ミュージック	続きから再生	―	P263
		WMA	―	P294
		SDオーディオ	―	P294
		ｉモードで探す	―	P294
	Music&Videoチャネル	配信番組	なし	P259
	ｉモーション	ｉモード	なし	P307
		カメラ	なし	P307
		プリインストール	プリインストールファイルのみ	P307
		プレイリスト	なし	P313
		データ交換	なし	P307
		microSD	―	P307
		ｉモードで探す	―	P295
	メロディ	ｉモード	なし	P314
		プリインストール	プリインストールファイルのみ	P314
		データ交換	なし	P314
		microSD	―	P314
		ｉモードで探す	―	P295

機能名			お買い上げ時	参照先
Data Box	きせかえツール	ｉモード	なし	P111
		プリインストール	プリインストールファイルのみ	P111
		ｉモードで探す	－	P111
	モーションお絵かき		－	P343
MUSIC	ミュージックプレーヤー	全曲	登録なし	P263
		プレイリスト	登録なし	P267
		アーティスト	登録なし	P263
		ジャンル	登録なし	P263
		アルバム	登録なし	P263
		続きから再生※	－	P263
	Music&Videoチャネル	番組1	登録なし	P254
		番組2	登録なし	P254
		番組設定	－	P254
		番組リスト	－	P254
		サービスのご案内	－	P254
LifeKit	バーコードリーダー		－	P234
	赤外線受信	受信	－	P329
		全件受信	－	P329

※ 再生中の曲がある場合は「現在再生中」と表示されます。選択すると再生中のプレーヤー画面を表示します。

機能名			お買い上げ時	参照先
LifeKit	microSD	個人情報	－	P322
		データ更新	－	P325
		メモリ情報	－	P325
		microSDフォーマット	－	P325
	電話帳お預かりサービス	お預かりセンターに接続	－	P131
		通信履歴表示	－	P131
		電話帳内画像送信設定	OFF	P131
	FOMA通信環境確認		－	P343
	スケジュール		未登録	P353
	アラーム		未登録	P351
	テキストメモ		未登録	P370
	スケッチメモ		未登録	P368
	To Do リスト		未登録	P357
	その他	世界時計	日本	P364
		電卓	－	P367
		単位変換ツール	通貨：円、ドル	P365
			面積：平方センチメートル、平方メートル	P366
			長さ：ミリメートル、センチメートル	P366
			重量：ミリグラム、グラム	P366

機能名			お買い上げ時	参照先
LifeKit	その他	単位変換ツール	温度：摂氏（℃）、華氏（°F）	P366
			容積：ミリリットル、リットル	P366
			速度：キロメートル／時、メートル／秒	P366
		記念日マネージャー	日付カウンター：未登録 日付サーチ：－	P359 P360
		ストップウォッチ	－	P364
Media	カメラ	フォトモード	－	P222
		ビデオモード	－	P227
		バーコードリーダー	－	P234
	Muvee Studio		－	P339
	モーションお絵かき		－	P341
	伝言メモ	伝言メモ設定	設定：OFF	P78
		伝言メモ一覧	未登録	P79
	ドキュメントビューア		－	P330
	辞典		－	P345
	M-Toy		－	P343
	タッチゲーム		－	P344

機能名			お買い上げ時	参照先
1Seg	ワンセグ視聴		－	P245
	番組表		－	P248
	視聴予約リスト		未登録	P248
	テレビリンク		未登録	P251
	チャンネル設定		未登録	P243
	ワンセグ設定		字幕設定：ON バックライト設定：80% 画像表示設定：ON 効果音設定：OFF クローズ動作設定：ON 主／副音声設定：主音声＋副音声 確認表示設定リセット：－ ワンセグ設定リセット：－ 放送用保存領域削除：－ ワンセグ設定確認：－	P252
Settings	音／バイブレータ	着信音選択	音声電話着信音：Ring 01 テレビ電話着信音：Ring 09 メール着信音：Message 09 メッセージR着信音：Message 10 メッセージF着信音：Message 10 SMS着信音：Message 09	P100

機能名			お買い上げ時	参照先
Settings	音／バイブレータ	効果音選択	キー確認音：キー確認音4 端末開閉音：端末開閉音1 ダイヤル音：デジタル音 電源ON：Power on 01 電源OFF：Power off 01 バッテリー警告音：ON	P103
		タッチ設定	タッチ種類：音＋バイブ タッチ音：サウンド1 タッチ振動：バイブ1 タッチ音レベル：レベル4 タッチ振動レベル：レベル7	P104
		音量設定	音声／テレビ電話着信音：レベル4 メール／メッセージ着信音：レベル4 アラーム／スケジュール音：レベル4 キー確認音：レベル2 端末開閉音：レベル2 ダイヤル音：レベル2 電源ON／OFF：レベル4 ポップアップ表示音：レベル4 受話音量：レベル4	P101
		バイブレータ設定	音声／テレビ電話：OFF メール／メッセージ着信：OFF アラーム／スケジュール：OFF ポップアップ表示：OFF 電源ON／OFF：OFF	P102
		マナーモード設定	マナーモード	P105
		メール鳴動設定	1回のみ	P104
		呼出動作開始時間設定	OFF	P130
		イヤホン切替設定	イヤホン＋スピーカー	P105
	表示	待受画面設定	壁紙：きせかえ設定に従う 画面表示：なし 電池アイコン：きせかえ設定に従う 電波アイコン：きせかえ設定に従う	P106
		ライブキャラパークテーマ	待受画面：動物園 ライブキャラ：ヒューマン	P338
		きせかえツール	L06A_black	P111
		カラーテーマ設定	きせかえ設定に従う（ブラック）	P111

機能名			お買い上げ時	参照先
Settings	表示	着信画面設定	音声着信：きせかえ設定に従う テレビ電話着信：きせかえ設定に従う メール送信：きせかえ設定に従う メール受信：きせかえ設定に従う メール受信完了：きせかえ設定に従う ｉモード問い合わせ：きせかえ設定に従う	P109
		ウェイクアップ設定	pwron	P110
		クイックダイヤル	ON	P109

機能名			お買い上げ時	参照先
Settings	表示	イルミネーション設定	イルミネーション設定：ON 音声着信：デフォルト テレビ電話着信：デフォルト メール受信：デフォルト 留守番電話：デフォルト 伝言メモ：デフォルト アラーム：デフォルト ICカード：ON 不在着信：ON 未読メール／メッセージ：ON 電池残量不足：OFF	P113
		照明設定	照明時間：20秒 照明明るさ：自動設定 充電器接続時：端末設定に従う	P110

機能名			お買い上げ時	参照先
Settings	発着信／通話機能	着信機能	応答設定：通話ボタンアンサー	P74
			オート着信設定：OFF	P373
			着信許可／拒否： - 着信許可／拒否設定：許可	P128
			- 着信拒否リスト編集：登録なし	P127
			- メモリ登録外着信拒否：OFF	P130
			非通知着信：(すべて）設定解除	P129
			応答保留音：保留音1	P75
			電話帳画像表示：ON	P110
			メロディコール設定：－	P102

機能名			お買い上げ時	参照先
Settings	発着信／通話機能	テレビ電話	テレビ電話設定： - テレビ電話画面設定：両方（相手画像）	P80
			- 発信時自画像送信：ON	P80
			- 画面サイズ設定：拡大	P80
			- 送信画質設定：標準	P80
			- 照明設定：常時点灯	P80
			- 音声自動再発信：OFF	P80
			- ハンズフリー設定：ON	P80
			- パケット通信中着信設定：テレビ電話優先	P81
			代替画像：デフォルト	P80
			応答保留画像：デフォルト	P80
			通話中保留画像：デフォルト	P80
		通話機能	再接続アラーム：アラームなし	P71
			通話品質アラーム：アラームなし	P104
			通話中保留音：保留音1	P75
			通話中クローズ設定：通話切断	P74
			ノイズキャンセラ：ON	P72
		セルフモード	OFF	P124

機能名			お買い上げ時	参照先
Settings	発着信／通話機能	プレフィックス設定	プレフィックス1：009130010 プレフィックス2／プレフィックス3：登録なし	P70
		サブアドレス設定	ON	P71
		イヤホン設定	イヤホンスイッチ設定：OFF	P371
	ロック／セキュリティ	ロック	オールロック：設定なし 発着信／メールロック設定：OFF プライバシーモード設定：OFF ライブキャラパークロック設定：OFF	P121 P123 P124 P125
		シークレットモード	OFF	P127
		履歴表示設定	（すべて）ON	P126
		自動タッチロック	画面消灯時	P126
		端末暗証番号変更	端末暗証番号（4桁）：0000	P120
		PINコード	－	P120

機能名			お買い上げ時	参照先
Settings	ロック／セキュリティ	スキャン機能	パターンデータ更新：－ 自動更新設定：－ スキャン機能設定： - スキャン機能：ON - メッセージスキャン：ON バージョン表示：－	P464 P465 P464 P466
	NWサービス	留守番電話	留守番電話サービス開始：－	P393
			留守番呼出時間設定：－	P393
			留守番サービス停止：－	P393
			留守番設定確認：－	P393
			留守番メッセージ再生：－	P393
			留守番サービス設定：－	P393
			メッセージ問合せ：－	P393
			着信通知：－	P393
			表示消去：－	P393
			件数増加時鳴動設定：いいえ	P393
			留守番テレビ電話設定：－	P393

次のページへ続く

機能名			お買い上げ時	参照先
Settings	NWサービス	キャッチホン	キャッチホンサービス開始：－	P394
			キャッチホンサービス停止：－	P394
			キャッチホンサービス設定確認：－	P394
		転送でんわ	転送サービス開始：－	P396
			転送サービス停止：－	P396
			転送先変更：－	P396
			転送先通話中時設定：－	P396
			転送サービス設定確認：－	P396
		着もじ	メッセージ作成：未登録	P65
			メッセージ表示設定：番号通知ありのみ	P65
		迷惑電話ストップ	迷惑電話着信拒否登録：－	P397
			電話番号指定拒否登録：－	P397
			迷惑電話全登録削除：－	P397
			迷惑電話1登録削除：－	P397

機能名			お買い上げ時	参照先
Settings	NWサービス	迷惑電話ストップ	拒否登録件数確認：－	P397
		発信者番号通知	発信者番号通知設定：－	P53
			発信者番号通知設定確認：－	P53
		番号通知お願いサービス	番号通知お願い開始：－	P398
			番号通知お願い停止：－	P398
			番号通知お願い確認：－	P398
		通話中着信設定	通話中着信設定開始：－	P400
			通話中着信設定停止：－	P400
			通話中着信設定確認：－	P400
		通話中着信動作選択	通常着信	P400
		その他	追加サービス：未登録	P403
			応答メッセージ：未登録	P404
			英語ガイダンス：－	P399
			サービスダイヤル：－	P399
			ローミングガイダンス設定：－	P418

機能名			お買い上げ時	参照先
Settings	NWサービス	その他	マルチナンバー： - 通常発信番号設定：－ - 通常発信番号設定確認：－ - 電話番号設定：登録なし - 着信音＆着信画面設定：個別設定（すべて）OFF	P401
			デュアルネットワーク：－	P398
			遠隔操作設定：－	P401
			ローミング着信通知設定：－	P419
	国際ダイヤルアシスト設定	自動国際プレフィックス変換	自動	P69
		国際プレフィックス	名称：WORLD CALL 番号：009130010	P69
		国番号	自動国番号変換設定：ON 国設定：日本 +81	P69
		国番号一覧	中国　86、台湾　886、日本　81、韓国　82、香港　852、アメリカ　1、イギリス　44、イタリア　39、インド　91、インドネシア　62、オーストラリア　61、オランダ　31、カナダ　1、	P70

機能名			お買い上げ時	参照先
Settings	国際ダイヤルアシスト設定	国番号一覧	シンガポール　65、スペイン　34、タイ　66、ドイツ　49、フィリピン　63、フランス　33、ブラジル　55、ベトナム　84、マレーシア　60	P70
	国際ローミング設定	ネットワーク	ネットワークサーチ設定：オート 3G／GSM切替：自動 優先ネットワーク設定：（FOMAカードの登録内容を表示） オペレータ名表示設定：ON 接続先選択：ｉモード SMSセンター：DOCOMO	P416 P416 P417 P418 P199 P178
		留守番電話（海外）	－	P419
		転送でんわ（海外）	－	P420
		遠隔操作設定（海外）	－	P421
		番号通知お願いサービス設定（海外）	－	P421
		ローミングガイダンス設定（海外）	－	P420

機能名			お買い上げ時	参照先
Settings	国際ローミング設定	ローミング時着信規制	ー	P418
		ローミング着信通知設定（海外）	ー	P421
	日付／時刻	日付／時刻設定	自動時刻時差補正：ON	P52
		日付／時刻表示設定	日付表示形式：YYYY/MM/DD 時刻表示形式：24時間表示	P115
		時刻お知らせ	セットサウンド：OFF	P373
	Select language		日本語	P115
	その他	文字入力	定型文編集：プリインストールデータのみ	P384
			顔文字編集：プリインストールデータのみ	P382
			ユーザ辞書：登録なし	P387
			デコメ絵文字辞書：プリインストールデータのみ	P388
			ダウンロード辞書：登録なし	P389
			学習辞書作成：ー	P389
			学習情報リセット：ー	P388

機能名			お買い上げ時	参照先
Settings	その他	文字入力	予測入力：ON	P383
		メモリ状況	ー	P374
		省電力モード	OFF	P111
		リセット／削除	ー	P132
		ソフトウェア更新	更新実行：ー 自動更新設定： - 自動更新設定：自動で更新 - 曜日：指定なし - 時刻：03:00	P462 P461
		USBモード設定	通信モード※	P326
		電池残量	ー	P50
		タッチパネル調整	ー	P115
Own Number			未登録	P361
Osaifu-Keitai	ICカード一覧		プリインストールおサイフケータイ対応ｉアプリのみ	P291
	DCMX		ー	P282
	ICカードロック設定		電源ON時ICカードロック設定：OFF 電源OFF時ICカードロック設定：電源ON時設定に従う	P292
	ｉモードで探す		ー	P291

※ 設定を変更してもFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）を抜くと、USBモード設定は自動的に「通信モード」に戻ります。

ダイヤルキーの文字割当て一覧

入力モード／キー	かな漢字	カタカナ	英 字	数 字
1	あいうえおぁぃぅぇぉ※2	アイウエオァィゥェォ※2 1	. / @ - : ~※1 _ 1	1
2	かきくけこ	カキクケコ2	abcABC※2 2	2
3	さしすせそ	サシスセソ3	defDEF※2 3	3
4	たちつてとっ※2	タチツテトッ※2 4	ghiGHI※2 4	4
5	なにぬねの	ナニヌネノ5	jklJKL※2 5	5
6	はひふへほ	ハヒフヘホ6	mnoMNO※2 6	6
7	まみむめも	マミムメモ7	pqrsPQRS※2 7	7
8	やゆよゃゅょ※2	ヤユヨャュョ※2 8	tuvTUV※2 8	8
9	らりるれろ	ラリルレロ9	wxyzWXYZ※2 9	9
0	わをんゎ※2 ー	ワヲンヮ※2※3 ー0	0	0
*	゛ ゜※4 （改行）	゛ ゜※4 （改行）	（改行）	* ✱+P※5
#	、。？！・□（半角スペース）	、。？！・□（半角スペース）	, . ? ! ' - & ( ) ¥ □（半角スペース）	#※5

※1　全角文字入力の場合は、「～」が入力されます。
※2　[*]を押すと、大文字／小文字が切り替わります。
※3　全角文字入力の場合に入力できます。
※4　文字が確定待ちの状態で付加／入力できます。
※5　これらの文字が有効な入力欄のみ、入力できます。

マルチアクセスの組み合わせ

新しく行う通信＼通信中の機能	音声電話		テレビ電話		iモード	iモードメール		SMS		パソコンなどと接続したパケット通信	
	発信	着信	発信	着信	接続	送信	受信	送信	受信	送信	受信
音声電話	△※1	△※2	×	×※3	○※4	○※4	○	○	○	○	×
テレビ電話	×	×※3	×	×※3	×	×	×	×	○	×	×
iモード	○	○	△※5	△※6	×	○	○	○	○	×	×
iモードメール	○	○	△※5	△※6	○	×	×	○	○	×	×
パソコンなどと接続したパケット通信	○	○	×	×※3	×	×	×	×	○	×	×

○：起動できます。
△：条件によっては起動できます。
×：起動できません。

※1　キャッチホンを契約されていれば、現在の音声電話を保留にして発信できます。
※2　キャッチホンを契約されていれば、現在の音声電話を保留にして応答できます。また、留守番電話、転送でんわを契約されていれば、起動できます。
※3　不在着信として、着信履歴に記録されます。
※4　iアプリによる発信はできません。
※5　Phone to機能を利用した発信のみできます。その場合、iモードの接続は切断されます。
※6　「パケット通信中着信設定」が「テレビ電話優先」に設定されていれば、テレビ電話の着信が可能です。その場合、iモードの接続は切断されます。

マルチタスクの組み合わせ

マルチタスクで同時に使用可能な機能の主な組み合わせは次のとおりです。(○:起動可能　△:一部起動可能　×:起動不可)

- FOMA端末の状態によっては、起動できない場合もあります。

利用する機能／実行中の機能	iモード	メール機能	フルブラウザ	iアプリ	設定	データBOX	LifeKit※1	Media※2	Media(その他)	電話帳	MUSIC(バックグラウンド再生)	ワンセグ	音声電話	テレビ電話	メール
メール機能	○	△	○	△	×	○	△	△	×	○	○	○	○	△	△
iモード	△	○	△	△	×	○	△	△	×	○	○	○	○	△	○
フルブラウザ	×	○	×	×	×	○	△	△	×	○	○	×	○	×	○
iアプリ	△	△	×	△	×	△	△	△	×	△	×	△	△	△	△
設定	×	×	×	×	×	△	×	×	×	△	△	△	△	×	×
データBOXの起動※3	△	○	○	×	×	×	△	△	×	○	○	○	○	○	○
LifeKit※1	○	○	○	×	×	○	△	×	×	○	○	○	○	○	○
Media※2	○	○	○	△	×	○	×	△	×	○	○	△	○	○	○
Media(その他)※4	○	○	○	×	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○
電話帳	○	○	○	×	×	○	△	△	×	×	○	○	○	○	○
音声電話	○	○	○	×	×	○	△	×	×	○	×	×	△	×	△
テレビ電話	×	×	×	×	×	×	×	×	×	△	×	×	×	×	×
MUSIC(バックグラウンド再生)	○	○	○	×	△	△	△	△	×	○	×	×	△	△	○
ワンセグ	○	○	×	△	×	×	△	×	×	○	×	×	○	△	○

※1 「スケジュール」「アラーム」「テキストメモ」「スケッチメモ」「To Do リスト」「世界時計」「電卓」「単位変換ツール」「記念日マネージャー」「ストップウォッチ」のみ。
※2 「カメラ」「Muvee Studio」「モーションお絵かき」のみ。
※3 microSD内データを除きます。
※4 「M-Toy」「タッチゲーム」を除きます。(「M-Toy」「タッチゲーム」起動中は他の機能は起動できません。)

FOMA端末から利用できるサービス

FOMA端末からご利用できるサービス	電話番号
番号案内サービス（有料：案内料＋通話料） （電話番号の案内を希望されないお客様については案内しておりません）	（局番なし）104
電報の発信（有料：電報料）	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171
コレクトコール（有料：案内料＋通話料）	（局番なし）106

お知らせ

- コレクトコール（106）をご利用の際には、電話を受けた方に、通話料と1回の通話ごとの取扱手数料90円（税込94.5円）がかかります（2009年6月現在）。
- 番号案内（104）をご利用の際には、案内料100円（税込105円）に加えて通話料がかかります。目や上肢などの不自由な方には、無料でご案内しております。詳しくは、一般電話から116番（NTT営業窓口）までお問い合わせください（2009年6月現在）。
- 一般電話の「転送電話」をご利用のお客様で転送先を携帯電話に指定した場合、一般電話／携帯電話の設定によって携帯電話が通話中、サービスエリア外および電源を切っているときでも発信者には呼び出し音が聞こえることがあります。
- 116番（NTT営業窓口）、ダイヤルQ2、伝言ダイヤル、クレジット通話などのサービスはご利用できませんのでご注意ください（一般電話または公衆電話から、FOMA端末へおかけになる際の自動クレジット通話はご利用できます）。
- FOMAカードを取り付けていない場合でも、海外で緊急番号（911、999、112、000、08）をダイヤルして緊急通報ができます。ただし、セルフモードを設定中の場合は緊急通報ができません。
- 本FOMA端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をおかけになった場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの理由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがございます。また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- FOMA端末から110番・119番・118番通報の際は、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため携帯電話からかけていることと、電話番号と、明確な現在位置を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- おかけになった地域により、管轄の消防署・警察署などに接続されない場合があります。接続されない場合は、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。
詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。また、オプションの詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- 電池パック L05
- リアカバー L12
- 卓上ホルダ L04
- 平型スイッチ付イヤホンマイク P01／P02
- イヤホンジャック変換アダプタ P001
- スイッチ付イヤホンマイク P001／P002※1
- FOMA乾電池アダプタ 01
- 骨伝導レシーバマイク 01
- FOMA室内用補助アンテナ※2
- FOMA 補助充電アダプタ 01
- キャリングケースL 01
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02※3
- FOMA室内用補助アンテナ（スタンドタイプ）※2
- FOMA USB接続ケーブル※3
- FOMA ACアダプタ 01／02※4
- FOMA海外兼用ACアダプタ 01※4
- 平型ステレオイヤホンセット P01
- ステレオイヤホンセット P001※1
- FOMA DCアダプタ 01／02
- 外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01
- イヤホンマイク 01
- イヤホン変換アダプタ 01
- ステレオイヤホンマイク 01
- 車内ホルダ 01

※1 L-06Aに接続するには、イヤホンジャック変換アダプタ P001が必要です。
※2 日本国内で使用してください。
※3 USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
※4 ACアダプタの充電方法について→P47～49

動画再生ソフトのご紹介

FOMA端末で撮影した動画（MP4形式のファイル）をパソコンで再生するには、アップルコンピュータ（株）のQuickTime Player（無料）Ver.6.4以上（またはver.6.3+3GPP）が必要です。
QuickTime Playerは次のホームページよりダウンロードできます。
http://www.apple.com/jp/quicktime/download/

お知らせ

- ダウンロードするには、インターネットに接続した環境のパソコンが必要です。また、ダウンロード時には別途通信料がかかります。
- 動作環境、ダウンロード方法、操作方法などの詳細については、上記ホームページをご覧ください。

故障かな？と思ったら、まずチェック

- まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。（ソフトウェア更新→P459）
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

症　状	チェック
FOMA端末の電源が入らない	• 電池パックが正しく取り付けられていますか。→P46 • 電池切れになっていませんか。→P47、P50
充電ができない（例：FOMA端末のイルミネーションが点灯しない、または点滅する）	• 電池パックが正しく取り付けられていますか。→P46 • アダプタの電源プラグがコンセントまたはシガーライタソケットに正しく差し込まれていますか。 • アダプタとFOMA端末が正しくセットされていますか。→P49 • ACアダプタ（別売）をご使用の場合、ACアダプタのコネクタがFOMA端末にしっかりと接続されていますか。→P49 • 卓上ホルダを使用する場合、携帯電話本体の充電端子は汚れていませんか。汚れたときは、端子部分を乾いた布、綿棒などで清掃してください。 • 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、FOMA端末の温度が上昇して充電ランプが点滅する場合があります。その場合は、FOMA端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。
操作中・充電中に熱くなる	• 操作中や充電中、また、充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグ視聴などを長時間行った場合などには、FOMA端末や電池パック、アダプタが熱くなる場合がありますが、その場合は使用している機能を終了し、FOMA端末の温度が下がるのを待ってからご利用ください。
電池の使用時間が短い	• 圏外の状態で長い時間放置されるようなことはありませんか。 圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。 • 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。 • 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、１回で使える時間が次第に短くなっていきます。 十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。
電源断・再起動が起きる	• 電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。
キーを押しても動作しない	• タッチロックがかかっていませんか。→P125
キーを押したときの画面の反応が遅い	• FOMA端末に大量のデータが保存されているときや、FOMA端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。
FOMAカードが認識しない	• FOMAカードを正しい向きで取り付けていますか。→P43
ダイヤルキーを押しても発信できない	• ダイヤル発信制限を設定していませんか。→P123 • オールロックを設定していませんか。→P121 • セルフモードを設定していませんか。→P124

症　状	チェック
着信音が鳴らない	• 音量設定の音声／テレビ電話着信音量を「ミュート」にしていませんか。→P101 • 公共モード（P76）、マナーモード（P105）、セルフモード（P124）を起動していませんか。 • 電話帳指定着信許可／拒否（P95）、ダイヤル着信制限（P123）、リスト指定着信拒否（P127）、全着信拒否（P128）、非通知着信（P129）、呼出動作開始時間設定（P130）、メモリ登録外着信拒否（P130）を設定していませんか。 • 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間設定を「0秒」にしていませんか。→P393、P396 • 伝言メモの応答時間を「0秒」にしていませんか。→P77 • オート着信設定の自動応答時間を「0秒」にしていませんか。→P373
通話ができない（例：場所を移動しても「圏外」の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）	• 電源を入れ直すか、電池またはFOMAカードを入れ直してください。 • 電波の性質により、「圏外ではない」「電波状態は [電波アイコン] を表示している」状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。 • リスト指定着信拒否（P127）、電話帳指定着信許可／拒否（P95）など着信制限を設定していませんか。 • 電波の込み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は「しばらくお待ちください」と表示され、話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

症　状	チェック
ディスプレイが暗い	•「照明設定」の照明時間を短く設定していませんか。→P110 •「照明設定」の「照明明るさ」を変更していませんか。 →P110 •「省電力モード」を「ON」に設定していませんか。→P111 • 電池残量が少なくなっていませんか。充電してください。→P49
通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる	•「音量設定」の受話音量を変更していませんか。 →P101
各機能で設定した画像やメロディなどが動作せず、お買い上げ時の設定で動作する	• 画像やメロディなどの取得時に取り付けていたFOMAカードが取り付けられていますか。 →P44
メールを自動で受信しない	• メール設定の「メール選択受信設定」で「ON」を設定していませんか。「OFF」に設定してください。→P168
ｉモード、ｉモードメール、ｉアプリ、ｉチャネルに接続できない	•「接続先選択」を「ｉモード」以外に設定していませんか。→P199 • ｉモードを途中からご契約いただいた場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。
ｉモードマークが点滅したまま消えない	• ｉモード（センター）問い合わせ・メール送受信などの後や途中でｉモード接続が途切れたときは、ｉモードマークは点滅したままになります。データのやりとりを行なわなければ自動的に切断されますが、[終話キー]を押せばすぐに終了できます。

症　状	チェック
カメラで撮影した静止画や動画がぼやける	• 近くの被写体を撮影するときは、接写に切り替えてください。→P233 • カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。 • 手ぶれ補正「ON」で撮影してください。→P233 • 人物を撮影するときは、オートフォーカスを「顔検出機能」に設定してください。→P233
ワンセグ視聴できない	• 地上デジタルテレビ放送サービスのエリア外か、放送電波の弱い場所にいませんか。 • チャンネル設定をしていますか。→P243
おサイフケータイ対応ｉアプリが削除できない	• ICカード内データを削除した後、ｉアプリを削除してください。削除したいｉアプリが利用しているICカード内データを削除しないと、ｉアプリを削除できない場合があります。 削除できなかった場合は、ドコモショップなどまでお問い合わせください。
おサイフケータイが使えない	• 電池パックを取り外したり、おまかせロックがかかっていたりすると、ICカードロックの設定に関わらずICカード機能が利用できなくなります。 • ICカードロックを設定していませんか。 • 携帯電話本体の マークがある位置を読み取り機にかざしていますか。
圏外が表示され、国際ローミングサービスが利用できない	• 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか。 • 利用可能なサービスエリアまたは通信事業者かどうか、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』などの国際サービスガイドで確認してください。 • ネットワークサーチ設定でサービスに対応している通信事業者を検索してください。→P416 • 日本国内から海外へ移動した後に3G／GSM切替を「自動」または対応しているネットワークに切り替えてください。日本国内で「自動」にしていた場合は、FOMA端末の電源を入れ直してください。
海外での利用中に音声電話やテレビ電話がかかってこない	•「ローミング時着信規制」を「開始」に設定していませんか。→P418 •「パケット通信中着信設定」を「テレビ電話優先」以外に設定していませんか。 • GSM ／ GPRS ネットワーク利用中にテレビ電話は利用できません。
海外で利用中に突然、発信や着信ができない	• ドコモ インフォメーションセンターで、ご利用累積額をご確認ください。「国際ローミングサービス（WORLD WING）」のご利用には、あらかじめご利用停止目安額が設定されています。超過するとサービスがすべて停止します。ご利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を清算していただくことで、サービスを再開します。 • ネットワークサーチ設定を確認してください。「オート」に設定されていると、特定のネットワークを受信し利用できない場合があります。設定を「マニュアル」に切り替え、滞在中の国や地域に対応するネットワーク（3G）に変更してください。
相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない	• 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、FOMA端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。
データ転送が行われない	• USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
microSDカードに保存したデータが表示されない	• microSDカードの「データ更新」を行なってください。→P325

症　状	チェック
画像表示しようとすると「×」が表示される または　プレビューで「×」が表示される	• 画像データが壊れている場合は「×」が表示される場合があります。
添付ファイルが削除されて画像を見ることができない	•「添付ファイル」の設定を確認してください。 →P168 •「メールサイズ制限」の設定を確認してください。 詳しくは「ご利用ガイドブック（ｉモード＜FOMA＞編）」をご覧ください。

こんな表示が出たら

エラーメッセージ	説　明
以下の宛先にはメール送信できませんでした（561）	表示された宛先にメールが正しく送信できませんでした。
一部保存できなかったデータがあります	保存先の保存領域が不足しているため、保存できなかったデータがあります。不要なファイルを削除してください。
応答がありませんでした（408）	サイトやホームページからの応答がないため、接続できませんでした。再度操作してください。
同じ時間が登録されています	他のｉアプリが同じ時間に自動起動するよう設定されています。同時に2つ以上のｉアプリを自動起動できません。
海外ではメッセージFを受信できません。ｉモード問合せ設定よりメッセージFの設定を解除してください（566）	海外ではメッセージFを受信できません。 「ｉモード問い合わせ」設定で「メッセージF」のチェックを外してください。
楽曲を追加できません	1件のプレイリストには99曲までしか登録できません。不要な音楽データをプレイリストから削除してください。
画像を保存できません	保存不可能なFlashファイルのため、または取得不完全な画像のため、保存できません。
このカードは認識できません	FOMAカードが認識できない、または正しくないカードが挿入されています。FOMAカードを取り付け直すか、正しいFOMAカードに取り付け直してから操作してください。
このサイトとのSSL通信は無効です	SSL通信の認証処理で問題が検出されました。接続は中止されます。
	改ざんされたSSL証明書を受信したため接続できませんでした。
このデータはダウンロードできません	不正なファイル、またはエラーが発生したため、ダウンロードできません。
	マイメニューに登録していないため、番組をダウンロードできません。Music&Videoチャネル番組提供サイトをマイメニューに登録してください。
このデータは取得できません	データが不正またはエラーが発生したため、取得できません。
このデータは保存できません	ｉモーションや音楽データに設定されている再生期限を過ぎたため、または残りの再生回数が0回になったため保存できません。

次のページへ続く

エラーメッセージ	説　明
このFOMAカード（UIM）は機能が制限されています	サイトなどからデータをダウンロードしたときや、メールの添付ファイル、メッセージR/Fを保存したときとは異なるFOMAカードを挿入しているため、機能が制限されます。
このｉモーションを再生するためには、ｉモーションタイプ設定を変更してください	ストリーミングタイプのｉモーションを取得しない設定になっています。設定を変更してください。
再生可能日前です 再生できません	ｉモーションや音楽データ、Music&Videoチャネルの番組に設定されている再生期間より前のため再生できません。再生可能日以降に再生してください。
再生期間制限があります（XXXX/XX/XX、XX:XX）～（XXXX/XX/XX、XX:XX）	ｉモーションや音楽データ、Music&Videoチャネルの番組に設定されている再生期間外のため再生できません。再生期間中に再生してください。 ※Xの部分には、年月日と時間が表示されます。
再生期限制限があります（XXXX/XX/XX、XX:XX）	ｉモーションや音楽データ、Music&Videoチャネルの番組に設定されている再生期限外のため再生できません。再生期限内に再生してください。 ※Xの部分には、年月日と時間が表示されます。
再生制限データに誤りがあるため取得できません	データが不正なため、または再生期間外のため、取得できません。
最大サイズを超えたので中断しました	サイトやホームページのサイズが大きいため受信を中断し、取得できた分のみ表示します。
	ダウンロード／取得可能な最大データサイズを超えたので、ダウンロード／取得を中断しました。

エラーメッセージ	説　明
最大フレーム数を超えたので中断しました	フルブラウザで表示できるフレーム数を超えているため、インターネットホームページを表示できません。
削除される添付ファイルがあります	著作権のある添付ファイルは転送できないため、削除して転送します。
サポートされない形式です	非対応データのため、再生できません。
指定サイトがみつかりません（404）	サイトやホームページが存在しないか、URLが間違っている可能性があります。URLを確認してから再度操作してください。
指定されたソフトを起動できませんでした	ｉアプリにエラーが発生したために起動できませんでした。ｉアプリToで起動するときに、ソフト設定や起動条件などに問題があると起動できません。
指定したサイトへは接続できませんでした（504）	何らかの原因でサイトに接続できませんでした。再度操作してください。
自動起動が既に3件が設定されています	自動起動を設定できるｉアプリは3件までです。
受信できませんでした	「接続先選択」で設定した接続先アドレスが間違っているため、選択受信できません。設定を確認してから再度操作してください。
受信メールがいっぱいです	受信メールの保存領域が不足しているため、ｉモードメールを受信できません。不要な受信メールを削除してください。
既に作成中のメールがあります。 廃棄して新規作成しますか？ はい／いいえ	メール／SMSを作成中に、マルチタスク機能を利用して新しくメール／SMSを作成しようとした場合、表示されます。 「はい」を選択すると、既に作成中のメールが廃棄され、新しくメール／SMSの作成を行います。

エラーメッセージ	説　明
既に存在する接続先名称です	既に登録済みの接続先名称のため、登録できません。
既に設定されています	既に登録済みのネットワークのため、登録できません。
既に登録されているURLです	既にFOMA端末に登録済みのURLのため、保存できません。
正常に接続できませんでした（400）	接続先にエラーがあるため、正常に接続できませんでした。
セキュリティエラーのため、終了しました	ｉアプリが許可されていない動作をしようとしたため、終了しました。
接続が中断されました	電波状態のよい所で再度操作してください。同じエラーになる場合は、しばらくしてから再度操作してください。
接続できません	「接続先選択」で設定した接続先アドレスが間違っているため、接続できません。設定を確認してから再度操作してください。
接続できませんでした（562）	ネットワークの問題で接続できませんでした。しばらくしてから再度操作してください。
設定時間内に接続できませんでした	ｉモードセンターが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。
設定時間内に接続できませんでした 再開しますか？	設定時間内にｉモードメールにリンクされている添付ファイルをダウンロードできませんでした。再度ダウンロードしますか。
設定できません メモリ登録外着信拒否設定中です	「メモリ登録外着信拒否」が「ON」に設定されている場合は、「呼出動作開始時間設定」は設定できません。
セルフモード設定中です	セルフモード設定中のため、操作できません。セルフモードを「OFF」にしてください。
送信できませんでした（XXX）	メールが正しく送信できませんでした。 ※Xには、エラーの種類を示す数字が表示されます。

エラーメッセージ	説　明
ソフトの空き容量が不足しています。 既存のソフトを削除しますか？	不要なソフトを削除してください（画面に従って操作すると、各ソフトの容量の目安が表示されます）。
ソフトに誤りがあります	ｉアプリのデータに誤りがあるためダウンロードやバージョンアップができません。
対応していないカードフォーマットです フォーマットしてください	microSDカードのフォーマットが非対応のものです。L-06AでmicroSDカードのフォーマットを行ってください。
タイムアウト	一定時間検索しましたが、ネットワークが検索できませんでした。
ただいま利用制限中の為しばらくしてからご利用ください	ｉモードパケット定額サービスをご利用の場合に限り、一定時間内に著しく大量なデータ通信があったときに表示されます。一定時間接続できなくなることがありますので、しばらくたってからｉモードをご利用ください。
着信制限中です	ダイヤル着信制限中のため、操作できません。「発着信／メールロック設定」の「ダイヤル着信制限」のチェックを外してください。
チャネル情報取得失敗	ｉチャネルで情報を取得する際に、チャネル情報が一部またはすべて取得できなかったため、取得に失敗しました。電波状態の良い所に移動し、待受画面でCLRを押すと情報を受信します。
中断しました	一定時間経過しても通信相手が見つからないため、中断しました。通信相手の距離や角度や操作手順を確認してください。
通信できませんでした	操作が中断されるなどして、通信できませんでした。
低電圧	低電圧です。充電してください。
データ取得を中止しました	圏外などのためダウンロードを中止しました。電波状態の良い場所に移動してください。
データが不正です	プレイリスト名に1文字も入力されていません。プレイリスト名を入力してください。

次のページへ続く

エラーメッセージ	説　明
添付ファイルが削除されます	ｉモードメールの添付ファイルを受信したときとは異なるFOMAカードを挿入しているため、添付ファイルを削除して転送します。
入力データをご確認ください（205）	入力データに誤りがあります。入力データを確認してください。
認証を中止しました（401）	認証に失敗したため、接続を中止しました。
残りのデータを取得できません データを削除しました	部分的に保存したファイルの残りのデータをダウンロードする際に、エラーが発生してダウンロードできないため、データが削除されました。
残りのデータをダウンロードできません データを削除しました	部分的に保存したファイルの残りのデータをダウンロードする際に、エラーが発生してダウンロードできないため、データが削除されました。
発信制限中です	ダイヤル発信制限中のため、操作できません。「発着信／メールロック設定」の「ダイヤル発信制限」のチェックを外してください。
番号が無効です	電話番号がないメール履歴のため、電話をかけることができません。
ファイルがサポートされていません	非対応データまたは破損したデータのため、再生できません。
ファイルを添付することができません	添付可能なサイズを超えています。
フォルダ名が不正です	フォルダ名に無効な文字が入力されているか、1文字も入力されていません。有効なフォルダ名を入力してください。
不正なデータです	誤ったファイルを選択しているため、操作できません。
	データが不正なため、操作できません。
不正な名称が含まれています	ファイル名／フォルダ名に無効な文字が入力されているか、1文字も入力されていません。有効なファイル名／フォルダ名を入力してください。
プライバシーモード設定中です	プライバシーモード設定で制限されている機能のため、操作できません。「プライバシーモード設定」で該当する機能のチェックを外してください。
プレイリストに楽曲を追加できません	プレイリスト／各プレイリスト内の楽曲が保存件数いっぱいまで登録されているため、楽曲を登録できません。不要なプレイリスト／楽曲を削除してください。
プレイリストを作成できません	プレイリストは10件までしか登録できません。不要なプレイリストを削除してください。
保存期限が過ぎたためファイルを受信できません（492）	未取得の添付ファイルがｉモードセンターの保存期間を過ぎているため取得できませんでした。
保存領域がありません	保存先の保存領域が不足しているため、操作できません。不要なファイルを削除してください。
本体メモリーがいっぱいです	microSDカードに保存するか、FOMA端末内の不要なファイルを削除してください（画面に従って操作すると、各ファイルの容量の目安が表示されます）。
ホームは無効です	「ホーム」が「無効」に設定されています。「有効」に設定してください。
未再生なので保存できません	未再生のFlashアニメーションのため、保存できません。
ミュージックプレーヤー起動中です	ミュージックプレーヤーが起動しているため、操作できません。を押して、ミュージックプレーヤーを終了させてください。
無効なデータを受信しました	受信したデータにエラーがあるため、操作できません。

エラーメッセージ	説　明
無効なファイル名が含まれています	ファイル名／フォルダ名に無効な文字が入力されているか、1文字も入力されていません。有効なファイル名／フォルダ名を入力してください。
メモリ不足です	メモリが不足したため、処理を中断します。頻繁に表示される場合には、一度電源を入れ直してください。
メール受信が不可能です	「iモード問い合わせ」設定の項目すべてにチェックが付いていません。問い合わせる項目にチェックを付けてから再度操作してください。
メール受信表示は制限中です	メール受信表示制限中のため、操作できません。「発着信／メールロック設定」の「メール受信表示制限」のチェックを外してください。
メール送信制限中です	メール送信制限中のため、操作できません。「発着信／メールロック設定」の「メール送信制限」のチェックを外してください。
メール添付できません	添付可能なサイズを超えています。
容量が不足しています いくつかのファイルを削除してください	FOMA端末内の不要なファイルを削除してください（画面に従って操作すると、各ファイルの容量の目安が表示されます）。
呼出動作開始時間 電話帳ロックが、設定中です	「呼出動作開始時間設定」を「ON」に設定している場合、または「プライバシーモード設定」を「ON」に設定して「電話帳」にチェックを付けている場合は、「メモリ登録外着信拒否」は設定できません。
履歴表示設定がOFFのため表示できません	「履歴表示設定」が「OFF」のため、ライブキャラパーク画面を表示できません。「履歴表示設定」の項目をすべて「ON」に設定してください。
99曲以上保存できません	プレイリストには99曲までしか登録できません。不要な音楽データをプレイリストから削除してください。

エラーメッセージ	説　明
FOMAカード（UIM）が異なるためご利用できませんでした	FOMAカードセキュリティ機能により操作できません。ファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを挿入してから操作してください。
FOMAカード（UIM）が異なるためご利用できません	サイトなどからデータをダウンロードしたときや、メールの添付ファイル、メッセージR/Fを保存したときとは異なるFOMAカードを挿入しています。ダウンロードまたは保存したときと同じFOMAカードを挿入して利用してください。
FOMAカード（UIM）が異なるため起動できませんでした	FOMAカードセキュリティ機能によりiアプリを自動起動できませんでした。ファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを挿入してから操作してください。
FOMAカード（UIM）が異なるため指定されたソフトが起動できませんでした	サイトなどからダウンロードしたときのFOMAカードと連携して利用するiアプリを起動できません。ダウンロードしたときと同じFOMAカードを挿入して利用してください。
FOMAカード（UIM）が異なるため正しく表示できません	サイトなどからデータをダウンロードしたときや、メールの添付ファイル、メッセージR/Fを保存したときとは異なるFOMAカードを挿入しているため、画像など一部の制限対象データが表示されません。ダウンロードまたは保存したときと同じFOMAカードを挿入して利用してください。
	画面メモを保存したときとは異なるFOMAカードを挿入しています。保存したときと同じFOMAカードを挿入して利用してください。
FOMAカード（UIM）読み込み中	FOMAカードを読み込み中です。しばらくしてから操作してください。
FOMAカード（UIM）を挿入してください	FOMAカードが正しく差し込まれているかご確認ください。→P43

エラーメッセージ	説　明
FOMAカードが異なるため指定されたソフトが起動できませんでした	サイトなどからダウンロードしたときのFOMAカードと異なるため、指定されたソフトを起動できません。ダウンロードしたときと同じFOMAカードを挿入して利用してください。
FOMAカード情報が一致しないため起動できません	サイトなどからダウンロードしたときのFOMAカードと連携して利用するｉアプリを起動できません。ダウンロードしたときと同じFOMAカードを挿入して利用してください。
ｉアプリの通信回数が多くなっています 通信を継続しますか？ はい／いいえ／終了	ｉアプリご利用時の通信回数が一定時間内に著しく多い場合、表示されます。 「はい」を選択：ｉアプリを継続して利用します。 「いいえ」を選択：ｉアプリが通信を行わない場合、継続して利用できます。 「終了」を選択：ｉアプリを終了します。
ｉアプリTo設定されていません	「サイトからｉアプリTo」設定にチェックが付いていないため、ｉアプリを起動できません。チェックを付けてから、再度操作してください。
ｉモードセンターが混みあっています しばらくお待ち下さい（555）	回線設備が故障、または回線が非常に混み合っています。しばらくしてから再度操作してください。
ICカード内データにエラーがあるため削除できません	ICカード内のデータにエラーがあるためおサイフケータイ対応ｉアプリは削除できません。
PIN1（PIN2）コードエラー	入力したPIN1／PIN2コードが間違っています。正しいPIN1／PIN2コードを入力してください。
PIN1（PIN2）がロックされています	PIN1／PIN2コードを3回連続して間違えるとPINロックがかかります。PINロック解除コードを入力してください。
PIN1（PIN2）コードが認識できませんでした	PIN1／PIN2コードを3回連続して間違えるとPINロックがかかります。PINロック解除コードを入力してください。
PINロック解除コードエラー	入力したPINロック解除コードが間違っています。正しいPINロック解除コードを入力してください。
PINロック解除コードが認識できませんでした	PINロック解除コードを10回連続して間違えるとPINロック解除コードがロックされます。ドコモショップ窓口へお問い合わせください。
PINロック解除コードがロックされました	PINロック解除コードを10回連続して間違えるとPINロック解除コードがロックされます。ドコモショップ窓口へお問い合わせください。
PLMNが見つかりませんでした	選択可能なネットワークがありませんでした。
SMSセンター設定を確認してください	SMSの送信に失敗しました。「SMSセンター」設定を確認してください。
SSL通信が切断されました	改ざんされたSSL証明書を受信した、またはSSLエラーが発生したため接続できませんでした。
SSL通信が無効です	SSL通信の認証処理で問題が検出されました。接続は中止されます。
	サーバの認証エラーのため接続できません。
SSL通信が無効に設定されています	FOMA端末の証明書が無効に設定されています。接続するには設定を変更してください。
αエラーが発生しました	ｉアプリ起動中にエラーが発生しました。

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。また、FOMA端末の修理などを行った場合、iモード・iアプリにてダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により修理済みのFOMA端末などに移行を行っておりません。

  ※ 本FOMA端末は、電話帳などのデータやiモーションをmicroSDカードに保存していただくことができます。

  ※ 本FOMA端末は電話帳お預かりサービス（お申し込みが必要な有料サービス）をご利用いただくことにより、電話帳などのデータをお預かりセンターに保存していただくことができます。

  ※ パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalink（P428）とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）をご利用いただくことにより、電話帳などに登録された内容をパソコンに転送・保管していただくことができます。

アフターサービスについて

調子が悪い場合は

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら、まずチェック」をご覧になってお調べください。それでも調子が良くないときは、取扱説明書裏面・故障お問い合わせ先にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。

■ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。
- お買い上げ後の液晶画面・コネクタなどの破損の場合は、有料修理となります。

■ 以下の場合は、修理できないことがあります

- 故障受付窓口にて水濡れと判断した場合（例：水濡れシールが反応している場合）
- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子（イヤホンマイク端子）液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

- ご要望により有料修理いたします。

次のページへ続く

■部品の保有期間は

- FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後4年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理できない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面・故障お問い合わせ先へお問い合わせください。

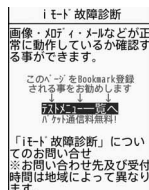
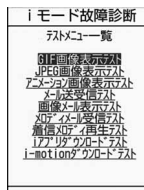
お願い

- FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
    以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    ･液晶部やキー部にシールなどを貼る
    ･接着剤などによりFOMA端末に装飾を施す
    ･外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- FOMA端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定や積算通話時間などの情報は、FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- FOMA端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。
  キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  使用箇所：スピーカー、受話口部
- FOMA端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によっては修理できないことがあります。

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

- お客様ご自身でFOMA端末などに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。情報内容の変化、消失に関し、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねます。
- FOMA端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様のFOMA端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合があります。本FOMA端末はFOMA端末にダウンロードされた画像・着信メロディを含むデータおよびお客様が作成されたデータを故障修理時に限り移し替えを行います（一部移し替えできないデータもあります。また、故障の程度によっては移し替えできない場合があります）。
  ※ FOMA端末に保存されたデータの容量により、移し替えに時間がかかる場合もしくは移し替えができない場合がございます。

ｉモード故障診断サイト

ご利用のFOMA端末において、メール送受信や画像・メロディのダウンロードなどが正常に動作しているかを、お客様ご自身でご確認いただけます。

TOP画面

テストメニュー一覧画面

- 「ｉモード故障診断サイト」への接続方法
  ｉモードサイト：ｉMenu▶お知らせ▶サービス・機能▶ｉモード▶ｉモード故障診断

サイト接続用QRコード

お知らせ

- ｉモード故障診断のパケット通信料は無料（海外からのアクセスの場合は有料）となります。
- FOMA端末の機種によりテスト項目は異なります。また、テスト項目は変更になることがあります。
- 各テスト項目で動作をご確認する際は、サイト内の注意事項をよくお読みになり、テストを行ってください。
- ｉモード故障診断サイトへの接続およびメール送信テストを行う際に、お客様のFOMA端末固有の情報（機種名やメールアドレスなど）が自動的にサーバ（ｉモード故障診断サーバ）に送信されます。当社は送信された情報をｉモード故障診断以外の目的には利用いたしません。
- ご確認の結果、故障と思われる場合は、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」までお問い合わせください。

ソフトウェア更新

ソフトウェアを更新する

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかネットワークに接続してチェックし、必要な場合にはパケット通信※を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。
FOMA端末を操作する上で重要な部分であるソフトウェアを更新することで、FOMA端末の機能・操作性を向上させることができます。
ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページおよびｉMenuの「お客様サポート」にてご案内させていただきます。
ソフトウェアを更新するには、「自動更新」、「即時更新」、「予約更新」の3つの方法があります。

- 自動更新：新しいソフトウェアを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時間に書換えを行います。
- 即時更新：更新したいときすぐに更新を行います。
- 予約更新：更新したい日時を予約すると、予約した日時に自動的にソフトウェアが更新されます。

※ ソフトウェア更新を行う場合のパケット通信料は無料となります。

次のページへ続く

- ｉモード接続先をユーザ接続先に設定している場合もソフトウェア更新を行うことができます。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。
- 次の場合はソフトウェア更新を実行できません。
  - オールロック中
  - 他の機能を実行しているとき
  - 日付・時刻を設定していないとき
  - FOMAカードが未挿入のとき
  - 電池がフル充電されていないとき
  - おまかせロック中
  - 「圏外」が表示されているとき
  - セルフモード中
  - 電源が入っていないとき
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかることがあります。
- 「PIN1コードリクエスト」を「ON」に設定中にソフトウェア更新を実行した場合、ソフトウェア書き換え終了後の自動再起動時に、PIN1コード入力画面は表示されません。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能および、その他機能を利用することはできません（ダウンロード中は音声着信が可能です）。
- ソフトウェア更新の際にはサーバ（当社のサイト）へSSL通信を行います。SSL証明書を有効にしておいてください。（お買い上げ時：有効。設定方法は→P200）
- ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナマークが3本表示されている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態の良い場所でソフトウェア更新を行ってください。
- すでにソフトウェア更新済みの場合は、ソフトウェア更新のチェックを行った際に「更新の必要はありません」と表示されます。
- ソフトウェア更新後、表示されていたｉモードセンター蓄積状態表示のアイコンは消えます。また、「メール選択受信設定」を「ON」に設定してある場合、ソフトウェア更新中にメールが届くと、ソフトウェア更新後にメールがあることを通知する画面が表示されないことがあります。
- ソフトウェア更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合、「書換え失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。
- 海外ではソフトウェア更新をご利用できません。

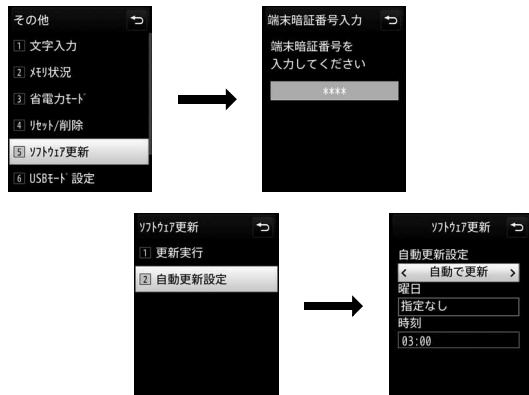
お知らせ

- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新は、FOMA端末に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行うことができますが、お客様のFOMA端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がございますので、あらかじめご了承願います。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承願います。

自動更新設定

ソフトウェア更新を自動で行う

新しいソフトを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時間に書換えを行います。

- お買い上げ時は、自動更新設定が「自動で更新」、曜日が「指定なし」、時刻が「03時00分」に設定されています。

1 MENU▶「Settings」▶「その他」▶「ソフトウェア更新」▶端末暗証番号を入力▶「自動更新設定」▶次の操作を行う

[自動更新設定]

自動で更新：自動更新します。
更新の通知のみ：自動更新せず、更新のお知らせのみ通知します。
設定しない：自動更新しません。

[曜日]※
書換えを行う曜日を指定します。

[時刻]※
書換え時刻を指定します。

※「自動更新設定」を「自動で更新」にすると設定できます。

2 [完了]

更新が必要になると

書換え可能な状態になると、待受画面に（書換え予告アイコン）が表示され、書換え時刻の確認を行い、書換え時刻の変更や今すぐ書換えをするかを選択できます。

- （書換え予告アイコン）が表示された状態で書換え時刻になると、自動で書換えが行われ、（書換え予告アイコン）は消去されます。

1 待受画面で▶（書換え予告アイコン）を選択

2 「OK」

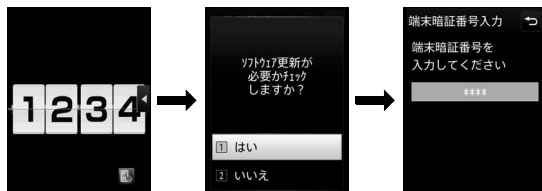
一度待受画面に戻り、設定時刻に書換えを開始します。

- 「時刻変更」：書換え時刻を変更します。
- 「今すぐ書換え」：すぐに書換えを開始します。以降の操作については、「すぐにソフトウェアを更新する」（P462）を参照してください。

ソフトウェア更新を起動する

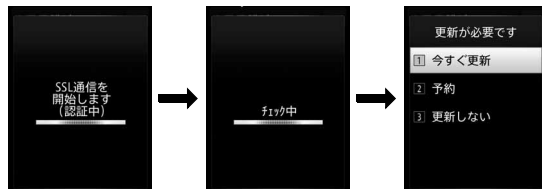
ソフトウェア更新を起動するには、待受画面に表示された（更新お知らせアイコン）を選択して行う方法とメニュー画面から行う方法があります。

1 （更新お知らせアイコン）を選択する場合

待受画面で（更新お知らせアイコン）を選択▶「はい」▶端末暗証番号を入力

メニュー画面から行う場合

MENU▶「Settings」▶「その他」▶「ソフトウェア更新」▶端末暗証番号を入力▶「更新実行」

通信が開始され、ソフトウェア更新が必要かチェックされます。

- 更新が必要な場合は、ソフトウェア更新確認画面が表示されます。
- ソフトウェア更新が不要の際は「更新の必要はありません」と表示されますので、そのままご利用ください。

すぐにソフトウェアを更新する

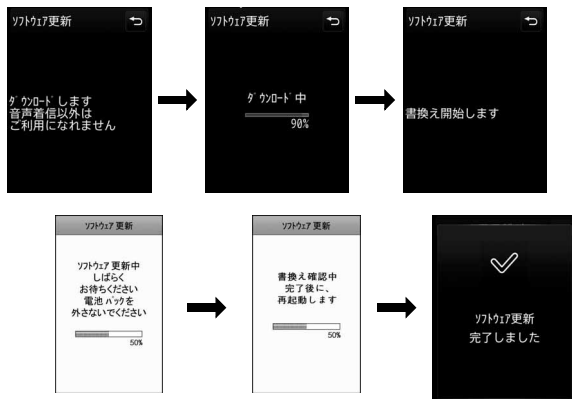
1 **ソフトウェア更新確認画面で「今すぐ更新」▶ダウンロード開始画面で「OK」**

ダウンロードが開始され、完了するとソフトウェア書き換えの確認画面が表示されます。

2 **「OK」**

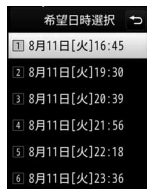
ソフトの書き換えが開始され、完了すると自動的に再起動してソフトウェア更新完了画面が表示されます。

- 書き換え中はすべての操作が無効になります。

3 **「OK」**

日時を予約してソフトウェアを更新する

ダウンロードに時間がかかる場合、サーバが混みあっている場合には、あらかじめソフトウェア更新を起動する時刻をサーバと通信して設定しておくことができます。

1 ソフトウェア更新確認画面で「予約」

希望日時選択画面が表示されます。

2 日時を選択▶「はい」

- 設定された日時になると、自動的にソフトウェアの更新が行われます。

- 希望日時選択画面で「その他の日時」を選択すると、希望日と更新可能な時間帯を個別に設定することができます。

お知らせ

- ソフトウェア更新の予約では、サーバの時刻が表示されます。
- 他の機能を使用していると予約時刻になっても起動しないことがあるのでご注意ください。
- アラームなどが起動している場合には、ソフトウェア更新が起動されない場合があります。
- 予約が完了した後に「メモリ削除」（P132）を行うと、予約時刻になってもソフトウェア更新は起動しません。再度ソフトウェア更新の予約を行ってください。

予約した日時を確認・変更・取り消す

1 MENU▶「Settings」▶「その他」▶「ソフトウェア更新」▶端末暗証番号を入力▶「更新実行」

予約時刻が表示されます。

- 「変更」：予約日時を変更します。
- 「取消」：予約を取り消します。

ソフトウェアの更新を終了する

各画面で[MENU]［中止］を押したり「キャンセル」を選択した場合は、操作終了の画面が表示されます。
「はい」を選択するとソフトウェア更新を終了して待受画面に戻ります。「いいえ」を選択すると前の画面に戻ります。

スキャン機能

障害を引き起こすデータから携帯電話を守る

まず初めに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

サイトからのダウンロードやｉモードメールなど外部からFOMA端末に取り込んだデータやプログラムについて、データを検知して、障害を引き起こす可能性を含むデータの削除やアプリケーションの起動を中止します。

- チェックのためにパターンデータを使います。パターンデータは新たな問題が発見された場合に随時バージョンアップされますので、パターンデータを更新してください。→P464
- スキャン機能は、ホームページの閲覧やメール受信などの際に携帯電話に何らかの障害を引き起こすデータの侵入から一定の防衛手段を提供する機能です。各障害に対応したパターンデータが携帯電話にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合、本機能にて障害などの発生を防ぐことができませんのであらかじめご了承ください。
- パターンデータは携帯電話の機種ごとにデータの内容が異なります。よって弊社の都合により端末発売開始後3年を経過した機種向けパターンデータの配信は、停止することがありますのであらかじめご了承ください。

スキャン機能を設定する

「ON」に設定すると、データやプログラムを実行する際、自動的にチェックします。

1 [MENU]▶「Settings」▶「ロック／セキュリティ」▶「スキャン機能」▶「スキャン機能設定」

2 「スキャン機能」／「メッセージスキャン」▶「ON」／「OFF」

スキャン機能　：「ON」に設定すると、障害を引き起こすデータを検出した場合に、5段階の警告レベルで表示されます。→P465

メッセージスキャン：「ON」に設定すると、SMSに電話番号やURLが記載されている場合、そのSMSを最初に表示するとき、電話番号やURLが記述されている旨をお知らせする画面が表示されます。

3 「はい」／「いいえ」

パターンデータを更新する

1 [MENU]▶「Settings」▶「ロック／セキュリティ」▶「スキャン機能」▶「パターンデータ更新」▶「はい」▶「はい」

更新が開始されます。更新が終了すると完了をお知らせする画面が表示されます。

- パターンデータが最新の場合は、最新をお知らせする画面が表示されます。

2 [■]［OK］

お知らせ

- パターンデータ更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号）が、自動的にサーバ（当社が管理するスキャン機能用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報をスキャン機能以外の目的には利用いたしません。
- FOMA端末の時計を正しく設定しておいてください。
- 次の場合はパターンデータを更新できません。
  - 日付／時刻を設定していないとき
  - FOMAカードが未挿入のとき
  - 電池残量が少ないとき
  - 圏外にいるとき
  - 他の機能が動作中
  - オールロック中
  - 通話中
  - セルフモード中
  - プライバシーモード設定中
  - パソコンなどの外部機器と接続中

パターンデータを自動的に更新するには

パターンデータを最新の状態に保つように自動的に更新するようにできます。MENU▶「Settings」▶「ロック／セキュリティ」▶「スキャン機能」▶「自動更新設定」▶「有効」▶「はい」▶「はい」▶■［OK］を選択します。

スキャン結果の表示について

障害を引き起こす可能性があるデータを検出した場合は、警告レベルを示す画面が表示されます。

警告レベル0	警告レベル1	警告レベル2
「OK」：動作を継続します。	「はい」：動作を中止して、終了します。 「いいえ」：動作を継続します。	「OK」：動作を中止して、終了します。

警告レベル3	警告レベル4
「はい」：データを削除して、終了します。 「いいえ」：動作を中止して、終了します。	「OK」：データを削除して、終了します。

次のページへ続く

お知らせ

- スキャン結果によっては、画面表示が異なる場合があります。

■ **スキャンされた問題要素の表示について**

警告レベルを示す画面で「詳細」を選択すると、右のような問題要素の一覧画面が表示されます。

- 画面はイメージです。実際の画面では、「XXXXXXXX」の部分に検出されたデータ名が表示されます。
- 検出されたデータの種類によっては、「詳細」が表示されない場合があります。
- 問題要素が6件以上検出された場合は、6件目以降の問題要素の表示は省略され、合計件数のみ表示されます。

パターンデータのバージョンを確認する

1 MENU▶「Settings」▶「ロック／セキュリティ」▶「スキャン機能」▶「バージョン表示」

主な仕様

■ **本体**

項目			仕様
品　名			L-06A
サイズ（H×W×D）			約110mm×約52mm×約15.4mm（最厚部：約18.5mm）
質　量			約131g（電池パック装着時）
連続待受時間	FOMA／3G	3G／GSM切替：3G	移動時：約280時間
		3G／GSM切替：自動	静止時：約320時間 移動時：約210時間
	GSM	3G／GSM切替：自動	静止時：約220時間
連続通話時間	FOMA／3G		音声電話時：約200分 テレビ電話時：約80分
	GSM		音声電話時：約180分
ワンセグ視聴時間			約140分
充電時間			ACアダプタ：約180分 DCアダプタ：約180分
液晶部	方式		ディスプレイ：TFT 262,144色 イルミネーション：LED1色
	サイズ		ディスプレイ：約3.0inch イルミネーション：約1.0inch
	画素数		ディスプレイ ：384,000画素 （480ドット×800ドット） イルミネーション： ：5ドット×17ドット

撮像素子	**種類**	インカメラ：CMOS アウトカメラ：CMOS
	サイズ	インカメラ：1/11.0inch アウトカメラ：1/3.2inch
	有効画素数	インカメラ：約31万画素 アウトカメラ：約510万画素
カメラ部	**記録画素数（最大時）**	インカメラ：約30万画素 アウトカメラ：約500万画素
	ズーム（デジタル）	インカメラ：なし（静止画撮影時）最大約5倍（動画撮影時） アウトカメラ：最大約2倍（静止画撮影時）最大約5倍（動画撮影時）
記録部	**静止画保存枚数**	約100枚（お買い上げ時）※1 約1900枚※1（削除可能なプリインストールデータ削除時）
	静止画連続撮影	CIF（352×288）：4枚 QVGA（320×240）／QCIF（176×144）／Sub-QCIF（128×96）：6枚
	静止画ファイル形式	JPEG
	動画録画時間	約60分※2
	動画ファイル形式	MP4
音楽再生	**連続再生時間**	SDオーディオ（バックグラウンド再生対応）：約500分※3 着うたフル®（バックグラウンド再生対応）：約600分※3 ｉモーション※4：約180分※3 WMAデータ（バックグラウンド再生対応）：約550分 Music＆Videoチャネル： Music：約600分（バックグラウンド再生対応） Video：約180分
保存容量	**着うた®／着うたフル®**	約150MB※5

※1　サイズ選択：Sub-QCIF（128×96）　保存画質設定：標準
　　ファイルサイズ：10K
※2　以下の条件で保存できる1件あたりの最大録画時間です。
　　サイズ選択：Sub-QCIF　サイズ制限：制限なし
　　画質設定：標準　撮影種別：画像+音声
※3　ファイル形式：AAC形式
※4　音声のみのｉモーション
※5　Music&Videoチャネルと共有

次のページへ続く

■電池パック

品　名	電池パック L05
使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	3.7V
公称容量	900mAh

- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態で移動したときの時間の目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか、弱い場所など）などにより、待受時間は約半分程度になることがあります。ｉモード通信を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。また、通話やｉモード通信をしなくてもｉモードメールを作成、ダウンロードしたｉアプリやｉアプリ待受画面を起動、データ通信、マルチアクセスの実行、カメラの使用、動画やメロディの再生などを行うと、通話（通信）・待受時間は短くなります。
- 静止時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じ、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 移動時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じ、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。
- ワンセグ視聴時間とは、電波を正常に受信できる状態で、平型ステレオイヤホンセットＰ０１（別売）を使用して視聴できる時間の目安です。なお、電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、ワンセグ視聴時間は短くなることがあります。
- 充電時間は、FOMA端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの目安です。FOMA端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

静止画の保存枚数の目安

保存できる件数は、解像度、画質の設定や撮影状態、被写体により異なります。

保存先	L-06A（本体）※		
画質 / 解像度	スーパーファイン	ファイン	標準
5.1M（2560×1920）	約180枚	約360枚	約470枚
3M（2048×1536）	約230枚	約470枚	約660枚
2M（1600×1200）	約330枚	約630枚	約1010枚
1M（1280×960）	約710枚	約1130枚	約1740枚
VGA（640×480）	約1900枚	約1900枚	約1900枚
CIF（352×288）	約1900枚	約1900枚	約1900枚
QVGA（320×240）	約1900枚	約1900枚	約1900枚
QCIF（176×144）	約1900枚	約1900枚	約1900枚
Sub-QCIF（128×96）	約1900枚	約1900枚	約1900枚
壁紙（800×480）	約1260枚	約1640枚	約1820枚

※ 削除可能なプリインストールデータを削除した場合の保存可能枚数です。

保存先	microSDカード（64MB）		
画質／解像度	スーパーファイン	ファイン	標準
5.1M（2560×1920）	約70枚	約150枚	約190枚
3M（2048×1536）	約90枚	約190枚	約260枚
2M（1600×1200）	約130枚	約250枚	約400枚
1M（1280×960）	約280枚	約450枚	約700枚
VGA（640×480）	約800枚	約1500枚	約2300枚
CIF（352×288）	約2000枚	約3400枚	約5000枚
QVGA（320×240）	約2500枚	約4300枚	約6000枚
QCIF（176×144）	約2860枚	約4500枚	約6250枚
Sub-QCIF（128×96）	約3230枚	約4700枚	約6550枚
壁紙（800×480）	約500枚	約660枚	約730枚

動画の録画時間の目安

動画の撮影時間は、動画容量、画質の設定や撮影状態、被写体により異なります。

■ 1回あたりの連続録画時間

保存先		L-06A（本体）		
撮影種別	サイズ制限	制限なし		
	解像度／画質	QVGA (320×240)	QCIF (176×144)	Sub-QCIF (128×96)
音声＋映像	スーパーファイン	約45分	約60分	約60分
	ファイン	約60分	約60分	約60分
	標準	約60分	約60分	約60分
映像のみ	スーパーファイン	約45分	約60分	約60分
	ファイン	約60分	約60分	約60分
	標準	約60分	約60分	約60分
音声のみ		約60分		

次のページへ続く

保存先		L-06A（本体）		
撮影種別	サイズ制限	メールサイズ大		
	解像度／画質	QVGA (320×240)	QCIF (176×144)	Sub-QCIF (128×96)
音声＋映像	スーパーファイン	約30秒	約113秒	約205秒
	ファイン	約47秒	約145秒	約255秒
	標準	約77秒	約233秒	約400秒
映像のみ	スーパーファイン	約32秒	約125秒	約240秒
	ファイン	約50秒	約163秒	約320秒
	標準	約83秒	約245秒	約472秒
音声のみ		約1161秒		

保存先		L-06A（本体）		
撮影種別	サイズ制限	メールサイズ小		
	解像度／画質	QVGA (320×240)	QCIF (176×144)	Sub-QCIF (128×96)
音声＋映像	スーパーファイン	約7秒	約28秒	約51秒
	ファイン	約11秒	約36秒	約63秒
	標準	約19秒	約58秒	約100秒
映像のみ	スーパーファイン	約8秒	約31秒	約60秒
	ファイン	約12秒	約40秒	約80秒
	標準	約20秒	約61秒	約118秒
音声のみ		約290秒		

保存先		microSDカード（64MB）		
撮影種別	サイズ制限	制限なし		
	解像度／画質	QVGA (320×240)	QCIF (176×144)	Sub-QCIF (128×96)
音声＋映像	スーパーファイン	約20分	約60分	約60分
	ファイン	約30分	約60分	約60分
	標準	約60分	約60分	約60分
映像のみ	スーパーファイン	約20分	約60分	約60分
	ファイン	約35分	約60分	約60分
	標準	約60分	約60分	約60分
音声のみ		約60分		

保存先		microSDカード（64MB）		
撮影種別	サイズ制限	メールサイズ大		
	解像度／画質	QVGA (320×240)	QCIF (176×144)	Sub-QCIF (128×96)
音声＋映像	スーパーファイン	約30秒	約113秒	約205秒
	ファイン	約47秒	約145秒	約255秒
	標準	約77秒	約233秒	約400秒
映像のみ	スーパーファイン	約32秒	約125秒	約240秒
	ファイン	約50秒	約163秒	約320秒
	標準	約83秒	約245秒	約472秒
音声のみ		約1161秒		

保存先		microSDカード（64MB）		
撮影種別	サイズ制限	メールサイズ小		
	解像度 / 画質	QVGA (320×240)	QCIF (176×144)	Sub-QCIF (128×96)
音声＋映像	スーパーファイン	約7秒	約28秒	約51秒
	ファイン	約11秒	約36秒	約63秒
	標準	約19秒	約58秒	約100秒
映像のみ	スーパーファイン	約8秒	約31秒	約60秒
	ファイン	約12秒	約40秒	約80秒
	標準	約20秒	約61秒	約118秒
音声のみ		約290秒		

■合計録画時間：各サイズ制限共通

保存先		L-06A（本体）※		
撮影種別	解像度 / 画質	QVGA (320×240)	QCIF (176×144)	Sub-QCIF (128×96)
音声＋映像	スーパーファイン	約50分	約165分	約300分
	ファイン	約70分	約210分	約380分
	標準	約110分	約300分	約512分
映像のみ	スーパーファイン	約50分	約180分	約426分
	ファイン	約70分	約240分	約512分
	標準	約118分	約358分	約737分
音声のみ		約1600分		

※ 削除可能なプリインストールデータを削除した場合の録画時間です。

保存先		microSDカード（64MB）		
撮影種別	解像度 / 画質	QVGA (320×240)	QCIF (176×144)	Sub-QCIF (128×96)
音声＋映像	スーパーファイン	約22分	約74分	約135分
	ファイン	約31分	約95分	約172分
	標準	約50分	約135分	約232分
映像のみ	スーパーファイン	約22分	約82分	約194分
	ファイン	約32分	約109分	約233分
	標準	約54分	約163分	約335分
音声のみ		約800分		

FOMA端末に保存／保護できる件数

各データの最大保存件数／最大保護件数は、FOMA端末に保存されているデータ量や、メモリ使用量により異なります。

種　別		最大保存件数	最大保護件数
電話帳		1000件※1	－
スケジュール	スケジュール	200件	－
	休日	100件※2	－
To Do		50件	－
メモ	スケッチメモ	10件	－
	テキストメモ	50件	－
メール	受信メール※3	1000件	1000件
	送信メール	500件	500件
	未送信メール		－

種　別		最大保存件数	最大保護件数
メッセージ	メッセージR	100件	100件
	メッセージF	100件	100件
テンプレート		100件※4	－
ブックマーク	iモード	100件	－
	フルブラウザ	100件	－
画面メモ		50件	25件
iアプリ		100件※4	－
データBOX	画像※5	2000件※4	－
	動画／iモーション	2000件※4	－
	メロディ	2000件※4	－
	きせかえツール	2000件※4	－

※1　50件までFOMAカードに保存できます。
※2　お買い上げ時に設定されている祝日を含みます。
※3　「受信BOX」フォルダに保存されている「♪Welcome Mail♪」「Welcome ドコモ動画」の件数を含みます。
※4　お買い上げ時に登録されているデータを含みます。
※5　スライドショーは最大30件（画像の最大保存件数2000件に含む）保存できます。

携帯電話機の比吸収率など

携帯電話機の比吸収率（SAR）

この機種L-06Aの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。
すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。この携帯電話機L-06AのSARの値は0.892W/kgです。この値は、財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。なお、本機のSARの値は、ご利用いただけます各国の許容値も満足しております。
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、次のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
　：http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ
　：http://www.arib-emf.org/index.html
ドコモのホームページ
　：http://www.nttdocomo.co.jp/product/
LG Mobileホームページ
　：http://jp.lgmobile.com/

※ 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

Radio Frequency (RF) Signals

THIS MODEL PHONE MEETS THE U.S. GOVERNMENT'S REQUIREMENTS FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES.
Your wireless phone contains a radio transmitter and receiver. Your phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.
The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6W/kg.* Tests for SAR are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the output.
Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC when tested for use at the ear is 0.603W/kg, and when worn on the body, is 0.368W/kg. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements).
While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirement.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section at http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ after search on FCC ID BEJL06A.
For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines when used with an accessory designated for this product or when used with an accessory that contains no metal and that positions the handset a minimum of 2.5 cm from the body.

＊ In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the public is 1.6 watts/kg (W/kg) averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

Declaration of Conformity

The product "L-06A" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2.
This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves.
Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits** for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.209W/kg. While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.

＊ The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

＊＊ The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

＊＊＊ Tests for SAR have been conducted using standard operating positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

Important Safety Information

AIRCRAFT
Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers a 'flight mode' or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.

DRIVING
Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

HOSPITALS
Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.

PETROL STATIONS
Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.

INTERFERENCE
Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.

Pacemakers
Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15cm be maintained between a mobile phone and a pacemaker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and do not carry it in a breast pocket.

Hearing Aids
Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.

For other Medical Devices:
Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けます。本製品及び付属品を輸出及び再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問合せください。

知的財産権

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、地図データ、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

商標について

- 「FOMA」「mova」「着もじ」「ｉモード」「ｉアプリ」「ｉアプリDX」「WORLD CALL」「WORLD WING」「公共モード」「ｉメロディ」「ｉエリア」「ｉモーション」「ｉモーションメール」「着モーション」「デコメール®」「デコメ®」「デコメアニメ®」「電話帳お預かりサービス」「おまかせロック」「mopera」「mopera U」「sigmarion」「musea」「デュアルネットワーク」「ビジュアルネット」「Ｖライブ」「ｉチャネル」「おサイフケータイ」「DCMX」「iD」「セキュリティスキャン」「メッセージF」「マルチナンバー」「Music&Videoチャネル」「メロディコール」「DoPa」「OFFICEED」「IMCS」「パケ・ホーダイ」「イマドコかんたんサーチ」「iCお引っこしサービス」「ケータイお探しサービス」「ファミリーワイドリミット」「きせかえツール」「docomo PRIME series」および「FOMA」ロゴ、「ｉ-mode」ロゴ、「ｉ-αppli」ロゴ、「Music&Videoチャネル」ロゴ、「iC」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- フリーダイヤルサービス名称とフリーダイヤルロゴマークはNTTコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- 「マルチタスク／Multitask」は日本電気株式会社の登録商標です。
- 「キャッチホン」は、日本電信電話株式会社の登録商標です。
- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
- QuickTimeは、米国および他の国々で登録された米国Apple Inc.の登録商標です。

- Powered by JBlend™ Copyright 2002-2009 Aplix Corporation. All rights reserved.
  JBlendおよびJBlendに関する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc. およびその関係会社の日本国内における登録商標です。

- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browser、NetFront Sync Clientを搭載しています。

  ACCESS、NetFrontは、日本国、米国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。
  Copyright© 2009 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
- AdobeおよびAdobe Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- microSDHCロゴは商標です。

- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、Windows Media®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- 「ナップスター」は、Napster,LLC.の米国内外における登録商標です。
- Google、Gmail、YouTube、Picasa は、Google, inc.の商標または登録商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
  Dolby、ドルビー及びダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- 「AXISフォント」は株式会社アクシスの登録商標です。また、「AXIS」フォントはタイププロジェクト株式会社が制作したフォントです。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Lite™テクノロジーを搭載しています。
ADOBE FLASH ENABLED
Adobe Flash Lite Copyright© 2003-2008 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
Adobe、FlashおよびFlash LiteはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- 本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
  - Windows 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。
- 本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4ビデオ）を記録する場合
  - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4ビデオを再生する場合
  - MPEG-LAよりライセンスをうけた提供者から入手されたMPEG-4ビデオを再生する場合

  詳細については米国法人MPEG LA,LLCにお問い合わせください。
- 下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。
Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations;

4,901,307	5,504,773	5,109,390	5,535,239
5,267,262	5,600,754	5,416,797	5,490,165
5,101,501	5,511,073	5,267,261	5,568,483
5,414,796	5,659,569	5,056,109	5,506,865
5,228,054	5,544,196	5,337,338	5,657,420
5,710,784	5,778,338		

索引／クイックマニュアル／퀵매뉴얼

索引

索引の引きかた

● 本索引は、「五十音目次」としての機能もございます。本書に記載されている用語だけでなく、記載内容を要約した用語も収録しています。知りたい事項が収録されていない場合は、別のキーワードで探してください。

例：デコメール®を作成したいとき

デコメール® 141
　作成 141
　パレットの操作 142
　パレット表示. 141

メール作成 138
　宛先追加（同報送信）. . . .139
　送信 138
　デコメール®作成 141
　テンプレート選択 144
　ファイルを添付 146

● メールアドレス設定、メール受信／拒否設定、メールサイズ制限、メール機能停止／再開など、ｉモードセンター内の設定については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。
● データ通信については付属のCD-ROMに収録されている「パソコン接続マニュアル」をご覧ください。

ア

カ

サ

タ

ナ

ハ

マ

ヤ

ラ

ワ

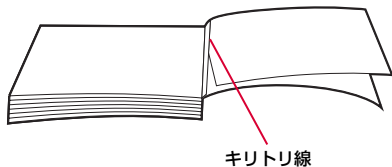
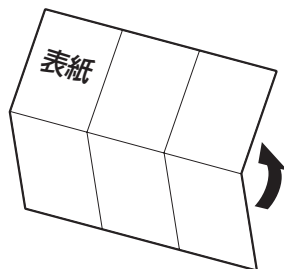
英数字

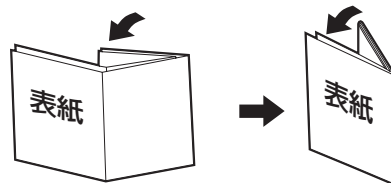
クイックマニュアル

クイックマニュアルの使い方

本書に綴じ込みされているクイックマニュアルはキリトリ線で切り取り、下記のように折ってご使用ください。
クイックマニュアル（海外利用編）は、海外で国際ローミング（WORLD WING）をご利用いただく際に携帯してください。

- はさみなどを使用して切り離す場合は、けがなどに気を付けてください。

1 キリトリ線に沿ってクイックマニュアルを切り離す

2 縦半分に折り畳む

3 ページの線に合わせて横に2回折り畳む

キリトリ線

docomo L-06A
クイックマニュアル

総合お問い合わせ先〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合
（局番なしの）151（無料）
※一般電話などからはご利用できません。

■一般電話などからの場合
0120-800-000
※携帯電話、PHS からもご利用になれます。

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合
（局番なしの）113（無料）
※一般電話などからはご利用できません。

■一般電話などからの場合
0120-800-000
※携帯電話、PHS からもご利用になれます。

・ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

複数の言語を切り替える

画面を英語や韓国語表示に切り替える

[MENU]▶「Settings」▶「Select language」※▶「日本語」／「English」／「한국어」

※ 画面を英語または韓国語に切り替えているときは、「マルチリンガル」と表示されます。

SMS 本文で入力モードを切り替える

韓国語に対応している端末どうしで、韓国語が入力されたSMSの送受信ができます。韓国語を入力するには、「日・韓（70文字）」に設定してください。

待受画面▶[✉]▶「メール設定」▶「SMS」▶「SMS本文入力」▶「日本語（70文字）」／「日・韓（70文字）」／「英語（160文字）」

電話帳の登録

電話帳の登録

待受画面▶[□]（1秒以上）▶項目をそれぞれ入力▶[iα]［完了］

■ **登録先の設定**
「(登録先選択)」▶「本体」／「FOMAカード(UIM)」

■ **メモリ番号の設定**
「No(メモリ番号入力)」▶メモリ番号を入力※
※FOMA端末（本体）電話帳のみ表示されます。

■ **名前の設定**
「名前」▶名前を入力

■ **フリガナの設定**
「ｶﾅフリガナ」▶フリガナを入力

■ **電話番号の設定**
「☎電話番号」▶電話番号を入力▶アイコンを選択

■ **メールアドレスの設定**
「メールアドレス」▶メールアドレスを入力▶アイコンを選択

■ **グループの設定**
「(グループ選択)」▶グループを選択

リダイヤル／着信履歴から登録

[✉]でリダイヤル／着信履歴を表示▶登録する履歴を選択▶[MENU]［メニュー］▶「電話帳登録」▶「新規登録」／「追加登録」▶登録する電話帳を選択※▶電話帳を登録／修正▶[iα]［完了］▶「はい」※

※「追加登録」の場合のみ、この操作を行います。

電話帳の修正

電話帳を選択▶[MENU]［メニュー］▶「編集」▶それぞれの項目を修正▶[iα]［完了］▶「はい」

文字の入力

※「韓」はSMS本文の入力を「日・韓（70文字）」に設定しているときに表示されます。

文字入力画面での主な操作

■ **入力モードを切り替える**
[iα]［文字］▶[iα]［切替］を数回押す

■ **全角／半角を切り替える**
[iα]［文字］▶[✉]

■ **絵文字／記号／顔文字入力モードに切り替える**
[📷TV]［絵／記］▶[iα]［切替］を数回押す

■ **濁点、半濁点入力／大文字または小文字切り替え**
文字を入力して[*]を数回押す

■ **句読点入力**
[#]を数回押す

■ **改行を入力**
[*]／[□]

■ **スペースを入力**
[MENU]［メニュー］▶「特殊入力」▶「スペース」／文末で[▶]

文字入力の例

■「ドコモ」を入力する

「どこも」を入力

「ど」：[4] を5回▶[*] を1回
「こ」：[2] を5回
「も」：[7] を5回

▶[↓]で予測候補にカーソルを移動▶[✉]で「ドコモ」にカーソルを移動▶[■]［選択］※

※ iモードメールのメール本文入力画面以外の文字入力画面では、「確定」と表示されます。

カメラ機能

静止画撮影

ターンビュースタイルの待受画面▶[カメラ]▶被写体を確認し、[カメラ]▶[保存]／[カメラ]

動画撮影

ターンビュースタイルの待受画面▶[カメラ]▶[MODE]▶「ビデオモード」▶被写体を確認し、●／[カメラ]▶[■]／[カメラ]▶[保存]／[カメラ]

音楽データの再生

[MENU]▶「MUSIC」▶「ミュージックプレーヤー」▶「全曲」▶音楽データにカーソルを移動▶[■]［再生］

テレビ電話をかける／受ける

テレビ電話をかける

相手の電話番号を入力▶[✉]［テレビ電話］▶通話が終了したら[終話]

テレビ電話を受ける

テレビ電話を着信▶[通話]▶通話が終了したら[終話]

- [▲]／[▼]：受話音量を調節する
- [終話]：応答を保留する
- [■]［代替画像］：代替画像で応答する

テレビ電話中の主な操作

■ 通話の保留／保留解除

[MENU]［メニュー］▶「保留」

- [■]［解除］：保留を解除する

■ ハンズフリー通話の設定／解除

[■]［Spk ON］

- [■]［Spk OFF］を押すと解除します。

■ カメラ画像／代替画像の切り替え

[iα]［代替画像］

- [iα]［カメラ］を押すとカメラ画像に戻ります。

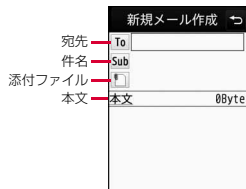
■ インカメラ／アウトカメラの切り替え

[MENU]［メニュー］▶「カメラ切替」

- もう一度「カメラ切替」を選択するとインカメラに戻ります。

iモードメール

iモードメールの作成／送信

新規メール作成 画面：
- 宛先 — To
- 件名 — Sub
- 添付ファイル
- 本文 — 本文 0Byte

■ 新規メール作成画面を表示

待受画面▶[✉]▶「新規メール作成」

■ 宛先を入力

To 欄を選択▶「直接入力」▶宛先を入力

■ 件名を入力

Sub 欄を選択▶件名を入力

■ 本文を入力

［本文］欄を選択▶本文を入力

■ メールを送信

[iα]［送信］

キリトリ線

キリトリ線

ファイルの添付

■ **画像／ムービー／モーションお絵かきTM／メロディ／電話帳／カレンダー／To Do／Bookmark／その他の添付**

ｉモードメール作成画面（P10）で欄を選択▶添付したいファイルの種類を選択▶添付したいファイルを選択

※ ファイルの種類によって選択方法が異なります。

■ **静止画／動画を撮影して添付**

ｉモードメール作成画面（P10）で欄を選択▶「画像」／「ムービー」▶「カメラ起動」▶静止画／動画を撮影▶［保存］（ターンビュースタイルのときは）

ｉモードメールの受信

ｉモードメールを受信▶「メール」▶フォルダを選択▶表示したいｉモードメールを選択

ｉモード問い合わせ

待受画面▶（1秒以上）

その他のメール機能

■ **メールの返信**

返信したいメールを表示▶［メニュー］▶「返信／転送」▶「返信」／「引用付き返信」▶件名、本文を入力▶［送信］

■ **メールの転送**

転送したいメールを表示▶［メニュー］▶「返信／転送」▶「転送」▶宛先を入力▶［送信］

SMS の作成／送信

待受画面▶▶「SMS」▶「SMS作成」▶To欄を選択▶「直接入力」▶電話番号を入力▶欄を選択▶本文を入力▶［送信］

メニュー一覧

機能名		
Mail	1	受信メール
	2	新規メール作成
	3	未送信メール
	4	送信メール
	5	ｉモード問い合わせ
	6	メール選択受信
	7	SMS
	8	テンプレート
	9	メール設定
ｉmode	1	ｉMenu
	2	Bookmark
	3	画面メモ
	4	ラストURL
	5	Internet
	6	ｉチャネル

機能名		
ｉmode	7	メッセージR/F
	8	ｉモード問い合わせ
	9	ｉモード設定
	*	フルブラウザ
ｉ-αppli	1	ソフト一覧
	2	ｉアプリ情報
	3	ｉアプリ設定
Phonebook	1	電話帳登録
	2	電話帳検索
	3	電話帳登録件数
	4	電話帳設定
	5	グループ設定
	6	通話／メール履歴
	7	通話時間表示
	8	通話料金表示
Data Box	1	マイピクチャ
	2	ミュージック

機能名		
Data Box	3	Music&Videoチャネル
	4	ｉモーション
	5	メロディ
	6	きせかえツール
	7	モーションお絵かき
MUSIC	1	ミュージックプレーヤー
	2	Music&Videoチャネル
LifeKit	1	バーコードリーダー
	2	赤外線受信
	3	microSD
	4	電話帳お預かりサービス
	5	FOMA通信環境確認
	6	スケジュール
	7	アラーム
	8	テキストメモ
	9	スケッチメモ
	*	To Do リスト

機能名				
LifeKit	0	その他		
			1	世界時計
			2	電卓
			3	単位変換ツール
			4	記念日マネージャー
			5	ストップウォッチ
Media	1	カメラ		
			1	フォトモード
			2	ビデオモード
			3	バーコードリーダー
	2	Muvee Studio		
	3	モーションお絵かき		
	4	伝言メモ		
	5	ドキュメントビューア		
	6	辞典		
	7	M-Toy		
	8	タッチゲーム		

機能名				
1Seg	1	ワンセグ視聴		
	2	番組表		
	3	視聴予約リスト		
	4	テレビリンク		
	5	チャンネル設定		
	6	ワンセグ設定		
Settings	1	音／バイブレータ		
			1	着信音選択
			2	効果音選択
			3	タッチ設定
			4	音量設定
			5	バイブレータ設定
			6	マナーモード設定
			7	メール鳴動設定
			8	呼出動作開始時間設定
			9	イヤホン切替設定

機能名				
Settings	2	表示		
			1	待受画面設定
			2	ライブキャラパークテーマ
			3	きせかえツール
			4	カラーテーマ設定
			5	着信画面設定
			6	ウェイクアップ設定
			7	クイックダイヤル
			8	イルミネーション設定
			9	照明設定
	3	発着信／通話機能		
			1	着信機能
			2	テレビ電話
			3	通話機能
			4	セルフモード
			5	プレフィックス設定
			6	サブアドレス設定

キリトリ線

機能名				
Settings	3	発着信／通話機能		
			7	イヤホン設定
	4	ロック／セキュリティ		
			1	ロック
			2	シークレットモード
			3	履歴表示設定
			4	自動タッチロック
			5	端末暗証番号変更
			6	PINコード
			7	スキャン機能
	5	NWサービス		
			1	留守番電話
			2	キャッチホン
			3	転送でんわ
			4	着もじ
			5	迷惑電話ストップ
			6	発信者番号通知

機能名				
Settings	5	NWサービス		
			7	番号通知お願いサービス
			8	通話中着信設定
			9	通話中着信動作選択
			*	その他
	6	国際ダイヤルアシスト設定		
			1	自動国際プレフィックス変換
			2	国際プレフィックス
			3	国番号
			4	国番号一覧
	7	国際ローミング設定		
			1	ネットワーク
			2	留守番電話（海外）
			3	転送でんわ（海外）
			4	遠隔操作設定（海外）
			5	番号通知お願いサービス設定（海外）

機能名				
Settings	7	国際ローミング設定		
			6	ローミングガイダンス設定（海外）
			7	ローミング時着信規制
			8	ローミング着信通知設定（海外）
	8	日付／時刻		
			1	日付／時刻設定
			2	日付／時刻表示設定
			3	時刻お知らせ
	9	Select language		
	*	その他		
			1	文字入力
			2	メモリ状況
			3	省電力モード
			4	リセット／削除
			5	ソフトウェア更新
			6	USBモード設定

キリトリ線

機能名			
Settings	＊	その他	
		7	電池残量
		8	タッチパネル調整
Own Number			
Osaifu-Keitai	1	ICカード一覧	
	2	DCMX	
	3	ICカードロック設定	
	4	i モードで探す	

マナーモード

待受画面で[#]（1秒以上）

公共モード（ドライブモード）

待受画面で[＊]（1秒以上）

ネットワークサービス

留守番電話サービス

留守番メッセージ再生

[MENU]▶「Settings」▶「NWサービス」▶「留守番電話」▶「留守番メッセージ再生」▶「再生（音声電話）」／「再生（テレビ電話）」▶「はい」▶音声ガイダンスに従って操作する

留守番電話サービス開始

[MENU]▶「Settings」▶「NWサービス」▶「留守番電話」▶「留守番電話サービス開始」▶「はい」▶「はい」▶ダイヤルキーで呼出時間を入力▶[iα]［完了］

留守番サービス停止

[MENU]▶「Settings」▶「NWサービス」▶「留守番電話」▶「留守番サービス停止」▶「はい」

キャッチホン

キャッチホンサービス開始

[MENU]▶「Settings」▶「NWサービス」▶「キャッチホン」▶「キャッチホンサービス開始」▶「はい」

キャッチホンサービス停止

[MENU]▶「Settings」▶「NWサービス」▶「キャッチホン」▶「キャッチホンサービス停止」▶「はい」

通話を保留してかかってきた電話に出る

電話がかかってくる▶[発信]

■ **通話の切り替え**

[iα]［切替］

■ **通話中の電話を切る**

[終話]

■ **保留中の電話を切る**

[iα]［切替］▶[終話]

通話を終了してかかってきた電話に出る

電話がかかってくる▶[MENU]［メニュー］▶「通話中通話終了」

転送でんわサービス

転送サービス開始

[MENU]▶「Settings」▶「NWサービス」▶「転送でんわ」▶「転送サービス開始」▶「はい」▶「転送先変更」▶[■]［選択］▶転送先の電話番号を入力▶[iα]［完了］▶「呼出時間設定」▶ダイヤルキーで呼出時間を入力▶[iα]［完了］

転送サービス停止

[MENU]▶「Settings」▶「NWサービス」▶「転送でんわ」▶「転送サービス停止」▶「はい」

FOMA 端末から利用できるサービス

FOMA 端末からご利用できるサービス	電話番号
番号案内サービス（有料：案内料＋通話料）（電話番号の案内を希望されないお客様については案内しておりません）	（局番なし）104
電報の発信（有料：電報料）	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171
コレクトコール（有料：案内料＋通話料）	（局番なし）106

主なアイコン

❶ 強 ⟷ 弱　電波の受信レベル

Self　セルフモードを設定中

❷ （点滅）　ｉモード接続中

❸ （白）　ｉモードセンターにｉモードメールあり

（白）　ｉモードセンターにメッセージRあり

（白）　ｉモードセンターにメッセージFあり

（白）　ｉモードセンターにｉモードメールとメッセージR/Fあり

❹ （白）　未読のｉモードメールとSMSあり

❺ （白）　未読のメッセージRあり

キリトリ線

❻ （白）　未読のメッセージFあり

❼ ～　電池残量表示

❽ ALL　オールロック設定中

❾ （ピンク）　マナーモードを設定中

❿ 音声電話／テレビ電話の着信音が鳴らず、バイブレータが動作する状態に設定中

音声電話／テレビ電話の着信音が鳴らず、バイブレータが動作しない状態に設定中

⓫ メール／メッセージR/Fの着信音が鳴らず、バイブレータが動作する状態に設定中

メール／メッセージR/Fの着信音が鳴らず、バイブレータが動作しない状態に設定中

⓬ 公共モード（ドライブモード）を設定中

⓭ 伝言メモ設定中

⓮ 音声電話／テレビ電話の発信制限を設定中

⓯
- ・「プライバシーモード設定」を「ON」に設定中
- ・「シークレットモード」を「ON」に設定中
- ・「シークレットモード」を「シークレット専用モード」に設定中

⓰ 1　留守番電話の伝言メッセージあり（数字は件数）

⓱ 1　伝言メモあり（数字は件数）

<紛失時などの緊急連絡先>

おまかせロック

※おまかせロックは有料サービスです。ただし、ご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合や、ドコモプレミアクラブ会員のお客様は無料になります。

おまかせロックの設定／解除

0120-524-360

受付時間　24時間

その他の緊急連絡先

<連絡先：　　　　　　　　　　>

<連絡先：　　　　　　　　　　>

<連絡先：　　　　　　　　　　>

※ダイヤル番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

キリトリ線

docomo L-06A

クイックマニュアル（海外利用編）

海外での紛失、盗難、精算などについて〈ドコモ インフォメーションセンター〉（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号（表1） -81-3-5366-3114*（無料）

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※L-06Aから、ご利用の場合は+81-3-5366-3114でつながります（「+」は□を1秒以上押します）。

一般電話などからの場合

<ユニバーサルナンバー>

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2） -800-0120-0151*

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号（表1）はP.9を、ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）はP.10をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますので、ご注意ください。

海外での故障に関して〈ネットワークテクニカルオペレーションセンター〉（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号（表1） -81-3-6718-1414*（無料）

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※L-06Aから、ご利用の場合は+81-3-6718-1414でつながります（「+」は□を1秒以上押します）。

一般電話などからの場合

<ユニバーサルナンバー>

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2） -800-5931-8600*

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号（表1）はP.9を、ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）はP.10をご覧ください。

●お客様が購入されたFOMA端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

海外で利用するための準備

海外でFOMA端末をご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください。

- 『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』
- 『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』
- ドコモの「国際サービスホームページ」

i モードの設定

■ 日本で設定

i▶「i Menu」▶「お客様サポート」▶「各種設定（確認・変更・利用）」▶「その他サービス設定・確認」▶「海外利用設定」▶「i モード利用設定」▶「利用する」▶i モードパスワード入力欄を選択▶i モードパスワードを入力▶「決定」

■ 海外で設定

i▶「i Menu」▶「海外利用設定」▶「i モード利用設定」▶「利用する」▶i モードパスワード入力欄を選択▶i モードパスワードを入力▶「決定」

遠隔操作の設定

■ 日本で設定

MENU▶「Settings」▶「NWサービス」▶「その他」▶「遠隔操作設定」▶「遠隔操作開始」▶「はい」

■ 海外で設定

MENU▶「Settings」▶「国際ローミング設定」▶「遠隔操作設定（海外）」▶「はい」▶音声ガイダンスの指示に従って操作する

デュアルクロックの設定

MENU▶「Settings」▶「表示」▶「待受画面設定」▶「画面表示」▶「デジタル時計」▶「デュアルクロック」▶✉で目的の地域に移動▶■［拡大］▶✉で目的の都市に移動▶■［設定］▶i［完了］

各通信方式と利用できる通信サービス

サービス	3G	GSM	GPRS
音声電話	○	○	○
テレビ電話	○	×	×
SMS	○	○	○
i モード	○	×	○
i モードメール	○	×	○
i チャネル	○	×	○
パソコンと接続して行うパケット通信	○	×	○

ネットワークの切り替え

お買い上げ時の設定では、「ネットワークサーチ設定」が「オート」に設定されております。海外に到着後、利用可能なネットワークが自動的に設定されます。

手動でのネットワーク設定

MENU▶「Settings」▶「国際ローミング設定」▶「ネットワーク」▶「3G／GSM切替」▶「自動」／「3G」／「GSM／GPRS」▶「ネットワークサーチ設定」▶「マニュアル」▶「はい」▶ネットワークを選択

優先的に利用するネットワークの設定

MENU▶「Settings」▶「国際ローミング設定」▶「ネットワーク」▶「優先ネットワーク設定」▶i［追加］▶「マニュアル登録」▶国番号とネットワーク番号を入力▶i［完了］▶「はい」

ディスプレイの表示

ディスプレイには接続中のネットワーク名が表示されます。

帰国後の設定

お買い上げ時の設定では、帰国後に自動的にFOMAネットワークに接続され、が表示されます。

■ FOMAネットワークに切り替わらない場合

MENU▶「Settings」▶「国際ローミング設定」▶「ネットワーク」▶「3G／GSM切替」▶「自動」▶「ネットワークサーチ設定」▶「オート」▶「はい」

電話をかける

日本や滞在国以外に電話をかける

□（1秒以上）▶「国番号 - 地域番号（市外局番） - 相手の電話番号」を入力▶✆

- 地域番号（市外局番）の先頭が「0」の場合や日本の携帯電話・PHS の場合は、「0」を除いて入力します（イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります）。
  国番号→ P8
- ✉［テレビ電話］：テレビ電話を発信する

滞在国内に電話をかける

日本国内と同様に相手の電話番号を地域番号（市外局番）から入力▶（通話キー）
- （メールキー）［テレビ電話］：テレビ電話を発信する

電話を受ける

音声電話／テレビ電話を着信▶（通話キー）

ネットワークサービス

海外でネットワークサービスを利用する場合はあらかじめ遠隔操作の設定が必要になります。

ローミングガイダンス設定

- 日本国内で設定してください。

MENU▶「Settings」▶「NWサービス」▶「その他」▶「ローミングガイダンス設定」▶「ローミングガイダンス開始」／「ローミングガイダンス停止」▶「はい」

ローミング時着信規制

- 海外の通信事業者によっては、設定できないことがあります。

MENU▶「Settings」▶「国際ローミング設定」▶「ローミング時着信規制」▶「ローミング時着信規制開始」▶「はい」▶「全着信規制」／「テレビ電話着信規制」▶ネットワーク暗証番号を入力

留守番電話（海外）

MENU▶「Settings」▶「国際ローミング設定」▶「留守番電話（海外）」▶「留守番サービス開始」／「留守番サービス停止」／「留守番メッセージ再生」▶「はい」▶音声ガイダンスに従って操作する

転送でんわ（海外）

MENU▶「Settings」▶「国際ローミング設定」▶「転送でんわ（海外）」▶「転送サービス開始」／「転送サービス停止」▶「はい」▶音声ガイダンスに従って操作する

ローミングガイダンス設定（海外）

MENU▶「Settings」▶「国際ローミング設定」▶「ローミングガイダンス設定（海外）」▶「はい」▶音声ガイダンスに従って操作する

主要国の国番号

国際電話を利用するときや国際ダイヤルアシスト設定などで利用する国番号は、以下の番号を使用してください。

ご利用地域	番号
アメリカ合衆国	1
イギリス	44
イタリア	39
インド	91
インドネシア	62
エジプト	20
オーストラリア	61
オーストリア	43
オランダ	31
カナダ	1
韓国	82
ギリシャ	30
シンガポール	65
スイス	41
スウェーデン	46
スペイン	34
タイ	66
台湾	886

ご利用地域	番号
ドイツ	49
トルコ	90
日本	81
ニューカレドニア	687
ニュージーランド	64
ノルウェー	47
ハンガリー	36
フィジー	679
フィリピン	63
フィンランド	358
フランス	33
ブラジル	55
ベトナム	84
ペルー	51
ベルギー	32
香港	852
マカオ	853
マレーシア	60

キリトリ線

ご利用地域	番号
タヒチ	689
チェコ	420
中国	86

ご利用地域	番号
モルディブ	960
ロシア	7

※この他の国の番号および詳細については、「ご利用ガイドブック（国際サービス編）」またはドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

主要国の国際電話アクセス番号（表 1）

ご利用地域	番号
アイルランド	00
アメリカ合衆国	011
アラブ首長国連邦	00
イギリス	00
イタリア	00
インド	00
インドネシア	001
オーストラリア	0011
オランダ	00
カナダ	011
韓国	001
ギリシャ	00
シンガポール	001

ご利用地域	番号
ドイツ	00
トルコ	00
ニュージーランド	00
ノルウェー	00
ハンガリー	00
フィリピン	00
フィンランド	00
フランス	00
ブラジル	0021／0014
ベトナム	00
ベルギー	00
ポーランド	00

ご利用地域	番号
スイス	00
スウェーデン	00
スペイン	00
タイ	001
台湾	002
チェコ	00
中国	00
デンマーク	00

ご利用地域	番号
ポルトガル	00
香港	001
マカオ	00
マレーシア	00
モナコ	00
ルクセンブルク	00
ロシア	810

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表 2）

ご利用地域	番号
アイルランド	00
アメリカ合衆国	011
アルゼンチン	00
イギリス	00
イスラエル	014
イタリア	00
オーストラリア	0011
オーストリア	00
オランダ	00
カナダ	011

ご利用地域	番号
中国	00
デンマーク	00
ドイツ	00
ニュージーランド	00
ノルウェー	00
ハンガリー	00
フィリピン	00
フィンランド	990
フランス	00
ブラジル	0021

ご利用地域	番号
韓国	001
コロンビア	009
シンガポール	001
スイス	00
スウェーデン	00
スペイン	00
タイ	001
台湾	00

ご利用地域	番号
ブルガリア	00
ペルー	00
ベルギー	00
ポルトガル	00
香港	001
マレーシア	00
南アフリカ	09
ルクセンブルク	00

お問い合わせについて

万が一、海外でFOMAカード（緑色／白色）の紛失・盗難にあった場合などは、速やかにドコモへご連絡いただき、利用中断の手続きをお取りください。海外での紛失や盗難、精算、故障については、クイックマニュアル（海外利用編）表紙の「海外での紛失、盗難、精算などについて」、またはP1 の「海外での故障に関して」までお問い合わせください。なお、紛失・盗難された後に発生した通話料や通信料もお客様のご負担となりますので、ご注意ください。

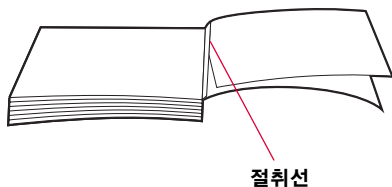
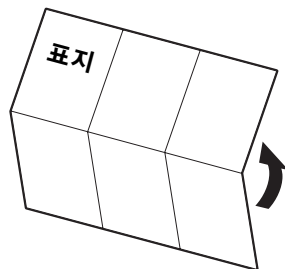
- 各お問い合わせ番号の先頭には、滞在先に割り当てられている「主要国の国際電話アクセス番号（表 1）」または「ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表 2）」が必要になります。

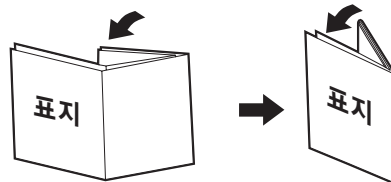
퀵매뉴얼

퀵매뉴얼 사용 방법

본 매뉴얼에 첨부되어 있는 퀵매뉴얼은 절취선을 따라 잘라낸 후, 아래와 같이 접어서 사용하십시오.
퀵매뉴얼(해외이용편)은 해외에서 국제 로밍(WORLD WING)을 이용할 때 휴대하십시오.

- 가위 등을 사용하여 잘라낼 경우에는 상처를 입지 않도록 주의하십시오.

1 절취선을 따라 퀵매뉴얼을 잘라냅니다.

2 세로로 반을 접습니다.

3 페이지 선에 맞춰 가로로 2번 접습니다.

절취선

docomo L-06A

퀵매뉴얼

종합 문의처<도코모 인포메이션 센터>

0120-005-250 (무료)

※영어, 포르투갈어, 중국어, 스페인어, 한국어로 지원됩니다.

※휴대폰, PHS로도 이용할 수 있습니다.

■도코모 휴대폰 사용 시
(일본어 전용)
(국번없이)151(무료)
※일반 전화로는 이용할 수 없습니다.

■일반 전화 사용 시
(한국어)
0120-800-000(무료)
※휴대폰, PHS로도 이용할 수 있습니다.

고장 문의처

<일본어 전용>

■도코모 휴대폰 사용 시
(국번없이)113(무료)
※일반 전화로는 이용할 수 없습니다.

■일반 전화 사용 시
0120-800-000(무료)
※휴대폰, PHS로도 이용할 수 있습니다.

• 다이얼 번호를 잘 확인하여 잘못 걸지 않도록 주의하십시오.

다국어 전환

화면을 영어나 한국어 표시로 전환하기

[MENU] ▶「설정」▶「Select language」※ ▶「日本語(일본어)」/「English」/「한국어」

※ 화면을 영어 또는 한국어로 전환한 경우 「マルチリンガル(다국어)」라고 표시됩니다.

SMS 본문에서 입력 모드 전환하기

한국어를 지원하는 단말기 간에 한국어로 입력된 SMS를 송수신할 수 있습니다. 한국어를 입력하려면 「일/한(70문자)」으로 설정하십시오.

대기화면 ▶[✉] ▶「Mail설정」▶「SMS」▶「SMS본문입력」▶「일본어(70문자)」/「일/한(70문자)」/「영어(160문자)」

전화번호부 등록

전화번호부 등록

대기 화면 ▶[■](1초 이상) ▶항목을 각각 입력 ▶[iα][완료]

■ **등록처 설정**

「(등록처선택)」▶「휴대폰」/「UIM」

■ **메모리 번호 설정**

「(메모리번호입력)」▶메모리 번호 입력※

※FOMA 단말기(본체) 전화번호부만 표시됩니다.

■ **이름 설정**

「이름」▶이름 입력

■ **후리가나 설정**

「후리가나」▶후리가나 입력

■ **전화번호 설정**

「전화번호」▶전화번호 입력 ▶아이콘 선택

■ **Mail 주소 설정**

「Mail주소」▶Mail 주소 입력 ▶아이콘 선택

■ **그룹 설정**

「(그룹 선택)」▶그룹 선택

재발신/착신이력에서 등록

[✉]으로 재발신/착신이력 표시 ▶등록할 이력 선택 ▶[MENU][Menu] ▶「전화번호부등록」▶「신규등록」/「추가등록」▶등록할 전화번호부 선택※ ▶전화번호부 등록/수정 ▶[iα][완료] ▶「예」

※「추가등록」인 경우에만 선택합니다.

전화번호부 수정

전화번호부 선택 ▶[MENU][Menu] ▶「편집」▶각 항목 수정 ▶[iα][완료] ▶「예」

문자 입력

입력 모드 표시

입력 가능한 남은 문자 수 (바이트 수) 표시

※「韓」은 SMS 본문 입력을 「일/한(70문자)」으로 설정한 경우에 표시됩니다.

문자 입력 화면에서의 주요 조작

■ **입력 모드 전환하기**

[iα][문자] ▶[iα][전환] 여러 번 누르기

■ **전각/반각 전환하기**

[iα][문자] ▶[✉]

■ **그림 문자/기호/이모티콘 입력 모드로 전환하기**

[📷TV][기호] ▶[iα][전환] 여러 번 누르기

■ **탁음, 반탁음 입력/대문자 또는 소문자 전환**

문자를 입력하고 [＊] 여러 번 누르기

■ **구두점 입력**

[#] 여러 번 누르기

■ **줄바꾸기 입력**

[＊]/[■]

■ **Space 입력**

[MENU][Menu] ▶「특수입력」▶「공백」/문장 끝에서 [▶]

문자 입력 예

■「ドコモ(도코모)」입력하기

「どこも(도코모)」입력

「ど(도)」: 4 5회 ▶ * 1회

「こ(코)」: 2 5회

「も(모)」: 7 5회

▶ 으로 커서를 예측 후보로 이동 ▶ 으로 커서를「ドコモ(도코모)」로 이동 ▶ [선택]※

※i-mode Mail의 메일 본문 입력 화면 이외의 문자 입력 화면에서는「완료」라고 표시됩니다.

■ 한국어로「도코모」입력하기

「도코모」입력

「도」: 2 1회 ▶ * 1회 ▶ 6 1회

「코」: 1 1회 ▶ * 1회 ▶ 6 1회

「모」: 5 1회 ▶ 6 1회

카메라 기능

정지 화상 촬영

FOMA 단말기를 닫은 상태의 대기 화면 ▶ ▶피사체를 확인하고 ▶ ／

동영상 촬영

FOMA 단말기를 닫은 상태의 대기 화면 ▶ ▶ ▶「비디오촬영」▶피사체를 확인하고 / ▶ ▶ /

음악 데이터 재생

MENU ▶「MUSIC」▶「뮤직플레이어」▶「전곡」▶음악 데이터로 커서 이동 ▶ [재생]

영상통화 걸기/받기

영상통화 걸기

상대의 전화번호 입력 ▶ [영상통화] ▶통화가 끝나면

영상통화 받기

영상통화 착신 ▶ ▶통화가 끝나면

- / : 수화음량 조절하기
- : 응답 보류하기
- [대체화면] : 대체 영상으로 응답하기

절취선

영상통화 중의 주요 조작

■ 통화 보류/보류 해제

MENU [Menu] ▶「통화보류」

- [통화] : 보류 해제하기

■ 스피커폰 통화 설정/해제

[Spk ON]

- [Spk OFF]를 누르면 해제됩니다.

■ 카메라 영상/대체화면 영상 전환

[대체화면]

- [카메라]를 누르면 카메라 영상으로 되돌아갑니다.

■ 인 카메라/아웃 카메라 전환

MENU [Menu] ▶「카메라전환」

- 다시 한 번「카메라전환」을 선택하면 인 카메라로 되돌아갑니다.

i-mode Mail

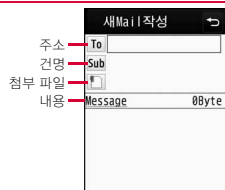
i-mode Mail 작성/송신

새Mail작성

주소 — To

건명 — Sub

첨부 파일

내용 — Message 0Byte

■ 새 Mail 작성 화면 표시

대기 화면 ▶ ▶「새Mail작성」

■ 주소 입력

To 열 선택 ▶「직접입력」▶주소 입력

■ 건명 입력

Sub 열 선택 ▶건명 입력

■ 내용 입력

「Message」열 선택 ▶내용 입력

■ Mail 송신

[송신]

절취선

파일 첨부

■ **이미지/동영상/Motion Oekaki™/멜로디/전화번호부/달력/할일/Bookmark/기타 첨부**

i-mode Mail 작성 화면(P.10)에서 열 선택 ▶첨부할 파일의 종류 선택 ▶첨부할 파일 선택

※ 파일 종류에 따라 선택 방법이 다릅니다.

■ **정지 화상/동영상을 촬영하여 첨부**

i-mode Mail 작성 화면(P.10)에서 열 선택 ▶「이미지」/「동영상」▶「카메라구동」▶정지 화상/동영상 촬영 ▶[저장] (FOMA 단말기를 닫은 상태에서는)

i-mode Mail 수신

i-mode Mail 수신 ▶「Mail」▶폴더 선택 ▶표시할 i-mode Mail 선택

i-mode메시지확인

대기 화면 ▶(1초 이상)

기타 Mail 기능

■ **Mail 회신**

회신할 Mail 표시 ▶[Menu] ▶「답장/전달」▶「답장」/「인용첨부답장」▶건명, 내용 입력 ▶[송신]

■ **Mail 전달**

전달할 Mail 표시 ▶[Menu] ▶「답장/전달」▶「전달」▶주소 입력 ▶[송신]

SMS 작성/송신

대기 화면 ▶ ▶「SMS」▶「SMS작성」▶ To 열 선택 ▶「직접입력」▶전화번호 입력 ▶열 선택 ▶내용 입력 ▶[송신]

메뉴 목록

기능 이름		
Mail	1	받은Mail
	2	새Mail작성
	3	작성중Mail
	4	보낸Mail
	5	i-mode메시지확인
	6	Mail선택수신
	7	SMS
	8	템플릿
	9	Mail설정
i-mode	1	i Menu
	2	Bookmark
	3	화면메모
	4	최근페이지접속
	5	인터넷접속
	6	i-Channel

기능 이름		
i-mode	7	MessageR/F
	8	i-mode메시지확인
	9	i-mode설정
	＊	Full browser
i-αppli	1	i-αppli목록
	2	i-αppli정보
	3	i-αppli설정
전화번호부	1	전화번호부등록
	2	전화번호부검색
	3	전화번호부등록건수
	4	전화번호부설정
	5	그룹설정
	6	통화/Mail사용이력
	7	통화사용내역
	8	통화요금내역
데이터박스	1	사진
	2	음악

기능 이름		
데이터박스	3	Music&Video Ch
	4	i-motion
	5	멜로디
	6	키세카에툴
	7	Motion Oekaki
MUSIC	1	뮤직플레이어
	2	Music&Video Ch
편의기능	1	바코드리더
	2	적외선수신
	3	microSD
	4	전화번호부보존서비스
	5	FOMA통신환경확인
	6	일정
	7	알람
	8	텍스트메모
	9	스케치메모
	＊	할일

기능 이름				
편의기능	0	그외		
			1	세계시간
			2	계산기
			3	단위변환기
			4	D-Day
			5	스톱워치
미디어	1	카메라		
			1	사진촬영
			2	비디오촬영
			3	바코드리더
	2	Muvee Studio		
	3	Motion Oekaki		
	4	수신메모		
	5	도큐먼트뷰어		
	6	사전		
	7	M-Toy		
	8	터치게임		

기능 이름				
1Seg	1	1Seg시청		
	2	프로그램가이드		
	3	시청예약		
	4	TV링크		
	5	채널설정		
	6	1Seg설정		
설정	1	사운드/진동		
			1	벨소리선택
			2	효과음선택
			3	터치설정
			4	음량설정
			5	진동설정
			6	매너모드설정
			7	Mail수신알림설정
			8	호출동작시작시간설정
			9	헤드셋 전환 설정

기능 이름				
설정	2	화면		
			1	대기화면
			2	라이브 캐릭터 파크 테마
			3	키세카에툴
			4	컬러테마
			5	착신/Mail화면
			6	전원켤때화면
			7	퀵다이얼
			8	LED설정
			9	백라이트설정
	3	통화관련기능		
			1	전화착신설정
			2	영상통화
			3	통화중기능
			4	셀프모드
			5	프리픽스설정
			6	서브어드레스설정

기능 이름				
설정	3	통화관련기능		
			7	이어폰설정
	4	잠금/보안		
			1	잠금
			2	비밀모드
			3	통화/Mail이력표시
			4	자동터치잠금 LCD꺼질때
			5	비밀번호변경
			6	PIN코드
			7	스캔기능
	5	네트워크서비스		
			1	음성사서함서비스
			2	통화중대기서비스
			3	전송전화서비스
			4	Chaku-moji
			5	스팸전화차단
			6	발신자번호통지

기능 이름				
설정	5	네트워크서비스		
			7	번호표시요청서비스
			8	통화중착신설정
			9	통화중착신동작선택
			*	그외
	6	국제전화		
			1	자동국제접속번호변환
			2	국제접속번호
			3	자동국제전화
			4	국가번호목록
	7	국제로밍		
			1	네트워크
			2	음성사서함서비스(해외)
			3	전송전화서비스(해외)
			4	원격조작설정(해외)
			5	번호표시요청서비스(해외)

기능 이름				
설정	7	국제로밍		
			6	로밍가이드설정(해외)
			7	로밍시착신제한
			8	로밍시부재중전화알림설정(해외)
	8	날짜/시각		
			1	날짜/시각설정
			2	날짜/시각표시설정
			3	정시알림
	9	マルチリンガル(다국어)		
	*	그외		
			1	문자입력
			2	메모리정보
			3	전원절약모드
			4	초기화/삭제
			5	소프트웨어업데이트
			6	USB모드설정

절취선

절취선

기능 이름				
설정	*	그외		
			7	배터리잔량
			8	터치패널조정
내정보				
오사이후-케이타이	1	IC card 목록		
	2	DCMX		
	3	IC card lock 설정		
	4	i-mode에서찾기		

매너모드

대기 화면에서 [#](1초 이상)

공공모드(드라이브모드)

대기 화면에서 [*](1초 이상)

네트워크 서비스

음성사서함서비스

음성사서함메시지재생

MENU▶「설정」▶「네트워크서비스」▶「음성사서함서비스」▶「음성사서함메시지재생」▶「재생(음성통화)」/「재생(영상통화)」▶「예」▶음성 안내에 따라 실행

음성사서함서비스시작

MENU▶「설정」▶「네트워크서비스」▶「음성사서함서비스」▶「음성사서함서비스시작」▶「예」▶「예」▶다이얼 버튼으로 호출 시간 입력 ▶iα[완료]

음성사서함서비스정지

MENU▶「설정」▶「네트워크서비스」▶「음성사서함서비스」▶「음성사서함서비스정지」▶「예」

통화중대기서비스

통화중대기서비스시작

MENU▶「설정」▶「네트워크서비스」▶「통화중대기서비스」▶「통화중대기서비스시작」▶「예」

통화중대기서비스정지

MENU▶「설정」▶「네트워크서비스」▶「통화중대기서비스」▶「통화중대기서비스정지」▶「예」

통화를 보류하고 걸려온 전화 받기

전화가 걸려오면 ▶[통화]

■ **통화 전환**

iα[전환]

■ **통화 중인 전화 끊기**

[종료]

■ **보류 중인 전화 끊기**

iα[전환]▶[종료]

통화를 종료하고 걸려온 전화 받기

전화가 걸려오면 ▶MENU[Menu]▶「통화종료」

전송전화서비스

전송전화서비스시작

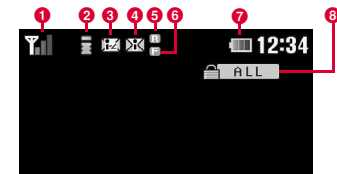
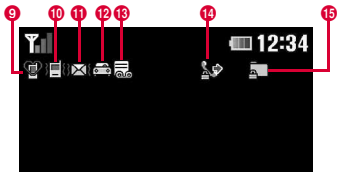
MENU▶「설정」▶「네트워크서비스」▶「전송전화서비스」▶「전송전화서비스시작」▶「예」▶「전송전화번호변경」▶전송전화번호 입력 ▶iα[완료]▶「호출시간설정」▶다이얼 버튼으로 호출시간 입력 ▶iα[완료]

전송전화서비스정지

MENU▶「설정」▶「네트워크서비스」▶「전송전화서비스」▶「전송전화서비스정지」▶「예」

FOMA 단말기에서 이용할 수 있는 서비스

FOMA 단말기에서 이용할 수 있는 서비스	전화번호
번호 안내 서비스 (유료: 안내 요금＋통화 요금)(전화번호 안내를 희망하지 않는 고객에게는 서비스되지 않습니다.)	(국번없이) 104
전보 발신 (유료: 전보 요금)	(국번없이) 115
시간 알림 서비스 (유료)	(국번없이) 117
일기 예보 (유료)	해당 지역의 시외 국번＋177
경찰에 긴급 신고	(국번없이) 110
소방 · 구급대에 긴급 신고	(국번없이) 119
해상에서 사건 · 사고가 났을 경우의 긴급 신고	(국번없이) 118
재해용 전언 다이얼 (유료)	(국번없이) 171
수신자 부담 전화 (유료: 안내 요금＋통화 요금)	(국번없이) 106

주요 아이콘

❶ 강 ↔ 약 전파 수신 강도

Self 셀프모드 설정 중

❷ (점멸) i-mode 접속 중

❸ (흰색) i-mode센터에 i-mode Mail 있음

(흰색) i-mode센터에 MessageR 있음

(흰색) i-mode센터에 MessageF 있음

(흰색) i-mode센터에 i-mode Mail과 MessageR/F 있음

❹ (흰색) 읽지 않은 i-mode Mail과 SMS 있음

❺ (흰색) 읽지 않은 MessageR 있음

❻ (흰색) 읽지 않은 MessageF 있음

❼ ~ 배터리 잔량 표시

❽ ALL 전체잠금 설정 중

❾ (분홍색) 매너모드 설정 중

❿ 음성통화/영상통화의 착신음을 울리지 않고 진동으로 동작하도록 설정 중

음성통화/영상통화의 착신음을 울리지 않고 진동도 동작하지 않도록 설정 중

⓫ Mail 또는 MessageR/F의 착신음을 울리지 않고 진동으로 동작하도록 설정 중

Mail 또는 MessageR/F의 착신음을 울리지 않고 진동도 동작하지 않도록 설정 중

⓬ 공공모드(드라이브모드) 설정 중

⓭ 수신메모 설정 중

⓮ 음성통화/영상통화 발신 제한 설정 중

⓯ • 「사생활모드설정」을 「ON」으로 설정 중

• 「비밀모드」를 「ON」으로 설정 중

• 「비밀모드」를 「비밀전용모드」로 설정 중

⓰ 1 음성사서함서비스 전언 메시지 있음(숫자는 건수)

⓱ 1 수신메모 있음(숫자는 건수)

<분실 시 등의 긴급 연락처>

원격잠금

※ 원격잠금은 유료 서비스입니다. 단, 이용을 일시 중단함과 동시에 신청했거나 일시 중단 중에 신청한 경우 또는 도코모 프리미어 클럽 회원인 고객의 경우에는 무료입니다.

원격잠금 설정/해제

0120-524-360

접수 시간 24시간(일본어 전용)

기타 긴급 연락처

<연락처 : >

<연락처 : >

<연락처 : >

※ 다이얼 번호를 잘 확인하여 잘못 걸지 않도록 주의하십시오.

절취선

절취선

docomo L-06A

퀵매뉴얼(해외이용편)

해외에서의 분실, 도난, 정산 정보 <도코모 인포메이션 센터>(24시간 접수)

<일본어 전용>

도코모 휴대폰 사용 시

체재 국가의 국제 전화 접속 번호(표1) -81-3-5366-3114*(무료)

* 일반 전화 등으로 거실 경우에는 일본으로의 통화 요금이 부과됩니다.

※ L-06A로 이용하는 경우에는 +81-3-5366-3114로 연결됩니다.
(「+」는 0 을 1초 이상 누릅니다.)

일반 전화 사용 시

<유니버설 넘버>

유니버설 넘버용 국제 전화 식별 번호(표2) -800-0120-0151*

* 체재 국가 내 통화 요금 등이 부과되는 경우가 있습니다.

※ 주요 국가의 국제 전화 접속 번호(표1)는 P.9를, 유니버설 넘버용 국제 전화 식별 번호(표2)는 P.10을 참조하십시오.

● **분실 · 도난 등의 경우에는 신속히 이용정지를 신청하십시오. 분실 · 도난 이후에 발생한 통화 · 통신료도 고객님께서 부담하게 되므로 주의하십시오.**

해외에서의 고장 정보 <네트워크 테크니컬 오퍼레이션 센터>(24시간 접수)

도코모 휴대폰 사용 시

체재 국가의 국제 전화 접속 번호(표1) -81-3-6718-1414*(무료)

* 일반 전화 등으로 거실 경우에는 일본으로의 통화 요금이 부과됩니다.

※ L-06A로 이용하는 경우에는 +81-3-6718-1414로 연결됩니다.
(「+」는 0 을 1초 이상 누릅니다.)

일반 전화 사용 시

<유니버설 넘버>

유니버설 넘버용 국제 전화 식별 번호(표2) -800-5931-8600*

* 체재 국가 내 통화 요금 등이 부과되는 경우가 있습니다.

※ 주요 국가의 국제 전화 접속 번호(표1)는 P.9를, 유니버설 넘버용 국제 전화 식별 번호(표2)는 P.10을 참조하십시오.

● **고객이 구입한 FOMA 단말기가 고장난 경우에는 귀국 후에 도코모 지정 AS 센터로 가져 오십시오.**

해외에서 이용하기 위한 준비

해외에서 FOMA 단말기를 이용하시기 전에 아래 내용을 확인하십시오.
- 『ご利用ガイドブック(国際サービス編)』(『이용 가이드북(국제 서비스편)』)
- 『ご利用ガイドブック(ネットワークサービス編)』(『이용 가이드북(네트워크 서비스편)』)
- 도코모 「国際サービスホームページ(국제 서비스 홈페이지)」

i-mode 설정

■ **일본에서 설정**

i▶「iMenu」▶「お客様サポート(고객지원)」▶「各種設定(確認・変更・利用)(각종설정(확인 · 변경 · 이용))」▶「その他サービス設定・確認(그외서비스설정 · 확인)」▶「海外利用設定(해외이용설정)」▶「iモード利用設定(i-mode이용설정)」▶「利用する(이용하기)」▶i-mode패스워드 입력란 선택▶i-mode패스워드 입력▶「決定(결정)」

■ **해외에서 설정**

i▶「iMenu」▶「海外利用設定(해외이용설정)」▶「iモード利用設定(i-mode이용설정)」▶「利用する(이용하기)」▶i-mode패스워드 입력란 선택▶i-mode패스워드 입력▶「決定(결정)」

원격 조작 설정

■ **일본에서 설정**

MENU▶「설정」▶「네트워크서비스」▶「그외」▶「원격조작설정」▶「원격조작시작」▶「예」

■ **해외에서 설정**

MENU▶「설정」▶「국제로밍」▶「원격조작설정(해외)」▶「예」▶음성 안내의 지시에 따라 실행

듀얼 시계 설정

MENU▶「설정」▶「화면」▶「대기화면」▶「표시항목」▶「디지털시계」▶「듀얼시계」▶[방향키]으로 원하는 지역으로 이동▶[■][확대]▶[방향키]으로 원하는 도시로 이동▶[■][설정]▶i[완료]

각 통신 방식과 이용할 수 있는 통신 서비스

서비스	3G	GSM	GPRS
음성통화	○	○	○
영상통화	○	×	×
SMS	○	○	○
i-mode	○	×	○
i-mode Mail	○	×	○
i-Channel	○	×	○
PC와 접속하여 사용하는 패킷 통신	○	×	○

네트워크 전환

구입 시에는 「네트워크검색설정」이 「자동」으로 설정되어 있습니다. 해외에 도착하면 이용 가능한 네트워크가 자동으로 설정됩니다.

수동으로 네트워크 설정

MENU▶「설정」▶「국제로밍」▶「네트워크」▶「3G/GSM 전환」▶「자동」/「3G」/「GSM/GPRS」▶「네트워크검색설정」▶「수동」▶「예」▶네트워크 선택

우선적으로 이용할 네트워크 설정

MENU▶「설정」▶「국제로밍」▶「네트워크」▶「우선네트워크설정」▶i[추가]▶「수동으로 선택」▶국가번호와 네트워크번호 입력▶i[완료]▶「예」

디스플레이 표시

디스플레이에는 접속 중인 네트워크 이름이 표시됩니다.

귀국 후 설정

구입 시에는 귀국 후 자동으로 FOMA 네트워크에 접속되어 [안테나]이 표시되도록 설정되어 있습니다.

■ **FOMA 네트워크로 전환되지 않는 경우**

MENU▶「설정」▶「국제로밍」▶「네트워크」▶「3G/GSM 전환」▶「자동」▶「네트워크검색설정」▶「자동」▶「예」

전화 걸기

일본이나 체재 국가 이외의 나라로 전화 걸기

0(1초 이상)▶「국가번호 - 지역번호(시외국번) - 상대 전화번호」입력▶[통화]

- 지역번호(시외국번)의 첫 번째 숫자가 「0」인 경우나 일본 휴대폰 · PHS인 경우에는 「0」을 빼고 입력합니다.(이탈리아 등 일부 국가 및 지역에서는 「0」이 필요한 경우가 있습니다.)
국가번호→P.8
- [영상통화키]「영상통화」: 영상통화 발신하기

절취선

체재 국가 내에 전화 걸기

일본 국내와 마찬가지로 상대 전화번호를 지역번호(시외국번)부터 입력 ▶

- 「영상통화」: 영상통화 발신하기

전화 받기

음성통화/영상통화 착신 ▶

네트워크 서비스

해외에서 네트워크 서비스를 이용할 경우에는 사전에 원격 조작을 설정해야 합니다.

로밍가이드설정

- 일본 국내에서 설정하십시오.

MENU ▶「설정」▶「네트워크서비스」▶「그외」▶「로밍가이드설정」▶「로밍가이드시작」/「로밍가이드정지」▶「예」

로밍시착신제한

- 해외 통신 사업자에 따라서 설정할 수 없는 경우도 있습니다.

MENU ▶「설정」▶「국제로밍」▶「로밍시착신제한」▶「로밍시착신제한시작」▶「예」▶「모든착신제한」/「영상통화착신제한」▶네트워크 비밀번호 입력

음성사서함서비스(해외)

MENU ▶「설정」▶「국제로밍」▶「음성사서함서비스(해외)」▶「음성사서함서비스시작」/「음성사서함서비스정지」/「음성사서함메시지재생」▶「예」▶음성 안내에 따라 실행

전송전화서비스(해외)

MENU ▶「설정」▶「국제로밍」▶「전송전화서비스(해외)」▶「전송전화서비스시작」/「전송전화서비스정지」▶「예」▶음성 안내에 따라 실행

로밍가이드설정(해외)

MENU ▶「설정」▶「국제로밍」▶「로밍가이드설정(해외)」▶「예」▶음성 안내에 따라 실행

주요 국가번호

국제 전화를 이용하거나 국제 다이얼 어시스트 설정 등에 이용할 국가번호는 다음을 참조하십시오.

이용 지역	번호
그리스	30
네덜란드	31
노르웨이	47
뉴질랜드	64
뉴칼레도니아	687
대만	886
독일	49
러시아	7
마카오	853
말레이시아	60
몰디브	960
미국	1
베트남	84
벨기에	32
브라질	55
스웨덴	46
스위스	41
스페인	34

이용 지역	번호
오스트리아	43
이집트	20
이탈리아	39
인도	91
인도네시아	62
일본	81
중국	86
체코	420
캐나다	1
타히티	689
태국	66
터키	90
페루	51
프랑스	33
피지	679
핀란드	358
필리핀	63
한국	82

이용 지역	번호
싱가폴	65
영국	44
오스트레일리아	61

이용 지역	번호
헝가리	36
홍콩	852

※그 외의 국가번호 및 상세한 내용은 『이용 가이드북(국제 서비스편)』또는 도코모 「국제 서비스 홈페이지」를 확인하십시오.

주요 국가의 국제 전화 접속 번호(표1)

이용 지역	번호
그리스	00
네덜란드	00
노르웨이	00
뉴질랜드	00
대만	002
덴마크	00
독일	00
러시아	810
룩셈부르크	00
마카오	00
말레이시아	00
모나코	00
미국	011
베트남	00

이용 지역	번호
아랍에미리트	00
아일랜드	00
영국	00
오스트레일리아	0011
이탈리아	00
인도	00
인도네시아	001
중국	00
체코	00
캐나다	011
태국	001
터키	00
포르투갈	00
폴란드	00

이용 지역	번호
벨기에	00
브라질	0021/ 0014
스웨덴	00
스위스	00
스페인	00
싱가폴	001

이용 지역	번호
프랑스	00
핀란드	00
필리핀	00
한국	001
헝가리	00
홍콩	001

유니버셜 넘버용 국제 전화 식별 번호(표2)

이용 지역	번호
남아프리카	09
네덜란드	00
노르웨이	00
뉴질랜드	00
대만	00
덴마크	00
독일	00
룩셈부르크	00
말레이시아	00
미국	011
벨기에	00
불가리아	00

이용 지역	번호
아일랜드	00
영국	00
오스트레일리아	0011
오스트리아	00
이스라엘	014
이탈리아	00
중국	00
캐나다	011
콜롬비아	009
태국	001
페루	00
포르투갈	00

이용 지역	번호
브라질	0021
스웨덴	00
스위스	00
스페인	00
싱가폴	001
아르헨티나	00

이용 지역	번호
프랑스	00
핀란드	990
필리핀	00
한국	001
헝가리	00
홍콩	001

문의 정보

만일 해외에서 FOMA 카드(녹색/백색)를 분실하거나 도난당한 경우에는 신속히 도코모에 연락하여 이용 정지를 신청하십시오. 해외에서의 분실이나 도난, 정산, 고장에 대해서는 퀵매뉴얼(해외이용편) 표지의 「해외에서의 분실, 도난, 정산 정보」, 또는 P.1의 「해외에서의 고장 정보」로 문의하십시오. 또한, 분실하거나 도난당한 후 발생한 통화료 및 통신료는 고객님의 부담이 되므로 주의하십시오.

- 각 문의처 번호의 첫 번째 숫자에는 체재 국가에 해당하는 「주요 국가의 국제 전화 접속 번호(표1)」또는 「유니버셜 넘버용 국제 전화 식별 번호(표2)」가 필요합니다.

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。

ｉモードから　**ｉMenu ⇒ お客様サポート ⇒お申込・お手続き⇒各種お申込・お手続き** **パケット通信料無料**

パソコンから　**My docomo（http://www.mydocomo.com/）⇒ 各種お申込・お手続き**

※　ｉモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※　ｉモードからご利用になる場合のパケット通信料は無料です。海外からのアクセスの場合は有料となります。
※　パソコンからご利用になる場合、「docomo ID／パスワード」が必要となります。
※　「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は、取扱説明書裏面の総合お問い合わせ先にご相談ください。
※　ご契約内容によってはご利用いただけない場合があります。
※　システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■使用禁止の場所にいる場合

航空機内、病院内では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。
※　医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■運転中の場合

運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
※　やむを得ず電話を受ける場合には、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してから発信してください。

■劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにすべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

●**公共モード（ドライブモード／電源OFF）**

電話をかけてきた相手に運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所、または電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスを流し、通話を終了します。→P76、P77

●**伝言メモ**

電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の用件を録音します。→P77

●**バイブレータ**

電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。→P102

●**マナーモード／オリジナルマナーモード**

キー確認音や着信音などFOMA端末から鳴る音を消します（マナーモード）。→P105
マナーモードの動作を変更することもできます（オリジナルマナーモード）。→P105

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際は、回収、リサイクルに出しましょう。

総合お問い合わせ先
〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**151**（無料）

※一般電話などからはご利用できません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

※一般電話などからはご利用できません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページ、iモードサイトにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。

ドコモホームページ http://www.nttdocomo.co.jp/　　iモードサイト iMenu⇒お客様サポート⇒ドコモショップ

海外での紛失、盗難、精算などについて
〈ドコモ インフォメーションセンター〉（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号（表1） **-81-3-5366-3114***（無料）

*一般電話などからかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※L-06Aからご利用の場合は+81-3-5366-3114でつながります（「+」は「0」ボタンを1秒以上押します）。

一般電話などからの場合

〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2） **-800-0120-0151***

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号（表1）／ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）は、取扱説明書P412をご覧ください。

海外での故障に関して
〈ネットワークテクニカルオペレーションセンター〉（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号（表1） **-81-3-6718-1414***（無料）

*一般電話などからかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※L-06Aからご利用の場合は+81-3-6718-1414でつながります（「+」は「0」ボタンを1秒以上押します）。

一般電話などからの場合

〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2） **-800-5931-8600***

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号（表1）／ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）は、取扱説明書P412をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。

●お客さまが購入されたFOMA端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　LG Electronics Inc.

環境保全のため、不要になった電池はNTT ドコモまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

大豆油インキを使用しています。

再生紙を使用しています

'09.6（1.1版）
MMBB0339201

L-06A パソコン接続マニュアル

パソコン接続マニュアルについて

本マニュアルでは、L-06Aでデータ通信をする際に必要な事項についての説明をはじめ、CD-ROM内の「L-06A通信設定ファイル（ドライバ）」「ドコモ コネクションマネージャ」のインストール方法などを説明しています。お使いの環境によっては操作手順や画面が一部異なる場合があります。

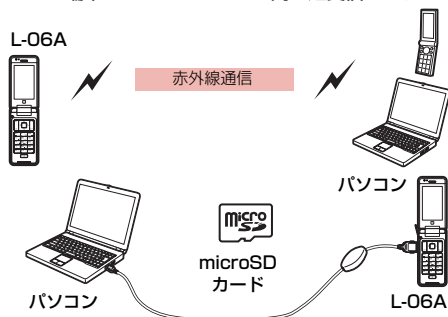
データ通信

FOMA端末から利用できるデータ通信

FOMA端末をパソコンと接続して、パケット通信とデータ転送（OBEX™通信）によるデータ通信をご利用いただけます。

- 64Kデータ通信には対応していません。
- Remote Wakeupには対応していません。
- FAX通信はサポートしていません。
- ドコモのPDA「musea」や「sigmarionⅢ」には対応していません。

データ転送（OBEX™通信）

画像や音楽、電話帳、メールなどのデータを、他のFOMA端末やパソコンなどとの間で送受信します。

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）
- microSDカード
- ドコモケータイdatalink※

※ 本FOMA端末からパソコンへの画像送信は行えません。

パケット通信

送受信したデータ量に応じて通信料金がかかる※1通信方式です。ネットワークに接続したままの状態で必要なときにのみデータを送受信する使いかたに適しています。通信環境やネットワークの混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォート方式による提供です。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」など、FOMAパケット通信に対応した接続先を利用して、受信時最大7.2Mbps／送信時最大5.7Mbps（ベストエフォート方式）※2の高速通信を行うことができます。

※1 多量のデータ通信を行うと、通信料金が高額になりますのでご注意ください。
※2 ・最大7.2Mbps・最大5.7Mbpsとは、技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。実際の通信速度は、ネットワークの混み具合や、通信環境により異なります。
・FOMA ハイスピードエリア外や HIGH-SPEED に対応していないアクセスポイントに接続するときは、通信速度が遅くなる場合があります。

L-06Aは、海外でも3GまたはGPRSのパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、データ通信ができます。

ご利用にあたっての留意点

インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットを利用する場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダ（以降プロバイダ）に対する利用料が必要になります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接プロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳細については、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」をご利用いただけます。「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。

接続先（プロバイダなど）の設定について

パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先をご利用ください。

- DoPaのアクセスポイントには接続できません。
- 「mopera」のサービス内容および接続設定方法については「mopera」のホームページをご確認ください。
http://www.mopera.net/mopera/index.html

パケット通信の条件

FOMA端末とパソコンなどを接続して通信を行うには、次の条件※が必要になります。ただし、条件が整っていても基地局の混雑状況や電波状態によって通信できないことがあります。

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）が利用できるパソコンであること
- FOMAサービスエリア内であること
- アクセスポイントがFOMAのパケット通信に対応していること

※ 日本国内の場合です。

ご使用になる前に

動作環境について

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は次のとおりです。

項　目	必要環境
パソコン本体	• PC-AT互換機でCD-ROMドライブが使用できる機器 • USBポート(Universal Serial Bus Specification Rev1.1/2.0準拠) • ディスプレイ解像度800×600ドット、High Color（65,536色）以上を推奨
OS※1※2	• Windows Vista、Windows XP、Windows 2000（各日本語版）
必要メモリ※3	• Windows Vista：512Mバイト以上 • Windows XP：128Mバイト以上 • Windows 2000：64Mバイト以上
ハードディスク容量※3※4	• 5Mバイト以上の空き容量

※1 OSアップグレードからの動作は保証いたしかねます。
※2 ドコモ コネクションマネージャの動作環境は、Windows 2000 SP4以上、Windows XP SP2以上です。動作環境の詳細はドコモホームページをご確認ください。
※3 必要メモリ、ハードディスク容量は、パソコンのシステム構成によって異なる場合があります。
※4 ドコモ コネクションマネージャは、15Mバイト以上の空き容量が必要です。

- メニューが動作する推奨環境はMicrosoft Internet Explorer7.0以降です。
  CD-ROMをセットしてもメニューが表示されない場合は次の手順で操作してください。
  ①**「(スタート)」▶「コンピュータ」を順にクリックする**
  ■ **Windows XPの場合**
  「スタート」▶「マイコンピュータ」を順にクリックする
  ■ **Windows 2000の場合**
  デスクトップの「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックする
  ②**CD-ROMのアイコンを右クリック▶「開く」を選択**
  ③**「index.html」をダブルクリックする**
  ※ Windows XP／2000の場合、推奨環境はMicrosoft Internet Explorer6.0以降です。
- 付属のCD-ROMをパソコンにセットすると、警告画面が表示される場合があります。この警告は、Microsoft Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。［はい］をクリックしてください。

必要な機器について

データ通信を利用するには、FOMA端末とパソコン以外に次の機器、およびソフトウェアが必要です。

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）
- L-06A用CD-ROM（付属品）

お知らせ

- USBケーブルは、専用のFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02、またはFOMA USB接続ケーブルをお買い求めください。パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。
- USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

データ転送（OBEX™通信）の準備の流れ

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）をご利用になる場合には、L-06A通信設定ファイルをインストールしてください。

L-06A通信設定ファイルをダウンロード、インストールする

- 付属のCD-ROMからインストール

　または

- ドコモのホームページからダウンロードし、インストール

データ転送

データ通信の準備の流れ

FOMA端末とパソコンを接続してパケット通信を利用する場合の準備の流れは次のとおりです。

FOMA端末の「USBモード設定」が「通信モード」に設定されていることを確認する→P3

FOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）で接続する→P3

L-06A通信設定ファイルをダウンロード、インストールする

- 付属のCD-ROMからインストール

または

- ドコモのホームページからダウンロードし、インストール

インストール後の確認をする→P9

ドコモ コネクションマネージャを使用して接続先を設定する→P10	ドコモ コネクションマネージャを使用しないで接続先とダイヤルアップネットワークを設定する→P14

接続する→P21

L-06A通信設定ファイルとドコモ コネクションマネージャについて

L-06A通信設定ファイル（ドライバ）
FOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02で接続して、パケット通信やファイル転送をするために必要なソフトウェア（ドライバ）です。
ドコモ コネクションマネージャ
パケット通信の接続先（APN）やダイヤルアップなどの設定を簡単に行うためのソフトウェアです。

FOMA端末とパソコンを接続する

FOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）で接続する方法について説明します。

USBモード設定

USBモードを設定する

FOMA端末の「USBモード設定」を「通信モード」にします。

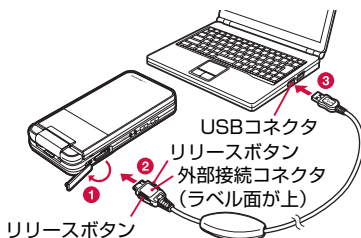
1 MENU▶「Settings」▶「その他」▶「USBモード設定」

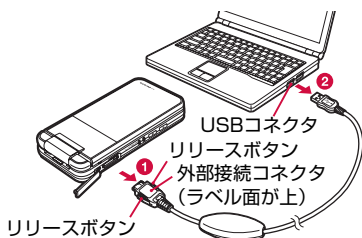
2 「通信モード」

FOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）で接続する

1 FOMA端末の外部接続端子キャップを開け（❶）、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02の外部接続コネクタをラベル面を上にしてまっすぐ「カチッ」と音がするまで差し込む（❷）

2 FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02のUSBコネクタをパソコンのUSB端子に接続する（❸）

次のページへ続く

取り外しかた

① FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）の外部接続コネクタのリリースボタンを押しながら、まっすぐ引き抜く（❶）

② パソコンのUSB端子からFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02を引き抜く（❷）

お知らせ

- 通信の切断、誤動作、データ消失の原因となるため、データ通信中にFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02を取り外さないでください。
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02のコネクタは無理に接続しないでください。故障の原因となります。各コネクタの向きや角度が正しくないと、接続できません。各コネクタの向きや角度が正しいときは、強い力を入れなくてもスムーズに接続できるようになっています。うまく接続できないときは、無理に行わずに、もう一度コネクタの向きや角度、形状などを確認してください。
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02は無理に取り外さないでください。無理に引っ張ろうとすると故障の原因となります。

インストール／アンインストール時の注意点

L-06A通信設定ファイル（ドライバ）やドコモ コネクションマネージャのインストール／アンインストール時は、次の点にご注意ください。

- インストール／アンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったアカウントで行ってください。それ以外のアカウントでインストール／アンインストールを行うとエラーになります。パソコンの管理者権限に関する設定や操作については、各パソコンメーカーまたはマイクロソフト社にお問い合わせください。
- インストール／アンインストールを行う前に、他のソフトウェアが稼動していないことを確認してください。稼動している場合は、ソフトウェアを終了させてから行ってください。

■ Windows Vistaの場合

「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「許可」または「続行」をクリックするか、パスワードを入力して［OK］をクリックしてください。パソコンの管理者権限に関する設定や操作については、各パソコンメーカーまたはマイクロソフト社にお問い合わせください。

L-06A通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする

FOMA端末とパソコンをはじめてFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）で接続する場合は、L-06A通信設定ファイルをインストールしておく必要があります。

- L-06A通信設定ファイルのインストールは、必ずFOMA端末とパソコンが接続されていない状態で開始してください。
- 操作の前に、必ず「インストール／アンインストール時の注意点」（P4）を参照してください。

Windows Vistaにインストールする場合

1 L-06A用CD-ROMをパソコンにセットする

「L-06A CD-ROM」画面が表示されます。

- パソコンの設定によっては、表示されない場合があります。その場合は、操作3に進みます。

2 画面右上の[×]をクリックする

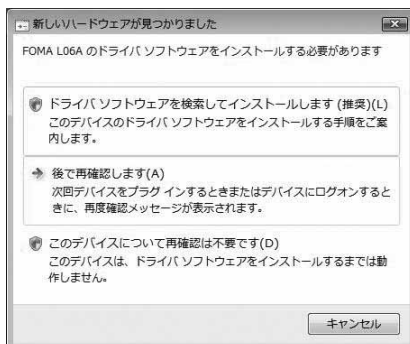
「L-06A CD-ROM」画面が消えます。

3 パソコンとFOMA端末を接続する

パソコンの画面のタスクバーから「新しいハードウェアが見つかりました」というポップアップメッセージが数秒間表示されます。

- 接続方法→P3
- FOMA端末の電源が入っている状態で接続してください。

4 「ドライバソフトウェアを検索してインストールします(推奨)」をクリックする

- クリック後、パソコンの画面のタスクバーから「デバイス　ドライバソフトウェアをインストールしています」というポップアップメッセージが数秒間表示されます。
- L-06A通信設定ファイルを同じパソコンに2回以上インストールした場合は、次の画面が表示されず、パソコンの画面のタスクバーから「デバイス　ドライバソフトウェアが正しくインストールされました」というポップアップメッセージが数秒間表示され、自動的にインストールが完了することがあります。
  その場合は、続いてL-06A通信設定ファイルが正しくインストールされていることを確認してください。→P9

5 「ディスクはありません。他の方法を試します」をクリックする

次のページへ続く

6 「コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します(上級)」をクリックする

7 L-06A通信設定ファイル(ドライバ)の検索先を入力 ▶[次へ]をクリックする

検索先として、「次の場所でドライバソフトウェアを検索します」欄に「＜CD-ROMドライブ名＞：¥guide¥L-06A_USB_Driver¥Drivers¥WinVista32」と入力します。

8 インストールの終了画面で[閉じる]をクリックする

この後、操作6〜8を2回行い、L-06A通信設定ファイルをすべてインストールします。

すべてのL-06A通信設定ファイルのインストールが完了すると、パソコンの画面のタスクバーから「デバイス　ドライバソフトウェアが正しくインストールされました」というポップアップメッセージが数秒間表示されます。
続いて、L-06A通信設定ファイルが正しくインストールされていることを確認してください。→P9

Windows XPにインストールする場合

1 L-06A用CD-ROMをパソコンにセットする

「L-06A CD-ROM」画面が表示されます。

- パソコンの設定によっては、表示されない場合があります。その場合は、操作3に進みます。

2 画面右上の☒をクリックする

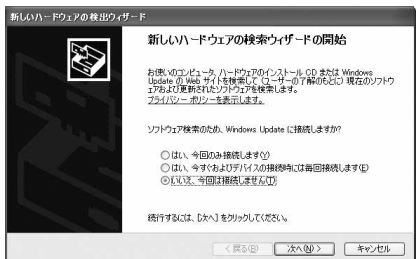
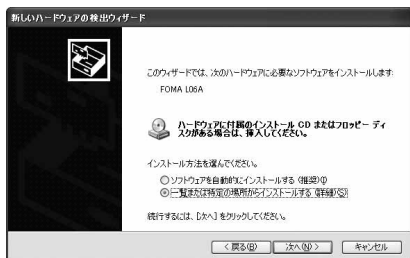
「L-06A CD-ROM」画面が消えます。

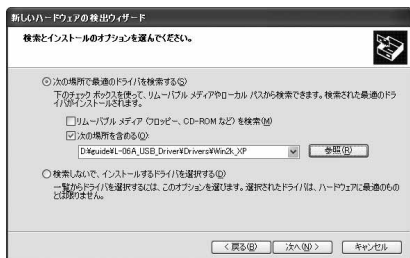
3 パソコンとFOMA端末を接続する

パソコンの画面のタスクバーから「新しいハードウェアが見つかりました」というポップアップメッセージが数秒間表示されます。

- 接続方法→P3
- FOMA端末の電源が入っている状態で接続してください。

4 「いいえ、今回は接続しません」を選択▶[次へ]をクリックする

次のページへ続く

5 「一覧または特定の場所からインストールする(詳細)」を選択▶[次へ]をクリックする

6 「次の場所で最適のドライバを検索する」を選択▶「リムーバブル メディア(フロッピー、CD-ROMなど)を検索」のチェックを外す▶「次の場所を含める」にチェックを入れる▶L-06A通信設定ファイル(ドライバ)の検索先を入力▶[次へ]をクリックする

検索先として、「次の場所を含める」欄に「<CD-ROMドライブ名>:¥guide¥L-06A_USB_Driver¥Drivers¥Win2k_XP」と入力します。

■ 最適なソフトウェアの選択画面が表示された場合

パソコンの状況によっては、次のような画面が表示される場合があります。
その場合は「<CD-ROMドライブ名>:¥guide¥L-06A_USB_Driver¥Drivers¥Win2k_XP」を選択▶［次へ］をクリックして、インストールを続けてください。

7 新しいハードウェアの検索ウィザードの完了画面で[完了]をクリックする

この後、操作4～7を2回行い、L-06A通信設定ファイルをすべてインストールします。

すべてのL-06A通信設定ファイルのインストールが完了すると、パソコンの画面のタスクバーから「新しいハードウェアがインストールされ、使用準備ができました」というポップアップメッセージが数秒間表示されます。
続いて、L-06A通信設定ファイルが正しくインストールされていることを確認してください。→P9

Windows 2000にインストールする場合

1 L-06A用CD-ROMをパソコンにセットする

「L-06A CD-ROM」画面が表示されます。

- パソコンの設定によっては、表示されない場合があります。その場合は、操作3に進みます。

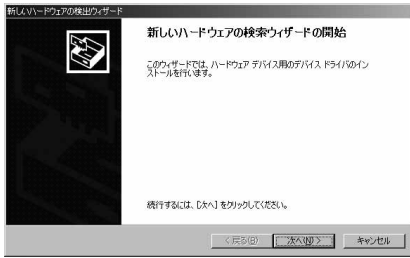
2 画面右上の☒をクリックする

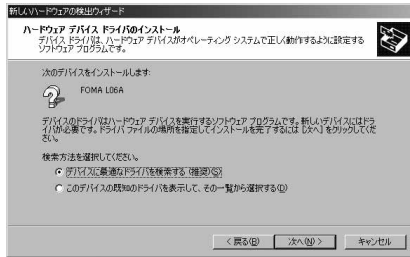
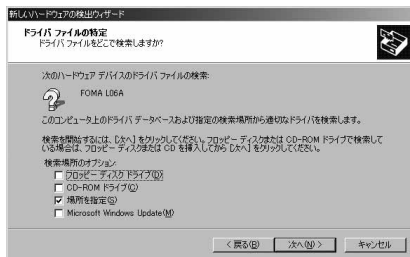
「L-06A CD-ROM」画面が消えます。

3 パソコンとFOMA端末を接続する

「新しいハードウェアが見つかりました」画面が数秒間表示されます。

- 接続方法→P3
- FOMA端末の電源が入っている状態で接続してください。

次のページへ続く

4 ［次へ］をクリックする

5 「デバイスに最適なドライバを選択する（推奨）」を選択▶［次へ］をクリックする

6 「場所を指定」を選択▶［次へ］をクリックする

7 L-06A通信設定ファイル（ドライバ）の検索先を入力▶［OK］をクリックする

検索先として、「製造元のファイルのコピー元」欄に「<CD-ROMドライブ名>：¥guide¥L-06A_USB_Driver¥Drivers¥Win2k_XP」と入力します。

8 ドライバ名を確認▶［次へ］をクリックする

9 新しいハードウェアの検索ウィザードの完了画面で［完了］をクリックする

この後、操作4〜9を2回行い、L-06A通信設定ファイルをすべてインストールします。

接続後、L-06A通信設定ファイルが自動的にインストールされます。
すべてのL-06A通信設定ファイルのインストールが完了すると、パソコンの画面のタスクバーから「新しいハードウェアがインストールされ、使用準備ができました」というポップアップメッセージが数秒間表示されます。
続いて、L-06A通信設定ファイルが正しくインストールされていることを確認してください。→P9

インストールしたL-06A通信設定ファイル（ドライバ）を確認する

L-06A通信設定ファイルが正しくインストールされていることを確認します。

例：Windows Vistaの場合

1 **「（スタート）」▶「コントロールパネル」▶「システムとメンテナンス」を順にクリックする**

■ Windows XPの場合
「スタート」▶「コントロールパネル」▶「パフォーマンスとメンテナンス」▶「システム」を順にクリックします。

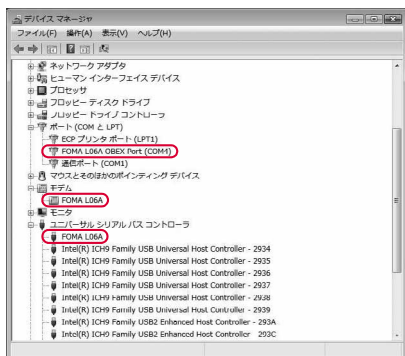
■ Windows 2000の場合
「スタート」▶「設定」▶「コントロールパネル」▶「システム」を順にクリックします。

2 **「デバイスマネージャ」▶［続行］を順にクリックする**

■ Windows XPの場合
「ハードウェア」タブをクリック▶［デバイスマネージャ］をクリックします。

■ Windows 2000の場合
「ハードウェア」タブをクリック▶「デバイスマネージャ」をクリックします。

3 **各デバイス表示をクリックして、インストールされたドライバ名を確認する**

「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」「ポート（COMとLPT）」「モデム」の各デバイスにすべてのドライバが表示されていることを確認します。

Windows Vistaの場合

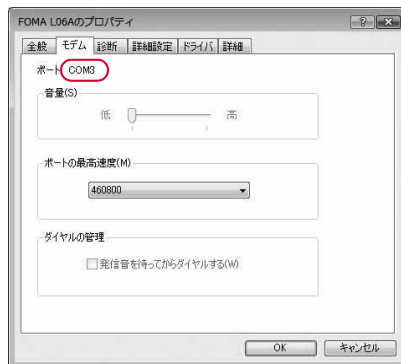
デバイス表示	ドライバ名
ユニバーサルシリアルバスコントローラ	FOMA L06A
ポート（COMとLPT）	FOMA L06A OBEX Port
モデム	FOMA L06A

FOMA端末の通信ポート番号を確認するには

ドコモ コネクションマネージャを使わずに通信の設定を行うときなどに、FOMA端末のモデム名や通信ポート（COMポート）の番号が必要になる場合があります。デバイスマネージャ画面から確認する方法を説明します。

① **FOMA端末とパソコンを接続する**
- 接続方法→P3

② **「インストールしたL-06A通信設定ファイル（ドライバ）を確認する」の操作1～2を行う**

③ **「モデム」をクリック▶「FOMA L06A」を選択▶メニューバーから［操作］▶［プロパティ］を順にクリック▶「モデム」タブをクリックする**
「ポート:」の右側にFOMA端末のCOMポート番号が表示されます。

L-06A通信設定ファイル（ドライバ）をアンインストールする

L-06A通信設定ファイルのアンインストールが必要な場合は、次の手順で行います。

- L-06A通信設定ファイルのアンインストールは、必ずFOMA端末とパソコンが接続されていない状態で開始してください。
- 操作の前に、必ず「インストール／アンインストール時の注意点」（P4）を参照してください。

例：Windows Vistaの場合

1 「（スタート）」▶「コントロールパネル」▶「プログラムのアンインストール」を順にクリックする

「プログラムのアンインストールまたは変更」画面が表示されます。

■ Windows XPの場合
「スタート」▶「コントロールパネル」▶「プログラムの追加と削除」を順にクリックします。

■ Windows 2000の場合
「スタート」▶「設定」▶「コントロールパネル」を順にクリック▶「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリックします。

2 「FOMA L06A USB」を選択▶「続行」をクリックする

■ Windows XP／2000の場合
「FOMA L06A USB」を選択▶「変更と削除」をクリックします。

3 ［OK］をクリックする

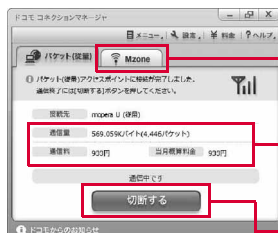
4 アンインストールの確認画面で［OK］をクリックする

アンインストールが終了します。

お知らせ

- L-06A通信設定ファイルをインストールするときに、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）が外れたり、パソコンで［キャンセル］を押してインストールを中止したりすると、正常にインストールされない場合があります。このような場合は、アンインストールの操作を行ってL-06A通信設定ファイルを一度削除してから、再度インストールしてください。

ドコモ コネクションマネージャについて

「ドコモ コネクションマネージャ」は、定額データ通信および従量データ通信を行うのに便利なソフトウェアです。「mopera U」のお申し込みや、お客様のご契約状況に応じたパソコンの設定を簡単に行うことができます。
また、料金カウンタ機能でデータ通信量や利用金額の目安を確認することもできます。

本書では、ドコモ コネクションマネージャのインストール方法までをご案内いたします。

端末を使ってインターネットに接続するためには、サービスおよびデータ通信に対応したインターネットサービスプロバイダ（「mopera U」など）のご契約が必要です。
詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。

お知らせ

<従量制データ通信（「パケ・ホーダイ」、「パケ・ホーダイフル」など含む）のご利用について>
- パケット通信を利用して、画像を含むホームページの閲覧、データのダウンロード（例：アプリケーションや音楽・動画データ、OS・ウイルス対策ソフトのアップデート）などのデータ量の多い通信を行うと、通信料が高額となる場合がありますのでご注意ください。
  なお、本FOMA端末をパソコンなどにUSBケーブルで接続してデータ通信を行う場合は、FOMAのパケット定額サービス「パケ・ホーダイ」、「パケ・ホーダイフル」、「Biz・ホーダイ」の定額対象外通信、「Biz・ホーダイ ダブル」の上限額対象外通信となりますのでご注意ください。

<定額データプランのご利用について>
- 定額データプランを利用するには、定額データ通信に対応した料金プラン・インターネットサービスプロバイダにご契約いただく必要があります。詳しくはドコモのホームページをご確認ください。

<moperaのご利用について>
- 接続設定方法については「mopera」のホームページをご確認ください。
  http://www.mopera.net/mopera/support/index.html

ドコモ コネクションマネージャをインストールする前に

インストールの流れ

① FOMA端末とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）または USBケーブルを用意する

② サービスおよびインターネットサービスプロバイダの契約内容を確認する

③ ドコモ コネクションマネージャ以外の接続ソフトがインストールされている場合は、必要に応じて自動的に起動しないように設定を変更する

- 「ドコモ コネクションマネージャ以外の接続ソフトのご利用について」→P11

Internet Explorerの設定について

本ソフトをインストールする前に、Internet Explorerのインターネットオプションで、接続の設定を［ダイヤルしない］に設定してください。

① Internet Explorerを起動し、［ツール］▶［インターネットオプション］を選択する
② ［接続］タブを選択し、［ダイヤルしない］を選択する
③ ［OK］をクリックする

お知らせ

<ドコモ コネクションマネージャ以外の接続ソフトのご利用について>

本ソフトには、以下のソフトと同等の機能が搭載されているため、以下のソフトを同時にご利用いただく必要はありません。

※ 必要に応じて、起動しない設定への変更やアンインストールを実施してください。

- mopera Uかんたんスタート
- Uかんたん接続設定ソフト
- FOMA PC設定ソフト
- FOMAバイトカウンタ

また、本ソフトでMzone（公衆無線LAN接続）を利用する場合は、以下の公衆無線LAN接続ソフトはアンインストールを行ってください。

※ 以下のソフトを同時にインストールした場合、本ソフトでのMzone接続はご利用いただけません。

- U公衆無線LANユーティリティソフト
- ドコモ公衆無線LANユーティリティソフト
- ドコモ公衆無線LANユーティリティプログラム

1 ドコモ コネクションマネージャを使用するユーザーでログオンする

■ **Windows Vistaの場合**
管理者アカウントが必要です。管理者アカウント以外でログオンしている場合は、インストールの途中で、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。

■ **Windows XP／2000の場合**
Administratorsグループに所属しているユーザーや「コンピュータの管理者」のユーザーでログオンします。

2 起動しているアプリケーションをすべて終了する

ウイルスチェックソフトを含む、Windows上に常駐しているプログラムも終了します。

- 例：タスクバーに表示されているアイコンを右クリックし、［閉じる］または［終了］を選択します。

ドコモ コネクションマネージャをインストールする

1 L-06A用CD-ROMの案内に従ってインストーラーを起動する

L-06A通信設定ファイル（ドライバ）がインストールされていない場合は、ドコモ コネクションマネージャをインストールする前にドライバをインストールします。
「L-06A通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする」→P5

既にドライバがインストールされている場合は、「インターネット接続」▶「本CD-ROMからのFOMAデータ通信の設定方法」の項目②にある「インストール」からドコモ コネクションマネージャをインストールすることができます。

お知らせ

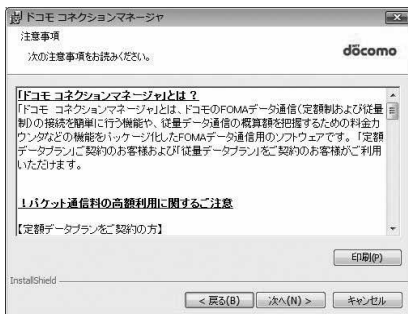
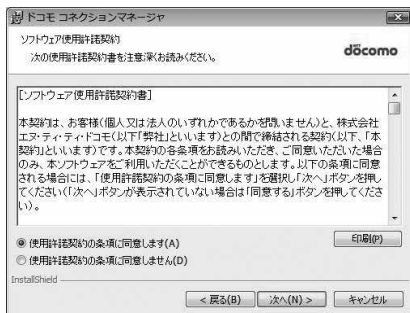
- Windows XPで、MSXML6・Wireless LAN APIが環境にない場合は、ドコモ コネクションマネージャをインストールする前に、それらをインストールする必要があります。確認の画面が表示されたときは［Install］ボタンを押して、MSXML6・Wireless LAN APIをインストールします。
MSXML6・Wireless LAN APIのインストール完了後、Windowsを再起動すると、自動的にドコモ コネクションマネージャのインストールがはじまります。

2 ［続行］をクリックする

- Windows XP／2000の場合、［ユーザーアカウント制御］画面は表示されません。すぐにセットアッププログラムが起動します。

3 ［次へ］をクリックする

4 注意事項を必ず確認のうえ、［次へ］をクリックする

次のページへ続く

5 使用許諾契約書の内容を確認のうえ、契約内容に同意する場合は、[使用許諾契約の条項に同意します]を選択し、[次へ]をクリックする

6 インストール先のフォルダを確認して、[次へ]をクリックする

7 [インストール]をクリックする

インストールがはじまります。

8 [完了]をクリックする

これでインストールは完了です。

ドコモ コネクションマネージャを起動する

1 「(スタート)」▶「すべてのプログラム」▶「NTT DOCOMO」▶「ドコモ コネクションマネージャ」▶「ドコモ コネクションマネージャ」

ドコモ コネクションマネージャを起動します。

■ Windows XPの場合

「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「NTT DOCOMO」▶「ドコモ コネクションマネージャ」▶「ドコモ コネクションマネージャ」を順にクリックします。

■ Windows 2000の場合

「スタート」▶「プログラム」▶「NTT DOCOMO」▶「ドコモ コネクションマネージャ」▶「ドコモ コネクションマネージャ」を順にクリックします。

2 初回起動時には、自動的に設定ウィザードが表示される

以降はソフトの案内に従って操作・設定をすることで、インターネットに接続する準備が整います。詳しくは、『ドコモ コネクションマネージャ操作マニュアル』をご覧ください。

次のページへ続く

お知らせ

- インターネットブラウザやメールソフトを終了しただけでは、通信は切断されません。
  通信をご利用にならない場合は、必ずドコモ コネクションマネージャの［切断する］ボタンで通信を切断してください。
  OSアップデートなどにおいて自動更新を設定していると自動的にソフトウェアが更新され、パケット通信料が高額となる場合がございますのでご注意ください。

ダイヤルアップネットワークの設定

ドコモ コネクションマネージャを使用せずに、パケット通信のダイヤルアップ接続を設定する方法について説明します。

接続先（APN）を設定する

パケット通信で使う接続先（APN）を設定します。接続先（APN）は最大11件設定でき、登録番号（cid）で管理します。
設定には、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。ここではWindows標準添付の「ハイパーターミナル」を使った設定方法を説明します。

- お買い上げ時、登録番号（cid）1にはmopera.ne.jp、3にはmopera.netが設定されていますので、接続先を設定するときは、cid2、または4～11に設定してください。
- Windows Vistaは「ハイパーターミナル」に対応していません。Windows Vistaで設定する場合は、Windows Vistaに対応する通信ソフトをご使用ください。設定方法については、ご使用になるソフトの取扱説明書などをご参照ください。
- 「mopera U」「mopera」以外の接続先（APN）については、ご利用のプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

例：Windows XPの場合

1 FOMA端末とパソコンを接続する

- 接続方法→P3

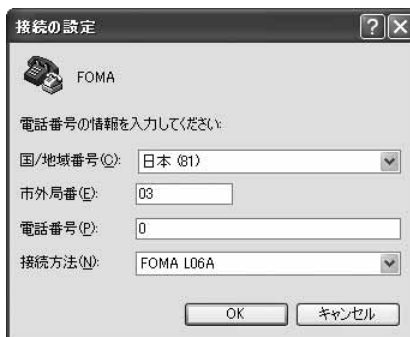
2 「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ハイパーターミナル」を順にクリックする

ハイパーターミナルが起動します。

■ **Windows 2000の場合**
「スタート」▶「プログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ハイパーターミナル」を順にクリックします。

3 「名前」欄に任意の接続先名を入力▶［OK］をクリックする

4 「電話番号」欄に実在しない電話番号（「0」など）を入力▶「接続方法」に「FOMA L06A」と表示されていることを確認▶［OK］をクリックする

- 複数のモデム名が「接続方法」欄に表示されるときは、FOMA端末のモデム名を確認して、選択してください。→P9

5 接続画面で［キャンセル］をクリックする

ハイパーターミナルの入力画面が表示されます。

次のページへ続く

6 接続先(APN)を入力▶⏎を押す

AT+CGDCONT=<cid>,"<PDP type>","<APN>"⏎の形式で入力します。
<cid>、<PDP type>、<APN>の部分には、それぞれ次の情報を任意で入力してください。
入力後、「OK」と表示されれば、接続先（APN）の設定は完了です。

cid　：2、4～11の内の任意の番号を入力します。
※ 既にcidが設定されている番号を選択した場合は、設定が上書きされますのでご注意ください。

PDP type：接続先が対応する接続方式をPPPまたはIPのどちらかから選択して、" "で囲んで入力します。

APN　：接続先（APN）を" "で囲んで入力します。

- 入力した文字が表示されない場合は、ATE1⏎を入力してください。

cid2にPDP typeがPPP、APNがXXX.comの接続先を登録する場合

■ 指定したcidの接続先（APN）の設定をリセットする場合
AT+CGDCONT=<cid>⏎を入力します。

■ 設定されている接続先（APN）を確認する場合
AT+CGDCONT?⏎を入力します。

7 「ファイル」▶「ハイパーターミナルの終了」を順にクリックする

8 切断の確認画面で[はい]をクリック▶保存の確認画面で[いいえ]をクリックする

ハイパーターミナルが終了し、接続先（APN）の設定が完了します。

お知らせ

- 接続先（APN）は、FOMA端末に登録される情報のため、異なるFOMA端末を接続する場合は接続先（APN）を登録し直してください。
- パソコンに登録されている接続先（APN）を継続利用する場合は、FOMA端末の同じ登録番号（cid）に同じ接続先（APN）を登録してください。

発信者番号の通知／非通知を設定する

パケット通信時に接続先に発信者番号を通知するかどうかを設定できます。ここでは、ATコマンド（＊DGPIRコマンド→P24）を使って、接続する前に設定する方法を説明します。
発信者番号はお客様の大切な情報です。通知する際には、十分ご注意ください。

- Windows Vistaは「ハイパーターミナル」に対応していません。Windows Vista で設定する場合は、Windows Vistaに対応する通信ソフトをご使用ください。設定方法については、ご使用になるソフトの取扱説明書などをご参照ください。

1 「接続先(APN)を設定する」(P14)の操作1～5を行う

ハイパーターミナルが起動します。

2 発信者番号の通知(186)／非通知(184)をATコマンドで設定する

AT＊DGPIR=<n> の形式で以下のように入力します。
入力後、「OK」と表示されれば、通知／非通知の設定は完了です。

- 入力した文字が表示されない場合は、ATE1⏎を入力してください。

■ 発信者番号を非通知にする場合
AT＊DGPIR=1⏎
発信／着信応答時に自動的に184が付きます。

■ 発信者番号を通知する場合
AT＊DGPIR=2⏎
発信／着信応答時に自動的に186が付きます。

■ ＊DGPIRコマンドによる通知／非通知の設定を初期値（設定なし）に戻す場合
AT＊DGPIR=0⏎

お知らせ

- ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」または「mopera」をご利用になる場合は、発信者番号を「通知」に設定する必要があります。

次のページへ続く

接続先番号による発信者番号の通知／非通知の設定について

ダイヤルアップネットワークの設定時（P16）に接続先番号に186（通知）／184（非通知）を付けても、発信者番号の通知／非通知を設定できます。
接続先番号、および＊DGPIRコマンドの各設定による発信者番号の通知／非通知の状態は以下のようになります。

接続先番号の設定（cid=3の場合）	＊DGPIRコマンドによる設定		
	設定なし	非通知	通知
＊99＊＊＊3＃	通知	非通知	通知
184＊99＊＊＊3#	非通知（接続先番号の設定（184）が優先されます）		
186＊99＊＊＊3#	通知（接続先番号の設定（186）が優先されます）		

ダイヤルアップネットワークの設定をする

パソコンから通信（ダイヤルアップネットワーク）の設定をします。

- 「mopera U」「mopera」以外に接続する場合の設定内容については、ご利用のプロバイダまたはネットワーク管理者へお問い合わせください。

例：<cid>=3に登録されているドコモのインターネット接続サービス「mopera U」へ接続する場合

Windows Vistaで設定する場合

1 「（スタート）」▶「接続先」を順にクリックする

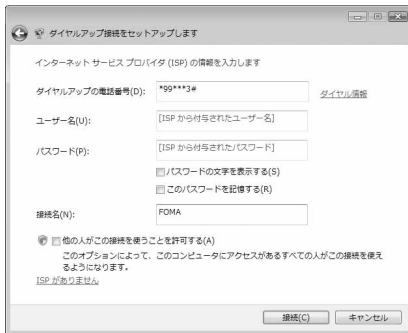
2 「接続またはネットワークをセットアップします」をクリックする

3 「ダイヤルアップ接続をセットアップします」を選択▶［次へ］をクリックする

4 モデムの選択画面が表示された場合は「FOMA L06A」をクリックする

モデムの選択画面は、複数のモデムが存在するときのみ表示されます。

5 各種設定を行い、［接続］をクリックする

- 「ダイヤルアップの電話番号」欄に接続先の番号を入力します。
- 「接続名」欄に任意の接続名を入力します。
- 「ユーザー名」「パスワード」の各欄にプロバイダまたはネットワーク管理者から指定された設定を入力します。
- 「mopera U」または「mopera」に接続する場合は、「ユーザー名」「パスワード」は空欄でも接続できます。

6 「（接続名）に接続中...」画面で［スキップ］をクリックする

接続テストは行わずに、設定のみ確認します。

- ［スキップ］をクリックしない場合、インターネットに接続されますのでご注意ください。

7 「接続をセットアップします」▶［閉じる］をクリックする

8 「（スタート）」▶「接続先」を順にクリックする

9 作成したダイヤルアップのアイコンを選択▶右クリックして「プロパティ」をクリックする

次のページへ続く

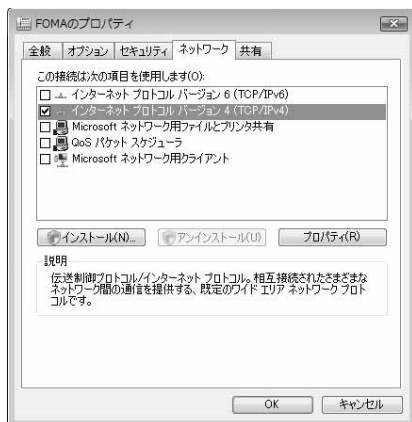
10 「全般」タブの画面で設定を確認する

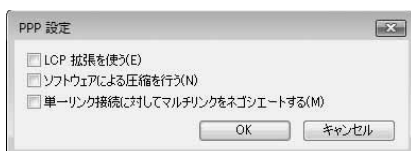
パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、「接続の方法」欄で「モデム−FOMA L06A」のみにチェックが付いていることを確認します（チェックが付いていない場合には、チェックします）。

- 「ダイヤル情報を使う」にチェックが付いていないことを確認します（チェックが付いている場合は、チェックを外します）。

11 「ネットワーク」タブをクリック▶各種設定を行う

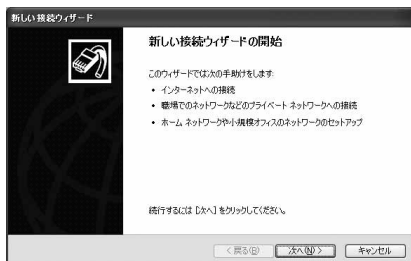
「この接続は次の項目を使用します」欄は、「インターネット プロトコル バージョン4（TCP/IPv4）」にチェックを付けます。
「QoSパケット スケジューラ」の設定は、プロバイダまたはネットワーク管理者の指定に従ってください。

- TCP/IPを設定する場合は、［プロパティ］をクリックします。設定については、プロバイダまたはネットワーク管理者に確認してください。

12 「オプション」タブをクリック▶［PPP設定］をクリックする

13 すべての項目のチェックを外す▶［OK］をクリックする

14 「オプション」タブの画面で［OK］をクリックする

Windows XPで設定する場合

1 「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「新しい接続ウィザード」を順にクリックする

2 新しい接続ウィザード画面で［次へ］をクリックする

3 「インターネットに接続する」を選択▶［次へ］をクリックする

4 「接続を手動でセットアップする」を選択▶［次へ］をクリックする

5 「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を選択▶［次へ］をクリックする

6 「デバイスの選択」画面が表示された場合は「モデム−FOMA L06A」を選択▶［次へ］をクリックする

デバイスの選択画面は、複数のモデムが存在するときのみ表示されます。

次のページへ続く

7 「ISP名」欄に任意の名前を入力▶［次へ］をクリックする

8 「電話番号」欄に接続先の番号を入力▶［次へ］をクリックする

9 接続の利用範囲を選択▶［次へ］をクリックする

ユーザーの選択を任意で行ってください。

- パソコンの設定によっては、この画面が表示されない場合があります。

10 「ユーザー名」「パスワード」「パスワードの確認入力」の各欄に入力▶［次へ］をクリックする

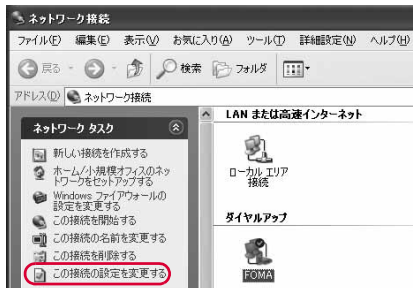
プロバイダまたはネットワーク管理者から指定された設定を入力します。

- 「mopera U」または「mopera」に接続する場合は、空欄でも接続できます。

11 ［完了］をクリックする

新しく作成した接続ウィザードが表示されます。

12 「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワーク接続」を順にクリックする

13 作成したダイヤルアップのアイコンを選択▶「この接続の設定を変更する」をクリックする

14 「全般」タブの画面で設定を確認する

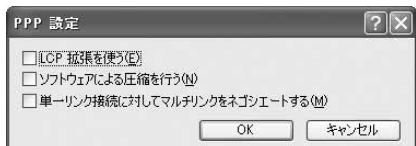
- パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、「接続方法」欄で「モデム−FOMA L06A」のみにチェックを付けます。
- 「ダイヤル情報を使う」のチェックを外します。

次のページへ続く

15 「ネットワーク」タブをクリック▶各種設定を行う

- 「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」欄は、「PPP:Windows 95/98/NT4/2000,Internet」を選択します。
- 「この接続は次の項目を使用します」欄は、「インターネット プロトコル（TCP/IP）」にチェックを付けます。「QoSパケット スケジューラ」の設定は変更できません。

16 ［設定］をクリックする

17 すべての項目のチェックを外す▶［OK］をクリックする

18 「ネットワーク」タブの画面で［OK］をクリックする

Windows 2000の場合

1 「スタート」▶「プログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワークとダイヤルアップ接続」を順にクリックする

2 ネットワークとダイヤルアップ接続画面で「新しい接続の作成」アイコンをダブルクリックする

3 所在地情報画面が表示された場合は「市外局番」を入力▶［OK］をクリックする

「新しい接続の作成」をはじめて起動したときのみ表示されます。2回目以降は操作5に進んでください。

4 電話とモデムのオプション画面で［OK］をクリックする

5 ネットワークの接続ウィザード画面で［次へ］をクリックする

6 「インターネットにダイヤルアップ接続する」を選択▶［次へ］をクリックする

7 「インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク（LAN）を使って接続します」を選択▶［次へ］をクリックする

8 「電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します」を選択▶［次へ］をクリックする

9 モデムの選択画面が表示された場合は「FOMA L06A」を選択▶［次へ］をクリックする

モデムの選択画面は、複数のモデムが存在するときのみ表示されます。

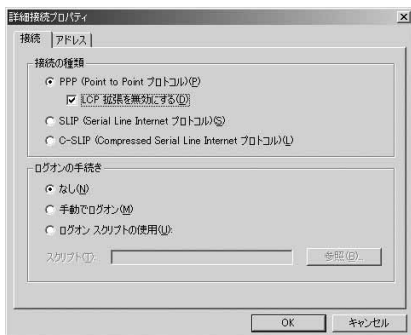
- 「FOMA L06A」が表示されていない場合は、「インターネットへの接続に使うモデムを選択する」欄をクリックして「FOMA L06A」を選択します。

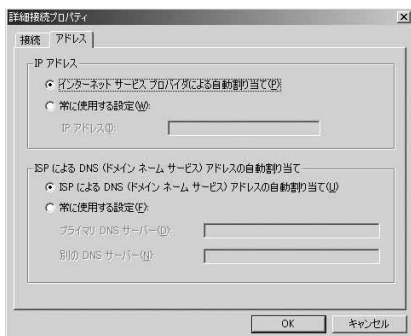
10 「電話番号」欄に接続先の番号を入力▶［詳細設定］をクリックする

「市外局番とダイヤル情報を使う」のチェックを外します。

次のページへ続く

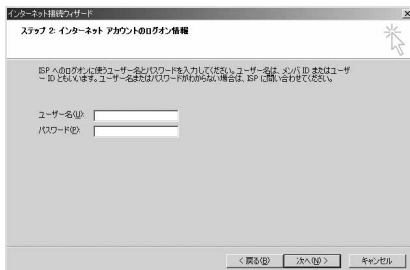
11 「接続」タブの画面で画面例のように設定を行う

- 「mopera U」「mopera」以外に接続する場合、「接続の種類」「ログオンの手続き」の各欄にプロバイダまたはネットワーク管理者から指定された設定を入力します。

12 「アドレス」タブをクリック▶画面例のように設定▶[OK]をクリックする

- 「mopera U」「mopera」以外に接続する場合は、「IPアドレス」「ISPによるDNS（ドメインネームサービス）アドレスの自動割り当て」の各欄にプロバイダまたはネットワーク管理者から指定された設定を入力します。

13 「インターネットアカウントの接続情報」画面で[次へ]をクリックする

14 「ユーザー名」「パスワード」を入力▶[次へ] をクリックする

プロバイダまたはネットワーク管理者から指定された設定を入力します。

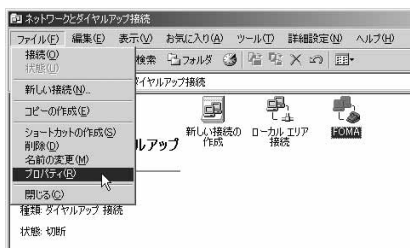
- 「mopera U」または「mopera」に接続する場合は、空欄でも接続できます。空欄の場合、ユーザー名とパスワードの空白を確認する画面が続けて表示されます。各画面で［はい］をクリックします。

15 「接続名」欄に任意の接続先名を入力▶[次へ]をクリックする

16 「いいえ」を選択▶[次へ]をクリックする

17 [完了]をクリックする

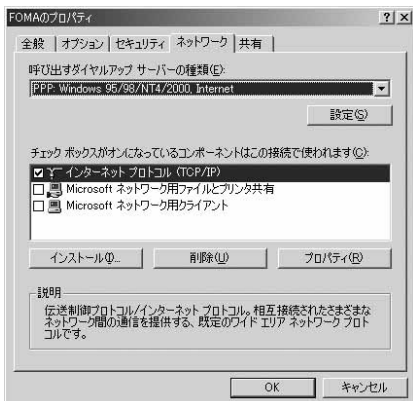
- 「今すぐインターネットに接続するにはここを選び完了をクリックしてください」が表示される場合はチェックを外します。

18 作成したダイヤルアップのアイコンを選択▶「ファイル」▶「プロパティ」を順にクリックする

次のページへ続く

19 「全般」タブの画面で設定を確認する

- パソコンに2台以上モデムが接続されている場合は、「接続の方法」欄で「モデム－FOMA L06A」のみにチェックを付けます。
- 「ダイヤル情報を使う」のチェックを外します。

20 「ネットワーク」タブをクリック▶各種設定を行う

- 「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」欄は、「PPP: Windows 95/98/NT4/2000, Internet」を選択します。
- 「チェックボックスがオンになっているコンポーネントはこの接続で使われます」欄は、「インターネット プロトコル（TCP/IP）」のみにチェックを付けます。

21 [設定]をクリックする

22 すべての項目のチェックを外す▶[OK]をクリックする

23 「ネットワーク」タブの画面で[OK]をクリックする

通信を行う

ドコモ コネクションマネージャを使わない通信および通信の切断の操作について説明します。

- 通信する前にFOMA端末がパソコンに正しく接続されていることを確認してください。→P3
- 通信するときは、設定に使用したFOMA端末を接続してください。異なるFOMA端末を接続した場合は、L-06A通信設定ファイルの再インストールが必要になる場合があります。

例：Windows Vistaの場合

1 「 (スタート)」▶「接続先」を順にクリック▶設定した接続先を選択▶[接続]をクリックする

■ Windows XPの場合

「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワーク接続」を順にクリック▶設定した接続先のアイコンをダブルクリックします。

■ Windows 2000の場合

「スタート」▶「プログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワークとダイヤルアップ接続」を順にクリック▶設定した接続先のアイコンをダブルクリックします。

次のページへ続く

2 「ユーザー名」「パスワード」を入力▶[ダイヤル]をクリックする

接続先に接続されます。

- 「mopera U」または「mopera」に接続する場合は「ユーザー名」「パスワード」の各欄は空欄のまま、[ダイヤル]をクリックしても接続できます。その他のプロバイダやダイヤルアップ接続を選択した場合は、「ユーザー名」「パスワード」の各欄に入力し、[ダイヤル]をクリックしてください。
- ユーザー名とパスワードの保存、またはパスワードの保存にチェックを付けると、次回からは入力を省略できます。
- OSの種類によっては、ダイヤルアップを接続すると接続の完了画面が表示されます。ただし、以前に接続完了のメッセージを表示しない設定にした場合は、完了画面は表示されません。

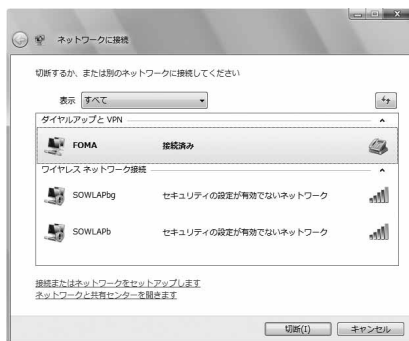
通信を切断する

インターネットブラウザを終了しただけでは通信が切断されない場合があります。次の操作を行い、確実に切断してください。

1 パソコンのタスクトレイのダイヤルアップアイコンをクリックする

接続状態を示す画面が表示されます。

2 [切断]をクリックする

通信が切断されます。

お知らせ

- パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。

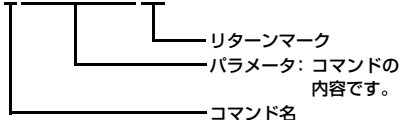
ATコマンドについて

パソコンでFOMA端末の機能の設定や状態の確認を行うためのコマンド（命令）です。通常は通信ソフトがATコマンドを発行するので、ATコマンドを意識する必要はありません。独自にATコマンドを入力してFOMA端末を制御したい場合に利用します。

ATコマンドの入力形式

ATコマンドの入力はハイパーターミナルなどの通信ソフトのターミナルモード画面で行います。

- ターミナルモードとは、パソコンで入力された文字が通信ポートに接続されている回線に送信されるモードのことを示します。

入力例

- ATコマンドは、コマンドに続くパラメータ（数字や記号）を含めて、必ず1行で入力します。通信ソフトのターミナルモード画面では、最初の文字から↵の直前の文字までが「1行」になります。ATコマンドも含めて256文字まで入力できます。
- ATコマンドは、コマンドに続くパラメータも含めて、必ず半角英数字で入力してください。
- 入力した文字が表示されない場合は、ATE↵を入力してください。

ATコマンド一覧

L-06A Modemで使用できるATコマンドです。

- 以下のコマンドは、入力可能ですが機能しない無効なコマンドです。
  - AT（ATのみ入力）
  - ATS0（自動着信するまでの呼び出し回数設定）
  - ATS6（ダイヤルするまでのポーズ時間設定）
  - ATS8（カンマダイヤルによるポーズ時間設定）
  - ATS10（自動切断までの遅延時間設定）

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
A/	直前に実行したATコマンドを再実行します。入力の最後にキャリッジリターン（CR）の入力は不要です。	－	A/ OK
AT%V	FOMA端末のバージョンを表示します。	－	AT%V L06A-XXXXXXXXX-XXXXX-XXX-XX-2008-DCM-JP X　[XXX XX 2008 XX:XX:XX] OK
AT&C<n>	DTEへの回路CD信号の動作条件を選択します。	n=0：CDは常にON n=1：CDは相手モデムのキャリアに応じて変化する（初期値）	AT&C1 OK
AT&D<n>	DTEから受け取る回路ER信号がオンまたはオフへ遷移したときの動作を選択します。	n=0：ERの状態を無視する（常にONとみなします） n=2：回線を切断しERがONからOFFに変化すると、オフラインコマンド状態になる（初期値）	AT&D2 OK
AT&F<n>	すべてのレジスタを工場出荷時の設定値に戻します。通信中にこのコマンドが入力された場合は、回線切断の処理が行われます。	n=0のみ指定可能（省略可）	－
AT&W<n>	現在の設定値をFOMA端末に記憶します。	n=0のみ指定可能（省略可）	－
AT＊DANTE	FOMA端末の電波状態（アンテナマークの棒の本数）を表示します。	リザルトの書式： ＊DANTE:<m> m=0：圏外の状態 m=1：アンテナが0本または1本表示される状態 m=2：アンテナが2本表示される状態 m=3：アンテナが3本表示される状態	AT＊DANTE ＊DANTE:3 OK

次のページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT＊DGPIR=<n>	パケット通信時に、接続先への発信者番号の通知／非通知を設定します。 本コマンドの設定は、発信時に有効です。 なお、ダイヤルアップネットワークの設定で、接続先の番号に184（非通知）／186（通知）を付けても設定できます。→P16	n=0：APNの設定のまま接続 n=1：APNに184（非通知）を付加して接続 n=2：APNに186（通知）を付加して接続 AT＊DGPIR? :現在の設定値を表示する	AT＊DGPIR=0 OK AT＊DGPIR? ＊DGPIR:0 OK
AT＊DRPW	FOMA端末の受信電力指標値を表示します（最小値～最大値：0～75）。	－	AT＊DRPW ＊DRPW:25 OK
AT+CACM="<passwd>"	FOMAカードに記録される累積課金の値をリセットします。	passwd:PIN2コード 入力したPIN2コードが正しかった場合は、累積課金の値をリセットします。	(PIN2コードとして「1234」を入力) AT+CACM="1234" OK
AT+CBC	FOMA端末の電池残量を表示します。	リザルトの書式： ＋CBC:<bcs>,<bcl> bcs=0：電池パックより電源が供給されている状態 bcs=1：電池パックより電源が供給されていない状態 bcs=2：FOMA端末に電池パックが接続されていない状態 bcs=3：電源供給エラーによるFOMA端末から発信不可の状態 bcl　：電池残量を0～100の数値で表示する	AT+CBC +CBC:0,70 OK
AT+CGDCONT	パケット通信の接続先（APN）を設定します。	P30をご参照ください。	P30をご参照ください。
AT+CGEQMIN	PPPパケット通信の接続確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうか判定する基準値を登録します。	P30をご参照ください。	P30をご参照ください。
AT+CGEQREQ	PPPパケット通信の発信時にネットワーク側へ要求するQoS（サービス品質）を設定します。	P30をご参照ください。	P30をご参照ください。
AT+CGMR	FOMA端末のバージョンを表示します。	－	AT+CGMR XXXXXXXXXXXXXXXX OK

次のページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+CGREG=<n>	ネットワークへの登録状態を通知するかどうかを設定します。ネットワークから応答される通知情報に応じて圏内または圏外を表示します。	n=0：通知なし（初期値） n=1：通知あり 圏内／圏外が切り替わると通知する AT+CGREG? ：現在の状態を表示する リザルトの書式： +CGREG:<n>,<stat> n：通知のあり／なしの現在の設定値を表示する stat=0:パケット通信圏外 stat=1:パケット通信圏内 stat=4:不明 stat=5:パケット通信圏内（ローミング時）	AT+CGREG=1 OK (通知ありに設定した場合) AT+CGREG? +CGREG: 1,0 OK (パケット通信圏外の場合)
AT+CGSN	FOMA端末の製造番号を表示します。	―	AT+CGSN XXXXXXXXXXXXXXX OK
AT+CMEE=<n>	FOMA端末のエラーレポートの有無を設定します。	n=0：通常のERROR リザルトを用いる（初期値） n=1：+CME ERROR:<err>リザルトコードを使用し、<err>は数値を用いる n=2：+CME ERROR:<err>リザルトコードを使用し、<err>は文字を用いる AT+CMEE? ：現在の設定値を表示する 右記は誤ったPINロック解除コード、およびPIN1/PIN2コードを入力した場合の表示例です。	AT+CMEE=0 OK AT+CPIN="12345678","1234" ERROR AT+CMEE=1 OK AT+CPIN="12345678","1234" +CME ERROR : 16 AT+CMEE=2 OK AT+CPIN="12345678","1234" +CME ERROR : incorrect password
AT+CNUM	FOMA端末の自局電話番号を表示します。	リザルトの書式： +CNUM:,<number>,<type> number：自局電話番号 type=129 ：電話番号に「+」（国際アクセスコード）を含まない type=145 ：電話番号に「+」（国際アクセスコード）を含む	AT+CNUM +CNUM:,"090XXXXXXXX",129 OK

次のページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+CPAS	FOMA端末への制御信号が使用できる状態かどうかを表示します。	リザルトの書式： ＋CPAS:<pas> pas 0:FOMA端末への制御信号の送受信が可能	AT+CPAS ＋CPAS:0
AT+CPIN="<pin>"[,"<newpin>"]	FOMA端末にPINコードを入力します。	PIN1/PIN2/PINロック解除コードを入力します。 AT+CPIN? ：PIN1またはPIN2コードの状態を示します。リザルトコードについてはP31を参照してください。 ※AT+CPINによってPIN認証は可能ですが、FOMA端末には表示されません。ご注意ください。	AT+CPIN? +CPIN：SIM PIN OK （PIN1またはPIN2コードとして「1234」を入力） AT+CPIN="1234" OK （PINロック解除コードとして「12345678」、新しいPIN1またはPIN2コードとして「1234」を入力） AT+CPIN="12345678","1234" OK
AT+CPUC="<currency>","<ppu>"[,"<Passwd>"]	FOMAカードの通貨テーブルを書き換えます。	passwd：PIN2コード ※入力したPIN2コードが誤っていた場合は、「ERROR」が表示されます。 AT+CPUC? ：現在の設定値を表示する	（PIN2コードとして「1234」を入力） AT+CPUC="YEN","0.2","1234" OK AT+CPUC? +CPUC:"YEN","0.2" OK AT+CPUC =? OK
AT+CREG=<n>	圏内／圏外情報の表示に関するリザルト表示の有無を設定します（パソコンのOSによっては設定できない場合があります）。	n=0：通知なし（初期値） n=1：通知あり 圏内／圏外が切り替わると通知する AT+CREG? ：現在の状態を表示する リザルトの書式： +CREG:<n>,<stat> n：通知のあり／なしの現在の設定値を表示する stat=0:音声圏外 stat=1:音声圏内 stat=4:不明 stat=5:音声圏内（ローミング時）	AT+CREG=1 OK （通知ありに設定） AT+CREG? +CREG:1,0 OK （圏外の場合） +CREG:1 （圏外から圏内に移動した場合）

次のページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+FCLASS=<n>	FOMA端末がサポートする通信種別を設定します。	n=0 ：データのみサポート（初期値） AT+FCLASS? ：現在の設定値を表示する	AT+FCLASS=0 OK
AT+GCAP	FOMA端末のATコマンドのサポート能力を表示します。	－	AT+GCAP +GCAP:+CGSM,+FCLASS,+W OK
AT+GMI	製造元名を表示します。	－	AT+GMI LG Electronics Inc OK
AT+GMM	FOMA端末の製品名を表示します。	－	AT+GMM FOMA L06A OK
AT+GMR	FOMA端末のバージョンを表示します。	－	AT+GMR L06A-MSM409565-VXXX-XXX-XX-XXXX-DCM-JP X [XXX XX 2008 XX:XX:XX] OK
AT+IFC=<n>,<m>	フロー制御方式を設定します。	n:DCE by DTE m:DTE by DCE <n>,<m>のパラメータ 0:フロー制御なし 1:XON/XOFFフロー制御 2:RS/CS（RTS/CTS）フロー制御（初期値） AT+IFC? ：現在の設定値を表示する	AT+IFC=2,2 OK AT+IFC? +IFC:2,2
AT+WS46=<n>	FOMA端末が使用する無線ネットワークを設定します。	n=12:GSM n=22:3G（W-CDMA） n=25:自動切り替え（初期値） AT+WS46? ：現在の設定値を表示する	AT+WS46=22 OK AT+WS46? 22 OK
AT¥S	現在設定されている各コマンド、Sレジスタの内容を表示します。	－	AT¥S E1 Q0 V1 X4 &C1 &D2 S000=000 S003=013 S004=010 S005=008 S006=005 S007=060 S008=003 S010=001 OK

次のページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
ATD	発信処理を行います。	入力の書式： ATD＊99＊＊＊<cid># cid:+CGDCONTコマンドで設定したAPNの登録番号（cid）を1～11で入力します。 • cidを省略して「ATD*99***#」と入力すると、自動的にcid1に登録されているAPNに発信されます。	ATD*99***3# CONNECT
ATE<n>	コマンドモードのときにDTEに対するエコーバックの有無を指定します。	n=0：エコーバックなし n=1：エコーバックあり（初期値）	ATE1 OK
ATH	パケット通信時に回線を切断します。	－	（パケット通信中） ATH NO CARRIER
ATI<n>	認識コードを表示します。	n=0：「NTT DOCOMO」を表示する n=1：製品名を表示する n=2：FOMA端末のバージョンを表示する n=3：ACMP信号の各要素を表示する n=4：FOMA端末の通信機能の詳細を表示する	ATI0 NTT DOCOMO OK ATI1 FOMA L06A OK
ATQ<n>	DTEへのリザルトコードを表示するかどうか設定します。	n=0：表示する（初期値） n=1：表示しない	ATQ0 OK ATQ1 （このとき、「OK」は表示されない）
ATS3=<n>	キャリッジリターン（CR）キャラクタを設定します。	n=13：初期値（13のみ設定できます） ATS3?：現在の設定値を表示する	ATS3=13 OK ATS3? 013 OK
ATS4=<n>	ラインフィード（LF）キャラクタを設定します。	n=10：初期値（10のみ設定できます） ATS4?：現在の設定値を表示する	ATS4=10 OK ATS4? 010 OK
ATS5=<n>	バックスペース（BS）キャラクタを設定します。	n=8：初期値（8 のみ設定できます） ATS5?：現在の設定値を表示する	ATS5=8 OK ATS5? 008 OK
ATV<n>	すべてのリザルトコードの表示を数字または英文字に設定します。	n=0：リザルトコードを数値で表示する n=1：リザルトコードを文字で表示する（初期値）	ATV1 OK

次のページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
ATX<n>	接続時のCONNECT表示に速度表示の有無を設定します。また、ビジートーン、ダイヤルトーンを検出します。	n=0：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示なし n=1：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり n=2：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり n=3：ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり n=4：ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり（初期値）	ATX1 OK
ATZ	ATコマンドの設定を、不揮発メモリの内容にリセットします。通信中にこのコマンドが入力された場合は、設定はリセットされません。	−	ATZ OK

ATコマンドの補足説明

■ コマンド名：+CGDCONT=［パラメータ］

- 概要
  パケット発信時の接続先（APN）の設定を行います。
  本コマンドは設定コマンドですが、&Fによるリセットは行われません。
- 書式
  +CGDCONT=［<cid>［,"<PDP type>"［,"<APN>"］］］
- パラメータ説明
  <cid>※1：1～11
  <PDP type>※2：PPPまたはIP
  <APN>※3：任意

※1 <cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。本FOMA端末では1～11が登録できます。
なお、<cid>=1にはmopera.ne.jp、<cid>=3にはmopera.netが初期値として登録されています。
※2 <PDP type>は、パケット通信の接続方式です。接続先が対応する接続方式をPPPまたはIPのどちらかから選択して入力します。
※3 <APN>は、接続先を示す接続先ごとの任意の文字列です。

- コマンド実行例
  abcというAPN名を登録する場合のコマンド（cid2に登録する場合）
  AT+CGDCONT=2,"IP","abc"
  OK
- パラメータを省略した場合の動作
  AT+CGDCONT=
  ：すべての<cid>を初期値に戻します。
  AT+CGDCONT=<cid>
  ：指定された<cid>を初期値に戻します。
  AT+CGDCONT=?
  ：設定可能な値のリスト値を表示します。
  AT+CGDCONT?
  ：現在の設定を表示します。

■ コマンド名：+CGEQMIN=［パラメータ］

- 概要
  パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。
  本コマンドは設定コマンドですが、&Fによるリセットは行われません。
- 書式
  +CGEQMIN=［<cid>［,,<Maximum bitrate UL>［,<Maximum bitrate DL>］］］
- パラメータ説明
  <cid>※1：1～11
  <Maximum bitrate UL>※2：なし（初期値）または5,760
  <Maximum bitrate DL>※2：なし（初期値）または7,232

※1 <cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。
※2 <Maximum bitrate UL>および<Maximum bitrate DL>は、FOMA端末と基地局間の上りおよび下り最大通信速度［kbps］の設定です。なし（初期値）の場合はすべての速度を許容しますが、5,760および7,232を設定した場合はこれらの値以外での速度の接続は許容しないため、パケット通信が接続できない場合がありますのでご注意ください。

- コマンド実行例
  (1) 上り／下りすべての速度を許容する場合のコマンド（cidが2の場合）
  AT+CGEQMIN=2
  OK
  (2) 上り5,760kbps／下り7,232kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（cidが2の場合）
  AT+CGEQMIN=2,,5760,7232
  OK
  (3) 上り5,760kbps／下りはすべての速度を許容する場合のコマンド（cidが2の場合）
  AT+CGEQMIN=2,,5760
  OK
  (4) 上りすべての速度／下り7,232kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（cidが4の場合）
  AT+CGEQMIN=4,,,7232
  OK
- パラメータを省略した場合の動作
  AT+CGEQMIN=
  ：すべての<cid>を初期値に戻します。
  AT+CGEQMIN=<cid>
  ：指定された<cid>を初期値に戻します。
  AT+CGEQMIN=?
  ：設定可能な値のリスト値を表示します。
  AT+CGEQMIN?
  ：現在の設定を表示します。

■ コマンド名：+CGEQREQ=［パラメータ］

- 概要
  パケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。
  次のコマンド実行例に記載されている1種類のみ設定でき、初期値としても設定されています。
  本コマンドは設定コマンドですが、&Fによるリセットは行われません。
- 書式
  +CGEQREQ=［<cid>］
- パラメータ説明
  <cid>※：1～11
  ※ <cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。
- コマンド実行例
  上り5,760kbps／下り7,232kbpsの速度で接続を要求する場合のコマンド（cidが2の場合）
  AT+CGEQREQ=2,2,5760,7232
  OK

次のページへ続く

- パラメータを省略した場合の動作
  AT+CGEQREQ=
  : すべての<cid>を初期値に戻します。
  AT+CGEQREQ=<cid>
  : 指定された<cid>を初期値に設定します。

エラーレポート一覧

数字表示	文字表示	理　由
15	SIM wrong	FOMAカード以外のSIM（NTTドコモ以外のICカード）が挿入されています。
16	incorrect password	パスワードが誤っています。
100	unknown	不明なエラーです。

リザルトコード

■ リザルトコード一覧

数字表示	文字表示	意　味
0	OK	正常に実行しました。
1	CONNECT	相手と接続しました。
2	RING	着信しています。
3	NO CARRER	回線が切断されました。
4	ERROR	コマンドを受け付けることができません。
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンが検出できません。
7	BUSY	話中音検出中です。
8	NO ANSWER	接続完了（タイムアウト）
100	RESTRICTION	ネットワークが規制中です。

お知らせ

- ATVnコマンド（P28）がn=1に設定されている場合は文字表示（初期値）、n=0に設定されている場合は数字表示でリザルトコードが表示されます。

■ AT+CPIN?のリザルトコード

FOMA端末の状態	リザルトコード
入力待ち	+CPIN:SIM PIN（PIN1コードの場合） +CPIN:SIM PIN2（PIN2コードの場合）
PINロック解除コード入力待ち	+CPIN:SIM PUK（PIN1コードの場合） +CPIN:SIM PUK2（PIN2コードの場合）
PINコード認証済み	+CPIN:READY
不適切なコマンドが入力された状態	+CME ERROR:Operation is not allowed
コマンド誤入力	ERROR

L-06A 区点コード一覧

区点コード一覧

- 区点コード一覧の表示は、ディスプレイの表示と見えかたが異なる場合があります。

区点 1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							０	１	２	３
032	４	５	６	７	８	９				
033				Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ
034	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ
035	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ	
036						ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ
037	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
038	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ
039	ｚ									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤

区点 1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
						あ				
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
						い				
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
						う				
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
						え				
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
						お				
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
						か				
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺

区点 1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
						き				
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
						く				
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
						け				
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
						こ				
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	

区点1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
さ										
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
し										
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
す										
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
せ										
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					

区点1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
そ										
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
た										
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
ち										
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
つ										
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
て										
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
と										
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
な										
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
に										
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		

区点1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ぬ～の										
390									濡	禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
は										
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
ひ										
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
ふ										
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
へ										
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
ほ										
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
ま										
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
み										
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
む										
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
め										
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
も										
444							摸	模	茂	妄

区点1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
や										
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
ゆ										
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
よ										
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
ら										
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
り										
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
る〜れ										
466	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
ろ										
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
わ										
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸

区点1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫

区点1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎

区点1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			